ZN-33

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月一日(水)　第三五〇〇號

編輯發行人　田中正太郎　東京都港區芝公園二號　社團法人　同盟通信社

同盟通信 海外電報

(176)

英國議會は十五日から

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電＝英國議會は八月一日開會の豫定であつたが、アトレー首相がポツダム會談に出席しかつ勞働黨內閣の顏觸れが未定なため八月十五日まで開會は延期されることとなつた、以上の日取變更は二十九日夜首相官邸から發表されたが、新議會は開會後十日の後八月二十四日最後休會に入る段取りである

英國總選擧における勞働黨の勝利はロイター電報によると「社會主義の凱歌」といふことだ、それにつれて一般に英國の外交政策は從來のチヤーチル＝イーデン・コンビの右翼保守主義から大きく左翼的方向に轉回するといふ見方が有力だ、もし英國の外交政策が左傾するとすればまづ直接の對象となるのはソ聯、ギリシヤ、スペインであらう、二十七日のロイター通信社アテネ電報はギリシヤの右翼ファシストを代表するブルガリス政權が勞働黨內閣の登場に直面して總辭職したと報じたが、二十九日のアテネ電報によると總辭職は嘘だつたらしい、併しながら英國の國策通信社が麗々しく右翼政權の瓦壞を報じたところからみても何等かの動きがあつたことは確かだ、またマドリードからの報道によると、フランコは英國勞働黨の勝利に慌てて、フアランヘ黨の頭株を集めて鳩首協議を行ふ一方、王政派と目される新入閣員五名と水入らずで相談をしたといふことだ、スペインの王政とフアランヘ黨のファシズムとの聯合によつて保身を圖らうといふフランコの計畫が成功するかどうかは別問題としても、彼が英國における社會主義外交の登場に泡を吹いたことだけは事實であらう

併し勞働黨內閣の外交政策が果して「左翼的」であるか「社會主義的」であるかどうかは別問題だ、國際勞働運動史を知るほどの者は、「勞働貴族」といふ言葉が英國から發生したのであり、英國の勞働黨がおよそ社會主義とは緣の遠い存在であることを知つてゐる筈だ、このことはいままでの勞働黨の歷史と勞働黨內閣の政策が明確に裏書してゐる、英國勞働黨は社會主義どころか桃色までもゆかず、强ひて彩るならば黃色といふところであらう、從つて勞働黨內閣から社會主義政策を期待する方が無理だ、恐らくフランコもブルガリスも安んじて可なりと思はれるが、いづれにしても英國の新外交政策を計量するバロメーターがそのギリシヤ政策だといつても差支へなからう

【目　次】

フランス改造法案敗る……二一五〇
ペタン公判第六日目……〃
ラヴアル引渡し決定……〃
英、フランコに不滿を表明……〃
チヤーチル敗戰の謎……二一五一
英ソ關係の緊密化を期待……〃
勞働黨の外交政策……〃
新首相アトレーの橫顏……二一五三
ギリシヤ內閣辭職せず……〃
伯林に司法機關新設……〃

【資　料】

ステチニアス桑港會議報告(下)……二一五四

ポーランド代表ポツダムへ

(ストツクホルム三十日發)ルクセンブルク放送局の報道によれば、ポーランド代表は二十九日ポツダムに到着したと傳へられる

モスクワ要領のみを報道

(モスクワ三十日發)米英兩國並びに重慶政權の日本に對する共同宣言について「イズヴエスチヤ」紙、「プラウダ」紙その他モスクワ各紙は單に要領を報道しただけで一切の批判を差控へてゐる

フランス改造法案敗る

（チユーリツヒ三十日發）パリ來電＝フランス國民諮問會議は過去三日間フランス國家改造法案を審議してゐたが、三十日二一〇票對一九票で政府案を否決した、政府は何れ近く代案を提出するものと解される、審議のなかばド・ゴールが、「今日まで余を支持し來つた人々がこの新フランス建設の重大法案について政府案に反對する場合には、余は辭職するかも知れない」と言明したことは特に注目されてゐるが、いま直ちに辭職するものとはみられてゐない、諮問會議の反對理由は政府案の一般投票が個人權力への路を開くものであるといふにあり、反對派もド・ゴールに辭職を強要する意思はないと稱してゐる

ペタン公判第六日目

（リスボン三十日發）パリ來電＝ペタン元帥公判は二十八日第六日に入り、「虎」の令息ミセル・クレマンソー、ヴイシー政府が行つた敗戰責任者裁判の裁判長ピエール・カウース判事、ヴイスバーデンの獨佛休戰條約委員會フランス代表ボール・アンドレ將軍、パリ發行のイタリア語新聞「イタリー・ヌーヴエル」支配人ギオツベの祕書ドニーズ・プチの證言があり、第七日目は三十日開廷されることになつた、各證人の證言要旨左の通り

クレマンソー＝余は一九四〇年ペタンに手紙を書いて、ヴイシー政府が余の父の名前を利用することを拒絶した、後ヴイシーでペタンと會見したが當時元帥付武官はペタンが身邊の人間を少しも信用しないのを苦にしてゐた

アンドレ＝ラヴアルは單に第五部隊の一味にすぎない、ラヴアルが一時ペタンによつて免職されたとき、ペタンは余に書簡を寄せて對獨協力方針には變更はないといつた、ロメルがキレナイカで攻勢を開始した時、彼はチユニジア、アルゼリアにあつたフランスの武器を悉く徵發して使用しようとしたが、ウエイガン將軍等はヴイシーの命令を無視して、トリポリタニアに送る武器を損傷せしめ使用不可能にした、余はヴイシー政府に注告してドイツの馬に賭けることの危險を屢々說いたペタンは余の意見に贊成したが、結局選んだ路は間違つてゐた

カウース＝リオンの裁判に當つてペタンに忠誠を誓つた裁判官は余一人であつた、余はペタンに對してフランスに戰爭責任があるとなすが如き判決を下すやうにフランスの最高法院に命令する權利は何人にもないと抗辯した、吾々はリオン公判の被告の何人に對しても刑の宣告をした覺はないプチ＝ラヴアルは英佛同盟をば佛獨伊スペインの四國同盟に置き換へようと考へてゐた、彼はまた、一九三九年アルベール・ルブランの大統領再選をば妨げやうとした、ギオツベはパリにおけるイタリアのアベツツ（元パリ駐劄ドイツ大使）であり、ラヴアルと親交があつた、ラヴアルは軍の最高級將官、參謀部將校、上下兩院議員の一部に支持者があると稱してゐた、自分はパリの右翼週刊紙「グランゴアール」にペタンの漫畫が出て「昨日は偉大な兵隊、今日は偉大な大使、さて明日は――」と說明してあつたのを見た時、ペタン一派の陰謀に氣付いた

ラヴアル引渡し決定

（チユーリツヒ三十日發）マドリード來電＝バルセロナの要塞に監禁中だつたヴイシー政府元首相ピエール・ラヴアル夫妻はいよいよフランス政府に引渡されるに決定し、三十日飛行機でバルセロナ飛行場を出發フランスに向つたが、途中機關の故障のため再び引返した、目下パリで進行中のペタン公判に關してラヴアルの證言が愈々重大性を增しつつある現在、同人の引渡し決定はペタン公判に重大影響を與へるものと思はれる

英、フランコに不滿を表明

（リスボン三十日發）スペイン統領フランコ將軍は國際情勢の推移に鑑み過般王黨派を入れて內閣の改造を斷行したが、ロンドン來電によれば英國政府は以上の改造に不滿で、新任マドリード駐劄大使サー・ヴイクター・マレツトを通じフランコ將軍に對し不滿の意を表明したと傳へられる、勞働黨內閣の外交政策は未だ發表されるに至らないが、スペイン政府に對し一段と壓迫を强化することは明かで、ロイター電報によれば、ポツダム會談の結果米英ソ三國の首班は共同聲明でフランコ將軍を論難するだらうといはれる

昭和二十年八月一日(水)　第三五〇〇號　同盟通信　海外電報　(第三種郵便物認可)

【英國總選擧】

チヤーチル敗戰の「謎」

(ストツクホルム二十七日發)チヤーチルが個人的聲望からいつてもまた政治的才腕からいつても第一人者であることは英國民の等しく認めるところだが、それにも拘らず當初の豫想を裏切つて一敗地に塗れた事實については種々の理由が考へられる、ロンドン來電によれば英國一般の反響は、「勞働黨の勝利は不幸だが、チヤーチルの敗北は恥辱だ」といふにつきるといふことだが、ロイター政治記者フレーザー・ワイトンはチヤーチル敗戰の「謎」について二十七日次の見解を表明してゐる

「英國政界の消息筋は保守黨對勞働黨の正面切つた鬪ひに於て勞働黨が遂に政權を掌握した驚くべき選擧地滑りの理由を、個人の聲望を無視した政黨だけの評價の結果とみてゐる、このことはチヤーチルに對抗して立つた無名の候補者に一萬票の投票があつたことでも明瞭だが、恐く勞働黨に投じた數百萬の人々は戰爭指導者としてのチヤーチルを高く評價してゐるが、保守黨の指導者としては買つてゐまい、要するに英國民は黨人としてのチヤーチルと個人としての彼とを混同することを拒んだのだ、今回の總選擧の結果によつて英國民がチヤーチルに恩を感じてゐないと考へるならば大きな間違ひだ、總選擧の結果については次の三つの點が看取される

一、英國民が右か左かのいづれかの存在を意識し自由黨の如き中間的存在を認めなくなつたこと

一、勞働黨が初めて眞の多數黨となつたこと、即ち勞働黨は票數ばかりでなく議席數でも絕對多數を確保してゐる

一、勞働黨の勝利は英國民の激しい左傾を意味するといふよりも寧ろ民主々義の勝利であることその意味で下院の議席六百四十中共產黨が僅かに二を占めるに留つたことは意味深重だ」

英ソ關係の緊密化を期待

(ストツクホルム二十九日發)英國に勞働黨內閣が成立した結果、英ソ兩國の關係は當然何等かの影響を受けると豫想されるが、ロイター通信社のモスクワ特派員ダンカン・フーパーは二十八日次の通り報道してゐる

「勞働黨內閣成立の結果ソヴエト聯邦は新たな歐洲におけるニユーデイールを待望してゐる、もつとも官邊筋は言明をさし控へてゐるが、一般の觀測によれば、チヤーチル前首相の聯立內閣が歐洲戰爭の過程において英ソ兩國關係の土臺石となつたが、勞働黨內閣は歐洲の永久的平和確立への第一段において英ソ兩國の關係を一段と緊密化するだらうと見られる

モスクワ外交界では勞働黨內閣の政策について次の見透しを下してゐる

一、歐洲の「民主々義化に關する」一切の問題について妥協を排し、毅然たる態度をとる

一、ドイツ問題についてはドイツ國民の再教育完了まで、强硬な政策をとる

一、國境の安全保障並びに外界への出口に關するソヴエト政府の立場について、同情的な立場をとる

一、貿易關係については英國の住宅再建にソヴエト聯邦から多量の木材を輸入し、英國からは工作機械その他ソヴエト聯邦の國民經濟擴張に必要な物資を輸出する」

勞働黨の外交政策

(リスボン二十九日發)勞働黨は今回の總選擧において、壓倒的勝利を收めた結果、內政上においては所謂英本國コモンウエルス建設五ケ年計畫に邁進するが、外交上においても新外相サー・アーネスト・ベヴインの指導のもとにミユンヘン政策の遺產に基く前聯立內閣の妥協を排擊し、米ソ兩國との提携の下に歐洲の再建に邁進するだらうとの觀測が有力だ

△ソ聯との協力が第一

左翼の評論家ブレルスフオードは二十九日、ロイター電信同報において、勞働黨の外交政策について次の通り述べてゐる「英國に起つた奇蹟は今

や全世界に反響をまきおこしてゐる、勞働黨內閣の成立が英國にとつてニューデイールを意味するといふならば、スペインと印度との間に横る國々に對しては、解放を意味するであらう、世界二大國のうち二國までは社會主義國家であり、英國がソヴエト聯邦との間に信賴と協力との關係を確立出來るならば、世界史は新たな時代に入るであらう、三週間以前に於る英國人の投票は英國以外にも強い影響を與へてゐるが、その結果必ずや社會主義歐洲の出現を見るに至ることをここに豫言したい、英國の創造的社會主義政策は獨り英國の都市、炭坑並びに農場において推進されるばかりでなく、大膽に且つ意識的に印度においても、歐洲においても推し進められなければならない

英國は今や歐洲の再建を指導する地位にたつに至つたが、指導の任務を果すためには、胸襟を開いて各國における左翼の戰友諸君と協議しなければならない、しかし何よりも大事なことは以上の指導に當つてソヴエト聯邦と協力する道を見出すことである

△外交界の刷新を斷行

また「リベレーター」は「オヴザーヴア」紙上において英國の外交政策につき次の觀測を下してゐる

「今回の總選擧で英國の下院は一新された、一九三八年八月ミユンヘン協定を支持した下院議員二百五十一名のうち今回再選されたのは僅かに六十四名に過ぎない、更に勞働黨議員の構成も今回の總選擧で一大變化を遂げた

從來勞働黨の議員は大半勞働組合の指名するところであつたが、今回の總選擧では組合指名の議員が百名に充たず、勞働黨の下院議員三百九十名の大半は勞働運動の政治面を代表し、外交政策についても、一段と徹底的（ラデイカル）である、勿論、勞働黨內閣は所謂「外交政策繼續」の原則から劇的に逸脫することはないだらうが、政策の實施に當つては必ずしもチヤーチル前首相の方針に拘泥はしない

惟ふに今後十二ヶ月の間に勞働黨內閣は外交政策繼續の外觀を維持しながら、外交の推進については深刻且つ決定的な變革を斷行するであらう、たとへば、フランコ將軍乃至ギリシヤ王政に對しては何等の同情をも支援をも與へず、歐洲の解放各國乃至は占領地帶においてもいはゆる既製事實によつて民主々義的手法を無視しようとする遣り方に對して容易に同意しないのであらう

以上政策部面と別個に新外相サー・アーネスト・ベヴインは外務省の改組、陣容刷新の必要を久しい以前から提唱してをり、殊に經濟的見識が在外使臣に必要だといふ見地から、外交陣の刷新を斷行するとみられる、特には英國民に勞働黨の政策を正確に傳へる見地から、ワシントン駐劄大使ハリフアツクス卿の更迭は動かぬところであり、更にパリ駐劄ダフ＝クーパー、アテネ駐劄サー・レヂナルド・リーパーも罷免されることとならう

△ドイツ政策は修正されん

勞働黨內閣がポツダム會談においてどこまでチヤーチル前首相の方針を踏襲するかも不明だが、新外相サー・アーネスト・ベヴインがドイツ將來の經濟について獨自の見解を抱き、敗殘の同國を經濟的貧民窟に化することは結局歐洲全體の生活標準を低下させるといふ意見を有してゐるから、英國のドイツ政策が驚くべき修正を受ける事になるかもしれない、殊に英軍占領治下のドイツ領土內において民主々義諸政黨の結成並びに勞働組合の組織を妨げる一切の障碍を取除くことはいふまでもあるまい、勞働黨內閣としては東南歐洲における農民層の生活標準をひきあげることが、歐洲の平和を維持する前提と解してゐるが、これら各國における經濟的、政治的統制が必然的に問題となるので、ソヴエト政府が所謂勢力範圍に拘泥せず、東南歐洲を一經濟單位として取扱ふに協力することが要望されてゐる、最近數ヶ月間國際間の疑心暗鬼が特に目立つやうになつたが、勞働黨內閣の成立によつて、かかる空氣が一掃されるかどうか、勞働黨內閣の外交政策は先づこの問題でテストされることとならう」

昭和二十年八月一日(水)
第三五〇〇號
同盟通信
海外電報
(第二種郵便物認可)

新首相アトレーの横顔

(リスボン二十七日發)ロンドン來電=勞働黨の勝利によつて首相の印綬を帶びることになつたクレメント・アトレー、以下は彼の横顔である

△謎の人物

アトレーの性格を知らんとするには、先づ船渠と貧民窟と海員の住宅と阿片喫煙所の蝟集するロンドンの一區域を知らねばならぬ、此處はアトレーの政治生活の本據であり、此處から彼は今日の名聲を獲得したのである、アトレーは今年六十二歳、有數の經濟學者で聯立內閣の裏にあつて歐洲戰爭遂行に重要な役割を務めた、彼は外國では謎の人物であり英國においてすらあまり知られてゐない、彼は勞働黨代表として一九二二年以來議會の席に列した、中流の家庭に生れた彼は一流の學校で初等中等教育を終へた後、オックスフォード大學で歷史を專攻優等で卒業し、その後法律を勉强して辯護士を開業したが、ロンドン、イースト・エンドの下層階級者の生活に關心を持つに至つて法律業を放棄し、ここを己の住家とするに決意した、かくて、一九〇七年アトレーはイースト・エンドのステプニーに住宅を定め下層階級民衆の內にあつてつぶさにその生活を視察體驗した結果英國の貧窮と失業問題を解決する途は產業經濟を社會主義の線に沿つて再編成する以外にないとの結論に到達した

△その政歷

かくてアトレーは今日の勞働黨の前身である獨立勞働黨に入り、機會ある毎に小集合や街頭演說を行つたが、その後英國及びロシアの社會情勢の權威として著名となつたシドニー・ウエツブ及びビアトリス・ウエツブの協力を得た、この間彼は生活費を求めるために辯護士を務め、後にはロンドン大學經濟學部の講師となつた、當時ステプニー區々長であつたフランク・リユーイーはアトレーの熟心な支持者となつて彼の活動を助けたが、今回の選擧でもリユーイーの活動は目覺しく勞働黨今回の勝利も同人の努力に負ふところが大きいといはれる、第一次世界大戰の勃發と共にアトレーは前線に出で砲兵少佐としてイースト・エンドに歸還し、一九一九年ステプニー區々長となり三年後にはライムハウス選擧區から立候補して下院議員に當選した、これがアトレーの政界への第一歩であつた、その後ランカスター公領相、郵政相等を經て一九三五年勞働黨々首となつたが、一九四〇年チヤーチルの聯立內閣成立とともに國璽尙書、續いて一九四二年副首相となつたが、本年五月のチヤーチル內閣改造にあたつて辭任したものである

△名聲獲得の因

如何にしてアトレーが勞働黨々首として今日の名聲を獲得したか、その回答は「好機を逸さなかつた、人格が高潔である」といふに盡きる、同人の性格はむしろ消極的で今回の選擧に當りチヤーチルが大きい選擧ポスターを使用して大掛りな運動を行つたのに對して、アトレーは運動を最少限度に止めたところなど兩者の性格の對蹠的關係を現してゐる

「自分のやつてゐることを知る人は知つてゐるのだから、すべてはこれ等の人々に委せるのだ」と語つてゐる程だ

【歐洲】

ギリシヤ內閣辭職せず

(リスボン二十九日發)ブルガリス提督を首班とするギリシヤ內閣が二十八日夜總辭職した旨報道されたが、アテネ來電によればギリシヤ情報相は二十九日聲明を發表し、つぎの通り訂正したと傳へられる

外相ソフイアノプロスが政黨內閣の組織を提案した後、首相は攝政ダマスキノス大主教を訪問し、首相並びに全閣僚は以前の職にあるが、攝政が國家的見地より新內閣の結成を必要と思惟する場合には退陣する用意ある旨を申入れた

伯林に司法機關新設

(モスクワ二十八日發)ベルリンからのタス電報によればベルリン合同管理本部はソ聯占領地帶に司法機關を新設したといはれる、卽ち大ベルリン地區の各區に區裁判所を設置し、更にその上に市控訴院を設け一九三三年ナチの政權掌握前迄存在したドイツの法律に基き裁判を行ふこととなつた

資料

ステチニアス桑港會議報告(下)

しかしながら、以上の宣言もあるひはまた永續性ある平和を招來するために不可缺な條件をなす經濟的、社會的狀態を實現し、人權及び根本的自由の尊重を促進せんとする聯合國の目的を明かにしたその他の宣言も、それだけでは戰爭の災厄並びに戰爭の恐怖に對抗するには不十分であり、桑港會議の目的も達せられない、この場合に必要なのは、憲章自體も述べてゐる如く、平和維持の目的實現のための機構、卽ち「平和に對する脅威の防止並びに除去のための有效な集團的措置」である、更に、もしも聯合國が眞に平和を確保せんとしてゐるならば、この場合に必要なのは、平和への具體的方法、卽ち「平和的方法によつて國際紛爭の調整、解決を實現する」ことである

憲章が機構として確立せんとしてゐるものがこれである、憲章によれば、それぞれ專門的にして重要な役目を持つ書記局並びに信託統治理事會の二機關以外に、憲章の目標を擁護し、その目的を實現するために四つの主要機關が設けられることとなつてゐる、これはその機能により實力行使機關、意見を交換し討議を行ふ機關、世界の共同目的のために教育と知識とを活用せんとする社會的經濟的機關及び正當な主張をもつ事件を審議する國際法廷に分けられる、第一の機關は安全保障理事會と呼ばれ、第二は總會、第三は經濟社會理事會、第四は國際司法裁判所である、これ等機關はその各稱にふさはしい機能を發揮しよう

◎安全保障理事會

理事會の任務は、各國の協力により、また各國の提供する軍事力の支援を受けて、國際平和及び安全を維持するといふ聯合國の約束を實現し、その大きな目的を實行に移すにある、この目的のために理事會には聯合國の提供し得る外交的、經濟的並びに軍事的の支援が與へられよう

◎總會

總會の任務は協議し、討議し、事實を發表乃至暴露するにあり、換言すれば自由な討議機關として、討議事項を具體的に實行に移し或ひは成文化する義務も權利もなく、健全にして抑壓されない機能を果すにある、總會は憲章の範圍內並びに憲章の規定により設立されるあらゆる機關の權限及び機能に關係するいかなる事項をも、これを取りあげることができよう、總會は更に平和及び安全の維持に關する問題を討議し、かかる問題につき理事會に建言し、平和を危殆ならしめる惧ある事態に關し、理事會の注意を喚起し得る、總會はまた平和及び安全の維持のため國際協力促進に關し研究し、これに關し建言をなし得る、更にまた人權及び根本的自由の實現に助力し、國際法の發達並びにその進步を促進する義務をも持つ、總會はその發生原因の如何を問はず、全般的福祉を阻害する惧ありと認めた問題を取りあげて協議し、その平和的解決につき勸告をなし得る、一方總會は安全保障理事會を含む聯合國諸機關から報告を接受し、これに檢討を加へることもできる

換言すれば總會の機能は討議の自由と投票權の平等とにより聯合國が誓約した加盟各國の「主權の平等」を實現し、また「諸國民の權利の平等並びに自決權」の原則尊重に基礎をおく諸國家間の友好關係を具體的に促進するにある、この諸國民の權利の平等並びに自決權こそ憲章がその第二の目的として揭げるところだが、總會は更に憲章がその主要目的の一つとして揭げてゐる「國際問題の解決における國際協力」を實現し、一方公開討議といふ武器及びその勸告の威嚴を利用し「人權並に根本的自由の尊重」を促進する機能をも果す

◎經濟社會理事會

經濟社會理事會と國際憲章の目的との關係は同樣に直接的かつ具體的である、國際憲章が經濟・社會・衞生その他の分野において實現を期してゐるものは專門的知識、愼重な研究並びに共同の動作とを必要とする、この目的のために國際憲章が考案した機關は經濟社會問題の分野における理事會であり、この理事會は總會の全般的監督のもとに行動し、十八ケ國の代表から構成される

經濟社會理事會はその擔當分野において研究を行ひ、報告を作成し、總會ばかりでなく加盟各國

並びに經濟、衞生、文化、勞働、財政、人權その他聯合國と關係ある專門機關に對して勸告を行ふ權限が與へられてゐる、經濟社會理事會はさらに「その擔當範圍内の問題」につき國際會議を召集し、總會に提出するための規定を起草し、聯合國並びに專門機關の要請に基く各種の仕事を果し、さらに經濟社會理事會並びに總會の勸告を實現するためにとるべき措置につき加盟各國及び專門機關から報告を接受する權能も與へられてゐる

◎國際司法裁判所

國際憲章の目的を實現するために國際司法裁判所が果す役割は裁判所の全般的性格からして明かである、國際憲章の目的の中には國際紛爭を正義並びに國際法に基いて調整乃至解決することが揭げられてゐるが、この目的を具體化するために紛爭當事國は裁判に附し得らるべき國際紛爭をこの國際裁判所に提訴することとなつてゐる、紛爭が國際裁判所に移牒されたとき、また加盟國が特定の問題につき裁判所の强制的決定を受諾したときには國際司法裁判所の決定は勿論紛爭當事國によつて遵守されなければならない、國際憲章の規定では全加盟國は裁判所の決定に從ふこととなつてゐる、紛爭當事國が裁判所の決定に從はない場合には裁判所はこれを安全保障理事會に提起し、適當な措置を要求することが出來る

△その他の機關

以上の四つの機關が國際憲章の目的とする平和並びに安全に對する世界の希望を具體化する第一歩として利用される主要機關である、然しその他の一層專門的目的のために設置された他の機關も存在する、卽ち非戰略的地域において國際憲章の決定した信託統治制度を具體化する爲大きな責任をもつ信託統治理事會がある、また書記局は聯合國機構のみに對して責任を負ふ國際機關として聯合國機構の事務機關を構成する、然しながら國際憲章の目的とするところを具體的に實現する主要機關はあくまでも安全保障理事會、總會、經濟社會理事會並びに國際司法裁判所の四機關である

しかしこれらの機關といへどもその權限は確かに限られたものである、例へば國際司法裁判所の決定は加盟各國が承認しない限り强制的たり得ない、また總會は意見を交換し、勸告を行ふ機能を果し得るのみで、立法權を行使することは出來ない、安全保障理事會が强權を發動する場合においてさへ加盟各國によつて補給される武力を通じてのみ行動し得るだけである、聯合國が乘り出した事業の重大さに比較し、またこの事業において失敗ばかり繰返された永き過去の歷史を考慮するとき、かかる權限の制約を受けた機關はその果すべき重大な事業に對してあまりにも不適當であるかにみえる、しかしながらこれら機關に與へられた權限は限られてゐるかもしれないが、これら機關が相當の成功を收め得るだらうといふ希望は決して小さくないのであり、これは表面的な權限以外にかかる成功を保障する特徵をもつてゐるからである、卽ちこれら機關はその背後に無秩序、混亂並びに暴力の支配を抑壓せんとする永い人類の歷史をもつてゐる、これを要するに以上の四つの機關は人類が個人と社會との關係において秩序と安全とを確立するために用ひてきた四つの主要な方便を代表するものといへよう

△四つの機構

米國ばかりでなく、民主々義體制の下においては秩序を維持する機關はいろいろな形をとつたが一、道義的並びに具體的力をもつて法の尊嚴を維持し平和破壞を防止し且つ抑壓する機關
一、市民の紛爭並びに意見の相異を聽取し、これを裁決する裁判所
一、社會の道義心が發表され判斷が下され法律或ひは意見の宣言がなされる集會

の三つがあつた、この根本的にして不可缺な三つの秩序維持機關に人類の文化が進歩するに從ひ當然の必要として第四の機關が加つた、この機關を通じて專門的知識並びに累積した經驗が社會の經濟的社會的問題に具體的に適用されたのである

これら四つの機關——卽ち實行機關、裁判所、集會ならびに科學と知識との中心——こそ自由人の用ひなれた機關なのである、自治的な人々が數時代にわたつて使ひなれてきた機關なのである、人類文化の全歷史を通じて、その能率が證明されてきた機關である、この四つの機關が今度つひに國際世界に設置されたわけであるが、たとへその

活動範圍には制限が附されてゐるとはいへ、少くともその内容が變り、その威嚴が損はれるやうなことはあるまい、葡萄や植木をそのなれた場所から他の場所に移し植ゑるときには、その枝をちぢめ、剪定を加へる必要がある、これと同樣、社會組織を個人對團體の世界から國際關係の世界に移し植ゑる場合にも、これを切りちぢめ制限を附す必要がある、しかし社會的價値あることが實證された機構は、たとへ國内的世界から國際的世界に移し變へられようとも、必ずその生命と結實力とを持ち續けるべく、新しい環境によつてその上に加へられる制約もこれを殺す力はあるまい、これら機關はその背後に歷史的な勢と既に實證された有用性とをもつのであり、これは終局的な效果性において、新環境に應ずるために附された細かい法律的規定よりも遙かに力を發揮するだらう

△國際機構の制約

しかのみならず新環境に應ずるための切詰めが現實的に行はれるならば、これ等機關が更にその生命をのばす機會も增すであらう、聯合國が今度採用したこの四つの社會的機構は、國際關係における現實的世界の實情に適應すべくその直面しなければならない制約的要素を現實的に考慮して適切な修正が加へられた、安全保障理事會は世界國家を代表する强權機關ではない、何故ならば世界の輿論は必ずかかる世界國家の樹立が當然要求する主權の拋棄の如きを決して受けいれないだらうからである、されば安全保障理事會は平和を維持する機能を發揮する爲に行使する說得と武力との武器を主權を維持する加盟國に仰がねばならない

しかし理事會の加盟國に對する依存の程度は各國の實情に應じて現實的に加減されてゐる、即ち理事會は現實的な力の配分に應じて加盟各國の力を使用することになつてゐるのである、理事會の投票手續こそ世界における力の配分と使用とを現實的に代表してゐる、即ち現代の五主要軍事國は常任理事國となつた、更にこれ等五國の持つ武力並びにその武力の行使が平和の目的のために役立つやうに、理事會は五國が武力を行使する時はこれ等五國が相互に意見一致した場合にのみ限り、然らざる時は武力行使はなさない旨規定してゐる

同樣に現在の世界の實情を現實的な立場から容認した事實は、他の機關に對する機能の制限となつて現れてをり、たとへば總會が意見交換と協議との役割を果す權限のみが與へられて立法力のないのは、もし總會に立法權が與へられるならば、これは必然的に加盟國の主權を侵害することとなるからである、また經濟社會理事會も同樣、加盟各國の内政問題には容喙する力も權利も與へられてゐない、さらにこれと同じ理由をもつて、國際司法裁判所の權限にも制約がある

△新機構の役割

以上のごとき制約は現在世界の實情に應ずるために加へられたものであるが、かかる制約は新國際機構の果すべき役割の重大性を增加しこそすれ減殺するやうなことはなく、國際憲章が個人間の平和と秩序とに對する鬪爭の古い歷史から借り受けたこの機構は、今度は國家間の平和と秩序とに對する鬪爭においてもその目的を十分に果すだらうとの希望を高めよう

機構としての國際憲章は、憲章の決定した目的の實現に大いに寄與すべく、また宣言としての憲章は國際機構の恒久的事業の確固たる基準となるだらうことを余は確信するが、この確信の上に立つて余はさらに國際憲章の採擇こそ米國のみならず全世界の最大の利益となることを確信する

二回にわたる大殺戮戰に斃れた無數の人々の死を犬死に終らせないやうわれわれが固く決意してゐるならば、われわれは世界各國と協力しなければならぬ、國際憲章はかかる協力の產物なのである、憲章中のあらゆる言葉あらゆる文章は桑港會議において五十ケ國代表により愼重に檢討が加へられ、その多くには修正が行はれた、世界歷史はじまつて以來最初の全世界の國民が直接乃至はその政府を通じて協力した國際憲法ができ上つたのである、このでき上つたものは勿論人間のつくつた文書であり、人間的な不完全なものではあるが同時にまた人間の希望と人間の勝利とをも織りこんでゐる、しかしながら、現在の形がいかに不完全であらうとも、桑港會議において書きあげられた國際憲章は平和建設に向つての眞の第一步を印する機構を世界に與へるであらう

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八月二日(木)
第三五〇一號

同盟通信　海外電報

(177)

米國では戰局早期終結觀の有力化とともにデフレの可能性が現實の恐怖となつてきたやうである、たとへば、上院特別委員會は政府再轉換政策の速度が遲々たることを難じ、現在をもつてすれば反動恐慌の到來必至なることを警告してゐる、政府の關心もインフレの抑制よりデフレ對策に移つてきてをり、財界の懸念またもちろんのことである、かねがね指摘されたやうに米國の再轉換策が政策としての資格を缺いたのは、戰爭直後のインフレにのみ目を奪はれ、爾後必然來るべきデフレーションを考慮に入れなかつたことにあるが、客觀情勢の推移に從ひ好むと好まざるとにかかはらず政府はこれが解決の必要に迫られるに至つたわけだ

差當つて豫想される米國今後の經濟情勢は恐らくインフレの進行であらう、しかし、これに複雜な色合を投げるものは數百萬人に上る歸還將兵の問題である、軍需工業は今日すでに擴大過程の頂點をすぎ、むしろ縮小の傾向にすらある、數百萬に上る新規勞働力の勞働市場への投入はこれを消化すべき經濟活動の振興がないかぎりデフレーションへの一つの重要な契機となる、しかも彼等の所得は種々の軍事扶助があるとはいへ戰時中國内に殘つたものに比べ、かなり見劣りがするものであらう戰時中急膨脹した生産を過剩ならしめぬためには所得分配の面における絶妙な均等配分が必要であるが、各種の階級的分立に加へ歸還將兵の問題は所得の均等配分に新たな困難を生ずるものである要するに米國經濟の今後はデフレへの轉落の危機を孕んだインフレ後期の樣相であり、反動の程度はかかつて民需生産回復の如何にある

いひかへれば再轉換が一刻遲れればそれだけ反動は激烈となるのであつて、太平洋戰局における米國の急攻勢、對日外交攻勢の積極化など米國最近における戰爭短期終結の工作の經濟的背景の一つをなすものといへよう

目次

【英　帝　國】
三時間半に亘つて協議……二一五八
會期は延長か……〃
英共産黨、新内閣を支持……〃
ベタン公判第七日目……〃

濠洲、英の獨斷に不滿……二一五九
ガーター勳章を辭退……〃
牛津大學區の選擧結果……〃

【歐　洲】
ソ聯アンラに援助を要請……〃
希政變は三頭會談後……〃
ウイーン共同占領開始……二一六〇
イタリア軍俘虜の解放要求……〃
英第八軍解體……〃
地中海聯合軍航空隊解隊……〃
ゲーリング病む……〃
獨軍損害四百萬……〃
佛軍損害發表……〃

【米　國】
米共産黨再發足……二一六一
米英の赤化を警告……〃
亞、西兩國を攻撃……〃
ブラックリストを政訂……〃
軍事協定は別個に處理……〃
トルーマン復員問題を語る……二一六二
スチムソンの退陣を要求……〃

【東　亞】
王世杰、外交部長に……〃
東亞の紛糾を豫想……〃
第十四航空隊の一部沖繩へ……〃

【科學情報】
グラマン武裝强化……二一六三
ムスタングの改良型……〃

ハウスホーフア逮捕

(リスボン三十一日發)ガルミツシユ・パルテンキルヘンからの報道によれば、ヒトラー總統の最高顧問の一人でドイツ地政學協會長のカール・ハウスホーフア教授及び飛行機設計者ウイリー・メツサーシユミツト博士その他は去る二十五日米國軍當局によつて逮捕されたといはれる

三時間半に亘る協議

（ストツクホルム三十一日發）ポツダムからのUP電報によれば、三頭會談のスポークスマンは三十一日正午過ぎ「何も情報がないが、會談は續行されてゐると思ふ」旨を述べたに止まると傳へられるが夜に入つてロイター電報は

スターリン元帥、トルーマン大統領並びにアトレー首相は三十一日三時間半に亘つて會談した旨を報道してゐる、ポツダム會談始つて以來の長い會議だが、スターリン元帥も「微恙」が癒つたと見られる

會期は延長か

—スターリン元帥病む—

（ストツクホルム三十一日發）アトレー首相等米英國の新代表が到着してからもポツダム會談は極秘裡に繼續されてゐるが、三十一日に至りソヴエト代表スターリン元帥が微恙で引籠つてゐることが判明した、元帥は七月十七日ポツダムに到着、爾來トルーマン大統領、チヤーチル首相等と十回前後會談を遂げてゐるが、二日前から發病したといはれるからアトレー首相が到着してからは僅か一回二十八日に三頭會談が開かれただけではないかと見られる、病氣は「重くない」といふだけでロイター特派員の如きも「百方手段を講じたがどんな病氣にかかつてゐるのかは分らない」と嘆聲を洩らしてゐる

二十九日の三頭會談にはモロトフ外務人民委員が代つて三十日には三頭會談はなかつたが、英國外相サー・アーネスト・ベヴイン、米國の國務長官ジエームス・バーンズとモロトフ外務人民委員との會談は二十九日、三十日兩日午前開催された樣子だ、ワシントン來電によれば、今明日中に米英兩國軍の太平洋における司令系統に關し、ポツダムで發表があるだらうと傳へられる、會議の事務局では三十一日も「會談は滿足に推捗してゐる」と述べてゐるが、豫報されたやうに八月一日に會談が終了するとは思へない、一方ポーランド代表がポツダムに到着したといふので、ポーランドの西部國境線がポツダム會談で討議されてゐるだらうとの見方が有力だが、媾和會議まで最終的な決定があるまいと解される

チヤーチル首相が落伍し、スターリン元帥「微恙」のため鳴物入りで始められたポツダム會談も龍頭蛇尾の恰好だが、殊にロンドンの「オブザアヴア」紙によれば、アトレー首相は新內閣が出來たばかりで、重要な外交政策についてまだ決斷を下すことが出來ぬ、との理由で、ダーダネルス海峽の將來、ドイツの統治方式等々の重要懸案を次の會談まで持ち越すことを提案するのではないかといはれる、何れにせよチヤーチル前英國首相等がポツダムを出發して以來、會談が事實上何等進捗してゐないことは明かで、約一週間休會の有樣だから會談は豫定よりも長引くこととならう

英共産黨新內閣を支持

（ストツクホルム三十一日發）ロンドン來電＝英國共産黨執行委員會は三十一日聲明を發表、勞働黨內閣を支持する態度を明かにした、聲明の要旨次の通り

英國共産黨は英國の偉大な社會的變革と國際協力政策を遂行するに當り新勞働黨內閣に全幅の支持を誓ふ、英國民衆は大資本家、銀行家及び地主による政治的經濟的攪亂行動に對し不斷の警戒を怠つてはならない

ペタン公判第七日目

（リスボン三十一日發）パリ來電＝ペタン裁判第七日は三十日引續きパリ高等法院で開廷、元首相元下院議長エヅアール・エリオの證言があり、これをもつて檢事側の證人喚問は終り、直ちに被告側證人の訊問に入ることになつた、エリオの證言要旨は左の通り

フランスが敗れる前米大統領ルーズヴエルトはフランスが要求した物資をフランスに供給することを約束してゐた、チヤーチル、ルーズヴエルト共にフランスのかけがへのない友人であつた、われわれはこの强力な指導者に率ゐられた友邦を裏切るべきではなかつた

なほペタン元帥は數日來咽喉をいためてをり、公判は一時中絕するに至るかも知れないといはれてゐる

昭和二十年八月二日(木)
第三五〇一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

濠洲、英の獨斷に不滿

(リスボン三十日發)米英兩國並びに重慶政權の日本に對する共同宣言についてはポツダム會談を機會に米國大統領トルーマンが英國前首相チャーチルと協議し、蔣介石と電信で打合せたに止まり對日戰に重大關聯を有する各自治領とは何ら相談しなかつた樣子だが、メルボルン來電によれば濠洲外相エヴアットは二十九日聲明を發表し、濠洲政廳は「新聞通信社の報道ではじめて共同宣言の內容を承知した」と前提して次の通り述べたといはれる

ポツダムで發表された對日最後通牒には濠洲は直接關與しない、米英兩國は聲明を發するに當り特に重慶政權に照會してその同意を得てゐるが、濠洲政廳に對しては發表前に一言の挨拶もなかつた、東亞の將來に關し濠洲の利害關係は決して重慶政權に劣らぬものであるから、余はこの機會に對日休戰條件をはじめ、東亞の平和を保障する如何なる取極めに對しても濠洲はその發言權を主張すべく、しかもこのことは、米英兩國も既に承認してゐることを繰返し强調しておく

ガーター勳章を辭退

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電=英國王ジョージ六世は、前首相チャーチルが歐洲戰爭を通じ國家に「一大功績」あるに鑑み、今回英國最高のガーター勳章を授與したが、チャーチルは「現下の事情」においてはお受け致し難い旨を述べ辭退した

牛津大學區の選擧結果

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電=オツクスフオード大學區の選擧結果は三十日開票されたが、次の通りで勞働黨の經濟理論家C・D・H・コールは落選した

當選

サー・アーサー・ソールター(無所屬)　六、七七一票
A・T・ハーバート　五、一三六票

落選

D・H・コール(勞働黨)　三、四一四票

【歐洲】

ソ聯、アンラに援助を要請

(リスボン三十日發)ワシントン來電=アンラ事務總長代理ヘンドリックソンは二十五日次の通り發表した

ソヴエト政府は二十四日アンラに對し總額七億弗の援助を要請して來た、ソヴエト政府がかかる要請を行つたのは今回が初めてである、アンラ當局は目下ソ聯の要請に檢討を加へてゐる

レーマン、ロンドンへ

(リスボン二十九日發)ロンドン來電=アンラ事務總長ハーバート・レーマンは八月七日ロンドン州廳で開催豫定の第三次アンラ理事會出席のため二十九日ナポリから空路ロンドンに到着した

希政變は三頭會談後

(リスボン三十日發)ギリシヤ內閣の總辭職說はロイター通信社の誤報と判明したが、同社の政治記者フレーザー・ワイトンは二十九日總辭職說の根據を傳へてポツダム會談終了後ブルガリス政權の瓦壞は必至だと次の通り述べてゐる

「ギリシヤ內閣の更迭はポツダム會談終了後といふのがロンドン消息筋の一致した見解だ、首相ブルガリスは先週外相ソフイアノプロスが辭職した直後、實際に攝政ダマスキノスに辭表を提出したのだが、攝政はブルガリスの辭表を握つた儘情勢を睨み合せてゐる樣子で、いづれは辭表を受理することにならう、ブルガリス內閣は所謂政黨の色彩を持たぬ政權だが、國會總選擧と國民投票による王政問題の決定を目前に控へて各政黨が猛烈な活動を展開しておるため、その地步は益々困難となつてゐる、またアトレー政府がブルガリス政權を尻押ししなくなれば、同政權は更に困難となるものとみられるが、ブルガリス政權も勞働黨內閣がギリシヤ政策を明確化するまで現狀を維持して行くことにならう」

ウイーン共同占領開始

（リスボン三十日發）ウイーン來電＝ウイーンは從來赤軍が單獨で占領してゐたが、同市の共同占領協定に基き米英兩國軍は三十日朝ウイーン市に到着、各分擔地帶に入つた、因みに赤軍の占領地帶はドナウ河の東部、英國軍は西部、米國軍は西南部である

イタリア軍俘虜の解放要求

（リスボン二十九日發）ローマ來電＝イタリア政府は二十八日の閣議において、各國における自國民俘虜の歸國を要求、止むを得ぬ場合には自由な勞働者として働けるやう解放することを要求するに決定した

英第八軍解體

（リスボン三十日發）ローマ來電＝地中海方面聯合軍司令部は英第八軍が二十九日解體された旨發表した、英第八軍はエヂプトのアレキサンドリアの門口に迫つたロメル軍に對する反擊以來、北阿の砂漠からイタリア戰線に移り、次いでオーストリアに進駐してゐた

地中海聯合軍航空隊解體

（リスボン三十日發）ローマ來電＝地中海方面聯合軍司令官アレキサンダーは同方面聯合軍航空隊を解體する旨三十日言明した、これにより同航空隊の英國部隊は地中海方面英航空隊司令部に復歸することになるが、聯合軍航空隊は一九四三年十二月に創設されたものである

ゲーリング病む

（リスボン二十九日發）パリ來電＝聯合軍當局は二十八日左の通り發表した

元ドイツ空軍元帥ゲーリングは去る五月逮捕されて以來、屢々心臟病の發作に襲はれてゐたが最近の發作が相當激しかつたため當局はゲーリングをルクセンブルグ、モンドール・レ・ベンの戰爭犯罪者收容所病院に入院させた、軍醫の報告によれば右の發作はゲーリングの生命に直接の危險を及ぼすものではなく、從つて同人の裁判には別に差支へないといふことである

ルントシュテツトも入院

（リスボン二十九日發）ロンドン來電によればウインダーミアの俘虜收容所に收容されてゐたフォン・ルントシュテツト元帥は今回「診斷のため」息子のハンス中尉と共にハートフォードシャーのシエンレイ陸軍病院に移送されたといはれる

獨軍損害四百萬

（チューリツヒ三十日發）第二次歐洲大戰におけるドイツ軍の損害實數については種々の理由から判然としなかつたが、聯合軍當局がフレンスブルグにおいてドイツ軍司令部宣傳部長ヘルマン・ライネツケ大將の住宅から發見した秘密文書によれば、一九三九年九月一日から一九四四年十一月三十日までのドイツ軍の損害はつぎの通りといはれる、但し戰列に復歸した負傷者は含まれてゐない

△總　數　四百六萬四千四百三十八名
△戰　死　百九十一萬千三百名
△行方不明　百四十三萬五千八百五十三名
△捕　虜　二十七萬八千二百一名
△負傷による兵役免除　四十三萬九千八十四名

また同文書によれば昨年十月現在病院に收容されてゐた傷病兵の數は七十七萬四千百四十八名で空襲による市民の被害は

△死　亡　六萬四千名
△行方不明　一千名

で叛逆罪乃至は脫走の罪によつて處刑されたものの數は九千名といはれる

佛軍損害發表

（チューリツヒ三十日發）パリ來電＝フランス政府は聯合軍のノルマンデー上陸以來歐洲戰終了當日までのフランス軍の損害を二十九日つぎの通り發表した

△總數　五萬七千四百八十六名
△內譯
戰　死　一萬千八十名
行方不明　四百四十名
負　傷　四萬五千九百六十六名

昭和二十年八月二日(木)
第三五〇一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　國】

共産黨再發足

(リスボン三十日發)ニューヨーク來電＝共産主義政治聯盟代表七十三名はニューヨークで大會を開催中だつたが二十七日正式に政黨として共産黨を再建する旨發表した、米國共産黨は昨年秋當時の共産黨書記長アール・ブラウダーの提唱により解散、これに代り共産主義政治聯盟を結成して政治運動の第一線から手を引き今日に至つた、大會代表は共産黨再建の聲明において聯盟總裁ブラウダーの日和見的態度を痛烈に攻撃したが、結局ブラウダーは引退し再建共産黨首は副總裁ウイリアム・フオスターに落着くものとみられる

米英の赤化を警告

(リスボン二十九日發)ニューヨーク來電＝民主黨下院議員ジョン・ランキンは二十八日米英兩國の最近の國内情勢から推して兩國が急速に赤化の動向を辿つてゐることを指摘次の通り述べた

英國の總選擧はあらゆる豫想を覆へして勞働黨の壓倒的勝利となつた、一方米國でも共産主義者達は今回新たに共産黨を再建した、勞働黨の勝利といひ、或ひは共産黨の再建といひ、いづれも同じ方向に動く大きな流れの一波紋に過ぎない、英國はたしかに赤化への方向を辿つてゐる、米國は今次大戰によつて世界の指導權を確保したが、この指導權が外國の異つた主義によつてみすみす破壞されるのを許してはならぬ

亞、西兩國を攻撃

(リスボン二十九日發)ニューヨーク來電＝NBCは國務省後援の下に二十八日政界の有力者による外交政策に關する特別放送を行つたが、これに出場した共和黨のボール、民主黨のマグナツソン兩上院議員がアルゼンチン、スペイン兩國にたいする壓迫政策の强化を强く主張したのが注目された、まづボールはアルゼンチンにたいして米國が經濟壓迫政策をもつて臨むことを主張し「もし米國がアルゼンチンとの貿易を六ケ月間停止するならば、ペロン政權は必ず崩壞しよう」と述べ、またマグナツソンは特にスペインにたいする强硬政策の適用を主張して次の通り演説した

スペインに正統な民主々義政權が生れるまで、米國はスペインとの國交を斷絶すべきだ、樞軸勢力を全世界にわたり擊破してしまはぬ限り眞の勝利を得たといふことはできない、特に米國はスペインとアルゼンチン兩國にたいして斷乎たる政策をとる必要がある「小ファシスト」達を彈壓するために米國は武力行使その他の干渉政策をとる必要はない、政治的並びに經濟的措置が十分この目的を達成してくれるだらう

ブラックリストを改訂

(リスボン二十九日發)米國のアルゼンチン壓迫政策は政府主腦部の交代後も依然變ることなく、ワシントン來電によれば國務省は二十八日南米において樞軸國の戰爭目的に奉仕した商社並びに個人のブラックリストの改訂を發行、同時に國務省のアルゼンチン問題專門家は公式文書において

戰後は南米諸國政府から全體主義色、特にファツシヨ的軍閥獨裁主義を一掃するやう不斷の努力を行ふべきである

と述べたといはれる、新ブラックリストではアルゼンチンから百三十四商社の名前が削除され、三十六商社の新顏が加へられてゐるが、國務省當局の言によれば削除された者の大半は既に事業を行つてゐないといはれる、一方チリの二百八商社及びペルーの八十五商社もブラックリストから削除された

軍事協定は別個に處理

(リスボン二十九日發)ワシントン來電＝上院は目下桑港會議で決定された國際憲章を審議中だが大統領トルーマンは二十七日上院臨時議長マツケラー及び外交委員長コナリーに書翰を送り、國際憲章の決定する軍事取極めは憲章とは別個に條約案としてでなく法案として議會の承認を求める方針なることを明かにした

トルーマン復員問題を語る

（リスボン三十日發）ベルリン來電＝大統領トルーマンは二十九日ポツダムで、米國陸軍前線新聞「スターズ・アンド・ストライプス」紙の記者と會見、米國陸軍兵士の復員問題に就いて次の通り言明した

「米占領軍兵士は情勢の許す限り出來るだけ早く本國に歸還させる筈だが、現在のところでは治安維持の必要からこれが急速に實現するとは考へられない、しかし歐洲の占領は「一時的」だから歸還兵士の問題は意外に早く解決出來ると思ふ、陸軍は從來の點數制を繼續して點數の少い兵士を點數の多い兵士と交代させる筈だ、余自身は歐洲に兵士の家族を呼びよせる案には反對だ、本國に歸還する兵士には適當な職業が與へられることになつてゐるからこの問題については心配は無用だ、政府の機關も、十分の方策を取ることになつてゐる」

米陸軍喪失數

（リスボン二十九日發）ワシントン來電＝陸軍省は二十八日、開戰以來四月三十日までの陸軍の除隊並びに兵員喪失數を百八十八萬三千名と發表した、うち除隊兵員は百三十三萬六千で戰死、捕虜並びに行方不明、その他の理由による喪失數は總計五十四萬七千名である

スチムソンの退陣を要求

（リスボン二十九日發）大統領トルーマンはポツダム會談から歸還後第二次の內閣清掃工作を行ふのではないかと豫想されてをり陸軍長官スチムソンが目下この工作の對象として噂に上つてゐるがワシントン來電によれば民主黨下院議員ランキンは二十日、下院においてスチムソン並びに陸軍次官パターソンの卽時罷免を執拗に要求して注目を惹いた、ランキンは

スチムソンとパターソンは米陸軍兵士に「共產哲學」を植えつけてをり、下院の非アメリカ活動調査委員會は一般陸軍兵士から陸軍に共產主義思想を抱く兵士を入れて軍隊の赤化を圖つてゐるとの抗議を絕えず受けてゐると非難したが、ランキンの同僚下院議員もこの事實を肯定して「洵に不幸な事件だ」と述べてゐる

【東　亞】

王世杰外交部長に

（リスボン三十日發）重慶來電＝重慶政權は宋子文の後任として宣傳部長王世杰が外交部長に就任した旨三十日發表した

東亞の紛糾を豫想

（リスボン二十九日發）重慶政權行政院長宋子文は「日本は今後六ケ月以內に擊破されよう」と彼一流の強がりを述べたが、ニユーヨーク來電によれば、二十八日の「ニユーヨーク・タイムズ」紙は宋子文の右言明を反駁しつぎの通り論じてゐるといはれる

「宋子文のかかる確信は最近の東亞の戰況並びにトルーマン、チヤーチル、蔣介石三者の對日共同聲明によつて生れたのだらうが、しかしかかる樂觀論は常に非常に危險であることを知らねばならぬ、しかも東亞におけるあらゆる複雜な問題がモスクワ會談とか三頭會談とかによつて全部解決されようなどと期待することもとんでもない間違ひである、結局東亞問題の解決にはソ聯、重慶兩國が廣汎な諒解に達することがまづ第一に必要だが宋子文によればソ聯、重慶間の交涉はこの方向に向つて進んでゐるかのごとくであり、支那の統一と東亞の平和との希望はこの交涉の如何にあるといつていい」

第十四航空隊の一部沖繩へ

（リスボン二十九日發）マライ來電＝極東航空隊司令部は二十八日次の通り發表した

支那基地の第十四航空隊から再展開した爆擊隊は現在第七航空隊司令代將トマス・O・ホワイトの指揮下において作戰中である、沖繩基地に到着したのは七月二十一日の正午だつたがそれから六時間後には同爆擊隊の六機が本州より支那沿岸に亙る夜間爆擊に參加した

昭和二十年八月二日(木)
第三五〇一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【科學情報】

グラマン武裝强化

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國海軍省はグラマンの武裝强化に關し次の通り發表した「現在日本々土を攻撃中の快速空母機動部隊に屬するF6Fは二〇粍航空機加農砲二門並びに〇・五吋機銃四挺を有する、この裝備は從來の〇・五吋機銃六挺といふ基準裝備に代るものだ、既に空中戰が少くなり、對地機銃掃射が多くなつた結果日本攻撃の戰鬪機には二〇粍加農砲の方が適することになつたのである、戰場が本土に近づき、海軍航空兵力の使命の變化に伴つてこの改良をみたわけだが、二〇粍砲彈は〇・五吋機銃彈に比すれば、はるかに破壞力大で鐵道の如き地上施設の攻撃に使用される」

ムスタングの改良型

(リスボン三十日發)イングルウツド(カリフオルニア州)來電=ノース・アメリカン航空機會社は二十六日次の通り發表した
目下太平洋作戰に參加すべく待機してゐる新型ムスタング戰鬪機の正式呼稱はP51Hで米國の有するプロペラ式航空機のうちでは最も速度が早い、同機は太平洋戰域における戰鬪狀態に適應した速度、航續距離、上昇限度において在來の戰鬪機よりも優秀なものをとの陸軍航空隊の要求に基き設計され、翼下に十發の「零レール」ロケツト彈を搭載した結果驅逐艦の偏絃齊射に匹敵する破壞力を有するに至つた、在來のムスタング機に比し上昇速度は二六%、航續距離三七%と向上を示し全長において十%長くなつてゐるにも拘らず重量は七百封度を減じてゐる

世界最大のヘリコプター

(リスボン三十日發)フイラデルフイア來電=有限責任PV工學會社は海軍省許可の下に次の通り發表した
本社は海軍航空局との契約に基き世界最大のヘリコプターを設計製作し、二十三日その各種飛行試驗を終了した、ヘリコプターとして或る程度の搭載力を有し經濟的に實用に適するものが出來たのはこれが最初で、あまり遠距離でなければ乘員二名の外に十名を輸送し得る、回轉翼は機體兩端に一組づつあつて直徑百呎の狹い範圍に着水陸出來る

敵の浮き飛行場

(ストツクホルム二十九日發)ロンドンの「オブザーヴア」紙が二十八日傳へるところによれば、聯合軍は今次大戰中「浮き飛行場」の實驗に成功したといはれる、實驗の場所は明かでないが「浮き飛行場」は長さ約七百米に達する場合もあり、數個の浮函を緊密に連結して構成、連結部分は波の動きに從つて自在に曲るやうになつてゐる

四百萬弗のペニシリン工場

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國商務省は左の通り發表した
約四百萬弗と見積られる世界最大のペニシリン工場が目下英國のリヴアプール近郊で建設されてゐる、この工場の設立に當つては米國の諸製造業者が全面的に協力し、米國式の企圖に基いて設計された

ペニシリン發見者に博愛賞

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國博愛顯彰會は二十五日夜ペニシリンの發見者フレミングを晩餐會に招き、一九四四年度の「博愛賞」を授與したが、三頭會談に出席中の大統領トルーマンは同夜遙々ポツダムから親書を寄せ、フレミングを「全世界が測り知れぬ感謝を捧げねばならぬ人」だと激賞した

フレミングに基金提供

(リスボン三十日發)ペンシルヴアニア來電=米國のペニシリン製造業者はペニシリンの發見者フレミングのために研究基金八萬弗を寄附したが、同基金はペンシルヴアニア大學が管理することに二十七日決定した、同大學が基金管理に選ばれたのは副總長アルフレツド・N・リチヤーヅ博士がペニシリン研究の先驅者として商業的生産計畫の先鞭をつけ、ペニシリンの發達に重要な貢獻をしたことに敬意を表したのである

資料

アルゼンチンの國内紛爭

―チューリツヒ七月二十三日　堀口特派員―

最近アルゼンチンにおける國内情勢の緊迫化が傳へられてゐるが、エキスチエンヂ・テレグラフ通信社のロンドン電報によれば、「デーリー・メール」紙のモンテヴイデオ特派員は緊迫化しつつあるアルゼンチンの國内情勢については、米國が深く係り合つてゐる政治的策動だと見るのが一般の傾向である

と報じ、英國各方面の注意を惹いたといふ、これに關聯して想ひ出されるのはブエノスアイレス駐劄米國大使ブレイデンが六月二十日同地の英國商業會議所で、「アルゼンチンは未だに樞軸國の利益や破壞的行動を取り除いてゐない」と露骨に語り、續いて二十六日、米國務次官補クレイトンがワシントンから「アルゼンチンは國内に浸透して來るドイツの經濟的勢力を一つとして放逐してゐない」と毒づいたことだ、一方アルゼンチン外相代理アメヒーノは六月二十七日米國側の聲明に抗辯したが、このアルゼンチン政府の「意思表示」も「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙にいはせると全く弱腰なもので、感情を傷つけられたことに對する下平の表明と、アルゼンチン政府がチヤプルテペクの取極めを實行する意圖を持つ旨申し立てたに過ぎないものださうである

かうした事件の後米國紙の通信員は極端に攻撃的な電報を出すやうになり、遂には何人かの米人記者が無記名の脅迫狀を突きつけられる騒ぎになつたと「デーリー・メール」紙は報じてゐる「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙のジョーゼフ・ニューマンもその一人で、ニューマンは危害を加へられるのを恐れて米國大使館に逃げ込んだださうだ

アルゼンチンの國内情勢について「デーリー・メール」紙は

アルゼンチンにおける緊張狀態はペロン一派と有力な政治家並びに學生の支持を受けてゐる商業、農業會社との對立で最高潮に達してゐる

と報じてゐる

また「タイムズ」紙は七月三日、政府と資本家及び地主階級との抗爭の激化を傳へ左の通り述べてゐる

勞働者は政府を支持してゐる、政府は資本家が勞働階級の福祉を圖る政府の方針に反對して反政府運動を起したと責め、他方商工業組合の執行委員會は政府を非難して、閣僚が或ひは口頭で、或ひは文章で雇傭主を攻撃し、階級鬪爭のお先棒を擔いでゐるほか政府は年々百パーセントの利益を收めてゐる大會社を表にして撒布したといつてゐる、これに對して政府はまた國民の生活費を釣り上げたのは資本家だとやり返してゐる

以上のやうな咫み合ひを前にして一般の民衆はどんな態度でゐるか、「デーリー・メール」紙によれば抗爭の唯一の裁決者たる彼等は目下何れの側を支持したものかと迷つてゐるさうだ、アルゼンチンで最も有力な急進黨はペロン一派の軍閥政府に反對し、ペロンの社會政策は我慢のならぬ挑戰だといきまいてゐる、六月三日數百人の女がブエノスアイレスの警察司令部をとり卷いて口々に拘引された男子の消息を聞かせて呉れと騒いだ事件が起つたが、市中には政治犯が拷問されたとか死刑に處せられたとかいふ噂が流布されてゐる

「デーリー・メール」紙は「アルゼンチンにおける政情不安の背後には米國の大企業が潜んでゐるらしい」と大膽にいつてのけ大向ふを唸らせたが、「タイムズ」紙はペロンの社會政策を友好的な筆致で紹介してゐる、このことは英國財界のヂレンマを表すものに外ならない、彼等はアルゼンチンに深い利益關係を持つてをり、從つて英國投資家の利益を損ふやうなアルゼンチン政府の施策は支持したくないのである、同時に彼等はアルゼンチンの政爭が結局米國企業家の命令に諾々たる傀儡政權の樹立に終ることを望んではゐない、殊に戰爭が終つて世界市場の爭奪戰が激化する場合、アルゼンチンに米國財界が覇を唱へるならば英國の權益はさらに大きな打撃を蒙ることとならう

アルゼンチン政府が樞軸國を支持してゐると稱して政府の打倒を圖る米國の策略は典型的な敵本主義で、ペロンの進歩的社會政策に關する是非の論はアルゼンチン政府が親ファッショ的だといふ非難の聲に蔽ひ隱されてゐるが、實際アルゼンチン政府は米國の大企業に矢面を向けた國家主義政策を遂行すべく努力してゐるのである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月三日(金)　第三五〇二號

同盟通信 海外電報

編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

今回の總選擧で保守黨は空前の慘敗を喫し、グラツドストーン以來の傳統を誇る自由黨は抹殺されて了つた、いふまでもなく勞働黨の社會主義綱領が英國民の支持を受けた結果に違ひないが、もう一つ社會生活が些も改善されないのに對する英國人の不滿が爆發した結果ではなからうか、五月以降英國の勞働爭議が急激に增加してゐることは勞働省の統計が示すところだが、「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン特電はつぎの通り報道してゐる

「歐洲戰爭が終了した結果、いろいろな制限が取除かれたことは結構だが、食糧品店の前の行列は日增しに長くなるし、電話も悪く一日六回位間違つた電話がかかつて來るのも珍しくない、洗濯屋は一週一回のが一月一回となり、電報は十八時間以上もかかるし、コーヒーはなくなる、靴一足の修繕に八週間はかかる有樣、十ケ月前に注文した年鑑は八月にならないと出版の運びに至らず、洋服を拵へるのに八ケ月はかかる、そこで牧師さんの奥さんが先達になつて「反行列騒ぎ」を起し食糧省に對して何時になつたら行列がなくなるかと詰問したところ、なかなか複雜な問題ですからねと返事するばかりだ、勞働省は住宅建設に十萬人の人手が要るといふし、民需産業部門も人手不足を訴へてゐる、結局政府は年末までに七十五萬六千人を除隊させることに決定したが、勞働黨内閣も内政上重大懸案山積の有樣だ」

歐洲戰爭がすんだ現狀で英國人に今まで同樣の粘りと隱忍とを要求することは出來ない、冬を控へて英國政府は歐洲戰爭の後患に手を燒くに違ひない、總選擧の結果についてロンドン各紙の傳へるところも要するに保守黨の無策に對する反撥といふに意見一致してゐるが「デーリー・メール」紙によれば保守黨内にはビーヴアブルツク卿を中心とする「チヤーチル・サーカス」の選擧運動に對し今更の如く非難の聲が高いといふ、ポール・アインチツヒはまた「フアイナンシアル・ニユーズ」紙上で、勞働黨内閣がブレトン・ウツヅ協定を承認するかどうかを問題にしてゐる

ワフド黨强硬要求

(リスボン一日發)カイロ來電＝エヂプトのワフド黨事務當局は三十一日次の通り言明したワフド黨は英國政府に覺書を送り、エヂプト國内からの外國軍隊の撤收、並びにスダン地方のエヂプトへの引渡しを要求した、黨は同時にエヂプトに對する財政經濟上の制限を撤去せよとの要求をも提示した

【目　次】

三頭會談大詰に入る……二一六六
獨管理につき取極め成立か……〃
ソ聯嚴重管理を要望……〃
塊政權分割占領に反對……二一六七
伯林フランス占領地帶決定……〃
ヒトラー總統生存か……〃
ソ聯の獨工業再建政策……〃
白國會の内部抗爭激化……二一六八
瑞典新内閣成立……〃
米軍歐洲殘留資材……〃
ラヴアル捕はる……〃
ペタン公判第八日目……〃
米共產黨首はフオスター……二一六九
敵國財產賣却法案……〃
農務省食糧報告……〃
ベルー新大統領就任……〃
濠の抗議に讓歩……〃
トルーマン英國王と會見か……〃
英自由黨聲明發表……〃
宋子文の離任に米唖然……二一七〇
スパーツ着任……〃
重慶に軍政學校……〃
B32の性能を發表……〃

【資　料】

ドイツ敗れず……二一七一

米イラク武器貸與協定

(リスボン一日發)ワシントン來電＝米、イラク兩國間の武器貸與協定は一日ワシントンに於て調印された、國務省發表によれば對イラク協定は從來の武器貸與諸協定と同樣のものであり更に今回の協定には兩國間の友好關係確認を公式化する交換文書をも包含してゐる

三頭會談大詰に入る

（リスボン一日發）ポツダムの米英ソ三國首腦は一日午後長時間に亙つて會議を續行したが、三頭會談は一日をもつて愈々終幕に入つた樣子で、ロイター電報によれば英國首相アトレー、外相ベヴインは二日ロンドンに歸還、トルーマンも同日ロンドンを訪問して英國王ジョージ六世に謁見、會談の公報は二日夕か三日朝に米英ソ三國首都において同時に發表される豫定と傳へられる

獨管理につき取極め成立か

（リスボン一日發）英國總選擧のため三頭會談が中絶を餘儀なくされた當時には、殆どあらゆる問題に關し三國首腦間に明瞭な意見の對立があつたへられてゐたが、アトレーの登場以來會談は順調に進捗し、三頭會談は一日をもつて大團圓の運びとなつた樣子で、ロイター記者ジョン・キムチによれば、ドイツ將來の管理並びにポーランド西部國境について一應の取極めに到達したと傳へられるポーランド問題に關してはポーランド西部國境をオーデル、ナイセ兩河の線まで擴大しシュテッチンをも含めよといふポーランド假政府側の要求をモロトフ外務人民委員が强硬に支持、米英兩國代表と激しく渡り合つた樣子だが、三國間の取極めがポーランドの要求を全的に承認した內容のものがどうかについては判然としない

ロンドンからのロイター電報によれば三頭會談はダーダネルス海峽管理問題、ドイツ賠償問題については具體的な結論に達することが出來なかつた模樣で、以上の問題は三國外相間において討議を續行される豫定と傳へられるが、スターリン議長がトルコとの一方的條約によつて海峽の獨占管理乃至はソ土兩國の共同管理を企圖してゐるに對して、トルーマンとアトレーは飽くまでも國際管理を主張して讓らず、賠償問題についてはスターリン議長はソ聯がドイツから持出した機械類、家畜その他は賠償の範疇に入り得ないと强硬に主張したため遂に物別れに終つたといふのがロイター記者の觀測だ

ワシントン來電によれば三頭會談に關し最近ベルリンの檢閱がすこぶる嚴重となつた事實から米國政界消息筋は會談の公報に東亞問題に關する事項が含まれてゐると觀測してソ聯の態度に大きな期待をかけてゐるといはれ、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙の軍事記者エリオット少佐の如きは一日「東亞問題に關して異常に重要な發表が行はれることは確實だ」と稱してゐる

ソ聯嚴重管理を要望

（ストックホルム三十一日發）ポツダム會談における中心議題と目されるものはドイツ管理問題だが、今日までの情報で判斷する限りまだ具體的な協定に到達してゐない樣子だ、ロイター外交記者シルヴェン・マンジョットはスターリン議長が三頭會談においてドイツの苛酷な管理を要求するであらうと十一日次の通り述べてゐる

「確聞するにソ聯代表は三頭會談で米英兩國占領地域においてもドイツ人を嚴格に取扱ひ、ソ聯占領地域と同じ經濟的水準に引下げるやう要求する豫定といはれる、ソ聯はヤルタ宣言に基きナチ分子の肅清とドイツ工業力の破壞を徹底的に推し進めてゐるため、ソ聯占領地域においてはドイツ國民の生活水準は激しく低下し、切實な經濟問題が發生するに至つてゐるが、ソヴエト政府がドイツ東部と西部との間に現在存在する經濟條件の不均衡に疑惑と不安を感じ、聯合國が前大戰後の誤謬を繰返しドイツをして工業的に再軍備を可能ならしめるのではないかと憂慮してゐることは明瞭だその問題については二つの解決法がなりたつ

一、ソ聯と米英占領地域との間にある「支那の長城」を維持し、米英ソ三國とも獨自の方式でドイツの經濟的政治的解體を實現する

一、米英ソ三國が統一した管理方式を實施して、米英ソ三國占領地域內の生活條件を漸次引き上げる

既にベルリンにおける實驗は第二の解決法が適當なことを示唆してをり、ソ聯當局はその全國的實施を提唱してゐる、この點に關する米英兩國の態度は判然としないが、ドイツの經濟的統一が一日遲れれば、それだけ聯合國の政策を統一する機會が遠ざかるといふのが消息筋の一致した見解だ」

昭和二十年八月三日(金)
第三五〇二號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【ドイツ管理】

墺政權分割占領に反對

(リスボン三十一日發)ウイーン來電=ウイーン合同管理本部は三十日同市の共同占領を開始、三十一日會議を開催して、米英ソ佛四國の各占領軍司令官が十五日交代で合同管理最高司令官の地位に就き、爾餘の三國占領軍將校を幕僚とすることに決定した、他方ウイーンの共同占領實施によりソ聯の屈押しするレンナー政權は事實上有名無實の存在と化したが、同政權の首相カール・レンナーはウイーンの共同占領に對して明確に反對の意思を表明し、三十一日次の聲明を發表した

ウイーンを別個の占領地帶に分割することは不可能である、分割占領の原則はナチ分子の處罰を大いに妨害する、なぜならば米英ソ佛四國占領地帶においてはナチ分子の處分につき相互に異つた方式を採り、結局何らの統一もみられないからだ

伯林フランス占領地帶決定

(リスボン三十日發)ベルリン來電=聯合國ドイツ管理々事會は三十日アイゼンハワー司會の下に會議を開催、英軍政長官モントゴメリー、ソ聯軍政長官ジューコフ元帥、フランス軍政長官ビエール・ケーニツヒが出席してベルリンのフランス占領地帶を決定した、その他の決定事項次の通り

一、理事會の議長を月毎の輪番制とし、アルファベツト順卽ちアイゼンハワー、ケーニツヒ、モントゴメリー、ジューコフの順で司會役をつとめる

一、理事會は月の十、二十、三十日の三回開催するほか、理事會成員の要請により必要の場合は臨時に開催する

ヒトラー總統生存か

(リスボン三十一日發)ベルリン來電=大ベルリン地區合同管理本部のソ聯代表アレクサンドル・ゴルバートフ大將は三十日記者團と會見、つぎの通り言明した

一、ナチ地下組織の攪亂行動は依然として行はれてゐるが、漸次下火の傾向にある「羊の皮を被つた狼」達はベルリンを平常の生活に復歸させようといふ赤軍の努力を妨害しようと努めてゐるが、多くの場合徒勞に終つてゐる

一、ヒトラー總統が生存しどこかに潛伏してゐる可能性は依然存在する、總統が死亡したといふ明確な證據はまだない、併し生きてゐるとしても、總統はソ聯の占領地域には絕對にゐない、一部の者は總統が死亡したと主張し、他の者はまだ生きてゐると稱してゐるが、前者は民衆に總統が死んだと思ひ込ませて總統の行方搜索を中止させやうと圖つてゐるのであり、後者はナチ黨員を元氣づけ、ナチズムを維持しようと狙つてゐる譯だ

一、過去三ケ月間における大ベルリン地區の復興狀況については映畫館百六十二、劇場とナイトクラブ九十五、學校五百二十八、圖書館百五十が再開され、電力、水道、乘合自動車、地下鐵の修理復舊も大いに進捗してゐる

ソ聯の獨工業再建政策

(ストツクホルム三十日發)ベルリン來電=「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙特派員はソ聯のドイツ工業再建政策に關し二十九日次の通り報道してゐる

「ソ聯占領軍司令官ヂューコフ元帥は二十九日赤軍機關紙を通じ、ドイツ國民に向けソ聯占領下の地域において完全な乃至は部分的に完全な施設を有する一切の工場は八月十五日までに生產を再開すべき旨の布告を發した、しかしドイツの大工場が大部分赤軍當局によつてその機械類を沒收され生產再開の餘地がない現狀に徵し、右布告は專ら小規模な輕工業に適用されるものとみられる、以上は布告文中に「一切の工場」とある反面固形及び液體燃料、電力、人造肥料及び他の諸工業に對する原料資材、未成品等を生產する工場を特に擧げてゐる點からみても明かだ、生產再開の曉には製品は占領軍部隊が買上げる他、諸工場、一般市民に對し一九四四年の物價水準で拂ひ下げられる豫定だ、工場主は所定の期限までに生產に着手しなければならぬ責任があり、また各州知事及びベルリン地區の市長は各工場に原料、資材、燃料、電力輸送力勞力等を提供すると共に勞働者に對し食料の割當を斡旋する責任を有する」

【歐　洲】

白國會の內部抗爭激化

（ストツクホルム三十一日發）ブリユツセル來電＝ベルギー上下兩院は過般激論の後、國王レオポルドの復位反對を表明するヴアン・アツケル政府の法案を可決したが、國王を支持するカトリツク黨の上下兩院議員は三十一日會議を開催、野黨の陣營に加はつて飽くまで政府と抗爭する旨の聲明を發表した、アツケル政府のカトリツク黨閣員六名は過般同黨大會の決議によつて連袂辭職を餘儀なくされたが、アツケル首相は以上の六名に對して內閣に復歸するやう說き伏せにかかつてをり、カトリツク黨の上下兩院議員團は以上の六名の內閣復歸を斷乎阻止する決意を表明したといはれる從來カトリツク黨は上下兩院において第一黨の地位を占めてきたが、去る六月二十一日カトリツク黨內の急進派は脫黨して新たに基督敎人民黨を組織、社會、自由、共產三黨の國王の復位反對戰線に參加したためカトリツク黨の勢力は急激に凋落してゐるが、依然として國民の間に根强い影響力を有してゐるため、國會內部の兩派の對立抗爭が一段と熾烈化するは必至とみられるに至つた

瑞典新內閣成立

（ストツクホルム三十一日發）スウエーデン首相ペル・アルビン・ハンソンは國王グスタフ五世の要請に基き、三十一日社會民主黨內閣を組織した外相はエステン・ウンデンである

米軍歐洲殘留資材

（リスボン二十九日發）ワシントン來電＝米陸海軍餘剩資產整理委員トマス・マカビーは歐洲における米軍の殘留裝備について調査するためロンドンに赴くが、出發に先立ち二十七日「米軍が歐洲に殘置した餘剩資材のうち賣却し得るものは總額十億弗にも達しないであらう」と語つた、但し以上の數字は歐洲占領軍若しくは太平洋への再展開部隊が使用しない資材の三〇％についての概算に過ぎず、固定施設、武器類その他民需用として利用價値の少い資材は除外されてゐるといはれる

ラヴアル捕はる

（チユーリツヒ三十一日發）パリ來電＝スペイン政府の手によつて監禁中であつた元ヴイシー政府首相ピエル・ラヴアル夫妻は三十日空路バルセロナを出發したところ途中機關故障のため引返したが、三十一日再びドイツ人二名操縱のユンカー機によつてバルセロナを出發、オーストリア領リンツ附近ホルシングに着陸、同地方駐屯の米軍に捕へられ直ちにフランス側に引渡された、直ちにパリに護送される豫定である、同人はマルセイユ裁判所で既に缺席のまま死刑を宣告されてゐるがパリ政府ではペタン公判の後高等法院に同人の再審を行ふことになつてゐる

ペタン公判第八日目

（リスボン三十一日發）パリ來電＝ペタン公判第八日目は被告側證人の證言に入り第一にフランス敗戰當時のフランス國軍最高指揮官マクシーム・ウエイガン將軍の證言があつたが、右終つてのちペタン元帥は公判開始以來始めて口を開き

自分にはよく聞きとれなかつたが、聞へた範圍ではウエイガン將軍の證言は全く余と同意見である

と陳述した、ウエイガン證言要旨左の通り

余は未だかつて政治的野心は持つたことがないレイノーが余の愛國心を問題とする何の權利があるか、余はレイノーの招きによつて一九四〇年フランス軍の最高指揮官に就任したのだ、その彼がいま余の愛國心と名譽とを非難しつつあるのだ、余の提出した對獨作戰にレイノーは全面的に贊成したではないか

休戰の口火を切つたのは余であると彼等はいふが一九一八年の休戰の情景を知る余にどうして一九四〇年の休戰を承認し得るか考へてみるがよい、余が休戰の言葉を始めて聞いたのは一九四〇年五月一部の閣僚からであつた、ペタン元帥は決して余に戰を止めねばならぬとはいはなかつた、ペタン元帥がたとへいつたとしても余はこれに反對したであらう

昭和二十年八月三日(金)
第三五〇二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　洲】

共産黨首はフオスター

(リスボン三十日發)ニューヨーク來電＝米國共産黨は三十日をもつて三日間にわたつた全國代表大會を終了したが、最終日に共産主義政治聯盟の副總裁だつたウイリアム・フオスターを共産黨の全國委員長に選出した

敵國財産賣却法案

(リスボン二十九日發)ワシントン來電＝上院議員マツカランは二十七日、外國資産管理局に一切の敵國財産、乃至は敵國民の所有財産を賣却し、その賣上金を國庫に納入することを許す法案を上程した

農務省食糧報告

(リスボン三十日發)ワシントン來電＝米國の食糧不足は政府當局躍起の對策にも拘らず依然として改善の兆をみせてゐないが農務省は二十八日食糧不足の現狀を説明した要旨左の報告を發表した

「一般市民の食糧不足を緩和するに足る程度の十分な食糧の供給が行はれる見込みは今後少くとも十二ヶ月間はない、本年の食糧生産額は昨年に比し三乃至四%減とならう、減少の豫想されるのは主として家畜、家禽を供給源とする食糧で、穀類の收穫は大體昨年と同程度にならう、從つて不足するのは肉類、脂肪、油類、砂糖、牛乳、鷄卵、罐詰果實、野菜等であり、その他食糧の供給は一般市民の榮養水準を維持し得るだけの量を確保出來るだらう

要するに一九四五年における米國の根本的食糧事情を左右するものは配給問題であり、戰前より二分の一方增加した民需、軍需並びに輸出用食糧を全部みたすために食糧をいかに配分するかにある、農務省は不斷にこの三方面からの需要を睨みあはせて、食糧の供給對策を練つてゐるが、本年の食糧配給割當は大體次の通りとならう

國内民需、七七%、軍需、一七%、武器貸與により國外に輸出するため並びに市民救濟用として農務省の買上げ分、四—五%、商業用輸出額、一—二%

この割合は一九四四年では次の通りだつた

國内民需、八〇%、軍需一三%、海外輸出、七%

かくて本年の一人當り民需用食糧は昨年に比し大體五%方減少することが豫想される」

ペルー新大統領就任

(リスボン二十九日發)リマ來電によれば去る二十一日、ペルー大統領に任命されたホセ・ルイ・ブスタメンテ・リヴエラ博士は二十八日就任したといはれる

【英　帝　國】

濠の抗議に讓歩

(リスボン三十一日發)シドニー來電＝濠洲外相エヴアツトはポツダムで發表された對日宣言に關し濠洲が何等の相談を受けなかつた點を不滿として米英重慶側にたいし抗議を行つたが、濠洲政廳當局は右に關して三十一日つぎの通り言明した

抗議の結果濠洲政廳は滿足すべき回答を受理し、將來は濠洲の同意なくして重要決定は行はれぬことになつた

トルーマン英國王と會見か

(リスボン三十一日發)ボツダムからのロイター電報によれば、トルーマンは三頭會談終了後直ちに空路プリマスに向ひロンドンで國王ジョージ六世と會見することになつたといはれる、トルーマンは會見後プリマスから巡洋艦オーガスタで歸路に就く筈である

自由黨聲明發表

(リスボン三十一日發)ロンドン來電＝英國自由黨は今回の總選擧で三百七名の候補者中僅か十二名が當選したといふ慘敗振りであつたが、黨本部は三十一日夜次の聲明を發表した

英國自由黨は斷じて他の政黨の活動の中に自己を沒却してはならない、わが黨の任務は近い將來政黨活動を再建し、その組織を强化することでなければならぬ、わが黨は豫期に反して壓倒的敗北を喫した、併し二百十五萬票がわが黨に投ぜられたことは意を强くするものがある

【東　亞】

宋子文の離任に米啞然

（リスボン三十一日發）重慶行政院長宋子文が外交部長の兼職を解かれたことは宋の本領が寧ろ重慶政權の新外交政策推進にあるとみられてゐた際であり、また特に宋は過般の桑港會議に出席し、更に米國政府との間に重慶インフレ對策としての金塊輸入に關する協定を取極めた直後で宋の手腕にたいする米國一般の信用も篤かつただけに、突然の外交部長投げ出しにたいし米國民は極めて奇異の感に打たれたやうである、右につき三十一日ワシントン電は大要次の通り報じてゐる

ワシントン官邊並びに新聞界の宋子文外交部離脫に關する第一印象は「奇怪」といふことであり、解釋に苦しんでゐる態だ、加ふるにスターリン議長宋子文のモスクワ會談は、米英ソ三頭會談のため中斷されてゐるが、宋の離任でモスクワ會談の復活も影響を受ける可能性があるとしてゐる

尤もその後の重慶情報に徵して、ワシントンでも漸次冷靜を取戻したやうだが、外交部離脫事情に對する解釋は依然區々である、或ひは宋の離任は多忙の故に兼職を解いたに過ぎず、從つて單に重慶政權の部分的改造に止まるべく、宋は行政院長の資格において外交政策を指導するであらうとか、又宋は四行聯會總處副主席を兼任することとなつたから、今後は寧ろ財政上の再建及び通貨安定等の工作に專念するだらうとしてゐる

スパーツ着任

（リスボン三十日發）グアム島來電によれば、今回新たに太平洋戰略航空隊司令官に任命されたカール・スパーツは三十日グアム島基地に到着したといはれる

重慶に軍政學校

（リスボン二十九日發）重慶來電＝ウエデマイヤー司令部は二十五日左の通り發表した

日本軍からの解放地區復興準備の一部として國民政府軍事委員會直轄の軍政學校が開設された

同校は米國ヴアージニア州シヤーロツツヴイルの米國陸軍軍政學校の組織を模範とし、既に英語で授業を開始してゐるが、米國陸軍省は國民政府當局から歐洲並びに太平洋方面で軍政に關係した經驗を持つ將校を教師として招聘したいとの要請を受けてゐる

【軍事情報】

B32の性能を發表

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝米國陸軍省は二十八日コンソリデーテッド社製作の重爆B32ドミネーター機が太平洋戰域にはじめて出動した旨發表したが、續いて同日B32の性能をも相當具體的に發表した、B32は米國陸軍當局がB29と共に長距離爆擊用として數年前から試作にかかつてゐた超重爆機だが、B29に遲れること一年以上にして今回漸く戰場に初登場したものである、B29がB17空の要塞機を大型にしたものであると同樣、B32も目下米國軍が盛んに使用してゐるB24リベレーター機を改良大型化したもので、陸軍省はB32の性能發表においてB29及びB24との性能を比較して發表してゐるが、新超重爆擊機はB29に比較すると若干小型である、しかし最も注目に値するのは所要乘組員の數が少ない點でB29の十一名、更に小型のB24が九名乃至十一名を必要としてゐるのに對しB32は八名にすぎず、この點から見てB32最大の特徵は操縱の容易な點にあると考へられる、陸軍省發表のB32の性能及びこれとB29並びにB24との比較次の通り

	△B32	△B29	△B24
翼長	一三五呎	一四九呎三吋	一一〇呎
全長	八三呎一吋	九九呎	六六呎四吋
高さ	三二呎二吋	二七呎	一七呎十一吋
重量	一二萬封度	一三萬五千封度	六萬六千封度
速力(時速)	四八〇粁	五六〇粁	四八〇粁
出力	八八〇〇馬力	八八〇〇馬力	四八〇〇馬力
搭乘員	八名	一一名	九乃至一一名
爆彈搭載量	未發表	二萬封度	千封度
航續距離	未發表	五七六〇粁	二四〇〇粁
武裝	未發表	砲十乃至一二門	機關砲十門

昭和二十年八月三日(金)
第三五〇二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

ドイツ敗れず

「タイム」誌六月二十五日號

△クルップ工場殆ど無疵

「タイム」誌記者ジョセフ・パーテルは先週ドイツ南部及び西部の旅を終へた、彼の使命の一つは實際にはドイツ工業はどうなつたか或ひはどうならなかつたかを調査するにあつた、彼の報告を左に掲げよう

初めてケルン市をみたときには、これほど酷く破壊された都市は他にあるまいと思つた、實際ケルン全市は瓦礫と氣狂ひ染みた恰好の火に焦げた壁だけと化してゐたのだ、ところがデユッセルドルフ市をみるに及んで、これが最惡の場合だと思ひ直した、更にニユールンベルク市を訪れると、またぞろ考へが變はる、結局ドイツの都市といふ都市はみな空軍力によつて無慘に破壊されてゐるから一都市が他の都市よりも多少多くの家屋を破壊されたかどうかは、どうでもよい問題だと思ふやうになる

しかしながら空軍力は多くのアメリカ人が想像してゐるほどのことはしてゐない、すくなくともドイツの工業乃至は第三次世界大戰のための潜勢力を破壊してゐない、空軍當局の説明はかうだ、「精密爆撃は一切の工業を破壊することを念願としてゐなかつた」、いづれにしても聯合國專門家の大部分はドイツ工業の七〇%(あるひはそれ以上かも知れない)が爆撃を免れてゐる事實に漸く氣附き初めた、この事は田舍に點在するか破壊された都市のすぐ外に横る大工場がはつきりと實證してゐる、エッセンの中央部にあるクルップの工場は爆撃とはどんなものかを知る典型的な例だ、それは崩れた壁と捩れた梁と赤錆びた鋼材の廢墟だしかるにラインハウゼンにあるクルップの大鐵工場は事實上無疵のまま殘つてゐる、それに他の諸工場を加へるならばクルップの平準鋼鐵生産高の六〇%を生産することが十分に可能だ

△獨工業の重要性

またレフエルクーゼンのI・G・フアルベン大工場は既に軍政府當局に手持ちの原料資材で多種多様の化學製品を作る許可を申請してゐる、この工場は手持ち食糧で日に六千の勞働者を養つてをり、ウエツラーには約十六市區に跨るほどの大鋼鐵工場がある、軍の言葉によると「工場の周圍は酷く爆撃の被害を蒙つてゐるが、工場そのものは外國人勞働者によつて加へられた損害のほか全く無事息災だ」といふことだ、ドイツに殘つてゐる原料資材特に鋼鐵、アルミニユームのストツクは尨大な量に達してゐる、ドイツが石油に不足してゐたのは周知の事實だが、それ以外には足りぬものはないやうだ、軍當局の計畫によると、ボンだけでも三十萬噸のアルミニユームが貯藏されてゐるといふことだが、これは一九四一年の米國のアルミニユーム生産高に匹敵する、他の工場には百萬噸の鋼鐵が貯藏されてあつた、米軍の一將校は些かあつけにとられた形で「これぢやあドイツの持つてゐるアルミニユームの量について貴方がどんなことをいはうとも無條件で信用しますよ」と長歎息した

聯合軍が進駐したときにはドイツの工場は殆ど殘らず閉鎖されてあつた、現在フランクフルト・アム・マインの管理々事會はドイツ工業機構を再び動かそう(といつてもあまりにも迅速に動かれては困るのだが)といふカメレオン染みた問題と汗だくで取組んでゐる、この破壊されぬ巨大な工業力に手枷足枷をはめておいてはいかぬといふ、いはば宗教的といつてもよい希望があるのだ、しかるに管理々事會はドイツ工業について十分な知識を持つてゐないので、計畫を樹てることが出來ない、しかもドイツ工業を完全に閉鎖することは問題となり得ないのだ、ルール工業地帶の民衆は鋼鐵工場や炭坑なしには生きて行けない、またドイツ以外の歐洲諸國もルールの生産する石炭なしには生きて行けないのである、賠償問題は別として、歐洲の經濟はルールの石炭に依存してゐる、もしもルールの石炭が大量に採られぬならば、フランスやベルギーは自國の經濟を急速に復興出來ない、更にルール地方が飢饉に襲はれたならば、石炭を生産することが出來ぬだらう

△不撓不屈の意思

石炭專門家の大部分が現在考慮してゐる政策は正にドイツ處理案の反對の方向を行くものだ、即ち坑夫に十分の食糧と衣類、快適な住宅を供給して生活を樂しくさせ、必要とする石炭を大いに掘らせようといふのだ（今日のドイツでは高額の賃銀はおよそ無意味なことだ）、また石炭を運び出すためには、鐵道を復興しなければならない、そのためには鋼鐵工場を再開する必要がある、また小規模企業を再開しなければならぬ、とすればいつだ？　誰も知らない、結局再開されぬ危險は大いにある、他方ドイツ人の方は企業を停止する氣持は全くない、五年以上に亘る戰爭を終へた後の彼等の精力と決意は驚嘆すべきものがある、敗戰後のフランスが癱瘓狀態に陷つたやうな無氣力はどこにもみられない、ヒトラーを擔ぎ上げたドイツの工業家達は生産を再開しようとして夢中になつてゐる、彼等は資本も持つてをれば、原料も抱へ込んでゐる、彼等は聯合軍のため武器さへ生産しかねない、エッセンで記者は某工業家と話し合ふ機會を持つた、彼は飾り氣のない部屋で、ヴアイオリンでモーツアルトを奏でてゐた、記者は「エッセンのいまの工場を棄てて田舍へ行き、そこで新たに企業を初めた方が容易だらう」といふと、彼はかぶりを振つて「いや、それは考へてみた、併しエッセンのいまの工場を再建する方がもつと容易だ、電力も瓦斯も水道もその儘になつてゐますからね」といふのである

デユッセルドルフではドイツの工業家達は五年間で全市を復興出來ると稱してゐる、まづ歌劇場や演劇場を建て、市民の恐しい退屈を一掃する、これからあまり壞れてゐないアパートメントを修理し、最後に住宅の建築にかかるといふのだ、ドイツは總力戰の實踐家であつたが、確かに總力的敗北も蒙つてゐない

非人道長距離兵器

七月二十日のエキスチエンジ通信社ロンドン電によれば、上院において長距離兵器に關する討議が行はれた際ブラバゾン卿は次の通り說明したといはれる

「ドイツのV一號は時速五百六十粁を出したが、炸藥は一噸にすぎなかつた、これに對し英國の科學者は比較的重量が少くて相當な破壞力を發揮する炸藥の發明に成功した、今日では既に軍隊に行動の餘裕を與へず長距離兵器をもつて大都市を完全に破壞してしまふことさへ可能である、かかる危險に對して考へられる措置としては國際委員會を設置して常に世界中におけるこの種兵器の準備的行爲をすべて監理するほかはない、かりにこのやうな國際規定が出來ないとすれば、英國が米國と協力して長距離兵器問題を解決し、この分野における權威たる位置を守らなければならない、長距離兵器第一の權威ダーンレイ伯爵自らも「こんな戰爭はただに人道を滅すのみならず全世界を破滅に導くものだ」と述べてゐるが、この方面の動向は常に細心の注意を拂はなければならない、また現在行はれてゐる實驗についていへば、例へば歐洲から對米ロケット攻擊が行はれたとしてその燃料はロケット彈全重量の略々九九%に相當する

既に二十年前から英空軍はラリンクス航空會社と共にV一號と同樣の原理に基き實驗を行つてゐたが、所望の精度が得られなかつたために實驗を中止してしまつた

だが將來の戰爭においては事情がちがつて來る英國の科學者は數年を出でずして長距離兵器が驚くべく正確なものとなることを確信してゐる、從つて將來相當遠いことにしても長距離兵器が大都市を破壞するやうな時代が來るかもしれないと豫言するのは强ち誤りでもあるまい、この新傾向により英國はその地理的な利點を失ひ極めて危險な位置に落されてしまつたわけだ、既に今日においても英國艦隊がそれを十分防ぎ得ると稱することは不可能であり、國際機構により事實上の保護が與へられるまでは、この方面で英國が先頭に立つための努力を惜んではならない、ダーンレイのいふ非人道長距離兵器とは原子爆彈のことだ」

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八　月　四　日(土)
第　三　五　〇　三　號

同盟通信　海外電報　(179)

七月十七日ポツダムで開催された三頭會談は八月一日大團圓を告げ、公報は二日米英ソ三國首都において同時に發表された、われわれが三頭會談の公報で最も興味をひかれるのはドイツ管理問題と東亞問題だが、後者については豫期したやうに一言も觸れてをらず、僅かに「米英ソ三國共通の利害關係ある軍事問題については、三國軍事顧問間に會議が進められた」と述べ、東亞の政治問題については全然言及してゐない

會談が太平洋戰乃至日本について何もいつてゐないからといつて簡單に安心するのは禁物だ、米英ソ三國共通の軍事問題といへば、歐洲戰が完全に終了した現在、東亞における戰爭以外にあり得ない、ソ聯が中立を維持してゐるから東亞の戰爭につき米英兩國と共通の利害關係にあるといふことは出來ないといふ論據はくだらぬ言葉の詮議立てだ、米國側は米陸海空三軍の首腦がトルーマンに隨行して會談に參加してをり、マウントバッテンも會談の中途ポツダムに飛んでゐることは、三頭會談が明確に東亞における戰爭を討議したことを裏書するものだ

勿論三頭會談の公報が對日戰問題に觸れてゐることは宣傳效果を持つから、米國は何等かの形で含めることを大いに主張したであらうし、米國民も期待してゐたであらうが、ソ聯が依然對日戰について無關心だといふ形式を採つたこともまた深い含みがある

歐洲問題についてはドイツ管理問題が三頭會談の中心議題であつたことは異論がないが、しかしながら三頭會談でドイツ管理方式について如何なる具體的統一が齎されようとも、過去三ケ月間に實施されたソ聯の管理政策と米英兩國のそれとの間の喰ひ違ひ乃至對照が深い爪痕を殘さぬ筈はないソ聯が一見ヤルタ方式を固守するやうなみせかけで歐洲問題について獨自の政策を遂行した過去の經驗からみても、ドイツを繞る米英ソ三國關係を律するものは寧ろ三頭會談後の現實の動きにある

米、初めて新聞發行を許可

(リスボン一日發)フランクフルト來電＝米軍政當局は七名のドイツ市民に對し米軍の監督下に、「フランクフルター・ルントシャウ」紙の發行を許可した旨一日發表した、同紙は米軍占領地域において發行を許された最初のドイツ人經營によるドイツ語新聞である

【目　次】

三頭會談終る……二一七四
公報、對日問題には一言も觸れず……〃
五ケ國本部を設置……〃
獨管理計畫は豫想以上に苛酷……〃
チヤーチルへ感謝狀……〃
トルーマン、英國王と會見……〃
アトレー歸國……〃
ラヴアル喚問される……〃
獨賠償額二百億弗に決定か……二一七五
米英レンナー政權を承認せん……〃
ラヴアル歸佛……〃
ペタン公判第九日目……〃
駐米ソ聯大使更迭說……〃
カナダ總督にアレキサンダー……〃
英國に罷業の波……〃
イラン、左翼分子を罷免……二一七六
米イラク防衛援助協定……〃
王世杰外交方針を闡明……〃
重慶「新內閣」の糊塗策……〃
兩國際協定可決……〃
濠洲人の見た渝延關係……〃
太平洋米陸軍異動……二一七七
比島米軍損害……〃
超大驅逐艦進水……〃
英の爲替政策を攻撃……〃
B17生產計畫終了……〃
【特輯】
沖繩以後の太平洋戰局(上)……二一七八
ブラドレー將兵局長官に

(リスボン一日發)ワシントン來電＝米國將兵局は三十日、前第十二集團軍司令官中將オマー・N・ブラドレーが將兵局長官に就任した旨發表した、ブラドレーは既に六月七日トルーマンにより新任務に任命されてゐたが最近歸國、今回正式に就任したものである

三頭會談終る

（ストツクホルム二日發）ロンドン來電＝ポツダムにおける三頭會談は一日午後終了、會談に關する公報はグリニツチ標準時二日午後九時三十分（東京時間三日午前六時三十分）米英ソ三國首都において同時に發表された

對日問題には一言も觸れず

——會談公報内容——

（リスボン二日發）三頭會談の公報は二日、米英ソ三國首都において同時に發表されたが、内容は主として歐洲問題に關するもので、太平洋戰乃至日本に關しては一言も觸れてをらず、ただ漠然と「三國會談においては軍事問題に關し三國共通の利害に關する問題につき軍事顧問間に會議が開催された」と述べてゐるだけである、また公報は「新たに米國、英國、ソ聯、支那、フランスの五國外相による評議會を設置する」と報じてゐる

五ケ國本部を設置

（リスボン二日發）ロンドン來電＝ポツダム會談に關するコミユニケは米、英、ソ、佛、重慶の五ケ國が歐洲問題に對處し、特に元樞軸衞星國との平和條約を起草しこれを聯合國に提示するためロンドンに五ケ國本部を設置する旨を明かにしてゐる、更にコミユニケは歐洲諸問會議はその主要な任務を果したのでこれを解散することに決した旨述べてゐる

獨管理計畫は豫想以上に苛酷

（リスボン二日發）ニユーヨーク放送は二日三頭會談の公報發表にさき立ちつぎの通り報じてゐる聯合軍第二十一集團軍司令部から入手した情報によれば三頭會談の結果決定をみたドイツ管理計畫はドイツ國民が豫期してゐたよりも遙かに苛酷なものといはれるから、ドイツ國民は衝動を受けよう

チヤーチルへ感謝狀

（リスボン二日發）ロンドン來電＝英首相アトレー、米大統領トルーマン及びスターリン議長はポツダムにおける最終會談で前英首相チヤーチルに宛てた感謝狀を起草、二日これをチヤーチルに送つた

トルーマン英國王と會見

（ストツクホルム二日發）プリマス來電＝米大統領トルーマンは國務長官バーンズを帶同二日朝ポツダムからプリマスに到着した、トルーマンはプリマスに碇泊中の英戰艦リナウン艦上において英國々王ジョージ六世と會見、正午午餐を共にした右會合にはバーンズ、大統領附參謀總長リーイ、駐米英大使ハリフアツクスその他英國側代表が列席した、會合は三十分で終り、トルーマンは同港に待機中の米巡洋艦オーガスタに移乘、ジョージ六世以下英國側代表の觀送裡に一路米國に向つた

アトレー歸國

（リスボン二日發）ロンドン來電＝英首相アトレー並びに外相ベヴインは二日ポツダムからロンドンに歸還した

ラヴアル喚問される

（チユーリツヒ二日發）パリ來電＝三十一日リンツで米軍に投降しフランス側に引渡された元ヴイシー政府首相ピエール・ラヴアルは二日パリ郊外フレーヌの監獄に收容されたが、三日のペタン公判に證人として喚問をうけることに決定した、ペタン公判第十日目は二日續開、元ポーランド駐劄佛大使レオン・ノエル、ペタンの親友ベルナール・セリニー將軍の證言があつた、ノエルは休戰協定に秘密條項がなかつたこと、フランス側は戰費賠償を何等の抗議もせず受諾したこと、ダルランがフランス海軍は絕對にドイツに引渡さないと語つてゐたこと、等を證言、セリニー將軍はペタンがどこまでも聯合國の勝利を信じてゐたが、ドイツを瞞すためにあのやうな政策を採つてゐたこと、北阿からの物資移入は一々英國側に通告したことペタンは光榮の冠の代りに荊の冠を選んだものであることを證言した

昭和二十年 八月四日(土)
第三五〇三號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【歐　洲】

獨の賠償額二百廿億弗に決定か

(チューリツヒ一日發)佛誌「ノヴェイユ」によれば過般のモスクワ賠償委員會々議の結果フランスは對獨賠償請求權を認められぬこととなつたといはれる、ロイター通信はヤルタ會談でドイツの負擔すべき賠償額が二百億弗と決定され、支拂期限を五ケ年間と定めることになつたと報じてゐるうちソ聯は全體の五六%を、米英兩國はそれぞれ二二%を受取ることになつてゐるが、その他各國の要求を考慮に入れ、三國とも後になつて各自の配分額に手心を加へることを約したとのことである、いづれにせよ米英ソ以外の國が對獨賠償要求に當り輕視されてゐる事實は否定出來ない、英紙「デーリー・ヘラルド」によると米英ソ三國間には對獨賠償の實行方につき若干の意見の相違がある模樣で、ソ聯は占領地を戰場と見做し占領地にあるものはすべて戰列品であり、これは賠償に入れるべき筋合のものではないとの態度だが、米英兩國はすべての戰列品は賠償中に含めるべきだと主張してゐる

米英レンナー政權を承認せん

(ストツクホルム一日發)米英兩國政府はソヴエト政府の肝入りで組織されたオーストリア假政權をまだ承認してゐないが、ロイター記者ジョン・キムチが一日報ずるところによればポツダム會談において同政權の承認に關して取極めが成立したといはれる

ラヴアル歸佛

(チューリツヒ一日發)ストラスブール來電=昨三十一日リンツ附近で米軍に投降したヴイシー政府元首相ラヴアルは一日ストラスブール着、直ちに列車でパリに護送された

ペタン公判第九日目

(リスボン一日發)パリ來電=ペタン公判第九日目は前日に引續きウェイガン將軍、ついでジョルジュ將軍その他の證言があつたが、被告側辯護士は、元ヴイシー駐剳米大使、現米大統領幕僚長リーイ提督の六月二十二日附書翰を證據物件として提出、注目を惹いた、右書翰の中でリーイはヴイシー在住中ペタンがフランス國民の福祉のみを念として努力してゐたことを指摘し、時として聯合國の不利になつたことはあつたがその眞心は諒とする旨を述べてゐる

駐米ソ聯大使更迭說

(ストツクホルム一日發)ニューヨークからのINS電報によれば、スターリン議長とモロトフ外務人民委員は米國駐剳ソ聯大使アンドレイ・グロムイコ氏の更迭を決定、後任にソ聯大使館顧問アレクサンドル・カプースチン氏を任命する意向と傳へられる、更迭の理由は判らないが、グロムイコ氏はポツダム會談終了後直ちに歸國する豫定といはれる

【英　帝　國】

カナダ總督にアレキサンダー

(ストツクホルム一日發)ロンドン來電=英國政府は地中海方面聯合軍總司令官元帥ハロルド・アレキサンダーをカナダ總督に任命した旨三十一日夜發表した

英國に罷業の波

(ストツクホルム一日發)英國は八月一日恒例のバンク・ホリデー(全國的休日)でロンドンその他大都會の市民達は三十一日夜來、停車場に押しかけ行列を作つて切符を手に入れようと焦つてゐるが、鐵道從業員組合が勞働條件の改善、賃金の增額を五大鐵道會社に迫り、交涉の經緯如何では全國的な鐵道總罷業に發展する形勢だ、現にロンドン港のサレー・ドツクでは數百名の港灣勞務者が同じく賃金爭議で「怠業」を開始、ドツク內に碇泊してゐる汽船六隻の荷揚げには軍隊が出動してゐる有樣だが歐洲戰爭の終了とともに、英國は罷業の波に襲はれたかたちで、五月勞働爭議によつて喪失した勞働日は十二萬九千日更に六月は二十萬日に增加してゐる

【西　亞】

イラン、左翼分子を罷免

（モスクワ一日發）ソヴエト言論機關は最近猛烈にイラン政府の反ソ態度を攻撃してゐるが、テヘランからのタス電報は一日イラン政府が民主々義的、左翼的思想の普及に努めたといふ理由でイラン放送機關の要人多數を罷免した事實を特に重視して報じてゐる

米イラン防衛援助協定

（リスボン一日發）ワシントン來電＝米國は今回イラクと防衛援助協定を締結、三十一日ワシントンにおいて國務次官グルーとイラク公使アリ・ジヤウダツトの間に調印を了した、右協定は武器貸與法に基き締結されたものである

【重　慶】

王世杰外交方針を闡明

（リスボン一日發）重慶來電＝新外交部長王世杰は一日外交部長として正式に就任、外交方針を左の如く發表した

一、米英ソ佛との親善關係强化
一、國際憲章による世界安全平和機構に準據し平和確立に貢獻
一、對日戰の徹底遂行
一、戰後の日本に對しては復讐を基礎とせず正義を原則として處理

「新内閣」の糊塗策

（リスボン一日發）重慶政權は一日放送局を通じて「新行政院」の成立を報じ、宋子文行政院長、王世杰外交部長、谷正綱社會部長兼農林部長、その他全部留任と發表した、從つていはゆる新内閣は行政院の一部改組に過ぎず、宋子文が先の國民參政會において國府の重要改組を豫告し、恰も各派合作の協力政權樹立の意あるかの示唆を與へた關係上、國内進歩派に對しては少からず失望を與へてゐる模樣である、谷正綱の農林部長兼任は世盛歲追出しによる新疆省處理に結末をつけたものに過ぎず、又王世杰の外交部長は王がロンドン留學の法律學者でハーグの常設仲裁々判所判事をやつた事がある他外交界には初見參であり、その外交政策は實際上宋子文の指導下に立つと思はれるから別段新味は期待されない、從つて一方に米國重慶、他方にソ聯、延安の微妙な關係が宋、王の力により急角度の新展開を見せるとは期待されぬやうだ、ニューヨーク來電によれば「ヘラルド・トリビユーン」紙も一日の社説において次の通り嘆聲を漏してゐる

重慶の國民黨政權と延安の中共政權とが、米軍當局及び重慶當局が軍事問題に關する協力達成のため採つた政治的妥協の半分の努力でも行つたら、支那は一政權の下に統一され得るであらう、かかる統一は百の戰勝よりも價値があるのだ、然しこの目的實現に必要な協働の意思は遺憾ながら未だ存在しない

兩國際協定可決

（リスボン一日發）重慶來電＝重慶最高國防會議は三十一日「國際憲章」及びブレトン・ウツヅ協定を可決、批准のため立法院に廻附した

濠洲人の見た渝延關係

（ストツクホルム三十日發）近着の米週刊誌「タイム」は「支那論」と題して渝延關係の深刻化を論じてゐるが、そのうちに蔣介石の個人顧問として九ケ年に亘つてその身邊に在つた濠洲人ウイリアム・ドナルドの渝延關係に對する見解を紹介してゐる、ドナルドは目下ニューヨークにあるが支那の前途に對しては極めて悲觀的な見解を披瀝してゐる、要旨次の通り

國共兩黨の摩擦は終熄するところを知らず、結局公然の内亂に至るは不可避と思はれる、蔣介石が中共軍に對して武裝解除を要求するならばこれは好んで革命に突入する結果とならう、然し中共軍が自己の主張を確保する唯一の手段は武力である以上武器を重慶側に引渡す筈がないドナルドは渝延關係を解決する方法は、結局蔣介石が中共に對して何等報復手段をとらぬとの條件によつて中共から武器を取ることだと述べてゐるがその不可能なことはドナルド自身認めてゐるところである

昭和二十年八月四日(土)
第三五〇三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

太平洋陸軍異動

(リスボン一日發)マニラ來電=マツカーサー司令部は三十一日次の人事異動を發表した
比島基地補給部長代將 エワート・G・プランク
任比島基地管區司令官
歩兵第三十八師團長少將 ウイリアム・C・チエイズ
任騎兵第一師團長
歩兵第二十四師團長少將 フレツド・アーヴイング
任第三十八師團長

比島米軍損害

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=陸軍省は三十日比島における米軍の損害を左の通り發表した
戰死 一二、〇六三名
行方不明 四〇四名
戰傷 四三、〇九五名
總計 五五、五六二名

超大驅逐艦進水

(リスボン三十日發)ボートニユーワーク來電=米國海軍の超大驅逐艦「ウイリアム・M・ウツド」は二十九日USスチール會社造船所で進水した、新驅逐艦は二千二百五十噸、大型空母と行動を共にし得る速力を有する

英の爲替政策を攻撃

(リスボン三十日發)ニユーヨーク來電=民主黨下院議員エマヌエル・セラーは二十七日ニユーヨークの通商委員會で左の通り述べた
通商委員會は即刻磅貨ブロックの運營狀態並びに同ブロックが世界各地において米國の貿易に與へつつある妨害作用について徹底的に調査すべきである、英國の通貨政策によつて米國製品の購入に振り向けられる筈であつた印度の弗貨は凍結されてしまつたが、同樣の例は南阿聯邦や濠洲においても認められる

B17生産計畫終了

(リスボン三十日發)米軍當局はB29の生産を强化するため最近ボーイングB17「空の要塞」の生産停止を決定したが、ワシントン來電によれば最後の「空の要塞」は二十九日檢査を終了、三十日政府に引渡されたといはれる
因みに一九四一年七月の生産開始以來ロツキード、ボーイング、ダグラス各航空機會社の工場が今日までに生産した機數は總計一萬二千七百三十一機に達する

【軍事情報】

ドイツ空軍の自動拋出式操縱席

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=ライトフイールドの米國航空醫學研究所長ランドルフ・ラヴレイス大佐は二十八日歐洲の視察旅行から歸還してつぎの如く言明した
ドイツ空軍の醫學その他安全施設等は米軍航空隊よりおくれてゐるが、「自動拋出式操縱席」だけは既に戰爭の末期に完成してゐた、これは米軍によつて太平洋の快速航空機に使用される豫定である、時速五百哩をこえる航空機からとび出すことは極めて困難だが、ドイツ軍の發明した座席はボタンを押すだけで噴射推進式戰鬪機の天井越しに見事に放り出されるやうになつてゐる

PB4Yの新武裝

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=米國海軍省は二十八日夜、コンソリデーテツド・ヴアリテイPB4Y2「プライヴアテイア」偵察爆撃機の新武裝に關し、つぎの通り發表した
PB4Yは現在新速射砲を裝備して攻撃兵器としての威力を增大してゐる、新火砲は索敵隊編隊長の發明にかかり、從來攻撃の困難だつた日本軍船舶の襲撃に成果を收めつつある、即ち今まで日本軍哨戒艇の裝甲板は重機關銃をもつては射ち貫けなかつたものが新火砲の砲彈をもつてすれば容易に貫徹し得るのである

特輯

沖繩以後の太平洋戰局（上）

武井武夫

△沖繩作戰終了の意義

沖繩戰が終了した時、米軍の總帥ニミツツは沖繩島の價値を論じて、それが本土乃至支那への侵攻飛躍板を提供し、海軍基地、陸軍基地を齎し、對日侵攻準備の航空攻勢における絶好の基地たるべきことを强調した、沖繩島が戰略的に敵に幾多の利益を齎したことは、新段階における補給線の利不利その他の一般論とは別に、率直に認めなければならない事實である

一方沖繩島の失陷は太平洋における戰局の構圖を一變した、彼我の戰略と戰爭の樣相はこれにより完全に變ることを要求されたのである、空襲の激化と同時に刻々迫る本土侵攻の危機については府に在ると野にあるとを問はず、世の識者が每日のやうに國民に對して呼びかけてゐる、從つて記者が今ここでそれに唱和し萬犬の遠吠を徒らにのばして世人の眠りを妨げる必要もあるまい、記者に與へられた任務はこの新局面にたいする米國側の見解を傳へわが國指導層の參考に供するの一事である、まづ沖繩戰線後の太平洋構圖を示すものとしてつぎの論說を讀んで頂かう

「セント・ポール・パイオニア・プレス」紙七月十三日社說＝ミツツ司令部は海軍機が上海から本土へ向ふ日本軍輸送船を攻擊、一隻も擊沈はしなかつたが、黃海を越えて朝鮮へ行くことも、朝鮮海峽をぬけて日本海へ出ることも妨げて許さなかつたと發表してゐる、この發表ほど米國民に沖繩作戰の價値を敎へるものはあるまい、沖繩占領まで本土水域と見做されてゐた黃海と東支那海とが既に米軍航空機の制壓下にあり、東支那海のごとき米軍艦艇の支配下にさへ入るかもしれないことは明かだ、黃海と朝鮮海峽の哨戒は、從來安全な捷徑とされてゐた上海から本土まで三日間の航路を事實上停止せしめるに至つた、これに代り鐵路北支から朝鮮へ出て海峽を渡る三週間の道程も鐵道路線に對する爆擊のために、ともすれば遮斷され勝ちである

換言すれば日本は上海以南の支那領域から切り離され、上海から北の交運線も戰火に曝されてゐるわけだ、これは支那の日本軍が殆ど自給自立しなければならないことを意味する、沖繩の征服は日本列島弧立化における最後的作戰の一つだつた今後われわれが本土を攻擊するにせよ支那沿岸に上陸するにせよ、日本軍が他の方面から援軍を送ることは全く不可能であらう

△敵は苛酷な處分を要求

然り、外面的な態勢は米國紙の指摘する通りである、米國軍は日本軍を片隅に追ひ込んだ鼠のやうに思ひ、早くもその處分法に頭を惱ましてゐるただ日本國民の性格には恐怖心を抱き、出來るならば本土決戰を避けて無條件降伏に導かうとして謀略の手段を盡し、或ひは本土を占領せずに日本を管理するといふ案まで出てゐるが、この種の穩和策に對しては米國內にも反對が多い、たとへば七月十八日の「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙はかう論じてゐる

「對日無條件降伏を緩和しようとする最近の諸提案は將來再び戰爭を惹起する危險がある、この種の條件は第一次大戰の終了に際してドイツに與へたものと餘りちがはない、當時あれでドイツの軍國主義が永遠に世界から葬り去られると思はれたものだつた、ところがこの豫想は完全な過誤なることが判明した、そしてその過誤の代償は數百萬の生命だつたのだ

幸ひにして當局筋では現在のところそんな條件緩和は考へてゐないと主張してゐる、勿論日本と和平交涉することも有り得るだらうし、さうすれば直ちに米國民の血を流さずにすむことになるわけだ、ヒトラーともさうした和平を論ずる可能性はあつたにちがひないが、日本が提案するやうな交涉を承諾した場合の結局の代價は思ふだに慄然たるものがある、日本の軍國主義者が交涉を開始ずる場合その胸中に將來の新たなる侵略に對する希望があるべきは些かも疑ふ餘地がない

つぎの太平洋戰爭が如何なる條件の下に戰はれるにせよ、ただ一つ確實にいひ得ることがある、卽ち日本軍國主義者の選擇する時機が戰爭になるといふことだ、その時には日本軍は今度の戰爭が犯したやうな戰略的誤謬は絶對に犯さないだらう」

米國は明かに日本を恐れてゐる、しかして彼らの今後の戰術を決定し、その戰意を固めさせ、苛酷な處分を要求するものがその恐怖であることも忘れてはならない、七月二十七日に敵が發表したポツダム宣言（對日最後通牒）もさうした彼らの氣持から出た打診であり、同時に一種の謀略戰術でもある

△機動部隊本土に迫る

七月十日から始つた米英兩國海軍機動部隊の本土攻撃は太平洋戰に新しい一段階を劃するものである、その攻撃の規模その他については既に新聞紙上において詳細に報道されてゐるからここでは觸れない、本小論ではまづ米國紙のこれに關する論評を紹介してその意義を改めて檢討してみたい

「ワシントン・スター」紙七月十五日＝米國第三艦隊による本州艦砲射撃は幾多の意義を有する、特に注目されるのは日本の抵抗が殆どみられなかつたといふ事實である、急降下爆撃機の襲撃もなく、對空砲火も熾烈ではあつたが正確を缺き、海軍の防禦の如きは皆無だつた、卽ちわが攻撃部隊は完全に局地的制海制空權を把握したのであつた

同樣重大なことは選ばれた目標物である、艦砲射撃は釜石市に集中されたが、同市は豐富な鐵鑛と津輕海峽を越えて燃料を供給する北海道の炭田を擁し、鐵鋼生産の中心地として知られてゐる、津輕海峽はわが航空隊の主要目標に加へられ、船着き場は破壞され、多數船舶が損害を蒙つたと傳へられてゐる、釜石の壓延工場も砲爆撃のために破壞され、これにより北日本の製鋼業は完全に攪亂されたのである

從來海上から本洲を攻撃するといふ企圖は數世紀前に元軍が試みただけだつたが、その時は日本人のいはゆる神風によつて失敗に歸した、わが艦隊も六月の颱風に相當の損害を蒙つたとはいへ依然大作戰を續けてゐる、日本國民もこのことは注目しなければならない

「ニューヨーク・タイムズ」紙七月十八日＝今やわれわれは侵攻準備攻撃の段階に近づきつつあるその時期が來れば、日本人は一日二十四時間働いても損害を修復し得ない程の打撃を殆ど間斷なく蒙ることとならう

結局人的物的資源にもその他の戰力にも引出すべき豫備の殘らぬ時期が來るに違ひない、勿論この時期がまだ來てゐるわけではない、だが日本國民はそれが來ないといふ希望を懷くことは出來ない、聯合軍の攻撃計畫はまだ全的に發動されてゐるわけではないからだ

日本の鐵道車輛並びに船舶が蒙つた損害は大きいが今回の艦載機作戰全體の戰果はそれのみに止まらずさらに第二十航空隊がB29によつて日本の工業に齎した破壞を思ひ合はせれば一入感慨深いものがある、そして今や日立市に對してはわが聯合艦隊機動部隊の艦砲射撃の砲火が浴せられてゐる、これは今次大戰最大の機動部隊攻撃でありその破壞力は日本に大きな損害を殘すに違ひない

以上兩紙の論評は米國にとつて極めて樂觀的なもので、機動部隊攻撃の效果を故意に誇張してゐるが、それにも拘らず敵の機動部隊が直接本土に迫つたといふ事實は斷じて輕視さるべきではない日本軍がこの時期において殆どみるべき反撃を示さず、隱忍を重ねてゐることは、敵主腦部の間にも種々の狐疑憶測を喚んでゐる模樣で、陸軍戰略航空戰參謀長カーチス・ルメーはこれを日本軍が來るべき決戰のために兵力を貯へてゐるのか或ひは航空機はあつても燃料がないために反撃し得ないのかのいづれかだと判斷してゐる

また機動部隊司令官中將ジョン・マッケーンは今回の作戰が終ればワシントンに歸つて閣僚の椅子を與へられるといふ瀨戸際だけに、精々華々しいところをみせたわけだが、彼は二十日旗艦々上で新聞記者團に對して機動部隊の威力を誇示したとき、「日本軍は兵力を溫存してもつと適當な時期を待つてゐるに相違ない、だから我々は殆ど抵抗らしい抵抗に遭遇しなかつたのだ、日本にはまだ近代的な兵器もそれを使用する能力も殘つてゐる」と述べてゐる

とまれ本土を繞る決戰が刻々近づいてゐることは隱れもない事實である、敵の日本內郭陣地突入により彼我の戰略態勢に齎された影響は極めて大なるものがある、それを敵はどうみてゐるか

四、本土決戰と南方の役割

沖繩を敵に取られ、南支並びに南方諸地域と本土の連絡を殆ど放棄するの止むなきに至つた現在日本はどうして戰爭を續けて行くつもりだらうかこれは米英兩國民の等しく懷く疑問であるらしいだが、彼らの大部分は本土のみを中心として論じ南方から切斷された本土の補給並びに孤立化せる南方の守備隊といつた見方だけが行はれてゐる、その中にあつて、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙の記者A・T・スティール七月十二日の論說は南方諸地域が今後の太平洋戰に演ずべき役割を問題にしてゐる點注目に値する、彼は日本軍の戰略を論じて、日本はその大勢力圈を二つの主要防衞據點に分つたと述べてゐる、卽ち

一、日本々土並びに滿洲、北中支等の隣接地域—諸種の徵候よりみて、日本の船舶と生產能力の殆ど總て並びに人的資源の大部分は以後この致命的な地域の防衞に集中される

二、右地域と完全に近く隔離された印度支那、タイ、マライ、南支、その他南太平洋諸占領地、この地域にあつては數十萬の日本軍が各方面からの聯合軍の攻擊にたいして出來得る限り地步を維持すべき使命を有するといふのだが、彼の場合にも南方の戰ひを第二義的なものとしてゐることは御多分に洩れない、南支においては日本軍が重要地點への兵力集結を急ぎ陣容を再整備してゐるとは見てゐるが、それにより大地域を放棄して了ふことは期待してゐないといふ、勿論日本々土からの增援や補給は望まれないから彈藥その他軍需物資は貯藏量と若干の自給によつて間に合せるとして、南方守備隊の任務については

一、可能なる限り聯合軍の戰力を本土攻擊から逸らし

二、出來得る限り聯合軍の人命を奪ひ

三、アジア戰域と太平洋戰域の聯合軍勢力の連結を妨げ

四、主要諸港並びに交通線の米軍による使用を出來るだけ遲らせる

にあると判斷してゐる、結局彼の眼からみると戰局の焦點が本土周邊にあることは別として、南方作戰の全戰局に及ぼす重大な影響を銃後國民が十分認識してゐないことに不滿があるのだらう

南方における聯合軍の分擔は、支那及び印度支那を作戰區域とする重慶軍及び米國軍と東南アジア戰域に作戰する英國軍とになる、東南アジア軍にはまだ若干の米軍勢力が殘つてはゐるが、既に空陸とも大部分は支那戰域に引揚げてゐるのである、印度ビルマ方面に殘存する米軍部隊といふのは殆どすべて補給部隊で、支那への補給を任務としてゐるが、これはまだ到底所期の成果を得てゐない、陸上または空中からの補給といふものは結局大したものでなく、どうしても海港を手に入れることが必要になる、もし南支で米國軍が幾分でも作戰的成功を得ようとすれば、それにはやはり尨大な海空兵力を集結しての上陸作戰が行はれなければならないのだ、スティールは重慶軍の南支における行動の活潑化に關聯して、米國の新補給線啓開作戰をあまり遠い將來ではあるまいと結論してゐる

五、主戰場は本土上空

かく論じ來る時、敵の本土侵攻作戰は必至であると感じられるが、その實行には時機の熟することが前提であり、時機の熟不熟は今後の空の攻防戰によつて決せられる、それは時間のみによつて齎されるものではなく、彼我の努力差が蓄積して釀成する機會である、米國陸軍航空隊並びに海軍機動部隊の戰略攻擊をいかに日本國民が堪へぬくか、そこに、現段階の太平洋戰局の歸趨がかかつてゐる、戰術攻擊卽ち所謂「地均し爆擊」への移行は上陸直前のことで、それは上陸作戰の一部と見做すべきであらう、今日以後の數週間乃至數ケ月間は本土上空を主戰場として戰はれる「日本の空の戰ひ」の時期でなければならない

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八　月　六　日(月)
第　三　五　〇　五　號

同盟通信　海外電報　(180)

ポツダム公報によれば今回の三頭會談は、公式にはベルリンの三國會議と呼ばれてゐるらしい、十九世紀後半のベルリン公會においては、不世出の政治家ディスレーリが鐵血宰相ビスマルク公を相手に、所謂「榮譽ある和平」(peace with honour)を、英國に持つてかへりヴイクトリア女王を喜ばせたが、今度の會談で殆ど百パーセントに主張を貫徹したのは、クレムリンの獨裁執政ではなからうか、全文六千語十四件の公文からなるポツダム公報は、賠償やドイツ管理の技術的細目に亘つてゐるので、十分にもその含意を咀嚼するには相當の時間が必要だが、全篇を忽々讀過した印象では、ソヴエト聯邦の西部國境線についても、ポーランド・オーストリア兩國に關しても、賠償の取立てについてもドイツ統治の方式に關してもスターリン元帥の要求が實質的に殆ど悉く通つてゐるらしい、米英兩國が貰つた代償は平和建設に對するソヴエト政府の協力であり、ポーランドにおける報道の自由であり、クレムリンの勢力圏たるルーマニア、ブルガリア、ハンガリー各國における管理委員會の改組等々に過ぎない、トルーマン大統領はワシントンに歸任し次第放送演説で、米國民に對し讓歩の讓歩に非る所以を陳辯する豫定だと傳へられるが、ポツダム公報のインクがまだ乾かぬうちに、ワシントンからかかる情報が流布されるところからみれば、米國の輿論が直ちにポツダム公報に反撥してゐるのではなからうか、東亞戰爭に對するソヴエト政府の立場が闡明されると期待してゐた米國の輿論は、この點だけでもポツダム公報にがつかりしたに違ひない、英國外務省がポツダム公報に遲れること正に二十四時間、三日夜追加聲明を發表して、特にベルリン會議で米英兩國間に東亞作戰について協議したことを强調してゐるのも英國民に對する釋明に他ならない、しかしベルリン會議の鍵は公報の最後に「第十四軍事會議」として、ラコニツクに述べてゐる一節の含意如何にかかつてゐるのではなからうか

國際教育聯盟準備會議

(ストツクホルム三日發)ロンドン來電＝英國政府は三十日つぎの通り發表した

英國政府は一九四五年十一月一日ロンドンに國際教育聯盟創設準備のための聯合國會議を召集する、機構の構成は會議後聯合各國に送達され各國それぞれの憲法上の手續に從つて批准される筈である

【目　次】

英國外務省東亞戰に聲明……二一八二
ラヴアルの證言……〃
加軍參謀總長更迭……〃
勞働黨內閣の顏觸れ決定……〃
三頭會談の成功を謳歌……二一八三
對ソ讓歩に米國民の非難を豫想……〃
米國議會休會……〃
米國新年度改訂豫算……〃
ポツダム宣言の全貌……二一八四
米第十二集團軍解體……二一八七
駐波米大使着任……〃
ソ聯ドナウ北岸を占領……〃
米軍のロケツト砲……二一八八
七月重要日誌……〃
【特　輯】
ペタン公判(一)……二一八九

米に闇撲滅委員會

(リスボン三日發)ワシントン來電＝財務長官ヴインソンは三十日闇取引業者、脫稅者等を撲滅する爲政府關係當局首腦によつて特別委員會が設置されたと發表した、委員會はヴインソン、檢事總長クラーク、農務長官アンダーソン、物價管理局長官代理ロジヤースの四名から成るが、ヴインソンによれば、新委員會は闇撲滅運動を統合、指導する「清算委員會」であり、非合法的な闇取引根絶を期し、これに關する四機關の活動を統轄する筈である

英國外務省東亞戰に聲明

（ストツクホルム三日發）ロンドン來電によれば英國外務省は三日午後十時半、次の聲明を發表したと傳へられる

ベルリン會議に際し米英兩國の參謀本部代表は毎日會議を開催し、日本陸海軍を全面的に打破し且つ出來るだけ早い日取に日本の無條件降伏を實現し、日本が占領してゐる領域を解放するために米英兩國軍の調整に關する細目を完成するに努めた、英國は自國の陸海空三軍のうち有利に使用出來るすべてを日本攻撃に轉用する方針である、西南太平洋並びに東南アジア領域における地域並びに統帥の再配分についても討議あり、日本と交戰狀態にある他の聯合各國の兵力を日本との戰ひに使用することについても考慮が加へられた、統合參謀本部の提案はトルーマン大統領並びにアトレー首相の承認を得た

英國外務省が、ポツダム公報の發表後二十四時間を經て以上の聲明を出したのは、微妙な現下の國際情勢に徵して意味頗る深長だが、ロイダー電報によれば、英國外務省當局は更につぎの通り附言したといはれる

日本との戰爭は唯今のところ米英兩國の戰爭だから、三國會談の公報と同時ではなく今夜この聲明を出した譯だ、しかしポツダム會談の公報から直ちにソヴエト政府が東亞の戰闘に參加しないと推論することは出來ないと申し度い、太平洋戰域における統帥の變更は軍機の秘密で事前に說明する限りでない

ラヴアルの證言

（チユーリツヒ二日發）パリ來電＝ペタン公判第十一日はヴイシー政府元首相、「フランスで最も憎まれてゐる男」ラヴアルが證言臺に立つたが證言要旨は左の通り

「ヴイシーで國民議會が召集され約七百名の上下院議員が集つた際誰一人として間接的にも直接的にも休戰に反對したものはなかつた、諸君はペタンの責任を云々してゐるが、無經驗の大臣連を抱へて多少の過失があるのは當然で責めるには當らない、自分はフリー・メーソンにたいして嚴重な彈壓政策をとつたがドイツ側の要求なので致し方なかつたのだ、自分が或る人間に向つて「ペタン全權案が署名されるがこれで第三共和制は厄拂ひになつた」といつたといふのは事實いつたかも知れないが、それは冗談で自分は肚からの共和主義者だ、ヒツトラー・ペタンのモントアールの會見には自分は偶然で行くことになつたがモントアールでは何も定らなかつた、只獨佛協力の原則的なことが話されただけである、自分はミユンヘン反對派でダンチツヒ戰爭論者だつた、ヴイシーから迫拂はれた後もフランダンによつて對獨協力が續けられてゐたのは自分の立場を明がにするものだ」

加軍參謀總長更迭

（リスボン三日發）ロンドン「タイムズ」紙のオツタワ電報によれば、今回チヤールス・フオールクスがカナダ軍參謀總長に就任し、前任者のマーチーは英國駐屯カナダ軍參謀長に轉出したといはれる

勞働黨內閣の顏觸れ決定

（ストツクホルム三日發）ロンドン來電＝英國首相アトレーは三日午前バツキンガム宮に伺候し、國王ジョージ六世に對し次の閣員表を提出した

內相	ジエームズ・チユーター・イード
自治領相兼上院領袖	アデソン卿
印度相	ローレンス卿
植民相	T・H・ホール
海相	A・V・アレキサンダー
陸相	J・ローソン將軍
空相	スタンスゲート子
スコツトランド相	ジョゼフ・ウエストウツド
勞働相	ジョージ・アイザツクス
文相	ウイルキンソン女史
保健相	アヌーリン・ベヴアン
農相	トム・ウイリアムス
供給相兼航空機製作相	ジョン・ウイルモツト
戰時運輸相	アルフレツド・バーンズ
食糧相	ベン・スミス
燃料相	エマヌエル・シンウエル
國家保險相	ノエル・ベーカー
恩給相	ウイルフレツド・ボーリング

昭和二十年八月六日(月)
第三五〇五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

三頭會談の成功を謳歌
＝ソ聯反響＝

（モスクワ三日發）三日のソ聯各紙は四頁中第三頁までを割愛して寫眞入で三頭會談の公報全文を掲載、「プラウダ」「イズヴェスチヤ」兩紙は「三國會談」と題する社說を掲げて會談の成功を謳歌してゐる、「プラウダ」紙の社說要旨つぎの通り

歐洲戰の終了以來國際情勢は極めて複雜化するに至つた、そのためベルリン會談における決定と取極めは特に大きな價値と意義を有する、それは歷史的會談の參加國が强固な正しい平和を保障する目的で相互の諒解を希望したことを實證するものである、ソ聯國民は三頭會談の成功を歡迎する、會談は三國の紐帶を一段と强化するものであるからだ、ソ聯國民は今回の會談の決定に基礎を置く國際協力關係の今後の發展が各國間の平和と安全保障に寄與するであらうことを信じて疑はない

對ソ讓歩に米國民の非難を豫想

（ストツクホルム三日發）トルーマンとチヤーチルが今回の會談こそはスターリン議長の要求を抑へて、米英兩國の政策にソ聯を順應させようと意氣込んでポツダムに乘り込んだことは想像に難くないが、發表された公報から受ける印象はまたもや米英兩國がしてやられ、ソ聯の要求が全部通つたといふことだ、ロンドンからのロイター電報は各國の反響について次の通り報じてゐる

トルーマンは巡洋艦オーガスタに坐乘して歸國を急いでゐるが、歸國するや否や直ちにラジオを通じて全國民に會談の詳細な報告を行ひ、豫想されるスターリン議長への讓歩に對する非難を封ずる意向と解されてゐる、またスエーデン及びフランスでは公報に日本に關する宣言が全然含まれてゐない事實を重視し一フランス新聞の記者は「ポツダム會談の諸決定は東亞問題に對するソ聯の態度が具體的に明かにされぬ限り意味をなさない」と論じてゐる、各國の新聞界の反響を綜合すれば次の通り

△米國＝各紙は極めて常識的な論評を加へ「ポツダム宣言はテヘラン及びヤルタ宣言を一步進めたものであり、國際平和に新たな先例を設定したものである」と稱してゐる

△フランス＝フランスが聯合國外相理事會の一員に選ばれたことに氣をよくしてゐるが、「レジスタンス」紙は「アトレーは平和のチヤーチルたり得るであらうか」と皮肉に反問してゐる

△スペイン＝スペインの放逐はフランコ政權を聯合國機構から除外するといふ一項を除きポツダム公報を詳しく報じてゐる

△ポルトガル＝各紙は公報を報ずるに當りスペインに關する事項を同じく除外してゐる

米國議會休會

（リスボン二日發）ワシントン來電＝上院は一日夜をもつて議事を終了休會に入つた、休會は十月八日までだが下院は既に七月二十一日から休會してゐる

米國新年度改訂豫算

（リスボン二日發）ワシントン來電＝米國聯邦豫算局長官ハロルド・スミスは二日本年七月一日に始る一九四六會計年度の改訂豫算を發表したが、これによると歲出總額は八百五十億弗で昨會計年度實計に比し一五%の減少である、もつとも本年一月の原豫算に比べれば二十億弗方の增加となるが、これは米國の國際金融關係支出が增加を見越されるためである、歐洲戰の終結にもかゝはらず戰費は年初の原豫算をそのまゝ改訂豫算においても七百億弗を計上され、昨年度實計に比べ二百億弗の減少とはいへアメリカが對日戰戰費の負擔の容易ならざることを覺悟してゐるのを示してゐる

國際金融關係の新計上費は左の通り

一、國際通貨基金割當額入費九億五千萬弗
一、復興開發銀行出資金拂込費三億一千七百萬弗
一、輸出入銀行政府出資拂込費十億弗

新年度改訂豫算における歲入見積は三百九十億弗で昨年度實績は四百六十億弗餘であつた、赤字は四百六十億弗で昨年度實績五百四十億弗に比し八十億弗の減少となつた、一九四六年六月末の公債現在高は二千九百五十億弗餘と推定されてゐる

ポツダム宣言の全貌

（ストックホルム三日發）ポツダムにおける米英ソ三國會談の結果は二日午後十時半ロンドン、モスクワ、ワシントンで同時に發表されたが、右公報によれば七月十七日から同二十五日まで九回の會議が開催され、次いで英國總選擧のため一旦會議を中斷、七月二十八日アトレー英國首相が外相サー・アーネスト・ベヴインを帶同しチヤーチル前首相に代つて會談に參加して以來四日に亘つて會談が重ねられてゐる、公報の發表に先立ち、米國の宣傳機關は東亞に關するソヴエト政府の方略が闡明されるだらうとか、米英ソ三國の共同動作が具體化しようとか、頻りに希望的報道を發したが、既に米英兩國及び重慶政權の共同宣言に參加しなかつた當時から豫想された通り、スターリン元帥は東亞については飽くまで獨自の立場を堅持してゐる樣子で、今回の公報にも東亞問題は全然言及されてゐない

公報は全文六千語の長文だが內容は次の諸公文から出來てゐる

一、ベルリン三頭會議の報告

三國代表がポツダムにおいて會議を遂げた經緯を簡單に叙し

重要な諸決定と協定とが達成された、その他の諸問題については意見が交換されたが、之等各事項の豫定は會談の結果出來た外相理事會で續行されよう

と述べ、會談の結果として米英ソ三國の首班は三國が他の聯合各國と相携へて「正しく且つ永續的な平和」の創建に協力するとの確信を强くしたと謳つてゐる

一、外相理事會の設置に關する協定

「平和處理に必要な準備工作を繼續し、理事會に參加してゐる各國政府の合意により付託される諸問題を取上げるため」主要五ケ國外相を以て組織する

平和處理第一段階として理事會は、イタリア、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフインランドとの媾和條約案を起草し、歐洲の領土問題を解決しドイツとの媾和案を用意する

一、ドイツに關する協定

ドイツ民族の隷屬乃至抹殺が三國の目的でなく民主々義ドイツの再建が目標だと强調した後、十九條からなるドイツ占領の政治的經濟的原則を列擧してゐる、以上の所謂諸原則の趣旨は、政治的にはドイツの民主々義化によつて、ナチズム乃至軍國主義を彈壓し、經濟的には軍需工業重工業を悉く禁止統制して農業と「平和的な家內工業」だけを認めるにあり、政治經濟の兩分野に亘つて地方分權、產業の分散を反覆主張してゐる

一、ドイツからの賠償に關する協定

前文において「ドイツが聯合各國に與へた損害と苦難とを出來る限り補償せねばならず、ドイツ國民はその責任を免れることが出來ないとのクリミヤ會談の決定に基き」賠償協定が出來たと述べた後次の項目を擧げてゐる

(一)米英ソ三國とも夫々の占領地帶からの資產の撤去並びにドイツ外資の沒收をもつて賠償要求に充當する

(二)ソヴエト政府は以上のうちからポーランドに對する賠償要求を滿足させるが、他に西部地帶におけるドイツの工業資本投資の一五%を賠償として分け前に與へるが、その代償として食糧ポタシユ材木等を提供し、外にドイツの平時經濟に不必要な工業資本投資の一〇%を代償なしに西部地區から取上げる、双方でソヴエト政府が取上げる投資量は今後半年以內に決定すること

(三)投資の撤去は卽時開始し二ケ年以內に完了すること

(四)ドイツの平和經濟に必要な資力、從つて賠償額はフランス代表參加のもとに賠償委員會で決定する

一、領土に關する協定

ケーニヒスベルク市と周邊の地區

會談の結果ケーニヒベルク市と周邊地區に關するソヴエト政府の要求を原則上承認するが、現實の國境劃定は專門委員の檢討を俟つて決定する、その結果バルト海地區におけるソヴエト聯邦の國境線は「ダンチヒ灣の東岸地點から東へ、ブラウンスベルク、ゴルダップ北方を經てリトアニア、東プロイセン國境線の接合點に至る

昭和二十年八月六日(月)
第三五〇五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

一、戰爭犯罪人に關する協定
一九四三年十月のモスクワ宣言に擧げられた主要戰爭犯罪人については、數週間來ロンドンで米英ソ佛四國代表間に協議が進められてゐるが今回の會談ではこれ等犯罪人を速に處斷するに決定し、九月一日犯罪人の名簿に發表する
一、オーストリアに關する協定
ソヴエト政府がオーストリア臨時政權の權限をオーストリア全領土に及ぼすことを提案したが米英兩國代表は兩國軍がウイーンに入城した後提案を檢討することに同意した
一、ポーランドに關する協定
(イ)ポーランド臨時政權
會談はクリミヤ會談の決定に準據し、擧國一致のポーランド臨時政權が成立し、米英ソ三國の承認を得るに至つた事を喜ぶ、米英兩國が臨時政權を承認した結果、ロンドンにおける亡命政權の承認は撤回され、同政權はも早存在しなくなつた、米英ソ三國は臨時政權がクリミヤ會談の決定に基き、普通選擧並びに祕密投票によつて總選擧を執行するに同意したことをここに記錄する、且つ總選擧前並びにその當時において聯合各國の新聞代表は全世界にポーランド國内の情勢を報道する完全な自由を享受する
(ロ)ポーランドの西方國境
クリミヤ會談の決定に基き、米英ソ三國の首班はポーランドの北方並びに西方において臨時政權が割讓を受ける領土について同政權の意見を求め、ポーランド國會議長並びに臨時政權の代表は會談に出席して十分に所見を開陳した、三國の首班はポーランドの西方國境線の最終的劃定を平和處理に俟たねばならないといふ意見だが、最終決定までの間、シュウイーネムンデのすぐ西のバルト海からオーデル河に沿ひ、西ナイセ河との合流點に至り、さらに西ナイセ河に沿つてチエコスロヴアキア國境線に至る領域は(今回の會談でソヴエト領土に編入されない東プロイセンの地區を含む)ポーランド國の治下に置き、赤軍の占領地帶と認めない
一、媾和諸條約の締結並びに聯合國機構への舊敵國の參加に關する宣言
一、領土信託に關する宣言
クリミヤ會談の決定並びに聯合國の組織に關する憲章で提議された領土信託に關するソヴエト政府の提案を審議したが、審議の結果舊イタリア領土の處分はイタリアと媾和條約を準備する際に決定すべきであり、イタリア領土の問題は九月の外相理事會で檢討する
一、ルーマニア、ブルガリア並びにハンガリー三國における聯合國の管理委員會の手續きを檢討した
右委員會におけるソヴエト代表が既に歐洲における戰鬪が終了したので同委員會の事業改善に關する提案を米英兩國代表に出したことを記錄に留める
一、ポーランド、チエコスヴロアキア並びにハンガリー三國からのドイツ人人口の秩序的移動に關する協定
一、軍事會談
今回の會談に當り、米英ソ三國の參謀本部代表は共通の利害關係ある軍事上の事項につき意見を交換した

△宣言要旨

ポツダム宣言の要旨つぎの通り

三國會談の結果、敗北諸國との媾和諸條約を準備し、右目的を擔當出來るドイツ政府が確立される場合におけるドイツとの平和的處理を計畫するために外相理事會を結成するに決定した、理事會は英國、ソヴエト聯邦、重慶、フランス並びに米國の外相をもつて構成し、事業の繼續を保障するために各國各々高位の次長を任命する、理事會は通常ロンドンで開催するが、第一回は九月一日または以前に開會する
事務局は常設的にロンドンにおく、理事會は他の首都で開催されることもあるが、理事會には專門委員顧問が隨伴する
外相理事會は卽刻の重要な任務としてイタリアルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフインランドとの媾和諸條約を起草して聯合各國に提出し、歐洲において戰爭終了に當り未解決の領土的諸問題處理を提案する權限を賦與される

理事會はまたこの目的を擔當するに十分な一政權がドイツ國内に樹立される場合、右ドイツ政府の受諾すべきドイツとの平和處理案を用意するためにも利用されよう、以上各任務を遂行するに當り、理事會は關係各國に課せられた降伏條件に署名した各國の代表によつて構成される、イタリアとの平和處理については、フランスはイタリアの降伏條件に署名したと看做される、他の成員もまた各國に直接關係ある事項が審議されてゐる場合には參加を要請される

平和處理以外の諸問題も、當該政府から、理事會に上程することが出來る、上述五ケ國以外の各國に對しても討議事項に應じて代表派遣を要請するが、ベルリン會議に代表を派遣しなかつた重慶並びにフランスも右理事會參加を要請されてゐるが、米英ソ三國は三國間において協議する權利を留保する

歐洲諮問會議は解體し、その事業はベルリンならびにウイーンにおける聯合國管理理事會に移管する

三國會談の結果三國政府を結ぶ紐帶は强化され聯合各國が正しく且つ永續的な平和の創建に邁進するとの確信を新たにした

今回の會議において敗北したドイツに對する聯合國の調整のとれた政策の政治的經濟的諸原則について協定が出來た、協定の目的はドイツに關するクリミヤ宣言を實施するにあり、ドイツ軍國主義とナチ主義とは根絶され、聯合國は今後も相携へてドイツが將來決して再びその諸隣邦乃至世界の平和を脅威しないやう保障するに必要な諸措置を講ずる方針である

但しドイツ國民を破壞し乃至奴隷化することは聯合國の意圖でない、ドイツ國民が民主々義的平和的基礎に立ち、その生活を窮極において再建する爲に用意を整へる機會を與へることが聯合國の意圖するところである、若しドイツ國民自身の努力が着々この目標に向けられるならば適當な期間内にドイツ國民が自由且つ平和的な諸國民の間にその地歩を占めることが出來よう

△政治上の諸原則

ドイツ國内における權威は、米英ソ佛四國軍の最高司令が夫々の占領地帶において各本國政府の訓令に基き行使され、更に管理々事會の成員としての立場から共同で行使される

一、實現可能な限りドイツ人口の取扱ひはドイツ領土を通じて劃一的とする

一、占領の目的は次の通り

(一)ドイツの全面的武裝解除並びに非武裝化及び軍需生產に使用出來る一切のドイツ工業の抹殺または管理

以上の目的のために一切のドイツ軍その他ドイツ國内に軍國主義を存續させるに役立つ軍事的準軍事的諸組織、クラブ、協會等を廢止し復活しない、軍需器材は聯合國に引渡し今後軍需品の生產を阻止する

(二)ドイツ國民に對し彼等が好んで戰敗を招いた責任を免れ得ないことを悟らせる

(三)國家社會黨その他のナチ各機關を破壞し、一切のナチス並びに軍國主義宣傳を阻止する

(四)民主々義的基礎に立つて窮極におけるドイツ政治生活の再建を用意し、ドイツが將來國際生活に平和的に協力する用意を進める、ヒトラー政權の基礎を提供した一切のナチ法制乃至人種信教または政見を理由とする差別的ナチ法制を撤廢する

(五)戰爭犯罪人並びに聯合軍の占領行政に反對する官吏其他一切のドイツ人を逮捕抑留する

(六)單に各目的に參畫したドイツ人を除きナチ黨の諸活動に參加した一切の黨員を責任の地位から罷免し、眞に民主々義的機構の發展に貢獻出來ると考へられるドイツ人をもつて代位させる

(七)ドイツの教育を管理し、ナチ並びに軍國主義を完全に取除き、民主々義理念をよく發展させ得るやうにする

(八)司法制度は民主々義の原則に準據して改組する

(九)ドイツ國内の行政は政治的機構の地方分權化と地方的責任制の發展を目標として刷新する以上の目的のためにつぎの通り施策する

(イ) ドイツ全國を通じ民主々義の諸原則に基き、殊に選擧による會議によつて地方自治制を復活する

（ロ）ドイツ全國を通じ一切の民主々義的諸政黨を復活支援する
（ハ）地區、地方、州行政に代議選擧制の諸原則を導入する
（ニ）當分ドイツ中央政權を樹立しない、但し必要缺くことが出來ない中央行政官廳を各省長官のもとに組織する、特に財政、運輸、通信、貿易並びに工業の部門において然り、各中央官廳は管理々事會の指導下において機能する
（ホ）軍機保持の必要を限度として言論、出版、信教の自由を容認し宗教機構を尊重し、勞働組合を許可する

△經濟上の諸原則

（十一）ドイツの戰爭潛勢力をとり除くために武器、彈藥、その他の軍需機械、あらゆる種類の航空機、船舶の生產を禁止し、阻止する、金屬化學製品、機械類その他戰爭經濟に直接必要な項目は嚴重に統制し、戰後ドイツが平時において承認された所要に限定する、右承認された生產に必要でない生產力は聯合國賠償委員會の勸告に基く賠償計畫に準據して撤去し破壞する
（十二）カルテル、シンジケート、トラストその他の獨占的取極めによつて明かなドイツ經濟力の過度の集中を一掃するため出來るだけ早くドイツの經濟を分散する
（十三）ドイツ經濟を組織するに當つては農業並びに平和的國內產業の發展に主として重點をおく
（十四）占領期間においてはドイツ領土は單一な經濟單位としてとり扱はれ、鑛業、農業、漁業等の各產業部門、賃金、物價、配給制度、輸出入計畫、通貨、金融、中央稅制、賠償その他によつて聯合國は共同政策を確立する
（十五）ドイツ國民に對しては歐洲各國における平均の生活標準を超えない程度の生活標準を認める
（十六）管理委員會の確立した經濟管理を實施するため、ドイツ人による行政機構を設置し管理についてはドイツ人に責任を負はせる
（十七）輸送機關の修理、石炭生產の增加、最大限の農產確保、住宅その他の修理のために卽時適宜の措置を講ずる
（十八）聯合各國が未だ差し押へてゐないドイツ所有の外國資產を管理し、處分する權限を行使するために管理委員會は適宜の措置を講ずる
（十九）賠償のとりたてに當つてはドイツ人が外部からの援助なしに生活出來るやうな資源を殘しておくこと

【歐　洲】

米第十二集團軍解體

（リスボン二日發）ベルリン來電＝米第十二集團軍は二日解體された、同軍團は米國最强軍隊といはれ、フランス、ルクセンブルク、オランダ、ドイツ本土等の戰に參加、一時は兵力百二十三萬を擁してゐた

駐波米大使着任

（リスボン二日發）ワルシヤワ來電＝ポーランド駐劄米國大使アーサー・ブリスレーンは一日ワルシヤワに着任した

ソ聯ドナウ北岸を占領

（リスボン二日發）リンツ放送によれば、赤軍は米軍の占領するリンツ市に向ひ合つてドナウ北岸に位するウルフアールを二日占領、米ソ兩軍警察は兩地區を結ぶドナウ河の橋梁を通ずる交通を共同管理することとなつたといはれる、以上によりウイーン、リンツ間ドナウ北岸の全域はソ聯の占領地域內に含まれることとなり、ソ聯はリンツ＝プラーグ道路を支配し得ることとなつた譯である

ドイツ各都市への投彈

（ストツクホルム一日發）ロンドン來電＝英國空軍省はドイツ各都市に對する爆彈の投下量を次の通り發表した

ベルリン	七六、	六五〇噸
內米軍航空隊（白晝）空襲十九回		
	二五、	六九二噸
英空軍〃	五〇、	九六〇〃
	三六、	四二〇〃
エッセン	三四、	七一一〃
ケルン	三〇、	〇二五〃
デユーイスブルク	二二、	五八〇〃
ハンブルク	一六、	七一二〃
キール		

米軍のロケット砲

「アーミー・アンド・ネーヴイ・ジヤーナル」誌五月十二日號

オクラホマ州フオート・シルの米陸軍野砲兵學校ではかねてからロケット野砲隊といふ新部隊の訓練が行はれてゐたが、最近ロケット野砲の新裝備が完成し、その結果、同部隊は極めて短時間の裡に高性能彈の大集中砲火を敵に浴びせることが出來るやうになつた、新ロケット砲彈は可動式の發射機から發射され、野砲特有の正確な火力は期待し得ないが、目標地區に對する猛烈な彈幕射撃では通常の野砲の能力を遙かに凌駕するものである、ロケット砲彈は長さ三十一吋、直徑四・五吋で四・五封度の爆藥を裝塡してある、この砲彈が發射管から發射されるが、二輪車に載せられ横に八本、縱に三本並んだ二十四本一塊の發射管に射手一名がつく、電氣裝置で發射藥に點火するとこの二十四個のロケット砲彈がすべて十二秒以内に發射されてしまふ、砲彈の重量は一個四二・五封度であるから、射手六名からなる一個分隊は十二秒以内に六萬一千二百封度に上る鐵量を轟音と共に目標地區に投げ込むことが出來るわけだ

七月重要日誌

二日　マウントバツテン、マニラでマツカーサーと會談

三日　ホプキンス政界隱退を聲明

米軍ベルリン入城

四日　濠首相カーチン死去

レヴアント會談開催

土・イラク通商協定成立

英軍ベルリン入城

五日　米財務長官モーゲンソー辭職

米英、波新政府を承認

米義務兵役法可決

外蒙首相モスクワ訪問

六日　ヴインソン米財務長官に任命

諾威對日宣戰

重慶、諾威、波新政府を承認

七日　重慶國民參政會開催

加、瑞西、伊、波新政府を承認

英本國軍司令部解散

佛軍ライン進駐開始

九日　ソ波通商條約成立

十日　和蘭、波新政府承認

十一日　伯林合同管理司令部初會合

佐藤大使・モロトフ會見

十二日　濠新首相決定

十三日　獨新「自由民主黨」誕生

スペイン「人權法」成立

歐洲侵攻聯合軍解體

十四日　シムラ會議決裂

イタリア對日宣戰

シエンノート更迭

十五日　トルーマン、チヤーチルポツダム着

獨四政黨會合

米・レバノン石油協定

十七日　三頭會談開始

宋子文歸國

スペイン王政復歸を闡明

十九日　米上院ブレトン・ウツヅ協定可決勃、波新政府を承認

二十一日　スペイン内閣改造

米下院休會に入る

二十二日　瑞典、重慶治外法權撤廢協定成立

二十三日　ペタン公判開始

イラン、波新政府承認

二十四日　英總選擧で三頭會談休會

米航空隊大異動

二十五日　米英重慶對日共同宣言發表

二十六日　英總選擧で勞働黨勝利

アトレー後繼内閣組織

二十八日　三頭會談再開

米上院國際憲章可決

二十九日　宋子文外交部長を辭す

三十日　ウイーン共同占領開始

伯林フランス占領地帶決定

三十一日　瑞典新内閣成立

墺政權獨分割占領に反對

昭和二十年八月六日(月)
第三五〇五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判

井上勇

△スチードの解明(一)

元「フランス國家」主席元帥アンリ・フイリツプ・ペタンに對しての、フランスの治安に對する陰謀、對敵通謀の罪に關しての公判は七月二十三日からパリの高等法院パレ・ド・ジユスチスで開始された、この裁判の意義については七月二十九日「ロンドン・タイムズ」紙元主筆ウイツカム・スチードが最も明確にこれを解明してゐる、「ペタン—一個の表象」と題する文章がそれである

フランス元帥フイリツプ・ペタンの公判は單なる裁判劇以上のものである、この公判は一八七〇年九月四日第二帝政の沒落、第三共和制の誕生以來、フランスの歷史を通じて、時に澱み、時に激發しつつ流れつづけて止まない深いフランスの病根の一つの表象である、この危機の本質は根ざすところ極めて古く、且つ常に新しい、ペタン裁判が曝露したフランスの危機の根本的諸要素は十九世紀の末期、今世紀の始めフランスを震憾した「ドレイフユス事件」の中にその凡てが發見出來る、當時所謂「ドレイフユザール」と「反ドレイフユザール」の抗爭はフランスをば內亂の瀨戶際にまで追込んだものである、猶太人の一陸軍大尉ドレイフユスはフランスの軍法會議によつて、秘密强制の力と、後になつて判明した如く僞造された證據に基いて間諜、叛逆罪として斷罪された、かくて、後は惡魔島の重罪犯人植民地に送られたのである、彼の有罪に關しての有力な反對推定證據の發見はフランス政府をして、公判のやり直しを餘議なくせしめるに至つたが、ドレイフユスは再び有罪を宣告された、然し、それは明確な證據に基くものではなくて「フランス國軍の名譽」を維持しなくてはならぬとの主張に基いたものであつた、後に至り、彼は特に「赦免」され、一九一四—一八年の戰爭の間再び軍籍を回復するに至つた

△スチードの解明(二)

クレマンソー、アナトール・フランス等を含む多數の高名なフランス人は正義のために、ドレイフユス擁護の闘爭を指導した、それ等の人々とこれに贊同したフランス人はドレイフユザールと渾名された、陸海軍の首腦、王黨派、保守派、中間階級の上層部はドレイフユス反對の陣營にあり、彼等はアンチ・ドレイフユザールと呼ばれた、この闘爭は個人ドレイフユスの擁護か否かの問題ではなく實は第三共和制に贊成するか反對するかの抗爭だつたのである、遂にドレイフユザールが勝つた時、數個の急進的な改革がフランスに實施された、その一つは國家と教會との分離である、また陸軍の近代化である、かくて「新しいフランス」が勃興したのだ、歷史的見地からいへば、ドレイフユザールが闘爭にもし負けてゐたならば、クレマンソーが出て一九一八年の勝利にまでフランスを導き得るがやうなことは決して起り得なかつたといつても過言ではない

一九四〇年の秋、フランスが降伏し、ヴイシー政府が成立したとき、ド・ゴール將軍の有力な支持者の一人は余に質問して、フランスの情勢をどう解釋するかと求めた、余はこれに對して「アンチ・ドレイフユザールが遂に復讐した」と答へた相手の人物は暫く考へ込んだ後「君の見解は正しい」と回答した、「ヴイシー政府の「功罪」についてはドレイフユスが果して有罪か無罪かの議論と同樣長く何時までも熱心に論じられるであらう、注意しないと、この事件はフランスを再び內亂の危險に曝す惧れがある」とは、その時のその人物の感想であつた

ペタン元帥の性格、その頭の構成は典型的なアンチ・ドレイフユザールである、彼は第三共和制に奉仕したが、共和制には何等の愛情も有してゐなかつた、若し、フオツシユ元帥の强壓がなかつたならば、ペタンは一九一八年三月英佛聯合軍を敗戰の憂目にあはしたかも知れない、ペタン元帥をもつて「ヴエルダンの英雄」とする名聲については、多くのフランスの將兵が知つてゐるが如く決してこの肩書は元帥には値ひしないものである

スチードの解明（三）

ヴェルダンを眞に救つたのはジョッフル元帥の參謀長ド・カステルノー將軍である、ド・カステルノー將軍は熱心なカトリック教徒であると共に純乎たる兵隊であり、同時に共和制の忠實な奉仕者だつた、自分はヴェルダン戰の眞相が將來、果して公表されるものかどうかを疑つてゐる、自分は一九一六年三月、ヴェルダン戰の初期のころ信ずべき權威筋から聞いた話を今ここで物語り度い一九一六年二月のある夕、當時シャンチイーに本部をおいたジョッフル元帥のもとに、ドイツ軍がヴェルダン攻擊を開始しようとしてゐるとの情報が入つた、元帥は、その翌日、自ら前線に赴いて狀況の視察をする豫定だつたド・カステルノー參謀長とその情報について相談した、ド・カステルノー參謀長は十時に就寢したが、その夜は遂に眠ることが出來なかつた、一刻の遲滯も致命的であると判斷したド・カステルノーは直ちに自動車を命じて、夜道をヴェルダンに飛ばし、夜の引き明けに目的地に到着した、彼は直ちにその足で前線軍の狀況を視察した、そして自ら指揮して、フランス軍の配置を變へ、ドイツ軍の攻擊を擊退して後、初めて隣接陣地にあつたペタンを召喚し、あらゆる犧牲を拂つても陣地を死守することを命令した、ド・カステルノーの嚴命をそのままにペタンは死守したのである、一九一六年三月四日、自分はペタンとヴェルダンで會見した、そして短刀直入にヴェルダンが守り終せるかどうかを質問したが、ペタンの回答は回避的で「近代軍隊が二十四時間以上も良好な一陣地に立籠つてゐる場合は攻擊成功の機會は減少せざるを得ない」といふ答を得た、しかも、吾々は四十八時間以上も陣地を確保し、それは後方三十哩に達するバアル・ル・デュックに至るまでのあらゆる高地に渉つて堅陣を築いてゐたのである

△スチードの解明（四）

自分はドイツ軍のヴェルダンにたいする猛烈な反擊が最後的に擊退されたのはペタンの仕事であつたよりも寧ろ、マンジアン將軍の功勞であつたとの說にたいして、直接これを立證する何等の情報も有してゐないが、この點、あるひはさうかも知れないと想像してゐる、しかし、榮光はペタンの手に落ちた、彼はこれを利用して、凡ゆるフランス反動勢力の秘密の首領となつた、彼等の一味の考へ方によれば、この反動勢力こそ眞のフランスなのである、そして憎むべき共和制は能はば覆滅すべきものなのである

恐らく今回の公判は、このフランスの底流の眞の姿を明るみに出すであらう、自分はド・ゴールが公判經過を細大洩らさず公表すべしと命令したことを極めて興味深く感じてゐる、恐らく、彼は自分の有力な支持者であるフランス國民が熱狂の餘り、分裂を來たすことを痛心してゐるに相違ない、彼は一九四〇年の秋も同じ心配をしてゐた、多くの善良なフランス人はまた、判決の結果がペタンを「殉敎」の光輪でもつて蔽ふに至ることのないやうに希望してゐる、若し、フランス人に自制心があつたならば、彼等はペタンから元帥の榮譽を奪ひ、單に「かつてフランスの元帥だつたフイリップ・ペタンはフランスの病根に責任があつた」と宣言するのみで止めておくことを賢明とするのではないかとひそかに考へてゐる

△國民の一半への審判

「ニューヨーク・タイムズ」紙はまた二十三日ペタン公判について論說を揚げ

戰爭が成功をもつて終結した後、合法的に組織された法廷で、一大國の曾ての指導者だつた人物が裁判に付せられ戰爭期間中における、その政治指導について回答を求められるのは、今回が最初である、ペタンは近代フランスが一國家を建設した根柢となつた諸原則を扼殺した罪に問はれてゐる、多くのフランス人、また世界の凡ゆる國々の思慮ある人々は、ペタンが公正な審判を與へられることを希望し、その利益となる凡ゆる論據を法廷に提出する機會を供與され公判がヒステリアなく執行され、判決の公正について將來物議が起ることのないやうに取計らはれることを衷心望んでゐる

と述べてゐるが、ペタン裁判の根底にあるものが深くフランス國家の病根に根ざし、國民の一半が他の一半を審判する性格を有する上は、この公判の終結は決して、事件の全面的な解決をば意味し

昭和二十年八月六日(月)
第三五〇五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ないであらう、以下公判經過を入手した外電を基礎に出來るだけ精確を期して報告するが、材料の不平均、不足は多くの誤謬を介入せしめ得る餘地を殘してゐることを豫め承知しておいて貰ひ度い

△裁かれる二人目

ペタン元帥は七月二十二日、公判開廷の前日、フランス歸國以來の幽閉の部屋、パリ南郊モン・ルージュの兵營の監房から引出されて、リムージーヌ型裝甲自動車により、パリの心臟部セーヌの兩腕に擁抱かれたイル・ド・ラ・シテにひと際高く偉容を誇るパレ・ド・ジユスチスの公判廷に隣る特別監房に移された、フランスの元首が、おなじ建物で裁かれるのは、一八九三年斷頭臺上に消えたルイ十六世以後、ペタンで二人目である、これに先立つて喚問を決定された證人は元大統領ヤルベール・ルブラン以下、第三共和制末期の首相級人物を網羅して凡そ九十名、陪審官は國民諮問會議々員から十二名、殘る十二名を抗戰諸團體、元上、下兩院議員より選んで總計二十四名が決定された

裁判長はポール・モンヂボー、主席檢事はアンドレ・モルネー、前大戰のなかば、一世の妖姫マタ・ハリを裁いて、ヴアンセンヌ刑場の朝露に委ね、いまなほ世人の記憶に名の新しい鬼檢事であるが、いまは七十五歳の老齡だ、ペタン辯護に立つ法曹團の首席はフエルナン・ペイアン、これも長い間パリ辯護士會長を勤めたフランス辯護士界の長老である、開廷に先立つてペタン元帥の特別監房より公判廷に至る間の、高等法院名物の長廊下に面する各部屋は全部閉鎖されて、蟻一匹忍び込む隙間を與へず、開廷當日は警官、憲兵、消防隊員一千名以上を動員して、公判廷の內外に水も洩らさぬ警戒陣を布き、特別許可證のないものは一步も廣場に近付けぬ嚴重さであつた

△被告フイリップ・ペタン

公判開廷は七月二十三日午後一時二十五分、モンヂボー裁判長が地獄の炎色の緋と、天國の慈光を現す純白に染分けた貂皮の肩外套に威儀を正して、陪席判事二名以下を從へて法廷に入場するや喧噪を極めてゐた滿場が一時に氷結して、冷い靜寂がひろがらぬ法廷の灰色の壁を壓する、ペタン元帥は薄茶がかつたカーキ色の元帥の制服に、ヴエルダンの戰功を物語るフランス最高勳章を只一つ胸間につけたのみで、被告席に默想したまま微動だにしない、書記が先づ「被告アンリ・フイリップ・ペタン起立……」と呼ぶ、そこまではどの裁判も同じことであり、そして、そこまではどうやら平靜だつた法廷が、型通りの被告の姓名、職業、年齡の審問が始まる頃から、次第に不穩な空氣をただよはせ始め、奇聲、妖聲、罵言、雜言があたりの空氣を攪亂し始めた

やがてモルネー檢事が立つて告發理由書を讀む全文十五頁の長文である、要旨は次の通りだ

△起訴理由書の要旨

一九四〇年の對獨降伏は被告ペタンとウエーガン將軍の共同壓迫によつて實現されたものであるレイノー內閣はかくて戰爭繼續を無益と決して辭職するに至つた、かくて、ペタンは組閣を命じられ休戰協定締結の目的をもつてドイツとの交涉に入つた、ペタンが北阿に亡命して戰ひを繼續する代りにフランスに踏止ることを決意したこと、以後四十年七月十日國家主席としての權力を掌握しフランスの上に權威政治を布くに至つたこと、この三つの行動は、今回の戰爭が始まる遙か以前から長年に亙つて、フランス第三共和制に對して準備されつつあつた陰謀の繼續、そして、その卒然たる成功を意味するものである、ペタン元帥は國民にとつては何よりも先づ信賴し得る人物の如く思はれ、その名前と肩書とを聞いたのみで、これに權力を與へて危險のない人物の如く解されてゐた、その國民の信賴をばペタンは逆用し、且つ裏切つたものである

この陰謀に對する戰前のペタンの役割は、或ひは借りものの、名目上の首領にすぎなかつたかも知れない、然し、ペタン元帥が共和制に對して敵意を有し、フランスに權威政治を布く必要を感じてゐたことは疑ひを容れない事實である、然してペタンは第三共和制の覆滅成功と共に、この一派の眞の首領となつたのである

元帥は戰前フエルナン・ド・ブリノン伯、オツト・アベツツ等のドイツの手先はもとより、共和制を轉覆し、これをローマ、ベルリンの如き獨裁政治に替べることを目的とするカグラール乃至はシヤール等の祕密結社の幹部黨員と密接な關係を有してゐた、而してその目的のためにイタリア、ドイツより多量の武器がフランスに祕密裡に輸入されたのである、最近ローマで公判の結果死刑になつたイタリアの祕密警察の首領ロアツタの證言によつて見るもペタンがカグラールの指導者の一人であつたことは明白である、吾々はまたペタンがフランス海軍をツーロンに釘付けにし、ドイツ軍の南フランス進駐に當り降伏か自沈かの二途以外に脫出の路を失はしめたことも忘却し得ない、ペタン元帥の罪は第一に國家の國內治安に對する陰謀、第二に自己の企圖達成のため敵國の企圖を幇助し敵と通牒した罪、これであり、刑法第八十七條、第七十五條によつて共に處斷さるべきものである

この間約三十分

△ペタンの聲明要旨

これについでペタン元帥が起ち、これまた豫て用意した六頁に渉る聲明書を讀み上げたが、この時、法廷の彌次は更に激しくなり、廷丁からつまみ出される傍聽人もあつた、元帥が起立のままで聲明書を讀み始めると、裁判長は腰を掛けたままでよろしい旨をつたへたが、元帥はそれには答へず讀みつづける、聲は八十九歲翁とは思へぬまでに明晰で、張りがあつた、ペタンの聲明の大體は次の如きものだつた

△ペタン聲明の一

「余はフランス國民が、彼等自身で判斷するやう自らをフランス國民の前に投出さうとしてゐる、余は全生涯を擧げてフランスのために奉仕した、現在もまた奉仕しつつある、余は自身をフランスへの贈り物としたものだ、この法廷に眞理を告げることによつて、フランスへの奉仕をつづけるであらう、世界の大部分のものは余を支持するであらう

余はフランス國民のために余の名譽までも犧牲にした、余は占領下のフランスに國家の主席として踏止つた、余の權力は合法的に余に付與されたものであり、ローマ法王廳よりソヴエト聯邦に至る世界の凡ゆる國々によつて承認されたものである、余はこの權力を楯として、フランス國民を保護するに使用したのだ、占領下の國家といふ條件の下において、これを統治してゆくことの困難は何人にも想像がつくであらう、毎日、余は匕首を咽喉元に突きつけられつつ、敵と戰つたのである、余の反對派の人々は、事情止むを得なかつた不可避な狀況を捉へて余を非難してゐるが、歷史は將來、余が如何にフランス國民の生命保護のために苦慮したかを正當に物語るであらう、占領といふ事態は、余をして敵の生命をもまた保護せざるを得ない立場においたが、余が敵の生命を保護したのは、ただフランスの生命を吾々の領土が解放されるまで保ちつづけしめる目的にのみ出たものである、ド・ゴールが外部にあつて鬪爭をつづけてゐる間、余は國內にあつて、傷ついてはゐたが尙、生命のあつたフランスを分裂せしめざるやうに守りつつ、解放の用意を進めつつあつたのだ解放されたフランスは言葉を變へ、名前を變へるかも知れない、しかし、フランスは余がおいた基礎の上に建設され、この基礎の上に立つて始めて有效に建設されるであらう、余はフランス國家改革の案を樹て新憲法をも用意したが、ドイツの占領下にあつて實施は出來なかつた、余はあらゆる暴政を抗拒するフランスの文化と家庭及び社會維持の原則を支持する基督教文化との綜合であるフランスの傳統を代表するものである、余を斷罪することによつて、諸君は數千萬の希望と信仰とを斷罪することとならう、かくて諸君は、フランスが曾て世界の諸國家の內に占めた地位を、再び回復するに是非とも必要であるフランス國民の團結を破壞し、國民の不和を增大し、延長するであらう、この最高至純の瞬間に際して、余の犧牲に一點の疑惑をさへも介入せしめることは余は斷じて許さない」

昭和二十年八月六日(月)
第三五一〇五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

△ペタン聲明の二

被告ペタンの聲明書朗讀はつづく

「余は年齡も顧ず、疲勞も意とせずフランスのあらゆる要請に應へて來た、フランスの歷史上最も悲劇的な日に當つて、再び余はフランスの求めによつて起上つた、余は何一つ求めず、何一つ欲しなかつた、余にあつたものは救國の念のみであるかくて余は自らには何等の責任のない破局の相續人となつたのである、眞にかの破局に責任のあつた者どもは余の背後に逃げて、公衆の怒りから身を守ることしか考へなかつた、余が軍部の首腦者との協議に基いて休戰を要求したとき、余はフランスが必要とした、國を救ふための行動をなしたものである、休戰はフランスを救ひ、地中海の自由とフランス帝領の保全とを保障することによつて聯合國の勝利に重要な寄與をなしたものである而して現在のフランス政府がなしつつあることのすべては、余が既にその基礎を置いておいた、その土臺に立つものにすぎない

若し、諸君が余を處斷しなくてはならぬといふのであるならば、余は全世界に向つていふ、それは一個無辜の人間を斷罪するものだ、若し余の處刑が必要であるならば、余をしてその最後の罪人たらしめよ、合法的な指導者の命令に服從したが故をもつて罪され獄に投ぜられるが如き不合理をば、余以外の他のフランス人にこれ以上繰返すことのないやう余は切望する、余は公判廷の憐れみを乞ふ意思は毛頭にない、フランスの元帥は何人に對しても憐愍は乞はない、諸君は正義の名によつて發言してゐると信じてゐるかも知れないが、その結果としての重荷を背負ふのは青天白日の人間である、諸君の審判に回答を與へるものは神と後世とである、余は自らの良心と、余がフランスに殘すであらう記憶のみで滿足である

余に權力を與へたものはフランス國民である、余はフランス國民に對してのみ報告の義務を有する、本法廷はフランスの人民を代表せず、從つてその質問に對して余は答辯しないであらう」

△この公判は非合法だ

ペタンの聲明が讀み終られて、先づ言論戰の火蓋を切つたのは主任辯護士のフェルナン・ペイアンだつた、彼は今回のペタン裁判を非合法であるとして次の主張をした

一八七五年の第三共和制憲法はいま尙存續してゐる、第三共和國はまだ生きてゐるのだ、第三共和國の憲法によればフランス國家の元首を起訴する權利は下院にあり、これを裁判するのは上院であるべき筈だ、この法廷でペタン元帥を裁判するのは違法である

法廷は意外な被告側の反擊に總立ちとなつたが檢事モルネーはいささかも動ぜず、皮肉滿面の語調をもつてペイアンの論據を駁擊した

第三共和制憲法の內、フランスの元首たる大統領選擧に關する規定をば先づ廢棄したのは被告ペタンではないか、ペタンの行動は第三共和制をあらゆる方法をもつて文字通り廢絕するにあつたのである、自らが扼殺した第三共和國の憲法の保護をば、この際に當つて求めようとする矛盾をば被告は理解し得ないのか

この時第二陣を承つたルメール辯護士は「モルネー檢事が公判開廷に先立つて七月二十三日附パリの新聞「ローロール」紙上に會見談を揭げしめその中でペタン元帥を叛逆者であると斷定し、宣しく死刑に處すべきだとの談話を發表してゐるのは公正なるべき司法官の地位にあるものとしては不謹愼至極である、これは正に民衆を煽動して、民衆の壓力によつて公判を左右せんとする卑劣な作戰である」と檢事に喰つてかかつた、この論戰によつてさなきだに昂奮極度に達してゐた傍聽席は一齊に沸立つて怒罵の聲が公判廷を壓するに至つたが、ペタン元帥は自分を包むこの熱にかられた空氣には全く無關心なるが如く眼前の机の上におかれた紙片を且つ丸め、且つ伸ばしては、時折り謎のやうな微笑を新聞記者席、判事席におくりつつ果して法廷の騷ぎに氣付いてゐるか、または全く別箇の世界に逍遙してゐるか誰にも判らなかつた、「レヴイユーの中に置き忘れられた人間のやうに」とは新聞記者の批評である、その間にも法廷の混亂は最高潮に達して、遂に拾收困難とみたモンヂボー裁判長は午後二時十分に至り、辯護

である、その間にも法廷の混亂は最高潮に達して遂に拾收困難と見たモンヂボー裁判長は午後二時十分に至り、辯護士側の要求を入れて一時休憩を宣告することになつた、開廷後僅かに四十五分である

元帥が休憩のため坐席を立つて辯護士團に擁されつつ、僅かに老齡を一本のステツキに托して法廷からよろめき出ようとした時、傍聽席の片隅にゐた隻腕の、制服姿の一陸軍大尉が突然前列に躍り出て、廷丁の阻止する間もなく、元帥の脚下に身を投出し、恭々しくその手に接吻する珍事があつたが、その將校は直ちに廷丁によつて場外に連出されてしまつた

休憩二十分間にして公判は再開、劈頭、裁判長は被告側の主張である、公判の合法性否認はその理由なしとして却下することを告げ、公判續行を宣した、かくて先發第一に證言臺に立つたのは、フランス敗るる日の首相ポール・レイノーである

△レイノー證言臺に立つ

レイノーは俊敏な眼着し態度、一點の非の打ちどころのない端正な服裝で……とその入場振りを評されてゐるが、眼の當り見るやうである、小粒でも山椒は辛いのが彼の身上なのだ、レイノーはペタン元帥の眼の前一尺も足りぬ通路を、傍らに人もなげに悠然と證言臺に進み、三人の判事に向つて面もそむけず直面して立つた、形式通り姓名、職業の訊問が先づ行はれる、彼は「ポール・レイノー、辯護士」と回答した、然し、發言した時の彼は判事諸公、陪審官諸君に對する辯護士の聲調ではなく、苦惱に滿ちた想出に虐げられたものの表情であり、その言葉は流暢ではありながら時として急に感激に堪へかねたが如く、聲を震はせた、彼は語る

余はフランスに對する陰謀充滿の中に如何に身を處すべきかを苦慮しつづけた、自分も亦、時に錯誤を犯さなかつたとはいはない、然し、政府の首班として自分のなした事の凡てについては十分責任を負ふ決心である

そこで彼は言葉を中絶して、遙か遠方を眺める眼差をしつつ暫く沈默をつづけたが、やがて意を決したかの如く再び言葉をつづける

「余は話を一九三五年にまで溯らせたい、余は當時初めてペタン元帥に會つたのである、當時フランスはマジノ線の幻影の中に生きてゐた、マジノ線がドイツ軍とフランス國民との間に屹立してゐると考へてゐたのである、然し、マジノ線とは何であつたか、マジノ線は果して、歷史的なドイツの侵攻路に立つてゐたかどうか、フランスの東北部國境五百哩の線には二つの區分があつた、ところがドイツの傳統的侵攻路にはマジノ線はなかつたのである、しかして、このマジノ線の缺陷部の要塞構築を怠つたのは當時の陸相ペタンである

今次大戰の始めドイツ軍はノルウエーを侵略した、ダルラン海相はドイツが北方に氣を取られてゐる間にこれを攻撃すべきだと强硬に主張した余はこれに全的支持を與へたが、陸軍部内のペタン派によつてこの主張は葬り去られた

フランスの最大悲劇の日、余は政府を北アフリカに移して戰爭繼續を決意したが、當時副首相だつたペタンはこれに反對したのである、余はペタンが辭職するやうなことがあれば、全體としてのフランスに與へる影響及びペタンの個人的聲望を恐れてゐる」

レイノーの證言が縷々として續いてゐる間、傍聽席は、再開後も喧騒をつづけ、それは次第に拾收困難になりつつあつた、モルネー檢事はたまりかねて「この公判廷には餘りにもドイツ人が多すぎる」と怒鳴つてしまつた、ペタンの辯護士團は一齊に立ち上つて檢事の謝罪を要求した、すると傍聽席に控へてゐた黒衣の制服をつけた十數名の辯護士が、これまた聲を揃へて彌次り始め「正義だ、正義だ」とペタン側の辯護士に應酬し始め、も早裁判續行は不可能となつてしまつた、ここに至つてモンヂボー裁判長は「これ以上公判繼續不可能」なる旨を告げて閉廷を宣すると共に、レイノーの證言は翌日續行する旨を申渡し、廷丁に場内の整理を命令するに至つた、ペタン公判第一日はかくて空前の混亂裡に午后三時五十五分、その幕を下した

昭和二十年八月六日(月)
第三五〇五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

△公判第二日目に入る

ペタン公判第二日は同じパレ・ド・ジユスチスの法廷で二十三日に引續き開廷されたが、前日の騒動に懲りた官憲側では更に警戒を嚴重にして、薫風いま江に滿ちるシテの情景とは似てもつかぬ冷嚴の氣をパリの町々に漲した、然し第一日においてペタンが自ら辯口令をしいた結果は、興味を半減したらしく、法廷前廣場に集らうとする群衆の數をめつきり減らしてしまつた、法廷の内部は前日に打つて變つた靜肅さである、ペタン元帥はこの日、前の日の波瀾に揉れた結果か、顔色稍々蒼ざめて、疲勞の影を宿してゐたが、足取りは依然確かで、杖にすがつてゐるとはいへ、身體も眞直ぐに胸をそらしつつ、落着きはらつて法廷に入場、部屋の中央に設けられた所定の黒檀の椅子にゆつたりと腰を下した、ペタンの入場より五分おくれてモンヂボー裁判長以下が入場、あらゆる入口の扉に鍵が下されるとともに元首相ポール・レイノーの證言が第一日に引續いて行はれることになつた

△レイノーの證言つづく(一)

レイノーは先づ一九四〇年六月、チヤーチル首相より提議された英佛合邦案について語り始めた「一九四〇年六月、英首相チヤーチルによつて提議された英佛を合邦して、兩國々民の市民權をば共通とし、フランスと英國とを打つて一丸として對獨抗戰をつづけようといふ提案は實に寛大な申入れであつた、フランスは批評家の言はともあれ何れは英國と結び付かねばならぬ運命にある、しかし、この寛大な英國の申入れは、敗戰主義者どもの反對によつて拒絶されてしまつた、ペタンは當時、自分の内閣の副首相であつたが、繰返しては社會黨の領袖ポール・フオールを入閣せしめることを余に勸告した、余はこれに對してポール・フオールはフランスの敗戰主義者中の最たるものであるといつて拒絶した、ペタンは、しかし、ポール・フオールを入閣せしめれば米英兩國は氣に病むに違ひないといふ理由で、その入閣主張をどこまでも捨てなかつた

閣内に休戰論が擡頭した時、余は斷乎としてこれに反對したが、すでに崩壞しつつあつたフランス軍の實情に鑑み抵抗の停止を命ずることはよろしからうと承認した、ウエイガン將軍は、しかし單に打ち方止めを命ずることは軍の名譽に反するとの理由で反對した、自分の意見では本國での戰爭を止めて北アフリカで事態の拾收を計り度いといふにあつたが、その時に至つてショータンのク・ド・テアトルどんでん返しが起つたのであるショータンはフランス本國を放棄することは由々しき大事である、われわれはフランス本國を見棄てないやうにするために凡ゆる手段を講じてみるべきだ、ドイツに休戰條件を先づ問合せてみるべきだらう、恐らくドイツの條件は受諾不可能なものであらうが、とも角、それを知る努力だけはしてみる可きだと主張した

自分の休戰反對論が破れて、辭職に決したときペタンに組閣が委囑されたが、ペタンは自分の内閣が辭職に決した最後の閣議の席上、既に新内閣の閣員表を用意してをり、これをポケツトから出して吾々に示した、その表にはラヴアルの名前はなかつたが、元帥がラヴアルと密接な連絡を保つてゐたことは事實である、自分は休戰の條件を知つたのは六月二十三日であつた」

△レイノーの證言つづく(二)

ここで註を一つ挾めば、レイノーは辭職後七月二十三日にはボルドーを捨てて愛人ド・ポルト伯未亡人と共にピレネーの山中に向つて逃避行中であつた、その途中モンペリエで、自動車が轉覆して愛人は死に、當人は負傷して再びボルドーに舞戻つたが、轉覆した車中から莫大な紙幣と金塊が發見されたことは當時の有名な話である、今年彼は六十七歳であるが、いまでも若い彼は、當時は尚更若かつた、レイノーの證言は尚つづく

「ダルラン提督はフランス艦隊が敵手に落ちないやうにするためには萬全の策を講ずると自分に語つてゐた、英首相チヤーチルはこのダルランの言に信を置いてゐなかつた、そのためやがて、メー

ル・エル・ケビルの事件が勃發して、英艦隊はフランス軍艦をオラン港において攻撃した、かうしてゐる裡に自分及びジョルジュ・マンデルは捕縛されるに至つたのである、（マンデルは曾て内相であり、レイノー内閣では拓相だつたが、フランス解放の直前一九四四年七月、ドイツへ拉致の途中パリ郊外フォンテンブローの森の中で暗殺された、これも、ペタンの罪の一つに數へられてゐる）自分等が捕へられたのは、最初は公金横領の罪名によつてであつたが、その點についてヴイシー政府は余等の有罪を斷ずる證據を見出し得なかつた、然るにも拘らず、自分たちの監禁はつづけられたのである」

レイノーの證言がここまで續いたとき、彼の次に證言すべきダラディエが入場した、レイノーの證言はつづけられる

「余は獄中にあつてジョッフル元帥の回想錄を讀み、第一次大戰當時ペタンの敗戰主義が如何に徹底的なものだつたかを初めて知つた」

ここでレイノーはジョッフルの想出を引用するのであるが、それは本物の回想錄にゆづるとして法廷は一端休憩が宣せられて、四十分間の後再開、レイノーの證言はまだつづく

△レイノーの證言つづく（三）

「一九四〇年六月二十三日、元フランス艦隊司令長官、後ペタンの休戰内閣の海相ダルランは、若しフランスが降伏するやうな場合は自分は直ちに艦隊の錨を上げて海上に出ると語つた、ダルランが余に告げたところによれば、如何なる場合といへども艦隊がドイツの手に渡らぬやう既に命令は發せられてゐるとのことであつた、余はダルランがその公約を守つたことをいはねばならない、彼の命令が與へられてゐたからこそ、フランス軍艦の一部は自沈し去つたものである」

「ペタン元帥は一九三四年二月、ヴーメルグ大統領の召しによつて、「救國」内閣の陸相は就任以來權力への渇望に燃え始めたものと思はれる、陸相ペタンは北部國境に申譯的な要塞工事をほどこしたに過ぎず、また、二ケ年の徴兵制度に反對した、ペタンは北部要塞の建設を熱心に主張したフオッシュ元帥、ウェイガン將軍の勸告を一蹴したものである、一九四〇年二月ペタンは勞働者代表に對して「五ケ月以内に諸君の陣營は敗北する、そして獨裁政治が行はれる」と公言し、元公共土木相アナトール・ド・モンジーに對しては三月十三日「五月の初めになれば、勞働者は再び余を必要とするに至るだらう」と揚言した、ペタンが首相として權勢を得た後、最初の行動は共和制を轉覆することであつた、フランスが敗れたのは議會制度が巧みに運用されなかつたがためである、議會制度を陰謀によつて無力ならしめたのはペタンとその一派である、フランス國民は軍の指導者を盲目的に信賴した、そして、その信賴した人間からかくも完全に國民全體が、無殘にも裏切られたことは前例のないことである、ペタンの如くフランス國民を傷つけた人間は曾てみなかつたところだ休戰條約成立後、ペタンはアルザス・ロレーヌのドイツ併合にたいして何等の抗議を提出しなかつた、そしてモントアールが來たのである、かくてペタンはアルザス・ロレーヌをフランスから引裂いた男と握手したのである、一九四一年十二月十三日のラヴアル罷免事件も事態に何等の變化も與へなかつた、ダルランの政權は更にラヴアル以上に劣惡だつた、ベルヒテスガーデンでのヒトラーとの取引、シリアにおける宣傳と作戰、これがダルランの政府である、ダルランの後に來たものは再びラヴアルとの握手であつた」

ここで再び註すればモントアールとは一九四〇年十月四日のヒトラー、ペタン會見であり、これによつて獨佛協力の原則が承認され、當時の外相ボール・ボードアンが罷免されて、ラヴアルの外相就任が實現した、十二月十三日事件は俗にオテル・ド・パルクの模擬クーデタと稱され、ラヴアルがペタンの對獨協力振りを不滿としてペタン驅逐策を講じ陰謀が未然に發覺して、逆にラヴアルの方がペタンに捕縛され、駐佛ドイツ大使アベツツに救はれてヴイシーからパリに逃亡した事件である、ダルランとヒトラーとのベルヒテスガーデン會見は一九四二年の五月十一日行はれ當時「フランスの將來の路に灯を點じた」會見といはれたシリアの作戰とは同年六月八日に始まる英軍との戰端場始である

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月七日（火）　第三五〇六號）

同盟通信　海外電報　（181）

（昭和十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麻布區日比谷公園二番　財團法人　同盟通信社）

「無絃の琴を彈じて序破急の意義を悟る」といふが、ボツダム公報を讀むには單に「行間を讀破する」だけでは足らず「無字の公報」をも併せ讀んで初めて全貌を窺ふことが出來るのだといふ、ロイター通信社の外交記者は曰く

「英國の輿論はボツダム公報を二部に分類してゐるが、第一は、公報中に概略の協定が出來たと述べてをり、從つて今後の歸趨が或る程度正確に豫測出來る諸懸案、第二は公報に言及してゐないが特に意味深長と解される諸問題だ、第二の分類に入るのがソ土兩國間の交渉、ダーダネルス海峽の地位、イランからの聯合軍の撤收、ギリシヤ內政、ギリシヤ國境線カリンチヤ並びにイストリア兩地方に對するチトー元帥の割讓要求等々だ、樂觀すれば時間がないのでこれら諸懸案に就ては合意に至らなかつたとも解されるが、悲觀すれば交涉は行詰りに陷り外相理事會でもなかなか片付かぬかも知れぬとの見方が成立つ」



これらの諸懸案がポツダム會談に出なかつたと見るのは無理だ、出て協定が纏らなかつたのは、平明に考へて交涉が極めて困難な證左に非ずして何ぞ、從つてポツダム會談で米英ソ三國の利害が衝突する諸懸案を高閣に束ね各々同床に異夢を追ひ乍ら三巨頭が別れたとみて差支へあるまい、ロイター電報は更に「第一級の重要度ある二大問題がある」と前置きし東亞戰爭と賠償問題を揭げてゐる、賠償については公報で發表された以上の協定が出來てゐるに違ひないといふのが、ロイター通信社の觀測だ、つまり賠償額と米英ソ三國の分け前も決つてゐるに違ひないとの見方だ、東亞戰爭については、ロイター電報は「貫劍に檢討されたことは全く疑問の餘地がない」といふだけで英國外務省の公報を繰返してゐるに過ぎない、情報がないのか情報を持つてゐても報道が出來ぬのか、春風限り無きの恨を解釋することは惟ふに時日の推移を待つ外はないのだらう

米軍野戰司令重慶へ

（リスボン三日發）重慶來電＝在支米陸軍司令官ウエデマイヤーは三日の新聞記者團會見でつぎの通り發表した

近く前遣伊第五軍司令官中將ルシアン・トラスコットが支那戰域に來訪する、曩に視察に來た中將シンプソンは既に米本國に歸つたがこれも遠からず再び支那戰域に戻つて來る筈である

【目　次】

ドウリツトル太平洋指揮系統に不滿……二一九八
マツカーサー沖繩を掌握……〃
ポツダム宣言米側反響……〃
【英　帝　國】
南アジア聯邦を提唱……二一九九
英政府人事……〃
印度省存置に失望……〃
埃及の完全獨立を要求……〃
【歐　洲】
佛の損害は五兆フラン……〃
邦人をスパイ嫌疑で逮捕……二二〇〇
ペタン公判第十二日……〃
スペインとの斷交を決議……〃
ソ土關係依然不明朗……〃
「イズヴエスチヤ」英を非難……二二〇一
ソ聯獨出版機關を管理……〃
歐洲救濟の急務を說く……〃
危險物の處分……〃
【米　國】
米軍損害百六萬……〃
トルーマン三法案に署名……〃
兵力再展開に非常措置……〃
【特　輯】
沖繩以後の太平洋戰局（下）……二二〇二
ポツダム公報全文……二二〇五

太平洋三首魁マニラで會談

（リスボン三日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部は三日次の通り發表した

米國陸軍戰略航空隊司令官大將スパーツはマニラにおいて陸軍最高司令官マツカーサー並びに極東航空隊司令官大將ケネーと對日爆擊に關し協議した、第一回の會談には戰略航空隊並びに極東航空隊の幕僚たちも出席した

ドウリツトル、太平洋指揮系統に不滿

（リスボン三日發）米國軍の太平洋における現在の指揮系統は最高司令官といふものがなく、陸軍總司令官元帥マツカーサーと海軍總司令官元帥ニミツツとがそれぞれ直屬の航空隊を擁して並立、最高戰略の決定は兩者の合同司令部においてなされることになつてゐたが、兩司令官の勢力爭ひにたいする妥協策としか考へられぬこの編成については米國内に不滿多く、從來屢々批判が加へられて最高司令部設置も一再ならず問題になつてゐた、ただ異論は部外のみの問題に止まつてゐたところ、沖繩からのUP電報は去る一日の航空隊記念日に第八航空隊司令官中將ドウリツトルが第十軍將兵にたいする演說において最高司令部設置の必要を論じた旨を報じ各方面に大きな衝撃を與へた、ドウリツトルは一航空隊司令官なりとはいへ、歐洲戰略爆撃の事實上の指揮者として名聲があるだけに影響するところ大きく、彼が第一線將軍連の先頭を切つて發言したことは今後の成行を注目させてゐる、演說要旨次の通り

太平洋戰域にも陸海空軍の單一最高司令官を置いて指揮系統を統一することが勝利の必須條件だと信ずる、單一最高司令部の價値は北阿でもシシリー島でも歐洲でも十分證明された、アイゼンハワー元帥はその雅量によつて各部隊の特異の使命を十分理解し、歐洲、北阿及び地中海で諸部隊の調整を見事に果した

なほ右演說の内容がマニラのマツカーサー司令部の檢閲を經てゐると思はれることも陸軍部内の微妙な空氣を示唆してをり、ワシントンからのUP電報は、陸軍省當局がドウリツトルの言明を沈默の驚愕をもつて受入れたと評してゐる

マツカーサー沖繩を掌握

（リスボン四日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部は四日次の通り發表した

一、マツカーサー元帥は、日本南方琉球列島（沖繩を含む）を有力なる侵攻撃の編成基地として指揮下に收めた

一、右指揮系統の變更（ニミツツよりマツカーサーへ）は七日夜半を期して實施される

一、比島南部、ニューギニア、蘭印にありし第十三航空隊は現在琉球基地に移動しつつある（同じく極東航空隊の第五、第七航空隊は既に進駐を完了）

一、但しドウリツトル麾下第八航空隊は沖繩基地よりマツカーサーの指揮を受けることなく獨自の作戰を行ふ

右發表において從來ニミツツ麾下に屬し沖繩基地より作戰せる海兵隊第二航空隊、艦隊第一、第十八の各航空隊がどうなるかは、明かにされてゐない

ソ聯の態度に米失望

——ポツダム宣言米側反響——

（リスボン四日發）ポツダム宣言に對する米國議會方面、外交界及び新聞の反響は多種多樣で、民主黨議員團は一般に三頭會談の成功を謳歌してゐるが、外交界は小國に對する大國の獨裁を憂慮し更に三日の米紙朝刊及び夕刊は殆ど例外なく東亞問題におけるソ聯の立場が明かにされてゐない事實を強調して失望感を露骨に表してゐるやうだ、議會方面では、上院外交委員長で民主黨員のコナリーはポツダム宣言を無條件で支持してゐるが、共和黨の上院議員タフトは

ポーランド國境を西方に擴大したことは新たな戰爭の種を播くものだ

と言明して、トルーマンが議會の承認を得ずにソ聯に讓歩してゐることを痛烈に非難したと傳へられる、外交界では主として五大國外相理事會の設置に關心が注がれ、以上は大國が媾和會議を獨裁し、小國は大國の意の儘に盲從する下地を作るものだと解してをり、「外相理事會にフランスと重慶を含めたのも三國の獨裁を合理化するための手段だと一部では解釋してゐる」と重慶中央社ワシントン電報は報じてゐる

他方新聞界は日本問題が宣言に含まれてゐないことをもつてポツダム會談の失敗を云々してゐるものがあり、重慶中央社のニューヨーク電報はトルーマンは歸國後國内の意外に冷い反響に直面して苦慮するであらうと觀測してゐる

【英　帝　國】

南アジア聯邦を提唱

(リスボン四日發)スリナガル(カシミール)來電＝印度國民會議々長ネールはカシミール土侯の首都スリナガルで三日開催されたカシミール國民協議會の會議に出席、印度の分割に反對して南アジア聯邦の結成を提唱した、ネールの演説要旨次の通り

印度國民會議は印度を個別の國家群に分割することに對し斷乎反對する、印度は國防上からも經濟的にも統一された單一國家でなければならない、明日の世界の諸小國は全然將來を持たずイラクやイランの如く名目だけは自由で實際は大國の角逐場と化す衛星國の狀態に陷らしめられるであらう、小國は單獨では手も足も出ない以上の問題を解決する方策は自由な諸國家の聯邦以外にない、印度の運命はその分割をもつて終焉しよう、余は玆に印度、イラク、アフガニスタン、ビルマその他の國家よりなる聯邦の結成を提案する、今日の世界では大國がソ聯と米國のみだが、明日の世界では印度と重慶が大國の列伍に加へられ、五番目の大國は存在しないことにならう

ネールの提唱する南アジア聯邦の盟主が印度であることはいふに及ばないが、英國を大國と見做してゐないことは注目に價する

英政府人事

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電＝英國政府は次の人事を決定した旨四日發表した

郵政長官　リストウエル
印度省次官　アーサー・ヘンダーソン
植民省次官　アーサー・クリーチ・ジョーンズ
自治領省次官　ジョン・パーカー

印度省存置に失望

(ストツクホルム四日發)英國勞働黨大會が過般のブラツクプールにおける大會において印度の獨立達成を支持する旨の決議を行ひ、更に勞働黨內閣成立後首相アトレーが印度省を廢止して印度を自治領省の所管とする意向を表明したにも拘らず三日發表された內閣の顏觸れで依然として印度省を存置させる勞働黨內閣の方針が明かにされたことは各方面に多大の反響を捲き起し、早くもアトレー內閣のいはゆる「社會主義政策」なるものの本質につき批評の聲が擧げられるに至つてゐる、四日附の各紙の反響次の通り

△「マンチエスター・ガーデイアン」紙＝現在の印度省を存置する方針が永續的なものでなく、印度省が近い將來自治領省に併合されることを切に希望する、印度相としてペーシツク・ローレンスが任命されたことは歡迎さるべきだが、難點ありとすれば、高齡の彼が想像以上に重大な任務に就いたことだ

△「ヨークシヤー・ポスト」紙＝勞働黨の友の多くは勞働黨が政權を掌握すれば英國の印度政策に根本的な變化が齎されるであらうと期待してゐたであらうが、彼らの期待は全く裏切られた形だ

△「バーミンガム・ポスト」紙＝政府は今直ぐ積極的な印度政策を採る氣持はない樣だ、すくなくともローレンスは印度に對して新たな政策を採り得る人物ではない

埃及の完全獨立を要求

(リスボン四日發)カイロ來電＝レヴアント紛爭を契機としてエヂプトでは英國の覇絆を脫して自由を呼吸しようといふ氣運が急激に昂つてゐるが元エヂプト首相でワフド黨首のナハス・パシヤは去る七月三十一日カイロ駐劄英國大使キラーンに宛てた覺書の內容を四日公表した、右覺書はエヂプトの戰爭寄與を詳細に述べた後、媾和會議開催前に英埃兩國關係の再檢討を提案し

一、英駐屯軍をエヂプトから撤收する
一、英領スダンをエヂプトに併合する

ことを強硬に要求してゐる

【歐　洲】

フランスの損害は五兆フラン

(チユーリツヒ四日發)パリ來電＝フランス復興省はドイツが戰爭中フランスに與へた損害總額は四兆八千九百三十億フランと評價された旨三日發表した、フランスは右金額を基礎としてドイツに賠償を要求する意向と解される

邦人をスパイ嫌疑で逮捕

（チューリツヒ三日發）フランス政府は反日感情の煽動に努め、手をかへ品をかへて在留邦人を迫害してゐるが、當地で入手した情報によれば、パリ警視廳は最近スパイ嫌疑で平賀晝伯ほか六名の邦人を逮捕したといはれる、平賀晝伯は既に齋藤晝伯の收容されてゐるドランシイの拘禁所に送られた、また約五十名の邦人が米佛兩軍の占領地帶からパリに護送されてきたが、一行は八月六日アーヴルから船で米國に送られることになつてをり菊地同盟特派員が含まれてゐるとの噂が傳へられたが、小田同盟特派員の行方は依然杳として判明しない

ペタン公判第十二日

（リスボン四日發）パリ來電＝ペタン公判第十二日は四日開廷前日に引續きヴイシー政府元首相ラヴアルの證言があつたが、彼は一言半句ペタン非難の言葉を吐かずペタンの立場と己れの立場を同一のものとして印象づける作戰に出て、流石フランス一流の辯護士と謳はれた名聲にそむかぬものを見せた、要旨は左の通り

「北阿におけるフランス軍に對獨抗戰を禁じたのはドイツ軍の佛領アフリカへの作戰を防ぐためであつて、米軍が北阿に上陸したときにこれを非難する演說をしたのはドイツ側の强要によるものである、當時ドイツはフランスとの軍事同盟を提案して來たが自分はこれを拒絕した、ドイツ政府がフランス勞働力の動員を要求したときは、自分は辭職すると稱してドイツ側の要求に抵抗しその結果ドイツの要求は緩和された、レイノー、ブルームの兩名はドイツ側では死刑にするつもりでゐたのを自分が反對して生命が助つたのである、余の盡力がなかつたならば今日この法廷に證人として出席出來なくなつてゐる人物があまたゐる、元内相マンデル、元文相セイが暗殺されたのに對しては自分もペタンも責任はない、責任者は處罰した、政治の方法として暗殺手段を利用する等は余は反對である

昨年余はドイツに亡命することは反對でペタン元帥もそれはよく知つてゐる、ベルフオールで政府を作るやうドイツ側から命じられたが自分は斷つた、ジグマリンゲンでも同樣でその結果自分と妻とはも少しでシレジアの收容所に送られるところであつた、一九四〇年以後、ペタンも余も決して自由な人間ではなく、ドイツ側の命令をばいかに緩和するかが仕事であつた」

スペインとの斷交を決議

（チューリツヒ四日發）パリ來電＝フランス諮問會議の外交委員會は三日滿場一致でフランコ政權との斷交を政府に要求する決議案を可決した、同委員會がスペインとの斷交を要求する決議を行つたことは今回が二度目である

ソ土關係依然不明朗

（ストツクホルム四日發）ダーダネルス海峽問題はポツダム會談においても何等の解決をみるに至らず、依然ソ聯對米英間の重大懸案として國際關係に暗影を投げかけてゐるが、ロイター通信もこれをとり上げ問題の困難さを告白して四日つぎの如く述べてゐる

「ポツダム宣言がダーダネルス海峽問題に一言も言及してゐないため、ソ土新友好條約締結交渉の行惱みをつづけてゐるとの感がますます强くなつた、これは英外務省筋でも暗に認めてゐるところだ、ソ土交渉が始つたのは、この夏の初め頃だが爾來今まで公式發表は一回も行はれなかつた、しかし確實な筋の情報ではトルコ側がソ聯に對する領土割讓を一切拒否し、ダーダネルス海峽の現狀變更は他の關係國を除きソ土兩國間の直接交渉のみで協議することは出來ないとの態度を堅持してゐるため、交渉は數週間前に至りもの別れとなつたとのことである、ロンドン外交消息通によるとソ土交渉を進捗させるためにはダーダネルス海峽問題について大國間に意見一致をみることが必要だといはれる、ポツダム會談でこの問題がとり上げられたかどうかは解らないが、いづれにせよ未だ何等の解決にも達し得なかつたことだけはたしかである」

昭和二十年八月七日(火)
第三五〇六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「イズヴエスチヤ」英を非難

(モスクワ三日發)ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」は二日、ノルウエー駐屯英軍司令官ソーンの片手落ちな遣り口を攻撃、次の通り論じてゐる

最近ノルウエーの收容所でドイツ軍將校ブレリーが赤軍兵士を射殺した事件が發生した、ブレリーは裁判にかけられ死刑を宣告されたが、ソーンは七月二十七日ファシスト殺人犯を處刑から免除した、要するにソーンはドイツ軍將校は誰彼構はず特にロシア人を殺害出來るが、殺人犯の死刑は禁止するといふ劃期的な新法律を定めた譯だ、併しもしも英軍の兵士乃至捕虜が殺されたとするなら、この途方もなく寛大な將軍は一體どうするであらうか、ソ聯は殺人犯に對してかかる出鱈目な態度を採ることを斷じて許さない、正義と良心は慈善行爲でなく確たる義務の遂行を要求する

ソ聯獨出版機關を管理

(チユーリツヒ四日發)ベルリン來電=ソ聯軍政長官ジユーコフ元帥はドイツにおけるソ聯占領地域全體の出版施設並びに機械類をソ聯の管理下におく旨の布告を四日發表した

歐洲救濟の急務を說く

(リスボン二日發)ワシントン來電=アンラ補給物資委員會は歐洲向け物資の不足に鑑み物資供給諸國にたいし更に多くの犧牲を忍んでも食糧その他必要物資の供出を强化するやう要請してゐるが右に關しアンラ事務次長ヘンドリツクソンは三十一日つぎの通り述べた

「現在アンラの援助を受けてゐる歐洲諸國は本年度後半期において最少限度二百四十萬トン以上の食製の補給を必要とするが、內半分は穀類乃至穀類製品である、この他魚類十三萬二千トン、脂肪、油類十五萬四千トン、砂糖六萬九千トンも至急要求されてゐる

アンラは以上の要求に殆ど應じ得ない現狀にあり、今にして物資が急速に出廻らぬ限り來るべき數ケ月間に歐洲には饑餓と窮乏が齎されよう」

危險物の處分

(リスボン三日發)ウイルヘルムスハーフエン來電=英軍當局は三日ドイツ人勞働者に指令を發しウイルヘルムスハーフエン港內にある數百萬トンに上る高性能爆彈、機雷砲彈の處分を開始した、これ等危險物は老朽船に積載して北海に送られことで船と共に處分されることになつてゐる

【米國】

米軍損害百六萬

(リスボン二日發)ワシントン來電=米陸軍省は開戰以來の米軍損害として二日次の通り發表した

戰死	二四九、三六七
戰傷	六四四、四九八
行方不明	四六、二八五
捕虜	一二一、四九八
合計	一、〇六一、六四八

トルーマン三法案に署名

(リスボン四日發)ワシントン來電=ホワイトハウス當局は大統領トルーマンが、次の三法案に署名した旨四日發表した

一、米國の國際通貨資金並びに國際銀行機構への參加

二、輸出入銀行による貸出し權限の强化

三、聯合國食糧團體並びに農業團體への參加

兵力再展開に非常措置

(リスボン二日發)米軍當局は目下歐洲派遣部隊の太平洋戰域への再展開に大童で、この結果國內は開戰以來最も深刻な交通難に陷つてをり政府當局も之が對策に腐心してゐるが、ワシントン來電によれば陸軍省は一日次の二緊急非常措置を發表した

一、線路工夫だつた兵員を急速に召集解除する

二、毎月將兵二萬五千名を東部から西部に空輸するに十分な飛行機及び操縱士を提供する



沖繩以後の太平洋戰局（下）

武井武夫

△戰略航空隊の任務

戰略爆撃を擔當するものは新編成の米陸軍戰略航空隊である、從來も太平洋戰略航空隊といふのがあつたが、それは第二十一爆撃隊と第七航空隊と海軍及び海兵隊の基地航空隊を太平洋方面軍司令官ニミツツの麾下に統一しただけのもので、曾ての太平洋前線航空隊の發展にすぎなかつた、これに反し今回大將カール・スパーツの下に編成された戰略航空隊はワシントンの陸海軍統合參謀本部に直屬し、第二十航空隊と第八航空隊のみから成り、その作戰に必要な戰術航空隊は第八航空隊と第二十航空隊にそれぞれ配屬されてゐる

兩航空隊の任務については米陸軍戰略航空隊司令官代理中將パーニー・M・ジヤイルズが十六日グアム島における新聞記者會見で言明してゐるがそれによつても米國の參謀本部が本土のみならず支那大陸をも戰略爆撃の對象として相當重視してゐることが知られるのである、彼はいふ

「中將ジエームズ・ドウリトル麾下第八航空隊は八月中旬までには沖繩基地からの作戰を開始するだらう、上海まで四百五十哩、重慶まで千哩の位置を占める沖繩基地のB29は滿洲並びに支那の大部分をその行動半徑内に收めることになる」

日本が本土諸都市から滿洲への工業移轉を公然言明してゐる以上、支那大陸は當然USASTAF（米陸軍戰略航空隊）の重大關心の的となる、さきにアーノルド元帥が「我々は日本の二流都市を攻撃することになつた」と述べた事實並びにジヤイルズが「もはや日本には千機爆撃の對象となるやうな目標物がなくなつた」と豪語してゐることをそのままに受け取るならば、本土中央部から北海道へかけては第二十航空隊が引受け、第八航空隊のB29は支那大陸方面に向けられるといふ見方も成立つわけだ、但しさう極め込んで油斷することは勿論禁物で、單に第八、第二十兩航空隊を糾合しての千機爆撃が可能なだけでなく、戰略航空隊自身についても固定した考へ方が極めて危險であることは、ジヤイルズの次の言明によつても知られる

「戰略航空隊は必要な場合には戰術的にも活用することが出來る、上陸作戰が始まれば、B29がB24やB25と一緒に戰術的掩護を與へる場合も有り得るのだ、日本は本土侵攻に備へて航空機を保存してゐるにちがひないが、恐らく日本はドイツと同じ運命に陷るのではないだらうか、ドイツが降伏した時、ドイツ空軍は決して撃滅されてなんかゐなかつた、ただガソリンと潤滑油の不足のためにドイツ空軍は地上から離れられなかつたのだ」

△對日航空攻勢の性格

日本の場合とドイツの場合では地形的にも戰略的にも爆撃の演ずる役割はよほど違つてゐなければならない、同時にさうした相違は爆撃の戰術或ひは兵器の上にも反映してゐる、それは敵の燒夷彈攻撃や日本國民獨特の防空活動に我々が常に體驗してゐる通りだ、更に對日爆撃は對獨爆撃の教訓を攻防双方の側が生かしてゐるといふ點で、一層苛烈且つ執拗なものとなつてゐると斷ずることが出來る、この比較は米國の評論家ロバート・オーラ・スミスが論じてゐるが、彼が第一に指摘してゐるのは對日爆撃の持續的性格である

對獨爆撃の經驗からみて、空戰をして效果あらしめるものが一回の大空襲でなく反覆空襲であることは極めて明白なる事實となつた、殊に戰略航空攻勢は敵國の戰力を目標とする、つまり工場とか原料貯藏所とか動力源や輸送手段を破壞するのだ、所が一回の大規模空襲では鐵路を掘り返したり、橋梁を吹き飛ばしたりしても交通線の停止は短期間にすぎない、修理を妨げ工場の生産を停止して軍需物資の動員を不可能ならしめるのは反覆連日爆撃である

航空施設に對する攻撃に關しても同じことがいへる、一回の大爆撃は飛行場を破壞し、滑走路に大穴を明け、作業場や格納庫を燒拂ふが、滑走路を修復して新しい航空機を飛び立たせることは困難ではない、これに反し連日猛襲を加へることになれば飛行場の使用能力を低下し、四六時中安んじて航空機を置くことを許さない

ドイツに對してはこの連襲戰術の採用によつて或る程度の成果を得たが、日本の場合にはそれに對する準備も十分出來てゐるわけであるからどの位それが效果的であるか不明だが、空襲する以上連續的でなければ全く無意味なことは勿論だ

△各航空基地の演ずる役割

以上述べた如く空襲が連續的でなければ效果を發揮し得ないとすれば、現在の段階における敵の最大の條件は、連續大規模空襲を遂行するに足る大航空基地の建設であらう、そのためには日本軍との血腥い戰鬪並びに補給といふ大問題を解決しなければならなかつた、米國軍はそのためには甚大なる損害をも厭はなかつた

例をB29作戰にとつていへば最初は一回爆撃してからつぎの爆撃まで相當の期間をおかなければならなかつた事は周知の通りだ、大體航空機の燃料補給と整備に一週間は必要だつたらう、その後B29の數の增大と補給線の强化とによつて現在の如き連續空襲が可能になつたのである、しかし他の機種をも對日空襲に參加せしめるためには本土に近い基地を獲得することが必要であり、硫黄島の如き小島のために數萬の海兵隊員を犧牲にした硫黄島は東京を戰鬪機の行動半徑内に收めてゐるからだ、沖繩島も本土から六百粁とは離れてをらず、今では同島基地から連日の九州攻撃にP47、F4U等の戰鬪機、B24、B25等の爆撃機が參加してゐる、一方米國海軍の本土水域進出も本土上空に於る航空戰の樣相を一變した、去る七月十日以來二旬に近く本土東海岸を荒し廻つてゐる敵機動部隊は、ジョン・マツケーンを司令官とする米國第二空母機動部隊並びに英國の太平洋艦隊所屬機動部隊である、第二空母機動部隊は組織的にはミツチヤー機動部隊と別の存在だが、最近の電報でみるとこれを第三十八機動部隊と呼んでゐる新聞記者もあり、その構成艦艇は餘程重複してゐるやうだ、この機動部隊の連續的な作戰は或る意味において海上航空基地の獲得とも云ひ得るわけで現在の對日航空作戰は沖繩島、マリアナ諸島、硫黄島、アリユーシヤン基地並びに空母機動部隊の聯合作戰である、この各々がそれぞれ自己の役割を果すことによつて米軍の對日航空攻勢はますます大規模にして複雜なものとなりつつある、その最も典型的なものは最近關西地方に對して實施された二千機爆撃であらう

各基地の演ずる役割を簡單に說明すれば、戰略攻撃を受けもつものはマリアナ諸島及び沖繩島でこの兩島にUSASTAFの第八及び第二十航空隊がある、その任務は前にも述べたから繰り返す必要もあるまい

沖繩基地には第八航空隊の他に大將ジョージ・C・ケニーの極東航空隊がある、これに屬するものはデニス・ホワイトヘツドの第五航空隊、トマス・ホワイトの第七航空隊、ポール・ワーツミスの第十三航空隊で、その任務は大部分が戰術的なものである、勿論航空兵力の戰術攻撃といふのはいはゆる戰術爆撃や地上戰協力だけではない、戰略爆撃に協力する意味での戰術攻撃もあるわけである、その點で硫黄島基地の演ずる役割は小さくない、同基地はB29の不時着基地として既に二千機以上の破損機を救つてゐる他、第七戰鬪機隊の、「ムスタング」隊がここから作戰し、常に關東地方或ひは中部地方に來襲、戰略航空隊の一部として戰術部面を受け持つてゐる

アリユーシヤン基地の第十一航空隊は太平洋艦隊司令長官ニミツツに直屬し、司令官ジョン・ブルックスは海軍のフレッチヤー艦隊と常に共同作戰に出てゐる、他にニミツツ麾下に屬する航空隊としては海軍の艦隊第一、同第二、同第十八航空隊、海兵隊第二、同第四航空隊があつて、琉球列島並びに西南太平洋の諸基地から作戰してゐる、その任務は海上制空權の維持にあり、直接本土作戰に參加してゐるのは、沖繩の海兵隊第二、艦隊第一及び第十八の各航空隊の一部にすぎない

△連日五千噸の投彈を豪語

敵の對日航空攻勢は八月中旬における第八航空隊の參加を境として急激な熾烈化が豫想されるが今後の空中戰に關する米軍航空隊首腦部の最も新しい言明として七月二十五日マニラにおける極東航空隊司令官ケニーの談話を揭げよう

現在太平洋戰域にある聯合國航空機五千機の中半數以上が極東航空隊に直屬する、歐洲からの再展開部隊が到着すれば、對日戰參加機數は一萬機に達することになる

從つて日本の保持する全域に對する五千機爆撃は近く日常のこととなり、一日五千機といへば少くとも一日五千噸の爆彈が投ぜられ、窮極における地上部隊の上陸のための地均しをすることにならう、このことは日本軍もよく知つてゐるにちがひない、だが知つてゐても手段の施しやうはあるまい

ケニーのかかる豪語はもし現在のテンポで戰局が進展すれば決して誇張でも大言でもなくなるかもしれない、問題はいかに物量を誇る米國にしてもそれだけの大規模航空攻勢を續ける補給能力があるかどうかといふことだ、しかしながらB29機の作戰に八千ガロンといふ大量の燃料を費しながら、とにかく現在の攻勢を繼續し得るといふことは、太平洋における米軍の補給力が決して小さくないことを示してゐる、現在敵補給部隊は歐洲からの再展開問題もあつて船舶不足になやんでゐるが、一方太平洋戰場における要求は增大するばかりだ、陸軍補給部隊輸送部長代理少將ジョン・M・フランクリンは七月二十七日、上院輸送問題調査委員會においてこの間の事情を說明しつぎの通り述べてゐる

最近の海陸空作戰における成功の結果對日作戰計畫が著しく進捗し、輸送上の最高優先權はマッカーサー將軍並びにニミッツ提督の要求する兵力並びに補給物資の移動に與へられなければならなかつた、今後わが船舶の大部分が歐洲から直接太平洋へ、米國西海岸から太平洋への輸送に向けられなければならないといふ事實は、八月以後に於る歐洲部隊の米本國歸還速度を著しく遲くするだらう、但し再展開速度は決して豫定より遲れてゐるわけではなく、最初の本國歸還計畫がVEデーから八十一日間に四十三萬五千人だつたのに對し、現在まで實際に本國に歸還した兵員は六十七萬五千人に達してゐる、對日軍事作戰計畫の時間短縮は軍事作戰におけるカレンダーの訂正であつて、この種の計畫において長期間に亘る輸送狀態を正確に豫言することは全く不可能である

△英國軍の動靜

以上述べたやうに太平洋戰局は本土を中心とし米國軍を主力として大航空攻勢を序幕に急速な展開が豫想されてゐるが、聯合軍のいま一つの大勢力たる英國軍は一體何をしてゐるか、最近の機動部隊による本土攻撃に英國太平洋艦隊機動部隊が參加したほか、彼らの主戰場は東南アジアだ、三頭會談に東南アジア聯合軍司令官元帥ルイス・マウントバッテンが參加したといふ事實は、今後の東南アジア軍の動きに大きな示唆を與へるものでビルマにおける日本軍の反撃開始にも拘らず、英國軍がタイ領に新上陸作戰を開始したことによつても東南アジア戰場に新局面が齎されようとしてゐることが知られる

マウントバッテンは三頭會談に出席するに先立ちカンデイで東南アジアの作戰計畫を一應完成して行つたと傳へられるが、INSの特派員コンシダインの觀測によればその計畫の筆頭はシンガポール奪還で、以下タイ、佛印、ジヤワ、マライ半島等の解放が日程に上つてゐるといふ、マウントバッテンはこの作戰に長時間を要するものと豫想してゐるが、その理由の第一は、日本軍が堅固な陣地にたてこもつてそれを一々全滅させない限り地域的前進が出來ないといふ點にあり、第二に物資補給の點で東南アジア軍が常に一番後廻しになるといふ事情があげられる、またマウントバッテン軍の進路に立ちはだかる日本軍はまだ極めて尨大な兵力を有し、彼の作戰計畫が筋書き通り進むといふことは誰も豫想してゐない、英國太平洋艦隊の主力が米國艦隊の指揮下に入つた殘りは第二級の艦艇ばかりだが、これに佛伊蘭三國の艦艇を加へた海軍部隊は少將ダグラス＝ペナントの指揮下に東南アジアの沿岸作戰を擔當してゐる、空軍部隊は少將G・E・ギブスを司令官として地上作戰協力、日本軍補給路の攻撃等を行ふほかは自軍に對する空中補給が主要任務となつてゐる、これはビルマ方面の彼我戰線が交錯して道路を使用し得ない場合が多いのと、道路以外に輸送機關がなく、しかも雨期に妨げられてその道路が使用し得ないといふ事情による

要するに東南アジア戰域が太平洋戰局において副次的な意味しかもたないのと同樣に、英國軍の演ずる役割も決して脇役以上には出ないものと考へられるのである

ポツダム公報全文

一、ベルリンの三國會議に關する報告

一九四五年七月十七日アメリカ合衆國大統領ハリー・S・トルーマン、ソヴエト社會主義共和國聯邦人民委員會議長J・V・スターリン元帥並びに英國首相ウインストン・S・チャーチルはクレメント・R・アトレーと共にベルリンの三國會議において會見した、隨行は三國政府の外相ジエームス・F・バーンズ、V・M・モロトフ並びにアンソニー・イーデン、各參謀總長その他の顧問である

七月十七日と七月二十五日との間に九回の會議あり、ついで英國總選擧の結果が發表される間、二日間、會議は中斷された、七月二十八日アトレーは首相として新外相サー・アーネスト・ベヴインを伴ひ歸還した、會議を通じ、三國政府の首班が各外相を帶同して出席する定例會議あり、別に外相だけの會議が催された、會議に上程された諸問題を豫備的に考慮するために外相によつて任命された諸委員會が會議した、會議の會合はポツダム附近のチチエリエンホーフにおいて開かれ、會議は一九四五年八月二日終了した

重要なる諸決定並びに諸協定が締結された、その他若干の諸問題について意見の交換あり、これら諸問題の考慮は今回の會議によつて組織された外相理事會において繼續されるであらう、トルーマン大統領、スターリン元帥並びにアトレー首相は三國政府間の紐帶を强化し、三國の協力並びに理解の範圍を擴大した今回の會議を終るに當り、三國政府並びに三國民がその他の聯合諸國と相携へて正しく且つ永續的な平和の創建を保障するであらうとの確信を新たにした

二、外相理事會の設置

會議は平和處理のために必要な準備的事業を繼續し、理事會に參加してゐる各政府の合意に基き時々理事會に附託される諸事項をとりあげるために、五主要國を代表する外相理事會を設置することに意見一致した

外相理事會設置に關する協定の成文次の通り

(一)英國、ソヴエト聯邦、支那、フランス及び合衆國の外相をもつて構成する理事會を設置する

(二)(イ)理事會は通常ロンドンにおいて會議を開催し、ロンドンは理事會が組織する統合事務局の常設地とする、各代表は外相缺席の場合理事會の事業を遂行する十分の權限を與へられた高位の代理並びに技術顧問から成る少數の隨員を帶同する

(ロ)理事會の第一回會議は一九四五年九月一日までにロンドンにおいて開催される、會議は時々の取極めに基き、共同の合意の下に他の首都においても開催することが出來る

(三)(イ)理事會はその即時の重要な任務として聯合各國に提出する目的の下にイタリア、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ハンガリー並びにフインランド各國との媾和條約案を起草し、歐洲における戰爭の終結に當り未解決となつてゐる領土的諸問題の處理を提案する權限を與へられる、理事會は平和處理の十分な力ある政權がドイツにおいて設立される場合、右ドイツ政府が受諾すべき平和處理案を準備するために利用される

(ロ)以上の各任務を遂行するため、關係各敵國に課せられた降伏條件に署名した各國を代表する成員をもつて理事會を構成する、イタリアとの平和處理のためにはフランスをイタリアの降伏條件に對する署名國と見做す、他の各成員も直接各國に關係する事項が討議される場合に會議參加の招請をうける

(ハ)構成各政府の合意に基きその他の諸問題も時々理事會に附託される

(四)(イ)理事會に代表を出してゐない國に直接利害關係ある問題も理事會が考慮してゐる場合は、當該國は右問題の討議並びに檢討に參加するため代表を派遣するやう招請さるべきものとする

(ロ)理事會は上程されてゐる特定問題に適應する樣に其手續きを加へる事も出來る或場合には他の關係國の參加に先立ち理事會として

豫備的協議をとげることも出來るし、また他の場合には特定問題の解決を求める爲に主として關係してゐる國の正式會議を開催することも出來る

會議の決定に基き三國政府は各々支那並びにフランス政府に對しこの成文を採決し、理事會の設立に參劃するやう同文の招請を發した

本文にかかげられた特定の諸目的のために外相理事會を設置することは合衆國、ソヴエト聯邦並びに英國の外相の間に定期的協議を遂げるといふクリミヤ會談の取極めを妨げない

會議はまた外相理事會設置の協定に照して歐洲諮問委員會の地位を考慮した、同委員會がドイツ無條件降伏に關する條項、獨墺兩國における占領地帶並びにこれらの國々における聯合國間の管理機構設置に關する具體案を提出してその主要な任務を立派に果したことを滿足をもつて留意した、獨墺兩國の管理に關する聯合國の政策を調整する細目的性質の今後における事業は將來ベルリンにおける聯合國の管理々事會並びにウイーンにおける聯合國の委員會の權限に歸屬すると感ぜられるが故に歐洲諮問委員會の解體を勸告するに決定した

三、ドイツ

聯合軍はドイツ全領土を占領し、ドイツ國民は成功を收めてゐる時に當つて彼等も當然是認し、盲目的に服從した徒輩の指導下に犯したおそろしい犯罪について贖ひをし始めるに至つた、聯合國が管理してゐる期間敗北したドイツに對し聯合國のとるべき調整された政策の政治的經濟的諸原則について、今回の會議で協定が成立した

この協定の目的はドイツに關するクリミヤ宣言を實施するにあり、ドイツ軍國主義とナチズムは根絕され、聯合國は相互間の合意に基き、現在並びに將來においてもドイツが決して再び諸隣邦乃至世界の平和を脅威することがないやう保障するに必要な諸措置を講ずる方針である

ドイツ國民を破壞し乃至奴隷化することは聯合國の意圖ではない、ドイツ國民が民主々義的平和的基礎の上に窮極において彼等の生活を再建するために準備する機會を與へるのが聯合國の意圖である、もしドイツ國民自身の努力が着々この目標に指向されるならば適當な期間內にドイツ國民は世界の自由かつ平和的な諸國民の間にその地歩を占めることが出來よう

協定の成文は次の通り

當初の管理期間におけるドイツを取扱ふ上の政治的、經濟的諸原則

A　政治的諸原則

(一)ドイツ國內における管理機構についての協定に準據し、ドイツにおける最高の權威は、米英ソ佛四國軍の最高司令官が各自國政府の訓令に基き各々その占領地帶において、並びにドイツ全體に影響ある事項については管理々事會の成員の資格において共同に行使される

(二)實行可能な限りドイツ全國を通じドイツ人の取扱ひについては劃一的とする

(三)管理々事會を指導するドイツ占領の目標は次の通り

(イ)ドイツの完全な武裝解除並びに非武裝化及び軍需的生產に使用し得るドイツ工業の一切の抹殺乃至管理

以上の目的のために

(1)一切のドイツ陸海空軍SS、SA、ST並びにゲシュタポはその一切の組織、構成員並びに機關、司令部、幹部班、豫備部隊、軍事學校、在鄉軍人組織その他一切の純軍事的組織を含み、ドイツにおける軍國主義的傳統を存續させるに役立つすべてのクラブ並びに協會と共に、ドイツ軍國主義並びにナチズムの復活または再組織を永久に阻止するやうな方法で徹底的かつ終局的に撤廢する

(2)一切の武器、彈藥並びに戰爭用具及びこれらを生產する特殊の便宜は悉く聯合國の處分に委ねられ乃至破壞される、一切の航空機並びにすべての武器彈藥及び戰爭用具の維持並びに生產を阻止する

(ロ)ドイツ國民に對し軍事上の全面的敗北を蒙つたことを確認させドイツ人自身の假借な

昭和二十年八月七日(火)
第三五〇六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

い戰爭方法並びにナチの狂信的抗戰によつてドイツ經濟が破壞され、混沌と受難とが避け得られなかつたのだから、ドイツ人自らが招いたところについては責任を免れ得ないことを認識させる

(八)國家社會黨並びにその關係組織、その監督する組織を破壞し一切のナチ組織を解體していかなる形においても復活しないやう保障し、すべてのナチ並びに軍國主義活動乃至宣傳を阻止する

(ニ)窮極において民主々義的基礎にたつてドイツの政治的生活を再建し、ドイツが窮極において國際生活に平和的に協力するための準備を進める

(四)ヒトラー體制の基礎を提供し、又は信教乃至は政治的見解と理由に差別待遇を確立した一切のナチ法制を撤廢する、法律的、行政的、その他如何なる方法によるを問はずかかる差別待遇は容認しない

(五)戰爭犯罪人並びに殘虐行爲又は戰爭犯罪を含み或ひはもたらしたナチの企業を計畫し、實行することに參畫した徒輩を逮捕し處斷する

ナチの指導者、有力なナチ支持者、ナチの組織並びに機構の高官、その他占領または占領の目的にとつて危險な人々を逮捕し抑留する

(六)單に名目的にナチ黨に參加したのではない一切の黨員及び聯合國の目的とするところに敵意を抱く他のすべての徒輩を公職乃至半公職並びに重要な私的事業の責任の地位から罷免する、これらの徒輩に代つて政治上、道義上の資質から見てドイツ國内に眞に民主々義的な制度を發展なせる上に協力出來ると解される人を任命する

(七)ドイツの教育を完全に管理し、ナチ並びに軍國主義を除去し、民主々義的思想の成功的發展を計る

(八)民主々義、法律のもとにおける正義、人種、國籍乃至信教の別なく一切の市民に均等な權利を與へるといふ諸原則に準據し、ドイツの司法制度を改組する

(九)ドイツ國内における行政は政治機構の地方分權化と地方責任制の發展に向けられるやうに運營する、以上の目的のために

(イ)ドイツ全國を通じ、民主々義の諸原則に基き、特に選擧による會議を通じて軍事上の安全並びに軍事占領の目的に相反しない限り出來るだけ速かに地方自治制度を回復する

(ロ)ドイツ全國を通じ集會並びに公開討議の權限を持つ一切の民主々義的政黨を許容し且つ奬勵する

(ハ)郡、縣、州の行政に代議選擧制の原則を、地方自治制にこの原則を適用することによつて成果を上げがつ正當と認められる限度において出來るだけ速かに、導入する

(ニ)さしあたり、ドイツには中央政權を樹立しない、しかしながら缺くことが出來ない一定部門についてはドイツ中央行政廳を省長官のもとに設置する、特に財政、運輸、通信、貿易、工業の部面において然り、これら各省は管理々事會の指導下に機能する

(十)軍機の保護に必要な場合を除き言論、出版、信教の自由を承認し、宗教機構を尊重する同樣軍機保護に必要な場合を除き自由な勞働組合の組織を容認する

B、經濟上の諸原則

(十一)ドイツの戰爭潛勢力を除去するために武器、彈藥並びに戰爭用具及びあらゆる種類の航空機、船舶の生產を禁止し且つ阻止する、金屬、化學製品、機械類、その他直接戰爭經濟に必要な項目の生產は、嚴重にこれを管理し、第十五條に揭げられる目的のため承認された戰後におけるドイツの平時の所要に限定される、許可された生產に必要でない生產力は聯合國賠償委員會が勸告し、かつ關係各救府の承認をうけた賠償計畫に準據して撤去される、撤去されぬ場合には破壞される

(十二)特にカルテル、シンジケート、トラストその他の獨占的取極めに例證されてゐるかの如き現在の過度な經濟力の集中を取除く目的のもとに、實行出來る最も早い時期にドイツ經濟を分散する

（十三）ドイツ經濟の組織に當つては主要な重點を農業並びに平和的家内産業の發展に置く

（十四）占領期間を通じドイツを單一な經濟單位として取扱ふ、右目的のために次の諸項について共同の政策を確立する

（イ）鑛業並びに工業生産及びその振當て

（ロ）農業、林業、漁業

（ハ）賃銀、物價、配給制度

（ニ）ドイツ全體に對する輸出入計畫

（ホ）通貨、銀行、中央の稅制並びに關稅

（ヘ）賠償並びに工業上の戰力資源撤去

（ト）運輸並びに通信

以上の政策を適用するに當つては妥當と考へられる場合に各地區の異つた條件を考慮する

（十五）ドイツ經濟に對しては聯合國において管理を加へるが、唯次の目的に必要な限度に留める

（イ）工業の武裝解除、非武裝化、賠償並びに承認される輸出入計畫の遂行

（ロ）占領軍並びにドイツ國内において排斥された人々の所要に應じ、且つ歐洲各國における生活標準の平均を超えない生活標準を維持するに不可缺の生産を保障し物資と勞務を維持するため（歐洲各國とは英ソ兩國を除く歐洲のすべての國を意味する）

（ハ）管理々事會が決定する方法によつて各占領地區の間に公正なやうに必需物資の分配を確保し、ドイツ全體を通じて均衡のとれた經濟を確立して輸入が必要でないやうにするため

（ニ）ドイツが戰爭潛勢力を發展させ、且つ本條に揭げた以外の目標を實現するのを阻止するため、ドイツの工業並びに輸出入を含み國際的の一切の經濟、的金融的、取引を管理する

（ホ）經濟活動と關係あるドイツ一切の公私の科學團體、研究並びに實驗所等を管理する

（十六）管理々事會が確立する經濟管理を課し且つ維持するためにドイツの行政機構を設置しドイツの各當局は實行可能な最大限度まで右管理の運營を布告し且つその衝にあたることを要求される、かくしてドイツ國民に對しかかる管理の運營に關する責任並びに管理の破綻については責任がドイツ人自身にあることを自覺させることが出來よう、但し占領の目的に背馳するが如きドイツ人による管理は禁止する

（十七）（イ）缺くことが出來ない輸送機關の修理を實施し

（ロ）石炭の增産を計り

（ハ）農業生産を最大限にし、住宅その他必要缺くことが出來ない公共機關の應急修理を實施するために

即時對策を講ずる

（十八）ドイツに對する戰爭に參加した聯合各國の支配下に未だ入つてゐないドイツ所有の外國資産を管理し、且つ處分する權限を行使するために管理々事會は適當な措置を講ずる

（十九）賠償の支拂ひについては右支拂ひの後もドイツ人が爾後外部からの援助なしに生活出來るやう充分の資源を殘しておくこと、ドイツの經濟的差引勘定を算定するに當つてはドイツ管理々事會が承認した輸入に對する支拂ひに必要な手段を考慮しておくこと、現在の生産並びに在庫品の輸出による收入は第一次的にかかる輸入に對する支拂ひに充當する、但しこの條項は賠償協定の第四條イ、並びにロに揭げられた諸施設並びに生産品には適用されない

四、ドイツからの賠償

ドイツが聯合各國に與へた損害と苦難とについてはドイツ國民は責任を免れることが出來ず、可能な最大限度まで補償しなければならないとのクリミヤ會談の決定に基き、賠償について次の協定が成立した

（一）ソヴエト聯邦の賠償要求は、ソヴエト聯邦によつて占領されてゐるドイツ國内の領域からの物資撤去、並びにドイツ在外資産の沒收によつて賄ふ

（二）ソヴエト聯邦は賠償に關する自國の分け

うちからポーランドの賠償要求を處理することを公約する

(三)合衆國、英國その他賠償を要求する權利ある各國の賠償要求は西部地帶並びにドイツ在外資産の沒收によつて賄ふ

(四)ソヴエト聯邦は自國の占領地帶から取上げる賠償の他に、西部地區からつぎの追加賠償を受ける

(イ)第一に冶金、化學、並びに機械製造各工業を始めとし、ドイツの平和經濟に不必要でドイツ西部地區から取除かるべき使用可能な完全な工業資本施設の十五%を同價値の食糧、石炭、ポタシユ、亞鉛、材木、粘土製品、石油製品、その他協定出來る各物資を代償として受取る

(ロ)ドイツの平和經濟に不必要で西部地帶から撤去さるべき工業資本施設の十%をいかなる種類の支拂乃至代償も拂はずにソヴエト政府が賠償として受取る

(イ)項並びに(ロ)項に規定した施設の撤去は同時にこれを行ふ

(五)賠償のために西部地區から撤去される施設の量はおそくも今後六ケ月以内に決定することを要する

(六)工業資本施設の撤去は出來るだけ速かに開始し、第三條に特記された決定の日から二ケ年以内に完了しなければならない、上述第四條(イ)項に揭げられた生産品の引渡しは出來るだけ早く開始、決定の日より五ケ年以内にソヴエト聯邦の同意する分割方式に基きソヴエト聯邦がこれを行ふ、ドイツ平和經濟に不必要であり、從つて賠償に振向けることが出來る工業資本投資の額並びに性格の決定は、フランスの參加の下に賠償に關する聯合國の委員會が決定し施設を撤去すべき地區における地區司令官の最終的承認の下に決定された政策に基き管理々事會がこれを行ふ

(七)撤去しうる施設の全體量の決定に先立ち第六條の末段に揭げられた手續に準據し、引渡しうるものと決定される如き施設については前渡しをなしうる

(八)ソヴエト政府はドイツ國内の西部占領地帶に位置するドイツの企業並びに後述第九條に明示された諸國を除きすべての國々におけるドイツ在外資本に對しては賠償に關する分け前の要求を一切放棄する

(九)米英兩國政府は賠償に關し、ドイツ國内の東方占領地域に位置するドイツの企業、並びにブルガリア、フインランド、ハンガリー、ルーマニア各國並びにオーストリア等におけるドイツの在外資産について分け前要求を放棄する

(十)ソヴエト政府はドイツ國内において聯合軍が鹵獲した金については何等要求しない

五、ドイツ海軍並びに商船隊の處分

會議は降伏したドイツ艦隊並びに商船隊の使用並びに處分に關する取極めに關して原則上意見一致した、米英ソ三國政府は以上協定した諸原則を實施する細目案を考案するための專門委員を任命する、三國政府は適當な期間内に更に共同聲明を同時に發表する

六、ケーニヒスベルク市並びに周邊地區

會議においては、平和處理に際し領土諸問題が最終的に決定されるに先立ちバルト海に近接するソヴエト聯邦の西方國境線の部分を、ダンチツヒ灣の東岸の地點から東方に至りブラウンスベルクゴルダツプの北方を經、リトアニア、ポーランド共和國並びに東プロイセンの各國境の合流點に至る線をもつてするといふソヴエト政府の提案を檢討した、會議はまたケーニヒスベルク市並びに上述した同市の周邊地區を窮極においてソヴエト聯邦に移管するといふソヴエト政府の提案に原則上同意した

但し實際の國境線は專門家の決定に俟つ

米國大統領並びに英國首相は以上會議の提案を來るべき平和處理において支持する旨宣言した

七、戰爭犯罪人

一九四三年十月のモスクワ宣言に基き、その犯罪が何等特別の地理的地域別のない重大戰爭犯罪人審理の方法について合意を達成する目的のもとに、三國政府は最近數週間ロンドンにおいて米英ソ佛四國代表間にすすめられてゐる討議について留意した、三國政府はこれらの犯罪人を迅速かつ確實に裁判する意圖を再確言する、ロンドン

に於ける交渉の結果右目的の爲に迅速に協定が成立する事を三國政府は希望し、かつ出來るだけ速かな日取りにこれら重要犯罪人の審理が開始されることを極めて重大と思惟する、被告の第一回のリストは九月一日以前に發表されよう

八、オーストリア

會議においてはオーストリア臨時政權の權威をオーストリア全域に及ぼすといふソヴエト政府の提案を檢討した、三國政府は米英兩國軍がウイーンに入城した後この問題を檢討するといふ用意があるといふに意見一致した

九、ポーランド

會議はポーランド臨時政權並びにポーランドの西方國境線に關する諸問題を考慮した

ポーランド擧國一致臨時政權については三國政府は次の聲明においてその態度を闡明する

A、ポーランド並びに外國にある代表的ポーランド人の間における協定によりクリミヤ會議で出來た決定に準據し米英ソ三國の承認する擧國一致ポーランド臨時政權の組織をみるに至つた事を欣快とする、米英兩國政府がポーランド臨時政權と外交關係を確立した結果、ロンドンにおける前ポーランド政府にたいする兩國の承認は撤回され同政府はもはや存在しない、米英兩國政府は、各自國領域内に位置し且つ兩國の支配下にあるポーランド國所屬の資産に關し、右資産がいかなる形態をとつてゐようとポーランド臨時政權をポーランド國の承認された政府としてその利益を擁護するに必要な措置を講じた、兩國政府はこの資産が第三者に渡るのを阻止する手段を講じた、ポーランド國に所屬し、しかも不當に他に引渡された財産の取戻しについてポーランド臨時政權が通常の法律的救濟手段を行使するに當つては、適當な一切の便宜を提供する

三國政府はまたポーランド武裝兵力並びに商船隊員その他外國在留のポーランド人にして歸國を欲するものには實行出來る限り速かにポーランドに歸國するを促進するやうポーランド臨時政權に協力することに熱意をもつてゐる、これら歸國するポーランド人はすべてのポーランド市民と同じ基礎に立つて民權並びに財產權を賦與されることを期待する

ポーランド臨時政權がクリミヤ會議の決定に準據し出來る限り速かに普選祕密投票により、且つ一切の民主々義的反ナチ政黨が參加し且つ候補を立てる權利ある自由且つ拘束なき選擧を執行するに同意し、且つ選擧の前並びに選擧に際しては聯合國の新聞代表がポーランド國内の推移を全世界に報道する十分な自由を賦與されることに同意したことをここに記錄に留める

B、ポーランドの西方國境については次の協定が成立した

クリミヤ會談において達成されたポーランドに關する協定に準據し三國政府の首班はポーランドが北方並びに西方において受取るべき領土の歸屬についてポーランド擧國一致臨時政權の意見を求めた、ポーランド國會議長並びにポーランド擧國一致臨時政府の成員は會議に出席し十分その見解を表明した

三國政府の首班はポーランド西方國境線の最終的割定が平和處理にまたねばならないといふ所見を再確言する

三國政府の首班はポーランド西方國境線の最終的決定を見る迄にシュワインムンデのすぐ西方においてバルト海からオーデル河にそつて西ナイセ河との合流點に達し、更に西ナイセ河にそつてチエコスロヴアキア國境線に至る線の東方におけるる舊ドイツ領土、今回の會議において達成された協定に基きソヴエト聯邦の行政下におかれた地點をのぞく東プロイセンの一部ならびに舊ダンチヒ自由市の領域を含む地區はポーランド國の行政下に入り、從つて以上の目的のためにドイツにおけるソヴエト聯邦の占領地帶の一部とは見做されないといふことに意見一致した

十、媾和諸條約の締結並びに聯合國組織への加入許可

會議は歐洲における勝利の後出來るだけ速かに永續的平和の條件を確立するための共同政策について次の聲明を發表するに決定した

三國政府はイタリア、ブルガリア、フインラン

ド、ハンガリー並びにルーマニア各國の異常な現在の地位が媾和諸條約の締結によつて終りを告げることが望ましいと考へる、他の關係聯合國諸政府が以上の見解に同意することを確信する、三國政府は自國の立場としては新たな外相理事會においてとりあげるべき第一の重要任務としてイタリアとの媾和條約の準備を上程してゐる、イタリアはドイツと決裂した最初の樞軸國であり、ドイツの敗退には實體的寄與を致し、現に日本に對する構想において聯合國に參加してゐる、イタリアはファシスト體制から脫却、民主々義的政府並びに機構の再建に向つて着々邁進してゐる、從つてかかる平和條約を承認された民主々義的イタリア政府と締結することは聯合國の議員たることを希望するイタリアの申出を支持しようとする三國の希望を實現することを可能ならしめよう

三國政府はまた外相理事會に對しブルガリア、フインランド、ハンガリー並びにルーマニア各國との媾和條約を準備する任務を託した、これら各國における承認された民主々義的政府との間に媾和條約を締結すれば、聯合國の議員たることを希望するこれら各國からの申出を三國政府が支持出來ることとならう、三國政府はその際における各國の實情に照し、これら諸國との媾和條約締結に先立ち可能なる範圍内において、フインランド、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー各國との間に外交關係を確立することを近い將來においてここに檢討することに同意する

歐洲における戰爭終了に由來する情勢の變化に鑑み、聯合國の新聞代表がルーマニア、ブルガリア、ハンガリー並びにフインランド各國の事態について全世界に報道する完全な自由を享受しなければならないといふ點については、三國政府はいささかも疑念を抱いてゐない

他國を聯合國の組織に加入させることについては聯合國憲章の第四條に次の通りのべてゐる

（一）聯合國加盟權は本憲章に含まれる諸責務を容認し機構の判斷においてこれら諸責務を遂行する能力と用意ありと認められる他のすべての平和愛好國に與へらる

（二）すべてかかる國家の聯合國への加盟に對する許可は安全保障理事會の推薦に基く總會の決定により發效す

三國政府の關する限りにおいては戰爭中、中立を維持し上述の諸條件を充した各國からの參加申込みを支持する方針である

しかしながら現在のスペイン政府は樞軸國の支持の下に建設され、その成立ち、その性格、その業績並びに侵略諸國との緊密な關係に鑑み、聯合國組織の成員となることを正當づけるに必要な資格をもつてゐないから三國政府としては現スペイン政府が參加を申出ることがあつても、支持することは出來ないことをここに闡明せざるを得ない

十一、領土信託制度

會議はクリミヤ會議の決定並びに聯合國組織に關する憲章によつて明示された領土の信託に關するソヴエト政府の提案を檢討した、この問題について意見を交換した結果舊イタリア領土の處分はイタリアとの媾和條約準備に關聯して決定さるべきであり、イタリア領土の問題は外相理事會の九月の會議において考慮するといふことに決定した

十二、ルーマニア、ブルガリア並びにハンガリー各國における聯合國の管理委員會の手續修正

ルーマニア、ブルガリア並びにハンガリー各國における聯合國の管理委員會のソヴエト代表が歐洲戰爭の終了に鑑み、管理委員會の事業改善について米英兩國代表に對し通達した事實を三國政府は留意する、これを各國における管理委員會の手續修正は三政府の利益と責任とを考慮に入れた上で今着手されねばならないといふに意見一致した

十三、ドイツ人口の移管に關する命令會議はポーランド、チエコスロヴアキア並びにハンガリー各國からのドイツ人の撤去について次の協定に到達した

三國政府は凡ゆる樣相についてこの問題を考慮した結果、ポーランド、チエコスロヴアキア並びにハンガリーに殘存してゐるドイツ人並びにその一部の移管を實施しなければならないといふことを認める、行はるべき移管は秩序あり且つ人道的な方法において實施されねばならないといふに意見一致した、ドイツ國内に多數のドイツ人が流れ、

む結果、占領當局に既に課せられてゐる重荷が更に增大するから、ドイツにおける聯合國の管理々事會は先づ第一にこれらのドイツ人を數個の占領地帶に公正に配分するといふ點に特に注意してこの問題を檢討すべきであると考へる、從つて三國政府は委員會における各自國の代表に對し、かかるドイツ人が既にポーランド、チエコスロヴアキア並びにハンガリー各國からいかなる程度までドイツ國内に入國したかを當該政府に報告し、ドイツの現狀に鑑みて今後の人口移動が如何なる時期と割合で實施出來るかについて見積りを出すやう訓令した

チエコスロヴアキア政府、ポーランド臨時政權並びにハンガリー管理委員會に對しては同時に以上の決定を報告し、關係各國政府が管理委員會における自國代表からの報告を檢討するまで今後ドイツ人の追出しを中止するやう要請することとなつた

十四、軍事會談

會談中共通利害關係ある軍事事項に關し、三國政府の參謀總長の間に會合が行はれた

會談に參加した代表團の名簿次の通り

△米國

大統領ハリー・S・トルーマン、國務長官ジエームス・F・バーンズ、大統領付參謀總長元帥ウイリアム・リーイ
特派大使ジョセフ・E・デーヴイス、
特派大使エドウイン・ポーレー、ドイツ米國管理地區司令官政治顧問大使ロバート・D・マーフイー、駐ソ大使W・アヴエレル・ハリマン、參謀總長大將ジョージ・G・マーシヤル、作戰部長
元帥アーネスト・J・キング、陸軍航空隊司令官大將ヘンリー・アーノルド、
陸軍補給隊司令官大將ブレホン・S・ソマーヴエル、戰時船舶局長官少將エモリー・S・ランド、國務次官補ウイリアム・L・クレイトン、國務次官補ジエームス・G・バン、國務長官特別顧問ベン・コーエン、國勞省歐洲局長H・フリーマン・マシユーズ、國務長官補佐官チヤールズ・E・ボーレン

（その他政治、軍事、技術顧問）

△英國

首相ウインストン・S・チヤーチル、C・R・アトレー、外相アンソニー・イーデン、アーネスト・ベヴイン、戰時運輸相ロード・レザース、外務次官サー・アレキサンダー・カドガン、駐ソ大使サー・アーチボルド・クラーク＝カー、モスクワ賠償委員會英國主席代表サー・ウオルター・モンクトン、ドイツ英國管理地區司令官政治顧問サー・ウイリアム・ストラング、內閣書記官長サー・エドワード・ブリツジエス、參謀總長元帥サー・アラン・ブルツク空軍參謀長大將サー・チヤールス・ポータル、海相元帥サー・アンドリユー・カニンガム、國防相附參謀總長大將サー・ヘイステイングス・イズメイ、地中海方面聯合軍司令官サー・ハロルド・アレキサンダー、ワシントン合同參謀本部英國主席代表元帥サー・ヘンリー・メイトランド・ウイルソン

△ソヴエト聯邦

人民委員會議々長イ・ヴエ・スターリン、外務人民委員ヴエ・エム・モロトフ、海軍人民委員元帥エン・ゲエ・クズネーツオフ、赤軍參謀總長ア・イ・アントーノフ、外務人民委員代理ア・ヤー・ヴイシンスキー、外務人民委員部次長エス・イ・カフタラーゼ、外務人民委員部次長イ・エム・アイスキー
海軍々令部長大將エス・ゲエ・クチエロフ、英國駐劄ソヴエト聯邦大使エフ・テエ・グーセフ、米國駐劄ソヴエト聯邦大使ア・ペエ・グロムイコ、外務人民委員部參議會員兼第二歐洲部長カア・ヴエ・ノヴイコフ、外務人民委員部參議會員兼米國部長エス・カア・ツアラプキン、外務人民委員部第一歐洲部長エス・ペエ・コズイリョフ、同バルカン部長ア・ア・ラヴシチエフ、在獨ソ聯軍政府政治部長ア・ア・ソボレフ、在獨ソ聯軍政府次官イ・ゼエ・サブロフ、外務人民委員部政治、軍事、技術顧問ア・ア・ゴルンスキー

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可）　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年八　月八　日(水)
第三五〇七號

敵は對日最後通牒なるものをポツダムから發表することによつて彼等の所謂心理戰爭の新しい戰線を展開すると共に、日本侵攻作戰の豫定圖として各種各樣の素人戰術、黑人戰術論をばらまき、これと併行して實戰方面でも、これを裏付ける新戰法、新武器の使用をこれみよがしに發表し、現實に使用し、將來の使用を豫告してゐる

政戰兩略の完全な調整によつて、日本島帝國の堅城を戰はざるに降し、戰つても降さうといふ意氣込みである、トルーマン、アトレーが陳頭に立つて自ら獅子吼しつつ、この政戰兩面の作戰の直接指揮に當つてゐる姿は、敵ながら天晴れであるが、感心ばかりしてゐる暇はも早ない、默殺の影には寸刻を惜しむわが方の攻擊轉移への努力が蓄積されてをらねばなるまい

世界の焦点

敵が發表しつつある新武器中には、人類が夢見てすでに永く、しかも何時なん時達成されるか判らなかつた驚異的なものも既に完成し、使用を豫告してゐるものがある、吾吾は日本の科學陣に絕大の信賴を寄せつつも、尙かつ、更に一層の奮起を期待してやまない、ドイツのV1、V2が世界の驚異であつた時代はすでに過ぎ、ロケツト彈は日常茶飯事と化してしまつた、次に來るものはさらに偉力を日月の如く懸絕する恐怖武器であることがわかづてゐる

わが特攻精神の前に壓倒された敵は、あくまで物と科學との力を信じつつ、精神を乘越える惡魔の武器を創造しようとしてゐるのである、精神において彼等を慴伏せしめた吾々は、物と科學においても彼等の未開拓の分野をきりひらいて、彼等を壓倒しなくてはならない、一億特攻の後を焦土たらしめてはならぬ、これを再び瑞穗の國として八紘に光被せしめるのは、科學者と政治家との責任であらう

中南米學者に奬學資金

（リスボン六日發）ニユーヨーク來電＝故上院議員グツゲンハイムの遺産に基くグツゲンハイム記念基金は六日、中南米の學者二十一名にたいし奬學資金を提供する旨發表した、「ニユーヨーク・タイムズ」紙は社說において右をとり上げ米洲連合の一證左であると述べてゐる

【目　次】

新印度政策の實施は不可能……二二一二
獨トラストの接收始まる……〃
米經濟四法案成立……〃
權謀外交の里程標……二二一三
フランコ、ポツダム宣言を非難……二二一四
航空戰闘要員は四割……〃
再展開五月頃終了か……二二一五
敵陣營再整備始まる……〃
七月中飛行機生產高……〃
B29工場に罷業……〃
聯合國第一回執行委員會は九日……二二一六
陸軍航空隊員養成計畫終了……〃
太平洋岸に陸海軍學校を開設……〃
米智通商協定締結……〃
國民會議派の勢力は絕對的……二二一七
新西蘭兵力半減……〃
アメリー公判……〃
科學情報……二二一八

ハイラム・ジヨンソン死去

（リスボン六日發）ワシントン來電＝カリフオルニア選出共和黨上院議員ハイラム・ジヨンソンは六日海軍病院において死去した、ジヨンソンは嘗てウイリアム・ボラーとともに米國上院孤立主義陣營の中心人物で、特に前大戰後米國の國際聯盟參加に猛烈に反對したことで有名である、享年七十八

新印度政策の實施は不可能

（ストックホルム六日發）英國勞働黨が過般のブラックプールにおける大會で印度の獨立達成を支持する旨の決議を採擇し、更に勞働黨内閣成立直後首相アトレーが印度に對する新政策を示唆した結果、印度國内では印度の獨立近きにありといふ樂觀的觀測が支配し、これに伴ひ種々の噂が流布されてゐるが、ロンドン來電によれば英國政府筋は六日非公式に次の通り言明したと傳へられる

英國政府が印度に對して新たな政策を實施するため印度總督ウェーヴェルに英國に歸還、政府と協議するやう要請したといふ噂が印度國内で流布されてゐるが、さういふことはまだ承知してゐない、總督がロンドンに歸還する必要を認めるならば總督の發意で歸つて來る筈で、政府の側から積極的に動くことは、いまの場合起り得ない、新政府はまだ初閣議も開催してゐないのだから、印度政策を討議する機會をまだ持つてゐない

またロイター政治記者フレーザー・ワイトンによれば、新商相クリップスは次の通り聲明したと傳へられる

余が記者團と會見した際今後一ケ月以内に印度情勢に新たな動きがみられようと言明したとの噂が印度國内に傳へられてゐるといふことだがかかる噂は事實ではない、余は政府が政策を明かにするまで、印度問題については何らいふところはないといつただけのことだ

いづれにしてもアトレーが印度を自治領省の所管に移すと示唆したにも拘らず依然印度省を存置せしめてゐるところからみても、差し當つて印度に對して新たな態度を示すことはあり得ないといふのが、ロンドン外交界の一致した見解のやうだ

獨トラストの接收始まる

（リスボン六日發）フランクフルト來電＝米國のドイツ管理々事會資產管理部長チヤールス・レイドは、聯合國當局が既にドイツの大トラスト資產接收に着手しつつある旨發表した、第一に接收されるのはナチ黨の「ドイツ勞働戰線」保有資產で接收の上は米英ソ佛四ケ國間でこれをトラストとして賠償の一部に加へる件につき協議する筈である「ドイツ勞働戰線」は實質的には產業交易の一大王國となつてをりドイツ經濟活動の十二分の一を掌握してゐたナチ黨所屬のトラスト機關で、その活動分野も銀行、小賣業、食糧販賣、小金融機關休暇用キヤンプ村經營、生命保險等きはめて廣汎である、ただしその事業の一部は戰前の勞働組合から勞働戰線へ移管したものがあり、これらはドイツ國内の勞働組合運動再開とともに返還の豫定である

米經濟四法案成立

（リスボン六日發）ワシントン來電＝白堊館當局は四日、大統領トルーマンが米國の國際經濟協力等に關する左の四法案に署名した旨發表した

一、ブレトン・ウツヅ法案＝トルーマンの署名によつて米國は大國中最初にブレトン・ウツヅ協定を批准した國となつた、米國は今回の批准に基いて資本金九十一億弗の國際銀行並びに八十八億弗の國際通貨安定資金設定のため五十億九千五百萬弗を出資するが、この銀行及び資金はブレトン・ウツヅ協定調印國からの出資金額が資金總額の六五%に達するまで活動を始めず、兩機關の運營が始まるのは一年乃至一年半以後であらうといはれる

二、輸出入銀行融資擴張法案＝同法案は武器貸與法とブレトン・ウツヅ案による國際銀行との橋渡しをなすもので、戰後の外國貿易並びに國内經濟再建に對する政府の直接援助を目的としてゐる

三、聯合國食糧並びに農業機構參加法案＝同機構の目的は世界の食糧補給事情並びに榮養狀態を改善する方法を研究、發展せしめるにあるが、米國は第二十四番目の加盟國となつた

四、產業再轉換のための新徵稅法案＝同法案は來年一月一日から商社の超過利得稅免稅點を一萬弗から二萬五千弗に引上げ、且つ現行法が認めてゐる稅金拂戻額約五十五億四千萬弗の返濟時期を繰上げようとするものである、但し營業稅率個人の稅率及び免稅額には變りがない

昭和二十年八月八日(水)
第三五〇七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

權謀外交の里程標

——ポツダム會談懸案を持越す——

米英ソ三國の首班がポツダムにおける元ドイツ皇儲の離宮チチエリエンホーフにおいて、前後二週間に亘り檜俎折衝を重ねた結果は全文六千語十四件に亘る所謂ポツダム公報として全世界に發表されるに至つたが、公報の劈頭「正しく且つ永續的平和」に對する三國の協力が强化されたと謳つてゐるのとは反對に、要するに今回の公報は今後米英ソ三國間に展開される權謀外交への里程標に過ぎず、幾多の懸案は未解決の儘持越されたといふのが一般の觀測である

△ポツダム會談の裏

ロンドン來電によれば「タイムズ」紙はドイツ處分案については「苛酷だが正當だ」と贊意を表明しながらイランからの聯合軍の撤兵、歐洲の食糧對策並びにルール、ラインランド兩地方に對するフランス政對の要求等々重大な諸懸案を不問に附してゐると述べ、ロイター外交記者は四日次の通り報道してゐる

ポツダム公報の發表によつて、今まで押へられてゐた堰を切つて落すやうに、國際政治の動向に關する觀測が洪水の如く横流するに至つた、ポツダム公報が全世界注目の幾多の懸案について何等の光明をも與へてゐないことは確かで、英國政界筋では公報の發表に關聯し國際政局の諸懸案を次の通り分類してゐる

一、ポツダム公報が概括的協定は出來たと述べてをり、從つて今後の歸趨を或る程度正確に豫斷出來る諸懸案

一、ポツダム公報が不問に附してゐるのが意味深長と解される諸懸案

第一の分類に屬するのはいふまでもなくドイツ處分案であり、第二類に入るのが、ソ土兩國間の交渉、ダーダネルス海峽將來の地位、イランからの聯合軍の撤收、ギリシヤ政權並にギリシヤ國境問題、カリンチヤ、イストリア兩地方に對するチトー元帥の要求等々である、此等の微妙な諸懸案がポツダム會談で討議されなかつたとは到底信じられぬところであり、交渉が行詰りに陷つたために公報では言及出來ず、外相理事會でも容易に解決出來ないとの悲觀論も出て來る譯だ

△スターリン外交の勝利

以上ポツダム公報表裏の諸懸案を盤上に布いてスターリン元帥にたいしトルーマン大統領とアトレー首相との二流所が一局の棋戰を展開したと見立てれば、果して軍配は何れに揚るだらうか、ロイター外交記者は特に

しかし退いて再考すればポツダム公報は依然として各國の輿論に希望を與へてゐるから二國何れかの勝利として判定を下すのには與し難いと辭つてゐるがワシントンからの電報は短刀直入今回の諸協定については共和黨の一部に强硬な批判が出てをり米國上院が媾和諸條約を批准する場合反對論が出る可能性を誘致したと述べてゐる、勿論ソヴエト聯邦は今回の公報に悉く滿悅でモスクワ各紙は大々的に公報の全文を傳へてゐる樣子だが、特に不凍港のケーニヒスベルク市と東プロイセンにおいて五千四百方哩の領域を確保したことを喜んでゐるといふ、少くともポツダム公報の正文に現れたところから判斷すれば、ドイツ處分並びに占領行政についても賠償取立てに關しても、ポーランド、オーストリア兩國についても、ソヴエト聯邦の西方國境線に關してもスターリン元帥が殆ど百パーセント主張を貫徹し、代償としてトルーマン大統領とアトレー首相が持ちかへつた手土産は、ポーランドにおける報道の自由、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー三國管理理事會の改組といふ內包の貧弱な理論の貫徹に過ぎない、從つてポツダム公報の發表と同時に米英兩國內にソヴエト聯邦への新たな讓歩だといふ非難が起つたのは當然だが、かかる輿論の反撥を惧れた結果であらう、トルーマン大統領とアトレー首相とはポツダム公報の發表に遲れること正に二十四時間、三日午後十時半ポツダム會談に際し米英兩國の軍事代表が太平洋作戰において協議したとの共同聲明を發表した

右聲明と公報の末段「第十四條軍事會談」といふ一節とを併せて提示することによつて反對論を懷柔しようとの意圖であらう

但しロイター外交記者は
第一級の重要性ある問題について、輿論は依然として際涯ない洋上に漂つてゐるが、東亞の戰爭がポツダム會議で眞劍に取上げられたことについては疑問の餘地がない
と述べ、重ねて米英兩國政府の共同聲明を引用してゐるに過ぎない

△左右兩翼の對立

以上ポツダム公報を解剖するに當つては歐亞兩大陸に亘る左右兩翼乃至社會主義と共產主義との對立を背景として視界に入れねばならず、從つて勞働黨內閣の外交政策が、國際政局の表面にせり出す譯だ、佛伊兩國政界における左右兩翼の對立ペタン元帥の公判、ベルグラードにおけるチトニク派領袖の裁判、アテネ政界の紛糾、ギリシヤとアルバニア、ユーゴスラヴィア、ブルガリア三國との不斷の軋轢、トリエストで共產黨の機關紙「イル・ラヴオラトーレ」紙主筆に對し聯合軍政府が十ケ月の禁錮を申渡した事件等々、歐洲政局の底流が隨所に鋒鋩をあらはしてゐるが、ロイター外交記者はさらに

重慶軍と延安軍との間に新たに戰鬪が起つたとの報道も何らかの根據があるやうだし、アルゼンチン國內には戒嚴令が布かれてゐると付け加へた後

或るものは取るに足らず或るものは由つて來る所深い、以上各紛爭の集積は要するに歐洲戰爭の後患に過ぎず、次の戰爭の徵候ではないと結論してゐる

△勞働黨の外交政策

勞働黨內閣は漸く顏觸れが揃つただけで、まだ具體的政綱を發表してゐないが、現にパレスチナ地方におけるアラブ民族とユダヤ人との對立は著々尖銳化してをり、近く何等かの形で新外相サー・アーネスト・ベヴインが、歐洲における個々の懸案について英國政府の立場を闡明せねばならず、今後における英ソ兩國の關係は單に社會主義內閣はクレムリンに近いといふ公式論ではなく、利害打算を回避出來ぬ具體的懸案によつて決定されることとならう

最後にポツダム公報に簡單に出てゐる賠償並びに戰爭犯罪人の處分について次の報道が傳へられてゐる

ロイター電報四日、賠償問題については、ポツダム會談では公報以上に協定が出來てゐる、豫想に反し公報は賠償總額にも觸れてゐない、各聯合國間の分け前にも言及してゐない

「ニューヨーク・タイムズ」紙四日、米英ソ佛四國代表は既に五週間に亘りロンドンで協議を重ねてゐるが、ソヴエト代表の反對で戰爭犯罪法廷の構成、地點、裁判手續等につき協定が出來ぬためロバート判事はポツダムに赴いて米英ソ三國の首班に懇へたが、その結果スターリン元帥が讓歩し、法廷は四國代表をもつて構成しニユルンベルクで開廷するに決定した、協定は四、五日以內に發表されよう

フランコ、ポツダム宣言を非難

(リスボン五日發)ポツダム宣言はフランコ政權下スペインの聯合國參加を拒否する旨を明かにしたが、フランコは五日聲明を發しポツダム宣言を痛烈に非難した、要旨次の通り

ポツダム宣言は一方的であり公正を缺いてゐるスペインはその歷史と國民と平和及び文化に逆行する如き國際會議には贊成し參加することは出來ない

【太平洋戰線】

航空戰鬪要員は四割

(リスボン三日發)ワシントン來電=米國陸軍航空本部人事部長アンダーソンは陸軍航空隊兵員の新配置について次の通り言明した

歐洲並びに地中海方面で服務した陸軍航空隊兵員の八〇%は今後米本國における勤務に服し、代つて從來海外における實戰に參加してゐなかつた者が太平洋戰域の陸軍航空隊を構成する、新たに擴張された太平洋航空隊には對日航空作戰の要員として二百十三萬の兵員が必要だ、太平洋戰域では歐洲戰域に比べて地上勤務並びに非戰鬪任務に就くべき兵員の割合を增加する必要があり、航空兵力の四〇%を戰鬪に參加させるためには殘餘の六〇%が補助的任務並びに補給任務に廻らねばならぬ、これに反し歐洲では兵力の五三%が戰鬪を行ひ、殘餘の四七%の地上勤務並びに非戰鬪員がこれを輔佐したにすぎなかつた

昭和二十年八月八日(水)
第三五〇七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

再展開五月頃終了か

(リスボン五日發)ワシントン來電＝米國陸軍輸送部長少將C・P・グロスは三十日ポツダム會談からワシントンに歸來、米軍再展開のための輸送狀況について左の通り語つた

陸軍省の再展開計畫を輸送の面から見れば計畫は初期の豫想よりも進んでをり、米軍の歐洲から太平洋への移動は來年五月までに完了すると信じてよい、五月十二日から六月十三日までに六十三萬五千名の將兵が歐洲から太平洋に向つたが、このうち十二萬四千二百八十名は空路米國に到着した、六月末日までに歐洲を出發した軍隊の總數は八十萬名以上にも達しよう、さらに百萬名が八月から十二月までの間に歐洲を離れる豫定で、殘る九十萬足らずが一月から五月までに移動する、「VEデー」に引續く七週間のうちに歐洲及び中東地方から百二十二萬六千噸以上の軍需物資が送り出されたが、このうち約三十萬噸は太平洋その他戰況活潑な方面へ、殘りは主として米國へ送られた

敵陣營再整備始まる

(リスボン五日發)太平洋戰爭に關してこの數日間に三つの重大な發表があつた、卽ちロンドンの英國外務省並びにオーガスタ艦上における米英兩巨頭の共同聲明、マツカーサーの琉球基地掌握、ドウリツトルの單一最高司令部案提唱がそれだ、對日總攻撃における敵戰略の根本問題が、ポツダムで決定されたであらうことは共同聲明をみても明かだが、マツカーサーの指揮權擴張は恐らく聲明の所謂「地域並びに統帥」の變更の第一着であり、更に第二段三段の陣容再整備がみられよう、もしマツカーサーの指揮權擴張がポツダム戰略方式の一部をなすとすれば、當然豫想されるのは東南アジア軍を指揮する英將マウントバツテンの擔當戰域にも變更があるだらうといふことだ、ワシントンからのUP電報は英軍が太平洋水域に出撃する唯一の捷徑たる昭南及びマラツカ海峽を奪還する準備としてマウントバツテンは東印度諸島を指揮下に收めるだらうと觀測してゐる、併し指揮權に關し何より大切な最高司令部設置の問題は歐洲の場合と異り未だに決定されず共同聲明においても觸れてゐないが、問題は聯合軍最高司令部のみならず、米國軍内部の陸海軍の統一に關しても未解決のままに殘され、太平洋ではマツカサー司令部とニミツツ司令部が併立し、大作戰は兩者が協議決定しなければならない、航空隊記念日のドウリツトル演說は責任ある第一線司令官が最高司令部設置を要求した點、更にマツカーサー司令部がこれに關する報道を許可した點に注目を惹いたが、ワシントンの陸軍省はこれを陸軍の正式意見ではないと否定してゐる、消息筋ではドウリツトルが最高司令部の缺如に種々の缺陷を認め、或ひはあまりに些細なことまで上部からの指示があることに不滿を感じてゐるのだらうと述べてゐるが戰略航空隊は直接ワシントンの支配下にあるのでさうした問題が起るわけではない筈だともみられる、一方にはドウリツトルは戰略航空隊と戰術航空隊(ケニー麾下の極東航空隊)とマツカーサ司令部との三角關係を指摘してゐるのだと論ずる者がある、これはドウリツトルの第八航空隊が既にケニー航空隊の進駐してゐる沖繩基地へ進出するといふ事實を思へば考へられることであらう

【米　國】

七月中飛行機生産高

(リスボン四日發)ワシントン來電＝戰時生産局長官クルーグは四日、七月中の飛行機生産高は四千七百機以上と發表した、米國の飛行機生産高が一月四千八百機以下となつたのは一九四二年十月以來のことである、クルーグはこの飛行機生産高減少の理由として海軍の戰鬪機及び双發爆撃機の製作にあたつてゐる二會社の生産澁滯をあげてゐるがB29の製作工場は總べて計畫通りの生産を行つてゐる旨發表した

B29工場に罷業

(リスボン五日發)ニューヨーク來電＝オハイオ州シンシナチ市にあるライト航空機會社のB29用發動機製造工場の職工約四千名は三日から罷業を開始し、ために全工場は閉鎖されて二萬三千名の勞働者が就業不能となつた、罷業職工はCIO系の合同自動車勞働組合員である

聯合國第一回執行委員會は九日

（リスボン五日發）ワシントン來電＝國務省は四日新國際機構準備委員會の第一回執行委員會に關し次の通り發表した

國務省の專門家二名が聯合國安全保障理事會設置準備のための準備委員會第一回執行委員會に出席するため來週早々ロンドンに向け出發する

委員會の開催は一應本月九日と決定してをり、十四ケ國代表が出席する豫定である、同委員會においては

一、總會、安全保障理事會その他諸機關の第一回會議の準備

二、聯合國書記局構成のための計畫

三、聯合國常設本部の所在地推薦

四、舊國際聯盟の諸機能、諸事業並びに資產の新機構への移讓

五、國際司法裁判所判事候補指名に關する各國への要請

等が議せられることになつてゐる

なほ準備委員會米國代表兼安全保障理事會米國代表ステチニアスは九日の會合には出席しないといはれる

陸軍航空隊員養成計畫終了

（リスボン四日發）ワシントン來電＝陸軍當局は開戰以來全米にわたり多數の航空學校を設置して航空兵員の養成に大童だつたが歐洲戰の終了以來逐次その整理に乘出し、四日最後に殘つてゐた航空學校八校の閉鎖によつて航空隊員養成計畫を終了した、この航空學校の最初のものは開戰前の一九三九年夏に創設されたが、開戰以來急速に增加して一時は六十校に及び五ケ年間にこれ等學校を卒業した兵員の數は二十二萬六千名に達した

太平洋岸に陸海軍學校を開設

（リスボン五日發）ワシントン來電＝上院軍事委員會は四日東部以外の地方に陸海軍の學校を開設する件に關し四日次の通り言明した

上院は東部以外の地方に陸軍士官學校並びに海軍兵學校を新設すべきや否やに關し特別委員會をして研究せしめる豫定で、本委員會は議會休會中に右委員會を指名することになつてゐる

太平洋岸に海軍兵學校を新設する件は從來からの提案で、アナポリス海軍兵學校は平時約二千四百名を收容してゐたが戰爭中に三千四百名に增員した、下院海軍委員會の推定によれば、提案通りの擴張を見れば收容人員は六千乃至七千名に增加するといはれる

米智通商協定締結

（リスボン三日發）サンチアゴ來電＝米國、チリー兩國政府は七月三十日サンチアゴにおいて暫定的通商協定を締結した、內容次の通り

一、一定の物資に對しチリーの輸入稅を一方的に減額する

一、協定は、更に廣汎な通商協定の成立を見ない限り、一ケ年間有效である

一、協定は一方の政府が滿期失效前三十日の豫告期間をおいて通告する場合廢棄される

米國、チリー兩國政府間には一九三八年二月一日以降有效の暫定的通商協定が締結されてゐるが今回の協定はこれとは別個のものである

【英　帝　國】

國民會議派の勢力は絕對的

（リスボン五日發）最近印度から英本國に歸つて來た婦人記者マーガレット・ボープは獨立自由黨機關「ニユー・リーダー」紙上において印度の政情に關し次の通り論じてゐる

國民會議派と回教聯盟が印度國民をどの程度まで代表してゐるかは成年制による總選擧を實施せぬ限り何人も能く斷言するところではないがもし現在直ちに選擧を行つたとすれば、國民會議派は必ず七州乃至八州において絕對多數を占め他の三州乃至四州においても次位を獲得するに違ひないといへよう、回教聯盟はどんなことがあつても四州以上で多數を占めることは無理だらう

新西蘭兵力半減

(リスボン四日發)ウエリントン來電=ニユージーランド首相ピーター・フレーザーは同國の兵力縮少に關し三日下院で次の通り發表した

ニユージーランド政府は現兵力十萬を近く五萬に縮少する、卽ち海外派遣の陸軍兵力を三萬九千から一萬八千二百に、國内軍を一萬六千から八千四百に、空軍を三萬五千から二萬一千五百にそれぞれ縮少し、また海軍兵力も若干削減する、しかしニユージーランドは人的資源その他の資源の能力に應じてあくまで對日戰を遂行せんとするものである

アメリー公判

(リスボン四日發)ロンドン來電=さきに反逆罪に問はれた元印度相レオポルド・アメリーの息子ジョン・アメリーの第二回公判は三十日ロンドンのボウ街の裁判所で開かれた、檢事はアメリーの罪狀について次のやうな論告を行つた

アメリーは一九四二年夏歐洲における英國權益代表國に對して旅行免狀の更新を求めたが、この際アメリーは「自分は英國民である」と述べてゐる、同人は敵國の利益のためにフランスにあつた英國兵士並びに非戰鬪員に呼び掛けて自稱セント・ジョージ部隊への參加を慫慂してゐる、卽ちアメリーはサン・デニスの英國民收容所を訪問し收容中の英國兵士並びに非戰鬪員に對して「セント・デニス部隊は赤軍に對抗する機構であるからこれに加盟せよ」と慫慂した、この宣言のうちでアメリーは次のやうに述べてゐる

我々はボルシエヴイズムの危險に直面してをり余はドイツ政府と折衝してボルシエヴイズム反擊の英國部隊たる「セント・ジョージ部隊」を結成した、余は英國民が余の慫慂に應じてこの部隊に參加し、我々の家庭と子供等と全文化をアジア的猶太人的な野望から護り拔くことを希望する、同部隊は政治的でなく軍事的な團體であり、これにはあらゆる男子が加盟出來る「セント・ジョージ」部隊はドイツ並びにフインランド軍の指令に基いて戰ふ、既に數百の兵士は進んで同隊に參加してをり、多數の英空軍飛行機も我々と行動を共にすることになつてゐる、我々は英帝國史に新しい頁を記さうとしてゐるのだ、英國民は專政と暴政の奴隷になつてはならぬ

以上の宣言には一九四三年四月二十日にアメリーが署名してゐる、更にアメリーはノルウエー、フランス、ベルギー、ユーゴスラヴイア、イタリア等で、敵國のために宣傳放送演說を行つた、アメリーが英國諜報將校に語つたところによると同人は歐洲で、フランスの共產主義者でその後右翼に轉向したジヤツク・ドリオと共に共產主義を研究した、アメリーは戰爭勃發當時スペインのサン・セバスチアンにあり、その後ポルトガルに移つて一九四〇年まで同國に留まつた、彼は外國を永久住居と定めたため、英國軍隊へは召集されなかつた、アメリーは一九四一年六月の獨ソ開戰當時南フランスにあつたが彼は當時の聲明で次の通り述べてゐる

余及び余の友人であるドリオは歐洲が今や共產主義の重大な脅威に曝されてをりこの共產主義が全歐洲を席卷するに至るだらうと確信する、故に歐洲の國家が反共產運動を推進しない限り共產主義は全世界に擴大することは必至だ、ユダヤ民族はモスクワと協同して行動してゐるのだ、このやうに確信してゐた余は英國とソ聯とが聯合してドイツに當ることになつたと聞いた時は異常な衝擊を受けた、余は英國政府責任者の態度に疑問を抱くに至つたのである、余はヴイシーに赴いてフランス政府と折衝し、ソ聯に對する全歐洲國の聯合戰線を結成せんと努力した、しかしヴイシー政府の要人は誰一人として余の抱負に耳を藉さなかつた

アメリーは一九四一年英國側がシリアで逮捕した一フランス領事の人質としてフランス側に捕へられたが十八日後に釋放された、その後アメリーは元駐英イタリア大使デイノ・グランヂと會見して對共產黨結成問題を協議せんとした、これを拒否されるに及び彼はフインランド軍に投ぜんとしたがこれ又拒否された、かくて一九四二年十月アメリーはベルリンに到着し反共產主義運動に關してドイツ政府要人と協議したのであつた

【科學情報】

英軍、新型小銃採用

（ストツクホルム一日發）ロンドン來電＝英國陸軍省は三十一日次の通り發表した

東南アジア聯合軍に屬する英軍部隊に對し、近く新型小銃が支給されるが、この小銃は重量七封度で迫擊砲彈發射用の附屬裝置や密林に小徑を切り拓く目的の兩刃附特殊銃劍も取り附けてある、正式には「五型」と呼稱され從來の「四型」に比較して重量は五封度輕く銃身は六吋つまつてゐる、最大射程は一千碼で「四型」より短いが密林では近接戰が多い關係上決して短所だとはいひ得ない

米新戰鬪機「流星」

（リスボン一日發）ワシントン來電＝米國陸軍航空本部長アーノルドは一日「空軍日」に當り、米國陸軍の新噴射推進式單座戰鬪機「流星」の製作を發表した、同機は時速五百五十哩で機關銃六を裝備してゐる

米國型豆戰艦

（リスボン一日發）ワシントン來電＝米海軍省は二十九日新戰艦「グアム」に關し次の通り發表した

新巡洋戰艦「グアム」は排水量二萬七千噸、既に六ケ月前より就役してをり、日本々土艦上機攻撃にも參加して艦砲射撃を加へた、現在就役中の新戰艦は「グアム」ともに二隻で米國型豆戰艦とも稱すべきものである

キニーネ代用品新製法

（リスボン一日發）キニーネ不足に惱む米國はこれの代用品生産に大童だが、ワシントン來電によれば「サンデー・スター」紙はヴアージニア州フオート・ベルビアにある陸軍の研究所で、トタキンと稱する斬新且つ革命的なキニーネ代用品が發見された旨三十日次の通り報道してゐる、但しこれは未だ實驗的段階を出てゐないやうである

陸軍工務局の化學者たちは現在これを飛行士研究所で實驗的に生產してゐるが、トタキンの出現により將來米國及び西半球におけるマラリア特效藥供給が確保されるだけでなく、從來キニーネ乃至その代用品たるアタブリンが高價なためマラリアの藥を買へなかつた者でも今後は容易に入手し得ることになつた、卽ちトタキンは「貧乏人のキニーネ」ともいひ得よう

熱帶病研究者の推定によれば例年三億以上にも達するマラリア患者の中八五%まではキニーネその他比較的高價な藥品を購入出來ない貧乏人である

ＤＤＴ紛民需にも

（リスボン三十一日發）ワシントン來電＝戰時生產局は三十日左の通り發表した

米國軍隊の使用してゐるＤＤＴ殺蟲劑が八月から一定量を限つて民間の用に供せられることとなつた、但し供給量は需要に比すれば極めて少く軍の必要量が減少しない限りその增量を期待することは出來ない

このＤＤＴ殺蟲劑は今次大戰中創製された藥劑で聯合軍がイタリアに侵入して後チブスが發生しなかつたのも全くＤＤＴ殺蟲劑があつたためだといふが、目下太平洋では全域に亘り米軍部隊のマラリア豫防に大量使用されてゐる

獨代用燃料製法を接收

（リスボン三十一日發）ワシントン來電＝米國鑛山局人造燃料部長ウイルバーン・シユレーダーは三十日次の通り發表した

米國のドイツ代用燃料工業視察團は過去四ケ月にわたりドイツ全土の代用燃料工場を視察中であつたが、この間ドイツが一九二五年以來極秘に附してゐた代用燃料油並びにガソリンの製法に關する文書を發見、既に米國へ輸送しつつある、この發見によつて米國は代用燃料の研究に要する數百萬弗の金と數年の日子とを節約出來よう

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社）

昭和二十年八　月九　日(木)
第三五〇八號

同盟通信　海外電報

（183）

世界の焦点

最近米國の一部で米國の對中國政策再檢討の聲があり、特に重慶政權一本建のハーレー政策を修正すべきだとの主張が現れて來てゐる、一本建といひ、二本建といひ、すべて渝延の抗爭から來たもので、しかも米國の中國に對する武器貸與政策が常につきまとつてゐるのは妙なことである、重慶駐劄大使パトリック・ハーレーは、この四月「重慶政權は米國が承認した唯一の中央政府であるから、米國の物資援助は重慶政權に限るべきで、これと抗爭してゐる異端派武裝團體である中共政權に武器を供給すべきではない」と主張し、米國政府の對重慶一本建政策が確立したが、さて渝延武力衝突で重慶軍の使用した武器には米國製のものが出て來た、延安はこの事實を曝露して盛んに米國に吠え立てたが、在支米軍司令官ウエデマイヤーもつひに白狀した、何人が直接の責任者であるかは問ふところではなく、要するに米國製兵器が、中國内爭の具に供せられてゐる實態は、甚だ好ましくない、よつて第一に重慶政權に對する武器貸與は愼重を期せよといふ議論と、更にこれと關聯して、第二にこの際延安政權の立場をも考慮し、重慶一點張り政策を修正すべきだとの議論が行はれてゐる、さればといつて渝延兩政權に對して平等に武器を貸與せよといふのではないが、中國の政權は單數ではなく複數であるといふ現實を率直に認めよといふのであり、しかもこれ等政權の對立抗爭は面白くないから、米國はその抗爭を激化するやうな行爲は愼んで、中國に統一政權の實現するやう協力すべきだといふのである

渝延兩政權の對立解消は、スターリン議長、宋子文行政院長のモスクワ會議で、課題の一つに數へられた、米國は大體この問題を見送りの形だつたが、今や漸く米國自身の重慶一本主義を修正して、渝延の統合政權成立に事態を持つて行くべきだとするものである、無論中國の政情は米國型單純政策では、容易に解決するものではないが、兎も角對支政策に關する新しい傾向として注意してよからう

ソ聯、羅芬と國交再開

（リスボン七日發）ワシントン來電＝ワシントン駐劄ソ聯代理大使ニコライ・ノヴイコヴ氏は六日米國務次官グルーを訪問、今回ソ聯がルーマニアフインランド兩國政府と外交關係を復活した旨通告した

【目　次】

チトー、王政撤廢方針を闡明……二二二〇
米國務省近く改組……〃
ポツダム會談の未決定事項……〃
ス議長最高會議召集……二二二一
ソ聯、復員兵士を優遇……〃
ドイツの技術を研究……〃
フランコを裁判に附せ……〃
アイゼンハワー、獨國民に呼掛く……二二二二
ペタン公判第十三日……〃
陸軍兵力の過剩問題化……二二二三
米代表事務局設置案……〃
六月中輸出入貿易……〃
アンラ理事會米國代表……〃
土外相、シリアと交涉開始……二二二四
重慶の金政策に非難囂々……〃
フアガソン死去……〃
【資　料】
米國陸軍航空隊史……二二二五
「ジヤングル・スキツパー」……二二二六

中間委員會九日開催

（リスボン七日發）ロンドン來電＝桑港會議において設置を決定された聯合國安全保障機構の中間委員會は恒久的國際機構設置準備のため來る九日ロンドンで第一回の會合を行ふことになつた、右委員會は桑港會議で選ばれた代表十四名をもつて構成され、新國際機構の創設事務をとり扱ひ、二十八ケ國が國際憲章を批准すると同時に聯合國代表の本會議を召集することになつてゐる

チトー、王政撤廢方針を闡明

（リスボン七日發）ベルグラード來電＝ユーゴスラヴィア假政府首班チトーは七日國會に臨んで一場の演說を行ひ、王政に對する態度を明かにすると同時に內外の反動的諸流に對して斷乎たる鬪爭を展開することを要請した、演說の要旨次の通り

「余と現外相イヴアン・スバシツチとの間に成立した協定に基き王政問題の處理は暫し延期されてゐたが、いまやユーゴスラヴイアから王政を一掃すべき時は訪れた、ドイツとの苛烈な戰爭の間中國王ペタールの名はドイツと通謀、解放運動と戰つてきた憎むべきチエートニク指導者ドラジヤ・ミハイロヴイツチ將軍及びセルビヤの「キスリング」ネデイツチ將軍の行動と常に結び付けられてきた、更にチエートニク派がユーゴ遊擊隊にたいして總攻擊の火蓋を切つた時には常に國王は同派の首腦に勳章を授與したのである、以上の事實は國王ペタールがユーゴスラヴイアの解放にとつて如何なる役割を果し、ユーゴ民衆にとつて如何なる意義を有するかを明瞭に實證するものだ、ユーゴスラヴイアには依然民衆の敵がボスニアの森林に潛伏して反政府的活動を展開、外國の反動分子も又聲を揃へてユーゴスラヴイア政府を覆滅しようと圖つてゐる、ユーゴ人民戰線は政府の周圍に一致團結、武器をとつて內外の敵を斷乎殲滅しなければならない」

チトーが外敵といつてゐるのはギリシヤの王政派を指すものとみられ、ユーゴ、ギリシヤ兩國間に國境紛爭の勃發してゐる現在、チトーの演說は王政撤廢方針を闡明すると同時にギリシヤに對する態度を明かにした點で注目に價する

米國務省近く改組

（リスボン六日發）ワシントン來電＝國務長官バーンズは、さきにポツダム會談へ出發に先立ち同會談から歸國後、國務省首腦部の更迭を斷行する意向であることをほのめかしたが、政界消息筋の觀測によればこの更迭は愈々今後三週間以內に行はれることとならうといはれる、この更迭において國務省を去ることの豫想される者は國務次官グルーをはじめ次官補ネルソン・ロックフェラー、アーチボルド・マクリーシユ等だが、グルーが退陣する場合、バーンズは彼と同樣外交問題、就中東亞問題に精通した人物を國務次官の椅子にすえなければなるまい、しかして新國務次官としては駐亞大使スプルーシル・ブレード、駐西大使リーマン・アーマー、駐英大使ジョン・ワイナント等の名前があげられてゐる

ポツダム會談の未決定事項

（リスボン六日發）米英兩國はポツダム會談の成果を大々的に宣傳し、米英ソ三國關係がこの會談を契機として更に一段と緊密化したことを全世界に印象づけようと大童だが、太平洋戰爭に關して具體的發表をなし得なかつたことはその失敗の最大のものであり、更にその他の重大な問題についても米英ソ三國首領は遂に滿足すべき妥協點に到達することが出來なかつた模樣だ

ニユーヨーク來電によれば「ニユーヨーク・タイムズ」紙記者ジエームス・レストンは五日の紙上にポツダム會談の未決定事項として次の四重大問題をあげ、最後に「ポツダム會談は東歐の問題の解決には一應成功したかも知れないが、西歐、南歐及びアフリカにおける最も重大な問題解決については緖をつけることさへ出來なかつた」と結論してゐる

一、イラン撤兵問題

イランに駐屯中のあらゆる軍隊を撤收する件は英國代表によつて提起されたが、三國代表間に意見の一致をみなかつた

一、ダーダネルス海峽通過問題

ソヴエト代表はダーダネルス海峽の通過を規定するモントルー條約の改訂を要求した模樣だ、しかしこの問題の解決は結局黑海沿岸諸國並びに五國外相理事會に委ねられることとなつたやうだ

一、イタリア領土處分問題

ソヴエト代表はイタリア領土の一部を國際信託統治下におくことを提案したが、會議終了後では單に「イタリア領土の處分はイタリアとの媾和條約締結の際決定されよう」と述べてゐるに過ぎない

一、シリア、レバノン問題

ソヴエト代表はシリア、レバノン問題解決のため米英ソ佛四國會議を提案したが、米英兩國代表はこれに反對した

昭和二十年八月九日(木)
第三五〇八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐　洲】

ス議長最高會議召集

(チューリツヒ六日發)歐洲通信社(AEP)のモスクワ電報によれば、スターリン議長はポツダムからモスクワに歸還後直ちに臨時最高會議を召集、國際憲章並びにポツダム宣言の批准を要請すると同時に、東亞問題につき極めて重大な決定を行ふ意向と傳へられ、蒙古人民共和國の軍事使節團が目下モスクワを訪問中といはれる

ソ聯復員兵士を優遇

(モスクワ六日發)最近のソ聯各紙は連日赤軍將兵の復員狀況を報じてゐるが、それによれば地方ソヴエト機關は全力を擧げて復員法に基き歸還兵士の衣食住の世話を燒いてゐる樣子だ、これに伴ひ聯邦人民委員會議は布告を發して、復員兵士及び家族の免稅並びに減稅の特典を存續する方針を明かにした、內容は次の通り

一、復員兵士の農業稅減免は動員された時日に關係なく一九四五年末まで存續される
一、軍事稅は一九四五年末まで免除される、復員兵士の家族も同樣
一、獨身稅並びに少數家族稅は復員の日から一ケ年後免除される

ドイツの技術を研究

(リスボン六日發)ワシントン來電＝米國外國經濟院長レオ・クローリーは「大學、政府機關その他國內各種會社から技術專門家の殆どすべてを網羅する二百名以上を選拔、陸海軍統合參謀本部指導の下に外國經濟院その他の機關と協力してドイツの祕密技術並びに祕密工業を研究中である旨發表した、これら技師は米國の軍需生產を援助するためドイツの工場や諸發明並びに工業技術を徹底的に調査するやう指令され、蒐集した情報は政府の所有に歸するが、對日戰に利用出來るものは直ちに米國の軍需工業に應用するやう取極められてゐる現在までに判明したドイツの新發明並びに技術の主なるものは左の通り

一、米國の如何なる飛行機よりもさらに數千呎高い上昇限度を持つ飛行機
一、手によらず機械裝置によるブリキ罐側面の蠟附工程
一、從來米國では未開發であつた分野における放射能裝置の新用途
一、癌治療並びに工業用の新式X線眞空管
一、同型の米國製鐵纜に比し二倍の電壓に耐える柔軟な高壓電纜
一、徹甲彈製造及び機械用金屬の切斷に使用するタングステン代用品
一、米國で從來見られなかつたやうな構造の回路遮斷器
一、飼料用脂肪の製造に用ひる莫大なセルローズ物質の新用途
一、楓糖から食糧並びに飼料を製造する際の酵母の新醱酵法
一、新石油合成法
一、極度の高壓下で操作される水素添加工場
一、石油を從來にない高速度で高オクタン價ガソリンに轉化せしめる新觸媒
一、石炭から液體燃料及び減摩劑を製造するガソリン合成法におけるドイツ式精製法の詳細
一、合成ゴム工業における新式加工處理法
一、可塑物類製造工業における連續異量體生成工程に關する新資料
一、アセチレン並びに電氣化學工程に關する新資料
一、米國においては知られてゐなかつた高溫合金に關する情報
一、高級パルプから製造された米國の高級ニトロ・セルローズ物質よりも一層安定度の高いものを低級パルプから製造する方法

フランコを裁判に附せ

(ストツクホルム六日發)ロンドン來電＝主として英國に在住する元スペイン共和政府軍將兵よりなるイベリア在鄉軍人聯盟は六日、聯合國戰爭犯罪委員會に書簡を送り、フランコの記錄を審査して彼を戰爭犯罪者として裁判に附すべきかどうかを決定するやう要請した、同聯盟は內亂當時のスペイン、ドイツ占領下のフランスその他においてスペイン青色師團の犯した犯罪を痛烈に攻擊してゐる

アイゼンハワー獨國民に呼掛く

（リスボン六日發）フランクフルト・アム・マイン來電＝米軍政長官アイゼンハワーは六日夜ラジオを通じて米軍占領地域内のドイツ國民に呼びかけ、米國のドイツ管理方針を闡明すると同時に一層の努力を要請した、要旨次の通り

「ドイツが完全に敗北して以來約三ケ月間を經過したが、この間我々はドイツの樞要地位からナチ黨員を一掃する仕事を續けてきた、我々はまた法と秩序を再び確立し、來るべき冬にドイツ國民の直面する諸困難を輕減するため多くの措置を講じた、我々のナチ芟除計畫が順調に進捗してゐる結果、ポツダム會談で決定をみた政策に基く米國のドイツ占領地域に對する計畫を玆に明かにする機會が訪れたと考へられる

△ナチ色一掃に努力

二十五年間に二回に亘つて戰爭が勃發した事實に鑑み、我々はドイツが再び世界平和を脅かさぬやう阻止する決意である、あらゆる形のナチズムと軍國主義は根こそぎにされ、戰爭犯罪人は審問處罰され、ドイツは完全に武裝解除される、併しながらわれわれの目的は以上の如き消極的なものみにとどまらない、われわれはドイツ國民が民主々義に基いて生活を再建することを援助する、諸君の裁判所及び學校はナチの影響力がとり除かれ次第出來るだけ早く再開され、眞の自由を本義とする司法と教育は全幅の支持を受けるであらう既に諸君は自分の新聞を發行し、軍政府にも參加して諮問に當つてゐるが、以上の措置は今後も次次と實施されよう、諸君は地方勞働組合を組織し地方政治活動に從事することを許される、この目的を實現するため會合を開いてもよいが、議題についてはは地方軍政機關の承認を必要とする、但し勞働組合及び政黨の主要目的は來るべき冬に備へるための諸措置を講ずる援助を行ふことになければならない、いづれにせよ、爾餘の制限の撤廢如何は諸君自身の行動が決定する

△窮乏の冬を豫想

來るべき冬は試錬の時期であらう、その試錬は極めて困難なものと豫想される、あらゆる兆候に徴すれば、食糧、燃料、住宅、輸送の不足は必至である、併しながら諸君は勤勉に努め、お互ひに助け合つて以上の困難を輕減することが出來る筈だ、收穫の見透しは概して良好だが、これをさらに確實にするため都市の住民は農村で働かねばならない、今冬は暖房のため石炭を使ふことは不可能だから、いまから森に出掛けて行つて薪をあつめておかねばならない、食糧、燃料に次いで重大な問題は住宅だが、これもいまのうちに修理可能な住宅は急いで修理しておくべきだ、諸君自身が自らの政府を選ぶときが訪れるまでは軍政府の設置したドイツ民政當局領域で諸君を援助しよう、ドイツに健全な民主々義的生活を實現し聯合國の陣營に加入出來ると否とは一に諸君の態度如何にある、そのためには軍國主義と侵略意欲の一切を放棄して平和な生活を採らねばならない、以上に述べたあらゆる困難にも拘らず、余は諸君が希望をもつて將來を望みみるべきだと信ずる」

ペタン公判第十三日

（チューリツヒ六日發）ペタン公判第十三日は日曜日を休んで六日第十三回目を開廷、ブールブン・ド・パルモ王家のグサビエ、印度支那軍元參謀長アンリ・ラカイユその他の證言があつたが、現在のまま續けば公判は四週間でなほ終了する見込みはなく、フランス政府はこの裁判のため、毎日千磅以上の費用を使つてゐるといはれる、ペタン元帥も連日疲勞が重り憔悴の色が目にみえて來た、今日の證言中で注目すべきは、桑港會議フランス代表の一人でペタンのマドリード大使時代の大使官付であつたビエール・メリヨンが被告辯護士に電報を送り「ペタンのフランスにたいする忠誠を信じて疑はない」旨を述べたことであつた、なほラヴアルは二日に亘る證言を終つて再びフレーヌの監獄に收容された

昭和二十年八月九日(木)
第三五〇八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　國】

陸軍兵力の過剰問題化

(リスボン六日發)三日の「デーリー・エキスプレス」紙ニューヨーク特電によれば陸軍兵力の過剰問題は近來議會方面において論議の的となつてをり、議會は陸軍による「兵員の退藏」を猛烈に攻撃してゐるとつたへられる、議會の見解は歐洲戰終了後對日戰一本となつた現在、陸軍が八百萬の兵力を擁してゐるのは全く不必要で、この際少くとも四百萬を召集解除し産業勞力へ廻すべきだといふにある、有力上院議員はいづれも陸軍の專横は到底このまま放置出來ないと述べ、もし陸軍が議會の意向を無視するなら休會明けの議會において陸軍に對する支出承認額の削減をも辭さないとの强硬な態度をとつてゐる模樣である

米代表事務局設置案

(リスボン六日發)ワシントン來電＝上院有力議員團は國際安全保障機構に對する米國代表事務局設置案を來る十月議會の休會明けと共に提出するに決した、右はケンタツキー選出民主黨領袖オルベン・バークレイ並びにテキサス選出民主黨上院議員トム・コナリー兩名の主唱にかかるが、今のところ提案については言明を避けてをり、又トルーマンが前國務長官ステチニアスを米國代表に任命する意圖を有するとの說に對しても意見の發表を控へてゐる

六月中輸出入貿易

(リスボン三日發)ワシントン來電＝商務省統計局は三日、六月の輸出入高を左の通り發表した

△輸出＝

六月の輸出總額は八億八千百萬弗で、五月に比し二三%の減少、これは主として武器貸與による輸出高が大幅に減少したためである、即ち六月における武器貸與の輸出額は總額の六〇%を占めてゐるに過ぎず、右に比して五月における割合は總額の六九%、一九四四年の年平均額は總額の七九%を示してゐた

六月の武器貸與輸出額は一九四二年九月以來の最低額で、七億八千八百萬弗に上つた四五年五月に比して三三%の減少である

一方非貸與物資若しくは一般商品の輸出額は六月、僅かながら上昇して五月における三億五千萬弗から三億五千三百萬弗になつた、之を輸出總額に對する割合で示せば五月の三一%及び一九四四年の年平均二一%に比し六月は四〇%に增加した

輸出金額の減少は輸出量の減少によつても示され六月の輸出總量は百八十五億六百萬封度であつたが、これに對して五月は百八十八億六千三百萬封度であつた、六月における武器貸與の輸出量並びに商品輸出量は夫々輸出總量の三七%及び六三%に上つたが、六月における割合は四〇%及び六〇%であつた

六月の輸出物資にに當ばつた廉價の物品が大量に含まれてゐたため、輸出商品の封度當り價格は平均三仙に下落、武器貸與物資の方は五月の平均一〇・四仙から七・七仙に下落した

△輸入＝

輸入總額は六月三億五千七百萬弗を示し、五月に比して四%の減少であつた、一方輸入量は五月の百三億八千萬封度から百六億四千八百萬封度に增加し輸入物資の封度當り平均價格が僅かに減少したことを示してゐる

なほ輸出に關する以上の數字は海外駐屯の米國軍隊に對する輸送物資を含まない

アンラ理事會代表顏觸れ

(リスボン六日發)ワシントン來電＝アンラ第三次理事會は七日ロンドンで開催されるが、國務省は同大會に出席すべき米國代表十三名の顏觸れを發表した、主なる者次の通り

首席代表　國務次官補　ウイリアム・クレイトン

次席代表　ロンドン駐劄米國大使　ジョン・ワイナント

外國經濟院解放地區局長　ルーパート・エマソン

因にアンラ第一次理事會は一九四三年十一月及び十二月アトランチツク・シテイで、第二次理事會は一九四四年九月モントリオールで開かれた

【西　亞】

土外相シリアと交渉開始

（リスボン五日發）ベイルート來電＝シリアは一九三九年アレキサンドレツタをトルコに移讓、之を續るトルコ・シリアの紛爭は未だ解決を見てゐないが、トルコ外相ハサン・サカは右問題を急速に解決するため近くベイルートを訪問、レバノン政權外相の調停の下にシリア側と交涉を開始することとなつた、なほこの機にトルコはレヴアントの獨立を承認するものとみられる

【東　亞】

重慶の金政策に非難囂々

（リスボン六日發）重慶政權は未曾有の通貨汎濫對策として金塊及び金證券の賣出しにより法幣の回收を試みてゐるが、却つて金に對する投機熱を煽つた結果金價の急騰、物價の昂騰を來し殆ど收拾に困惑の態である、殊に重慶政權が金價の暴騰に追隨して屢公定値を引上げ、而も金證券保持者に遡及的に改訂値に基く軍費附加稅を押付けるに至つた爲政府の信用を失墜する結果に陷り業者も又政府の一方的措置による損失に悲鳴を擧げてゐる樣子である、右につき六日重慶中央通訊社の報ずるところを綜合するに、政府は本年三月二十八日、金一兩を三萬五千弗と公定したが、その後の騰貴事情に鑑み更に五萬弗に引上げ、七月三十一日重ねて第二回引上の三倍半弱に相當する十七萬弗に改訂した、而も金證券購入者は現物引渡の際に一兩十七萬弗の四割即ち六萬八千弗を軍費補助費とし納稅しなければならぬ旨規定した、右四割軍費負擔は遡及的に適用されるから、例へば金一兩公定價二萬弗臺で金證券を購入した者は、米國より金塊が到來して現物を受取る際には既に支拂を了した二萬弗の外新に六萬八千弗を追加しなければならぬ、從つて一兩二萬弗で買つたものを八萬八千弗で買はされる結果になるのである、また金證券十兩分を購入した者は現物引渡の時には六兩受取つて引下るか、別に四兩分の改訂金價に相當する軍費を支拂はねばならぬ、以上の措置が如何に苛酷であるかは「大公報」も餘りに過激で政府に對する信用を傷つけるものだとしまた「新蜀報」も業者の立場より次の通り非難を放つてゐる

政府の新措置により普通銀行は未曾有の危機に當面するに至つた、しかし小口預金者は金現物を受取るため新たに預金を引出さなければならぬからである、この分では、金利の闇相場もやがて今の月利二割から三割に止まらう、製造業者にしても註文引受契約當時、將來のインフレに備へて金證券を買入れた者もあるが、政府の新措置で右の方法が全く水泡に歸することにならう

フアガソン死去

（リスボン六日發）ニユーヨーク來電＝南京金陵大學の創立者で初代總長となつたジヨン・カルヴイン・フアガソン博士は三日ニユーヨークにおいて死去した、享年七十九、フアガソンは支那生活五十六ケ年、その間一九〇二―三年、支那と米英及び日本との間の條約改訂交涉中、支那委員團の一員となり、一九一七―二八年に亘り支那大總統府の顧問をなし、後引續き國民政府行政院の顧問となつた、一九四三年十二月、交換船グリプスホルム號で本國に引揚げ今日に至つたものである

C69大西洋橫斷新記錄

（リスボン五日發）ニユーヨーク來電＝米國陸軍空輸部隊北大西洋班指揮官代將ローレンス・フリツツは一日ロツキードC69「コンステレーション」を操縱しニユーヨーク、パリ間三千六百哩を十四時間十二分で翔破、大西洋無着陸橫斷の最短記錄を樹立した、因みに空冷十八氣筒ライト發動機四基のC69は三翅プロペラを有し、實用上昇限度は二萬乃至三萬五千呎、乘組員は十二名、乘客定員は六十二名だが今回の飛行には乘客は搭載しなかつた、なほ從來のニユーヨーク、パリ間の最短記錄は一九四四年十月の十八時間である

昭和二十年八月九日(木)
第三五〇八萬
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

米陸軍航空史

‖航空日設定に因みて‖

△渺たる出發

大統領トルーマンの布告により、八月一日は航空隊記念日として陸軍航空隊並びに國民によつて祝賀され、その成長を顯すと共に、世界における最大最強の軍航空勢力の業績を稱へることになつた、この日は世界大戰に於て陸軍航空隊の莫大なる寄與を可能ならしめた三十八年間の技術の智能と勢力と犧牲を總計すると同時に、明日の世界における國民的安全の維持と平和の保障にたいする米國航空兵力の責任を十分認識することを要求する日である

航空隊記念日は一九〇七年八月一日を記念するこの日米國陸軍通信隊は航空機並びにその軍事目的採用の可能性を研究するために航空部を設置した、部員は大尉一名、兵二名から成り、航空機はまた一機もなかつた

この渺たる出發から現在の將兵二百三十萬、航空機六萬五千機といふ陸軍航空隊が生れたのである、當時「飛行機 Flying Machine」と呼ばれた最初の航空機に關する計畫には武裝の問題さへ含まれてゐなかつた、これは第一次世界大戰になつて初めて問題となつたのだ、しかるに陸軍航空隊は第二次世界大戰においては既に二百萬トン以上の爆彈を投じてゐる、現在までに戰鬪飛行時間は二百三十萬時間を越え、敵機撃破は四萬機以上である

爆撃作戰についていへば、今日陸軍航空隊の全勢力を一身に感じてゐる日本は、毎日一千噸以上の爆彈をもつて攻撃されてゐる、元帥ヘンリー・H・アーノルドは一九四六年中に日本が二百七十萬噸以上の爆彈をもつて爆撃され、その中二百萬噸はB29が分擔するだらうと述べてゐる

最初の航空機は一九〇八年以來數回に亘り試驗飛行を行つた後一九〇九年八月二日オーヴィル・ライトから購入された、正式採用が決定したのは「飛行機」が次の諸條件を充すやうになつたときのことである

一、最高速度四十哩時
一、搭乘員二名
一、全備重量三百五十封度
一、航續距離百二十五哩

オーヴィル・ライトはこの初期の航空における飛行士だつた、最初の軍人同乘者は後に航空隊少將として隱退したフランク・P・ラーム中尉だつた、航空機は滯空一時間十二分四十秒の記錄を殘し、平均速度は四七・八五三哩時であつた

△航空機の使用一擧に百倍

やがて世界最初の軍用飛行場がメリーランド州カレジ・パークに設置され、ウイルバー・ライトが最初の陸軍航空要員達に對する飛行訓練を開始した、この時の最初の飛行將校三名の中にはアーノルド少尉がゐた、このアーノルド少尉こそ現在最初の五つ星の航空元帥となつてゐる陸軍大將ヘンリー・アーノルドその人である

一九一一年までには米國議會も航空の重要性を認めるやうになり、同年三月陸軍航空費として十二萬五千弗が可決された、第一次世界大戰が勃發したとき通信隊航空部は將校六十名、兵二百六十名の勢力を擁するに至つてゐた、一九一七年米國が參戰した當時には陸軍の航空兵力は將校六十五名(內三十三名が操縱士)兵員千八十七名に達し航空機も五十五機になつてゐたが、それは皆舊式で、機關銃を備へたものは一機もなかつた

しかしながら第一次世界大戰は航空界に極めて大きな刺戟を與へた、西部戰線では航空隊が觀測部隊から戰鬪部隊に變つた、航空機は機銃を備へ、空中戰が行はれ、粗末ながらも爆彈が落された、地上部隊や諸施設は銃撃を蒙り、ここに初めて空襲なるものが出現した、かくて航空機の使用は一擧に百倍するに至つたのである

その後間もなく米國議會は六億四千萬弗といふ支出の可決によつて航空の重要性をますます明確に認めることになつた、これは當時議會が單一の支出項目に對して認めた額としては最高である、その目的は大空軍の樹立にあつた、そして數週間

以内に米國全土、主として、西部及び南部に飛行學校が創設されたが、これには各專門學校大學が大いに協力してゐる、かくて米國内で殆ど一萬五千人に上る航空候補生が教育され、約千八百名が海外で教育を受けた

一九一八年三月には米國陸軍航空隊は將校一萬一千名、兵十二萬名に擴充されたが、これは今次大戰における第二十航空隊のみの要員にも及ばない

技術的に論ずれば陸軍の航空隊は第一次大戰以來着々向上を續けた、最初のうち大陸横斷飛行においても大概の航空機が十回以上失敗する始末だつた、操縱士はすべて自分獨特の技術を用ひてゐたのだ、爆撃、高度飛行、航空醫學、航空術、無電操作、空中射撃術等は依然將來に殘されてゐた一九二〇年になるまでは問題にならなかつたのである

現象的にみれば軍事航空術は單枠無武裝のライト式複葉機時代から今日の歷史を作りつつある戰爆聯合の大編隊にまで生長した、その生長の年月を通じて多くの先驅者達は世界最大の航空兵力を指揮する航空飛行將校に出世し、航空機や部分品や諸裝備を生産する熟練工の大部隊が生れたのである（米國陸軍省談話）

米軍のジヤングルスキツパー

—七月二十四日ワシントン來電—

米軍の空輸部隊「ジヤングル・スキツパー」の隊長ワトソン少佐は二十四日陸軍省における記者團會見でニューギニアから比島へ前後三十一ケ月に至る轉戰談を語つた、「ジヤングル・スキツパー」の正式の呼稱はエニス・ホワイトヘツド大將の指揮下に目下西南太平洋で作戰中の第五航空隊の一部を成す第十七兵員空輸隊だ、以下はワトソンの談話である

第三一七兵員空輸隊は一月一日から六月三十日までの六ケ月間ルソン島作戰で四百五十萬封度の武器、彈藥、醫療器械類をマツカーサーの地上部隊に投下し、戰局の轉換に多大の寄與をした、同島で作戰した第六軍の將校の推定によれば同島は道路狀況が悪く自動車輸送に適しないため「ジヤングル・スキツパー」が投下したと同量の物資を背負袋で運ぶとすると一萬七千名の兵隊が必要だといふことだ

「ジヤングル・スキツパー」はまたパネー、ネグロス、ミンダナオ等の諸島におけるゲリラ部隊に糧秣、裝備、彈藥、血漿その他の醫療品を補給する任務を賦與された、本年初め頃のコレヒドール島攻略戰で堅固な塹壕に據る日本軍に對し大規模な「鋤返し」作戰が行はれたのち「ジヤングル・スキツパー」部隊は最後の掃蕩戰を行ふために一ケ聯隊の落下傘兵を降下させた、このとき艦砲射撃と飛行機による對地攻撃は空輸機が落下傘部隊を載せて到着する丁度一分前まで續けられてゐた、部隊の空輸機は何の武裝も施してなく、戰鬪機の護衛なしで行動したことも屢々であつた、搭乘員は一機五名である

SB2C增産

（リスボン五日發）コラムバス（オハイオ州）來電＝カーチス・ライト航空機會社コラムバス工場總支配人は五日次の通り發表した

海軍當局は本工場に對してSB2C「ヘルダイバー」急降下爆撃機の三割增産を要求してきた米國第三、第五兩艦隊の空母から作戰する急降下爆撃機は太平洋戰爭において非常に役立つてゐる

A26の兩面展望式射撃照準器

（リスボン五日發）ニューヨーク來電＝米陸軍の新鋭攻撃機A26「インヴエーダー」には航空機として最初の兩面展望式射撃照準器が裝備されてゐる、同照準器の設計製作會社たるジエネラル・イレクトリツク會社は三日その構造の一部について次の通り發表した

この照準器は射手に同時的に兩面の視野を與へ上下または左右の警戒を可能ならしめる、照準器は胴體を貫いて眼鏡が上面と下面に突出してをり、間接操作裝置が二個の二聯裝銃座と連絡してゐて、眼鏡をもつて敵機を追へば銃身も同時に目標を追ふわけである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年八　月十日(金)
第三五〇九號

同盟通信 海外電報

(184)

世界の焦点

近代戰はルーデンドルフ將軍のいふが如く、總力戰（Der Totale Krieg）である、從つて科學戰は近代戰において極めて重要な役割を持つに至る、米軍の新型爆彈が如何なる威力を持つてゐるかは、愼重な調査の結果に俟たねばならないが、科學戰が第二次世界大戰を決定しさうな公算は相當大きい、勿論新型爆彈の脅威を過大視することは全く無用だが、科學的對策を講ずるは喫緊の急務でなからうか、サー・アイザック・ニユートン以來物理學の傳統を誇る英國と、尨大な資源と工業力を擁する米國との合作が、今回の新型爆彈だとすれば、單なる精神論を以て新型爆彈に應酬することは至難であらう

科學の分野だけではない、社會制度の部面においても、今回の大戰は貴重な幾多の教訓を藏してゐる、前大戰において內部崩壞し、ドイツ政府と單獨媾和したロシヤが、ソヴエト體制のもとに僅か四半世紀の間に、再び世界列强の地歩を回復したのは、悠久な歷史の流れにおいて治亂興亡の跡を辿る人々に無限の示唆を與へずにはおかぬだらう

テヘランからヤルタを經てポツダムに至る前後三回の三頭會談において、常に國際政局を指導して來たのは、米國大統領でも英國首相でもなく、クレムリン宮の獨裁執政スターリン元帥ではなかつたか、先づモスクワに重慶代表宋子文を招致して會談を重ね、悠々としてチチエリン宮に赴き、トルーマン大統領の要請を受け流して歸任したスターリン元帥は、八月七日午後十時から夜半まで再び宋子文と重要協議を重ねてゐる、革命兒は所謂外交には素人の筈だ、しかも布石はあくまで周到にしてかつ大膽だ、曾て中立條約の破棄を通告するに當りソヴエト政府は「ドイツ軍がソヴエト聯邦を攻撃したのに日本政府が盟邦としてドイツ軍を支援し更に日本政府はソヴエト聯邦の同盟國米英兩國に宣戰を布告したから、情勢は根本的に變つた」と述べてゐる

佛總選擧の期日決定

（チユーリツヒ八日發）パリ來電＝フランス假政府は國會總選擧と國民投票の期日を十月二十一日に決定した旨一日發表した

新西蘭「國際憲章」を可決

（リスボン七日發）ウエリントン來電＝ニユージーランド下院は七日國際憲章を可決した、近く批准の運びとなる筈である

【目　次】

スターリン、宋子文會談……二二二八
英ソ、イラン撤收を聲明……〃
太平洋指揮權問題紛糾……〃
ユーゴ國王、攝政の權限を剝……〃
宋子文モスクワ着……二二二九
對支政策は改訂せよ……〃
ベヴイン、小國の寄與を要請……〃
タンジール會談またまた延期……二二三〇
土、ソ聯の要求に強硬態度……〃
埃、戰爭犯罪人の裁判開始……〃
報道管制の撤廢を主張……〃
對ソ共同戰線を說く……二二三一
【特　輯】
ソ聯と地中海（上）……二二三二

トルーマン歸國

（リスボン八日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは七日夜ワシントンに歸着した、歸國後第一回の閣議は十日開催の豫定であるが、これに先立ち九日午後七時（米國東部戰時々間）ラジオを通じ報告放送を行ふこととなつた、大統領祕書官チヤールス・ロスの發表によれば、右放送においてトルーマンはポツダム公報を更に詳細に敷衍する豫定だが、同時に太平洋戰爭についても言及するだらうといはれる

スターリン、宋子文會談

（ストツクホルム八日發）モスクワ來電＝重慶行政院長宋子文は七日スターリン議長と會見、夜半まで二時間に亘り協議を遂げた、會談にはソ聯側モロトフ外務人民委員、重慶駐剳ソ聯大使ペトロフ、支那側外交部長王世杰、外交部次長胡世澤、モスクワ駐剳重慶大使傅秉常が參加した

英ソ、イラン撤收を聲明

（ストツクホルム八日發）ロンドン來電＝英國外務省は八日次の聲明を發表した

英ソ兩國政府は近くテヘランから軍隊を撤收することに決定、この旨イラン外務省に通告した

以上ポツダム會談において大綱の取極めに到達したものであるが、撤收の期日その他具體的な細目についてはまだ決定をみてゐない

右外務省の聲明によりポツダム會談では公報で發表された以外に多くの問題につき取極めが成立してゐることが明かにされた

太平洋指揮權問題紛糾

（リスボン六日發）マツカーサーの沖繩基地掌握の發表はドウリツトルの最高司令部要求と共に太平洋における米國陸海空三兵力の指揮統帥に關する微妙な空氣を反映して各方面の注意を喚起したが、更に五日に至るやグアム島のニミツツ司令部が琉球列島の基地の悉くをマツカーサーに引渡したのではない旨發表して指揮系統の混亂ぶりを暴露した、卽ちグアム島からのUP電報によればニミツツは太平洋の新三頭司令部の下に琉球水域周邊の海軍部隊を統率するほかに沖繩の海軍及び海兵隊の將兵を掌握する、三頭統帥に關する詳細な取極めは七月二十一日から二十三日までグアム島會議で行はれ

一、米軍占領地の管理行政並びに陸軍部隊指揮はマツカーサーに

一、全海軍兵力並びに海軍基地の指揮權はニミツツに

一、陸軍戰略航空隊はスパーツに

それぞれ委ねられる事に決定した、右の發表により米軍の複雜な指揮系統は幾分明かにはなつたものの、それは問題を簡單にしたことにはならず最高統帥權は依然ワシントンから三司令官の許に代表を派遣してゐる統合參謀本部が握つてゐるわけだ、マツカーサーは比島方面では第七艦隊を麾下に入れて全權をもつてゐたが今度の沖繩方面への指揮權擴張は全然事情が異り琉球周邊と支那海の海軍部隊は勿論の事海軍及び海兵隊の航空基地を含む沖繩の全海軍基地並びに沖繩地上における海軍の全活動がニミツツの指揮下に殘り、ドウリツトルの危惧する不統一は凡ゆる折にその萌芽を藏してゐるとみられるのである

英第九軍解體

（ストツクホルム八日發）ベイルート來電＝シリア、レバノン兩國に駐屯してゐた中將ホームズ麾下の英第九軍は八日正式に解體、今後は單に「レバノン北部駐屯英軍部隊」とよばれることになつた、以上はシリアからの英軍撤收に關する取極めに基くもので、現在の部隊が英第九軍の兵力をその儘維持してゐるものか或ひはその一部分に過ぎぬものかはまだ明かにされてゐない

ユーゴ國王攝政の權限を剝奪

（ストツクホルム八日發）ユーゴスラヴイア政府首班チトーは七月王政を撤廢する方針を明かにしたが、ロンドン來電によればユーゴ國王ペタールは八日聲明を發表、飽くまで國王としての地位を確保する强硬な態度を表明したといはれ、ギリシヤ、ベルギーに次いで王政を繞る紛爭は遂にユーゴにおいても發火するにいたつたといはれる、ペタールの聲明要旨次の通り

ユーゴ國會におけるチトー元帥の演說は彼と余の政府首相スバシツチ博士との間に締結された協定を完全に破棄したことを意味するものだ、チトー元帥は協定のただ一つの條項ですら實施してゐない、余は攝政が余の憲法上の義務を代行する權利なく且つ、余に對する誓約と義務の履行を怠つてゐると思考する、よつて余は攝政がもはや余の名儀で執務し余を代表し得ぬことを宣言し、余が攝政に賦與した權限を玆に撤回する、今日以後余の國民の憲法上の諸權利を擁護する義務は余のみにある

昭和二十年八月十日(金)
第三五〇九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【重　慶】

宋子文モスクワ着

(ストツクホルム七日發)モスクワ來電＝重慶行政院長宋子文は新外交部長王世杰を同伴、七日午後空路モスクワに到着した、モスクワ訪問の目的がポツダム會談のため中斷されたスターリン議長との會談を再開するにあるはいふまでもない

對支政策を改訂せよ

(リスボン七日發)重慶、延安兩軍の武力衝突を契機に米國製武器が中共軍攻撃に使用された事實が曝露され、米國當局に對する非難が昂まりつつある、特に米國共產黨機關「デーリー・ワーカー」紙は七日延安の主張を支持して次の通り述べてゐる

本問題に關して國務省は何故自己の責任を認めないのか、何故米國製銃砲が支那の內亂遂行に使用されてゐるのか、事態は既に重大であるが、この犯罪を阻止し、今後同樣のことが繰返されぬやう保障するため果して如何なる手段が講ぜられてゐるのか

又「ヘラルド・トリビユーン」紙も同樣の觀點から本問題を論じ、進んで重慶政權一本槍の政策に修正を求め、延安政權の立場をも考慮するやう示唆してゐる、要旨次の通り

「中共は米國の重慶政權に對する貸與武器が共產軍攻撃の具に供されてゐると非難してゐるが、在支米軍司令官ウエデマイヤーもこれは事實だらうと認め、唯自分が直接武器を供與したのではないといつてゐる、またウエデマイヤーは武器の或るものが盜用された事實を曝露したが、これは支那では珍しいことではない、しかし原因の如何によらず、米國製兵器が支那の內爭に使用されてゐるとは怪しからぬことだ、米國としては支那の內爭に干與しておらず、また干與すべきではない、中共は米國の東亞政策を改めて愼重再檢討すべき要を強調してゐるが、その一は主として重慶駐劄大使ハーレーに責任があると思へる米國の重慶政權一本槍政策である、最近このハーレー政策は取止めになるやうな話があるが、これが事實なら望むところだ、勿論米國が重慶政權との繫りを捨てる等とは思ひもよらぬことだが、今ではこの繫りが密接過ぎて危險な事態に立至つてゐる、しかもそれは米國の對重慶軍事援助に由來してゐるのだ、他方中共の强味は、その地區內における農政改革や地方民主々義の奬勵により大衆の支持を得てゐることである、この事實は率直に認めなければならない、もつとも中共の宣傳如何に拘らず結局中共はマルキストであるから米國人の多くは中共本來の政綱に反對であらうが、これは別問題である、最近重慶部內の自由主義分子が勢力を得て國民黨政治を修正しつつあるのは賴母しい傾向である若しこの自由派が十分反動派を抑へることが出來れば、重慶政權に對する大衆の支持を增し、來るべき新憲法を相當民主的にするかも知れない、米國の立場より見れば重慶自由分子が政權を獲得して支那統一の政策を採用することが最も望ましい、かかる解決に到るまでは米國製機關銃が骨肉相食む用具とならぬやう愼重警戒を要する」

更に「デーリー・ニユーズ」紙は渝延問題に鑑み支那の政情に對して相當悲觀的な觀測を下し、次の通り論じてゐる

陝西省における渝延兩軍の武力衝突は支那の財政、經濟上の問題以上に米新聞の注意を喚起するに至つた、西歐新聞に至つては支那の不統一を大々的に報じてゐるものもあり、爲に米國產業家、財政家は果して支那が戰後急速且つ大々的に經濟復興を實現せしめ得るか疑問を懷き支那の一大慘事を豫想するに至つてゐる

【英　國】

ベヴイン、小國の寄與を要請

(ストツクホルム七日發)ロンドン來電＝アンラは一般に大國の小國救濟機關と目されてゐるが、英國新外相アーネスト・ベヴインは七日ロンドンで開催されたアンラの第三次會議に出席、四十四ケ國代表を前にして最初の公開演說を行ひ、次の通り小國の寄與を要請した

英國勞働黨內閣はアンラの事業を支持し、全力をつくしてその成功に努める決意である、アンラがいま最も必要とするものは食糧であり、多くの國は現在行つてゐるよりももつと大きな寄與を可能とされてゐる筈だ、その意味で大國ばかりでなく小國も又進んでアンラの事業に寄與することがこの際大いに必要である

タンジール會談またまた延期

（ストツクホルム六日發）ロンドン來電によれば六日パリで開催される豫定であつた米英佛三國のタンジール會談は英國側の要請でまたまた延期されたといはれる、タンジール會談は一九四〇年以來スペインの獨占管理下にあるタンジール國際地帶の地位を再檢討するため英國の提案で米英佛三國間に開催されることになつてゐたが、ソ聯が突如參加を要求、爾來紛糾を續けてきたものである

土、ソ聯の要求に強硬態度

（リスボン七日發）ダーダネルス海峽問題がポツダム會談で決定をみなかつたことは公報でも明瞭だが、それに伴ひソ聯の要求に對するトルコの態度も急激に硬化した模樣で、ソ土交涉は事實上暗礁に乘り上げるに至つた、トルコの態度硬化の原因は種々考へられるが

一、スターリン議長がポツダム會談でソ聯側の要求事項を表立つて持ち出さなかつたこと

一、米英兩國が非公式にソ聯に對し對土要求を緩和するやう要求してトルコを間接に支持してゐること

の二點にあるとみられ、「ニューヨーク・タイムズ」紙のアンカラ特派員は六日トルコの態度について次の通り報じてゐる

「トルコに關する限りポツダム會談は事態に何等の變化をも齎さなかつたがソ聯の武力威嚇による要求に屈するよりは寧ろ叶はぬまでも一戰を試みようといふのがトルコの最近の態度だ、いづれにしてもポツダム宣言はトルコの信賴を喚起するよりも混亂を捲き起してをり、會談がダーダネルス問題を採り上げ得なかつた限り失敗ではないかといふ意見が支配的となつてゐる、ソ聯の要求に對するトルコの態度は

一、海峽の地位はソ土兩國だけの取極めで決定され得るものでなく、日本を除き米國を加へたモントルー協約署名國九ケ國の合議によつて決定すべきものであること

一、ソ聯が要求してゐるカルス、アルダハン兩地方は一八七八年帝制ロシアがトルコから强奪したものをソヴエト聯邦が一九二一年自發的に返還したものであるから、ソ聯の返還要求は不合理だ

の二つに盡きる、但し以上の問題において最も重要な點は、ソ聯が公式の覺書の形で要求を提起したものでもなければ正式の交涉に入つたものでもなく、モスクワで二度非公式に話を持ち出しただけのことであり、ソ聯が公式にトルコに要求する態度を避けてゐることが、トルコの態度硬化の主な動機とみられてゐる」

墺、戰爭犯罪人の裁判開始

（ストツクホルム六日發）ウイーン來電によればオーストリア假政府は來る十三日からウイーンにおいて戰爭犯罪人の裁判を開始するに決定、手始めに猶太系ハンガリー人百二名を殺害した、ナチ親衛隊員四名が裁かれる豫定といはれる

報道管制の撤廢を主張

（リスボン七日發）ワシントン來電＝米國共和黨上院議員で桑港會議に米國代表として出席したアーサー・ヴアンデンバーグは六日聲明を發表してソ聯衛星諸國における報道管制の撤廢を要求した、聲明要旨次の通り

「ポツダム宣言を一讀してまづわれわれの氣付くことはポーランドにおける自由選擧の實施とポーランドその他歐洲の報道管制地域における米國通信機關の自由な活動につき極めて曖昧にしか言及されてゐないことだ、米英ソ三國はポーランド假政府が自由選擧を實施し、報道の完全な自由を確立することを誓約した點を認めただけでは不十分だ、ポーランドのみならずルーマニア、ブルガリア、ハンガリー、フインランド等でも完全な報道の自由が確立されることが絶對に必要である、以上の諸國は謎のヴエールに被はれてゐる、これらの國からの報道は相互に全く矛盾撞着し、眞相の把握は不可能だ、國際親善關係を樹立するためにはあらゆる國の事態が明確に報道され理解されねばならない、卽ち報道管制の撤廢こそ米英ソ三國の世界に保障すべきことであり且つ米國が以上の實現に向つて努めねばならぬ第一の要件である」

昭和二十年八月十日(金)
第三五〇九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

對ソ共同戰線を說く

「ニューヨーク・タイムズ」紙記者ハンソン・ボールドウインは六月一日附の同紙上に「ソ聯と米國」と題する論說を揭載、米英兩國提携してソ聯に對抗する必然的趨勢を示唆して次の通り述べてゐる

「米英ソ三國間に存在する方法手段上の相違を、根本目的を繞る軋轢に發展させる事は絶對に避けねばならないが、近い將來に三國間の根本的な戰略上の對立が公然たる葛藤に轉化する可能性は大いにある、尤も今日まではかかる葛藤はみられぬので、直接の問題は依然方法の問題として現れてゐる、ソ聯が東歐洲に適用してゐる方法乃至樣式はソ聯の安全保障を確保するといふ合法的目的を有してゐるが、爾余の國に對するソ聯の方法は唐突で柔軟性に缺け、侵略的で待て暫しがない

△協調は不斷の讓步に非ず

米國內ではソ聯の政策を批判する聲がきかれるが、將來米國民がソ聯の意向を知り盡すやうになつたならば、ソ聯を批判する聲は益々昂まる許りであらう、ソ聯は現實主義を理解する、從つて米國もまたソ聯に係り合ふときには現實主義を採らねばならない、たとへばソヴエト政府が米軍將校乃至新聞人のソ聯工場視察を許可せず、東歐洲の旅行を禁止するならば、米國も又ソ聯代表に對してあらゆる便宜を圖つてやらねばならぬ理由はない、米國は米國自身と同時に全世界のためにもソ聯と協調する必要があるが、ソ聯と協調するといふことは必ずしも絶えずソ聯に讓步しなければならぬことを意味するものではない、他方ソ聯と共にやつて行くといふことがソ聯に對する「防疫線」を設定するか、あるひは各國と語り合つてソ聯に對抗するブロックを形成することを意味しないことはいふまでもない、またそれは米國の方法乃至目的を英國のそれに完全に沒入させることを意味するものでもない、つまりソ聯と協調するといふことは、英ソ兩國の利害關係を調停する役割を果すことでなければならない、かかる立場は米國に力を賦與するが、更にソ聯と相競ふブロックの結成を約束するよりもよりよきものを世界に約束する意味で遙かに重要だ

△「最後の防衛戰」

桑港會談における事態やソ聯の一方的な政策に對する米國の反撥等の事實は米ソ兩國の消息筋の一部に恰かも米英兩國がソ聯に對して共同戰線を張つてゐるかの如き印象を與へてゐる、かかる印象は嚴密に言へば事實と合致しないが、印象は事實と同じ程度に害惡を齎す、米英ソ三國間における方法上の對立が根本的な戰略上の衝突にまで發展すれば、米英兩國間の共同戰線が現實に結成されぬことなしとしない、併しながら以上は萬策盡きた後の「最後の防衛線」だ、もしも今日直ちに米英兩國の共同戰線が結成されるならば、徒らにソ聯の超猜疑心をかき立てソ聯に自己の力にのみ依存する一方的政策の實施を更に奬勵するばかりである、米國は調停者としての役割を明かにしなければならない、この方策はソ聯との摩擦を輕減させる、併しかかる方策がまた恒久の平和を保障し米國の最も重要な戰略的利益を維持出來ぬことを悟らねばならない

△ソ聯の政策と世界平和

世界の安定と恒久の平和を維持し得ると否とは次の二大質問によつて決定される、第一の質問とは、卽ちソ聯の窮極の目的が現在の方法と異なるものであるか、換言すれば世界革命の理念的目標が今日のソ聯の政策の指針となすものであるかといふことだ、共產主義ソ聯は政治的眞空が發生したならば直ちにそこへ侵入するのか、ソ聯は米英兩國の生命線たる西歐、支那沿岸及び東南アジアに勢力を伸張する積りか、第二の質問はソ聯の經濟上及び威信上の野心に關するものだ、卽ちソ聯は大輸出國大海運國とならうとするのか、ソ聯は大海軍を建造する積りか、以上の質問が肯定されるならば、必然的に第三の質問が起る卽ちソ聯は現在「槌と鎌」の旗の下にある尨大な住民を消化吸收するのに成功出來るか

以上の諸質問に對する回答は勿論今後半世紀の歷史に依存するであらうが、第一と第二の質問に對してソ聯が肯定的に答へるならば、米英兩國のソ共同戰線は遲かれ早かれ不可避であり、もしも否定的であるならば、かかる共同戰線は國際協力關係を阻害するばかりだ、いづれにしても米英兩國がソ聯に對して共同戰線を結成する時機はいまではない」

特輯

ソ聯と地中海（上）

△モスクワ、トルコに新要求

長い間擦つた揉んだの絶間がなかつたポーランド問題が、ヤルタ方式に基く新統合國民政府の樹立によつて一應の解決をみるや否や、ソ聯の鋭い視線は南の方地中海に向けられた、その具體的な現れがソ土新交渉であり、タンジール問題に對するソ聯の關心である、尤もポツダムにおいて三頭會談が開催されてゐる現在、これらの問題は多少國際外交界の關心から薄らいでゐる形だが、恐らくそれは三頭會談において當然採り上げられるものと見做されてゐるためで、會談終了後には以上の問題は再び新しい角度から大きな興味の對象とならう

ソ土交渉の内容については、兩國政府ともまた公式に發表してゐないから明確な形で紹介することは出來ないが、六月二十七日附のロイター通信社イスタンブール電報によれば、アンカラ駐劄ソヴエト大使ヴイノグラドフは「新たな立場で」ソ土友好條約の締結を申し入れる覺書をトルコ外務省に提示したといはれる、勿論トルコ政府も去る三月ソ聯がトルコとの友好條約を「現段階の情勢に適應しない」といふ理由で廢棄して以來バルカン、西亞に對するソ聯勢力の駸々たる進出に怯えてゐただけに、渡りに舟とばかりに跳びついたがこの舟がまた恐しく危險なものであつた、ソ聯は新たなソ土友好條約を「現段階の事態に適應させる」ために條件を付したのである、しかもこの條件はトルコにとつて致命的なものであつたことは想像に難くない

この前提條件については諸説紛々たるものがある、一報道はダーダネルス海峽に對するソ聯の獨占管理とカフカーズ國境の改訂を報じ、他の報道はモントルー協約の改訂を要求してゐると傳へてゐる、たとへばロンドンの「タイムズ」紙イスタンブール特電が六月二十七日報じてゐるのは次のやうなものだ

トルコ外交界の見解によればソ土新友好條約の前提條件としてソ聯が要求してゐるのは

一、ソ聯が特權的地位を占め得るやうな方式で、現行のダーダネルス海峽の管理樣式を變更すること

一、一九二一年の協定に基いてソ聯がトルコに割讓したカルス、アルダハン兩地方をソ聯に返還すること

の二個條にあるとされてゐる、ソ聯の覺書は別して恫喝的な言葉を使つてをらず、回答の期限も切つてゐない樣子で、ただソ土兩國間に友好關係を回復するためには、以上の二條件の達成が必要とされると述べてゐるだけだといふことである

△泥舟に乘り込んだアンカラ

「タイムズ」紙イスタンブール特電は翌六月二十九日トルコに對するソ聯の要求條件をより詳細に報道した

ソ聯の要求は次の如きものである

一、カルス、アルダハン兩地方の返還

二、ダーダネルス海峽をソ土兩國間で共同防衛するためソ聯をして海峽の數個所に基地を設定せしめること

三、モントルー協約の改訂

四、トルコはバルカン諸國に有利な樣式でバルカン國境を變更することに同意すること

以上のソ聯の要求に對しトルコは第一、第二、第四の條件には否定的態度を示してゐるが、第三の條件だけは他のモントルー協約調印國を交へて再檢討するに同意する意向を示してゐるといはれる、第四條件とは恐らくブルガリアとギリシヤ間のトラキア國境をブルガリアに有利に變更することをさすものと解される

トルコに對するソ聯の要求の一が一九二一年トルコが英國の屈押しでソ聯に對する干渉戰爭に乘り出し、又若く基礎も薄弱なソヴエト政權から强

奪したカルス及びアルダハン地方を返せといふことにあるのは確かだが、更にダーダネルス管理問題にしても單純なモントルー協約の改訂ではなくて、海峽をソ土兩國間で共同で管理すること——といふのは結局ソ聯が獨占的に管理することを意味する——を要求してゐるのだから、トルコ政府としてもとんだ「渡りの舟」に乘り込んだと思つたであらう、カルス、アルダハン地方の喪失は別として、ダーダネルス海峽におけるトルコの地位こそ、歐洲におけるトルコの地歩を決定してきたものであり、これあるばかりにトルコは歐洲諸强のトルコにおける勢力の競ひ合（バランス・オブ・パワー）を利用して漁夫の利を占めてきたのである、從つてトルコがダーダネルス海峽に對する特權を喪ふことは、トルコそのものの存在理由を喪失することにほかならない、トルコが慌てたのも無理がない

△ロンドンの憂鬱

が、ダーダネルス問題はトルコにとつて重大であるばかりでなく、英國にとつても重大だ、否、トルコよりも重大だとさへいふことが出來よう、「東地中海における英國の支配的地位は一にダーダネルス海峽にかかつてゐる」(Elizabeth Monroe: The Mediterranean in Politics 1938)といふのは一般に市民權を得てゐる評語だが、モントルー協約も畢竟裏を返せば、ダーダネルス海峽に對する英帝國の支配の一手段であり、トルコが英國の膝下にある限り、以上の支配形態は搖ぎなく、從つて東地中海における英國の地位にも搖ぎはない譯だ、しかるにソ聯はいまやトルコを脅かしてダーダネルス海峽を横取りしようと圖つてゐる、英國が慌てぬ筈はない

トルコの對抗策は最大の利害關係國たる英國を矢面に立てて保身を圖らうとするにある、「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は六月二十九日次の通り報じてゐる

トルコに對するソ聯の强硬な要求に對して、トルコが助け舟を求めたのは、ほかならぬダーダネルス海峽二人三脚の相手國たる英國だ、そこでトルコ外相ハツサン・サカは桑港會議の歸途ロンドンに立ち寄ることとなり、ロンドン駐劄トルコ大使ルセン・アナイヂンは六月二十八日英國外務省を訪れて外務次官サー・アレキサンダー・カドガンに面接、ハツサン・サカのロンドン訪問について種々打合せを行つたといふことである、もつともトルコ大使館はハツサン・サカの英京訪問は道順だからと稱してゐるが、かかる說明が現實的でないことは三歲の童兒といへども知るところだ、トルコに對するソ聯の要求は豫想以上に苛酷なもので、トルコとしてはモントルー協約の改訂以外容れる餘地がないとみられてゐるが、英國政府としても情報に缺けてゐるため、いまのところは耳を欹てる以外策はないやうだ、しかしながらトルコはどの程度までソ聯の要求に抗し得るか、英國からの指示を仰ぐことを希望してゐる、英ソ兩國の關係は東地中海に戰爭勃發の場合相互に援助することを規定した一九四〇年の條約に基礎を置いてゐるが、歐洲戰の間には何等の效果も發揮せず歐洲戰が土壇場に至つたときですらトルコが參戰をためらつたため、トルコに對する英國の態度は著しく冷却してゐる

「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特派員の報道では英國はソ土交涉に氣乘薄のやうな印象を與へるが必ずしもさうではない、六月二十九日附のロンドン「タイムズ」紙によれば

ロンドン外交界はソ聯のダーダネルス通過權についてはテヘラン及びヤルタ會談において原則上の諒解が既に成立してゐると解し、英國はソ聯を地中海國として認めてゐるとみてゐるが、問題はソ聯が一步進んで黑海を自國の勢力圈内に收めようと圖つてゐることだ、バルカン國境變更については、それが必然的にギリシヤの地位を弱めるため英國の贊成し難いところであり且つそれによつてブルガリアが利益を得ることは、歐洲戰中におけるブルガリアの反英政策に徵するも、英國の承認し難いところである

といふのが英國政府の態度だといふことであり、フランス通信社のアンカラ電報が九月十一日報ずるところでは、米英兩國政府はソ聯に對して、ト

ルコの獨立の維持とトルコの領土主權の尊重に極めて重要な意義を附す所以を共同で申し入れたと傳へられる

△硬軟兩樣の攻勢

ソ聯はダーダネルスの管理を一方的に要求したのではない、その代償としてトルコが多年の間要求したゐたアレツポとトルコ＝シリア鐵道の管理といふ好餌をトルコの鼻先にぶらさげたのだ、その實現が可能かどうかは別問題として、英國の新聞「オブザーヴア」紙の外交記者リベレータ（筆名）は七月一日次の通り報じてゐる

ソ聯はモントルー協約の改訂の代償として、アレツポ及びトルコ＝シリア鐵道にたいするトルコの要求を支持すると申入れたといふことだがトルコは石油補給の必要上アレツポ、アレキサンドリア地區における地歩の强化を希望してゐるのだ、今日までトルコは主としてルーマニアから石油の供給を受けてきたが、ルーマニアは現在ソ聯にたいする賠償として石油生産の殆ど全量をソ聯に引渡してゐる實狀だ、從つてトルコは將來石油の供給をソ聯に仰がねばならぬことになつたが、それはソ聯に對する完全依存を意味するためトルコにとつて望ましくない、更にトルコにとつて問題なことは、イランからの石油補給が極めてあやふやになつてきた事だ、最近赤軍の駐屯してゐるイラン北部に「アゼルバイジヤン國民委員會」なるものが結成され、イラン領アゼルバイジヤン地方をソヴエト聯邦アゼルバイジヤン共和國に編入させることを要求してゐる、もしも以上のことが實現するならば、トルコとイランとの地域的な直接連絡は完全に斷たれ、ソ聯の國境線はモスール油田地帶まで進出することになる

いづれにしてもソ聯は片方の手に美酒を持ち、他の手に石油補給遮斷の利劍を握つてトルコの承認を迫つてゐる譯だが、スイスの新聞「タート」紙のロンドン電報は七月二日トルコの態度について次の觀測を下してゐる

ソ聯の要求に對するトルコの態度は極めて控へ目で、トルコ政府がソ聯の要求を一蹴したといふ說は明かに眞實ではない、トルコは戰爭中甚だ冷靜な打算に終始して、現實主義的な政策を實施してきた、從つてたとへ「アクシヤム」紙の反ソ記者タニンが「トルコ國民はトルコの獨立と主權を維持するため、いつにても血と生命を犧牲に供するであらう」と强硬な論陣を張つてゐても、トルコ政府がかかる芝居氣染みた態度を採るとは考へられない、いづれにしてもトルコは米英兩國と十分に商議した後でなければ如何なる行動にも出ないと思はれる、また米英兩國の外交代表がトルコに、ソ聯に對して挑發的言動に出よと煽動したといふ說も、それが未ツダム會談開催前であるだけに信憑するに足りぬ、今日までに看取されるところではトルコは英國の承認出來る樣式でならモントルー協約を改訂するに吝かでない樣だし、アルメニア國境の變更にも些して重要性を附與してゐない、併しながらダーダネルス諸基地の讓步は別問題だもしもダーダネルス海峽が直接ソ聯の軍事勢力下におかれるやうになるならば、トルコは政治的にも外交的にも獨立を維持することが出來ない、從つてこの點ではアンカラの態度は强硬だ更にソ聯は最近トルコ政府の民主々義化を要求し、トルコ共產黨の政治的自由を要求してゐるが、恐らくこの方がトルコにとつて更に重要な問題なのではなからうか

△赤い影地中海へ

ソ聯のトルコに對する要求に曩立つて、トリエスト紛爭が勃發した、トリエスト紛爭は一見ユーゴスラヴイア對英國の高地的な爭ひの如くみえるが、實際にはユーゴスラヴイアの背後にソ聯が黑幕として控へてゐることは既に指摘されてゐる、そしてダーダネルス海峽の管理を繞るソ聯の要求の後には、タンジール管理問題に關するソ聯の干涉行動が起つてゐる、以上の三事件は時間的にはあひ前後して發生してゐるが、空間的には一つの地域卽ち地中海を指してゐる、以上の三つの問題は既にバルカンといふ局地的枠內を越えて、地中海に進出してゐるのだ

（原子林二郎）

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年八　月十一日(土)
第　三　五　一　〇　號

同盟通信　海外電報

(185)

ソ聯政府の對日宣戰布告はモスクワよりみれば兩刃の劍である、一方においてソ聯と日本との關係は、これで最後のそして最新の段階に入つた、他方においてソ聯の對日宣戰は、重慶政權に對する暗默の宣戰である、人この言を聞いて或ひは奇としよう、奇でも珍でもない所以を說明する

宋子文行政院長、スターリン議長のモスクワ會談は、双方とも相手に取つて文句のない大役者、共に語つて述べず、述べて眞意を祕す肚と肚との探り合ひである、といつて一方の當事者には他方當事者の要求は、分り過ぎる程明瞭に呑み込めてゐる、しかし何分にも餘りに双方の注文に開きがあるから、折合ひが難しいのである、この際スターリン議長取つておきの武器が、對日宣戰即ち東亞における自由行動である、ソ聯軍は宣戰發效瞬時にして滿洲國に砲火を放つた、ソ聯の自由行動は何處まで發展するか、日本に向けた刃は、同時に重慶に向けた刃といふのがそれである



圓卓を圍んでは決してスターリンに負けてはをらぬ宋子文も、だんびらを振り廻されては叶はない、かくてソ聯の對日宣戰は、モスクワ會談の推動力となるのだ

モスクワ會談は何を齎すか、少くともその一つに新條約の調印があらう、モロトフ外務人民委員は、記者團との會見において、目下重慶代表とともに條約問題を考慮してをり、恐らく署名の運びに至らうと述べた、條約の性質內容に關しては、何等の示唆も與へてゐないから推測も困難だが、從來ソ聯と中國の間には、兩國關係の初期に出來た懸案解決大綱協定と支那事變直後に出來た不侵略條約とがあるに過ぎぬ(二、三の地方的取極は別とする)結局新たな事態に則して兩國關係を規律する基本條約を締結すべき間隙が存するのである或は友好同盟條約といふところまで進むかも知れない

唯玆に注意を要するのは、この種條約の締結は初めより必ずしも困難な討議題目ではなく、問題は寧ろ條約外の政治案件、例へば渝延兩政權の妥協案、重慶政權の民主々義化案、ソ聯の東亞における行動の限界定義(中國の主權尊重)等は、最も大きい難題であるに相違ない、スターリンの刃はこれを如何に斷つか

ソ聯勞働組合代表訪米

(リスボン九日發)ニューヨーク來電＝ソ聯邦勞働組合中央評議會に議長ヴアシーリイ・クズネツオフ氏は五日、ニューヨークにおける記者團會見で「米國、ソ聯兩國間に廣範圍な通商が行はれることは戰後におけるソ聯の繁榮にとつて重要な意義を持つてゐる、具眼者は何れもソ聯が强力な米國との間に堅實な經濟關係を樹立すべきだと考へてゐる」述べた、氏は目下產業別組織會議の招きに應じて十名のソ聯勞働組合代表を率ゐ、米國の軍需工場並びに政府機關を視察中である

【目　次】

ソ聯、對日宣戰布告……二二三六
各國大使にも通告……〃
ヴルガリスに內閣再組織を委囑……〃
第一回の裁判被告決定……〃
ベルギー賠償を要求……〃
ソ聯重慶、新條約締結せん……二二三七
白聖館密談續く……二二三七
米左右兩翼の對立激化す……〃
七月中造船高……〃
アルゼンチン戒嚴令撤廢……〃
米は國共中間派を援助せよ……二二三八
重慶物價一八三二倍……〃
インフレ抑壓の手なし……〃
英緊急閣議開く……二二三九
加首相地方選擧に當選……〃
塲太利を獨から分離……〃
伯林最高法廷開く……〃
ペタン公判第十四日……〃
【特　輯】
ソ聯と地中海(下)……二二四〇
【資　料】
「末席の覇者」赤軍占領下のドイツ……二二四二

元駐日・スイス公使死亡

(チューリツヒ九日發)一九三二年から一九四〇年まで日本駐劄スイス公使であつたウオルター・ターンヒールは七日死去した、享年六十一

熊式輝モスクワ訪問

(リスボン九日發)モスクワ來電＝ワシントン駐劄重慶軍事使節團長熊式輝は八日モスクワを訪問した、スターリン、宋子文の會談に參加する豫定といはれる

ソ聯、對日宣戰布告

＝宣戰布告正文＝

（モスクワ九日發）タス通信社は八日深更つぎのとほり發表した

モロトフ外務人民委員は八日夜佐藤大使を招致しソヴエト政府を代表し日本政府に傳達さるべきつぎの宣言を通達した

ヒトラー・ドイツの敗北並びに降伏ののち日本は依然として戰爭の繼續を主張する唯一の大國となつた、日本武力の無條件降伏を要求した今年七月二十六日の三國即ちアメリカ合衆國、英國並びに支那の要求は日本の拒否する所となつた、從つて極東戰爭調停に關するソヴエト聯邦に宛てられた日本政府の提案は一切の基礎を失つた、日本の降伏拒否を考慮し聯合國はソヴエト政府に對して日本の侵略に對する戰爭に參加し戰爭終結の時期を短縮し、犧牲の數を少くし全般的和平をできるかぎり速に克復することを促進するやう提案した、ソヴエト政府は聯合國に對する自國の義務に從ひ、聯合國の提案を受諾し、本年七月二十六日の聯合各國の宣言に參加した、ソヴエト政府においては自國の政策の右針路が平和を促進し各國民を今後新たな犧牲と苦難とから救ひ日本國民をしてドイツが無條件降伏を拒否したのちに蒙つた危險と破壞とを避けしめうる唯一の方途と思惟する、以上に鑑みソヴエト政府は明日卽ち八月九日よりソヴエト聯邦が日本と戰爭狀態に入る旨宣言する一九四五年八月八日モロトフ外務人民委員は佐藤大使に對し以上と同時に東京駐劄マリック大使がソヴエト政府の右宣言を日本政府に通達すべきことを傳へ、佐藤大使はソヴエト政府の宣言を日本政府に傳達する旨公約した

各國大使にも通告

（ストックホルム九日發）モスクワ來電＝モロトフ外務人民委員は八日夜英國大使サー・アーチボルド・クラーク＝カー、米國大使アヴエリル・ハルマン並びに重慶大使傅秉乘を招致しソヴエト聯邦が八月九日をもつて日本と交戰狀態に入る旨通告した

ヴルガリスに內閣再組織を委囑

（リスボン九日發）アテネ來電＝ギリシヤのヴルガリス政權の後を繼ぐ新內閣の組織につき政黨各派間に意見纏らず、聯立內閣の樹立は目下のところ不可能の狀態だが、攝政ダマスキノス師は九日ヴルガリス首相に「世話人內閣」の再組織を委囑したといはれる

第一回裁判の被告決定

（チューリツヒ九日發）フランクフルト・アム・マイン來電によれば聯合國戰爭犯罪委員會は來月ニユールンベルグで開催される第一回國際戰爭犯罪裁判で次の九名のドイツ首腦者を審問の豫定といはれる、ゲーリング元帥、リツベントロツプ氏パーペン氏、ローゼンベルグ氏、カイテル元帥、ライ博士、ユリウス・シユトライヒアー氏、ザイス＝インクワルト氏、ヨードル上級大將

ベルギー賠償を要求

（リスボン八日發）ブリユツセル來電＝ベルギー首相アツケルは七日國會に於て次の通り言明したベルギー軍はドイツの占領に參加、政府は賠償の割當を要求する積りである、政府は近く國會に國際憲章の批准を要請するが、總選擧は明年三月に實施されることとならう

ソ聯重慶、新條約締結せん

（ストツクホルム九日發）重慶行政院長宋子文は外交部長王世杰、同次長胡世澤等を帶同、モスクワにおいてスターリン議長、モロトフ外務人民委員等とソ聯、重慶間の關係調整につき第二次會談に入つたが、結局今後の兩國關係を律する基礎として新條約を締結するに決した模樣である、本問題は九日モロトフ外務人民委員の外人記者團會見において提起された樣子で、之につきタス通信社は次の通り報じてゐる

モロトフ委員は一記者よりソ聯、重慶關係は條約の基礎に置かれることとなるかとの質問に應へて、本問題は目下モスクワにある重慶代表との間に考慮中であつて支那との條約は調印されるものと確信する旨披瀝した

【米　洲】

白堊館密談續く

(リスボン八日發)ワシントン來電＝七日夜ワシントンに歸着した大統領トルーマンは、八日朝早くもハツチ及びキルゴア兩民主黨上院議員、陸軍長官スチムソン、國務長官バーンズの來訪を受け何事か協議を凝らしたが、スチムソンは右會見において對日特殊攻撃問題について若干の報告を行つた旨發表した、次いで十一時三十分國務次官グルーが突如白堊館に現はれ手に數葉の書類を握つたまま大統領公室へ急ぎ、國務長官バーンズと會見中の大統領を摑まへ何事か密談、わづか二分間にして白堊館を立去つた、グルーは白堊館入口で新聞記者團の包圍を受けたが何事も語らず、そのまま國務省へ車を驅つた

左右兩翼の對立激化す

＝ニユー・デイール派新擡頭＝

(リスボン八日發)大統領トルーマンの就任以來米國民主黨自體並びに國內政情の新展開は當然豫期されたところであつたが實際問題としては當面の戰局及び國際關係の發展に押され、これが表面化を見なかつた傾きがある、しかも最近ポツダム會談の終了と共に、米國內政問題は急角度に新動向へ入らうとしてをり、「デーリー・エキスプレス」紙は二日その樣相に次の如き觀測を試みてゐる

「ポツダム會談より歸國したトルーマンは、英國總選擧における勞働黨の勝利が、米國內に重大反響をもたらしてゐることを發見するに違ひない、但しこの反響は必ずしも一朝にして生じたものとはいひ難く、背景をなしてゐるのはトルーマン就任以來俄かに勢力を回復し、事毎に論議の花を咲かせるに至つた舊ニユー・デイール主義陣營自體である、民主黨は固より表向きには自由主義を標榜してゐるが、今日の情勢からいへばその自由主義一色は單に技術的問題としてのそれであり、恐くはトルーマンみづから黨內が左右兩翼陣營に分岐して了つた事實を遠からずして發見するであらう、とはいへ民主黨內の對立は今日と雖も何ら新しい段階に入つたわけではなく、いはば計畫經濟對自由企業といふ、舊來の確執を土臺としたものにすぎない、しかしその具體的樣相をみるに、一方においては國內產業資本を中核とする强力な一群があり、この派は戰時生產局長官ジユリアス・クルーグの後援を陰に陽に受けつつ可及的速かに戰時統制のすべてから脫却し、自由企業體制への早急な道を拓かうとし、ここに別の一群との熾烈な對立を導いてゐる、他の一群とはいふまでもなくニユー・デイール派であり、この派は組織勞働者の支持の下に計畫經濟の斷行を主張し、從つて戰時統制の全面的繼續を唱へてゐる

左右兩派のこの抗爭は次第に激化しつつあり、兩者の最初の衝突はここ一ケ月以內に表面化するであらう、問題はニユー・デイール派上院議員の動向であり、彼らは早くも「超ニユー・デイール」體制の進軍を準備してゐる、その主張するところは經濟統制の部面を除けば大體においてトルーマン政權の意圖する方向と合致してゐる、しかし國內の保守的勢力は、超ニユー・デイールの唱道する如きトルーマン中心の强力な經濟參謀本部設置案が故ルーズヴエルトの掌握した權力よりも更に大きな權力を平時においてトルーマンに賦與するものであり、かかる獨裁體制の確立は到底忍び難いとして反對、この對立を根柢に米國政界は漸く波瀾の兆を示し始めたといへよう」

七月中造船高

(リスボン七日發)ワシントン來電＝海事委員會は七日、次の通り發表した

七月中の米國造船高は九十七隻、八十九萬五千百八十五重量噸で、このうち八隻は軍關係の發注にかかる船舶である

アルゼンチン戒嚴令撤廢

(リスボン七日發)ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン政府は一九四一年十二月以來國內に戒嚴令を施行してゐたが、六日これを解除する旨發表した、この結果言論、新聞、集會、政治活動等の自由に對する一切の法的制限が撤廢されることになつた

米は中間派を援助せよ

（リスボン八日發）米國の經濟産業月刊「フォーチユン」誌は八月號において長文の支那論を掲げてゐるが、政治問題に關しては渝延兩政權に對する米國の政策を批判し、結局自國の打算上中間派を援助すべきことを主張してゐる、要旨次の通り

「支那に關する重要な政治的問題は米國があくまで今まで通り重慶政權一本建で行くか、或ひは中共に對しても援助の手を伸ばすか、又支那には内亂が起るか、それとも極端に對立する渝延兩政權に平和的解決の道があるかである、米國が渝延兩政權の統合を企圖して失敗して後、重慶援助の一本に徹底したことは、米國人中からも支那人からも非難が出てゐる、恐らく米支關係は今日から最も重大な危局に入るだらう、中國共産黨も重慶國民黨も一黨專制を建前としてゐることは同じでただ種類が違ふだけである、中共指導者の毛澤東はその書「中國の民主主義」で支那の革命にはソ聯の援助が不可缺の要件でありまたソ聯式の集團主義を輸入しなければならぬと述べてゐる、他方中共は、昨年の決議において中共と米國との協力が一時的戰略だとした一項を併せ考ふべきである、中共は數々ある政黨の一つではなく、全支の統一を目指す武裝行動團體である、米國の立場よりすれば中共に武器を與へる重慶政權を壓迫して戰時中に中共と妥協せしめることは決して戰爭の終期を早める所以ではなささうである、寧ろ重慶の反對政權を武裝することは全支を政治的軍事的及び經濟的混亂に陷れるものだ、米國今後の政策は結局中共を助けるか國民黨反動分子を援けるかの一つしかない、もつとも更に中間派と結ぶのも一方法である、この中間派は益々勢力を增大しつつあり、よく世界における支那の地位を認識し西洋文化の好い面に支那を同化させようと考へてゐる、米國の對支援助は結局この中間派援助を意味するそれはこの中間派援助こそ米國と折合ふ自由政策が割に合ふことを思ひ知らせることになるからである、大體蔣介石は役割が多過ぎる、國民政府主席と元帥くらゐにして、その他の權限は右の中間派に委讓することにしたらいろいろな問題が解決しよう」

物價一八三二倍

（リスボン八日發）重慶來電七月中の重慶一般物價は六月に比し更に一六%の昂騰を告げ、戰前を基準とする物價指數は一八三二となつた、特に燃料、衣料、建築資材の急騰が目立つてゐる

インフレ抑壓の手なし

（リスボン八日發）米國産業經濟雜誌「フォーチユーン」は八月號の支那論において別報の渝延關係論の外重慶の通貨膨脹に關し次のやうな悲觀論を述べてゐる

「重慶の危機は昨年の秋最高潮に達した、米支兩軍首腦、就中前米軍司令官スチルウェルと蔣介石の間には鋭い對立があつた、通貨膨脹や調整工作の手際は僅かの殘存生産機能を破壞し、政治的退歩に拍車をかけた、事態は全く急迫し米國の支那工作は三進も三進も行かなくなり、パトリツク・ハーレー、ドナルド・ネルソン、アルバート・ウエデマイヤーを急派して事態の收拾に當らせることとなつたのである、大體米國の對支物資援助は他の諸國に對する武器貸與援助に比べて甚だおそく、寧ろ手遲れであつた、インフレ對策としては第一に金を賣り放して通貨の大口保有者からこれを捲き上げること、第二に織物類を賣出して餘剩購買力を引き締めること、第三に交通機關の利用により民需物資の移動を圓滑にし物價を安定することであり、更に將來の問題として港灣の開拓により軍需及び民需物資の大量輸入を圖ることだが何一つとして困難でないものはない、通貨膨脹は時計のやうにカチカチと進んでゐる、せめてインフレの足取りが每月五パーセント臺に安定されれば經濟操作も相當秩序立ち經濟自體が安定するであらう、米國にしてみれば重慶政權援助政策改訂も重要だがそれにもまして深刻なのは昨年十一月以來全く統制外に逸脫したインフレ問題だ」

昭和二十年八月十一日(土)
第三五一〇號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

【英帝國】

緊急閣議開く

(リスボン八日發)ロンドン來電=英國内閣は全閣僚出席の下に七日緊急閣議を開催した、右閣議には陸海軍首腦が列席した

加首相、地方選擧に當選

(リスボン七日發)オツタワ來電=カナダ首相マツケンジー・キングはオンタリオ州グレンガリー選擧區で行はれた下院議員の補缺選擧において無所屬の相手候補を壓倒的多數をもつて破り當選した、キングは過般行はれた總選擧に出馬し、彼の屬する自由黨が勝利を收めて政權を維持したにも拘らず彼自身は落選したが今度の補缺選擧に出場して漸く下院の議席を獲得した

【歐洲】

墺太利を獨から分離

(リスボン八日發)ワシントン來電=米國々務省はオーストリアの占領機構と方式につき八日次の通り發表した

△オーストリア管理機構は、聯合國理事會執行委員會及び米英ソ佛四國政府の任命した職員よりなり、全體を聯合國オーストリア管理委員會と稱すオーストリア管理委員會の主な任務は

一、ドイツからオーストリアを分離すること

一、自由に選擧されたオーストリア政府樹立の道を拓くため可及的速かに中央行政機構を樹立すること

にある、理事會は四國軍事委員より成り、軍事委員は占領軍司令官として各自の占領地域において完全な權能を行使する、執行委員會並びにその職員は理事會の諮問に應じ理事會の決定事項を實施する

△ウイーン市の行政は四名の軍政長官よりなる合同管理司令部によつて行はれ、右司令部はオーストリア管理理事會の指命を受けるものとする

△一九三七年現在の國境におけるオーストリアは米英ソ佛四國によつて次の通り分擔占領される

一、ソ聯占領地域たる東北部はウイーン市を除く下オーストリア地方、ドナウ左岸に位する上オーストリア地方の部分及びブルゲンランド地方よりなる

一、米國の占領地帶たる西北部はザルツブルグ地方及びドナウ右岸に位する上オーストリア地方の部分よりなる

一、フランスの占領地域たる西部はチロル、フォラールベルグ兩地方よりなる

一、英國の占領地域たる南部はオスト・チロルを含むカリンチア地方及びブルゲンランドを除くシユチリア地方よりなる

△ウイーン市の占領地帶分擔は次の通り

一、レオポルドシユタツト、ブリギツテナウ、フレリツゾルフ、ウイーデン、フアヴリテンの各地區はソ聯

一、ノイバウ、ヨゼフシユタツト、ヘルナルス、アルザーグルント、ワーリング及びドブリングの各地區は米國

一、マリアヒルフ、ペンジング、フンフハウス(ルドルフスハイムを含む)及びオタクリングの各地區はフランス

一、ヒーチング、マルガレーデン、マイドリングランドシユトラツセ及びジンメリングの各地區は英國

伯林最高法廷開く

(ストツクホルム七日發)ベルリンからのAP電報によればベルリン最高法院は七日開廷したといはれる

ペタン公判第十四日

(チユーリツヒ七日發)パリ來電=ペタン公判十四日目はヴイシー政府元内相ペイルートン、ヴイシー政府の使者としてロンドンに使ひしたことのあるフエルネ提督、元ヴイシー政府猶太人問題委會々長ルーセル、元モントーバン縣知事マルタン元文相シユヴアリエ等の證言があつたが、そのうちで注目を惹いたのはフエルネの證言で、ペタンが用意した新憲法は一九四一年に完成、ラヴアルの首相就任と同時に一時發表停止となつたが、ペタンは一九四四年再びこの憲法を問題にして修正の上署名を終つた旨を明かにした、この憲法草案はペタンの辯護士の手になり、ペタンが果して共和制轉覆の意思があつたか否かを決する重大資料となるものと思はれる

特輯

ソ聯と地中海（下）

△赤い影地中海へ（承前）

ソ聯は歐洲戰中に東南歐における勢力圏の設定に必死の努力をつづけたが、一應の成果を擧げた今日、漸く地中海に觸手を伸し始めた、黒海の囚人たる地位を脱しようといふソ聯の翹望は歷史的なものだ、その意味ではソ聯のバルカン政策の焦點は既に地中海におかれてゐたといふことが出來るかも知れない、以上の事について「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は七月十日次の通り犀利な論評を行つてゐる

「ソ聯がタンジール管理問題に關する米英佛三國の會議に參加することを要求したとき、それは遠く過去に溯る外交政策の糸を再び拾ひ上げたことを意味するものだ、諸君は少くともピョートル大帝の御代まで溯らねばならない、ロシアを常に地中海へ地中海へと驅り立てる一つの歷史的衝動がある、いままでは英國がロシアの進路を阻んだため、ロシアは地中海に一度も進出することが出來なかつたが、今日では英國の力は弱まつてしまつた、そこで現在における新しい大きな歷史的展開が地中海地域の變貌に自己を見出すことになつたのである、史上この文明に宗教の搖籃が解體と改變の過程に入つたのは今回が初めてではないが、さうした事態が起つたときには常に世界を震撼せしめる如き大發展の結果であつた

ここ僅々數週間内にわれわれはダーダネルス、タンジールのみならず、バルカン、トリエスト、レヴアント、イタリア、フランス、スペインに對するソ聯の殆ど同時的な行動を記錄した、トリエストはアドリア海東部海岸における唯一の良港で東南歐及びユーゴスラヴィアを含むヒンターランドにとつて唯一の出口を提供するものである、ソ聯は既に東南歐に進出してゐる、つい最近ソ聯はカルパート・ウクライナを手に入れた、更にトリエストの管理を要求するユーゴスラヴィア政府は共產政權である、そこで結論はもしもチトー元帥がトリエストを手に入れるならば、ロシアはアドリア海に進出し得るばかりでなく、そこで極めて友好的な協力者を持つことになる、もしもソ聯が間接的にもせよトリエストを確保し得るやうになれば、東南歐洲及びバルカンにおける勢力の配置は根本的な變化を蒙ることとならう、既にギリシヤを除きバルカン全土はソ聯の支配下にある、次の動きはダーダネルスに向つて進出することだ、ソ聯はいまそれに着手してゐる

ソ聯は第一歩としてさる三月二十日トルコとの友好條約を廢棄した、二十ケ年間トルコにダーダネルス海峽を强化し管理する權限を與へた一九三六年のモントルー協約を改訂するか廢棄する問題がいまや上程されてゐる、ロシアは地中海と黒海との間を往來する大商船を確保しようと圖つてゐる、また商船隊とカフカースの富源を保護するため强大な艦隊を掌中に收めようと圖してゐる、併しながらダーダネルス海峽、マルモス海及びボスフォロス海峽を外國が管理してゐる限り、商船隊も艦隊も全く無意味だ、してみればソ聯がダーダネルス海峽の管理問題に關心を持つのは論理的にも當然であるし、また極めて自然でもある、ロシアは常にこの問題に關心を抱いてきた、地中海に熊の前肢を伸ばすロシアと、それを阻まうと努める英國との地中海における權謀政治の歷史的衝突は、常にダーダネルス海峽を焦點として展開されてきたのだ

われわれはレヴアント、イタリア、フランス、スペインに對するソ聯の關心を忘れてはならないが、もしも地中海の他の端に跳び移るならば、われわれは突如タンジールが嵌繪の一駒のごとく拾ひ上げられて、然るべき場所に嵌め込まれるのを發見するであらう、それにはソ聯が經濟的、政治的軍事的利害から出發して地中海の地位に關心を寄せてゐるといふ點を理解しなければならない、ソ聯が地中海の門戸の一に關心を寄せるのも無理からぬことである、從つてモスクワの政府がタンジールのあらたな國際地位を決定する會議に參加を要求したのもべつして不思議ではないはずだ、もう一度ソ聯の地歩を檢討してみよう、ソ聯は

昭和二十年八月十一日(土)
第三五一〇萬
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

東南歐洲及びバルカンに到達し、いまや他の方向に觸手を伸し始めた、ソ聯は地中海から支那海に至る英帝國と並行して存在するに至つてゐる、アラビアの石油、香港における巨額の投資、印度の獨立乃至はタンジールの地位等はもはや英帝國だけの問題とは見做されなくなつた、そこには總ゆる點でソ聯が緊密に關聯してゐる、英國の望み得る最善のことは、過去に繰り返した如くロシアと爭はぬことだ、なぜならばソ聯はいまや遙かに强大な國力を有してゐるからだ、殘されたことはただ一つ、英國はあらゆる問題を國際問題として討議の對象とすることである」

△熊の鎖と熊の番人

ソ聯が歐洲であれ、西亞であれ、はたまた極東であれ、何らかの進出を企圖すると、直ちに「赤色帝國主義」とか「ボリシェヴイキ勢力の擴大工作」といつたやうなレツテルを貼つて澁ましてゐる傾向がある、なるほどソ聯の窮極の目標はそこにあるかも知れない、あるひはさうでないかも知れない、併しながらその目標に達するまでには、尚ほジグザグの過程を辿らねばならぬのだ、ソ聯がドイツとの戰ひに尨大な出血を餘儀なくされた事實を喋々する評論家諸氏は、そこで彼等の思辯の糸をぶつつりと切つて、それとソ聯の戰後(または戰爭中)の外交の赴く方向を結びつけようとしない、ここに論理の矛盾がある

ソ聯がドイツとの戰爭において强大な發言權を獲得し、一面の國力を强化したことは事實である併しながら他の面のない楯はあり得ない、ソ聯は戰爭において人的にも物的にも尨大な國力の消費を止むなくされたのだ、この增大する國力と消費した國力との均衡をたて直し、統一された國力の强化を實現するためには、ソ聯は國內においては破壞された經濟力の再建に全力を傾注しなければならないし、對外的には國境の安全保障を確保しなければならない、この點で桑港會議と國際安全保障新憲章が如何に無力であるかは國際聯盟の例を俟つ迄もなくソ聯は鋭く見透してゐるのだ、蓋し新たな國際安全保障機構が新たなエチオピア戰爭を、新たなスペイン內亂の發生を阻止出來るとは主唱者の米國ですら確信を持つことが出來まいソ聯にとつて殘された唯一の方策は、新たな集團安全保障體制、新たな防衞前哨要塞線(Defence Glacis Line)の設定にある、ポーランドに對するソ聯の執拗な工作、バルカン勢力圈の確保、ソ聯の西亞進出、重慶に對する働き掛け、そしてソ聯の地中海への進出の理由の一半——勿論一半である、他の半分については別に論ずる機會があらう——は將に玆にある

ソ聯が地中海に進出しようと焦るのは、「ニユーヨーク・タイムズ」紙の指摘する通り歷史的な動きである、ロシアは古來北方の熊にたとへられてゐるが、この熊を縛りつける鎖の役割を果すものが地中海であり、囚はれた熊の番人がトルコであることは、ピヨートル大帝以來の事實だ、實にロシアのアキレス腱が地中海であることは、ソ聯に對する干涉戰爭の歷史を知る者にとつては明瞭な筈だ

ソ聯がダーダネルス海峽の管理要求と同時にカルス、アルダハン兩地方の還附を要求し、トルコ政府の民主々義化を要求するのも、ソ聯の國境安全保障圈を確保しようとする努力の線に沿ふものでなければならぬ、いづれにしてもソ聯は常に反ソ的な英國からトルコを奪ひ取り膝下に組み伏せぬ限り枕を高くして眠ることが出來ないのだ、勿論ソ聯はダーダネルス海峽の獨占管理が實現出來るとは思つてゐない、併しソ聯は以上のことをトルコに要求し、タンジール管理問題に關心を示すことによつて、地中海の地位に關する再檢討問題につき米英兩國の注意を喚起し、ポツダムにおける三頭會談の議題として提起する途を切り拓くことを狙つたものと解すべきであらう

三頭會談においてダーダネルス、タンジール問題がどう決定したかは未だ判らない、併しながらスターリンが地中海へ進出するため三頭會談においても全力を盡すことは容易に想像される、しかも三頭會談でどう決定しようとも、英帝國の威力が如何に弱化しようとも、英國における勞働黨內閣の登場によつてその外交政策が如何に變化しようとも、地中海が英帝國の生命線である限り、トルコを繞る英ソ兩國の宿命的鬪爭は新たな力關係に基いて再燃するであらう

(原子林二郎)

資料

「末席の覇者」赤軍
占領下のドイツ

「タイム」誌七月十六日號

ドイツの赤軍占領地區では統治の模樣が刻々明瞭化しつつあるが、これに伴つてソ聯の自由ドイツ委員會出身の面々も續々表面に現れ始めた、共産黨社會民主黨共同の勞働組合委員會は先週商工業關係の勞働組合十七個を組織したが、委員會の領袖は何れも强制收容所から出て來たばかりの人間で、その一人は共産黨の前ドイツ國會議員ロマン・シユヴアレクであり、一人は社會民主黨勞働組合會長のオツトー・ブラスだ、彼はナチ治下のドイツで數年間黨の地下運動を指導してゐた男である

委員會の綱領は左の通り、幾らか漠然としてゐるが、戰鬪的であることは確かだ、卽ち

一、新しき自由なる勞働組合はファシズムを完全に撃滅するため勞働階級の戰鬪的團結機關となるべし

一、勞働組合はドイツ國民の復活を援助し、ヒトラー戰爭が全世界に與へた傷害の恢復に協力すべし

といふのである

さらにドイツ國民の再教育を目的とする二個の組織がベルリンで結成された、一つは「文化聯盟」でドイツの民主的再生を目指し、執行委員は共産黨の詩人ヨハネス・ベツヒヤーほか三名の非共産黨員といふ顏觸れ、今一つは「青年會議」で目的はファシズムの根絶にあり、書記は自由ドイツ委員會のハインツ・ケツシーアほか一名の同委員會中央ロシア戰線宣傳部員である

これらの組織を通じて見られる顯著な特徵は傳統的な政敵の間柄にあつた共産黨と社會民主黨とが提携してゐることだ、さらに先週ベルリンの赤軍地區で基督教民主黨なる眞新しい政黨が生れたこの政黨の將來を云々するのは些か時期尙早の觀があるが、中流階級を代表しようとする自由主義政黨であるらしい

赤軍占領地區の司令官ジユーコフ元帥にとつてザクセン、メクレンブルク、及びブランデンブルク各地方の民政機關を共産、社會民主及び基督教民主三黨間にどのやうに割り當てるかが問題であつた、この時末席にあつて政界を操ることを最も得意とする共産黨は一つとして統監の椅子を望まず、彼等が讓譲にも選んだのは副統監の地位であつた、ジユーコフ元帥は各黨からの候補者名簿を卽座に受理し、候補者は直ちに就任した、その結果社會民主黨のウイリー・ゲツカーがメクレンブルク統監になつたが副統監三名のうち二名は共産黨員が占め、ザクセンでは統監が社會民主黨のルドルフ・フリードリツクス、副統監五名は社會民主黨二名、基督教民主黨二名、共産黨一名といふ割合を示してゐる、ブランデンブルクでは統監がやはり社會民主黨のアルツール・シユタインホフ博士副統監四

大正十年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年八　月十三日(月)
第三五一二號

同盟通信 海外電報

(186)

情報局總裁はその談話において、我が國が今や眞に最惡の狀態に立ち至つたことを認めるとともに、國體を護持し民族の名譽を保持するため、最後の一線を守るべく、政府國民一致してあらゆる國難を克服すべき決意を表明した、今一億國民の課題は、大和民族永遠の生命と大和民族の國家的性格である國體を保持するためには、一切を超克して邁進することである

今次世界戰爭は政治理念の戰であると同時に、民族の戰でもあつた、歐洲戰の火蓋を切つたドイツのポーランド進軍は、本來大ドイツ結成、卽ちドイツ國粹社會主義的民族政綱をもつてダンチツヒ自由市とポーランド廻廊を回收しようとしたところに遠因があつた、しかしこの要求が自己の案出した民族理論の限度を越えて、ポーランド全土全民族への戰となつた時に、ドイツによる戰爭の理念的な裏付けは剝がれて了つた、戰爭の發展につれ、民主々義陣營がアングロサクソン、スラブの大部分、フランス及び中南米のラテン民族を結集したのに反し、全體主義陣營は最初自己の陣營内に擁した一部ラテン民族をも後には失ふに至つた、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア等は、最初獨伊陣營内にある外觀を呈してゐたが、これはドイツの强權に屈してゐたまでで、政治理念的に全體主義に服してゐたものではない、大東亞戰爭は偶々歐洲戰爭と結びついたが、本來支那事變の擴大であり、支那事變は民族戰爭でもなく、政治理念の衝突でもなかつた、我が國は反共理念を揭げたが、國民黨政權は本來蘇共軍事に專念して來たものである、中國も全體として見れば勿論共產主義國家ではない、政治理念戰爭は戰爭自體の勝敗により終局する、戰敗國の理念は覆滅される、之に反して民族戰爭は決して民族の勝敗を釘付けにするものではない、これは幾多戰爭の試煉を經たスラブ民族や、漢民族がこれを證明してゐる、大和民族も亦この試煉を超克して、永久に生命を保持しなければならぬ



【目　次】

トルーマン報告演說要旨……二二四四
試驗成功は三頭會談一日前……〃
米英加新通商協定成立か……〃
白堊館經濟會議……〃
再轉換計畫發表……〃
タンジール問題四國會議開催……二二四五
佛の伯林占領は十二日から……〃
ソ聯、七億弗の物資補給を要請……〃
國際機構協力に七條件……〃
米空母進水……〃
ロンドン株式昂騰……〃
印度の窮狀を訴ふ……〃
戰爭犯罪人審理協定成立……二二四六
伊政府、フアシスト外債を繼承……〃
イタリアに救濟物資輸送……〃
ペタン公判第十五日……〃
アンラ活動報告……二二四七
世界勞働組合結成……〃
米、國際憲章批准……〃
ハイチも批准……〃
農業團體の歐洲救濟運動……〃
米スイス航空協定成立……〃
ウルグワイ、西と斷交か……二二四八
第十四航空隊司令決る……〃
航空工兵參謀任命……〃
米國資本の對支攻勢……〃
【特　輯】
ペタン公判（二）……二二四九
【資　料】
印度作家の英國見聞記……二二五七

新型爆彈を繼續使用せん

＝トルーマン報告演說要旨＝

（リスボン十日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは九日午後十時から約三十分に亘り要旨次の如く放送した

一、ポツダム會談において決定された軍事的取極めは勿論秘密である、しかし、この秘密取極めの一つは昨日になつて一般に發表された、それは、ソ聯の對日戰參加である、ソ聯は米國の新型爆彈といふ秘密兵器の通告を受ける前に對日戰に參加することに同意した

一、軍事協定を除いてはポツダム會議では何等秘密取極めは行はれなかつた、同會談に臨んだ米國代表がもつとも重大なものと考へたのは對日戰に勝利を得ることであつた

一、米國は今次戰爭の結果として、敢て新領土その他の資源を得ようとするものではないが、しかし、米國の利益を擁護するために必要な軍事基地は必ず確保するであらう、米國が現在領有してゐない基地といへども米國がこれを必要と考へる時は國際憲章に背馳しない取極めによつてこれを領有する方針である

一、日本國民は米國の新型爆彈が如何なる威力を發揮するかを目のあたり見た、若し日本が降伏しないならば米國は今後も引續きこの爆彈を日本都市に投下するであらう

一、歐洲の諸國民は今非常な窮境に置かれてゐる我々が全力を盡してこれを救濟しない限り今年の春あれ丈けの犧牲を拂つて贏ち得た勝利を今年の冬には失ふ結果を招來しよう、即ち、歐洲諸國民が寒さと飢とに惱むのを見棄てておくならば彼らは自暴自棄のあまりその社會組織をさへ自らの手で破壞するやうなことを敢てするかも知れない

試驗成功は三國會談一日前

（リスボン十日發）ワシントン來電＝米誌「ネーション」は新型爆彈について次の通り述べてゐるトルーマン大統領はもしも日本がいま我々の條件を承認しないならば、かつて地上に例をみないやうな破滅の雨が天から降るものと覺悟せねばならぬと言明した、新型爆彈の試驗に成功したのは七月十五日、即ちポツダム會談開催の一日前ニユー・メキシコで行はれた實驗においてだつた

米英加新通商協定成立か

（リスボン十日發）ワシントン來電＝米國商務省は十日左の通り發表した

米國はカナダ及び英國との間に新通商協定を締結すべく交涉中である、一方印度、濠洲、ニユージーランドとの間の通商協定改訂についても近く協議を開始する筈

白堊館經濟會議

（リスボン十日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは九日朝、陸軍長官スチムソン、戰時生產局長官クルーグ、戰時動員局長官スナイダー、及び物價管理局長官ボールズを白堊館に招致、會議を開催した、會議の內容は一切明かにされてゐないが、戰局に伴ふ國內經濟態勢の再檢討にあると解される

再轉換計畫發表

（リスボン十日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは九日夜產業再轉換及び平時生產の再開促進に關する五項目の計畫を發表した、右は大統領より戰時生產局長官ジユリアス・クルーグ宛の書翰の形式となつてをり內容は左の如くである

一、軍需及び民需において不足せる物資の緊急增產

二、原料品が統制を受けてゐる製品の生產制限

三、投機目的の退藏を防止し配給の不均衡を除去するための商品在荷手持の制限

四、產業再轉換を阻害する隘路を除去するため一部民需品に對する優先措置の實施

五、經濟安定政策保持に必要な低廉物資の生產を確保するため稀少原料品の割當制實施

昭和二十年八月十三日(月)
第三五一二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

タンジール問題四國會議開催

(リスボン十日發)パリ來電＝米英ソ佛四ケ國政府代表は十日パリでタンジール問題に關する第一回協議會を開催した

佛の伯林占領は十二日から

(リスボン十日發)ベルリン來電＝フランスは十二日正午を期してベルリンに自國占領地區を獲得することとなつた旨十日正式に發表された、占領地區は米英兩國の占領地區の一部から割讓される筈である

ソ聯、七億弗の物資補給を要請

(リスボン十日發)ロンドン來電＝ソ聯政府は豫てよりアンラの復興救濟物資補給を要望してゐたが、十日アンラ當局に對し總額七億弗に達する物資補給方を正式に要請した

國際機構協力に七條件

(リスボン十日發)ワシントン來電＝上院の國際憲章可決に伴ひ、米國が安全保障理事會の機能に關し加盟各國と締結する取極めに關しては、大統領トルーマンは既にこれを條約案としてでなく法案の形式によつて議會の承認を得る方針であることを明かにしてゐるが、米國代表として桑港會議に參加した共和黨上院議員ヴアンデンバーグは國務長官バーンズに書翰を送り、右法案中には次の七點を挿入すべきことを勸告した

一、大統領は安全保障理事會への米國代表の任免權を有するが、これを指名する際は上院の承認を必要とする

二、一定限度の兵力行使乃至制裁行動に米國が參加するか否かこれに關する一切の問題の決定權を大統領に賦與する、しかして米國代表は大使の資格を有し大統領の決定に基きこれが實施に當る

三、大統領が代表に對し軍事的乃至經濟的制裁行動に贊成投票を行ふべく指令した場合は直ちにこれを議會に報告する義務あり

四、大統領は紛爭の平和的解決のためには議會に報告することなく如何なる行爲をもとり得る

五、安全保障理事會との基本的取極めによつて規定された割當を些かでも超過する兵力を行使する場合、大統領は議會から正式の承認を受けることを必要とする

六、西半球の平和並びに安全保障を維持するため必要とする兵力に關しては米國並びに中南米の聯合諸國が一切の責任を負ふ

七、「聯合國」總會に派遣すべき米國代表團の任命は每年上院の承認を必要とする

米空母進水

(リスボン十日發)タコマ(ワシントン洲)來電＝米國海軍の新航空母艦「パラウ」號は六日夜タコマの造船所で進水した、同號はコメンスメント・ベー級の空母として進水した第十八隻目のものである

ロンドン株式昂騰

(リスボン十日發)ロンドン來電＝十日のロンドン株式市場は後場に至り廣汎な部門にわたつて諸株昂騰、就中東亞關係諸會社株の値上りが著しかつた、債券市場では支那及び日本公債が目立つて強調を告げたが、今の所取引は少量にとどまつてゐる、その他工業株及びゴム株も綻り、英政府債には引續き投資需要が現れた

印度經濟使節團米印貿易を語る

(リスボン九日發)＝ニューヨーク來電＝六週間の米國滯在を終へ近く歸國の途につく印度經濟使節團一行は八日ニューヨークにおいて新聞記者團と會見したが、席上一代表は、印度の産業再建には正常の輸出超過の他に一年當り八千萬乃至一億弗を必要とする旨明かにした

更に他の代表は

印度は將來米國と大量の取引を希望し、米國商品の輸入を增加し度い意向であるが、實際問題としては保有弗資金の缺乏によつて殆ど不可能の狀態にある

と印度の窮狀について米國に愬へた

【歐　洲】

戰爭犯罪人審理協定成立

（リスボン八日發）ワシントン來電＝米英ソ佛四國政府は八日ドイツの最高戰爭犯罪人を國際軍事裁判所において審理する件に關する協定に署名を了した、米國々務省は同日協定全文を發表したが之によれば國際軍事裁判所において審理すべき犯罪の定義、審理手續及び審理機構等の骨子は次の通りである

一、平和に對する犯罪＝卽ち侵略戰爭又は國際條約、協定又は保障の違犯たる戰爭の計畫、準備發起、又は遂行乃至上記事項の完遂に對する共同陰謀への參加

二、戰時法規違反の犯罪＝卽ち戰爭法規又は慣例に對する違反、右違反は謀殺、虐待、若くは領土內又は占領地內における民需生産を目的とする奴隷勞働の賦課、戰時俘虜又は海上要員の謀殺又は虐待、人質の殺害、私有又は公有財産の掠奪、都市村落に對する理不盡な破壞、又は軍事的必要により正當とされぬ荒廢行爲等を含むが之等に限定されるものではない

三、人道に對する犯罪＝卽ち謀殺、虐殺、奴隷化流刑、その他戰前又は戰時中民衆に加へた非人道的行爲又は政治的、民族的乃至宗教的團體に對する迫害、右迫害は國內法の侵犯を理由とすると否とを問はずまた所在裁判所の管內における何等かの犯罪を執行するためであると、又右犯罪に關聯して行はれるとを問はぬ

四、上記三種の犯罪に關する共同計畫又は執行に關する指導者、組織者、敎唆者又は共犯は、何人が右計畫執行のため行動したかを問はず、右一切の行爲に對して責任を負ふ、被告が政府又は上司の命令に從ひ行動したとする事實は免責理由とはならず、唯裁判所が正義により要請されると思惟する場合は、刑罰輕減のため酌量材料とならう

五、裁判機構その他＝先づ戰時犯罪審理に關する國際裁判所を設置する、次に四國主席檢事を任命する、右檢事は主要戰爭犯罪人の最後的決定を行ひ、起訴狀を起草し證據文書として援用すべきものを承認し裁判所の審理規則を起草する檢事は委員制により行動し、多數決によるあらゆる裁判所手續は英語佛語ロシア語並びに被告國の國語により遂行する、裁判所の費用はドイツ管理委員會より支出する

六、聯合國の加入＝聯合國加盟員は何國を問はず本協定に署名し得べく、また何國もモスクワ宣言に基き特別の告訴理由を有する犯人の召還を求める權利を留保する

伊政府、フアシスト外債を繼承

（チューリツヒ九日發）イタリア經濟相はフアシスト政權時代の外國債を新政府が受繼ぎ額面通りの支拂ひを行ふ旨發表したが、藏相ソレリも今日成立の對スイス新通商協定は兩國間の通常貿易の再開のみならずフアシスト外國債の支拂をも目的とするものだと言明した

イタリアに救濟物資輸送

（リスボン九日發）ワシントン來電＝米國政府當局の言明によれば米國が過去一年間に、故大統領ルーズヴェルトの緊急計畫に基いてイタリアに送つた民需物資は三億弗以上に上つたといはれる

陸軍省は一九四五年一月から五月末までにイタリアへ送つた食糧その他の物資が合計百六十萬噸に上ると述べてゐるが、イタリアでは陸軍の計畫に基いて食糧、衣服、燃料、農產物等が分配された、ほかにアンラが五千萬弗に上る緊急物資や產婦並びに小兒救恤用の物資を送つてゐる

ペタン公判第十五日

（チューリツヒ八日發）パリ來電＝ペタン公判第十五日は元ヴイシー政府空相ベルジユリ及び元佛印軍參謀マルタン兩名の證言があつたが、ベルジユリはペタン元帥が徹底對獨協力を主張した二名の空軍將官を罷免したこと、ペタン元帥の承認を得てフランス空軍充實計畫が實施されてゐた爲歐洲戰末期フランスは一萬九千名の空軍兵力を聯合國のために提供し得たこと及びヴイシー政府は當時ドイツ空軍の情勢につき聯合國側に通報してゐたことを證言、マルタンは元佛印總督カトルーが對日妥協を策したため罷免されたことを立證した

昭和二十年八月十三日(月)
第三五一二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

アンラ活動報告

(リスボン八日發)ロンドン來電＝目下ロンドンに開催中のアンラ第三次理事會の席上、事務總長ハーバート・レーマンは四十三ケ國代表に對しアンラの現有する資金は歐洲解放諸國に對し最低量の必要物資を送附するにも到底足りない狀態であると警告を發した、レーマンによれば明年のアンラ基金としては總額十五億弗以上の醵出を要請する筈であるが、それまでの端境期特に今冬のアンラ救濟活動は著しく制約されるといふ、更に「最近ソ聯はアンラに對し七億弗に達する物資援助を要請してをり、これは右基金醵出要請とは別個に考慮しなければならない」と述べてゐる、レーマンは次いでアンラの業績に關し左の通り發表した

一、本年六月末までにアンラの引渡した物資總量は百二十五萬噸に達した

一、引渡物資の大部分は農業復興用資材で、工業再建用物資はなほきはめて少い

一、マラリア及びチブスの蔓延に對處するための醫藥品の供給

一、歐洲におけるアンラ當面の最重要問題は陸上輸送の確保で、これは今までのところ失敗を繰返してゐる

一、アンラ當初の基金は七二%まで米國より醵出した、この割合は今後も据置かれる筈である

世界勞働組合聯盟結成

(リスボン九日發)ニューヨーク來電＝CIOニューヨーク地區組合員有志は八日カーネギー・ホールにソ聯邦勞働組合中央評議會議長ヴァシリー・クズネツオフの歡迎會を開催したが、席上CIO政治運動委員長シドニー・ヒルマンは左の如く國際勞働運動の協力體制について演說した

來る九月待望の世界勞働組合聯盟が結成されることとなつた、その本部はパリに設置され世界將來の平和維持のため勞働組合の國際的協力體制を樹立する計畫である、全世界の勞働組合はいづれも積極的に參加を要請せられる

【米　洲】

國際憲章批准

(リスボン八日發)ワシントン來電＝大統領トルーマンは八日聯合國安全保障憲章の正式批准書に署名を了した

ハイチも批准

(リスボン九日發)ポート・オー・プリンス來電＝ハイチ國會は九日滿場一致をもつて國際憲章を承認、ハイチは聯合國憲章の第六番目の批准國となつた

農業團體の歐洲救濟運動

(リスボン九日發)ワシントン來電＝政府教育局の主唱によつて結成された全國的農業團體「將來の米國農民」協會は、今回歐洲への食糧救濟補給を促進するため罐詰食糧一千萬個の確保運動を開始した、全會員二十萬は協力して罐詰の製造に當り、アンラを通じて歐洲へ送る計畫である

スイスと航空協定成立

(リスボン六日發)ワシントン來電＝國務省は五日夜米國、スイス間に航空協定が結ばれ、去る三日から發效してゐる旨發表した、今回の協定に基き兩國の承認を得た米國の空輸會社には、スイス領上空の通過權並びに外國向乃至は外國から來た旅客、荷物及び郵便物をジユネーヴその他適當な空港で乘降せしめる權利が與へられ、同樣な權利はニューヨークに飛來するスイス空輸會社の飛行機にも與へられる、スイスとの空輸協定は米國から北大西洋を橫斷、エール國、スイス、イタリア、ギリシヤ、エヂプトを經由して遠く中東地方にまで延びる米國空路の重要な一環を完成するもので昨秋のシカゴ國際航空會議で決められた標準形式に從つて締結されてゐるが、米國は既に同樣な協定をスエーデン、デンマーク、スペイン、アイスランド及びエール國との間に結んでゐる

ウルグワイ、西と斷交か

（リスボン九日發）モンテヴイデオ來電＝ウルグワイ議會は九日スペインとの斷交動議を審議することとなつたが、恐らく滿場一致可決するものとみられてゐる

第十四航空隊司令決る

（リスボン九日發）重慶來電＝在支米陸軍航空隊司令部は九日曩に辭任せる少將クレア・シエンノートの後任として少將チヤールズ・B・ストウンが任命された旨發表した、ストウンは一九四四年八月以來印緬戰域航空參謀長の職にあつた

航空工兵參謀任命

（リスボン九日發）ワシントン來電＝陸軍省は九日次の通り發表した

前第九工兵部隊副司令代將ジエームズ・B・ニユーマンはアーノルドの航空本部の航空工兵參謀に任命された、ニユーマンは新職務により全世界の米國陸軍航空隊基地建設を擔當し、全航空工兵部隊を統轄する筈である

米國資本の對支攻勢

＝戰爭の陰に愈々露骨＝

（リスボン七日發）ソ聯及び英國を中心に歐洲經濟の再建工作が日を追ふて具體化しつつある折柄對日戰の遂行に狂奔せざるを得ない米國は、一方においては世界最大の規模による自らの繁榮を企圖して國際機構の完成を急ぎつつ、他方においては各國の經濟復興工作に漸く焦慮の色を深くするに至つた、特に米國産業界は近時國内に瀰漫し來つた再轉換風潮の只中にあつて、戰後の對外取引維持政策に重大關心を寄せてをり、對日戰の困難に引づられてこの方面の戰後對策に、ともすれば各國より立遲れんとする政府に次第に不滿の感を增大させて來た、かかる風潮を裏書するものとして、近時米國實業界の新市場確保運動はきはめて旺盛なものがあり、殊に支那市場への關心は著しく昂まつてゐる

當地に達した情報によれば、多年支那貿易に從事してゐた對外通商界の重鎭チヤールス・ドネリーが最近の「ニユーヨーク・タイムズ」紙に寄せた論文は、這般の事情をよく物語つたものとつたへられる、ドネリーの寄稿は戰後における支那貿易の地位に關するものであるが、その中においてまづ支那の經濟的再建が、低生産費を武器とする對外輸出の增大にあると規定、しかも輸出産業の基礎を民族資本の興隆に置かず專ら米國資本の壟斷に委ねようとの意圖を露骨に出したものである

ドネリーによれば戰後支那は多量の生産施設と弗貨資金を必要とするだらうと述べ、そのためには支那は米國に對して商品輸出を增加しなければならぬと結論するが、然らば支那の輸出し得るものは何かといへば、ドネリーはこれを玩具、生糸その他の低廉財貨であるといふ、同時にドネリーは米國から輸入した生産施設を使用し大規模の工業生産を發展させる任務は在支米國資本に他ならないことを暗示してゐる、要するに戰後支那の産業を民族資本としては依然として家内工業の狹小封建的な域内にとどめつつ、近代工業の部面においては米國資本の跳梁を助長しようとする計畫である

ドネリーの傳へる所によると、すでに米國資本の支那市場乘取工作は着々進められてゐる模樣で例へば多數の有力石油會社は、戰前支那に有してゐた地盤を基に戰後の飛躍を計り、米國より貯油タンク、ポンプなどの諸施設機械を運び込む方針ですでに買付契約に乘出してゐる、又某大ゴム會社は戰後支那に尨大なタイヤー工場を建設すべく早くも具體的方針を決定した旨聲明してゐる、かくの如き米國商社資本の對支那市場攻勢は、同時に支那に存在する日本の資産乃至利權への重大關心となつて現はれてゐる、その意圖する所はいふまでもなく米國資本による完全な收奪であり、ドネリーもこの點は甚だ明瞭に米國資本の意向を述べてゐる、いづれにしても戰後支那を依然として帝國主義の壓制下に閉ぢ込め、植民地經濟單位としての復興のみを許さうとする米國の企圖はドネリーのみならず米實業界全般のものであり、かかる意味での支那開發事業によつて自らの完全雇傭を達成しようとする露骨な意欲の發現に他ならないといへよう

昭和二十年 八 月十三日(月)
第 三 五 一 二 號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判(二)

△レイノーの證言つづく(四)

レイノーの證言はベルギー國王レオポルドの降伏の日の回想に及んだ、彼は一九四〇年五月二十七日夜レオポルドが英佛兩國に何等の事前諒解なく、戰爭のさ中においてベルギー軍に武器を投ずることを命令したとの報を耳にするや、八日午前直ちに立つて激越そのものの聲調をもつて、有名なレオポルド彈劾のラジオ演説を試みた、このレオポルドの降伏がダンケルクの悲劇の直接原因だつたことはいふまでもない、レイノーはいふ「余がベルギー國王を非難したのは、レオポルドがベルギー軍隊の最高指揮官たるの役目を忘却したが故である、レオポルドはその政府と行を共にして國外に亡命すべきだつたのだ」と、レイノーの證言はやがて、彼がペタンに與へて元帥への尊敬の念を披瀝した書翰の存在に言及し

當時フランス國民の大部分がペタン支持者だつたことは疑ひもない事實である、余がペタンの參劃しつつある陰謀について知つたのは、その後のことであり、次第に全貌が判つて來たのである

と釋明し

ペタンはスペイン大使だつた時代、一九四〇年五月五日何等政府との打合せなく勝手に任地を離れて、パリ近郊マントノンにダルラン提督を訪問した、その時のペタンとの會見の模樣はダルラン自ら記錄して週刊誌「グランゴアル」に掲載されてゐる、右によれば「ペタンは余(ダルラン)を訪問し來り、二人は腕を組んで進まねばならぬと告げた」といはれる、また「ペタンは自分は貴君(ダルラン)を信賴してよいかとも尋ねた」といつてゐる

このときレイノーははじめて一段と聲を高めていつた

フランス共和國の大使が故なく任地を離れてフランス艦隊司令長官を暮夜ひそかに訪問し、共に腕を組んで進まねばならぬことを說いたとは果して何の意味であるか

余は一九四一年十一月十一日、ペタンに書面を送つて、ペタンが眞實にその元の上官をばドイツの手に引渡さうとしてゐるのかどうかを尋ねた、しかし、ペタンからは何等の回答もなかつた、余が自分はペタンによつてドイツに引渡されたといふのは文字通りの意味であり、余はこの主張を變へる意思はない

次いでレイノーは長々とその友ジョルジュ・マンデルに對する讃辭をのべていつた

マンデルはドイツ人によつたのではなくして、ペタンによつて保護されてゐたフランス人の人殺しによつて暗殺されたのである、マンデルは闇の夜フォンテンブローの森の中に連れ込まれて殺害されたのだ

レイノー證言がここまで來たとき、ペタン側の辯護士は元帥が暑熱のため疲勞し始めたので公判を一時休止されたいと要求し、裁判長はこれを承認した、休憩三十分

以上でもつて筆者がいま手に持つレイノーの證言內容は終つてゐる、多くの肝心なポイントが脫落し、または電文不明であるため全貌を傳へるによしないことは遺憾であるが致し方もない、レイノーの證言が終るや直ちに法廷は質問戰に入つた

△レイノー追及さる

レイノーが證言を終るのを待ちかねたかのやうに坐席から躍上つたのはペイアン辨護士であつた彼は嚙付かんばかりの憤激をそのままレイノーの面上に投げつけて

證人の證言は一から十まで中傷だ、しかし、それは何れ辯論の節に一々反駁する、

と絶叫、全法廷またこれに應じて一齊に沸立ち裁判長の制止もきかばこそ滿場囂々の聲に押潰されてしまつた、一人この騷ぎに無感覺の態度を持し得てゐるのがペタンとレイノーである

ペイアン辯護士の追及はさらに急である

問 證人はヴイシー政府によつて駐米大使に任命

する申込みを受諾したが、ルーズヴェルトが承認しなかつたために實現しなかつたといはれるがどうか

答＝ルーズヴェルト大統領は、自分がドイツによつて支配されてゐる政府の代表としてワシントンに來るのは意外だと考へる旨をひそかに余に傳達して來たが、この傳達をうける以前に、余はヴイシー政府に駐米大使就任は拒絶してゐた

今度はペイアンに代つてイゾルニ辯護士が質問する

問＝被告がミユンヘン協定に調印したダラデイエ内閣に踏止つたのはどういふわけか

答＝留任したのは自分ばかりでなく、ジョルジユ・マンデルもシヤンプリエ・ド・リーヴもさうである、理由はダラデイエがフランス政府はチエコスロヴアキア政府に屈服するやう壓迫を加へるやうな意志を有しないと確言したからだ

問＝被告は一九四〇年五月二十八日、英國政府と何等の打合せなく、ムソリーニに對してチユニジア、佛領赤道アフリカの共同統治を提議したといふが如何なる動機に基くものか

答＝余は英國政府と打合せをなさずして單獨行動したこともなく、共同統治を提案した覺えもない

問＝被告が共同統治を提議したとの報告は當時のローマ大使シヤルル・ルーがなしてゐるが、それでも被告は事實を否認するか

答＝ルーに送られた訓電にかかる提案が含まれてゐたとすれば、その起案者は自分ではなくてダラデイエである

證人に對する訊問が深刻化するにつれて陪審官席から次第に不滿の聲が昂まり、一陪審官は遂に立つて「裁判を受けてゐるのはペタンかレイノーか」と怒鳴るに至つたが、イゾルニ辯護士は冷やかにこれに答へて

抗戰派の諸公の多くはペタン元帥の過去ほど、その誠實について立派な確證をお持ちになつてゐない筈だ

と陳べたので陪審官たちは更に激昂し「君は抗戰運動について何の權利があつてかかる不遜な言葉を弄するか」と詰寄るものがあり、公判は一時停頓するに至つたが、やがて證人の訊問は再び續けられて

問＝一九四二年十一月二十四日ペタン元帥はドイツ占領軍に書翰を送つて、證人及びマンデルをピレネー山中ポルトレーの要塞から他へ移すことに抗議してゐるが、被告はその事實を知つてゐるか

答＝ペタンの書翰はわれわれが既に移された後になつて書かれたものである、われわれをピレネーの要塞から他へ移すことはヴイシーとドイツ軍の協定に基いて實施されたものだ

この質問の途中、モンヂボー裁判長はレイノーに着席のまま回答してよろしい旨を傳へたが、レイノーは終始起立のままで應答を續けた

△ダラデイエ證言要旨（一）

レイノーの證言につづいて證言臺に立つたのはエヴアール・ダラデイエである、獨佛開戰當時の首相だ、彼は年齡六十一歲と答へてゐる、ダラデイエは先づ

余は無限の悲しみをもつてこの證言臺に立つものであるが、何らの悔いなく證言するであらうと前提していよいよ證言に入つた

「一九三四年フランスはヒトラーから武器を共同製作しようといふ提案があつたのを拒絶した、當時陸相だつたペタンはフランスにとり製作必要な武器についてあらゆる情報を有してゐたに拘らず戰爭資材の製作を却つて削減した、一九三四年下院の軍事委員會席上ペタンはアルデンヌ國境は要塞化せずとも危險はない、敵はこの國境を突破し得ないと證言した、然るにペタンの言葉は間違ひであつたことが今回の戰爭で立證された、それにもかかはらず、ペタンは當時北部國境防備を主張した人間をば、ヴイシー時代に至つて處斷したのである、何故であるか、余はペタンがカニラールの結社と密接な關係を有してゐるとの情報を有してゐる」

△ダラデイエ證言の要旨（二）

「ドイツ軍がポーランド侵攻を開始したとき、フランスが斷然として立つたのはドイツ軍がウクライナを犯し、その戰爭物資を手中に收めるのを防止するためであつた、あの際フランスが立たな

昭和二十年八月十三日(月)
第三五一二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

かつたならば、ドイツは更に五十ケ師團をば編成し得る時を稼いだらうと思はれる

諸君はフランスには十分の武器がなかつたといふかも知れない、しかし、檢事の告發狀に記載されてゐる數字は、余の諒解する數字とは異つてゐる、リオンにおいて、余等に對する敗戰責任問罪の裁判がヴイシー政府によつて行はれた際、フランス休戰當時二千機以上の新銳飛行機が北アフリカで戰爭繼續のために使用し得られ、一千機以上は何時でも飛出せる用意が出來てゐたことが立證されてゐる

ラヴアルはペタンに悲しむべき影響を與へたものである、余はペタンに向つて、出來るだけラヴアルの偏見的忠告を遠ざけるやう勸告したことがあつた

一九三六年、余が國防相になつた當時、フランスには極めて舊式な戰車しかなかつたが、これを近代化したのは余である、一九四〇年ドイツ軍がフランスを攻擊したときに使つた戰車は一萬二千臺等といふ多數のものではなかつた、ソ聯は自國の大半が獨軍に占領されて尙戰ひつづけ、遂に獨軍はモスクワに達し得なかつたではないか、フランスも同樣に戰ひ得たはずである

ペタンは組織的に時代遲れの作戰原則をフランス國軍に吹込んで來た、最初は最高軍事會議の副議長として次には陸相として、フランスの戰爭準備をばおろそかにしたのはペタンである

ヴーメルグ內閣の陸相としては、戰車、對戰車砲の製造を開始し得る機會が與へられたに拘らず軍事費の二割減を斷行した、しかもその直前、ヒトラーより獨佛陸軍兵力を均勢にしようとの提案があつたのを拒絕した、この提案は人口の僅少なフランスにとつては有利な提案だつたのである」

△ダラデイエ證言要旨(三)

「ペタンは四十七ミリ對戰車砲の製造を許可することを拒んだが、後になつてこの砲は極めて優秀であることが證明された、又ペタンは新式戰車の設計圖を手も觸れないで握り潰した

アルデンヌ地區の防衛についてのペタンの意見はこの方面には危險はないといふにあつた、敵が潛入したら引捕へて把出して見せるといふのがペタンの自信であつた、一九三九年の冬、フランス軍が全く動かなかつたのは、工場において來るべき武器のために戰ひ、また約束された英國軍が大陸に到着するのを待つてゐたのである(註—フランスも世界もこの冬の戰爭をドロール・ド・ゲール、奇妙な戰爭と呼んだほどフランス軍は無活動であり、リアン・ア・シニヤレ、特記すべき何事もないが來る日、來る日の戰況だつた)然し、いよいよ時機が到來したとき、彼等——ペタン、ウエイガンその他その陰謀の一味は、フランスにとつては極めて不幸にも、既に選ぶ路をば決定してしまつてゐたのである」

第一日のダラデイエの證言はここで終つた、時に午後六時半、裁判長は公判第三日を翌二十五日續開して午後一時開廷の旨を宣して閉廷した

この日の公判開廷中ペタンは殆ど微動だにせず默然として黑檀の椅子に靜坐したままであつた、唯證人の聲が高まつた時、時折り眼を擧げて判事席の方を眺め、僅かに裁判の進行に關心を示すかの樣にみえたのみである、ロイターの記者は「ペタン元帥は果してこの歷史的公判を圍繞する世界の中に息してゐるのか、または全く已れ一人の世界に沈湎してゐるのか、他眼にはうかがふすべもなかつた」とペタンのその日を形容してゐる

ペタンは時として辯護士の方に眼を轉ずる時のみ、その眼差しは輝き、生命を回復した、が大部分は、椅子の片腕にのせて神經質に調子を取つてゐる右手に眼を伏せたままだつた——とはアメリカ記者の報告である

裁判が閉ぢて法廷から監房に引上げる短かい通路の兩側には武裝警官が堵列して警戒に當つてゐたが、ペタンはその間を通るに當り步並をゆるめて敬禮をした、然し、警官隊の方からは何の答禮も行はれなかつた、おそらく元帥はこの警官たちを、自由の身體の時には赴くところ必ず附きものであつた儀仗の警官と誤認したものらしかつた、元帥この日の服裝は軍服に純白の硬カラー、黑ネクタイに、黑靴、靑色の絹の靴下といふいでたち

で、手には新しい仔鹿皮の薄黄色の手袋を持つてゐた——とは社交記者上りででもあらう、これまた米國記者の描寫である

△公判第三日に入る

ペタン公判は二十五日、第三日に入つた、午後一時二十二分豫定より約半時間おくれて開廷、開廷後二分間の後、被告ペタン入場着席、前日に引續いて元首相ダラディエの證言が續けられた

この日のペタンは前日五時間に亘る長公判で、疲勞甚しいといはれたに拘らず、見掛けは極めて元氣で顏色もさわやかであつた、第一日に證言したレイノーも被告側の要求で本日は對決のため出席してゐる、ダラディエの證言は「休戰の後何が起つた」を中心にすすめられる

「自分のペタンに關する證言は監獄を轉々する間色々な信用ある地位にあつた人々から聞いて知つたことが土臺になつてゐる、一九四〇年、ヴイシーに程近いムーランまで進出してゐたドイツ軍の威壓の下に國民議會は開かれたのであるが、この國民議會はドイツ軍から銃劍を突付けられつつ、ペタンに全權を附與することに同意した、吾々はかくてフランス國家エタ・フランセーが、第三共和制に代つて生れ、フランスが冒險家と裏切者の手に落ちるのを眼の當り見たのである、ペタンはフランス國民としての義務を裏切つたものだ、彼は何事も知らず、全く無智にしてフランスを支配せんとしたものである、ペタンは第三共和制を倒して、ヴイシー政府を組織後、第三共和國の失敗の歷史を發くことに熱中し、フランスが敗北したのは共和制の結果であることを國民に說得しようと努めた、かく、余を始めレイノー、マンデル等に對する國民の信賴を破壞し、吾々を卑怯者だと立證するためにリオンの裁判を案出したのである

吾々を敗戰責任者として裁判に付したペタンは裁判の經過が次第にナチにとつて不利な事實を曝露し始めると、ドイツ側の干涉によつて公判を中止したのである」

△ダラディエ證言終る

「人民戰線內閣は參謀本部が要求する凡ゆることを忠實に實行した、自分たちはフランスの國旗が汚辱される日の來ることなどは全く信じてゐなかつた、フランスの敗戰を信じ得なかつた、吾々は一九四〇年六月二十日、ボルドー港より政府によつて傭船されたマシリア號に搭乘、北アフリカに向つたが、休戰協定の條件を知つたのは、その船中でのことであつた、このマシリア號上で一同は北アフリカで愛國者を糾合して抗戰を組織することを決定したのである、北阿に到着したとき余は總督オーギユスト・ノゲス將軍と面接して、抗戰組織のことを相談したが、ノゲス將軍は、抗戰するにはこれを支持する海軍が必要であるが、その海軍を失つた現在は手が出ないと回答した

ヴイシー政府は、共和國政府がフランスを無防備のままドイツに引渡したと非難してゐるが、これは事實に反する、一九三六年六月人民戰線內閣成立後一九四〇年五月までのフランスの武器製造能力はすでにリオンの裁判で數字を擧げて說明した通りで、或る部分ではドイツに勝つてさへゐたのである

一九四二年十一月八日、ドイツ軍が南フランスへ進駐の際、余はペタンが今度こそはその愛國心を沸して、抗戰の旗を揭げるだらうと思つてゐたが、當時ブーラソルの獄中にあつて余の聞いたものは、獄內を蹂躙するドイツ兵の重々しい靴音と武器を奪はれたフランス兵の怒りの聲のみであつた、フランスが敗れた眞の原因は軍の士氣低下であり、アルデンヌの丘陵地帶を突破することは不可能だといふ舊式觀念に起因するものだ、また第五部隊の活躍、軍首腦の無能に基く」

ダラディエの證言は入電しただけでは肝心な「降伏後何が起つた」を說明するに甚だ不十分であるが致し方もない、電報は以上で總仕舞である

彼の證言中、ペタンは制服のベルトを指先でつまぐりつつ殆ど身動きもせず、半ばダラディエ、半ば傍聽席に向つてうつろな眼差しを投げるのみだつた

△矢面に立つダラディエ

證言の濟んだダラディエに對して被告側辯護士團は一齊に砲門を開いた、例によつてペイアンが先陣である

昭和二十年八月十三日(月)
第三五一二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「證人はペタンよりもラヴアルの方が一層罪があるとは考へないか」

「余の答はイエスである、ラヴアルは無責任の人物だ」ダラデイエの言葉は鋭く、間髪を入れなかつた

この時裁判長モンヂボーは口を挟んで「ペタンはラヴアルを歡迎し共に握手したではないか」と述べ、ペイアンから、裁判長の發言はこの際不適當だとの抗議を受けた、ペイアンは追及する

「證人はペタンが義務を裏切つたといつたがその意味は何か」

「余はペタンが自らに課せられた義務に背いたといふのである、義務に背くといふ言葉の意味には色々あらうが、ペタンのなした如く自らの無能力によつて裏切りを犯したのも亦、義務に背いたと云ふことが出來る、ペタンはフランス人としての義務に背いたものである」

「證人はピレネーの山中からドイツ軍により他へ移されるに當り、ペタン元帥がドイツ軍に抗議したことを知つてゐるか」

「何も關知しない」

「被告はデイエップに英國軍が上陸を試みて失敗した際、ペタンがヒトラーに電報を送り、獨逸軍と協力して英軍の上陸を阻止しようと提議したとの告發理由書記載の事實について知つてゐるかどうか」

ペイアンがこの質問を發したとき、裁判長は今度は逆襲して「その質問はペタンに向つて發せらるべきものだ」と指摘してペイアンの注意を喚起した、裁判長の聲に應ずるが如く、いままで沈默してゐた陪審官の二、三は突如立上つて、ペタンの回答を迫り場内は急に緊張するに至つた、元急進黨の代議士だつた白髪のペルネー陪審官は「元帥の名譽が危殆に頻してゐるのではない」と怒鳴り散らしたが、ペイアンはすつくと起立して、大きく腕を振りつつ

「元帥は最初からこの法廷を認めず、回答の義務はない」とやり返した

この時ペタンは椅子を辯護士の方に廻轉させて「說明するつて何ごとなのだね、一體何ごとなのかさつぱり自分には聞えない、どうしたといふのだね」と訊ねた、滿場から抗議の罵聲と笑聲が一時に爆發した、一陪審官が「その電報の本文を讀み上げたらどうだ」と誰に宛てるともなく喚いたとき、ペタンは不意に起上つて、自ら課した箝口令を破り「余はこの法廷では回答を拒絶することを申述べてある」と口を開いた、罵聲と笑聲とはまたも場を充した、辯護士はペタンに何事か耳打ちをつづけてゐたが、その後ペタンは再び元の沈默に返つて、二度と口を開かず、檢事、陪審官、辯護士側の相談の結果は、問題の電報を取扱つたといふ電信士を證人に喚問するに決定した、その際辯護士側は、この問題については調査委員會を設けるのが至當だと主張したが、裁判長はこれを拒絶して

「問題は被告が回答さへすれば濟むことである、被告ペタンが調査委員會の合法性を承認するならば、何故にこの公判の合法性が承認出來ないのだ」と反問した

△ダラデイエ庇古垂れる

ペタンの口を開かせる企てが失敗に終つて、ダラデイエへの質問は續行する

問＝證人はペタンがカグラール祕密結社に關係があることを信ずるかどうか

答＝自分は公けにはその點について何等の知るところがない

ペイアン辯護士はここで最近逝去したフランス翰林院會員、詩人ポール・ヴアレリーが一九二三年、ペタン元帥の翰林院入りの際に讀上げた歡迎の辭を披露し「ド・ゴールはヴアレリーの國葬を考慮中であるといはれるが、そのヴアレリーがペタンを如何に解してゐたかはこの際極めて意味深いものがある」旨を指摘するところがあつた、そして證人に對する質問をつづける

「證人はフランスの武器が十分にあつたと證言してゐるが、では何故國境を破られたと思ふか」

「如何に武器はあらうとも、ドイツ軍を國境で喰ひ止め得た國は一つもないであらう、然し、より

適切に武器を使ひ、指揮官が一層優秀で、一層の精神力を持つてゐたならば、フランスの領土内で長期間にわたる戰闘が可能だつたと信ずる、フランスもベルギーもオランダも、ソ聯さへもドイツ軍を國境で喰ひ止めることは不可能だつた、余の考へでは、フランスは軍用資材の使用方法を誤つたばかりでなく、アルデンヌ方面に餘り強くない軍隊を配置したままにしておいて東部方面に有力な部隊を集結した作戰思想の誤謬によつて敗れたものである、アルデンヌに配置されてゐたのはフランス二流の軍隊であつたが、この方面にこそ最も精鋭を配置すべきであつた」

ペイアンにかはつて今度はイゾルニ辯護士がたつた

「現在の厚生相フランソア・ビルーは曾てダラディエの命令によつて捕縛投獄された人物であり、その後證人自身はペタンによつて投獄されたが、この證人が政治における正義を說くのは少々可笑しくはないか」

ダラディエはこの批評に對して急に笑ひ出し、新聞記者に向つて「こんな調子で質問されたら、何故に自分が投獄されたかについて、ペタンよりも自分の方が長く調べられることになる」と囁いた、ダラディエの質問は午後二時五十分終了、次には第三共和制最後の大統領アルベール・ルブランが證言臺に立つた、午後三時

△ルブラン證言臺へ

ルブランは已れの年齡を七十三歲と告げて、坐つたまま證言を許されたが、その聲は低く且つ震へて、左手で顎を支へながら話す彼の聲は、狹い法廷にも拘らず全般には透りかねる始末であつた

ルブランの證言要旨は次の通りである

「休戰が問題になつた一九四〇年六月十二日ツールでの閣議にはチヤーチル、イーデン等の英國側は出席しなかつた、ウエイガンは休戰を主張したが自分は休戰申込みには全く反對だつた、ペタンはわれわれは遠い聯合國の大砲に依賴しても致方がない、フランスは自らの悲慘をば自力で堪へ忍ぶべきだと、休戰說を支持した、閣議は更に六月十五日ボルドーで開かれたが、その席上カミーユ・ショータンはドイツにたいして休戰條件を訊問して見ることを提議した、首相レイノーはどこまでも抗戰繼續を主張して讓らなかつた、次の日再び閣議がひらかれ、席上ウエイガンからの報告が讀上げられたが、その內容は慘憺たるフランスの軍事狀勢を說明したものであつた、ここで再び休戰が問題になり、ペタンは辭意を表明したが、レイノー、ウエイガンの說得によつてペタンの辭表は撤回された、ショータンは又もドイツに休戰條件を照會することを持出し、閣僚も今度は大多數が休戰に贊成するに至つた、その結果反對だつたレイノーは辭職した、そして、後任にはペタンを推薦した、ペタンは旣に用意してゐた閣員名簿をポケットから出して「これが自分の內閣だ」といひ乍ら余に手渡した、新しい內閣が生れるまへには普通は、その前に長時間の各方面との打合せがあるのが例であるが、この時のペタンは卽時閣員表を出したわけである、當時余はこのペタンの行動について何らの疑念も抱かなかつた、唯、ラヴアルの名前があつたので、これに反對意見を述べたドイツに休戰條件を照會するためにはスペイン大使ホセ・フエリツクス・デ・レクエリカに仲介を依賴した

政府部內では、フランスを脫出すべきか、すべからざるかについて意見の對立があつた、一時はスペイン國境のペルピニヤンに政府を移すことに決定したこともあつたが、結局ボルドーに踏止まることに決つた

ヴイシーに政府が移つて以來、政府部內ではドイツの勝利を確信してゐた、ラヴアル一派がドイツの勝利といふ札を振りかざして橫行したのは全く愚の骨頂で當時すでに米國の參戰は不可避的であることが判つてゐたのである、米國はすでにさかんに武器を送つてゐたし、ルーズヴエルトは國民を正しい路に導き得る有能な政治家だつた」

△ルブランの證言つづく

ルブランのヴイシー攻擊はなほつづく

「ペタン內閣成立後、政府はヴイシーに移轉したが、七月七日、議員代表と稱する一團のものが、余を訪問して辭職を勸告した、自分は辭職の理由

がないことを云つてこれを拒絶した、余の辭職問題は七月十一日まで揉めたが十一日にはペタン自身が余を訪れて辭職方を求めた、その結果自分は遂に辭職することになつたのである」

この時ルブランは咽り泣き乍ら、如何にペタンが執拗に辭職を求めたかを說明し、その後ドイツの收容所に送られた經緯を說明した、ルブランは云ふ

ペタンはこの二つの重大な過失をした、一つはドイツの最終勝利を信じたこと、その二は自己の聲望によつて占領下のフランスを保護し得ると考へたことである

ルブランは又、六月二十一日、ラヴアルがルブランを訪問して、フランス本國を捨てて國外に亡命することの不可を說いたこと、上院議長のジュール・ジャンヌネーが亡命說を支持してラヴアルが「この法廷で繰返すことを憚る言辭」を弄してジャンヌネーを罵つたことなども證言してゐる

ルブランは又いふ

「ヴイシー政府はフランス國民から食糧を取上げてこれをドイツに供給し、フランスの家畜をばドイツ軍が制限もなく屠殺することを許容した、當時ドイツは莫大な數の家畜を有してをり、フランスがこれに供給する必要はなかつたのである、その結果としてフランスの家畜は戰前の十分の一にまで減少してしまつた、食糧徵發はヴイシー政府の命令により、地方縣廳の手で行はれたものである」

「余はペタンが榮光の頂點に到達した後、いま法廷にその姿を見るに至つたことを悲しみとする、如何なる惡魔的な運命によつて、ペタンはかくも低く轉落したのであらうか、余はその回答の發見に苦しむものである」

△ルブランへの質問

ルブランの證言が終つて例によつての質問が始つた、主役は依然ペイアンである

問＝證人は國民議會が大統領の地位を廢止した手續きを違法と考へるかどうか

答＝何も違法とは考へてゐない、只ドイツの戰雲のもとに事態がかくも急轉直下したことに驚いたのみである

問＝證人はペタンが國民を裏切つたものと信ずるか

答＝余であつたならば、ペタンが行つたが如きことは行はなかつたと考へる、ペタンは唯、否、自分にはそれは出來ぬと答へればよかつたのだ

問＝證人はドイツの敗北を疑つたことはなかつたのか

答＝余は始めから聯合國の勝利を疑つたことはない、そして、この意見を凡ゆる機會に出來るだけ弘めるに努めた

問＝證人はフランスが休戰することによつて、英國への公約を破つたものと考へるのか

答＝休戰がフランスの對英確約に對する違反であつたことは明瞭である、フランスは英國と十分打合せるべきであつた、當時ドイツはフランスとの休戰を必要としてをり、その點について既に用意をととのへてゐた、フランス側から進んで休戰提議をなすべきではなかつたのである

問＝休戰協定には祕密條項は無かつたか

答＝余の知る限りでは無かつた

問＝證人は一九四〇年、大統領辭任以後、屢々ペタンにその健康と幸福とを祈る名刺を届けてゐるが、どうか

答＝名刺を届けたことはある、しかし、ヴイシー政府の對獨協力政策が次第に明かとなると共にその習慣はやめてしまつた

ここでペイアンは一九四二年ルブランがペタンに宛てて書いた書翰を讀上げ

問＝證人は現在でもこの手紙を書く意志があるかどうか

答＝余がその後見聞した事實は、余をして躊躇なくノーと答へさせる

問＝フランス艦隊の引渡しを英國が要求したことを證人は知つてゐるか

答＝一九四〇年休戰當時フランスの艦隊をどうしたならばドイツの手に渡さないで濟むかは大きい問題であつた、英國はイギリスの港に回航することを希望したが、吾々としては又、フランスとしての別の考へがあつた、同年六月二十四日、ダルランは必要な場合は自決すべしとの命令を發した

ルブランに對する被告側の質問が何時止むとも見えないのに業を煮やした陪審官席から、この時「吾々はペタンの公判を行つてゐるのだ、ペタンに關係のない質問は止めろ」と怒鳴る者があつた陪審官の一人元代議士のピエール・ブロークは「吾々は共和制轉覆陰謀の裁判をしてゐるのである、裁判長はペタンに對して、ボルドーの閣議でペタンがポケットの中から出したと云ふ閣員表が何時から用意されてゐたものか尋ねて貰ひ度い」とモンヂボー裁判長に要求した、裁判長は、ペタンに起立を命じたが、ペタンは聞えなかつたか、聞えても聞かない振りをしたのか、これに何等の注意を拂はず着席したままだつた、裁判長は今度は廷丁に對してペタンに起立命令を取次ぐやうに命令した、しかし、廷丁自身も混雜に氣を取られて裁判長の命令が聞えなかつたか動かうともしない、そこで、辯護士ペイアンは元帥の耳に口を近付けて、モンヂボーの命令を大聲に取次いだ、ペタンはそれを聞くと明かに辯護士にのみ對して、「閣員表は前の夜に作つたと思ふが、提出したものは最後的なものではなかつた」と低聲に返答した、公判第三日が、かくて終つたのは午後五時である

△公判第四日に入る

ペタン公判は二十六日第四日に入つた、この日の證言は、前上院議長ジュール・ジャンヌネー、下院議員でレイノー内閣に無任所相だつた右翼の闘將ルイ・マラン・ペタンがスペイン大使のころマドリードの大使館に參事官だつたアルマダ・ガゼルである、ジャンヌネーは、一九四〇年夏のヴイシー國民議會が第三共和制憲法を停止し、ペタンの手中に殆ど無制限の權力を與へるに至るまでの首相ピエール・ラヴアルの策謀を説明し、レイノーに次いで首相の地位に就いた後のペタンの「嘆くべき」弱氣を指摘し、ラヴアルとペタンは「共同のコーズ」を持つてゐたと斷定した、又、レイノー内閣はその末期英國に移ることを考へたりまたフランス國内でドイツ軍から出來るだけ遠いところに移ることを考へたりしてゐた、ペタンはどこまでもフランスに止まる主張であつた、ペタンがドイツと結んだ休戰協定は「許すべからざる、償ふことの出來ぬ」過失だつた——ともいつてゐる

マランの證言は次の如きものだ

「われわれは植民地がある限りは戰爭を繼續すべきであつた、フランスは單獨和平を講ずることによつて一九四〇年三月二十八日の英佛協定を侵犯し、公約を破る不名譽を犯したものである、七月十一日全權を獲得して以來、ペタンがなした凡ゆる行動は全く非合法である」

六人目の證人アルマダ・ガゼルは「ペタンのスペイン駐劄大使時代には、第三共和制に對して陰謀を企ててゐるやうな印象はうけなかつた、がペタンを利用しようとする人間はゐたやうだ、スペイン内亂時代國際兵團に屬してフランコ軍と戰ひ後に捕虜となつてスペインに監禁されてゐるフランス人を釋放させるため、自分はペタンの口添へを賴んだが、ペタンは拒絶したことがある」——と陳述してゐる

△誰が休戰に贊成したか

三人の證人に對しては恒例の質問が行はれたがこの日辯護士は珍しくマランにたいしては一回の質問も行はなかつた、この日の取調べの山は裁判長がジャンヌネーに對する質問を老齡の故で制限したことから發生した被告側の反撃で、ペイアンは裁判長の「不公平」に感謝し「ボルドーのレイノー内閣最後の閣議で、一體、誰が休戰に贊成で誰が反對だつたか明かにしてほしい、レイノー、マランのいふことは双方で矛盾してゐる」と指摘して波瀾が起きたことだつた、ペタンは公判進行中「支那の偶像」のやうに默して坐つたままで、開廷に先立ち裁判長は「被告には何かいふことはないか」と尋ねるが、ペタンは答へず、裁判長は同じ質問を辯護士に繰返したが、ペイアンは「ペタン元帥の決定は諸公のすでに御存じの通りである」と答へ、とも角、裁判長の言葉だけはペタンの耳に取次いだが、ペタンは「ノン」と云つたのみだつた、ジャンヌネーが退席する姿を見たペタンはつと椅子から起立し僅かに頭を下げて、この老政治家に默禮を送つた、四日目の公判は午後五時半閉廷

（井上　勇）

昭和二十年八月十三日(月)
第三五一二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

印度作家の英國見聞記

＝ストツクホルム支局發＝

印度の闇秀作家イラ・センは歐洲戰後における英國の國内事情を左の通り傳へてゐる

△冷酷になつた倫敦市民

ロンドンは新來の筆者を丁度知人に遇つてひしやげた帽子を脫ぐ陽氣な老紳士といつた風に迎へてくれた、しかし彼が浮べた柔和な微笑には過去の苦勞が到み込んだ何か冷酷なものが混つてゐた煤けた建物はその燒け焦げた側面をむき出しに曝け出してゐる、建て直された家も少からずあるが「インズ・オヴ・コート」等有名な建物の破壞の跡は隱しやうもない、「インズ・オヴ・コート」には曾てそこに部屋を持つてゐた著名な辯護士達の移轉先を示した長い表が揭げられてゐる、フリート街一帶の新聞社はドイツ空軍の爆擊が熾烈な頃は皆地階で仕事をしてゐたが、今では夫々廣い建物に戻り、空襲當時の暗澹たる日を思ひ出させるよすがは殆どない

ロンドンはどう見ても荒廢した都市ではない、勿論試煉の生疵を恥かし氣もなく曝してはゐるが主な商業中心地、商店街、歡樂街等は急迫に復興したため筆者には殆ど變つたところが目につかなかつた、日々の仕事は從前通り快速調で進められてゐるが、外國人に對するロンドン市民の態度には何か取りつき難い冷淡なところがある、彼等が受けた極端な試煉は他人に對する同情の念を育むどころか却つて彼等を無感覺にしてしまひ、總體に冷酷な人間としてしまつたやうだ、ロンドンは過去數年間恐ろしい辛苦の時期を經驗したが、この結果ロンドン市民の親切心は涸れ盡し、代つて無愛想になると共に人間的な關心も一般に薄らいでしまつたのだらう、また彼等の思想や感情もこの結果甚だしく孤立化するやうになつたのかも知れない、兎に角彼等は長い間の世間附き合ひを振り切つて小島の中に引き籠つてしまつたやうに思はれる

△國際問題に無關心

英國は目睫の間に迫つた總選擧に酷い影響を與へずには置かないやうな、國際問題に對する昔ながらの無關心狀態に逆戻りするのではなからうか戰爭の結果英國は外國の土地や人民と愉快な或は不愉快な關係を持つやうになつたにも拘らず、このことは外國人に對する興味を殆んど喚起しなかつたやうで、假令彼らが興味を持つたとしてもその興味は英國民にその精神や生活態度を變へさせる程强力なものではなかつたことは確かだ、例へば印度は印度駐屯軍を介してずつと英國に接近するに至つたが、その接近も極めて個人的に留まつてゐる、印度が英國の子弟にとつて一時的にせよ住居の場所となつてゐるにも拘らず印度人を知らうといふ氣持は餘り昂まつてゐない、ロンドンは餘りにも國際的で市民は印度婦人の姿をみても何の興味をも持たず好奇心を動かさうともしないのだ、印度についての一般の感じといへば、其處は彼等の子弟が義務のために行かねばならぬ不愉快な土地で英國民に關する限り印度に住む者がなくても一向構はないといふのである

一方エヂンバラの雰圍氣やスコツトランド人の態度はロンドンとは大いに相違し、外國人に對してはずつと友好的でもあり關心を示しさへもする市電やバスの乘客は筆者が入つて行くとすぐ溫い笑顏を見せるし、商店や食堂や事務所等は一般に親切で、新しく來た者には非常に心持がよい、彼等は懇篤だ、スコツトランドとて配給で苦しんでゐることに變りはないが彼等は少いながらも手持の品で客をもてなす術を忘れてゐない、スコツトランドの主婦達は英國中の御多分に洩れず、乏しい食物の貯へを引延ばすことに靑息吐息の體たらくだが、彼女達は時間をかけて種々工夫をこらし大抵はそのため余分な家事勞働をするやうになつてゐる

スコツトランド人は印度に關して政治的な事柄よりも印度の生活樣式や印度人そのものに興味を惹かれるやうだ、しかし印度に關する知識は余り豐富ではない、實際、印度についての報道が殆ど一般民衆の間に傳つてゐないことは驚くばかりで現在の印度問題に關しては甚だ無知の狀態にあるしかしスコツトランドの民衆が印度に對して積極的な關心を持つてゐることは事實で、これを助長

すれば彼らも印度に對して友好的な感情を懷くやうにならう

「では一體總選擧の演壇では何の程度まで印度問題が考慮されてゐるか」といふ疑問が起つて來るところでウエーヴエルの提案や國民會議派領袖の釋放等の事件について英國の各紙が割いた紙面は全く驚くばかり狹いもので、トーリー派の各紙はこれらが第一面を飾る値打もないと考へてゐるやうだ、他方勞働黨の諸紙はトーリー紙よりも理解と關心の程を示しては居るが、まだ十分とは言ひ難い、共產黨のパーム・ダツトが印度相アメリーと選擧戰を演じてゐるスパークブルツクは別として一般に何の黨派も印度問題には餘り注意を集中してゐない

△總選擧にも氣乘り薄

英國民は尨大な印度について何も考へようとしない、國內に問題が山積してゐるといふのが印度問題に就ての責任を避けようとする彼等の言譯だが、問題が山積してゐることは或程度まで事實で住宅問題にしても宿無しの人間は全く莫大な數に上つてゐる、貴族階級は城や邸宅を持つてゐるが中流階級や勞働階級と來ては本當の家無しなのだ一部屋に十四人の人間が寢起きしてゐたり、一軒の家に數家族が這入つてゐたりすることはざらにある、さらに就職乃至は失業問題があり、生活再建の問題があり、社會保險計畫の成り行きも問題だ、これらは總て選擧人、候補者の何れもが直面せねばならぬ重大問題に違ひない、しかし今迄のところ選擧には概して氣乘り薄の狀態で、特に中流階級の政治問題に關する無知の程には驚かされる、彼等の有樣を見てゐると國民は政治について何も考へずまた考へるやうに奬められてもゐないのだと思はざるを得ない、チヤーチルについては特に老人連が盛に感傷的なことをいつてゐる、ある婦人などは學問もあつて仲々面白い人だがその人が「チヤーチルに對するお禮の意味で今度の選擧に彼を勝たせてやつても決して不當ではない」等といふ有樣だ、また筆者は一等車に乘つてゐた婦人海軍部隊の一人が「ラスキーといふのは何んな男だらう、多分ロシア人に違ひない」といふのを耳にした、一方軍需工場で働いてゐた或婦人は「私は勞働黨に投票する、しかも勞働黨も何か煮え切らない點があるやうだ、もつとも英國が共產主義を受け入れるとは思はない」と言つた

勞働階級は國際問題や內政問題について相當の知識を持つてゐるやうだが所謂インテリは殆ど理性的な考へ方をしてゐないと思はざるを得ない

米國產業再轉換情報一束

△「ウオールストリート・ジヤーナル」紙

六月二日

デトロイト地區軍需監理部はクライスラー社に對し六月三十日をもつてシヤーマン戰車の製造停止を命令した、右によりクライスラー社戰車工場從業員五千名中三千五百名が民需部門へ解放されることとなつた、なほ殘留勞務者は別種の戰車及び戰鬪用車輛の生產に當る筈である

△「ウオールストリート・ジヤーナル」紙

六月十五日

陸軍省は六月十四日砲彈製造計畫の五〇%削減を命じた、國內二十州の四十四砲彈工場がこれによつて影響を受けるが、解放勞力總數は約二萬人である、戰時人的資源委員會はこれら解放勞力を同地區內の重要軍需部門へ廻し、勞務配置の適正化を計ることとなつた、但しこの生產轉移は漸進的に實施する筈で九月までは繼續の見込である

なほ陸軍省では八月一日までに餘剩トラック三萬臺を商務省へ引渡す旨發表した、右は農業用に振り向けられることになつてゐる

△「フアイナンシヤル・ニユーズ」紙

七月二十七日

戰時生產局は自動車工業界に對し乘用車生產割當の達成並びに明年一月までに新乘用車の自由生產を再開せしめるため、十二分の資材を向ふ六十日以內に放出する旨確約した

△「フアイナンシヤル・ニユーズ」紙

六月十九日

トルーマン大統領は六月十八日の議會宛教書において、全世界に散在する米國餘剩軍需物資及び器材を管理、處分するため單一の統制官を任命したき意向なる旨傳達した

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月十四日(火)　第三五一三號　印刷發行人　田中正七　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信 海外電報

世界の焦点

戰爭の短期終結に躍起となつてゐる米國の朝野がソ聯の參戰を大歡迎したのは勿論である、しかるにその反面、ソ聯の太平洋戰參加を契機として、米國の一部に反ソ論の再燃とも見える現象が表面化して來たことは興味深い

たとへばソ聯參戰の報で全米が沸きたつたその最中に、ワシントンの「タイムズ・ヘラルド」紙は米國民の興奮に冷水を浴びせるが如く「太平洋戰を短期間に終了せしめるためにはソ聯の參戰は勿論歡迎すべきだが、しかしその參戰はあまりにも遲すぎた、太平洋戰が現在の段階に入るのを待つてソ聯が何故參戰したか、われわれはこの點を忘れて目前のことばかりに有頂點になつてはならない」といふ意味の論說を揭げてゐる、同紙は音に聞えた孤立派、ソ聯嫌ひの新聞であり、この位の論說を揭げるのは當然のことかも知れないが、しかしソ聯にたいする猜疑を深くしたのは孤立派ないし反ソ派ばかりではない、「ワシントン・ポスト」紙の論說記者もソ聯の參戰に關聯して、今次大戰においてソ聯がとつた數々の「裏切的行爲」を、「回顧」し「ヒトラーもチヤーチルもルーズヴエルトもみんスターリン君にまんまと一杯食はされた犧牲者である、いままたトルーマンまでがこのペテンにかからんとしてゐる」と述べて、今度の對日宣戰をソ聯がポーランド、フインランドにたいしてとつた行動と同じ範疇に入れてゐるが「ニューヨーク・タイムズ」紙のハンソン・ボールドウインまでが、得意の軍略論をふり棄てて、ソ聯參戰の「政治的意義」に一筆を揮ひ、戰略的影響は一先づおき、ソ聯の參戰は政治的に東亞の將來にたいして重大な影響を與へようと齒に衣をきせた結論を下してゐる

米國は歐洲をドイツから「解放」するために戰つた、しかるにドイツが敗れ去つた歐洲の現狀は如何、米國は今東亞を日本から「解放」すると稱して戰つてゐる、しかるにいままたソ聯が太平洋戰の裏玄關から突如として乘出して來た、米國としても喜んでばかりゐられないのは當然だらう

兵器局研究所建設

(リスボン十二日發)ボルチモア來電＝米國海軍兵器局各種研究所施設の建設工事がメアリランド州モントゴメリー郡ホワイトオークに九百三十八エーカーの敷地を選んで開始された、計畫が完成すれば、この研究所施設並びに同じく建設豫定中のメアリランド大學グレンマーチン工學航空學校とによつて世界最大の列に入る物理工學研究中心地が形成されるわけだ、所長には海軍大佐M・G・シンドラー、研究主任には海軍大佐R・D・ベネツトが就任する筈である

【目　次】

ペタンに死刑を求刑……二二六〇
スターリン・宋第二次會談……〃
アイゼンハワー訪ソ……〃
瑞典、ソ聯の利益を代表……〃
希內閣成立……〃
米國社會保障法擴充案……〃
英丁通商協定調印……〃
印度保有磅資金問題……〃
アベツツ元大使逮捕……二二六一
假埋葬の死體十萬……〃
獨管理々事會監獄部長着任……〃
伊の對外貿易制限緩和……〃
農具供給開始さる……〃
【特　輯】
英國總選擧前後……二二六二

シヨウ新作を執筆

(ストツクホルム十一日發)ロンドン來電＝「イヴニング・スタンダード」紙が十一日報ずるところによれば本年八十九歲のバーナード・ショウは六年間の沈默を破つて新作を執筆中といはれ、ショウは「典型的な喜劇で明年には完成する豫定だ」と言明したと傳へられる、ショウの前作は一九三九年に完成した「善良なチヤールス王の黃金時代に」である

ペタンに死刑を求刑

（チューリツヒ十二日發）パリ來電＝ペタン公判は證人調べを終つて十一日檢事モルネーの論告が行はれたが、ペタンは死刑を求刑された、宣告は來週半ばになる豫定で、その際は法廷を替へて曾てマリー・アントワネツトが死刑宣告を受けた同じ部屋が使用される豫定である、檢事の語る要旨は左の通り

「フランスは過去四ケ年にわたつて言語に絶する苦惱を閱し、祖國に對する裏切りをかばふに輝かしい名前が使用された、フランス元帥ペタンの名がそれである、フランスは國家が完全に敗北したことを承認せず、ドイツに降伏したことを容認し得ない、ペタンはフランスに敵ドイツを模放した政治を移入した、ペタンの動機は權力に對する虛榮であり、權威に對する本能であり、共和國への憎惡である、余はペタンと戰前フランス共和制に對して陰謀を試みたカグラールとの直接關係は認めないが、ペタンが權力を得ると共にこれ等の勢力は忽ち表面に出てペタンは彼等と合議し彼等はペタンを利用した、フランス海軍をドイツ軍の手の屆かないところにおかなかつたのはペタンの責任である、フランスは休戰の結果フランス兵一兵もなくフランスにはドイツ兵のみがあつた、ペタン政府はドイツ軍の內にありドイツ軍と共にあつた、從つて論理的にドイツと通牒したといふ結論は免れない」

スターリン・宋第二次會談

（ストツクホルム十二日發）モスクワ來電によればスターリン議長は十日夜宋子文と會見、會談は眞夜中まで前後二時間以上に亘つて續行され、モロトフ外務人民委員も參加したといはれる

アイゼンハワー訪ソ

（ストツクホルム十二日發）モスクワ來電＝ドイツ占領地域の米軍政長官アイゼンハワーは、ソヴエト政府の招請に應じて十一日夜モスクワに到着した

瑞典、ソ聯の利益を代表

（ストツクホルム十二日發）スエーデン外務省は十二日、スエーデン政府がソヴエト政府の要請に基き日本並びに日本軍占領地におけるソ聯利權の保護に當ることを承諾した旨發表した

希內閣成立

（リスボン十二日發）アテネ來電＝「世話人內閣」として成立したペトロス・ヴルガリスを首班とする新ギリシヤ內閣は十二日就任した、新內閣では首相ヴルガリスが內相を兼攝し、ギリシヤの再建工作に乘出す筈である

社會保障法擴充案

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝米國社會保障局は議會に對し社會保障法の擴充に關し左の如く勸告した

一、現在社會保障法の適用範圍外にある國民諸階層を全部包含せしめる

二、援護金制度を擴張し就職不能者にもこれを及ぼす

三、女子に對する退職年金の支給年齡を現在の六十五歲から六十歲に引下げる

英丁通商協定調印

（チューリツヒ十二日發）コペンハーゲン來電＝英國、デンマーク兩國間の新通商協定交涉は十日終了廣汎な物資交易及び金融措置に關する一協定が成立した

印度保有磅資金問題

（リスボン十二日發）「ファイナンシアル・タイムズ」紙の報道によれば印度保有の磅資金問題は最近大して論議されなくなつてきたといはる、根本原因は英國の淸算能力が到底印度側當面の希望に副ひ得ないことがますますはつきりしてきたからで、印度側の現在の要望は英國がエヂプトに與へたと同樣の讓步程度のものに縮少してゐると傳へられる

昭和二十年 八 月十四日(火)
第 三 五 一 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐 洲】

アベツツ元大使逮捕

(リスボン十日發)パリ來電によればヴイシー政府に對するドイツ大使であつたオツトー・アベツツ氏は十日夜オーストリアにおいて聯合軍により逮捕されたといはれる

假埋葬の屍體十萬

(リスボン十日發)ベルリン來電=ドイツ戰死者墓地登錄所長は十日次の通り述べた

現在ベルリン地區には假埋葬のまま放置されてゐる約十萬の將兵の死體がある、これを至急埋葬し直さない限りベルリンは恐るべき傳染病の脅威に曝される結果とならう

獨監理々事會監獄部長就任

(リスボン九日發)ワシントン來電=米國陸軍省當局は九日司法省刑務所局長ジエームズ・ベネツトがドイツ管理々事會米國代表部の監獄部長に就任するためドイツに到着した旨發表した、米國代表部の監獄部は檢事次長チヤールズ・フエイが主管する法律部の一部を成すものであるが、ベネツトの主な任務は左の通り

(一)米軍占領地區内におけるナチ黨員並びに一般ドイツ人犯罪者の拘禁

(二)政治的、人種的理由に基いて入獄中のドイツ人の審理補佐並びに釋放

伊の對外貿易制限緩和

(リスボン十日發)二日の「ニューヨーク・タイムズ」紙ローマ特電はイタリアの對外貿易に加へられてゐる諸制限の緩和につき、次の通り報じてゐる

「聯合國イタリア委員會はイタリアと諸外國との間の通商關係を闡明「諸外國は聯合國當局の手を經ず直接イタリア政府若くは商社と取引してよい」と發表した、以上の決定は從來より「廣範且つ良好」な國際通商關係の樹立を齎すものだと斷じてよからう

イタリア委員會はまた二日夜「エミリア、ルツカ等の諸地方並びにアンコーナ市は八月四日をもつてイタリア政府の管理下に復歸せしめられる」と發表したが、この結果僅かにボローニア北方だけが聯合國當局の管理に屬することとなつた、イタリア委員會發表の新通商政策にはさらに左の四ケ條の項目が附加されてゐる

一、輸出用餘剩物資の申告は聯合國當局の民需補給計畫の齟齬を防ぐため總て委員會の査閲を受けること

一、ワシントンの合同參謀本部が規定した保存物品の範疇に屬する品物は總て指定された國に對してのみ輸出される

一、軍政機關の管理下にある地區からの輸出は一般イタリア政府輸出機關を通じて行はれるが右手續にはすべて軍政機關當局の許可が必要である

一、聯合國當局のブラツク・リストに上つてゐる商會との取引は禁止される

米國政府は差當り外國經濟院の米國商業會社を通じイタリア商品の民間購買者の爲に斡旋の勞をとるといはれ、イタリア側もかうした取引方式を受入れ外國貿易會議所を設立した、一方英國は政府の購入に當つては大使館を代理者とし民間購買者は直接イタリア政府當局を通じて取引する」

農具供給開始さる

(リスボン六日發)ワシントン來電=アンラ當局は四日歐洲諸國に對する農具の供給につき次の通り發表した

約一萬五千臺による米國製トラクター及びその他多數の農具が今秋の植付季までに歐洲諸國にたいして配給されることとならう、これ等の農具は一部はアンラの寄贈であるが、他は受領各國によつてその代金が支拂はれることとなつてゐる、最大のトラクター受領國はフランスであり、その代金はフランス政府によつて支拂はれるが、第二はポーランドであり、ただこれはアンラから無償で交附される、トラクターのうち八千臺以上は既に七月中旬までにそれぞれの配給地に到着した

特輯

英國總選擧前後

—勞働黨勝利の背景—

英國の新首相クレメント・アトレーは、八月三日勞働黨内閣の組織を完了した、チャーチル打倒の急先鋒を保健相に、エマヌエル・シンウエルを燃料相に、長老ビーシーツク・ローレンス教授を貴族に列して印度相に、モリソン樞相多年の僚友ウイルキンソン女史を文相に据ゑた所に、一味清新の氣を見ることが出來るが、一九二九年五月マクドナルド第二次内閣を組織した當時、勞働黨の人材雲の如くに輩出したのに比べれば轉た寂寥の感に堪へまい、アトレー首相は勿論、モリソン樞相、アレクサンダー海相、アデソン卿等々はマクドナルド時代の殘滓に過ぎず、新藏相ヒユー・ドールトンに、フイリツプ・スノーデンの卓拔な識見を期待出來ぬとすれば「無音の革命」(Silent Revolution)と呼ばれる勞働黨今回の勝利が果して戰後の英國に二十世紀の「ヴイクトリア王朝」を約束出來るかどうか疑問だ

ロイター通信社の整理部長シドニー・メーソンは七月二十七日次の通り述べてゐる

「深刻な住宅不足を片付ける徹底的政策、炭坑業製鐵製鋼業、鐵道等の基本工業の國有化の綱領によつて勞働黨は劇的勝利を確保した、總選擧の背後に英國民が——事の當否は別として——無拘束な競爭を止めて商工業の公的統制を要望し、住宅燃料、食糧衣類その他歐洲戰爭の間多年不足を忍んだ物資を平時には何人にもよく行き渡るやう内政上の處理を待望してゐる事實が控へてゐる、しかし今度の總選擧における重要な一要因を見落してはならない、左への急激な轉向にも拘らず、下院議員六百四十名のうち共産黨員が二名に過ぎないといふことだ、かかる奇異な事態は歐洲何れの國にも起り得まい、即ち左傾が如何に大きくとも、社會主義への轉向であつて極左への轉向ではない、英國民は計畫的社會主義が節度を以て實施され、國内においては生活標準の引上げに資し、國外においては「外交の一貫性」が維持されるのを期待してゐる譯だ」

ナポレオン戰爭の前後産業革命を繰返して、英國は自由主義によつて「ヴイクトリア王朝の繁昌紀」を實現したが前後二回に亘る歐洲戰爭の後英國は計畫的社會主義によつて、再び繁榮を取戻すことが出來るであらうか、勞働黨内閣が以上のテストにパスすれば、今回の總選擧の結果が英國政界の基調となり、グラツドストーン以來の傳統を誇る自由黨は沒落、社會主義政黨と保守黨とが二大政黨として英國の憲政が運營されることとならう

勞働黨が何故に今回の樣な壓倒的勝利を收めることが出來たのだらうか？ 必ずしも明確な說明を聞かないが選擧の結果が如何に消息筋にとつても意想外であつたかを示すために、些か舊聞に屬するが、「エコノミスト」誌の卷頭論文を紹介しよう、英國政界の實狀を窺ふよすがとならう、

△英國總選擧の見透し

「エコノミスト」誌六月十六日

英國の憲政史上で、今度の總選擧のやうに全然見透しを付けることが出來ぬ選擧は曾てなかつた正常時においては或る程度定期的に總選擧が執行せられるので、前回の總選擧の數字に各種輿論の動向を適用すれば何等かの測定を下すことが出來たのだが、今度はかかるめの子算は適用出來ない選擧民は過去十ケ年間投票したことがなく、約七百萬の有權者は今まで選擧權を行使した經驗がない、戰時において補缺選擧は執行されたが、少數の例外を除いてはただ選擧人名簿が基礎となつてゐたし、三大政黨は聯立内閣を組織してゐるので補缺選擧には超然として無所屬乃至雨後の筍政黨に勝手に振舞はせた實狀だ、最近における補缺選擧の結果は判つきり左傾的動向を示してゐるが、本格的な政黨政治が復活した場合も同樣かどうかは簡單に豫斷出來ない、現在の選擧人名簿が不完全なことは各方面ともに認めてゐる、がどう不完全なのかは誰も知らぬらしい

昭和二十年 八 月十四日(火)
第三五一三號
同盟通信 海外電報 〔第三種郵便物認可〕

以上のすべての要因の歸趨は七月二十六日には判るのだから豫言するのは愚劣だ、しかし豫言者は、總選擧の勝敗を決定するのは全般的な投票數ではなく特定選擧區における投票だといふことを忘れてはならない、勞働黨が票數を必要としてゐるのは、現にトーリーが保持してゐるが前回の總選擧に勞働黨との差が餘り大きくなかつた選擧區においてだ、前回の總選擧では、保守黨が各區僅か六百五十票以内の少差で十八選擧區を勞働黨から奪取し、別に、各區三千五百票以内の差で七十議席を獲得し、更に四十九選擧區では保守黨の多數は三千五百から五千の間に過ぎなかつた、從つて右から左へ少し傾けば勞働黨は百議席を獲得出來ようが、それだけでは一九二九年五月の總選擧當時に勞働黨をかへらせるに過ぎず、辛うじて過半數を維持するのにも五十議席足りない、これ以上の成功を收めるには勞働黨は本當にうまくやらねばならない

△驚くべき開票結果

以上「エコノミスト」誌の所論は大體英國における消息筋の中正な觀測とされてゐたが、勞働黨は今回の總選擧で中産階級の投票を大牛掻き集めたのであらう、下院議員六百四十名のうち三百九十名を占めるといふ壓倒的勝利を收め、保守黨は閣僚十三名次官級十九名が落選するといふ恐く立黨以來の慘敗を喫してしまつた

開票當日の英國各紙の論調のうちでも「ヨークシャー・オブザーヴア」紙の主張が一番肯綮に當つてゐるのではなからうか

「勞働黨に投票した選擧民の大多數が社會主義の熱烈な支持者であり乃至社會主義理論の勤勉な研究者かどうかは大いに疑はしい、しかし彼等は一定限度の社會改革を熱望し、その斷行を迫つてゐるに他ならない」

「タイムズ」紙の議會記者は七月二十七日の紙上で次の通り述べてゐる

「保守黨が苦しい立場にあることは判つてゐたが戰爭指導者としてのチヤーチルの權威があることだから勞働黨自身でさへも今度のやうな大勝を豫想してはゐなかつた、チヤーチルは擧國内閣に立派な過半數を與へるやう全國民に訴へたが選擧民はこの要請を一蹴した、今回の總選擧では投票數が非常に多く、多數の保守黨候補は多年安全な保守黨の地盤で落選してゐる、勞働黨候補が勝つた所では壓倒的多數の場合が少くないが、保守黨員で當選した所でも收めた票數は前回に比し著しく減つてゐる、チヤーチルはウツドフオード選擧區で一萬七千の多數を制したが、相手の無所屬候補が一萬以上の票數を集めたことは今度の開票結果で最も驚くべき事實だ」

△戰爭の結果に幻滅

「デーリー・メール」紙の政治記者は

「保守黨の本部では敗軍の將兵を語らないが、選擧運動のやり方に對しては非難囂々だ、保守黨は黨史空前の敗北を喫し、勞働黨は領袖連が敢て期待しなかつた位の勢力を確保した、政權を握つた勞働黨には新顏と新しい考への人々が多い」

と述べてゐる、「デーリー・ヘラルド」紙の報道によれば、大都會は悉く勞働黨を支持した樣子だ

ロンドン都では六十二議席のうち四十八議席、バーミンガム市では——言ふまでもなく同市はチエムバレン一家の發祥の地で保守黨の金城湯池として一名の勞働黨議員も出てゐなかつたが、今度の總選擧では十五議席のうち十議席を占めるにいたつた

英國民が「一定限度の社會改革を熱望し」戰爭指導者としてのチヤーチルの聲望が、殆ど何等の御利益をも示さなかつたのは何故であらうか?

歐洲戰爭の結果に英國民が幻滅の悲哀を味つてゐる必然の歸趨と斷定するのは過言であらうか、外交上においても范睢の遠交近攻策の亞流とも言ふべき勢力均衡政策が「二十世紀の怪物」ソヴエト聯邦を歐洲に誘導することによつて大きな破綻を來たした事實は暫く措かう、國民生活の面においても英國民は決して所謂勝利を謳歌出來ぬのが儼然たる現實だ

一方銀行員、技術者、新聞人から官公吏に至る黒服の智的勤勞人は今度の戰爭では著しく增大した彼等が左翼の小冊子にとつての好市場だといふだけで勞働黨を支持するだらうと斷定出來ぬが、過去十ケ年間に勞働黨支持に傾くに至つたことは明かだ、これ勞働黨の領袖が內閣に踏み止つた結果勞働黨の得た便益だ、他方「赤の脅威」を說いておどしが一番よく利くのは中產階級の一部ランチエ層——少數ながら重要な部面だ、貯蓄隣組制は國內各地方に團體精神を鼓吹する上に重要な役割を果したが、若し勞働黨內閣が出來れば一般人の貯蓄を沒收するだらうといふ保守黨の說く傳說は彼等の間に信者を見出さう、國有化並びに統制繼續の影響に對する懸念も、以上の諸層において特に勞働黨に打擊を與へよう、從つて勞働黨が中產階級を惹き付けようとすれば、適當な作戰を廻らさねばならない、モリソン內相はプラツクプール大會において自軍に對して進擊令を下し、勞働黨としては中產階級と農村選擧區に進出しなければならぬと述べ、自ら範を垂れて東ルウイシヤムの選擧區で立候補した、アトレー副首相もまた中產階級の票數が大事な所以を說いてゐる、同時に勞働黨の五ケ年計畫も節度を以て國有化案を限定し乃至少くとも黨內の過激派が主張する樣な全工業と勞働の國有化を期する全面的な計畫を揭げてはゐない、しかしそれにも拘らず曾てエレン・ウイルキンソン女史が「中道投票」(Middle of Road votes)と呼んだ投票を掻き集めようと勞働黨が躍起になつてゐる樣子はみえず、依然として論據をも示さず何のためともいはずに國有化のスローガンに耽る傾向が强い、英國民は炭坑の國有案に傾いてゐるかも知れないが、勞働黨は未だに國有化された炭坑業が如何に運營されるかについては何等聲明してゐない

次に勞働黨は如何にして國有化されたイングランド銀行を運營するのであらうか、更に如何にして工業上の能率を增進し增產を圖るのだらうか國有化の標語の背後に實體的內容があるのだらうか捉はれない有權者諸君は之等の諸問題について回答を求めてゐるに違ひない、過去において勞働黨が黨外の人士に對し幾分派閥的且つ嚴格な態度を持つてゐたため、當然勞働黨を支持しさうな人々の支持を失つたことは疑ひない、今や遲蒔ながらトランスポート・ハウスは、度量と間口を廣くし出して、先づサー・スタフオード・クリツプスが再び入黨し聯邦黨の支持者の名も勞働黨に「移住」し始めた、モールドンではドライベルグが地方的に勞働黨候補として公認されたし、チエルムスフオートでは勞働黨候補が聯邦黨候補のために立候補を取消した

△勞働黨の弱味

しかし以上は極めて少數の例に他ならず、反對にヴアーノン・バートレツトはブリツヂウオータ一區で、勞働黨の候補と逐鹿せざるを得ない形勢だ、モールドンやチエルムズフオードの實例が聯邦黨共產黨獨立勞働黨が候補を押立ててゐる各選擧區にも及ばない限り、共同戰線を誤りさへすれば勞働黨に歸する選擧區約五十が保守黨の勝利に歸しさうな形勢だ、中產階級の捉はれぬ有權者達が勞働黨に投票するのを躊躇するもう一つの要目は、勞働黨が勞働組合の支配下にあるといはれてゐる點だ、勞働黨の資金の大半は組合から出てゐるが、黨の組織自體から見ればかかる非難は當らない、ウイルキンソン女史は去年勞働組合評議會に對し、必ずしも勞働組合員に限らず、青年候補に地盤を與へるやう要請したが、今回の勞働黨の候補者名簿を見れば以上の忠言が取入れられてゐるらしい、勞働組合の候補は安全な地盤を持つてゐるのだから、勞働黨が勝つたときよりも敗れた時の方が黨內における組合の勢力が强い、從つて今度の總選擧で勞働黨が勝利を收めれば、院內勞働黨の陣營は現在と可成り變つて來よう、しかし組合の勢力は依然として非常に强く、危機に際しては決定的な力を持たう、從つて中產階級の投票を集めようといふ勞働黨の運動は當然制約される譯で、特定の場合にこれらの投票を集めることが出來ても、何時までも維持して行くことは至難だらう、玆數年間個々の勞働組合が賃金について當然產業部門の傭主團と協定し、勞働組合全體の犧牲において自らの組合だけ利益を收める傾向が幾多の徵候から窺へる、もし以上の遣り口が全般的政策に發展すれば、かかる遣り口は獨り反社會的であるばかりでなく反勞働黨的とならうし、勞働黨發展の段階において黨の主要な支柱となつた組合が黨の成熟とともに大きな障碍とならう

昭和二十年 八 月十四日(火)
第 三 五 一 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

七月五日總選擧の當日には英國民はまだ正常狀態に歸つて居らず、百萬から百五十萬に近い選擧民は選擧權を行使出來まい、以上のやうに幾多困難が横つてゐることは明かだが、一九三五年の總選擧の數字が今度の選擧に對し何らかの示唆を與へよう、次に揭げるのは一九三五年總選擧直後の下院の分野並びに今回の解散直前の分野である

保守黨	三八七名	三六三名
國民自由黨並に勞働黨	四一名	三八名
勞働黨	一五四名	一七一名
自由黨	二一名	一九名
その他	一二名	二四名

△選擧區巡り

今度の總選擧で保守黨の議席が增すのを豫想してゐる人々は極く少いから、野黨各派がどれだけ議席を增すかと檢討することが、最も簡單な方法だと思ふ、從つて勞働黨の勢力擴張の見透しを主として取扱ふが、現行の選擧制度のもとにおいては、總得票に比例して各派の議席が定るのではないから豫測は特に困難だ、實際總選擧は大體賭博で、總得票數に對し輿論の動向がどんな影響を及ぼすかと測定しても殆ど何の役にも立たない、多少でも見當をつける方法があるとすれば各選擧區毎に一つ一つ檢討することだ、一九二九年の「高潮時の標識」に達するためには勞働黨は現在よりも百十七議席を殖さねばならない、しかし今度下院の議席が少し增加するので、一九二九年當時と同比率の多數を下院に制するには凡そ百廿八議席を新たに確保しなければならない、尤も一九二九年當時も勞働黨は絕對過半數を得てゐた譯ではなく、絕對過半數を占めるには新たに百五十議席をかち得ねばならない、更に他のすべての政黨に對抗し勞働黨が獨力で實際下院において多數を制して行くには百六十九議席即ち現在の實勢力と殆ど全く同數の議席が必要だ、以上が勞働黨の狙ふ各目標である、しかし一九三五年の總選擧の結果は餘り決定的ではなかつた、右總選擧の主たる結果は「九三一年の慘敗で保守黨に奪はれた勞働黨年來の地盤を取戻すことであつた、ダーラム地方の九選擧區を奪回しその他一九三一年までは傳統的に勞働黨の牙城と目されてゐたスタフオードシヤー、ヨークシヤー並びに北部工業地帶の選擧區をも同樣に取戻した、今度の總選擧における勞働黨の任務は二重だ、第一には、都市における勞働階級地區に對する黨の把握を確立するにあり、現在勞働黨の把握はまだ不十分で、英國の政治の階級的基調が明瞭に出てゐると思ふ、バーミンガム地方の十二選擧區は全部保守黨、リヴアプール地方の十一選擧區のうち八選擧區、ニユーカースル地方の四選擧區全部、カーヂフ地方の三選擧區、アルフオーム地方の三選擧區、何れも全部が保守黨だ、マンチエスター地方は選擧區十のうち、勞働黨議員は四名だけ、リーヅは六議席のうち勞働黨四、ブラツドフオードは四議席のうち唯一つ、エヂンバラも四議席のうち一つだけである、大都會で勞働黨が議席の半以上を占めてゐるのはグラスゴーとシエフイールドだけ、しかも兩市合せて二十二議席のうち勞働黨が十三議席を占めてゐるに過ぎない、したがつて傳統的な勞働黨の戰略線に沿つて勞働黨が大いに進出する餘地が殘されてゐることは事實だが、かかる戰術で勞働黨が過半數を占めることが出來ぬことも同樣明かだ、中產階級の市部で政治に無關心な選擧民の流動投票を掻き集め、殊に農村選擧區における保守黨の過半數を打倒するため努力せねばならない、一九三五年の總選擧で保守黨並びにその傍黨の議員だけを選出したイングランドの各地區の表を作れば隨分長くなるし、一部議席は爾後の總選擧で獲得したのもあるが、これだけで百二十九議席を押へてゐる

△勞働黨戰術

勞働黨は農民とその妻との票數を捕へることについて驚くほど樂觀的だ、もつとも戰爭で疎開や農村人口の動員、女子農民隊の徵用、工業の分散等が起り、都市と村落の障壁は打破される結果となつた、農村人口の組織化は極めて迅速に進捗し農民組合が獨自の候補を押し立ててゐる、元來農民の投票については見込みが付け憎い上に、農業の振興、農產物價の保障並に輸入統制等を公約して農村の投票を惹き付けようとしてゐるのは勞働黨だけではない、しかも郡(カウンテー)の區分と農村選擧區とは決して同意語ではない、郡部と市部との境界線は段々活かされて行く、しかも双方の議席の大多數を決定するのは捕捉も出來ず豫測も出來ない中產階級の投票だ、この點では勞働黨に有利な要因と不利な要因とが伏在してゐる

統合資源局の最近の年次報告は天然ゴム、皮革類、繩維、鉛、錫、材木、パルプ、紙類が「稀少」だと述べてゐるが「マンチエスター・ガーデイアン」紙は右報道を引用した上で

「稀少物資は二種に分れる、主要な供給源が依然日本軍の支配下にあるか、或ひは材木、パルプ、紙、皮革類等のやうに作戰上の尨大な要求と人的資源不足のためだ、假りに今後一年乃至一年半の間に太平洋領域からゴム、錫、シサル麻が出來ても、緊急に軍需生産に必要であり、その他の稀少物資がすぐ供給される見込みも同樣乏しい、太平洋戰爭が續く限り現在以上に人的資源の統制を緩めることは出來ない、鐵、鋼鐵、石炭、液體燃料等はそれ程「稀少」でもなく戰爭が單一戰線となつた結果從來より大量に民需に振り向けられようが、事態が非常に緩和されるとは期待出來ない、最近大半の原料資源の生産は戰時の絶頂から落ちてをり、蓄積した手持物資の大部分は依然太平洋戰爭の終了まで保持してゐねばならない」

と述べてゐる

△嵐吹く過渡期

更に「デーリー・ヘラルド」紙は七月十八日の紙上に「苛酷な事實」と題する社說を掲げて曰く

「總選擧の大騒ぎの後に儼然として殘つてゐるのは英國民の當面する苛酷な産業上の諸事實である、第一の事實は英國が大國たり得るや否やは英國の石炭生産力によつて定まるといふことだ、來るべき時代に幾多新しい産業が起るだらう、しかし石炭がなければ英國産業繁榮の基礎と全的就業の見込みとは悉く危殆に瀕しよう、第二の事實は石炭は坑夫なしに生産出來ぬといふことだ、第三の事實は私的企業制度では坑夫も石炭も出て來ないといふ事だ、私的企業のもとに炭坑夫は自らの事業に對する信念を失つた、炭坑の再施設に三億磅の資本が必要だが現在の炭坑主が存續する限り、坑夫も資金も出て來ない、これらはサー・アーネスト・ベヴインが言ふ通り「國民死活の問題」だ、時局の要請する所に從つて急遽再建に乘り出すためにはその他の大公共事業にも公的指導が必要で、劃一的な料金で全國至る所に電力を供給する電力計畫が出來れば國民生活の全般特に農村を勢付けるに役立つだらう、製鋼業は今や「怠け者」に墮して了つた、輸送は混亂狀態だ」

十ケ月前に注文した年鑑が八月に漸く出版されれるとか、一着の洋服が出來るのに八ケ月かかるとか、「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン特電が傳へる所は戰前の英國を憶へば全く隔世の感だ、主婦連が所謂「反行列騒ぎ」を起したといふ報道も、英國における世相の端的な指標ではなからうか

だからアンヌ・オハール・マコーミツクが七月二十八日「ニューヨーク・タイムズ」紙上で述べてゐる所は眞相を穿つてゐるに違ひない

「戰爭から平和への嵐吹く過渡期に當り、英國と帝國との水先案内を任める內閣は、決して有難い役廻りではない、疲れた歐洲における疲れた民人——英國人は大陸における諸隣人よりもしつかりしてはゐるが——矢張り變化を求める氣持に變りはない、「チヤーチルに投票せよ」との標語に對し英國人は「ノー」と答へた、內閣に飽きが來た、否過度の勤勞、黒山の様な行列、戰時生活の不快な「軍律」に飽き飽きしてゐる主婦達の叛亂こそは、英國人の氣分の象徴だ、かかる示威運動は、卒然として落下するV二號の雷を「ちよいと具合が悪い」とあつさり片付けた英國人の間に持ち上つただけに意義は深刻だ、英國人は新顔と新しい聲と新たな理念を待望してゐる」（**長谷川才次**）

太平洋の兵員六萬人歸國

（リスボン六日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部當局は五日次の通り言明した

西南太平洋の兵員六萬人以上を九月末までに米國へ歸還せしめる豫定だ、これは同方面の歸還有資格者の約半數に當る、兵員六萬六百六十六名並びに將校二千百三十四名の歸國には三ケ月を要する見込である

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月十五日(水)　第三五一四號

同盟通信 海外電報

編輯兼發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

ソ聯政府の對日宣戰は、東亞の諸國に重大な影響を與へつつあるばかりでなく、東亞に利害關係ある歐米諸國にも微妙な作用を齎さずにはおかない、既に蒙古人民共和國政府もソ聯に追隨して帝國に宣戰した、ソ蒙兩國は所謂紳士協定（ゼントルマンスコエ・ソグラシエニエ）によつて、軍事的相互援助を約束してゐるが、これは兩國の何れかが第三國より侵略を受けた場合に發動するのであるから、形式的にはこれとは別に宣戰を必要としたのである、外蒙の對日宣戰參加は、直接日本に對する影響よりも、中國に對する影響が大きいソヴエト勢力の對外滲透を歡迎するのは延安政權であり、これにより脅威を感ずるのは重慶政權である

重慶の蔣介石は戰局の萬一に處して、麾下軍隊に待機命令を出した、第十八集團軍に對しても、追つて命令ある迄、その部署に止まるやう指令した、先年國共合作の際、中共軍は名義上重慶軍事委員會の統制に服することとなり、第十八集團軍と稱せられることとなつたのであるが、蔣介石の右命令と同時に、延安の毛澤東は全中共軍に對して、これを無視した獨自の行動命令を出した、勢力圈擴大を目指して、渝延の競爭は激甚とならう、同樣の競爭はソ聯と米國の間にも激化しよう

今年米國でのベスト・セラーにオーエン・ラティモアの「亞細亞における解決」(Owen Lattimore: Solution in Asia)がある、その末章「亞細亞における米國政策の綱要」は、中國における米ソ關係を論じ、特にソ聯は最初重慶援助一本で行き中共に對しては何等の物資も供給しなかつたが、現在はソ聯と重慶との關係がまづいために、新疆路線も重慶に對しては用を爲してをらぬ旨述べてゐる、ラティモアは米國政府の「中國版ボーランド大佐群政府」（重慶政權）偏重に警告を發してゐるが、外蒙路線、新疆路線が延安に繋がる可能性を恐れる米國人は、今や少くないであらう

P80の試驗飛行失敗

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國陸軍省の發表によれば、最近、新型戰鬪機P80「流星」（シューテイング・スター）の試驗飛行が行はれたが失敗に終り、米空軍の至寶といはれるリチヤード・ボン少佐が墜死したため、陸軍當局は直ちに同機の使用を制限、これが改良に乘出すことになつたといはれる

【目　次】

外蒙も對日宣戰……二二六八
トルーマン、魏道明と會談……〃
ド・ゴール訪米……〃
英重慶大使歸國取止め……〃
米陸海軍兵員損害……〃
勞働黨內閣の五ケ年計畫……〃
ペタン公判辯論……〃
ユーゴ農業改革法案通過……〃
P80「流星」の詳細……二二六九
英の新型軍用機……二二七〇
レーダーを戰後航海に利用……〃
【特　輯】
ペタン公判（三）……二二七一
亞、樞軸商社資產賣立て
（リスボン十三日發）ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン政府は十一日樞軸國所有の十三商社の最後的淸算を開始、商工省は右十三商社の不動產の賣立てを十三日から行ふ旨發表した、商社資金合計は百二十三萬五千七百五十弗、資產總額は二百七十二萬二千弗に達するといはれる

外蒙も對日宣戰

（ストツクホルム十三日發）モスクワ來電によればソ聯邦の傀儡たる蒙古人民共和國は十日對日宣戰布告を決定したといはれる

トルーマン魏道明と會談

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝トルーマン大統領は十三日ワシントン駐劄重慶大使魏道明と會談した

ド・ゴール訪米

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンはド・ゴールが來る二十二日ワシントンに到着する旨十三日發表した

英重慶大使歸國取止め

（リスボン十三日發）重慶來電によれば前週歸國のため重慶を出發した重慶駐劄英國大使ホレース・シーモアは旅行を取り止め、十三日急遽印度から歸還したといはれる

米陸海軍兵員損害

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國陸軍省並びに海軍省當局は九日開戰以來の米軍の兵員損害數を左の通り發表した

總計　一、〇六七、一七九名

内譯

陸軍　九二二、一三九名

海軍　一四五、〇四〇名

勞働黨内閣の五ケ年計畫

（ストツクホルム十三日發）ロンドン來電によれば勞働黨内閣成立後の最初の英國議會が十五日開會されるが、開院式劈頭に行はれるジョージ六世のメツセージによつて新勞働黨内閣の一般施政方針及び五ケ年計畫が明かにされる豫定である、ロイター通信の觀測によれば右メツセージは近い内に議會に上程される諸種の重要な社會主義的法案即ち

（一）英蘭銀行の國有化、國家投資局の設立

（二）採炭工業の國有化

などに關する法案の説明が行はれ、目下重要國内問題となつてゐる住宅難についても言及されるものとみられる、また緊急な五ケ年計畫に含まれてゐる他の項目としては

（一）ガス、電氣などの公共施設産業の國有化

（二）製鐵、製鋼業を含む他の重要産業の國有化

（三）尨大な社會保險制度の實施

などが擧げられてゐる

ペタン公判辯論

（チューリツヒ十二日發）パリ來電＝ペタン公判は十日檢事の死刑求刑の後十三日月曜日から被告側辯護士ペイアンの辯論に入つた、要旨左の通り

ペタンは決して恩赦は希望してゐない、元帥の首が欲しいならば何時でも奪ひ去るがよろしいペタンが扱はうと欲してゐるのは生命ではなくて名譽である、敗戰の責任はペタンにはなくて證言臺に立つてペタンを攻撃した證人たちにある、休戰後ペタンはフランス本國に踏止つたがそれは國民を保護するためであり、フランスが休戰せざるを得ない立場にあつたことは英國も承認したところである、フランスはその海軍をドイツに引渡さないといふ約束を飽くまでも守りつづけた

ユーゴ農業改革法案通過

（リスボン十三日發）ベルグラード來電＝ユーゴスラヴィア國會立法委員會は政府の提出した農業改革法案を十二日可決した、同法案は「額に汗する者のみ土地を所有し得る」といふ原則に從ひ、主として貧農を對象とした徹底したもので、これをもつてチトー政權の政治社會的性格の一斑を窺ふことが出來る、骨子次の通り

一、農民は例外なく三十五ヘクタール以上の土地を所有することが出來ない

一、土地を耕作する農民で三十五ヘクタール以上の土地を有するものは、剩余の沒收された土地に對して補償を受ける

一、不在地主は五ヘクタールを殘して爾余を補償なしで悉く沒收される

一、以上の規定は教會、修道院の所領及び信託金所領土地にも適用される

一、國家は試驗農場及び家畜、種子栽培用として若干の土地を所有する

P80「流星」の詳細

(リスボン十二日發)ワシントン來電=米國航空本部發表

「流星」(シューティング・スター)の速度は八百八十五粁時以上、實用上昇限度一萬三千五百米以上、武裝は一二・七粍機銃六挺である、翼幅一二米、高さは僅か三・四五米に過ぎない、全長は一〇・五米、構造重量は三千六百五十瓲である、ロツキード航空機會社と陸軍航空隊技術部の協力になるこのP80は高々度における敵機攻撃並びに邀撃を目的とする金屬性低翼單葉機である

現存の航空機中では最も美しい流線型を有するといはれ、寫眞撮影裝置のために機首がとりかへられるやうになつてゐるので、高速度寫眞偵察機としても使用される、胴體は殆ど圓く、上からみれば卵形にみえるが、抵抗を生ずるものといへば吸氣孔、泡狀圓蓋等にすぎない、主翼は前緣後緣の双方において先細になつてゐる

圓蓋は主翼より前方にあるので、操縱士の視野は極めて良好だ、操縱席の前方には裝甲ガラス風防があつて周圍は鋼鐵製の裝甲板で完全に保護されてゐる、兩翼の先端には爆彈乃至落下燃料槽を懸吊するための鉤がある、機首には武裝乃至寫眞撮影裝置のほかに酸素及び無電裝置の室が設けられてゐる、胴體中央部は前方が操縱席、中央が燃料槽、後方が發動機房になつてをり、胴體後部は發動機の除去が容易なやうに簡易取外し式で中央部に接合され、そこに尾翼がある、主降着輪は翼の内部に油壓作動で折疊まれるやうになつてゐる前輪は左右四十五度まで回轉する

發動機はベルP59に使用されたものを徹底的に改良し、取外しも取換へも容易な輕量小型發動機になつてゐる、發動機の交換は二十分をもつて行はれ、冷却は空冷式である

P80の起動には煖機(ウオーミング・アップ)の必要がなく、起動から離陸までは一分とかからない、この噴射推進式ガスタービンは在來型航空發動機とは根本的に違つてゐる、即ちガスタービンの效率は速度及び高度が增すとともに增大するのだから、P80は迫撃機として特に適してゐるわけだ、出力は馬力でなく封度で表されるが、唯一の發動機調節裝置は節氣瓣で、一分當りのタービン壓縮器の回轉數を示す回轉計は主力の決定に必要な重要計器である

發動機の鑄造にはアルミニウムよりマグネシウムの方が多く用ひられてゐる結果、重量は百封度以上の節約になつてゐる、P80の發動機が同量の在來型發動機の出力に化して數倍の驅動力を示すことは注目される

△タービン發動機の原理

噴射推進式發動機の原理は次の通りである、まづタービン壓縮器を一分間一千回の速度で回轉させるのだが、この起動のための裝置としては發動機の兩側に一つづつの點火栓があるだけだ、空氣は吸氣孔から入り、壓縮され噴散器を經て環狀に並べた爆發室に入り、そこで燃料と混合する、爆發室は内部が連結してゐる點火とともに連續的に爆發する、排氣は爆發室から出てタービン輪に當り、タービン壓縮器及びその附屬裝置の運轉に必要なだけのエネルギーを取る、タービン輪の所を逼迫した排氣は排氣室に入り、胴體後部の噴出裝置に導かれる、航空機の推進力は高速噴射の反動によつて與へられるのである

P80の發動機は最初高度と燃料の問題及び火災の危險を減ずるためにケロジン油で運轉するやうになつてゐた、しかし給油系統の改良によつて現在のP80は大體效率の同じオクタン價さへあればガソリンでも運轉出來る、大規模作戰にどつちの燃料を使ふかはその時々の供給狀況によつて決定されるわけだ

「シューテイング・スター」は極めて從能性の優秀な航空機だとされてゐる、P80の出すやうな高速度においては操縱性が制限されるが、それを克服するためには補助翼を油壓で作動するやうになつてゐる、錐揉み降下は容易でないが、降下後は四分の一から二分の一の回轉で姿勢を回復することが出來る

効率を最高ならしめるために、設計にはあらゆる考慮が加へられた、たとへばP80の火砲は發射時の閃光によつて操縦士の視覺を害する事がないやうに機首の下部に裝置されてゐる、仕上げは特に顏料を燒付けワツクスを塗つて滑かにされてゐる

噴射推進式航空機の長所は枚擧に遑がない、噴射機の性能はプロペラの偏流とか、翼上面の氣流とかに妨げられることがなく、プロペラがないため離陸高度が少く、降着裝置が輕く、地上の取扱ひが樂で、側に近寄るにも具合がよい、燃燒が可成完全だから一酸化炭素の危險もなく、普通の航空機に比べれば操縦士の扱ふ操縦裝置や計器の數も少くなつてゐる

またP80は高々度用であるため操縦室が過壓式になつてゐる、しかしながら空中戰になつて、機銃の安全裝置を外すと同時に、自動的に室内の氣壓が低くなる、彈丸が圓蓋を貫いた場合に急激な氣壓低下により操縦士の體に害を及ぼすことを防ぐためだ、そこで一種の空氣調節裝置があつて適當な溫度の空氣を適當量供給するやうになつてゐるのである

英の新型軍用機

（リスボン十二日發）最近發表された英空軍の成層圈戰鬪機「ウエルキン」その他數種の新型機の性能は左の通り

◎ウエストランド「ウエルキン」戰鬪機

同機は高々度用單座戰鬪機で、ロールスロイス「マーリン」發動機二基を備へてゐる、右側の發動機はロールスロイス「マーリン」七二型若くは七八型、左側は同じく七三型若くは七七型である何れの場合も左側發動機は座席加壓機を動かすやうになつてゐる、武裝としては機首に二十耗砲四門を有し、荷重々量は一萬七千五百封度である、最高速度は一時間三百八十五哩、抗續距離は約一千五百哩に達する、翼幅は單座戰鬪機としては著しく長く七十呎に及んでゐるが、これは勿論高々度で行動するためである、翼面積は四百六十平方呎操縦席は加壓室内にある、同機は未だ極く少數しか建造されて居らず、戰鬪には參加してゐない

◎ショート「サンダーランド」五型爆撃機

同機はプラット・アンド・ウイトニーR＝一三八〇型發動機四基を備へ、爆彈の最大搭載量は二千封度である、同機は爆雷を搭載することも出來武裝は機首銃座に〇・三〇三吋ヴイツカース機關銃一門、尾部銃座に〇・三〇三吋ブラウニング機關銃四門、胴體中央の上部銃座に〇・三〇三吋ブラウニング機關銃二門がある

◎ハンドレー・ページ

「ハリファアツクス」六型重爆撃機

同機はブリストル「ハーキユリーズ」型一千八百馬力の發動機四基を備へ、爆彈の最大搭載量は一萬三千封度である、總重量は六萬八千封度、最高速度は一時間三百十二哩、航續距離は二千哩以上に達する

◎ヴイツカース・アームストロング

「ウオリツチ」五型偵察爆撃機

同機の特徴はブリストル「セントーラス」七型發動機二基を備へて居る點で、この發動機は各々二千五百馬力以上の出力を持つてゐる、爆彈の最大搭載量は六千封度で、魚雷又は爆雷を搭載することも出來る、總重量は四萬五千封度、最高速度は一時間二百九十五哩である、同機は現にマウントバツテン軍の沿岸警備隊で行動してゐる

レーダーを戰後航海に利用

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝米國海事委員長エモリー・ランドは九日次の通り發表した「海事委員會は戰後レーダーを航海の安全に利用する可能性につき研究、現在五基の新型レーダーの試驗を行はうとしてゐる、米國戰時船舶局海事訓練計畫による船員練習船には既に實驗用設備が施されてゐる、右新型レーダーは「電子航海器」と呼ばれる、他の四基も出來上り次第他の船舶にとりつけられるはずだが、この設備は從來の軍用レーダーとはいく分異り、戰後商船に利用する可能性は十分にある、船舶の遭難は濃霧或ひは暗夜における氷山または航行中の船舶との衝突が主な原因だが「電子航海器」はかかる危險の防止に大いに役立つことが期待される」

昭和二十年 八 月十五日(水)
第 三 五 一 四 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判（三）

△ブルームの證言

七月二十七日は公判五日目に入つてレオン・ブルーム、シヤルル・ルーの兩名の證言が行はれたブルームは戰前人民戰線内閣の首相で社會黨々首であり、ユダヤ人であり、ドイツの收容所から放たれて歸國したばかりである、ルーはレイノー内閣の外務省官房總長で、元のヴアチカン駐劄大使である

證人臺に立つたブルームは年齡七十三歲と告げたが案外に若々しく、ペタン政府の迫害によつて捕へられ收容所から收容所へとドイツまで連れて行かれた經過を語るときには、聲を震はせて、どこにそんな感激が殘つてゐたのかを疑はせる位であつた、ブルームの證言要旨は次の通りである

「東洋の如何なる專制君主と雖もペタンが獲得したやうな絶對權力は握つたことはない、ペタンが國民議會によつて委託された仕事はフランス共和國の諸組織、制度を修正するにあつたに拘らず、ペタンはこれを破壞し、專制權力をもつて之に代へたのである、自分はペタンの行動の眞の動機については知るところはない、ペタンが國家の破局を利用しようと初めから計畫してゐたかどうか、さういふ可能性があつたかどうかについては自分はいふことが出來ない、被告辯護士はペタンは祖國を裏切つたことなく、唯フランスのために最善を盡さうと欲したのだといふが、フランス國民はペタンが名譽にかけて言明したことによつて彼を信賴してゐたのである、この信賴を濫用したことは國民に對する裏切りである、人間には或る人物を長い間誤解してゐることがあり得る、人間自身も長い間には變化する、長い間の規律の生活から全く新しい別の分野の活動に入るとき、人間もまた別ものになることがある、これがペタンの場合だつたかも知れない

ペタンは戰爭開始四週間目、ダラディエが組織しようと努力してゐた擧國一致内閣には入閣を拒絶したのであるが、レイイー内閣には進んで入閣した

余はレイノー内閣がパリを放棄しようとした時これに反對したが、それはパリがフランスの首都であるばかりでなく、それはフランスにとつては全てであるからである、政府がボルドーに逃亡した頃、軍部の首腦部はすべての抵抗が既に無益になつたと解してゐた、彼等はフランスは抵抗のあらゆる能力、方法を失つたと考へてゐるやうであつた、その頃までレイノー内閣の大多數の閣僚は抵抗繼續の可能を信じてゐた、しかし、軍首腦部の見解が遂にこの絶對多數を破つたのである」

ブルームはここで彼の知るボルドー政府部内の抗爭、やがて、新聞紙上で休戰協定の内容を知つたときの感慨をば鼻をつまらせ乍ら說明した

「休戰協定が成立して萬事が終つたとき、自分たちはフランス本國から亡命するに決定した、政府は六月二十日ボルドーを退去することに決定してゐた、然し、余、下院議長エリオ、上院議長ジヤンヌネー等がツールーズに到着したとき、自分たちは政府が吾々の本國退去に反對と決定し、出發計畫は全部取消しになつたことを知つたのである

ペタンは余に終身懲役を宣告し、その裁判に當つては何等辯護の機會すら與へられなかつた、ペタンの判決には控訴はないのである、ダラディエはリオンの公判に立會つた判事たちに一應の讃辭を捧げてゐるが余の意見は全く違ふ、余は彼等を裏切り者とは考へないが、彼等は豫め既に罪を決定した後で余の裁判を形式的に行つたにすぎないヴイシーで上下院がペタンに全權を付與した際二つの腐敗要素があつた、その何れも恐怖に根ざしてゐた、一つはペタンの私兵であるドリオ一派に對する恐怖、いま一つはドイツに對する恐怖である、ペタンが全權を得たのちのヴイシー政府の指導性といふものは絶望的なものであつた、そして占領下のフランス國民はその赴くところを知らなかつたのである、ペタンがその名聲をば敵の手に貸し與へたことは、彼の最大の罪惡である」

△レイノー巴里放棄を釋明

ブルームの證言は以上で終つたが、ペタンは彼の證言の間中、半ば眼を閉ぢたまま、已れの頭上

に旋風を巻きつつある論難の嵐に全く無關心のやうであつた、ブルームの證言について辯護士側はボルドー最後の日、一體誰と誰とが休戰反對であり、贊成だつたかを明らかにして、ペタンの責任の一部轉嫁を企てたが、その點についてのブルームの證言は、閣外にあつただけに殆ど正鵠を得ず被告側の努力は奏效しなかつた、ここで再びレイノーが證人として引出され、何故に彼の政府はパリを死守しなかつたかを追及された、レイノーはこれに對して「當時ドイツ軍はすでにセーヌ河下流の渡河に成功してをり、パリ防衛よりも北アフリカに政府を移すことが問題だつた、同時に、世界の驚異であるパリを破壞するに忍びなかつた」と答へた、又「政府がいまだパリにゐる頃にはペタンもウエイガンも休戰が望ましいと考へてゐる等の話は耳にしたことがない」とも證言した、「北アフリカにはどうして逃がれ得ると考へてゐたか」との質問には「政府がボルドーに移つて休戰の直前にはスペインが通過を許可してくれるものと考へてゐた」旨をのべた、この日のブルームのクロス・エキザミネーションは相當の波瀾があつたらしいが詳細はいまのところ傳へられてゐない

△シヤルル・ルーの證言

シヤルル・ルーの證言が次いで行はれる、彼は一九四〇年五月ヴアチカンから召喚されて、レイノー內閣の下、ダラディエの外相の官房總長に就任した、彼の發言の焦點は大體次のやうなものであつた

「英首相チヤーチルの英佛合邦提案は、兩國を一層緊密に結合しようとの意圖に出たものであつたが、提案される前に既に否決されてゐたも同樣であつた、閣僚の一部では英佛の提携緊密化どころか、兩國國交の繼絶を希望してゐた位だつたからである

一九四〇年七月十六日の閣議は、ヒトラーからフランス領北アフリカのカサブランカ鐵道および基地をばドイツの使用に供するやう七月十二日休戰協定委員會を通じて要求があつたのを拒絶するに決したが、その後ドイツ側からの强ひての要求は行はれなかつた

獨佛休戰協定には秘密條項は無かつた、フランス海軍は休戰協定でフランスの手に殘ることになつてゐたが、英國はこれに疑念を持ち、その結果がメール・エル・ケビールのフランス艦隊砲擊事件となつたものと思はれる、英國艦隊のフランス戰艦リシユリユーに對する暴力行爲はラヴアル反英宣傳に燃料を供給する結果となつた

ボルドーの最後の閣議では英國もまたドイツにやがて休戰を申込むだらうとの判斷であつた、ヴイシー政府の外務次官の時代、フランスは英國とは正式には國交が斷絶してゐたにも拘らず、マドリードを通じて連絡をとるやうに努力してゐた、この連絡を通じて英國のフランス沿岸封鎖の緩和方についての情報をロンドンに送つた

ペタン元帥は一九四〇年、最後の瞬間に印度支那をば日本の手から救はうとして總督の更迭を行つたものと思はれる、當時前總督ジョルジュ・カトルーは日本と妥協のために交涉中だと云はれてをり、彼に代つてジヤン・ドクーが任命された

余はモントアールのヒトラー、ペタン會見後次官を辭めるに決して、當時の外相ラヴアルの許に挨拶に出掛けたが、その時ラヴアルは「英軍がフランス沿岸に上陸するやうなことは絶對にない」と云つてゐた、自分が辭めたのはラヴアル個人に對して何も含むところがあつたためではなく、只彼の政策が余の胃袋には消化出來なかつたためである、ペタンがラヴアルをその政府に入れたのは全く危險な過失であつたと思ふ」

△ペタンの疲勞加はる

ルーの證言が濟んだとき、ペタン元帥は明らかに疲勞の極に達してゐた、その證言中、數回も頭を深く胸に伏せて、辛うじて席に堪へるといつた樣子であつた、ただ無限の努力によつてのみ持ち堪へてゐるといつた恰好だつた、この日はルーに引續いて元下院議長エヅアール・エリオの證言が續行されることになつてゐたが、當人が病氣で出席不可能なことが裁判長から通告された、エリオの名を聞いたとき、ペタンは頭を上げて、中央の壁間にかかる大時計を見、そして訴へるやうな眼差しを辯護士の方に送つた、そして「一體どういふことになつたのか」と訊ねた

辯護士から今日の裁判はこれで打止めにしたいといふ希望が表明されて裁判長もこれに同意した

昭和二十年 八 月十五日(水)
第 三 五 一 四 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

法廷はいかにも暑かつた、まだ午後三時であつたが、公判第五日はこれで終つた

△公判第六日の記錄

七月二十八日は公判第六日となつた、證言臺に立つたのは、元獨佛休戰協定委員會フランス側代表としてヴイスバーデンに赴いてゐたポール・アンドレ・ドワイアン將軍、「虎」のクレマンソーの息ミセル、曾てヴイシーに近いリオンの高等法院で「敗戰責任者」レイノー、ダラデイエ、ブルーム、ガムラン以下を裁いた裁判長ピエール・カウス及び曾てパリで發行されてゐたイタリア語新聞「リタリー・ヌーヴエル」の主筆ヂオツベの祕書だつたドニーズ・プチ嬢——と云つても今は三十五歲の金髮老嬢である、先づドワイアン將軍の證言から聞かう、彼は半白、長身の偉丈夫であるが、軍服のまま出廷、年齡を六十四歲と告げ一九四〇年から四一年までヴイスバーデンに在つたことを語り、さて證言を始めた

「ラヴアルは第五部隊の切れ端し以外の何ものでもない、然し、ラヴアルのみが對獨協力政策を推進したのではなく、一九四一年冬、ラヴアルがヴイシーから一時放逐された後も、ペタン元帥はヒトラーに書面を送つてフランスの對獨協力政策には變りはない旨を言明し、自分に對しても同樣趣旨の書面をよこした

パリ駐在ドイツ軍政長官シユツルプナーゲルは余の先祖は七代に亘つてフランスと戰爭をした、自分の代をもつてフランスとの戰爭は最後としなくてはならぬと余に語つたことがある

ロンメルがキレナイカで攻勢を開始したとき、フランスがチユニジア、アルジエリアに有する凡ゆる砲、彈藥をドイツ軍に提供し、之をトリポリタニアに輸送することを要求して來た、ヴイシー政府はその旨を當時北アフリカ總督だつたウエイガン將軍に通告したが、ウエイガン將軍及びその部下の將校は、その命令を忠實に履行せず、その結果としてヴイシーの命令は無效になつてしまつた、フランス側の最初の貨物自動車が漸くトリポリタニアに到着したときには、ロンメルはも早、それ等の武器彈藥の使用不可能になつてゐた

余は約三十頁に上る覺書をヴイシー政府に送りドイツの馬に賭けることは負け馬に賭けることであり、フランスにとつては破壞を意味する、フランスは米英兩國に賴るべきだといふことを切言したことがある、ペタンは余と同意見であつたが、選擇の自由を有したペタンが選んだものは結局、間違つた路の方であつた」

△「虎」の子の證言

順序が少々逆になつたが、ドワイヤン將軍の前にジヨルジユ・クレマンソーの悴ミセル・クレマンソーの證言があつたのが、どうも正しい順であつたらしい、ミセルは次の如く語つてゐる

「マンデル、レイノー等をドイツ側に引渡したのはペタンの責任である、自分の父が生きてゐたならば、ペタンの胸にピストルを打ち込むのは、父が第一番だつたに違ひない、ペタンを元帥にしてやつたのは父である、いま生きてゐたら非常に後悔したに相違ない、自分は一九四〇年、ペタンに手紙を書いて、ヴイシー政府が父クレマンソーの名前を利用することを斷つた、後一度、自分はヴイシーにペタンに面會のため出掛けたことがあるがその節、ペタン付武官は「元帥は側近の者を誰一人信用してゐないし、自分の周圍で何が起つてゐるか何も興味を持つてゐない樣だ」と余に語つてゐた、武官は自分に自由地帶で(ドイツ軍の非占領地區)何が起りつつあるか說明してやつてほしいと希望した、自分はそこで、ペタンの側近の者の口からは云ひにくい色々なことをペタンに話した、ペタンは自分は渴しても盜泉の水は飮まぬ——ジユ・ヌ・セール・ドウ・マンジヨアル、二つの秣槽は使はないと答へた」

ミセルが如何なる資格で證言臺に立つたか明かでないが、彼の證言が終つたとき、裁判長はまたもペタンに口を開かせるべく「被告はミセル・クレマンソーの證言にたいしてなん等いふことはないか」と訊ねた、ペタンは辯護士に向つて「答へる意志はない」と答へ、辯護士はその答辯を裁判長に取次ぎながら「この公判には餘りにも意外事が多すぎる、も一度繰返して申上げておくが、ペタン元帥はこの公判廷では答辯することを欲してゐない」

と付け加へた

△カウス判事の飛入證言

ミセル・ドワイアンの證言が濟んで、レイノーが再び喚問され質問をうけたが、レイノーが「一九四十年ペタンはフランスに二百臺の飛行機があつたならば何事も怖れるには足りないのだが……」との感慨を洩したことを曝露すると全法廷には一時に笑ひが爆發した、レイノーの今日の證言は再びペタンのゾーメルグ内閣陸相時代の軍備怠業問題に溯り、ペタンが軍事豫算の膨脹と北部ベルギー國境にマジノ線を延長することに反對した經緯を說明し、ペタンは反對の理由として「フランスはベルギーを見殺しにすることを暗々裡に知らせるためだ」といつた旨を語つた、なほレイノーはウエイガンはマジノ線延長計畫に贊成だつたが、先輩のペタンの主張が遂にとほつたのだとも述べてゐる、レイノーの質問が終つたとき、意外の證人として滿場總立ちの内に入場したのは、かつてリオンの高等法院で裁判長としてレイノー、ガムラン以下の「敗戰責任者」を糾彈したカウス判事だつた、カウスは先づ前日の法廷で、カウス以下のリオン裁判の法官連がペタンは忠誠を誓つたと證言したブルームの證言に對する反駁から始めた

「ブルームの證言はフランスの司法官の面上に泥を塗るものである、自分一人を除いて以外、リオン法廷の法官の内誰一人ペタン個人に忠誠を誓つたものはゐない、リオン法廷はその決定について全く自由の立場におかれてゐた、吾々は當時の被告の一人たりとも斷罪しなかつたことを全世界に向つて公言する、余はペタンに對して、フランスの最高法廷を除いて以外何人にも、調印された如何なる平和條約に關しても、フランスに戰爭責任があると宣言し得る權能はない旨を告げた、ペタンは余に向つて「別の考へ方はないものであらうか」とその節に答へた

この時檢事モルネーはするどく「然し、リオンの公判がペタンによつて命令された事實には變りはない」とカウスに一矢をむくいた、それに應じて立つたイゾルニ辯護士はカウスに對して「リオン公判の當時、モルネー檢事もその公判に參與するやうに要請されたといふ噂があるかどうか」と皮肉な質問を試みたが、モルネーは證人の發言も待たず席を蹴つて起立し、イゾルニを睨めつけながら、滿面朱をそそいで「その質問は爲めにする陷し穴だ、自分はリオンの法官になるくらゐなら强制收容所に行く」と絶叫した

△綠中の紅一點證言

この日最後の證言に立つたのは卅五歲、金髮のパリ美人ドニーズ・プチである、彼女の證言要旨「自分が一九三五年から一九四一年まで祕書をつとめてゐたイタリア語新聞「新らしいイタリア」の主筆ヂオツベは、イタリアのアベツツだつた、（オツト・アベツツは大戰勃發當時の獨佛協會の會長で後に駐佛大使となつたドイツのパリにおける第五部隊である）ヂオツベは大戰前からラヴアルと親交があつた、ラヴアルの背後には軍部の最高首腦部の人間、參謀本部の將校、一部の上下兩院議員などがあつた、ラヴアルはイタリア、スペインと密接に結付いた一種の獨裁の樹立を企ててゐた、それを實現するためには一九三九年の統領改選期に當時の大統領ルブランをクーデタによらずして放逐し、已れの傀儡であるフェルナン・ブイツソンをもつて代へる計畫だつた、自分がこの陰謀に氣づいたのは週刊「グランゴアル」誌上に漫畫家カジョンの筆でペタンの漫畫がのせられ、その說明に「昨日の偉大な兵隊、今日の偉大な大使、さて明日は……」と書いてあつたのを讀んだときである、その後自分はペタンがラヴアル一派の少數政客によつて看板にされてゐることを確信するに至つた」

ペタンの辯護士はプチの證言に對して「證人はイタリア語新聞に働いてゐた他、ドイツ語新聞の「パリザー・ツアイツング」にもユダヤ人の通信社にも働き色々な記事をかいてゐるが、一體、それは何を意味するか」と突込んだ、プチは「自分は觀察してゐたのである、ドイツ人の事務所に働いてはゐたが、自分はド・ゴール派の抗戰運動の積極的なメンバーだつた」と苦しい回答をした

ペタン公判第一週はプチの證言で終り、月曜日再開のことになつたが、その間に何事が起つたか參與するやうに要請されたといふ噂があるかどう

（井上　勇）

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正大郎　東京都芝區愛宕町四丁目一番地　社團法人同盟通信社

昭和二十年八　月十六日(木)
第三五一五號

同盟通信　海外電報　(189)



【目　次】

「原子爆彈」を發表……二二七六
アトレー聲明……〃
【英　帝　國】
在外資産六十五億磅を喪失……二二七七
濠洲の戰費……〃
【米　國】
對外經濟政策改訂か……〃
社會保障法實績……〃
輸出許可證優先發給……〃
陸軍兵力削減し得ず……〃
貸與法で重慶技師を教育……二二七八
【歐　洲】
流民救濟の途……〃
【資　料】
米國の勞働問題……二二七九
英勞働黨內閣と米財界……二二八二

原子爆彈の實驗

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝七月十六日ニューメキシコ州荒蕪地で濠雨中實施された原子爆彈第二回試驗に關し米國陸軍省は七日大要つぎの通り發表した

「七月十四日全計畫の成否を決定すべき一團は鐵の塔の上層にのぼつた、其の日と次の日には終日準備が續けられた、爆裂を誘導するに必要な裝置爆彈の總ての效果作用を判定すべき完全な裝置を鐵塔上に備へつけた、至近觀測所は鐵塔の南方約一萬碼の地點に木材と土壤で築造され、其の中には試驗に要する調整裝置が備へられた

塔から一萬七千碼の地點、觀測に最も便利な地點には原子爆彈計畫關係の主要人物などが席を占めた、時限信號は「マイナス二十分、マイナス十五分」と進行し試驗員等の緊張が增して行つた、「マイナス四十四秒」に達した時ロボツト裝置が操作を開始し、そしてその瞬間から複雜な全機構が人間の支配なしに動いたのである、一定時限に達すると目も眩むばかりの閃光が發せられた、觀測所から三哩離れた山脈はくつきりと空に浮び出た、そのとき絶大な繼續的な唸り音が聞え、重壓の波が襲ひ來つた、このために至近觀測所（鐵の塔から一萬碼離れた）の外にゐた二人の男が打倒されたのである

その直後多彩な巨大な雲が立ちのぼり、四萬呎以上の上空にまで達して消えた、試驗は終了し、計畫の成功が實證された、鐵の塔の立つてゐた所には大傾斜のある火山口に似たものが出來上つてゐた、科學者達は其の試驗の成功に瞠目したが、同時に胸をなで下し、直ちに新しい米國の武器の偉力査定を初めた、大穴の性質を觀測するために特別裝置を施した裝甲車が上記の大傾斜地帶に進んで行つた」

投彈九日前に前線輸送

（ストツクホルム十四日發）ワシントン來電＝米陸軍當局は原子爆彈に關し左の事實を明かにした

「原子爆彈使用計畫の指揮者は少將レスリー・グローヴスであり、廣島に投下された最初の原子爆彈の前線向け引き渡し及び取扱ひを監督したのは代將トーマス・ファーレルであつた、ファーレルは爆彈が廣島に投下される僅か九日前即ち七月二十七日にワシントンを出發、空路太平洋の小島嶼に向つた、同地でファーレルは航空隊當局者と最後的打合せを行ひ、航空隊當局は原子爆彈を日本上空まで運ぶ特別搭乘員を準備した、ファーレルは去る二月原子爆彈投彈計畫に參加する前は支那ビルマ、印度で一ケ年以上建設工事の技師長を勤めてゐた」

「原子爆彈」を發表

―トルーマン聲明―

（リスボン十五日發）白亜館當局は六日原子爆彈に關する大統領トルーマンの聲明を發表したが、その内容次の通り

米國の一航空機は日本の重要軍事基地廣島に一個の爆彈を投下した、この爆彈はTNT二萬噸よりも更に强力であり、戰史上最大の爆彈たる英國の「グランド・スラム」の二千倍以上の爆破力を有する、それは原子爆彈である、これは宇宙の根本的な力を驅使したもので、今や太陽の力の源泉となる勢力が放出されたのである、一九三〇年まで原子力の放出が可能だといふことは科學者の齊しく認めるところであつたが、何人もそれを行ふべき何等の實際的方法をも知らなかつた

一九四二年までは我々はドイツ人が原子エネルギーを猛烈に研究してゐたことを知つてゐたが、彼らは失敗した、眞珠灣事件に先立ち一九四〇年に結ばれた米英協定の結果、原子爆彈の研究が開始された、米英兩國の科學者が共に研究を行ひつつ我々はドイツに對する發見の競爭に入つた、實驗所や生産工場は敵の爆撃からは遠く離れてゐるべきであつたが、當時英國は絶えず空襲に曝され依然侵攻の可能性に脅かされてゐたのである、以上の理由からしてチャーチル首相並びにルーズヴエルト大統領は計畫を米國内において實行することが賢明であるといふことに一致した、現在では我々は原子爆彈生産のため二つの大工場と多くの比較的小さな工場とを有する、最も建設事業が盛んだつた當時には從業員の數は十二萬五千名を數へ、現在においても工場の作業に從事してゐるものは六萬五千名を超えてゐる、しかし彼等は莫大な原料が持ち込まれるを見ながら工場から出てゆくものを全然見なかつた、この爆藥の物質的な大きさは極めて小さいからである、爆藥の發見までには二十億弗を費した、だが最大の奇蹟はその企業の規模でも、その秘密でも、その費用でもなく科學の各方面における多くの人々の有する飽くまで複雜な知識の斷片を打つて一丸として立派な工場とした科學者の頭腦の業績である、しかもこれに劣らず奇蹟的であつたのは末だかつて行はれたことのないことをするため機械及び方法を設計した工業能力とそれを操作した勞働能力であつて、多くの人々の頭腦の産物が物質的な形態をとり、想像されてゐた通りのことを行つたといふ事實である

科學並びに工業は米國陸軍の指導の下に仕事を進め、その指導は知識の前進における斯くも多種多様な問題を驚くべき短期間に處理することに著しい成功を收めたのである、既になされたことは組織化された科學における史上最大の成功であり高壓の下になされたにもかかはらず失敗することなく行はれた、本計畫の總ての面に關係してゐた陸軍長官は近く詳細な聲明を公表する筈で、彼の聲明はテネシー州ノツクスヴイル近郊オーグリツヂ及びワシントン州パスコ近郊のリツチランドにある基地及びニユー・メキシコ州サンタ・フエ近郊の一施設に關する諸事實を明かにするであらうわれわれが原子エネルギーを放出し得るといふ事實は自然諸力に對する人間の理解に一新世紀を劃したものであらう

原子エネルギーは現在石炭、石油、水の落下等から得られてゐる力を捕捉するだらうが、現在のところかうしたものと商業的に競ひ得る基礎の上に製造することは出來ない、さうなるまでには長期間に亘る熱心な研究が必要である、從來科學的知識を世界に對して匿すことはこの國の科學者の慣習でなくわが政府の政策でもなかつた、從つて原子エネルギーの研究に關する一切はそのまま發表されるであらう、但し現在の狀況の下において總ての軍用製品の專門的製造法を明かにする意圖はない、われわれ自身及び世界の他の部分を突然の破滅の危險から護り得ると思はれる方法がさらに研究されるまでは發表しない

アトレー聲明

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝英國首相アトレーは十二日次の聲明を發表した

一週間前原子爆彈を初めて使用した日に余が聲明を發表して以來、この新發明の大にして恐るべき效果は明瞭となるに至つた、聯合國の最後の敵は降伏を申し入れ來つた、我々はこの發見が將來平和愛好諸國の平和に貢獻し、全世界に測り知れぬ破局を捲き起すかはりに世界繁榮の恒久的源泉となることを心から祈る

昭和二十年八月十六日(木)
第三五一五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

在外資産六十五億磅を喪失

(チューリツヒ十一日發)「エコノミスト」誌によればイギリスが戰爭により直接的及び間接的に蒙つた在外國家財産上の損失は復員並びに再轉換期現在で凡そ左の如きものである

破壞乃至は費消された戰前の財産	二十億磅
既に生じた磅資金債務	三十億磅
過渡期における國際收支不足額	十五億磅
以上合計	六十五億磅

濠洲の戰費

(リスボン十三日發)メルボルン放送によれば濠洲の戰費は去る七月三十一日迄で七十四億弗に達したといはれる、又開戰當時濠洲の公債は三十三億弗餘であつたが現在の公債額は約この二倍に達し一方在外資産は開戰當時一億七千八百萬弗であつたのが四億七千五百萬弗になつてゐるといはれる

【米國】

對外經濟政策改訂か

(チューリツヒ十三日發)ニューヨーク來電=米國各方面では英國勞働黨の勝利に鑑み、米國としてもその外交經濟政策の新方向を決定する必要がありはしないかと眞劍に論議されてゐる、「ニューヨーク・タイムズ」紙ワシントン電も勞働黨內閣の成立により米國の政策修正は避けられないところだと示唆したが、同紙がかかる事實を報道したのは今回が最初である、同紙特派員が米國の保守的な國際主義者の主流とみなされるハル、バルーチ、ジェシー・ジョンズその他に質問したところ、彼等はいづれも「勞働黨內閣の社會主義的な國有化政策は英國にとり差引結局損だ」と語つてをり、このため米國の政策修正必至と觀測したわけである、彼等によると新首相アトレーは米國から金を借入れることだけしか念頭に入れないだらうが、米國は米英兩國間の良き理解促進に役立つやうなら援助を英國に與へることは勿論だが勞働黨の政策により英國の經濟道德が損はれないやう英政府との了解を確立すべきである、なほバルーチは英國選擧直前つぎの通り言明してゐる

聯合國間に取極められたすべての金融經濟協定に留保條項をつけることが必要だ、けだし各國が自由企業制度を繼續するかどうか解らないからであつて、うつかりすると國有化などのために各國に金を貸してやるやうなことになる

社會保障法實績

(リスボン十三日發)ワシントン來電=社會保障局は十一日、一九三五年に社會保障法が成立して以來十年間の保險金援護金支出總額が約八十七億五千萬弗となつた旨發表した內譯はつぎの通り

(單位千弗)

老齡者援護金	七五〇、〇〇〇
失業補償金	二、二一八、〇〇〇
公共援護金	五、七七九、〇〇〇
合計	八、七四七、〇〇〇

輸出許可證優先發給

(リスボン十三日發)ワシントン來電=外國經濟院は十日、歸還兵にして外國貿易に從事する者に對しては、輸出許可證の發給に當り優先的取扱ひをなす旨發表した

陸軍兵力削減し得ず

(リスボン十三日發)ワシントン來電=上院議員エドウイン・ジョンソンは陸軍長官スチムソンに對する公開狀で七百萬の兵力を維持しようとする陸軍の方針を痛烈に非難したがこれに對してスチムソンはジョンソンに要旨左の通りの反駁文を送つた

余は日本の完全擊破に必要とされる米國陸軍の兵力を「一兵たりと雖も」減少することに反對する、現在における米國陸軍の公認兵力は最も急速に且つ最少の犧牲をもつて日本を擊破するため實際に必要だと陸海軍統合參謀本部が判斷した兵力なのである

貸與法で重慶技師を教育

（リスボン十三日發）十日の桑港放送は國内における重慶技師の訓練について次の通り報じてゐる「米國の戰時留學生訓練計畫は去る六月、六百十三名の支那人技術學生がワシントンに到着してから本格的な實施段階に入つた、之等學生とは、米國と重慶政權との間に結ばれた特殊貸與協定に基いて米國に派遣されることとなつた支那人技師八百六十六名の一部であつて、學生の大半は工業並びに農業の各種技術を修得する爲國内の諸施設に割當てられてゐる、訓練期間は最大限十二ケ月だが、各人の才能次第で六ケ月以内に訓練の目的を達成する者も多いものとみられる、學生各人の訓練進捗狀況については毎月ワシントンの國際訓練局本部に報告が提出される、當局は戰時訓練計畫を强力に推進する趣旨に基き、出來るだけ速かに學生の訓練を完成して彼等が歸國後米國で獲得した技術を勝利のために應用し得るやうあらゆる努力を拂つてゐる、訓練計畫の大部分を負擔してゐる政府機關は外國經濟院で他の政府機關並びに民間工業團體と緊密に協力しつつあるが、計畫の實施に先立ち國務省の國防運輸局と重慶政權の補給委員會との間に數ケ月に亘る豫備交涉が行はれた

第一回目の技術學生は六十九名で、去る二月米國に到着、うち三十六名は國防運輸局によつて鐵道諸會社に割當てられ、殘りは民間工業會社に廻された、同隊員は何れも支那の大學を卒業した技師で、少くとも二年間支那で鐵道や諸種の工業會社で働いた經驗を持つてゐる、彼等は總ての學生同樣指導能力、學的素養及び割當てられた仕事への適性等を試驗の上重慶政權當局に依て選拔された學生達である、鐵道技術の訓練計畫は全部の學生に對して實施される專門的訓練の典型であるが同計畫はその運營狀態に幾分か支那鐵道と類似したところがあるとの理由で選ばれた十二の鐵道會社において分擔實施された」

【歐　洲】

流民救濟の途

（ストツクホルム十三日發）歐洲戰爭の終結以來流民問題の解決には種々の手が打たれてゐるが、米陸軍次官ジョン・J・マクロイは次の通りの報告を發表した、米英軍の發見した流民數は約五百八十萬の多數に上り、七月二日現在に於てその內三百二十六萬は既に其の母國へ歸國濟みである、殘る二百五十三萬は聯合軍流民收容所の保護下に歸國準備中か又は國籍確認中であり、殘餘の少數流民は收容所以外に居住してゐるものとみられて居る、聯合軍最高司令部の見込によれば、歸國不可能の流民の保護を除くほかは問題は大體九月一日までに解決の豫定である

捕虜、政治犯及び人種的被迫害者及び强制勞働者を含む流民の問題は、ドイツ占領後聯合軍の直面した最も複雜且つ緊急の問題であつた、之等流民は國籍及び社會的階級が異るものだけに問題の複雜性は想像に絕したものであり、然も彼等の大多數が一刻も早く解放されて歸國を希望する者ばかりであつた、六月二十二日までに歸國せる流民の國籍別は、フランス人百二十四萬三千名餘、ロシア人百三十九萬三千名、及びベルギー人、オランダ人、イタリア人、チエコ人、ユーゴスラヴ人ルクセンブルグ人六十二萬名となつてゐる、未だ歸國せぬ流民中大多數をしめるのはロシア人であるが、之はドイツ敗北後日猶淺く主として交通關係のためと考へられる

聯合軍のドイツ占領當時、之等流民の大群は飢餓に瀕して各所を彷徨してゐる有樣であつた、占領軍は先づこれら流民の間の治安維持にあたると共に、藥品、衣料、食料、住居の提供をなさねばならなかつた、ついで彼らの國籍の認定、歸國準備をしてやる事、福利施設、娛樂機關の設置等も聯合軍の仕事の一であつた

ドイツの收容所に收容されて居たものは飢餓と苦惱のため身心ともに極端な疲勞狀態にあるのが大多數であつた、これら流民の保護のために病院施設が設けられ、特別仕立の列車、トラツク等で赤十字による救援の手も差しのべられることになつてゐる、又流民の待遇については特に優先的考慮が拂はれ、資材其他の許す限り生活水準の向上も計る筈である、今年夏の終りまでにはアンラは流民問題處理の陣容を完全に整へるが、本問題はゆくゆくは各國間に設置さるべき特別委員會の手に移される筈である

昭和二十年 八 月十六日(木)
第 三 五 一 五 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

米國の勞働問題

既にその片足を戰後の時代にふみ入れた米國に直面する數々の問題の裡、勞働問題がその最も重要且つ困難な問題となつてゐる事はしばしば指摘される所であり、また最近米國からの諸情報もこれを雄辯に物語つてゐる、左に紹介するのは、米國一流の新聞評論家の發表したこの戰後勞働問題に關する二つの論文である(木下)

• • •

△「戰後勞働問題」

「ニューヨーク・タイムズ」紙
七 月 十 四 日
アーサー・クロツク執筆

巡洋艦オーガスタ號はポツダム會談に出席する大統領トルーマンを乘せて、アムステルダムに向つたが、そのあとに國内に於る勞働問題といふ泡だつ航跡を殘した、現在の總る情勢を眺めてみても、トルーマンが米國に歸つて來る前に、勞働問題の全面的解決はおろか、對日戰が終る迄の過渡期に於ける暫定的解決さへ得られる樣な兆候は一つとして見當らない、從つてトルーマンは歐洲から歸國後、彼の解決しなければならぬ根本問題の一つとしてこの勞働問題と取組まねばならないが時恰もトルーマンの「白堊館の蜜月」(新大統領就任後暫くは米國政界は敵味方とも新大統領に對する積極的攻撃の如きは差控へて、彼の政策實行を靜觀するのを常とする、いはば米國政界の新大統領に對する仁義だが、この期間就任後大體百日間を白堊館の蜜月と呼ぶ)の時代が終るのである

米國の直面する勞働問題を手に負へない程複雜困難な問題にしてゐる諸要素をあげれば、政黨の政略、勞働組合の政略、政府の勞働紛爭處理機關の弱體、勞働指導者層の分裂並びにこれに伴ふ指導力の弱化、組織勞働者内部に於る分裂、抗爭、戰爭中未曾有の額に上る「自宅持歸り收入」を得てゐた勞働者の再轉換に伴ふ收入の激減にたいする恐怖等々がある、勞働者達はさらに政治家が勞働者のかかる減收に應ずるため物價引下げ政策の如きは敢てしないだらうと惧れ、從つて勞働團體は勞働契約の終る毎に賃銀引上げ要求を行つてゐる、かかる勞働者の賃銀引上げ運動はインフレ抑制政策を益々困難ならしめてゐるが、結局勞働者達は經濟組織を一種の盲探し袋とみたて、勞働階級がその分前を得る爲にはその他の階級に屬する市民は閉め出しをくはされても構はないとしてゐるのだ

△勞働階級の政治勢力

勞働階級のかかる態度を招來した原因には色々ある、これら原因のうちまづ最大のものとして擧ぐべきは故大統領ルーズヴェルトの勞働政策が勞働階級を一つの特權的經濟勢力としたことでありこのことは彼が第三期及び第四期大統領出馬戰において勞働階級の壓倒的支持を受け、その當選の重大因子をなした事に依て裏書されてゐる、ただルーズヴェルトの勞働政策といつても、之を今から顧みる時は「勞働政策」といひ得るやうな終始一貫した政策はなかつた、卽ち勞働問題が發生する度に、これに應ずるために次々ととられたのが彼の勞働政策であつて、しかも殆どあらゆる場合においてあの手この手といふ具合に勞働者の要求が貫徹された、例へばワグナー勞働法は犧牲を資本家のみに負はせ、同法によるあらゆる利益は勞働階級の得るところとなつた、さらにルーズヴェルト時代に創設された多くの勞働關係政府機關を擔當した大部分の人々はいづれも勞働階級に同情的な立場をとる者だつた

戰爭による非常事態が愈々重大化するに至るやルーズヴェルトは勞資双方の指導者達をワシントンに招致して勞資會談を開催した、この會談の結果、ルーズヴェルトの所謂「協定」なるものができ上つたが、之が眞の意味の協定でなく、資本家側に押しつけられたものであつた事は、資本家側が戰時におけるクローズド・ショップ制の維持を最後まで受諾しなかつたにも拘らず、ルーズヴェルトが無理押しで之に關する箇條を右の協定内に書きこんだ事でも解る、ルーズヴェルトはこの協定の條件を發表した後、勞資會談を一先づ打切りとしたのでこの問題は將來の解決に委ねられた

ただインフレが擴大するに伴ひ「小鐵鋼樣式」が採擇されて、勞働者の賃金にたいしても抑制が加へられるに至つた、しかしこれは過去の經驗に

基き賃金統制を物價管理法中に包含せしむべきだとの要請をルーズヴエルトが拒否した結果遲ればせながら採用されたものである、然るにジョン・ルイスが政府當局を尻目に色々な方法でこの小鐵鋼様式の適用を不可能ならしめるに至り、戰時勞働局の聲威は急速に減退、さらにその他の勞働指導者達も相次いでルイスの例に倣ふやうになつた

△罷業彈壓法

議會はかかる情勢に鑑み、勞資の均衡を回復すべく努力したが、その都度政府機關の妨害に遭つて無爲に終つた、しかし遂にスミス・コナリー法をもつて知られる罷業彈壓法を可決、これはルーズヴエルトによつて一旦拒否されたが、議會の拒否權乘り切りによつて同法は成立した、しかしながら、同法には一定の條件の下において勞働階級の「戰時無罷業誓約」にも拘らず罷業を行ふべきか否か爭議勞働者の意向を訊すため、政府は勞働者の投票を求めなければならぬとの一項があつたこれは勿論、政府が勞働爭議の調停を行ふに際し參考資料を得るための規定ではあつたが、勞働團體はこの規定をもつて、「無罷業誓約」を放棄する權利が正式に認められたのだと見做し、かれ等はこの見解に從つてしばしば右の規定を利用したあれやこれやによつて、勞働階級の無罷業誓約は次第にその影を薄くし、この傾向は歐洲戰の終了とともにますます顯著となつてきた

かくて、情勢は勞資双方にとり公正な勞働政策を樹立しようとする如何なる正直にして建設的な努力も、ただちに勞働階級によつて眞向から彈劾されるといふやうな段階にまで達した、この最近の適例はハツチ、パートン、ボール三上院議員による愼重な研究の結果作成された勞働爭議解決案であり、これにたいして產業別組織會議長フイリツプ・マレー、米國勞働總同盟會長ウイリアム・グリーンの兩名はただちに猛烈な非難を加へたがこれによつてみるとこの國家的問題たる勞働問題の建設的解決にたいして、現在のところ勞働階級からは何等の援助をも期待し得ないことが明らかである

△トルーマンの勞働政策

トルーマンが上院議員時代に勞働階級の非合法的要求あるひは勞働組合ないしその指導者達の無責任な行動によつて招來された罷業によつて、軍需生產が妨害されるのにたいして同情ある態度を示さなかつたことは事實である、しかし、全般的にみて、トルーマンはルーズヴエルトの勞働者偏重政策に反對するやうな行動はとらなかつた、特にかれは一九四三年に鐵道從業員の賃金要求を全的に承認すべきことを勸告した決議案を上院に提出したが、これは當時の物價管理局長官フレッド・ヴインソンによつて、小鐵鋼様式に違反するとの焙印をおされた程のものだつた、この決議案は上院を通過したが、下院において葬りさられた、かくてトルーマンの過去の經歷からみるも、かれがその前任者の地盤の强力な一部をなしたこの勞働階級といふ政治的勢力に大きな影響を與へるやうな勞資均衡政策をとるだらうといふやうな望みはまづもつことができまい

以上述べた狀態の眞相並びにこれの招來した結果を要約すれば次の通り

（一）安定政策にかぢりつかんとする戰時勞働局のけちけちした讓歩、勞働契約の解釋の相違から發生する勞働爭議調停機關の缺除、勞働組合の統制力の缺除、たとへば勞働契約中に調停の規定があるにも拘らず、勞働者がこれを無視して罷業にでるやうな場合、勞働組合內部の政治的懸引、たとへば現在のグツドイヤー社の爭議のごときはその適例で、同社の地域組合支部長はそれより地位の高い國際組合長の職をねらひ、資本家から尊敬を受け、且つ罷業を認めない現國際組合長の追出しを策して爭議を起してゐる、勞働組合幹部の組合員壓迫、これがため組合員は罷業に反對の場合にも戰時勞働局にたいしては罷業に贊成であるかの意志表示を行ふ、戰時勞働局の裁決の遷延、戰時の必要といふ理由で陸海軍による罷業工場の接收、戰時勞働局は罷業を續行せしめ、勞働者をして罷業に疲れさせようとしてゐるにも拘らず、陸海軍の接收によつてこれは不可能となり、しかも接收の場合その要求を貫徹するのは大體勞働者側である

（二）勞働組合指導者層のかれ等がもし組合規定

昭和二十年 八 月十六日(木)
第 三 五 一 五 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

忠實でない組合員を引締めようとすれば、組合員は他の對抗的な勞働組合に走りさつてしまふのではないかとの恐怖、之が勞働組合内部の相剋、分裂の好適例である、多くの勞働者の不滿に適當な解決を與へずに之が累積するままに任せておく資本家の態度、勞働階級の傲岸な侵略的態度、例へば勞働組合はその規定に依て言論界の態度を律せんとしてゐるが、言論界がそれ自身の組織の規定に依て勞働階級を縛らんとするのが不健全である如く勞働階級の斯る態度も間違つてゐる、資本家が、現在の政府請負事業から再び戰前の競爭的事業に復歸する場合、現在の寛容な戰時賃銀政策、(之も結局は一般納稅者の負擔によるものであるが)逆轉するやうになるのではあるまいかといふ勞働者の恐怖

かかる狀態を是正するために多くの解決策が提案されてゐる、しかしそのうちで特にあぐべきはトルーマンが三國會談から歸國次第、新たな勞資會談を召集して一層公正な勞働慣習、終始一貫した勞働政策、さらに能率的な調停機關等を設置すべきだとの提案である、しかしながら、各政黨は一九四六年の中間選擧、一九四八年の大統領選擧に備へて、できるだけ勞働階級の御機嫌を損じまいと懸命になつてをり、勞働問題の公正な解決の前途には暗雲のみが低迷してゐる

△「女子勞働者問題」

「ワシントン・ポスト」紙七月十八日 マルヴィア・リンゼー執筆

女子勞働者で戰後も現在の職場にとどまらうとする者が次第に增加してゐるといふ報を聞いて、出征將兵達が不安な氣持に襲はれるのは尤もな事だ、勞働省女子局の豫備的調査によれば、現在軍需產業に從事してゐる女子勞働者の中、その少くとも四分の三迄が對日戰終了後も仕事を續けようとしてゐる事が示されてゐる、然し乍ら、之等女子勞働者の壓倒的多數は自分自分は勿論、屢々自分以外の人々のめんだうを見なければならぬのであり、之に加へて、多くの女性はその夫あるひは家庭の財政狀態が平和の社會に落着くのを見屆ける迄に限つて、勞働を續けようとしてゐるのだただ機械が家事の機能を漸次代行せんとしつつある今日、家庭外で働かんとする女子の數が次第に增加してゆくことは不可避である、しかし、これは必ずしも男女間の激しい鬪爭を意味しない、事實はこれに反し、米國内においては今や男女の經濟關係の全般的調整が進行中である、この動きは、現在でも既に農業の分野ではみられるやうな男女の勞働における分擔の確立を齎すだらう

機械に依つて家庭から追出された女子は、先づ最初に男子との間に男子の地盤でといふ不利な條件の下にて競爭を展開しなければならなかつた、その爲女子勞働者が低賃銀の然も安定しない地位に甘んじなければならなかつたのは當然である、職業の種類に依ては、女子勞働者は男子勞働者の仕事を眞似しようとしてこの爲男女勞働者の對立が一層激化された、然るに、今や女子勞働者は男子と經濟的に競爭する代りに男子勞働者の補助的役割を果さんとする傾向が漸次顯著となつてきた即ち、多くの女子勞働者は彼女らにとり最も有望なのは女子の特別な能力と技術とに適應する仕事に從事する事だといふ事を發見し始めた

△勞働者問題

戰後の世界は女子に對し(所謂女子の職業分野)に於て素晴しい機會を提供する事とならう、四大產業の一たる流行關係の產業は戰後を目指して大擴充計畫をたててゐる、食糧工業も女子に對して無制限な機會を約束してゐる、亦女子勞働に適當な家具工業も建築事業の發達と共に發展しよう、之に加へて、從來女子の仕事とされてゐた敎育、社會事業、看護、公共衞生、娛樂等の事業も大いにその補充を欲してゐる、女子勞働の前には更に各種の新職業分野を提供すべく、特に電氣器具工業又精密機械製造業の如く、器用な指先の働を必要とする產業は多くの女子の最適な職場とならうかかる經濟的傾向は、女性が彼女達にも特別な能力があるのであり、この能力を社會に貢獻しなければならぬ事を自覺し始めた結果招來されたのであるが、この事は多くの科學者によつても裏書きされてゐる、この經濟的傾向は決して社會的地位や權利の喪失を意味するものではない、むしろ男女兩性間の協力關係の强化と男女の自己發表に廣い分野を與へる事を意味する、勿論、平和の到來とともに職場をめぐつては、多くの混亂とまた若干の衝突とは不可避的に發生しよう、然し、長い眼でみれば男女の經濟的協力關係が愈々强化されてゆく傾向にある事が次第に明かとならう

英勞働黨內閣と米財界

米國戰時情報局發表

米國民は英國勞働黨の壓倒的勝利を聞いて一驚を喫し、左翼的傾向が全般的に有力になるのではないかと危惧してゐるが、これはニューヨーク株式市場の相場急落に端的にあらはれてゐる、總選擧の結果はヨーロッパにおける一般的に左傾化の新たな兆候と見做され、これによつて社會主義の波は大陸外にも波及せんとするものと考へられてゐる、勞働黨勝利の心理的要因としては次の如きものが擧げられる、卽ち、英國民は戰爭中、國民の結合した戰爭努力と犧牲とによつて勝利を可能ならしめることが出來るのだと教へ込まれて來たが、歐洲戰が彼等の勝利に終つた今日では國民は戰前享受した以上の生活上の便益を與へられる權利があると考へ、それには傳統的に資本主義的傾向ある保守黨よりも勞働黨の方がいいだらうと考へたのだ、一般國民の間に幾分厭戰氣分があることは確かだが、勞働黨內閣がチヤーチルの對日戰徹底遂行計畫を變更するとは思へず、英國は從前通り全資源を擧げて自國の役割遂行に邁進するであらう

勞働黨內閣の外交政策にも大した變化があるとは思へないが、あるとすれば對米ソ關係の一層の緊密化であり、特にソ聯に對してはダーダネルス海峽問題に關する要求を支持して親ソ態度を示すものと思はれ、同時に印度に對しても從前より進步的な態度をもつて自治領の地位を賦與するのではないかとみられる、この進步的態度は更に對支關係特に戰後の香港の地位にまで及ぶであらう、また英國が國際機構を引續き支持することは既定の事實である

△經濟改革の對米影響

一大變革の豫想されるのは經濟の分野で、その結果は國際的にも多大の影響あるものと豫想される、勞働黨は國內態勢の急激な改革を約してゐるが、それは當然正常な國際自由貿易とは相容れぬものだ、アトレーの企圖する經濟改革は次の六項目から成る

一、投資の統制
一、英蘭銀行の國有化
一、石炭、鐵、鋼鐵等基礎產業の國營化
一、農業保護並びに食糧輸入統制の繼續
一、完全雇傭並びに適正賃金
一、社會保障制度の擴張

以上綜合して諸外國の競爭に對抗するための統制經濟機構を形成するが、これは國內及び帝國內において保護的にして而も積極的な經濟政策を行使することによつて初めて實現される

これ等英國經濟界の變動を米國の側から見ればそれは貿易關係の確立と國際間に最も自由な貿易を齎すべき關稅障壁の除去が困難となることを意味する、勞働黨の國內資本移動に對する統制は結局國際資本移動の統制及び通貨操作の繼續使用を齎すものであるから、ブレトン・ウツヅ協定の效果發揮如何は頗る危惧される

△ニユー・デイール方式の變更

米國の國內動向については今後英國と同樣の左翼的傾向が現れるとは考へられない、米國はすでに早くも十二年前ニユー・デイールを採用し、今日に至つた、しかも現在の米國たるや明かに右傾化の傾向にある、この點では米國は今日世界列强中の例外をなすものとも稱すべきであらう

世界の大勢から離れてゐるとはいつてもそれだけではニユー・デイールの目的を放棄しなければならぬことにはならずニユー・デイールによつて實現された利益は今後も保存して行くことにならうが、ニユー・デイールの如き性質の目的が今後新たに必要とされることがないことも確かだ、それればかりでなく國民自らが行つたニユー・デイール主義の修正と政府の人的改組に從ひ、政府のニユー・デイール方式もまたこれに適應して漸次變つて行くことにならう

米國の直面する最大の經濟的問題は、太平洋戰終了後における戰時經濟から平時經濟への急速な移行であると同時に、戰後、極度に膨脹した生產力によつて生ずる米國製品のため十分な市場を國內その他海外に獲得するといふことだ、之等の問題に對し政府は現在實的な手を打つてをらず、これがため國民の間に不安が起り、政府非難の聲は次第に昂まりつつある

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年八月十七日(金)　第三五一六號

同盟通信　海外電報　(190)

世界の焦点

スターリン議長と宋子文行政院長とのモスクワ會談は、ポツダム會談前の第一期三週間、ポツダム會談後の第二期一週間で漸く妥結し、兩國友好同盟條約の調印となつた、交渉はソ聯、中國間の關係であると同時に、東亞の全局にも刻み込んだ問題に亘つたため、如何にも難澁を極めたものである

新友好同盟條約の内容は、兩國政府の批准後發表されるといふことで、今の所不明であるが、先づ平時的な友好關係を規律するものとしては、通商航海關係に亘る取極めがあらう、ソ聯邦と中華民國とは國交關係開始以來未だ通商貿易を律する條約がなく、ソ聯政府は舊東三省とか新疆省とかの地方政權と局地的協定を締結して、過去屢々中央政府との間に悶着を起したものである、新條約により兩國の通商貿易は、新たな基礎に置かれることとならう

宋子文はモスクワで條約の調印を終へ飛行機でワシントンに向け出發するに當つて、新條約により東亞に於ける平和の基礎は確立されたとし、ソ聯と中國の關係は堅固であり、友好的だと言明したが、今迄ややもすれば兩國關係を損ふ因子となる處のあつた渝延問題は、モスクワ會談で如何に處理されたであらうか、無論條約中の一項目となるものではないが、友好關係を規律する以上、ソ聯が反重慶武裝團體を直接援助すべき可能性は除かれたことになる、これは重慶政府としては新條約の大きな副産物であるが同時に決して無代價で斯る獲物を得る筈がない、即ち少くとも延安政權の現地位、現勢力は保障されるであらう、逆に重慶政權の進歩的改組までが約束されたかも知れない、然し擧國抗日といふ標語で成立した國共合作は、既に事實上解體し反對に兩者の相剋は激化の過程にあるのだから渝延關係はソ聯中國の友好條約に關する論理的解釋外において、自由奔放に發展する可能性を藏するものである

佛軍レバノン撤收を確約

（リスボン十五日發）ベイルート來電＝レバノン外相アンリ・ファラオンは十四日下院の臨時會議において、レバノン駐劄フランス全權代表代理オストロローグ伯が去る七月二日英軍がレバノンを撤收したならばフランス軍も即時撤收すると確約した旨言明した

【目　次】

帝國政府の回答到着……二二八四
米英ソ回答を接受……〃
日本軍の戰鬪停止に關する通告……〃
聯合軍司令官にマツカーサー……〃
モスクワ市民平靜……〃
ペタンに死刑宣告……〃
ソ支友好同盟條約成立……〃
スターリン・宋第三次會談……二二八五
宋とモスクワ……〃
羅駐劄ソ聯公使決定……〃
ユーゴの戰爭損害十億弗……〃
クルツプ博士逮捕……〃
流民問題を討議……〃
チエコ新聞の政治化……二二八六
イタリアの赤化……〃
フランス名畫を沒收……〃
【特　輯】
ペタン公判（四）……二二八七

米軍占領地に獨政黨

（ストツクホルム十四日發）フランクフルト來電＝ドイツ占領米軍政當局は十三日「ポツダム宣言に基き米軍政當局は占領地域において政黨及び勞働組合を設立したいといふドイツ人の希望を承諾し、地區及び町に制限された政治活動及び集會を許可する」旨發表したが、この新法令により占領地域内で局地的な民主々義的自治が認められることになつたわけだ

帝國政府の回答到着

（リスボン十五日發）ベルリン來電によれば、米英ソ支四國を代表して米國政府より通達された文書に對する帝國政府の受諾回答は、十四日夕刻、ベルン駐劄加瀨帝國公使よりスイス外務省に手交され、スイス外務省は直ちに米國公使リーランド・ハリソンを招致してこれを傳達した、ハリソン公使はスイス時間午後九時五分本國政府に向けこれを轉電したが、その後ニューヨーク放送は帝國政府の右回答は既にワシントンに到着したと報じてゐる

米英ソ、回答を接受

（リスボン十五日發至急報）ロンドン來電＝英國首相アトレーは十四日夜半の放送において、戰爭終結に關する日本の回答を受理した旨發表した（ストツクホルム十五日發至急報）モスクワ來電＝ソヴエト政府はタス通信社を通じて、日本政府の戰爭終結に關する回答を受理した旨十五日發表した

（リスボン十五日發至急報）ワシントン來電＝米國大統領トルーマンは十四日午後七時次の聲明を發表した

余は八月十一日國務長官によつて日本政府に送られた文書に對する日本政府の回答を本日午後受理した

日本軍の戰鬪停止に關する通告

（リスボン十五日發至急報）ワシントン來電＝トルーマン大統領は十四日夜バーンズ國務長官を通じてワシントン駐劄スイス公使館に對し日本側の戰鬪停止に關する通告を送附、日本政府に傳達を依頼した、バーンズ十四日午後七時（東京時間午前八時）數分過ぎにスイス代理公使マツクス・グラツスリ氏に右通告を手交した、通告の內容次の通り

一、日本政府は日本軍による戰鬪行爲を直接且つ卽時停止せしめ、聯合軍最高司令官マツカーサー元帥に對して日本による戰鬪停止の發效時日を通告すべきこと

一、日本政府は日本軍に關する十全の情報を有し且つ正式に戰爭を終結せしめる手續きを採る全權を有する軍使を派遣すること

一、日本政府は戰爭終結の時日、場合その他の細目につきマツカーサー元帥から情報を直ちに受け得る態勢にあるべきこと

聯合軍司令官にマツカーサー

（リスボン十五日發至急報）ワシントン來電＝米國大統領トルーマンは西南太平洋米軍總司令官元帥ダグラス・マツカーサーを日本との戰爭終結に當る聯合軍司令官に任命した旨十四日發表した

モスクワ市民平靜

（ストツクホルム十五日發）モスクワ來電＝モスクワ放送局は戰爭終結の第一報を十五日午前二時（モスクワ時間）に報道し續いて勝利行進曲を放送したが、右放送に對する一般の市民の態度は平靜であつた、政府當局は目下戰爭終結を祝ふ公式祝賀式を計畫中である

ペタンに死刑宣告

（チユーリツヒ十五日發）パリ來電＝ヴイシー政府元主席ペタン元帥は十五日パリ高等法院において有罪と決定死刑を宣告され、直ちにスペイン國境ボルタレの要塞監獄に護送收容された、以前ダラディエ、レイノー等の元首相等が監禁されてゐた同じ場所である、刑の執行が果して行はれるかどうかはなほ疑問であるが、ド・ゴールはフランスの國內事情に鑑みて罪一等を減じ終身刑の恩典を與へるのではないかと思はれ、來週訪米のためパリ出發以前に何れかに決するものと解される、共產黨を始め左翼團體は强硬に死刑執行を主張してゐるが、判決文には恩赦を强く暗示してをり結局後はド・ゴール個人の意思次第で決定される

ソ支友好同盟條約成立

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電によればスターリン議長、守子文行政院長は過般來モスクワにおいてソ支兩國關係の新基調確立に關し交涉を續けた結果、遂に友好同盟條約に調印するに至つた、條約の內容は兩國政府の批准を俟つて發表される筈である、他方モスクワ發ロイター電によれば宋子文は右條約調印を終へて十五日飛行機でワシントンに向つたといはれる

昭和二十年八月十七日(金)
第三五一六號
同盟通信 海外電報 (第三類郵便物認可)

【歐　洲】

スターリン・宋第三次會談

(ストツクホルム十四日發)モスクワ來電＝スターリン議長は十四日朝モロトフ外務人民委員列席下に宋子文と長時間會談を行つた、會談は主としてソ支兩國共通の政治軍事經濟問題に關するものと解されるが、六月三十日以來續けられた兩者の會談も漸く終末に近づいた樣子である

宋とモスクワ

(リスボン八日發延着)「オヴザーヴア」紙は八日社說を以てモスクワ會談につき次の通り論じてゐる

宋子文の訪ソを機會にソ聯外交は一段と活氣づくであらう、一部ではこれをもつてソ聯の極東戰參加の前奏曲と解せんとするものさへ出てゐる、モスクワ會談のイニシアテイヴは國務省や國民黨領袖の屢押で支那がとつたもので現在の情勢からみて困難な取引にはなるまいといふ判斷の上に立つてゐるやうだ、宋は米國の經濟的外交的支持を受けてゐるし、重慶自體最近相當立場がよくなつてをり、八年間の戰爭を通じてはじめて支那側に戰爭終了の見透しがつけられるやうになつた

これに對し、ソ聯の方はその勢力が共產地區だけに限られてゐる折柄米國の最大關心が重慶に向けられるのを喜んでゐない、ソ聯の對支策は同國に統一政府が出來、これが自國に友好的となることだ、ところが國民黨領袖は共產黨側の紅軍と共產地區を自己の統制下におきつつ中央政治に關與せんとする聯立政府設置案を蹴返すに十分な鞏固な地步を有してゐると考へてゐるので、共產黨側では參政會からその代表を引上げてしまつた、かくて渝延關係は完全な暗礁に乘上げたわけだ、だから宋子文が目下のところ蔣介石から緣を切られずしてこの立場から離れ得る見込はない、この點から見てモスクワ會談は中共問題には深入りすることなく寧ろ將來におけるモスクワ重慶關係に集中されることと思ふ、當地のハツタリ屋共はソ聯の滿洲、朝鮮に對する企圖について支那側がどんなに危惧してゐるかを語つてゐる

重慶側では、ソ聯は滿鮮をソ聯の勢力範圍とする問題の解決を迫るものと見、外蒙首相チヨイ・バルサン元帥のモスクワ到着で、この問題がトツプに持出されるだらうと思はれる、大體外蒙共和國は支那の承認せざるところであり、スターリンは蒙古、滿洲、朝鮮を支那の勢力圈外に動かせる代りに、その代償として實質的な經濟援助その他を提案するものと思はれる、この提案は相當大きな誘惑ではあるが在ロンドンの支那側消息筋ではそんなことをすれば支那領土を證文付で無條件に讓つてしまふことにならうといつてゐる

大體においてモスクワ側提案はそんなものだつたらしい、彼等は蔣介石に新しい指令を仰いでゐる有樣だ

羅駐剳ソ聯公使決定

(ストツクホルム十三日發)モスクワ來電＝ソヴエト政府は過般ルーマニアとの外交關係を再開したが、ブカレスト駐剳ソ聯公使として外務人民委員部次長S・I・カフタラーゼを任命した旨十三日發表した、またモスクワ駐剳ルーマニア公使にはルーマニア科學々士院會員ヨルグ・ヨダーヌ教授が任命されてゐる

ユーゴの戰爭損害十億弗

(ストツクホルム十三日發)ベルグラード來電＝ユーゴスラヴイア政府首班チトーはユーゴの戰爭による損害が十億弗と評價された旨、十三日發表した

クルツプ博士逮捕

(ストツクホルム十四日發)BBC放送によればドイツ最大の兵器工場なるクルツプ兵器會社の最高幹部の一人であつたアルフレツト・クルツプ博士は英軍に逮捕、軟禁されたといはれる

流民問題を討議

(リスボン十三日發)ロンドン來電によればアンラの第三次大會は十二日、歸國不可能乃至歸國を欲せざる在歐流民の問題を討議したが、ソ聯側代表がかかる流民に對しアンラが救援の手を伸べる必要があると主張したのに對し、米英代表はこれに反對、二時間半に亘る討議にも拘らず意見纏らず結局物分れに終り、翌十三日この問題について更に討議を重ねるといはれる

チエコ新聞の政治化

（ストツクホルム十四日發）週刊誌「タイム」は七月二十三日號に「チエコスロヴアキア」と題して次の通り述べてゐる

「チエコスロヴアキアは常に誇りとしてきた民主主義の一條件、卽ち出版の自由を喪つた、卽ち政府の命令により、新聞は個人に所有される代りに今後は政黨、勞働組合、靑年團體その他の團體を代表することとなつたのである、尤も新聞は國家の安寧を擾さぬ限り政府並びに個人を批判する權利を持つてゐる、この新聞の政治化を法制化する仕事は、ヒトラー治下以前のチエコスロヴアキア政府部內において長い間ベネシュ大統領の懷刀であつた法相ヤロスラフ・ストランスキーが擔當した、彼が合法化した結果接收された新聞の一に彼自身の所有する「スヴオボードネ・ノヴイーニ」（自由報知）がある」

イタリアの赤化

（リスボン十四日發）「タイム」誌最近號はローマ特電として次の通り報じてゐる

米英兩國の當局者がイタリアの解放以來絕えず惧れてゐた事—組織的な共產黨の暴動—が先週遂に事實となつて現れた、南伊アンドリアの町筋を共產黨の領袖ヴインツエンゾ・デイ・ガエターオが拳銃と一對の大きなナイフとを弄び乍悠々濶歩したのである、ガエターノはイタリア共產黨のバーリ支部からアンドリアへ派遣されて來た男でしよつちう紐で吊した號笛を頸に懸けてゐる、この號笛で彼はここ數週間といふもの何回となく男六百人女五百人から成る手下の暴徒—彼の所謂武裝護衞隊—を呼び集めたのである、手に手に手榴彈や機關銃を提げたアンドリア共產黨の連中は旣に同地區の騎馬警官隊を武裝解除し、食糧輸送中の列車を襲撃して獲物を掠め去り、農夫の牛を沒收し自由黨出身のアンドリア市長を追ひ拂つて共產黨員の勞働者を後釜に据ゑ、アンドリア地區勞働組合の社會黨系指導者を放逐し、監獄を解放して囚人を共產軍の隊伍に加へた、彼等が拉致した人間はその後杳として消息不明だし、その命令に反抗した地區森林官の家族は綺麗に始末をつけられてしまつた、先週バーリの騎馬警官隊がアンドリアへ突入したとき、共產黨員との衝突で二名の警官が殺された、この時ガエターノの同僚は電話で、殘りの警官が卽刻撤退すべきこと、地區警官隊十ケ部隊の處分を同人に委ねることを要求した、一方騷擾は附近のコラート、トラーニ、バルレツタ、カノーザ・デイ・プリア等に擴つて行つた、求援電報はローマに飛び、內相兼攝で警察の首長でもある首相パーリは社會黨閣僚がエターノ・バルバレツシに「アンドリアの自治派を慰撫すべき」命令を與へて、騷擾の現場に派遣した、ところがバルバレツシがアンドリアの社會黨員に演說をしてゐる最中、共產黨の連中は地方裁判所の建物に放火した、次いで共產黨出身の金融相マウロ・スコチマーロがアンドリアに急派され、事態は平穩化したが、共產黨員は武器の引渡しを斷乎拒絕した警察當局は共產黨員が附近の洞窟を兵器庫としてゐることを知つてゐるのだが、手の出しやうがなく、武器の押收も行はれず、黨員も逮捕されず終ひであつた

このアンドリア事件はパーリの聯立內閣を分裂させ、左翼派が「暴動の原因は全くバーリ地方における農業勞働者の農奴的な生活條件にある」と言へば自由黨と基督敎民主黨の通中はロを揃へて「成程生活條件は惡い、また卽刻これを改善することも必要だ、しかしアンドリアの共產黨員が法律に從ふといふことが何よりの先決條件である」と論じてゐる、かうして彼等が互に口角泡を飛ばしてゐる一方、アンドリアではヴインツエンゾ・デイ・ガエターノが相も變らず支配を續けてゐるのである

フランス名畫を沒收

（リスボン十三日發）ローマ來電＝フイレンツエ市當局は十三日同市美術館秘藏のフランス名畫を悉く沒收した

これら名畫はかつてゲーリング元帥がルネツサンス時代のイタリア名畫を同美術館から持ち出した際交換條件として寄附したと傳へられるものでセザンヌ、ルノアール、マネーその他巨匠の傑作が含まれ時價百萬弗と評價されてゐるが、所有權が何處に歸屬するか問題となつてゐる

昭和二十年八月十七日(金)
第三五一六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判(四)

△ラヴアルの影愈々濃し

ペタン公判は八月二十八日その第一週を終つたが、公判の經過はラヴアルの影を次第に濃化してこの影の正體を明かにしない上は公判の進行も覺束ないとの印象が早くも空氣を支配し始めた、しかもスペイン政府はバルセロナ郊外モントユイクの要塞に監禁したままのラヴアルを釋放して、フランスに引渡さうとする氣配も見せぬ、二十六日ラヴアルはスペイン政府に對してパリ往復の通行安全保障をフランス側から取付けるため斡旋方を要請したが、これはフランス政府が與へる筈もなく、若し、ラヴアルがパリに赴きたいならば、自らの危險においてさうするほかはない・スペイン政府は政治犯の保護を約束した佛西條約を楯にフランス側の要求に應ずる意志は全くないと考へざるを得ない、フランスが通行安全保障を與へればラヴアルを引出すことは出來るが、これを勝手に處分することは不可能になる、このヂレンマを解決する鍵は唯一にラヴアルの自由意志あるのみだから始末は悪いわけだ、しかも檢事側の證人は口を揃へて「ヴイシーの凡てのゲームはラヴアルの手にあつた」ことを認めてゐるのでは、ペタン公判の意味さへ失ふ惧れがあるのだ、この割り切れぬ空氣の中に公判は第七回目を七月三十日開廷することになつた

△エリオの證言要旨

この日の證言の先頭に立つたのはフランス新教徒のリーダーで、戰爭中パルチザン部隊を指揮して活躍してゐた牧師マルク・ベグナーであるが、彼はペタンをヴイシーに六度訪れて、ペタン政府の政策、特にフランス國民に向つてペタン元帥に忠誠を誓はせる越權を非難した、その時ペタンは「自分は誓ひなどといふことを好まない、またユダヤ人壓迫政策は自分としては悲しむべきことであり、不正義であると考へてゐる、然し、これは戰爭が終つたときには十分償ふつもりだ」と語つた旨述べ、ペタンにやや有利な證言をしたのは意外とされた

ベグナーに續いて喚問されたのは、六月ドイツの收容所からソ聯軍によつて釋放されて歸つて以來、そのまま病床に倒れてゐたエヴアール・エリオである、三度首相の印綬を帶び、元下院議長、また急進社會黨の長老として、また生糸のリオンの萬年市長として日本人にも馴染淺からぬ人物である、エリオの證言は、檢事側からも被告側からも要求されたものではなく、裁判長の要求によつてなされたものであるが、日頃の鬪志の片鱗だになく、角刈りの白髪はいたづらに殖えて、著しく精彩を缺いたが、休戰に至るまでの經過、ヴイシー國民議會がペタンに全權を賦與した事情、エリオ自身がこの際反對投票をした理由等を詳細に說明し

休戰當時、米大統領ルーズヴエルトは既にフランスが必要とする資材の大部分をフランスに供給する確約を與へてゐた、チヤーチルとルーズヴエルトは二人のフランスの偉大なる友人であつた、これを裏切つたのが休戰協定であつた、余は英國が最後まで戰ふことを信じて疑はなかつた、フランスは英國及び米國の信賴を裏切る權利はなかつた筈であるといふのが彼の決論だつた

エリオの證言が終ると共にモルネー檢事はやをら立ち上り、檢事側の證人喚問はこれをもつて打切ると意外な聲明をした、そして、被告側で希望ならば卽刻、被告側證人の證言に入つてもよろしい旨を告げ、裁判長ボール・モンヂボーもまた、若し必要と認めれば、檢事側、被告側双方の如何なる證人の喚問にも同意する用意がある旨を告げ今日は被告ペタンより咽喉障害の旨が通告されてゐるので裁判は打切り明日に續行したいと原被双方の同意を求めその通り決定、直ちに閉廷が宣された

△公判八日に入る

エリオの證言がつづけられてゐる間、マドリード電はラヴアルが夫人同伴、自らの意志によつて

フランスに歸國を決心して飛行機でバルセロナを出發したとの情報がパリに屆いた、パリは一時に緊張した、然し、その情報を追掛けて屆いた他の情報はラヴアルの搭乘機は途中、機關の故乃のため再び出發地に引返したことを報じ、すでに各飛行場に對してラヴアル逮捕の手配ををはつてゐたフランス官憲をいたく失望させた、「ラヴアルは歸國しようとしてゐる、何時……」といふ期待のうちに一夜は明けて、三十一日公判は第八日に入つた

この日劈頭に呼び出されたのはドイツの收容所に收容されてゐた俘虜二名で一名はマルセル・ポール、他はポール・アリギと名乘つた、ポールはオーシュウイツツの集團收容所に入れられてゐたが「その收容所では數千名のフランス人が瓦斯部屋に連れ込まれ、彼等は皆ペタン政府によつてドイツに引渡されたものである、自分はビユツヘンワルドの收容所にゐたこともあるが、そこにはフランスの將官が七名ゐた、內六名は筆舌に絕する收容所內の慘めな待遇の結果死亡してしまつた、將官の三名はヴイシー政府に捕へられドイツに引渡されたものである、收容所內のすべての政治犯の人間は、ペタン及びヴイシー政府が、吾々の運命について責任があると考へてゐた」——と證言した

アリギは一九四三年に捕縛された技師でビユツヘワルドの收容所にゐた、年は五十歲であると前置きして證言を始めた

余はペタンを斷じて許さない、余はドイツ人に捕へられたのでなく自稱フランスによつて捕へられたのである、ペタンの私兵が自分を狩立てたのだ

アリギの證言はこの三行に要約出來るが、被告側辯護士は「ペタンは尙發言を拒否するものと信ずる」との理由で、ポールに對してもアリギに對しても質問を行はなかつた、このとき、ペタンは辯護士に向つて「いまの話はすでに豫審で解決してゐる」と告げた、ペタンの樣子はひどく神經質で、疲勞の色が見えて、いままでの自信を失つてしまつたかのやうに思はれた——とロイター記者は書いてゐる

△ウエイガン證言の一

ポールもアリギも裁判長の指名によつて證言に立つたものであつたが、被告側證人の第一陣を承つて、待ちに待たれた敗戰當時のフランス軍最高指揮官マクシーム・ウエイガンが愈々證言臺に立つたのはこの日だつた、ウエイガンは、捕はれて病める身をアルプスの寒村ヴアル・ド・ガースの衞戍病院に監禁されてゐたが、この證言のために特にパリに連行されたものである、將軍は平服を着て、杖にすがり、いかにも病み衰へた恰好に見えたが、ひと度發言を始めるや、戰塵の中を馳驅して、萬軍を叱咤した往年の面影を髣髴させる堂堂たる雄辯で、全法廷を壓する慨があつた、彼の鋭鋒は主として、敗戰責任者レイノーの上に集中された

「レイノーは何の權利があつて余の愛國心を問題とする資格があらうか、一九四〇年レイノーはペタン元帥と余との愛國心に信賴をおいたればこそ吾々に對して當時の任務を與へたのではないか、而して今、余等兩名の愛國心を云々してゐるのである、想起すれば一九四〇年五月十六日、余はレイノーの召喚に應じてパリに來た、その時の狀況は如何なるものであつたか、パリ全市は恐怖のどつぼに投じられて、外務省の煙突からは書類を燒却する煙が縷々立ちのぼつてゐたのである、余は自己の愛國心に基く行動について批難をうける人間の一人とならうなどとは夢にも思つてゐなかつた、何人と雖も愛國心について余に教訓を垂れる權利は有しない筈である、余はいまだ曾て政治的野心を有したことはない、余はペタン元帥に面接することもなくしてレイノーの懇請によつて最高指揮官の任に就任した、一九四〇年レイノーは獨力でもつて重責を負ふには餘りにも微力にして、余に助力を乞ひつつ、今日に至つて、レイノーが何が故に余の愛國心と名譽に對して攻擊を加へるに至つたか諒解に苦しむものである」

ウエイガンは裁判長から着席したままで證言してよろしいとの許可があつたに拘らず起立のまま證言をつづけた

昭和二十年 八 月十七日(金)
第 三 五 一 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

△ウエイガン證言の二

「チヤーチルもレイノーも余の攻撃計畫を全面的に承認したのである、レイノーは余が休戰提唱の發頭人であるかの如く述べてゐるが、余が初めて休戰の語を聞いたのは一九四〇年五月二十五日、最高軍事會議の席上レイノー内閣の一閣僚の口からである、余は當時戰闘に從事してをり、休戰など考へる暇はなかつたのである、フランス軍は裝備劣惡なるにも拘らず、可能な最後の瞬間まで戰つたのだ、ペタン元帥はフランスは戰爭を止めなければならぬと余に向つて云つたことはない、假令元帥がさう云つたにしても、余は決して同意しなかつたであらう」

一九四〇年フランスが敗れたのは兵力の不足によるものである、ベルギー軍を加へても六十一箇師不足だつた、フランス軍の最新鋭部隊はベルギーで捕虜となり、飛行機も四百臺と少しで、内戰闘機は僅か六十機であつた

余は、英國も驚て鷄のやうに首を締められるだらうなどとはいつた覺えはない、若し自分が英國の敗北を信じてゐたならば、余はフランス艦隊を休戰協定の取極め外におくことをあれほど强硬に主張はしなかつたはずである、チヤーチルは偉大な勇氣と偉大な心を持つた偉大な人物である、自分はあの當時のチヤーチルの態度に滿腔の感謝を捧げたい

フランス軍は人間の出し得る最後の一オンスまでの精力を出し切つて戰つたものである、かくて軍は敗れ去つたのであるが、それでも余は惡者よばはりをさるべきであらうか、余は斷じて承服し得ない、余は一九一八年フオツシユ元帥の參謀長としてドイツ軍に對して休戰條件を讀み聞かした人間である、その余が一九四〇年休戰を求めねばならなくなつた苦衷を諸君は想像出來るはずである、七月五日、フランスの軍事情勢は正に悲劇的であつた、ドイツ軍のエーヌ、ソンム兩河方面での攻勢は着々成功しつつあつた、わが軍は最後の血の一滴まで戰ひつつあつたが、これを支持するに十分な陸、空軍の餘力もなく、裝備もなかつたわが軍は全く絶望の戰闘を續けてゐたのである、然し善戰してゐたのである、七月六日、ドイツ機甲化軍は遂にわが線の奥深く楔を打込むに成功しセーヌ下流が脅威されるに至つた、その時以來レイノーはも早、自分と共にはゐなくなつた、彼はブルターニユに立籠ることを語り、アメリカからの支援に期待をかけ初めた

△ウエイガン證言の三

五月二十一日、余はドイツ軍の戰線を突破してベルギー王レオポルドに面會に行き、ベルギー軍の作戰指導が間違つてゐることを指摘し、その修正に同意せしめた、パリに歸つて直ちにエリゼ宮で最高軍事會議が開かれ、その席上自分の作戰計畫を詳細に說明した、その席でレイノーは、ドイツは休戰を許容するかどうか確かでない、ひと先づ政府を安全な場所に移すべきだと主張した、ルブラン大統領は、若しドイツの條件が有利だつたらフランスは承認した方がよいのではないかといつた、その時初めて余は休戰といふ言葉を耳にしたのである

六月十二日、フランス軍は極めて廣い範圍の戰線で退却しつつあつた、その日、余は政府に休戰提議をする決意をしたのである、フランス軍にはも早ドイツ軍の滲透を防止する方法がなかつたのだ、自分が計算してゐたフランスの抵抗線の最後の一線まで到達してしまつたのである、自分はこの決意を唯一に軍事的見地から、自分一人の判斷に基いてなしたものだ、余はも早これ以上抵抗のための準備された線がない時に至つて始めて休戰を主張したのである、余は自分のこの決定についてペタン元帥と何等の談合の必要を認めなかつた六月の十三日、余はレイノーに對して休戰を提議する以前にフランス艦隊は直ちに拔錨して海上に出ることが生命的な必要事であることを說いた、休戰提議後では既に遲いと信じたからである

レイノー内閣の閣僚は大部分、首相を含めて、休戰の考へには反對であつた、彼等はフランスの名譽といふことを反對の理由とした、余は彼等に

對して、名譽は自ら劍を取つて戰ひつつあるものに屬すべきで、安樂椅子に坐つてゐる傍觀者には屬さないと說いた、チヤーチル首相はツール郊外コンゼの閣議の節フランスを訪問したが、その節のチヤーチルの態度は、彼が眞にフランスの貴い友人であることを示すものであつた、六月十二日レイノーはチヤーチルを閣議の全體會議に連れて來る約束をしたが、チヤーチルは遂に閣議には顏を出さず、閣議自體も休戰に對する贊否は決定し得なかつた、レイノーはこの閣議でチヤーチル不出席の理由を十分に說明すべきであつたに拘らず何等の說明も與へなかつた、レイノーは六月十三日チヤーチルがなほツールにゐたに拘らず、フランス政府閣僚と直接連絡をとることを阻止した、そしてフランス政府は休戰する意志はないとチヤーチルに報告したのである

△ウエイガン證言の四

公判はここで四十分休憩して再びウエイガン將軍の證言をつづけることになつた

「レイノーは六月十六日、その後繼者がペタンであり、ペタンは休戰を求めるといふことを十分に知りつくした上で辭職したものである、その日フランスの名譽が如何にして救はれたかは正に一般に知らしむべき問題である、吾々と吾々の英國の友人間に生じた誤解は、どの點から考へて見ても遺憾な出來ごとであるが、どうしてかかる誤解が生ずるに至つたかは六月十五日、十六日の兩日の出來事の中にかくされてゐる、われわれの軍隊はすでに忍耐の最後のどんづまりまで戰つたのであつた、自分はレイノーが十五日、余及びペタンを呼出して當時の任務につけたことを後悔してゐると云つたのを聞いた、また自分がレイノーの主張に屈しないのを見て、余の更迭を考へてゐるともいつた、然し、結局余の更迭は行はずして十六日自ら辭職するに至つたのである、そして新しいペタン內閣は休戰に贊成したのである

獨佛休戰協定はフランスにとつて色々有利な點があつた、第一にフランス艦隊、北アフリカに關しての條件がさうである、北アフリカには二十萬のフランス兵がゐたが、これは休戰協定では手つかずで、聯合國軍が北阿に上陸したとき、北阿は自由であり、軍は聯合軍と相並んで戰ひ得た、ドイツは後になつて北アフリカ問題で錯誤を犯したことを悟り、フランスに北阿の基地を要求して來たが、ペタン元帥は休戰協定を楯にこれを拒絕した、ダルランは弱氣で一九四四年五月に至りドイツの要求を容れたが、結局それはドイツ側に餘力なくして實現しなかつた、ペタンとダルランは余が北アフリカ總督在任中、祕密電報によつて連絡を續けてゐた

ラヴアルはペタンについた惡靈である、余はラヴアルに向つて負け馬に賭けつつあることを指摘し、同時にドイツは既に戰爭に負けたことを說明したが、彼はこれに承服しなかつた、又、余が彼に對して、フランス人の八割は君に反對だといつたところ、ラヴアルは、八割どころか九割八分が反對である、しかし自分はフランス人の意思に反してもフランス人に幸福を與へてやるのだと返答したことがある

△ラヴアルの西班牙脫出

ウエイガンが法廷で元ヴイシー政府首班ピエール・ラヴアルの攻擊をなしつつある時、當のラヴアルは前日のスペイン退出の失敗に拘らず、再びフランスへの歸國を志して、オーストリアのリンツの附近ホルシングに着陸、同地方駐屯の米國占領軍指揮官ジョン・マーチンの保護下に入つてゐた、彼が携へたものは二箱のヴイシー鑛泉と千五百弗の米金、十四個にのぼるスーツケースと他に二つの箱、そして妻君だつた、飛行機はメツサーシュミツト、操縱士もドイツ人二名だつたが、ラヴアルがこの飛行機とドイツ人とを如何にして入手し得たかは明白でない、おそらくはドイツ脫出當時からラヴアルと行を共にしたものであり、スペイン官憲で保管中だつたものと推定される

ラヴアルの話によれば、彼はスペイン政府によつて國外退去を要求されバルセロナのモン・ユイク監獄を出されたのが二十九日で、その日はロブレガツト空港ですごし、翌三十日一應飛出したが故障で引返へし、再び飛行場で一夜を明かした後、三十一日早朝再出發、六百五十哩を翔破してリンツ近郊に着陸したものである、五月二日スペイン入りより丸六十日をモン・ユイクに幽閉されてゐたわけだ

（井上　勇）

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八　月十八日(土)
第三五一七號

同盟通信 海外電報

(191)

悠々たる哉天壤、遼々たる哉古今、民族の興亡、國家の隆替を僅か數年に亘る戰爭の歸趨によつて決定出來ると考へるのは餘りにも性急であり餘りにも近視眼的である、第一次大戰において帝政ロシアが内部から崩壞し、ブレストリトウスクにおいてドイツ政府と單獨媾和した當時、何人かよくソヴエト聯邦今日の隆々たる國運を豫想し得たであらうか、舊來の陋習を破り一切の因習を根こそぎに叩き潰して、新たに共産主義體制を布き前後三回に亘る「ピアチレートカ」（五ケ年計畫）を斷行したところに、ロシア復興の基盤を見出さねばならない、「萬物は流轉する」（パンタ・ライ）とギリシヤの哲人がいつた通り、國際政局もまた流轉する、現在米英ソ支四國は世界の四大國を以て任じてゐるが、利によつて朋黨比周する結合が豈久しからんや、チヤーチル前首相は十六日英國下院において勞働黨の領袖ラスキー教授を攻擊した際、東南歐洲におけるソヴエト聯邦の政策を糾彈「中歐洲と外界との間には大きな鐵の帳が下り、帳の背後においては獨裁的な共産主義勢力がテロ手段を以て統治しようとしてゐる、若し何れかの强國が他國の主張を無視して勝手な政治的解決を指令しようとするならばロシアと他の聯合國との間には何時紛擾が爆發するかも知れない、勿論米英兩國は原子爆彈の祕密をロシアその他の各國に洩らしてはならない」と述べてゐる、責任の地位を離れたため、チヤーチルは政治的生涯を通じて嘗つて見なかつた位痛烈にソヴエト聯邦を論難したのだといふが、第三次世界戰爭が既に始つてゐるといつても決して過言ではあるまい、勝敗は兵家の常、敗を含み辱を忍んで捲土重來を期するところに大國民の眞骨頂が發揮されようし、國歩艱難の際、和衷協同、國運の打開に邁進するところ、國際政局の前途は自ら濶然として拓けよう、豈悲傷せんや



【目　次】

獨占領の境界線發表……二二九二
ビルマ戰線でも戰鬪停止……〃
滿洲問題も協定か……〃
和平地區を接收……〃
蔣の命令に抗拒……〃
全戰線で作戰行動停止……二二九三
支那戰線には英軍も參加……〃
葡軍二個師待機中……〃
マウントバツテン昭南訪問か……〃
英、銅使用制限解除……〃
鐵道賃金引上げ……〃
船舶三隻を佛に讓渡……〃
英軍首腦を叙勳……〃
濠大空港建設計畫……〃
ジョージ六世放送演說……二二九四
英新内閣の戰後施策……〃
英占領地域でも政黨許可……〃
埃第一回戰爭犯罪者公判……〃
米國内再調整方針發表……〃
即時經濟再轉換に着手……二二九五
スターク本國へ歸還……〃
ウラニユーム一二三五……〃
ショー、原子爆彈を語る……〃
原子爆彈の將來……〃
【資　料】
過渡期——再轉換……二二九六
ハリウツドの作家動員……二二九八

支那代表は徐永昌

（リスボン十六日發）重慶ロイター電が十五日重慶政府當局の言明として傳へるところによれば、日本對四國休戰協定調印に參加する支那代表は軍事委員會軍令部長徐永昌といはれる

國民政府南京還都か

（リスボン十六日發）重慶來電＝支那政府當局は新聞記者團に對し「支那國民政府は可及的速かに南京へ移る豫定である」と語つた

獨占領の境界線發表

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝米英ソ佛四ケ國政府はドイツの各國占領地域の境界線について十五日同時に公報を發表した、劃定されたドイツ占領地域のうちには四國のほかポーランドの占領地域も含まれてゐる

△フランス

フランスの占領地域はドイツの西南端沿ひの大體砂時計型の地域でラインランドの南部、ザール地方及びパラチネート地區のバワリアの一部を含んでをり、その東部境界線はマンハイム、スツツガルトの直ぐそばを通り砂時計の首の部分はカールスルーエの西方を走つてゐる、この地域は約二萬平方哩で食糧は自給するには若干不足してゐる

△英　國

ラインランドの北部、オルデンブルグ、シユレスウイヒ・ホルスタイン、ハノーヴアー、ウエストフアリア、ブルンスウイクを含み約四萬平方哩でこれは食糧の不足してゐる地域だ

△ソ　聯

ソ聯の地域は英國の占領地域の東に接し、メクレンブルグ、サクソニー、チユーリンゲンとオーデル河口から殆ど眞直ぐにチエコスロヴアキア國境まで南下する線の西方にあるブランデンブルクの一部を含んでゐる、ソ聯は更に東プロイセンの南半分をも占領することになつた、以上の地域は食糧の過剩な地域として知られ、約四萬平方哩である

△米　國

米國は石炭を除く他の生産物資の自給自足の地域を占領するが、石炭は多分英國占領地域から供給されることとならう、米國占領地域はフランス占領地域から東方に向つてチエコスロヴアキア國境ウルテンベルクに至るバワリアの一部即ちヘツセ・ナサウを含む地域であり、海洋を通じて送られる資材、人員を移動させるためにブレーメン及びブレーメルハーフエンを使用する特別の取極めが成立してゐる、全面積は四萬平方哩である

△ポーランド

ポーランドは面積約四千平方哩、人口約百萬を擁する東プロイセンの北半分を管理し、シレジアのポペラニ並びにブランデンブルクの一部を含む地域を占領する、この地域はオーデル河々口からの線に沿つて南へチエコスロヴアキアの國境に至るソ聯の占領地域と境を接し、人口約七百五十萬面積三萬平方哩である

ビルマ戰線でも戰鬪停止

（リスボン十六日發）ラングーンからのAP電報によれば英第十二軍の停戰命令により、ビルマ全戰線における英軍の積極的戰鬪行爲は完全に終りを告げたといはれる

滿洲問題も協定か

（リスボン十六日發）ソ支友好同盟條約の內容については、重慶電も何ら傳へてゐないが、一般友好關係の原則並びに同盟事項の外、別に通商協定をも包含する模樣である、一方ロイター電によれば重慶政府當局は「滿洲の將來に關しても、恐らく協定されたであらう」と述べたといはれる

和平地區を接收

（リスボン十五日發）ロイター電によれば、重慶政府は和平地區の接收につき手續を進めてをり、既に上海、南京、北平、天津の新任市長はそれぞれ任地に向つた

蔣の命令に抗拒

（リスボン十六日發）重慶來電によれば、蔣介石は和平地區の接收に備へ麾下軍に對して待機命令を發すると共に第十八集團軍に對しても單獨行動を起さず、その部署に止まるやう命令したが、第十八集團軍總司令朱德は十四日、右蔣介石の命令に抗拒したといはれる、重慶軍事委員會代言人張東泉も十五日中共軍が中央の命令に服從するやう希望する旨言明したが、日本軍との單獨折衝、和平地區重要都市の先制確保を目指して兩者の抗爭は激甚となるものと思はれる

全戰線で作戰行動停止

(リスボン十五日發至急報)ワシントン來電=米國陸軍省當局は十四日次の通り言明した
陸軍は全陸軍航空部隊に對し、日本に對するあらゆる作戰行動を停止するやう指令を發した一方地上軍の戰鬪停止は夫々の地域における司令官が適宜作戰停止命令を出す筈である

(リスボン十五日發)マニラ來電=聯合軍最高司令官マツカーサーは十五日最終軍公報を發表、次の通り言明した
全戰域にわたり作戰行動は停止された、但し觀察の目的をもつてある程度の空中巡察は繼續の必要がある

(リスボン十五日發)グアム來電=太平洋艦隊司令長官チエスター・ニミツツは十五日正午(グアム島時間)「麾下全部隊に對し日本に對する戰鬪を停止すべき旨の命令を發した」と言明した

(リスボン十五日發)カンデイ(セイロン島)來電=東南アジア軍司令部は地方時間十五日午後一時五分東南アジア戰域の聯合軍海陸空軍部隊に對し作戰行動の停止を命令した

(リスボン十五日發)重慶來電=前線基地發UP電によれば、支那大陸東海岸地區において日本軍は戰鬪を停止しつつあり、特に浙江地區では一部隊全員の戰鬪停止がつたへられてゐる

支那戰線には英軍も參加

(リスボン十五日發)ロイター重慶電は支那戰域において英軍が米及重慶軍と協同作戰をしてゐた旨を明かにしてゐる、右によれば、英軍は士官を基幹とする二百餘の特科部隊を編成し、重慶軍の訓練、醫療その他の特別任務に當つてゐたといはれる

葡軍二個師團待機中

(リスボン十四日發)ポルトガル軍二個師團はチモール島再占領のため目下蘭領東阿のロレンソ・マルケスに待機中とつたへられる

マウントバッテン昭南訪問か

(リスボン十五日發)ラングーン來電によれば東南アジア軍司令マウントバッテンは近く暮僚を帶同、昭南へ赴くだらうといはれる

【英 帝 國】

銅使用制限解除

(リスボン十五日發)ロンドン來電=英國供給省は八月十四日以降輸出用完成品生產のための銅使用制限を一切撤廢する旨發表した

鐵道賃金引上げ

(リスボン十五日發)ロンドン來電=鐵道從業員組合は過去七日間にわたり、鐵道會社側と賃金改訂交涉を繼續中であつたが、十日妥協案成立し組合側の主張たる賃金引上げは實現することとなつた、但し引上げ額については詳細不明である

船舶三隻を佛に讓渡

(リスボン十五日發)パリ來電=フランス政府は英國海軍省より一萬トン船舶三隻の讓渡を受けることとなつた、同時にフランスは英國造船所における船舶建造の便宜をも與へられた

英軍首腦を敍勳

(ストツクホルム十四日發)ロンドン來電によれば參謀總長元帥サー・アラン・ブルツク、軍令部長元帥サー・アンドリユー・カニンガム及び空軍總司令サー・チヤールズ・ポータルの三名は今回男爵に列せられ、ロードの稱號を與へられ、上院に議席を有することになつた

濠大空港建設計畫

(リスボン十五日發)シドニー來電=濠洲航空相アーサー・ドレークフオードの言明によれば濠洲政府はシドニー大空陸建設のため五百萬英磅の支出を行ふことに決定した、右空港の設計及び所在地は未だ決らないが、聯邦公共事業評議會の開催前に全計畫の決定をみるはずである

ジョージ六世放送演説

（リスボン十五日發）ロンドン來電によれば英國王ジョージ六世は十五日午後八時から放送演説を行ふ豫定といはれる

新内閣の戰後施策

（リスボン十五日發）ロンドン來電によれば英國王ジョージ六世は十五日議會開院式に臨み開院のメツセージを發したが、右メツセージは先づ戰爭終結を宣言した後、新勞働黨内閣の施政方針を闡明した、要旨次の通り

一、六年に亘る戰爭は終了したが、戰爭の犧牲が無駄にならぬやうに自治領及び一切の平和愛好國民と協力して自由と社會正義の世界を建設せんとするのが英國政府の確乎たる目標である、歐洲の民衆が焦土を再建するための基礎はポツダムで決定された

一、科學によつて人類の手に收められた破壞的な新爆彈は、世界各國が戰爭の終止符を打つべきであり、さもなければ相互破壞によつて滅亡するといふ教訓を凡ての者に齎した

一、國内産業を戰爭目的から平和目的に再轉換し貿易を擴張し、諸産業及び勞務が國民の福祉に對し最大限の貢獻をなしうるやうこれらのものに對し適當な統制を加へ乃至はこれらの公有化を增強する仕事の遂行に政府は努力するであらう、雇傭と國家的發展を促進するために效果的投資の計畫を樹てるための機關が設置されよう卽ち政府は英蘭銀行を公有化する法案を議會に提出するであらう、また採炭工業を國有化する法案も上程され更に左の諸項目に關する法案が提出されよう

イ、戰爭から平和への過渡期において政府が商工業資源を使用し、基本的補給品及び勞力の配分及び公正な價格を維持する權利を確保するために必要な法案

ロ、公共目的のための土地獲得手續を改善し或ひは國家の利益に則するやうに土地利用を計る計畫に關聯する賠償及び土地價格騰貴に關する法案

ハ、總罷業を禁止する現行勞働爭議及び勞働組合法を撤廢する法案

ニ、農業生産の能率を改良した戰時農業政策を適當に修正して續行するための法案、空中輸送組織の再組織に關する法案等

【歐　洲】

英占領地域でも政黨許可

（チユーリツヒ十四日發）ヘルフオルド來電＝ドイツ占領地域の英軍政當局は共産、社會民主、中央の三非ナチ政黨を公認した旨十四日發表した、それにより以上の三政黨は政治集合を開催することが出來るやうになつた譯で、各黨の指導者は英軍政當局によつて保護されるが、各政黨とも政綱を黨領袖の氏名を當局に提示するといふ條件が附されてゐる

第一回戰爭犯罪者公判

（リスボン十五日發）ウイーン來電＝オーストリアの第一回戰爭犯罪者公判は十四日ウイーンにおいて開廷された

【米　國】

國内再調整方針發表

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝大統領平和復歸宣言に續き、戰時動員及び再轉換局長官ジヨン・スナイダーは「戰爭より平和へ」と題する聲明書を發表、戰爭終結に伴ふ國内の全般的再調整に關し具體的方針を指示することとなつた、右はスナイダー自らラジオを通じて全國に放送するが、同時に經濟安定局長官ウイリアム・デーヴイス、物價管理局長官チエスター・ボウルズ、戰時生産局長官ジユリアス・クルーグ、戰時人的資源委員長ポール・マクナツトも夫々所管事項についての戰後方針を述べる筈である

昭和二十年 八 月十八日(土)
第 三 五 一 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

即時經濟再轉換に着手

(リスボン十五日發)ワシントン來電=戰爭終結とともに米國政府は時を移さず産業の平時轉換への基礎工作に着手した、戰爭終結決定以來今まで僅かに十二時間にすぎないが、この間すでに各種の重要な經濟的措置がとられてゐる、すなはち十五日をもつて勞務統制は一切撤廢され各方面にわたつて勞務者の職場移動の自由が認められるとともに企業家も當局の許可を受けることなく雇傭數を增減し得ることとなつた、目下のところこの措置によつて勞働市場の情勢に大なる變化が起るとは考へられないが、雇傭關係の正常化促進に與つて力あるものと期待されてゐる、また海軍省は十五日大巾の建艦計畫縮小を發表してをり、再轉換局長官ジョン・スナイダーも同日戰時生産より平時生産への切替に關する一般的政策について聲明を發した、もつともスナイダーによると貿易統制については當分現狀を維持し緩和もごく小範圍に止める方針で、多數商品の輸出許可制も繼續することとなつてゐる、今後戰時統制の解除緩和については着々手が打たれるものとみられるが、米國內で一般に豫想されてゐるところでは軍需の大巾節減により一般の食糧事情が好轉し、割當制の如きは重要性を失ふだらうとの見方がまづ第一に有力である、さらに石油の消費規正も卽時撤廢されることとなつたが、これによつて自動車工業の民需轉換は大いに促進されようとみられてゐる

スターク本國へ歸還

(リスボン十五日發)大西洋艦隊司令長官ハロルド・スタークは前戰より米本國に歸還することとなつたが、十六日英船クヰーン・メリー號に乘船の豫定である

【原子爆彈】

ウラニユーム二三五

(ストツクホルム十四日發)米國戰時情報局の放送は原子爆彈生産にとつて不可缺なウラニユームに關し左の通り報じてゐる

ウラニユームは純粹狀態では存在し得ず、ラジユームの原料たる瀝靑ウラン乃至は砂岩の中に發見される黃色の鑛物たるカルノ鑛から抽出される光澤ある白色の元素である

米國は濠洲及びボルトガルと同樣瀝靑ウラン及びカルノ鑛の埋藏資源を有してゐるが、瀝靑ウランは濠洲、英國、ソ聯、スエーデン及びドイツに存在する、一九四〇年の春に科學者達はウラニユームU—二三五なるものを發見した、一封度のU—二三五は石炭五百萬封度、ガソリン四十萬ガロン、若しくはTNT一萬五千噸に等しいエネルギーを有すといはれる、U—二三五は原子量においてのみ正規のウラニユームと異なる

ショー原子爆彈を語る

(ストツクホルム十五日發)ロンドン來電によれば戰爭終結の報を聽いた文豪バーナード・ショー翁は

最初の原子爆彈が投下された時戰爭は終つた、しかし今後においてこのやうなものを投下する權利がわれわれにあるかどうかは非常に疑問だと語つたといはれる

原子爆彈の將來

(ストツクホルム十五日發)ロンドン來電=英紙デーリー・メール」の空軍記者は原子爆彈の將來に關し、次の通り觀測してゐる

將來戰爭の兵器として原子爆彈若しくは原子ロケツトが使用されるかも知れないが、その對抗兵器としては電波暗視器の發達に關する研究によつて可能となる强力な對原子砲が考へられる

原子エネルギーによつて推進され、原子分裂を行ふ爆發尖頭部を有する新しいロケツトが長距離砲擊に使用されよう、これに對し原子エネルギーによつて推進される原子砲彈が使用されるが、兩者が光線の操作によつて空中で衝突する場合は大爆發を起すから地上に損害を與へぬほどの高空でこれが行はれねばならない

資料

過渡期——再轉換

「タイム」誌七月九日號

△東海岸と西海岸

東海岸には華々しい歡迎のうちに歐洲からの歸還將兵が續々到着してゐる、先週には英國の豪華船クヰーン・エリザベス號が約一萬四千の兵士を乘せて到着した、東海岸には既に戰時檢閲のごときものはなく、これ等兵員の動きは逐一詳細に新聞に賑々しく報道されてゐる

しかるに、これに反して西海岸の諸港には依然として戰時檢閲が實施されてをり、嚴重な檢閲の下に行く先の秘された軍需品がしきりに船に積みこまれてゐる、米國は全土を通じて太平洋戰のためと、これと同時に平和をも迎へるためにその態勢の建て直しをやつてゐるのだ

産業の混亂が發生し、勞働者も動搖して罷業が頻發した、インディアナ州エルクハートの眞鑄會社では警官隊と罷業勞働者とが衝突して警官隊は遂に催涙ガス彈を使用した、またオハイオ州アクロンでは一萬六千七百名のゴム勞働者が罷業に出で、選抜徴兵局は罷業勞働者にたいして召集延期の特典を取消した、全國六十三ケ所の特別軍需生産地域ではいまだ依然として勞力不足に惱んでゐるにも拘らず、サンフランシスコ、デトロイト、バツフアローあたりでは失業者が續出してゐる

かかる矛盾はその他にいくらでもある、たとへば過去八年間にわたり米國は農産の豐作に惠まれて、戰爭中にも拘らず順調な食糧事情を維持できたのに、今になつて食糧不足に惱みはじめ、しかもこれは今後數ケ月間解消する見込みがない、また歐洲から凱旋する幸福な將兵がゐるかと思ふとこれとは正に反對に太平洋戰線で命を失つてゐる不幸な兵士達もゐる、米國は建國以來かうした時代にあつたことは一度もなかつた、戸惑ひした米國民はなんとかして安心のゆく忠言と保障との與へられることを待ち望んでゐる、そこへ今週これに最も適した人物から忠言と保障とが二つながら米國民に與へられた、この人物は他ならぬ戰時動員再轉換局長官フレデリツク・ヴインソン（現財務長官）であつた

△ヴインソン報告

卽ち、ヴインソンは大統領並びに議會にたいして經濟問題を主とした全文七十一頁から成る具體的且つ詳細な報告を送つたが、そのうちでかれは次の通り述べた

米國は日本擊破の計畫をたて軍需生産を續けなければならない一面では、これと同時に戰時から平和に移る準備をも進めなければならぬ、しかもこの準備は平和の賓客として經濟不況が米國を訪れることを防止できるやう時宜を得たものでなければならない、この事業は大變な仕事であり、且つ何時完了するかその時期を豫め知ることもできない、しかし、米國民は必ずこの大事業をなしとげよう、何故ならこの仕事はアメリカ的な事業だからである

現在の米國は二つの過渡的事業に直面してゐるといふことができよう、その一つは軍事的なものであり、他は國內的な仕事だ、軍事的事業はいはゆる再轉換工作であり、米國は數十萬の兵員を山のやうな裝備とともに、歐洲において達成された勝利から日本にたいする最後の攻擊に移動せしめなければならぬ、日本にたいする最後の攻擊のために米國がどれ程大きな仕事をなさなければならないかにつき、ヴインソンはその報告で具體的に次の諸事業をあげた

一、毎日一隻の油槽船がフイリピンに燃料油を補給するためには往復航路にそれぞれ四十隻づつの船を配し、さらに石油積込みのため二十隻を配船しなければならない

一、日本を擊破するためには、米國陸軍は歐洲におけるよりも一層大量の爆藥を必要としよう

一、太平洋戰線への兵力の集中で、米國は歐洲、太平洋兩面作戰を行つてゐたときより、一層多くの軍用衣類を必要としよう、廣大な太平洋戰域は場所によつて氣候が激變するため、兵員に多くの軍服を支給しなければならぬからである

△平和生産の開始

しかしながら、今や未曾有の巨大な生産力をもつに至つた米國の產業は、全面的軍需生産の緊張狀態から少しづつ解放されはじめた、聯合軍がまだライン河を渡河する以前、卽ち一九四五年の軍

昭和二十年 八 月十八日(土)
第 三 五 一 七 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

需生産額は六百十億弗と豫定されたが、一九四六年にはこの額は三分の一方減少しよう、又本年一月の飛行機生産高は六千七百機だつたが、この十二月には四千八百機が豫定されてゐるに過ぎない

先週、デトロイト市では産業再轉換の上で特筆すべき事件が起つた、フオードのウイロー・ラン工場では遂に最後の爆撃機が工場から送り出されこれに代つて一九四六年型のマーキユリー・リンカーン車の製造が開始されたのである、劍から鋤へ、大砲からバターへの産業再轉換が開始された勿論、本格的な民需生産がはじまつたわけではない、ヴインソンによれば

克服できないやうな思ひがけない隘路が生じない限り、今後六ケ月以内に開戰以來はじめての自動車、冷藏庫、洗濯機械などが店頭に現れるだらう、しかしその數は極めて限られてをり、店頭に現れるや否や忽ち賣れてしまふだらうといふのだが、産業の再轉換にあたつて、米國が非常な幸運に惠まれてゐることは事實である、即ち、ドイツが先づ屈服した結果、米國は一方で太平洋戰を戰ひつつ、國内的にその戰時經濟を徐々に平時經濟に移行することが可能なのである

經濟的見地から歐洲に關する米國最大の問題は解放された諸國民に如何にして食糧を與へるかである、この點についてヴインソンは次の通り米國の方針を明かにしてゐる

米國は世界最大の生産國である、從つて歐洲救濟のためには米國は今後も依然として最大の役割を果たさなければならぬ

△平時經濟への移行

戰時經濟から平時經濟への移行は、多くの調整工作が連續的にとられるといふ形式をもつて行はれることとならう、しかもこれが萬事好都合に運ぶとは豫想できない狀態にあり、ヴインソンは平時經濟移行途上における摩擦をできるだけ少くするため次の諸計畫の實行が必要だとしてゐる

一、産業の再轉換を圓滑ならしめるための稅制の改革、即ち、民間商社にたいする政府拂戻金の支拂促進、超過利得稅免稅點を現在の一萬弗から二萬五千弗への引上げ

二、對日戰終了まで全般的減稅を行はぬこと

三、大統領トルーマンも既に主張してゐるごとく失業補償制度の擴張、失業保障金を現在の一週二十弗から獨身者二十五弗、扶養家族のある者三十弗への引上げ

四、最低賃金を現在の一時間四十仙から五十五仙への引上げ

五、歸還將兵にたいする全般的援助

△將來への展望

ヴインソンはまた今後の見透しに關して

米國民の前に立ちはだかる儼然たる事實は、國民生活の最も重要な部分たる衣食住において、今後數ケ月にわたり供給が需要を充たし得ないといふことだ

と述べてゐるが、事實食糧のごときは特に肉類、砂糖、脂肪、油類の深刻な不足によつて、今後六ケ月間は到底戰前の平均水準に達することができないだらう、また燃料油、ガソリンの割當制も依然繼續さるべく、さらに今年の冬は深刻な石炭不足に惱まなければなるまい

一方、太平洋戰域への兵力の再展開によつて各鐵道の混雜著しく、開戰以來交通難が最も深刻な度に達した一九四四年よりもさらに一〇%方の惡化が豫想されてゐる、そこでヴインソンは一般市民にたいして「不急不要の用務の者はこの際できるだけ旅行を愼しむやうに」との警告を發しなければならなかつた

以上が少くとも對日戰が終るまでの期は米國を支配するだらう狀態である、ヴインソンがその報告を大統領および議會に送つた同じ週に、ワシントンの内外では日本にたいする「無理のない戰爭」論がたかまつた、これは遮二無二日本を攻めたてることなく、できるだけ損害を少くするために戰爭は長期にわたるかもしれないが消耗戰でゆくがいいとの主張である、しかしヴインソンはかかる主張には贊成してゐない、即ち、かれは曰く

米國の國力は今や西に向つて注がれてゐる、米國の目的は大統領トルーマンによつて「今日米國の直面してゐる第一の仕事は日本との戰爭に勝つこと、しかもできるだけ早く勝つことにある」と明確に示されたのである

ハリウツドの作家動員

KWID局放送　八月一日

ハリウツドは米國の映畫中心地として尨大な數に上る小說家、劇作家、文藝批評家、作曲家、詩人その他の文筆業者を集めてゐる

脚本書き等はこれらハリウツドの作家が專門的に行つてゐる活動の一部に過ぎない、多數の作家が優れた俳優や監督その他の演劇人と一つ所に集つてゐる結果ハリウツドはまたラジオの中心地ともなつた、全國のラジオ聽取者の耳に入る番組は大部分ハリウツドで執筆され、ハリウツドから出てゐるのである、また映畫やラジオが大規模な商業活動である關係上ハリウツドでは記者、出版業者、物語解說者と言つた人達の大集團が働いてゐるが、かうした集團は總て映畫作家組合、ラジオ作家組合、映畫製作者協會、映畫物語解說者組合等々の組合を造つてゐるのである

さて米國が參戰するや政府はハリウツドの作家達に呼びかけて、戰爭努力のために必要な凡ゆる種類の特殊任務に就くやう要請したが、これは極めて當然のことであつた、航空部隊や地上部隊の兵員訓練に使用する教材映畫が製作されてゐたし國民に配給その他の戰時施策を說明するためラジオ番組を編成する計畫もあつた、戰時公債の賣出しに際しては宣傳の準備をせねばならず、また駐屯地の兵隊を慰問するため慰問演藝團を派遣する必要もあつた、作家や俳優達はかうした活動にその能力を捧げるやう呼びかけられたのである

ハリウツドの人達が欣然として右の要請に應じたことは當局の報告で明かだ、その第一步は政府の注文を受取つて作家達に割當てる機能を持つた一個の組織を造ることであつた、次いで一九四一年十二月十四日には作家、映畫製作者、映畫監督等三萬五千の人員を擁するハリウツド作家の動員體制が出來上つた、政府から執筆の要求が來た場合常にこれを動員組織が受取り、所屬の作家中から一名を選んで彼にその仕事を割當てるのである動員組織の報告中から例を引けば、最近の割當ては砲術その他技術上の諸問題に關して軍隊に指示するための映畫數本があつた、このやうな割當は既に數千件の多きに達して夫々遂行されたのであるが、大抵の場合作家は無償で政府に奉仕した

ハリウツド作家動員組織はまた社會問題についても活動した、多數の歸還兵が市民生活に復歸するにつれて彼等を社會に順應させることが問題となつて來たが、動員組織はこの問題に關係ある各種の場合を解剖して每週開かせるやうなラジオ番組を準備するやう取極めたのである、放送は各種の問題にハイライトを投ずるドラマの形で行はれまたドラマの形で解決を示さうといふのであつたが、この執筆は數人の優秀な所屬作家に割當てられ彼等は無償で仕事に當つた、一方ナショナル中繼會社の協力で放送時間も取極められ現在每月曜日の夜、半時間に亘つてこの放送が行はれてゐる

桑港會議の開催中動員組織は政府が主催して製作しつつある記錄映畫の材料を蒐集するため多數の所屬作家や監督をサンフランシスコに送つた、この記錄映畫に關しては動員組織は常任委員會を設け、所屬作家は米國における生活の種々相を事實に卽した實際的な方法で例示するやうな映畫原稿を作成しつつある、かうした映畫は米國の諸施設や生活狀態を知らうとする諸外國の觀衆の爲に製作され、大統領選擧を主題とした映畫や住宅、對日戰における軍事行動等を寫したもの等多くの映畫が製作された

このやうな作家達の集中的組織が、作家達が興味を感ずるやうな他の活動領域に向つて枝を伸し始めるといふことは自然の勢である、例へばハリウツドの組織は以前から屢々教育的な討論會を後援し、作家達は文筆業に關係ある諸問題について日頃の蘊蓄を傾けてゐた、かうした催しで或時は映畫の教育的效用について討論が行はれ、また或時は人類福祉の促進に貢獻すべき集團的交通の役割がその題目となつた、最近討論會での議論は出版する價値があるといふわけで、作家達は彼等の雜誌を發行し映畫やラジオに關する論說と共にかうした討論をも揭載するに決定した、かくて來る十月一日には「ハリウツド・クオータリー」と銘打つた刊行物が現れる運びとなつたのである

ハリウツドの作家達は以上のやうな活動によつて映畫やラジオが單なる娛樂以上のやうな寄與をするものだといふことを學びつつある、作家達は彼等の自由になる手段によつて世間に教育と啓發とを提供出來ると感じてゐるのだ

昭和二十年 八月二十日(月)
第三五一九號

同盟通信 海外電報

(191)

(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可 編輯發行人 田中正太郎 東京都麹町區日比谷公園二番 社團法人 同盟通信社)

【目 次】

トルーマン聲明發表……二三〇〇
ソ聯カイロ宣言承認か……〃
朱德、米英ソ三國に覺書……〃
グルー國務次官辭職……〃
ペタンを終身刑に減刑……〃
勃四閣僚辭職……〃
ソ波新條約成立……〃
【英 國】
チヤーチル下院演說……二三〇一
國際憲章に關する白書發表……二三〇二
對印政策は未定……〃
【歐 洲】
在スイス日本資產凍結……〃
平和到來の道遠し……〃
【支 那】
和平地區接收抗爭激化……二三〇三
ウエデマイヤーも困惑……〃
蔣、徵兵中止を發表……〃
【米 國】
アンラ資金の醸出に難關……〃
海軍基地を增設……二三〇四
太平洋基地を維持せよ……〃
兵員解除の具體策……〃
海軍復員計畫發表……〃
海軍將校採用停止……〃
二十六歲以上の徵兵停止……〃
戰爭終了と米國經濟界……二三〇五
失業增大を懸念……〃
物資割當制撤廢……〃
タイヤ割當制緩和……〃
再轉換計畫を發表……二三〇六
【原子爆彈】
チヤーチル言明……二三〇七
國際的意義を指摘……〃
歷史の變革を豫想……〃
人間の良心に烙印……〃
【資 料】
ポツダム會談の未決定事項……二三〇八
何處から何處へ……二三〇九

世界の焦点

停戰協定は何時成立するか豫測出來ないが、それは極めて切迫した時期において實現するであらう、そして、その條件は極めて冷酷無殘なものであることは確かだ、國民は一點の感傷もなく、この氷の如く冷たい現實をば把握して、そこに將來への出發點を求めなくてはならぬのはいふまでもない、死するものは幸福であるかも知れないが、日本國民は死んではならないのである、三千年の炳乎たる歷史の分身はわれ等であり、われわれは後世に對して、この生命を傳ふべき義務を有するのである、頭をうなだれて、降を乞ふた瞬間がすぎた今は、額を高くしてわれわれの生存の權利を主張しなくてはならない、過去においてかかる大なる屈辱の經驗のなかつた日本國民にとつては、今明日の內に直面する事態が、如何に深刻無比であるかについての概念さへも捉へ得ないであらうが、われわれは斷じてイタリアやドイツであつてはならないのだ、戰爭には敗れたけれど、われわれは平和には敗れてゐない、その平和に勝つためには如何にして戰爭に敗れたかについて深く自省し、われ等の上に課せられようとする大試煉によつて、その自省をば鋼鐵の堅きに煉り上げて、將來への路に全身をもつて投げつけなくてはならない、敵のいふ如くんば日本帝國はあらゆる手足をもぎとられて、眞個に大八洲のみとなるはずだ、四方に散在した數百萬の同胞はいま一度、この大和島根に復歸結集しなくてはならない、われ等はこの悲運のうちに大きな希望を持つ、國民の精神的團結が、ここに最も完全なる地域的結集の形體をば與へられるからだ、散兵線を撤收して、ここに集團勢力が蓄積されるからだ、この力の上に立つとき神洲は斷じて不滅である、敵に對して卑屈でなくてはならぬ理由は毫もない、われわれは毅然として彼等の條件なるものを受取らうではないか

トルーマン聲明發表

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝トルーマン大統領は十六日の新聞記者團會見において要旨左の通りの聲明を發表した

一、今次戰爭の終結を以て新たな時期の發足をみるに至り、この地上における自由の歷史はその章を改めることとなつた

一、公式の平和到來は停戰協定の正式調印をもつて開始する

一、日本占領期間はドイツの場合と同じく、その國內情勢如何によつておのづから決定されるであらう

一、カイロ宣言はそのままの形態において實行されるであらう

一、米國內の戰爭より平和への產業再轉換は可及的速かにこれを實行する

一、議會の再開を待つて勞働資本双方の合同會議を招集する豫定である

二、原子爆彈の製造工場は、將來これを破壞の武器から世界福祉の利器に轉換せしめるため利用するが、これは議會の承認を得て實行する

ソ聯、カイロ宣言承認か

（ストツクホルム十六日發）モスクワからのロイター電報によれば、赤軍は事態が最終的に決定をみるまで滿洲、朝鮮及び南樺太の占領を續ける意向と解されるが、ロイターの外交記者シルヴェン・マンジョツトは十六日

ソヴエト政府がカイロ宣言の諸原則を確認することは確實とみられるに至つてゐる、卽ちソ聯は滿洲を中國に返還し、朝鮮を獨立せしめることに同意しようと報じてゐる

朱德、米英ソ三國に覺書

（リスボン十七日發）十六日の延安放送によれば中國共產軍司令朱德は重慶駐劄米英ソ三國大使に覺書を送附

一、聯合軍の日本降伏承諾に共產軍の代表をも參加せしめること

一、內紛の危險を輕減するため重慶政府に武器貸與物資の供給を停止すること

の二項目を要求したといはれる

グルー國務次官辭職

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝白堊館當局は十六日、國務次官ジョセフ・グルーが辭職し後任として現國務次官補デイーン・アチソンが昇格することとなつた旨發表した

ペタンを終身刑に減刑

（チユーリツヒ十七日發）パリ來電＝フランス假政府主席ド・ゴールは十七日ペタンに對する死刑を終身禁錮刑に減刑せしめた

勃四閣僚辭職

（リスボン十七日發）ソフイア來電＝ブルガリアでは總選擧の實施を主張するゲオルギエフ首相派と延期を言ひ張る農民黨閣僚一派との間に內紛が勃發してゐたが、農、藏、鐵道、社會政策の四閣僚は十七日連袂辭職し、ゲオルギエフ首相は豫定通り八月二十七日に總選擧を實施する旨發表した

ソ波新條約成立

（ストツクホルム十七日發）モスクワ來電＝ソ波兩國は過般來カーゾン線以東の地域割讓及びドイツからの賠償の一部讓渡につき交涉を進めてゐたが十七日圓滿妥結し、モロトフソ聯外務人民委員及びオスブカ＝モラフスキー波外相署名の下に新條約が成立した、內容次の通り

一、カーゾン線以東においてザパードヌイ・ブーク及びソロキア兩河の形成する三角洲までの幅十八哩の地域及び幅十哩に及ぶビヤロヴイツツ森地域の一部をポーランドに割讓する、カーゾン線以東において幅三哩から五哩までの數地域をも同時に割讓する

一、ソ聯がドイツから受ける賠償の十五パーセントをポーランドに讓渡し、ポーランドは代償として一九四六年初めまでソ聯に一定額の石炭を供給する

昭和二十年八月二十日(月)
第三五一九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【英　國】

チヤーチル下院演説

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電＝チヤーチル前首相は十六日下院において野黨領袖の資格で初めて演説を行ひ、勞働黨執行委員會議長ハロルド・ラスキー教授の言説を批判する形で彼並びに保守黨一般の態度を次の通り明かにした

△歐洲問題を論ず

一、ポーランド＝ドイツ領土の四分の一をポーランドの假の西部國境内に含めたことは、將來の歐洲にとつて望ましい前兆ではない、余は聯立内閣當時ポーランドがソ聯に割讓したカーゾン線以東の地域に對して十分な補償を受けるべきだといふ希望を表明したが、ポーランド假政府が公正と考へられる以上に熱心に領土獲得に努めたことは、なんといつても間違ひと思はれるポーランド人が持つてゐない德は少ないが、彼等が避け得た間違ひも同樣に少ない

一、ドイツ＝ポツダム宣言では信賴に價する地方のドイツ人團體が責任を負ふべきやう規定してあるが、これは極めて重要なことである、ドイツ國民は何等爲すこともなく聯合國によつて養つて貰へるといふ考へをこの際一擲すべきだ

一、東歐及びギリシヤ＝戰火によつて荒された東歐諸國では今後暫くの間權威ある政府が樹立されるべきであり、共産黨の獨裁といふが如きことが行はれてはならない、我々は東歐及びバルカン諸國の事態につき我々の立場を明確にすることが必要である、ラスキー教授は英國のギリシヤ政策は根本的な變革を蒙るであらうと述べたが、ギリシヤ政策については各政黨間に完全な意見の一致をみてゐた筈ではないか、卽ちギリシヤは完全な民意に基く自由選擧を行ふべきであるといふことであり、既にギリシヤ政府は自由選擧の實施につき各國にオブザーヴアの派遣を要請、米英佛は右要請を受諾したが、ソ聯だけはオブザーヴアの派遣に應じてゐない

一、スペイン＝ラスキー教授は余がフランコ政權の支持者だといふ印象を與へようと努めてをられるが、余は常に左右兩派のいづれの形にしろ壓制の敵であることを誇りとしてきた、ポツダム宣言においてスペインを國際機構から除外することが規定されてあるのは、余の立場を示すと同時に英國全體の態度を示すものである

一、中歐及びソ聯＝(チヤーチルは政府の一員としての責任から解かれて初めて嘗てない激越な調子でソ聯の尻押しをする東歐洲諸政權を攻擊して)中歐と爾餘の世界との間には部厚い鐵の幕が下され、その背後で獨裁を目指す共産勢力はテロ行爲をもつて支配權を確保しようと圖つてゐる、もしも一國が一方的に政治的解決を押し付けようと試みるならばソ聯とその盟邦諸國との間に歐洲において軋轢が勃發しよう

△ソ聯の對日參戰は決定濟

一、ポツダム會談ではマライ、蘭印及び日本々土に對する上陸作戰の計畫が煉られたが、余もトルーマン大統領も日本がどこまで抗戰を繼續出來るかといふ問題について明確な判定を下すことが出來なかつた、併しながら日本に對して勝利を確保するために一切のものを投ずることに決定をみた

一、余が曾つてスターリン議長と會談した際、議長はドイツの敗北後三ケ月以内に日本に對して宣戰を布告すると言明した、ドイツが五月八日に降伏し、ソ聯が八月八日に日本に對して宣戰したのは決して單なる偶然ではなく、スターリン議長の誠實と几帳面さを示す新たな實例である、ドイツの降伏後對日宣戰まで三ケ月の時日を要したのはソ聯が極東赤軍を增强し、守勢から攻勢に轉移させるためであつて、原子爆彈の使用がソ聯の對日參戰を早めたといふ考へは當を得ない

△新内閣の施政方針を批判

更にチヤーチルは勞働黨内閣の施政方針を批判し

一、政府は全力をあげて軍隊の復員を急速に實施すること

一、石炭工業の國有化は最低廉の價格で豐富に供給し得るといふ條件に於てのみ可能であること

一、英蘭銀行の國有化はインフレ抑制、海外資産問題その他を有效に解決し得る場合においてのみ可能であること

の三事項を强調、政府の施策は結果の如何によつてのみ制定を下すべきだと結論した

國際憲章に關する白書發表

（リスボン十六日發）ロンドン來電＝外務省は十六日國際憲章に關する白書を發表、次の通り註釋を施した

桑港會談の最終成果として成立した聯合國々際憲章は將來に最高度の希望を持たせるものであるが、平和の維持と世界各國人民の向上とは專ら立法その他の機關を通じて行ふ輿論の發現そのものに依存する、新國際機構の成長するにつれ、加盟國の自由意思に基く新たな機能は發揮され、又新たな權限が加へられるやうになるであらう、新機構運營の中核たるべき總會は多大の權限を有してゐるが、若しその權限を賢明に使用すれば、如何なる國家もこれを無視することのできない世界輿論の結集體が生成するであらう

對印政策は未定

（ストツクホルム十六日發）ロンドン來電によれば國王ジョージ六世は十五日の議會に對するメツセージの中で印度政策に言及したが

新勞働黨內閣は出來るだけ早く印度問題に對する積極的態度をとれるよう印度問題に關する憲法上の論爭點を檢討する意圖がある

旨述べたに過ぎず、新內閣の對印政策の詳細については何等發表されなかつた、政界消息筋では新內閣は現在までの處印度問題に對する十分な討議を行ふ機會がなかつたからこれは當然のことであるとみてをり、且つ將來首相アトレー、外相ベヴイン、國璽尙書アーサー・グリーンウツド、印度相ローレンスを含む印度關係閣僚が協議會を設けて印度問題處理の速度を早めるだらうと信じてゐるといはれる、ただし國王の聲明は印度においては良い反響を齎さなかつた模樣で、ボンベイからの電報によれば國民會議派筋は勞働黨內閣の對印政策に多くの期待をかけてゐたため、今回の聲明が曖昧且つ漠然としてゐることに不滿の意を表明してゐると傳へられる

【歐　洲】

在スイス日本資產凍結

（チユーリツヒ十六日發）ベルン來電＝スイス政府は十六日、スイスにおける日本の全資產を凍結し、且つ同地駐在日本陸海軍武官の活動停止を要求する法令を起草した、右法令はここ兩三日中に發效することとなつてゐる

平和到來の道遠し

（チユーリツヒ十五日發）スイス國民は第二次世界大戰の終結を冷靜に迎へ特別な熱狂振は見られない、之はドイツが完全に敗北し去つた去る五月八日と著しい對照をなすものだ、現在のところ戰爭終結に關係する公式の祝賀會などについては政府側でも發表してゐない、以上の雰圍氣を反映して「フイユ・ダビ・ド・ヌーシアテル」紙は十五日社說で次の通り述べてゐる

戰爭終結によつて我々が救はれたといふ氣持ちは深いが、未だ喜ぶべき時ではない、戰爭は人命に尨大な犧牲を齎し、大都市は荒野と化した今後解決を必要とする重大問題は山積してゐるのだ

一方、戰爭終了に關するスイス評論界の見解を綜合すれば大體次の通りである

米英ソ支四國は目前にある尨大な問題の解決が如何に困難であるかを知つてゐる筈だ、これ等の國は平和を回復すると共にアジアの經濟生活を修正しなければならぬ、而してこれを實現するためには日本を含む全關係國の支持を得なければならぬ

次は人口問題だがこれは經濟問題に直接關係してをり、これが解決の如何が重大な反響を呼ぶことは必至である

第三には領土の分配問題だ、この問題で支那とソ聯との利害關係は衝突し、更に支那に於る經濟進出に關しては米英ソ三國間に競爭が起り三國と支那との間にも紛爭があるものと考へられる、更にオランダ及びフランスも蘭領東印度或は佛印を元の地位に戻すには米英兩國の野心に抗爭しなければなるまい

【支　那】

和平地區接收抗爭激化

(リスボン十六日發)渝延兩政權の間には日本軍と交替して和平地區を接收する問題につき果然抗爭を惹起し、局部的には兩派の間に小衝突を來してゐる模樣である、先づ重慶からの情報によれば軍事委員長蔣介石は十五日放送を以て延安中央政治局主席毛澤東に對し時局收拾のため卽刻重慶を訪問するやう要求した、曩に蔣介石は日本軍との接收工作は中央において行ふべく中共軍の單獨行爲は禁止する旨命じたのであるが、中共軍はこれに應ぜず却つて第十八集團軍總指揮朱德の名を以て中央の右制止令を拒否する旨表明したため事態は惡化の兆を見せてゐる、更に延安放送によれば朱德は重慶駐劄米英ソ三國大使に對する覺書を以て延安政權は日本軍との休戰交涉に代表を派遣する權利あり、延安側の同意なく行はれた協定議定書又は條約に對しては異議の權利を留保する旨述べたといはれる、朱德は右主張の根據として中共軍は抗日戰において日本軍の六割九分と交戰し、南京和平軍の九割五分と交戰したと稱してゐる、以上の經緯に鑑み、毛澤東が果して蔣介石の拒否に應ずるか否か不明だが、十六日のロイター電は重慶からニューヨークに到着した情報として靑島天津等の地點では中央に歸服した遊擊部隊と中共軍との間に衝突を起した旨傳へてゐる程で、日本軍に對する折衝工作を口實とする和平地區進出を目指して渝延兩派の對立は極めて微妙な動きを見せてゐる

ウエデマイヤーも困惑

(リスボン十六日發)日本軍との和平地區接收に關する渝延兩軍の對立はきはめて不穩な情勢を誘致しつつあり、ロイター通信社重慶特派員グラハム・バローも十六日、「支那は今や內亂の脅威重大である」と報じてゐる、在支米軍司令官ウエデマイヤーも抗日戰轉じて今や內戰となる事態に困惑の態で記者團會見席上次の通り言明したと報ぜられる

米軍は日支間の接收工作には出來るだけ便宜を圖らうが、支那の內部問題に絡まることは御免だ、支那側が先づ米軍に銃火を向けぬ限り、こちらから打ち出すわけには行かぬ

重慶政府も事態を憂慮してゐる樣子だが、モスクワ放送がソ支友好同盟條約の調印に關聯してソ支間一切の點について合意成立した旨報じたことは中共にたいする一つの黑星と解され、今後の渝延關係上蔣政權の立場に有利であると見られてゐる

蔣徵兵中止を發表

(リスボン十六日發)重慶來電＝重慶政府首席蔣介石は十六日今後中國軍隊の徵兵を中止する旨の布告を發した、また十六日には初めて戰況公報が發表されなかつた

アンラ資金の醵出に難關

(リスボン十四日發)ロンドン來電＝國務次官補クレイトンは目下ロンドンで開催中のアンラ第三次理事會において十四日次の通り言明したアンラが活動を繼續出來るためには、米國政府は議會に十三億五千萬弗の支出を要請しなければならないが、この巨額を手に入れることは相當に困難だ、また米英ソ三國はオーストリアの賠償について取極めを結んだ、更に三國は今日のイタリアが舊敵國としてではなく、解放された國として當然取扱はるべきであるといふことに意見の一致をみた

一方下院外交委員會の歐洲アンラ實績調査分科委員長ルサー・ジャヴソンはクレイトンの言明した「相當に困難」といふ意味を敷衍して次の通り述べた

米國議會から新たに巨額の支出を確保する事は難事業であらう、クレイトン氏はもしもアンラの業績が滿足すべきものであるならば、議會は一九四三年六月三十日をもつて終る會計年度における米國民所得の一%を醵出するに吝かでないだらうといはれたが、米國民は救濟物資を配分する際アンラが政治的考慮によつて支配されるならば、アンラに對して巨額の醵出を行ふことを躊躇するであらう

海軍基地を增設

（リスボン十六日發）ニューヨークからのラジオ放送によれば、上院海軍委員ウオレン・マグニユソンは將來の太平洋海軍基地問題につき次の通り語つた

米國海軍は將來太平洋に新たに八ケ所程度の基地を設ける方針である、卽ち眞珠灣、比島各地及びサモア等の既設海軍基地に加へてマリアナ、カロリン、マーシヤル諸群島區域に新基地を設定するであらう

太平洋基地を維持せよ

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝下院商船漁業委員會代表民主黨議員ハーバート・ボナー、ヘンリー・ジヤツクソン、エリス・パターソンの三名は下院海事委員會代表と共に太平洋の特定諸戰略基地を視察後最近ワシントンに歸還したが十二日要旨左の視察報告を發表した

「米國は太平洋の諸地域に經費を顧慮することなく基地を保持すべきだ、蓋しかかる措置は比較的低廉な國民保險の一形式といひ得よう、しかもこれらの地域からは相當の商業上の收益があり、少くとも維持費の一部を償還することが出來る、卽ち、その商業的重要性としては次の諸點が擧げられる

一、太平洋の海空兩航路による通商において飛び石の役割を果す
二、漁撈其他海産物の無盡の寶庫である
三、椰子の如き熱帶産果實及び藥草の資源が豐富である
四、鑛物資源を産出する
五、旅行者、科學者、敎育家、其他島嶼生活に關心を持つ人達の興味を唆る
六、原住民との交易が可能である」

兵員解除の具體策

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝陸軍省は十五日「當局は今後一年以內に五百萬の兵員を召集解除にする意向である、しかし召集解除に必要な點數は現在のところ依然八十五點として置く」旨發表した、また陸軍長官スチムソンは召集解除について左の通り述べた、

陸軍當局は召集兵の解除年令を三十八歲に引き下げた、三十八歲以上の兵士は解除申請後三ケ月以內に解除される資格を持つこととなるが、當局は右の方針によつて三十萬名の兵士が有資格者になると推定してゐる

海軍復員計畫發表

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝海軍省は海軍復員計畫を發表したが、これによると今後一ケ年乃至一年半の間に百五十萬乃至二百五十萬の兵員の召集を解除することになつてゐる

將校採用停止

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝海軍省は十五日左の通り發表した

當局は若干の例外の場合を除いて海軍士官の採用を停止、士官採用室は極く近いうちに悉く閉鎖される見込みである、婦人補助部隊は今後徵集されず、また現役服務を命ぜられることもない、但し海軍當局は高級船員及び豫備高級船員たるべき士官並びに士官候補生、海軍飛行豫科生訓練要員等の補充を續行する

二十六歲以上の徵兵停止

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝選拔徵兵局長官ハーシエイは十四日各州徵兵局長に對し、二十六歲以上の男子の徵集を卽刻停止するやう命じた、右の命令は「對日戰が終了すれば選拔徵兵法による徵集は大幅に削減され、徵集年齡は二十五歲以下に引下げられよう」との大統領トルーマンの言明に基いて發せられたが、ハーシエイは今回の措置に關聯して十四日左の通り述べた

選拔徵兵法は最早二十六歲から三十七歲までの登錄者に適用されない、彼等の登錄簿は追つて指令があるまで各地方局に保管される筈である

昭和二十年八月二十日(月)
第三五一九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

戰爭終結と米國經濟界

(リスボン十五日發)米國經濟の再轉換機運は戰爭終結とともに現實の問題となつたが、かねてより永らく計畫されてゐたところだけに平時經濟への出足は產業界各方面ともかなり早くあわただしい再轉換調が至るところに傳へられてゐる、再轉換の焦點は何といつても自動車工業の中心地デトロイトだ、新型乘用車はここ數週間中にいよいよ製作開始の豫定であるが、自動車工業首腦部の話では米國の自動車工業は今後三ケ月も經てば切替を終つて完全操業に入り得るとのことだ、もつとも自動車輸出が完全に回復するのは何時になるかわからないといはれる、ラジオ製造業達は民需切替へに關する政府の指令を鶴首してをり、許可が下りれば一ケ月後には製品を一般市場に出すことが出來る狀況にある、一方重工業方面でも農業機械、機關車その他鐵道車輛などを送り出すべく手筈を整へてゐる

しかし乍らここに一抹の暗影を投ずるのは失業の增加が豫想されることだ、ロイター通信によれば再轉換が進行し經濟の安定が確保される迄に失業群はおそらく七百萬人の多きに達するものとみられてゐる、さらに軍需工場の處置も問題だ、繁忙をきはめる民需工場のすぐその傍に民需切替へを待つて操業を休止した軍需工場がガランとして建つてゐる、といつた風景はこれからよく見受けるところとならう

來る九月早々再開される議會では政府の支出を削減し、個人及び商社の戰時租稅負擔を緩和する措置が可決されるはずで、本格的な平時稅制の確立は明年初頭の議會で審議されよう

失業增大を懸念

(リスボン十六日發)再轉換開始に當り米國が當然直面しなければならないと豫想される第一の困難は過渡期において不可避の摩擦的失業である、UP通信ニューヨーク電によれば軍需注文取消額はここ數週間中に三百五十億弗の巨額に達するものとみられ、米政府當局筋の推定では今後六ケ月間に八百萬人に上る失業者の發生が豫想されてゐる、又ここ一年半の間に召集を解除される兵士の數は五百萬人を豫定されてゐるが、これに對しても就職先を見付けてやらなければならない、かつて故ルーズヴエルト大統領やウオーレス商務長官は戰後における六千萬の就業人口、すなはち總人口の半分の雇傭を約したが、これには戰時中の國民所得年額千四百億弗を戰後においても維持することが必要であり、經濟活動の高水準維持が不可缺である、再轉換局長官スナイダーは最近再轉換計畫の大綱を發表したはずだが、その內容は聯邦政府による大公共事業計畫を主體にしたものとみられてゐる、州その他地方自治團體もすでに同樣の計畫を進めてをり、これに要する費用だけでも數十億に上つてゐる

物資割當制撤廢

(リスボン十五日發)ワシントン來電=物價管理局長官ボールズは戰爭終了に伴ふ物資割當制廢止に關し十五日次の通り發表した

政府はガソリン、燃料油、罐詰果實野菜類に對する割當制を卽時撤廢する、但し食用類・食用油脂類、バター、砂糖、靴、男子用ゴム靴類、タイヤに對しては軍需生產の切り換へ及び民需物資の增產によつて需要の均衡がとれるまで今後なほ暫く割當制を存續する

一方若干の消費財に對する價格統制をも解除するが、これらは直接生活費に影響しないもので奢侈品に屬する毛皮類、その他寶石類、運動具ライター、寫眞機等が含まれる

タイヤ割當制緩和

(リスボン十六日發)ワシントン來電=物價管理局は十五日夜自動車タイヤ割當制を改訂の上繼續する旨發表した、すなはち從來の割當制では割當許可はガソリン割當副切符を有する者に對してのみ下除されたが、今後は職業用のため使用する乘用車をもつ者に對してはタイヤ割當證が與へられまた然らざる場合と雖も申請者がタイヤ割當なき場合不當な困難が生ずることを證明し得た時にもこれを下附することとした、この後者の規定によつてタイヤ割當はかなり緩和されることにならうとみられてゐる

米國再轉換聲明

――「戰爭から平和へ」――

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝戰時動員再轉換局長官スナイダーは大統領トルーマンに對し「戰爭から平和へ」と題する報告を提出、對日戰終了に伴ふ米國の産業再轉換計畫を要旨次の通り說明した

△經濟計畫の立案

「軍需注文の大部分が突然停止される結果、米國の經濟に直接的且つ大規模の混亂が起るのは不可避である、然しながら米國は再び長期に亘る大量失業時代には復歸しないであらう、卽ち米國はその生産力を平和時の必要とする物資並びに勞務の生産にふり向けんとしてゐるからである、しかもこれらに對する需要は國內においてもまた海外においても戰時中充されなかつたのであり、米國の生産力は今後一定期間これら物資の生産に忙殺されよう、米國の經濟計畫は解放地域における急を要する需要を無視しては立案することが出來ない米國はこれら解放諸國が平和と秩序とを維持するためばかりでなく、繁榮する世界經濟において再び物資供給者並びに需要者としての地位を取戻すために必要とする最少限の物資を補給するといふ役割を演じなければならない、米國産業再轉換の主要項目は次の六つから成る

一、試驗並びに發明のため及び陸海軍兵力維持のために必要なものを除きあらゆる軍需注文は卽時取消されることとならう、陸軍省は旣に飛行機、火砲、彈藥その他武器の發注を九四%から一〇〇%削減する措置を講じてゐる

二、陸海軍の大量復員、現在陸軍は一月十七萬の割合で復員してゐるが、この數は數ケ月後には五十萬に達しよう

三、勞働に對するあらゆる戰時統制は撤廢さるべく、一週四十八時間の勞働制も直ちに廢止されよう、失業者は現在百十萬だが、これは三ケ月後に五百乃至それ以上となるべく、明春には多分八百萬に增加しよう

四、生産並びに配給に對する戰時諸統制の多くは直ちに撤廢されよう、しかし生産促進、隘路打破、物資死藏防止並びに經濟の安定を維持するに必要な統制措置のみは今後も依然として存續されよう

五、最高價格制度が脅されない限り團體契約制度は復活されよう、インフレの危險を防止するために物價並びに家賃に對する最高價格制及び賃金安定措置は存續されよう

六、左に揭げる多くの立法が必要である、失業保障制度の擴張、最低賃金を增加するための公正勞働水準の改訂、生産を刺戟し、市場を維持するための稅制改革、公共事業の計畫並びに遂行のための豫算支出、過渡期における聯邦雇傭制度に對する適當な豫算の支出

△輸出許可制は存續

外國貿易に對する戰時諸統制措置は僅かに限られた範圍內においてのみ存續されよう、卽ち多くの商品に對する輸出許可制は今後も存續されなければならない、今後海外に輸出される物資の大部分には優先主義を摘用する必要はあるまい、然しながら解放諸地域における緊急の必要を充すための物資にたいしては依然として優先主義が摘用されよう、歐洲における本年の收穫は去年に比し一〇乃至一五%に過ぎないと豫想され、現在においても數百萬の歐洲人は割當制度によつて一日二千カロリーといふ最低の食糧を得てゐる狀態である軍需が減少する結果これら窮境におかれてゐる國國に對する物資の輸送は若干增加しよう、しかも輸送設備、機械その他のこれら諸國に對する供給も增加しよう

武器貸與に對しては目下全面的な檢討が加へられてをり、軍隊の駐屯する諸國並びに復員の行はれてゐる諸國に對する貸與以外あらゆる武器貸與品の輸送は停止されることとならう

米國本土內におけるあらゆる檢閱制度は廢止された、しかしながら本土以外の諸地域における陸海軍の統制下にある檢閱のみはしばらく存續されよう

昭和二十年八月二十日(月)
第三五一九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【原子爆彈】

チヤーチル聲明

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電=チヤーチル前首相は十六日下院における演説において原子爆彈につき次の通り言明した

「ニユー・メキシコにおける原子爆彈の實驗は夢想だに出來なかつた程の成功を收めた、但し余は原子爆彈の祕密をいまのところソ聯その他の如何なる國にも明さぬといふことに、トルーマン大統領と完全な意見の一致をみた、それは米英兩國の單なる希望ではなく、寧ろ全世界のためである、原子爆彈を使用すべきでなかつたといふ意見があるが、余はさう思はない、日本との戰において更に百萬の米國人の生命と二十五萬の英國人の生命を犧牲に供するよりは寧ろ原子爆彈を使用するにしくはない、余とトルーマン大統領とはポツダム會談において從來と比較にならぬ威力を有する爆彈を日本に對して使用するとスターリン議長に傳へておいた」

國際的意義を指摘

(チユーリツヒ十六日發)ロンドン來電=英國内では原子爆彈の出現は將來における一切の戰爭を終熄せしめるものだとの樂觀的見解が行はれてゐるが新聞界はかかる見解に對し十六日次の通り警告を發してゐる

「人々は過去における新兵器の場合と同樣今度の新爆彈に對しても次第に慣れつこになるだらう、人間の持つ發明の才は今度の發明を最後として枯渇することはあり得ない、次に原子爆彈のもたらす國際的意義だ、原子爆彈が目標地區内三平方粁にある一切の地上施設を壞滅するにも拘らず、地下施設にはさしたる作用を及ぼさないことは既に一般に考へられてゐるが、英國の闘心はむしろこれが軍事的、經濟的並びに心理的見地から日本に與へた影響に注がれてゐる、專門家は既にこの新兵器が重大な國際關係、特に米英對ソ聯の關係を緊張せしめるに至らうと述べてゐる程でソ聯は米英兩國が現在どの程度の原子爆彈を保有してゐるか恐らく報告されてゐまい、モスクワ放送が十四日原子爆彈を評して劃期的發明を讃めたきりでそれ以上何も言はなかつたのは意味深長だ」

歴史の變革を豫想

(リスボン十六日發)「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙は七日の紙上で原子爆彈について次の通り述べてゐる

「原子爆彈に關するトルーマン大統領の發表は恐らく今次戰爭を通じて最も重要な物であると同時に戰爭を超越した人類史にとつての運命的な發表である、軍隊の勝敗、國民の運命、國家の興亡等は全て歴史の表面に生じた漣に過ぎない、併し乍ら原子の認知し難いエネルギーを實際的に解放した事は歴史を根底から震撼せしめるものでなければならない、この科學研究の驚異的勝利は目下のところ純然たる破壞上の目的にある、それは國際政局並びに戰爭の歸趨に深刻な影響を與へねば止まない、併しながら一步進めて破壞兵器の新たな源泉として直接利用され得る原子が存在するといふことは更に深刻な革命的可能性を拓くものだ、われわれはこの恐るべき自然の神祕への新たな前進を可能とした好奇心と叡智とが自己破壞以外の他の目的に利用されることを希望して止まない

人間の良心に烙印

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電=カンタベリー大監督フイツシヤー博士は十六日上院において原子爆彈につき次の通り述べた

原子爆彈によつて一擧に五十萬の民衆が死傷したといふ事實によつて人間の良心が烙印をつけられたと考へないものはあるまい、人間の良心がこの傷手から容易に恢復するとは思はれないしかし他面、原子爆彈は窮極において多數の人命と苦痛を救つたことになる、積極的な正義を慈悲と兄弟愛の力のみが人間の手の中に落ちた原子爆彈といふこの恐るべき力を制限しうるだらう



ポツダム會談の未決定事項

「ニューヨーク・タイムズ」紙記者ジェームス・レストン　八月五日特電

△未解決の四問題

ポツダムにおける三頭會談では、國際的に重要な若干の政治問題が協議されたが、つひに滿足すべき解決が得られなかつた、次にあげる四問題はこれら未解決事項の主要なものと解される

一、イラン撤兵問題

英國代表は目下イランに駐屯してゐるあらゆる外國軍隊の撤收問題を提起した、しかしながらイラン政府が要請してゐるやうな各國軍隊を即時撤收することについては何らの取極めも成立しなかつた

一、ダーダネルス通過問題

黒海と地中海とを繋ぐ海峽の船舶通過を規定するモントルー條約の改訂問題はソヴエト代表によつて提起されたらしい、しかし會談終了後の三國政府の發表にはこの問題は全然觸れられなかつた、結局、この問題の解決は黒海沿岸諸國並びに米英ソ佛重慶五國外相會議に委ねられることとならう

一、イタリア領土處分問題

ソヴエト代表はイタリア植民帝國の一部を新國際機構の信託統治制下におくことを提案し、ソ聯並びにその他の重要聯合國がこれ等の領土の統治に關して共同の權限を得べく要求した、しかるに三國政府の發表はこの點について「舊イタリア領土の處分は、イタリアとの媾和條約締結に關聯して決定さるべき問題の一つである」と述べてゐるに過ぎない

一、シリア、レバノン問題

ソヴエト代表はシリア、レバノン問題解決のため、米英ソ佛の四國會議の開催を提唱したが、米英兩國代表はこれに反對した

△イラン撤兵問題

イラン政府は歐洲戰の終了とともに、同國領土内に駐屯してゐる米英ソ三國軍隊の撤收を要求した、イラン政府はその要求において、聯合軍がイランを占領した目的は聯合軍の側面を擁護し、ドイツ勢力の滲透を防ぎ、ペルシヤ灣を通じてソ聯に軍需物資を輸送するにあつたのだから、既に占領の必要はなくなつたわけだと主張した

イラン政府のこの宣言に基き、英國代表はこの問題を三國會談に提起した、この際協議の對象となつたのは、一九四二年一月二十九日に成立した英、ソ、イラン三國協定であり、この協定によつて英ソ兩國はドイツ及びその同盟國との戰爭が終了後六ケ月間は、イラン領内に軍隊を駐屯させ、イランの交通運輸機關を使用し得る權利を獲得した、イラン政府の見解によれば、日本はドイツの同盟國ではないのであり、されば外國軍隊は現在直ちに撤收すべきだといふのである、かかる見解があらゆる方面において認められてゐないことはいふまでもない、かくてポツダム會談の發表にはこの問題は一言も觸れられず、從つて卽時撤兵について三國間に何等かの取極めが行はれたと見ることはできない、一方イランに駐屯する米國軍の兵力は一時三萬名以上に達したが、現在ではその數は數百名に減少してゐる

△ダーダネルス通過問題

三國會談において米國は、他國によつて提起されない限り、ダーダネルス海峽航行權並びにモントルー條約改訂問題は協議さるべきでないとの方針をとつた、この問題が三國會談でいかに扱はれたかについては情報が依然として少いが、これがソヴエト代表によつて持ち出され、若干の協議の上、後日の解決に持ちこされたことはたしかである、モントルー條約の規定によれば、トルコは平時たると戰時たるとを問はず、海峽を通過する軍艦及び一定の級に屬する商船の行動を支配する權利をもつてゐる、三國會談においてソヴエト代表が米英兩國代表に明かにしたソ聯の主張は、ソ聯を含む黒海沿岸諸國には戰時平時の別なく、トルコは勿論その他いかなる國の干渉をも受けず、商船及び軍艦を海峽を通じて航行せしめ得る權利が與へらるべきだといふにあつた

一九三六年七月に成立したモントルー條約は、トルコが海峽地帶を軍事化、要塞化する權利を認め、さらにいかなる國も平時には一萬噸以上の軍艦、潛水艦、航空母艦を通過せしめ得ず、一方戰時においてトルコが中立國の場合には、トルコはあらゆる交戰國軍艦の海峽通過を禁止し得ることとした、ソ聯がこれらの制限を喜ばないのは當然である、ソヴエト代表はモントルー條約が存在した結果、今次大戰において聯合國がソ聯への物資補給に多大の障碍を受けたこと、並びに黑海沿岸からドイツの占領地帶に攻撃を加へる聯合軍の戰力を弱小ならしめたことを指摘した、さらにソ聯は、いかなる國と雖も歐露と外洋とを結ぶ通路の自由通過を妨げるごとき權利を持つことに反對し從つてダーダネルス海峽とかキール運河とかの通路の開放を要求するのである

△イタリア領土處分問題

ソ聯がイタリア領土のいかなる部分を國際新機構の信託統治下におかんとしてゐるのかは明かでない、しかし米英兩國が希望してゐるドデカネーゼ諸島をギリシヤに割讓することには反對で、ダーダネルスからエーゲ海を通ずる船路の要衝を扼するこの島を國際化せんと企圖してゐるやうだ、イタリアがエーゲ海及びアフリカにおいて有する領土(ソマリランド、エリトリア、リビア)を全部剝奪することについては米英ソ三國間に全般的な意見の一致を見てゐることは明かである、しかしボツダムにおける協議にもかかはらず、これ等の領土の戰後支配者を誰とするかについてはいまだ意見一致してゐない、英國はドデカネーゼ諸島をギリシヤに與へることは贊成だが、英國の支配するキプロス島をギリシヤに讓ることには斷乎反對してゐる、リビアに關しては同地が英國の勢力範圍たるエジプトとフランス領のアルジエリアとを隔てる樞要の地であり、これが敵性國家の支配するところとなつて、今次大戰におけるがごとく地中海の南岸を擁護し、地中海を通ずる東方への生命線を維持するために再び沙漠戰を演じなければならぬやうな事態の發生を防止するために最大の關心を持つてゐることは明かなことだ

これを要するに、ワシントン政界ではトルーマンが三頭會談では祕密取極めのごときは何一つ決定されなかつたとの言明を眞實として受けとつてゐる、しかしその反面、三頭會談で協議されたすべての重要な政治問題が悉くは會談終了後の聲明に現れて來なかつたといふことも事實である、この聲明がもし三頭會談の協議した全部の問題にふれたならば、聲明はさらに數千語も長いものとなつただらう、結局、三頭會談は東歐洲に關する限り殆どすべての問題を解決したが、西及び南歐洲並びにアフリカにおける多くの極めて重要な問題は解決の緒をも發見できなかつたといふことができよう

「何處から何處へ」

「タイム」誌七月九日號

サンフランシスコが前進を齎したとは萬人の言だ、しかしながらどの程度にどの程度の進歩が何處から何處へ齎されたのだらうか、國際憲章はダンバートン・オークス案の岩塊にスペイン苔のやうな美辭麗句をつけただけのものだらうか、またそれは世界を立派な世界管理の下に導くものであらうか、實はダーバートン・オークス會議の原案から生かされたものは桑港憲章の僅か二五%にすぎないが、その二五%は依然憲章の背骨をなし、新聯合國機構の樞軸をなしてゐるのである、だが重要な變改も數多くあつた、その大部分は機構の目的並びに原則の宣言及び戰爭の潛在的諸原因を處理すべき救濟的諸機能においてみられたのである、これらの諸規定において、憲章は眞の國際諸目的に向つて眞の前進を遂げたのであつた

大國支配は未だ少しも傷つけられることはなかつた、この事實に關心を有する人々は經濟社會理事會とか目的及び原則に關する宣言の如き規定を單なる慈善的寬容にすぎないとみてゐる

だがそれだけではなかつたのだ、憲章に救濟的な部面を設けたことにより、聯合國はそのままならばいかなる世界機構の效果的な機能をも許さないに違ひないやうな世界環境を、いつかは變ずるやうになるかもしれない、米國の一代表はこれについて次のやうに語つた

強制機構はそれが最も必要なるべき場合、即ち大國間に紛爭が生じた場合には勿論役に立つまい、安全保障理事會も合同軍事參謀委員會も單にそれだけの芝居の舞臺にすぎない、新憲章の新骨項は諸國が共に追究し得る建設的諸目標を設定したといふことにある、安全保障理事會は權力があまりにも集中されてゐるといふ點で完全ではない、總會はエル・サルヴアドルやリベリアにまで米國や英國と同じ表決權を與へてゐるといふ非現實的な點に缺陷がある、かかる諸缺陷は世界に諸種の改善を可能ならしめるに足る變化が齎されない限り、訂正されないであらう、しかも世界は新憲章の救濟諸規定が實行され變化を齎さない限り變化しないのである

△幾多困難の崩芽

ダンバートン・オークス案には全然前文がなく正義なる言葉も殆ど使用してゐなかつた、しかるに、新憲章は原則的辭句を並べた前文を有する、恐く寬容、自由、平等、人類の尊嚴、生活水準の向上等にたいする信念の確認を輕蔑した犬儒主義者達は、全經濟社會計畫が米國憲法の「全般的福祉の促進」なる字句と同じく漠然たる字句に基いてゐる事實を忘れてゐたのであらう、著しく膨脹した目的並びに原則の一章は、法の目的の一つを民族性、乃至宗教に差別なき全人類に對する人權並びに基本的自由の促進にあることを宣言してゐる、但しこの章の中には重大な保留がある卽ち實際に國際平和が破られ乃至その危險ある場合に非ざる限り聯合國は加盟國の國內司法權の範圍內の問題には干涉しないといふことである

憲章は諸國間の平和的友好的關係を維持するために平隱と幸福の諸條件が必要なることを認め、かかる諸條件を生み出すための責任ある諸措置を定めてゐる、この計畫を實施するために總會は經濟社會理事會信託統治理事會並びに諸國政府間の協定により設置さるる特殊機關を監督する、經濟社會理事會は國際會議を召集し、規約を起草して總會に提出する權限を有する、實業勞働團體の如き非政府機關とも直接定期的に協議することが出來る、非獨立領のための信託統治理事會は被統治者の最高の利益を認知する原則宣言を指針とする統治國は信託統治領における自治（必ずしも獨立ではない）の促進を誓約してゐる、かかる保障は理事會にまだ保護すべき領土がない以上單なる理論に止まるが、その活動開始は刮目して待つべきものがある、憲章は將來の修正についても規定を設けてゐる、十年目になれば總會並びに安全保障理事會の半數をもつて憲章修正會議を召集することが出來る、但し修正には五大國全部の承認が必要だ、もし五大國が依然大國の地位を保ち、同じ心境にあるとすれば、一九五五年になつてみたところで今の憲法の修正は困難であらう

物質主義から精神主義へ

（リスボン十六日發）ボストン來電＝「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙は評論家アートウイン・カンハムの「最後の勝利」と題する論評を十六日の紙上に揭げてゐるが要旨左の通り

「今次戰爭の初めに米國は平和を獲得することに非常な責任を感じたが戰爭終結後の今日直ちに平和を獲得するために米國は更に重大な國際的責任を有する譯だ、我々は今日まで體驗して來たより更に大きい試煉の時期に入らんとしてゐる

我々は結束と愼重な態度を戰爭中と同樣に今後も持續して行かねばならぬ、結束と平等とは米國が將來も維持して行かねばならぬ二大項目だ

原子爆彈實驗はニユー・メキシコの荒野で行はれ日本々土に對して使用された、今後之は物質主義から全人類を救ふために使用されるだらう、我我はこの戰爭終結の瞬間においても日本國民に最後の幸福が來ることを希望する、米國民は今や物質主義から離脫して精神主義に復歸する時に逢着した、物質主義が自滅の淵に臨んでゐる現在精神主義こそ唯一つ且つ最善のものなのだ」

昭和二十年 八 月廿一日(火)
第 三 五 二 〇 號

同盟通信 海外電報

(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可 通信發行人 田中正太郎 東京都麹町區日比谷公園三號 社團法人同盟通信社)

科學界の革命兒原子爆彈は同時に外交上における有力な切り札として國際政局に登場した、先づ原子爆彈を戰爭に利用することが人道上正當か否かが基督敎を表看板とする各國で物議の種となつてゐる、ローマ法王廳が「オツサルヴアトーレ・ロマーノ」紙を通じて反對を表明したのは、いふまでもないが、英國内でも相當反對意見が出たと見えて、チヤーチル前首相は八月十六日英國下院における演說でかかる宋襄の仁的議論には與し難いと述べ、原子爆彈を使はずに日本々土上陸作戰を强行する場合には、新たに米人百萬、英人廿五萬の犧牲を覺悟せねばならなかつた、諸君もつて如何となすと大見得を切つてゐる、外交上の切り札として原子爆彈を利用することについては、米國で「ヘラルド・トリビューン」紙邊りが反對を表明し、速かに原子爆彈の祕密を公開して世界の進運に寄與せねばならぬとの大上段から「正論」を吐いてゐるが、同じくチヤーチル前首相の演說によれば、トルーマン大統領とチヤーチルとは「當分」原子爆彈の祕密をソヴエト聯邦には傳授しないことに完全に意見が一致したといふ、そこで問題はソヴエト政府の帝國に對する宣戰布告が原子爆彈の威力に原因するか否かだ、米英兩國内にもかかる觀測が相當有力に流布されてゐるが、チヤーチル英首相は以上の見方に反對し、スターリン元帥との間には久しい以前から諒解が出來てをり、ドイツ軍の降伏後三ケ月以内にソヴエト聯邦が帝國に宣戰を布告する約束だつたといふ、ドイツ軍が五月八日に降伏し、ソヴエト政府が八月八日に宣戰を布告したのは決して偶然の吻合でないといふのがチヤーチル君の言ひ草だ、三ケ月といふ期間はソヴエト極東軍が守勢から攻勢に轉ずるための兵力增强に必要だつたといふのだが、眞僞は後世史家の批判に委ねよう、唯注目すべきことは原子爆彈の理論が分つても、尨大な生產施設によつて理論を實際化することは容易なことでなく、この點で米國は世界何れの國よりも三、四年先進してゐるとチヤーチルが述べてゐる點だ



【目 次】

日本占領方式を發表……二三一二
支那代表マニラ着……〃
新西蘭も調印に參加……〃
英軍上陸は捕虜解放のため……〃
上海の聯合國人解放……〃
日本占領軍に關する米紙の論調……〃
【支 那】
朱德、對蔣提議……二三一三
國共抗爭、米紙の論調……〃
廣州灣租借地を返還……〃
重慶東亞市場進出を企圖……〃
中ソ條約で重慶强化……二三一四
宋子文、トルーマンと會見……〃
民政擔當者を任命……〃
【英 帝 國】
濠洲の役割增大を要求……〃
【米 國】
二國務次官補辭職……二三一五
再轉換計畫發表……〃
海軍々需契約六十億弗解除……〃
武器貸與計畫繼續を主張……〃
鋼、銅、アルミの統制撤廢……〃
ハワイ戰時統制撤廢……〃
勞働再轉換七項目……二三一六
七月中の勞働力……〃
陸軍關係施設積極的に市民を雇傭……〃
歸還軍人を採用……〃
アンラ理事會採擇……〃
グルー日本管理局を擔當か……〃
【歐 州】
ギリシヤ内閣組閣完了……二三一七
瑞西、伊太利經濟協定成立……〃
諾威で民政開始……〃
駐蘭、米英大使着任……〃
蘭印に軍隊派遣……〃
アイゼンハワー伯林歸還……〃
西假政府大統領就任……〃
聯合軍々事使節團マニラ着……二三一八
タス、米紙報道を否定……〃
フレーザー、第三艦隊へ來着……〃
本土周邊作戰艦隊全勢力を發表……〃
【特 輯】
ペタン公判(五)……二三二〇
【資 料】
英國輸出貿易と勞働力……二三二二

分割統治は行はず
——日本占領方式を發表——

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝トルーマン大統領は十六日新聞記者團と會見、對日戰終了に伴ふ聯合軍の日本占領方式その他に關し次の通り言明した

聯合軍の日本占領の期間には何等の制限なく日本人が具體的に平和愛好の國民である事を示す迄續けられよう、日本がドイツの如く分割されて統治されるやうな事はあるまい、日本の狀態は歐洲とは全く事情を異にしてゐるのであり聯合各國軍の占領地帶を設定する必要は認めない日本占領軍は各國軍隊によつて組織されるがその最高司令官はマツカーサー將軍である事を示す、マツカーサー將軍にはその占領任務を遂行するために政治顧問が配屬されよう、ポツダム會談では朝鮮の問題も協議されたが、カイロ宣言通り朝鮮はやがて自由な獨立國家として誕生しよう、香港の處分についてはポツダム會談では觸れなかつた

支邦代表マニラ着

（リスボン十九日發）マニラ來電によれば休戰協定調印に參加する支那代表徐永昌一行は十八日朝重慶より空路マニラに到着した、一行は徐永昌のほか陸海軍將校一名、米、濠、支三國新聞記者十二名である

新西蘭も調印に參加

（リスボン十九日發）ウエリントン來電＝ニユージーランド首相ピーター・フレーザーは十七日次の通り發表した

日本軍との調印にはニユージーランドを代表して空軍參謀總長中將L・M・イジツトも參加する、調印の際には、ニユージーランド海軍艦艇一隻が英海軍に所屬して日本領海に入る豫定である

英軍上陸は捕虜解放のため

（リスボン十九日發）ロイター通信社の報道によれば英國はしるしばかりの機動部隊を日本々土に派遣、海兵並びに水兵を上陸させるが、英上陸軍の主な目的は英軍捕虜の解放にあるといはれる

上海の聯合國人解放

（リスボン十九日發）ロンドン來電＝スイス政府は英國政府に對し次の通り通告した

上海に抑留されてゐた六千八百六十五名の聯合國人は八月十五日正式に解放されたがこれらは聯合軍部隊の到着まで收容所に留まるに決した

日本占領軍に關する米紙の論調

（リスボン十九日發）ニユーヨーク來電＝米國軍の日本占領に關聯し十六日ニユーヨークの主要新聞の論調要旨をみるに次の通りである

△「ニユーヨーク・タイムズ」紙社說

日本派遣聯合軍最高司令官としてマツカーサーを選任したことは自然であつて、他には殆ど適任者がない、マツカーサーは軍事的手腕の他に、一般人民の指導者と交涉し且つ非戰鬪員の見解を尊重する上で大抵の軍人よりも優れた能力を有してゐる、この事實は日本の武裝解除と一般國民の嚴重な管理といふ二つの問題を解決し、且つその解決を米國及び世界の輿論からみて妥當ならしめるためには重要な條件である、マツカーサーが日本代表者を呼び寄せたことは第一着手として好適であつた、それによつて日本國民就中その指導者達に、日本が單に戰爭において一時的に後退せしめられた位の生やさしいものでないとの事實並びに日本が參加を許される最後の戰爭において敗北したといふ苛烈な事實を印象づけようとしたものであつた

△「ワールド・テレグラム」紙社說

軍事的占領が米國の民主々義的生活理念と背馳するといふ事實こそ、ドイツ及び日本における米國の占領を成功に導く因子とならう、占領軍の成功は今日なほ試驗的なものにすぎないところの勝利を完全ならしめる途である、もし失敗すればわれらは勝利を得たのでなく單に休戰を得たにすぎないこととならう

昭和二十年八月廿一日(火)
第三五二〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【支那】

朱德、對蔣提議

(リスボン十八日發)延安放送局が十八日傳へる所によれば、第十八集團軍總指揮朱德は重慶軍事委員長蔣介石に對し日本軍との休戰工作に關して商議したいと打電し次の條件を提出した

一、在華日本軍各部隊は現實にこれと對陣してゐる中國軍隊に降伏すべきこと

一、休戰交涉並びに媾和會議には延安代表が參加すべきこと

一、協力政府を樹立し政治的改革を斷行すること

右第一項は中共軍があくまでその進出地域における日本軍と單獨折衝し、特に日本軍より武器の引渡しを受け、且つ日本軍駐屯地域を接收しようとするもので、さきに蔣介石の下した命令を全面的に拒否したものである、又第二項は中央政府以外の團體に資格を認める形式を取る限り重慶政府及び聯合國政府に於て難色があらう

第三項は延安政權の持論にあり渝延抗爭の主要因子となつてゐるものである、蔣介石は去る十五日中共政治局主席毛澤東に對し時局收拾のため重慶に代表派遣方を要求したが、右朱德の電報はこれに對する回答とも見られ渝延の主張に依然相當の開きあることが看取される

國共抗爭、米紙の論調

(ストツクホルム十八日發)第十八集團軍總指揮朱德が重慶軍事委員長蔣介石の命令に抗拒し、日本軍との接收工作につきあくまで單獨行動に出るとの態度を堅持してゐることは國共衝突に新たな因子を加へたものとして外國でも注目してゐる、特に十七日ニューヨーク來電によれば、同日の「ニューヨーク・タイムズ」紙は中國に內亂の兆があるとして大要次の通り論じてゐる

「中共は公然蔣主席及びその政府に對して謀叛の態度に出て、蔣主席の命令に抗拒してゐる、中共のかかる反抗態度は新たな中國內亂の脅威を有するのである、延安政權は重慶駐劄米英ソ各國大使に對する通告を發し、日本の停戰交涉に延安代表の參加を認めなければ如何なる條約、協定、議定書も延安の同意しないものに對しては異議を挾む權利を留保する旨發表した、これは主要關係國にとつても重大關心事で同關係國が中國內における中央政府以外の別派を相手とするとなれば關係國內でも同樣の事態を誘致することになり、ひいて聯合國の全信用を破壞することになるからこれは出來ぬ相談である、時恰もソ聯、中國間に友好同盟條約が締結され東亞における重大問題の一つが解決されたことは注意すべきである」

「タイムズ」紙が中ソ友好同盟條約に觸れたのはこれによりソ聯は延安派の反重慶的行動を支援するやうな非友誼的態度には出まいとの期待を意味するものと解される

廣州灣租借地を返還

(リスボン十八日發)重慶來電によれば重慶及びフランス兩國代表は十八日廣洲灣租借地返還に關する協定に調印した、これにより、フランス政府は同地方面一切の附屬接收を何等の代償もなく放棄した

廣州灣租借地はさきに我國が逸早く軍事占領を解き南京國民政府に對して無條件委讓を了したもので、重慶、フランス間の協定は單に形式手續に過ぎぬ

重慶東亞市場進出を企圖

(チユーリツヒ十六日發)重慶來電=重慶政府經濟部長翁文灝は十六日外人記者と會見しつぎの通り語つた

戰後滿洲及び臺灣の回復が實現すれば勿論支那は日本に代つて東亞市場における工業製品の主たる供給者となるであらう、支那としては自國の生糸と印度產棉花及び綿製品の交易を通じて對印通商關係を强化する方針であるが、それはかりでなく國際通商の全分野に亙つて主たる役割を占めたいと考へてゐる、われわれは輸出入双方を通じて世界經濟の繁榮に寄與する所存である

中ソ新條約で重慶強化

（ストツクホルム十八日發）ソ聯中國間の友好同盟條約はソ聯政府により中央政權としての重慶政府再確認の意義を有し延安政權に對する重慶の立場を強化したものとの觀測が多い、「ワシントン・ポスト」紙も十七日の社說においてこの點を強調し大要次の通り論じてゐる

中ソ友好同盟條約の締結は時あたかも蔣介石が對中共問題で手を燒いてゐる所であるだけに蔣の立場も强化することとならうから極めて有意義である、新條約はソ聯が渝延の抗爭において延安側に加擔する意思なく重慶政權をもつて全中國の正統政府と認めるとの合意を有するのではないが、果してこれが事實であり且つソ聯が本條約の結果として米英兩國とともに國共紛爭の解決に乘出すとすれば危險極まる事態は回避されよう

宋子文、トルーマンと會見

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝モスクワからの歸途ワシントンに到着した宋子文は十八日白堊館を訪問、トルーマン大統領と一時間半にわたり會談を遂げた、會談にはバーンズ國務長官も參加した、宋子文はヴインソン財務長官とも會見の筈

民政擔當者を任命

（リスボン十七日發）重慶放送局十六日の報道によれば、國民政府は南京市長馬超俊、上海市長錢大鈞以下舊和平地區內十二市區の市長その他の民政官を任命した、一方延安政權も舊國民政府管下の重要地區を實力接收しようとしてゐたが、重慶政府當局も先制接收の方法につき焦慮してゐる樣子だが、重慶UP電によれば新上海市長錢大鈞は今後の見透しにつき次の通り述べてゐる

目下中央軍約一ケ師が上海附近で日本軍との交替のため待機してゐる、共產黨員が上海に滲透したが大した問題を惹起しないことと思ふ、自分が何時上海に赴任するかはまだ不明で、マツカーサーの代表が支那へ來るのを待つてゐるところだ

同じくUP電によれば第十八集團軍總指揮朱德は十五日、日本側に對し軍關係の接收工作は第八路軍及び新四軍等共產軍を相手とするやう意思表示を行ひ飽く迄中央軍とは別個の單獨行爲を取るべき態度を示してゐる

王世杰歸國

（リスボン十七日發）モスクワ來電＝重慶外交部長王世杰は十七日モスクワを出發重慶に向つた

【英帝國】

濠洲の役割增大を要求

（リスボン十八日發）キヤンベラ來電＝濠洲首相ジョセフ・チーフリーは和平商議における濠洲の役割の增大を要求して十七日次の通り述べた

「濠洲政府は濠洲のこれまでの戰爭努力が和平商議において十分な承認をうけてゐないと考へる、濠洲が終局の勝利のために果して非常に重要な貢獻とよく釣合ひのとれた地位を平和條件決定の場合に獲得するべきである、濠洲戰時內閣は英國に對し陸海空軍からなる濠洲軍混成部隊が日本占領に參加するために提供されようと通告した、この部隊は既に英國太平洋艦隊に附屬してゐる濠洲艦船及び陸軍二ケ旅團空軍二ケ中隊である、また政府は東南太平洋地區の指揮においても英國と責任を分擔すべきことを提案した、卽ちボルネオとその東方にあるナウル島を含む日本軍占領地域に對する第一の責任を負ふべきことを提案した、また政府はシンガポールとマライの再占領に參加することを希望し、マライ地區の降伏には代表を派遣するであらう」

戰時統制を廢止

（リスボン十八日發）キヤンベラ來電＝濠洲首相ジョセフ・チーフリーは十八日次の通り發表した

政府は更に三十七の戰時統制措置を廢止し、勞働力管理の若干を緩和することに決定した、廢止される統制措置は運輸、小麥、酪農品の生產並びに小麥粉の製造その他に關するもので、勞働力管理の緩和は鑛山、化學、石油、肥料、衣料、纖維、木材等の諸工業部門が許可を受けずに直接勞働力を確保出來る樣にするためである

昭和二十年八月廿一日(火)
第三五二〇號
日盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

二國務次官補辭職

(リスボン十七日發)ワシントン來電＝バーンズ國務長官は着々國務省首腦の更迭を斷行してゐるが、白堊館當局は十七日、國務次官補のアーチボルド・マクリーシュ、J・C・ホームズの兩名が辭職した旨發表した、マクリーシュは文化情報關係、ホームズは國務省の事務關係擔當の次官補だつた

再轉換計畫發表

(リスボン十六日發)ワシントン來電＝戰時生産局長官クルーグは十五日軍需産業の民需産業への再轉換に關し詳細な計畫を發表した、産業の混亂を防止し、失業を防ぎ經濟の安定を維持するに必要なもの以外政府の戰時諸統制を出來るだけ撤廢することをその趣旨としてゐるが、要點次の通り

一、軍需注文は極く少數を除き今後數週間以內に全部取消しが行はれよう
一、戰時産業建設統制を緩和し、尨大な産業建設計畫を樹立す
一、自動車その他耐久民需物資に對する生産制限の撤度
一、錫、生ゴム、繊維類、木材等不足物資に對する統制はその不足狀態が克服されるまで存續されよう
一、物資死藏防止に關する統制はこの危險が除去されるまで存續されよう
一、中小商業(一半期の事業費五萬弗以下)に對する保護は軍需生産削減の影響が具體的に判明するまで繼續されよう
一、戰時生産局は隘路を打破し、軍需、民需、輸出用として緊急必要とする物資を生産する權限を保持しよう
一、戰時生産局は物價管理局、戰時人的資源委員會その他機關とともに不足を告げてゐる民需品增産に努力しよう

海軍々需契約六十億弗解除

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝海軍省は十五日夜總額六十億弗に達する海軍々需契約の解除を發表した、右契約削減は戰後の海軍必要資材量に應じた生産態勢をとるためで、同時に原料資材と勞力及び生産施設を民需生産へ解放する意圖から出たものと說明してゐる、なほこの種軍需契約解除計畫はすでに數ケ月前から樹立されてゐたとつたへられる

武器貸與計畫繼續を主張

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝戰爭終了に伴ひ今後米國の武器貸與計畫の存續如何が注目されてゐるが、外國經濟院總裁レオ・クローリーは十五日「一部海外諸國が米國に提供してゐる原料およびサーヴイスに關する支出負擔を補ふため武器貸與計畫を繼續する方が望ましい」との意見を表明した

鋼銅アルミの統制撤廢

(リスボン十八日發)ワシントン來電＝戰時生産局は十七日夜鋼、銅、アルミニユームの生産使用に對する一切の統制措置を撤廢する旨發表した、右により民需品生産のため以上の三品目を自由に使用出來ることとなつた

戰時檢閱局廢止

(リスボン十九日發)ワシントン來電＝戰爭終了と共に戰時檢閱局は廢止と決定したが、大統領トルーマンは十八日戰時檢閱局長官バイロン・プライスに對し次の三事項の實施方を指令した
一、國內における新聞、ラジオの任意檢閱制を廢止すること
二、戰時檢閱局は一切の國際通信に對する檢閱を撤廢すること
三、戰時檢閱局廢止手續に必要な少數の者を除く爾餘の全員に對し解雇前三十日の豫告期間を與へること

ハワイ戰時統制撤廢

(リスボン十七日發)眞珠灣來電＝中部太平洋司令官中將リチヤードソンはハワイ諸島における戰時諸統制を全部撤廢するやう十七日指令した

勞働再轉換七項目

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝戰爭の終結に伴ふ軍需生産の停止によつて米國における失業者は本年十二月中旬までに六百萬に達すると豫想されるが、戰時人的資源委員會はこの失業者の洪水を最少限にくひとめるため、十五日七項目から成る勞働再轉換計畫を發表、その至急實施を全米一千五百の聯邦雇傭機關支部に司令した、七項目の要旨次の通り

一、戰時の勞働諸統制を全部撤廢し、これを地域的かつ任意的な措置をもつて代位する

一、再轉換による勞働者の再雇傭を促進するため戰時人的資源委員會地方支部は勞資の協力のもとに各地域別に失業勞働者並びに歸還將兵の數を調査する

一、緊急の事態に應ずる暫定的措置として軍需勞働者の民需生産への任意的轉業

一、聯邦雇傭機關のあらゆる便宜を雇傭者の利用に提供する

一、歸還將兵の就業に對する援助を擴張する

一、失業勞働者に對する諮問斡旋機關の活動を強化する

一、失業軍需勞働者が民需生産における職場を發見するための援助事業の擴張

七月中の勞働力

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝政府の統計局は十七日次の通り發表した

七月における米國の勞働力は二十歳以下十歳以上の少年少女が暑中休暇とともに勞働市場に這入つて來た結果、五千三百七十五萬名といふ新記錄を出した、七月は勞働力に加はらず各自の家庭勞働に從事する婦人が增加し初めた、第二ケ月目に當りその數は依然增加を示したが、これは歐洲戰終了の反動によると思はれる、七月における勞働力不參加者數は三千九百三十六萬名で、六月に比して四十七萬名の減少であつた

陸軍施設積極的に市民を雇傭

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝陸軍省は十四日對日戰終了後一般市民を最大限に全米の陸軍施設で雇傭し、それによつてこれまでの將兵が行つてきた仕事を引受けさせる方針なる旨發表した、この結果今まで兵隊が爲してゐた軍政關係の仕事や事務は各司令部、支隊その他兵營、兵器廠など陸軍關係施設に使はれる一般市民の手に移りこれにより、要らなくなつた將兵は軍事能力の必要な仕事やどうしても軍人でなくてはならない方面に振向けることとなつた

歸還軍人を採用

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝文官委員會は十六日、同委員會の管轄權限内にある官職への就任志願は歸還軍人からのみ受附ける旨發表した、今回の措置によつて官廳の缺員は凡て歸還軍人か若しくは聯邦政府における他の職を離れようとする者又は既に離れた者によつて充たされることとなつた

アンラ理事會採める

（ストツクホルム十七日發）ロンドン來電＝第三次アンラ理事會に參加中の各國代表は十七日運用委員會の祕密會議が終了した後次の通り發表した

運用委員會は祖國への歸還を拒絶する避難民を援助すべしといふ英國側提案の原則に贊成した右原則は米國の支持を受け、アンラ當局と避難民に庇護を與へてゐる政府との間に結ばれた取極めに基いてアンラに避難民の世話をさせやうとするものであるが、ソ聯、ポーランド、ユーゴスラヴイア、チエコスロヴアキアの諸國は米英兩國の主張に反對し、避難民の世話に關する取極めはアラン當局と避難民の祖國政府との間に結ばれるべきだと主張したが結局、英國の提案が受理され、再起草のためチエコスロヴアキア外相ヤン・マサリツクを委員長とする分科委員會に廻附された

グルー日本管理を擔當か

（ストツクホルム十八日發）ワシントンからのINS電報によれば、國務次官の地位を辭したグルーは日本の行政管理に關する重要任務につく豫定といはれる

昭和二十年八月十一日(火)
第三五二〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐　洲】

ギリシヤ内閣組閣完了

(リスボン十八日發)アテネ來電＝ギリシヤ内閣は十一日成立を見たが十八日に至り一部閣僚が新たに任命され、ここに組閣は完了した、新たに任命された閣僚は次の通りである

首相兼内相　ポール・ヴルガリス
外　相　ジョン・ポリテイス
司法相　ペイル・デイリア・コプーロス
運輸相　マハス大佐
遞　相　クリストス・ルイス海軍大將
情報省次官　ヴアシル・デンドラミス

瑞西、伊太利經濟協定成立

(チューリツヒ十六日發)過般來スイス、イタリア兩國間には經濟協定締結に關し交渉が續けられてゐたが、この程協定成立、去る八月十日ベルンにおいて正式調印をみた、右は兩國間支拂及び貿易關係の規正並びに未濟貸借尻の漸次決濟を規定したもので、スイスがゼノア又はサヴオナ港を自國の貿易に利用することが出來るやうになり次第速かに發效する、スイスは對伊通商關係の促進、イタリア經濟復興の援助を目的として八千萬スイス・フランを限度とするクレヂツトを與へることになつた

諾威で民政開始

(ストツクホルム十八日發)ノルウエーはナチの手から解放されて以來聯合軍々政機關の管理下にあつたが、ルクセンブルク放送はノルウエー政府が九月一日からノルウエーの民政を開始するに決した旨報じてゐる

駐蘭、米英大使着任

(ストツクホルム十八日發)ハーグ來電によれば在オランダ米國公使館は最近大使館に昇格し、最初の大使スタンレー・ホンベツクは十八日空路ロンドンからハーグに着任同時に英國大使サー・ネヴイル・ブランドも着任した

蘭印に軍隊派遣

(リスボン十八日發)ハーグ來電によればオランダ政府は來る九月及び十月に蘭印に對して本國軍の一部を派遣するに決定したといはれ、明年には更に二萬五千の駐屯軍を派遣する意向といはれる蘭印派遣軍は目下英國において訓練を受けてゐる

佛、國際憲章を批准

(チューリツヒ十七日發)パリ來電＝フランス假政府は十七日國際憲章を批准した

ド・ゴール訪米

(リスボン十八日發)ワシントン來電＝米國々務省はド・ゴールが來る二十二日ワシントンに到着大統領トルーマンと會見することになつたと十八日發表した

トルコも國際憲章批准

(チューリツヒ十六日發)アンカラ來電＝トルコ國會は十五日國際憲章の批准を完了した

アイゼンハワー伯林歸還

(ストツクホルム十六日發)モスクワ來電＝ソヴエト政府の招請を受けてモスクワを訪問してゐたアイゼンハワー元帥はジユーコフ元帥と共に十五日ベルリンに歸還した

西假政府大統領就任

(リスボン十八日發)メキシコ・シテイ來電＝共和制當時のスペイン下院議長デイエゴ・マルチネス・バリオはメキシコ・シテイに集合した百名以上のスペイン人代表によつてスペイン共和政府臨時大統領に選擧された、バリアは直ちに就任の宣誓を行つたが、メキシコ大統領アヴイラ・カマチヨはこれに合法性を與へるために右宣誓式の式場となつた市と會堂に治外法權を認めた

聯合軍事使節團マニラ着

（リスボン十七日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部は十七日夜

米國陸軍省、東南アジア軍司令部及び濠洲軍の特別軍事使節團が聯合軍の活動に參加するため到着した

と發表した、以上は日本軍の降伏を處理するため開催される會議に列席するためとみられ、顏觸れは次の通り

△米國陸軍省特別軍事使節團

代將　C・L・ダツシヤー

代將　J・B・スタドラー

△マウントバツテン司令部特別軍事使節團

少將　W・R・C・ペニー

少將　トーマス・S・デインバーマン

空軍代將　W・A・D・ブルツク

大佐　C・T・マイフオード＝スレード

中佐　D・W・B・モーアン

中佐　A・L・ヒツクス

△濠洲軍特別軍事使節團

濠洲地上軍司令官

大將　サー・トーマス・ブレーミー

中佐　D・H・ドワイアー

タス、米紙報道を否定

（リスボン十七日發）「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙は、日本占領軍最高司令官マツカーサー元帥の任命につき、モロトフ外務人民委員とハリマンモスクワ駐劄米國大使との間に意見の衝突がみられたと報じて衝動を捲き起したが、タス通信社は十七日次の通り正式に否定した

ソヴエト政府は日本の降伏申入れを受諾するに同意した際、日本占領に當る聯合軍最高司令官につき取極めに到達してをり、マツカーサー元帥の任命については全然異議をはさんでゐない

從つて「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙の報じてゐるやうに、ソヴエト政府が最高司令官に赤軍將官の任命を要求した事實は全くない

フレーザー、第三艦隊へ來着

（リスボン十七日發）グアム島來電によれば英國太平洋艦隊司令官サー・ブルース・フレーザー大將は戰艦デューク・オヴ・ヨークに坐乘して日本本土沖合の米國第三艦隊に加はることとなり、ニミツツ元帥と會談した後ウエージヤー及びホエルプの兩驅逐艦護衞の下に出發、十七日第三艦隊の位置に到着した

本土周邊作戰艦隊全勢力を發表

（リスボン十七日發）グアム島來電＝ニミツツ司令部は十六日公報第四七號をもつて次の通り發表した

（一）七月十日乃至八月十五日（日本時間）の期間日本々土に對する作戰に參加せる米國第三艦隊の艦艇左の如し

戰艦

マサチユーセツツ　インデイアナ
サウス・ダコタ　ウイスコンシン
アイオワ　ミズーリ
ノース・カロライナ　アラバマ

航空母艦

レキシントン　エセツクス
ベニントン　ハンコツク
ランドルフ　テイコンデロガ
ヨークタウン　シヤングリラ
ボノム・リシヤールワスプ
サン・ハシント　インデイペンデンス
ペロー・ウツド　モンタリー
バターン　カウペンス

巡洋艦

クウインシー　シカゴ
ボストン　セント・ポール
スプリングフイールド　トペカ
アトランタ　デイトン
オクラホマ・シテイ　サンフアン

フリント　サンデイエゴ
パナデイナ　アストリア
ウイルキーズ　バリ
タクソン　オークランド
デユルース
驅逐艦
ド・ヘーヴン　サミユエル・N・ムーア
ジヨン・ロジヤーズ　シユレーダー
コグズウエル　ヒーアマン
サザランド　オールト
ジヨン・W・ウイークス　コロハン
ウエダーバーン　ロウ
ケーパトン　フランク・ノツクス
アートン・ブラツク　マゴワン
ノーマン・スコツト　リーミー
アボツト　ヘイル
ウオーカー　ストーベル
バラード　チヨーンシー
パリソン　マンスフイールド
ライマン　スウエンソン
カレツト　マドツクス
ブラツシ　タウシツヒ
ブルー　マツキー
リングゴールド　ダシエル
インガーソン　クナツプ
イングリツシユ　チヤールズ・S・スペリー
ウオルドロン　マレー
アムステルダム　ハンク
ウオレス　リンド
ボリー　ウオドレー
メルツ　モンセン
マクダーマツト　マクネア
メルヴイン　カツシング
ウールマン　ベナム
トワイニング　ストツカム
スモーリー　ストツダード
ウオツツ　レン
ヒグビー　ベンナー

(二)七月十七日乃至八月十五日の期間第三艦隊と共に作戰せる英國空母機動部隊に屬する艦艇左の如し

戰艦
キング・ジョージ五世
航空母艦
フオミダブル　インプラカブル
ヴイクトリアス　インデフアテイガブル
巡洋艦
ニユーフアウンドランド　アキリーズ
ウガンダ　ガンビア
ブラツク・プリンス　ユライアラス
驅逐艦
グレンヴイル　ウレーニア
クウオリテイ　ラングラー
ターマジエント　アンドーンテド
ユリシーズ　カドラント
ウエークフル　アーチン
クイツクマツチ　トラウブリツジ
タープシーカリ　アンダイン
キベロン　テネーシアス
テイーザー

(三)以上の二戰鬪兵力の他に米英兩國補給艦隊の多數艦艇がこの作戰に參加せり、その任務は快速空母部隊に屬し海上において補給し、これを維持するにあり
これら補給艦隊を構成する油槽船、彈藥船、護送空母、驅逐艦、護送驅逐艦その他各種補給船は補給基地より數千哩を越えて西太平洋の海上諸點まで油脂、ガソリン、彈藥、補充航空機、豫備部分品、郵便物その他多くの物資を輸送し海上において頻繁に空母艦隊と出會せり
これら補給艦隊の偉大なる貢獻なかりせば、わが國並びに英國の空母艦載機隊並びに砲撃艦隊にして日本々土に連續的懲罰的なる打撃を繼續することは不可能なりをるべし

(四)加ふるに米國太平洋艦隊潛水艦隊は攻撃作戰、索敵哨戒並びに救助作戰により空母部隊の諸作戰を支援せり

特輯

ペタン公判（五）

△ラヴアルの喚問決定

ラヴアルがバルセロナを出發したとの報がパリに到着するや、全フランスの飛行場には警戒警報が發せられて武裝警官が配置され着陸と同時に逮捕する手配がとられたが、飛行機は何時までたつても着かず、リンツ附近に着陸したと判つてがつかりしたのは待ちぼうけを食つた警官ばかりではなかつた、その前にはスイスに入つた、いや北イタリアのガルダ湖畔に着陸した、さうではないアンボルザの飛行場だと、その度に兵隊が駈けつける、巡査が走るの大騒ぎだつたことが報じられてゐる

ホルシングで米軍に投じたラヴアルはひどく疲勞してゐたが、強ひて空元氣を出してアメリカ兵に話しかけ、誰も相手にならないのを見ると「自分はニューヨークにゐたことがある、ニューヨークの話が聞き度い、も一度ニューヨークに行つて見たい」などとお世辭を振り撒いた

ラヴアルの投降の報を入れた米國々務省は直ちに聲明書を出して、彼をフランス側に引渡す意思を表明し、現地では早速、オーストリア駐屯フランス軍への身柄引渡しを完了した

スペイン政府も又、その半官通信社を通じて聲明書を出し「スペイン政府はラヴアルの入國を許可したことなく、スペインは政治的亡命者の船着場は御免を蒙りたい、ついてはラヴアルにも早速どこか他の國へ旅をつづけて欲しいと退去を要求した」と發表した

ラヴアル捕はるとの報はペタン公判に一大衝動を與へたことはいふまでもない、檢事側はラヴアルの證人喚問について、尚疑義を有し、辯護士側は絶對反對の意を表明してゐるが、陪審官側では是非とも彼を證言臺に引出さうといふ意向である

△ウエイガンの質問戰

質問戰に入つてからのウエイガン將軍の應答要旨を順序不同に報告すれば……

陪審官「米軍が北阿に上陸したとき、ペタンは直ちにフランス本國を立つてアフリカに行くことが出來たはずだが、どうか」

將軍「元帥は嘗て一度も本國を見棄てる考へを持つたことはない」

檢事「北阿に上陸した米軍に抵抗命令を出したのはペタンではないか」

將軍「そんなことは聞いてない、元帥は一九四二年の十一月米英軍に對する抗戰を卽時停止するやう命令を發したことさへある、抵抗せよとの命令はラヴアルが元帥にはからずして勝手に出したものと考へる、ラヴアルはヒトラーの命令をうけた當時ベルヒテスガーデンに行つたことがある、自分は一九四二年十一月十二日、ヴイシーを訪れた際ドイツ兵が六挺の機關銃を持つて捕縛に來、そのまま眞直ぐにドイツに連れて行かれたものである、ペタン元帥は自分が北阿の總督時代、ドイツ側に知られることなく通信するため祕密暗號を用意してゐた」

陪審官ピエール・ブローク「證人は一九四二年十一月ド・ゴール將軍から手紙を受取つたことはないか」

將軍「受取つた」

ブローク「その手紙をどうしたか」

將軍「しまつておいた」、爆笑

ブローク「何故返事をしなかつたか」

將軍「あのやうな手紙を受取つたことは自分としては初めてのことだつたからだ」

問題となつた手紙とは、ド・ゴールがウエイガンに對してフランス北阿軍の米軍への協力を要求したものだつたが、ウエイガンとしてはこの「若輩」から命令的な手紙を受取ることを潔しとしなかつたのであらう

△ペタン突如として發言

陪審官ルヴェーク「證人はフランスの武裝兵力が聯合國軍に抗戰した唾棄すべき裏切行爲をどう思ふか」、ルヴェークは抗戰運動の有力者で、彼のいふ武力抗戰とは一九四一年シリアにおける英佛軍の衝突を意味することはいふまでもない

將軍「その質問は余をして元帥をば裏切り者だといはせるためであらうが、何人と雖も余をして元帥を裏切者と呼ばせることは不可能だらう、いまの質問は陷穽である」

この時、ペタンは突如として立上つて、滿場の驚きのうちに、自らの箝口令を破つて、異常の感激に聲を震はせながら發言した

余にはこの法廷での發言が皆が皆までは聞えないのが殘念であるが、いままで聞き得たウエイガン將軍の述べた言葉によつて判斷すれば自分の考へ方をば將軍が十分諒解してくれてゐたことが察せられる、余が發言し得るならば、自分も亦ウエイガンの言葉を支持し得たであらうが殘念ながら、余はいまそれをする地位にない、ウエイガンは信賴し得る人間である、ウエイガンは事軍事上に關するかぎりは最も巧妙に正確に處理し得る力を持つた人間である、余は、彼のいつたことで自分に聞き得たことすべてについて全面的に同意見である

このペタンの發言は公判劈頭、元帥が讀み上げた聲明書以外今日まで最も長い發言であつた

ペタンの發言の後をうけてウエイガンへの質問は尙續けられ、特にレイノーとの間に鋭い應答が繰返された、ウエイガンは降伏は不名譽であるが休戰は不名譽でないと主張するに對してレイノーは、從來の休戰と降伏とを同一視した議論を突如改めて

「軍隊は發砲を止め、政府はドイツとの交涉を拒絶したならばフランスの名譽は救はれた筈だ」

と妙な議論を展開した、これを聞いたウエイガンはすかさず、陪審官席に向つてひらき直り

「どうです、陪審官諸君、レイノーは主張を變へて、いまの發言では打ち方止めは不名譽ではないと稱してゐる、降伏と打ち方止めとを區別し出したではありませんか」

レイノー「打ち方止めも降伏も同じことである軍隊は降伏しても、政府は降伏しなかつたらよかつたのだ」

ウエイガン「打ち方止めと降伏は全然別ものだ打ち方止めはそれだけのものであるが、降伏は打ち方を止めてその上に降參することだ」

ウエイガンは尙フランス艦隊が一隻もドイツの手に落ちなかつたのはペタン元帥の措置よろしきを得たためであることを强調し、休戰交涉のときも、ドイツがフランス艦隊に手をつけようとするならば直ちに自沈するやう命令が發せられたことを證言した

ここでペタンは再び發言し、自沈命令は、最後に一九四二年十一月二十七日ツーロンで實施されるまで一度も取消されたことのなかつた旨を說明したが、レイノーは更にペタンとウエイガンを追及し

自沈命令が出てゐたかゐなかつたかはどうでもよい、問題はこの世界第二の强力海軍が全く聯合國の陣營から引揚げられた事實にある、その責任はペタン及びウエイガンが負ふべきものだ特に一九四一年は大西洋の戰爭が漸く英國の有利に轉回し始めたにおいてをやであると論じた

△レイノーとの論戰つづく

最後の議論は英國が果してフランスの單獨休戰に承認を與へたか否かに集中され、レイノーはペタン及びウエイガンは當時、英國に對してはフランスの義務解放を要求しつつ、一方ではそれにお構ひなく休戰交涉を始めたものである、しかして、英國から拒絶の回答に接しながらも休戰を成立せしめた、これまさに裏切りではないか

と主張、ペタンはこの時またも發言して

然し、チヤーチルはカンヂエで、たとへフランスが休戰を求めなくてはならぬ破目になつても英國はこれに對して何等惡意は持たぬといつたではないか

と應酬、ウエイガンもまたチヤーチルはその時、フランスが休戰のやむなきに至つても、英佛兩國の友交關係には何等の變りもないといつた

と證言した、被告辯護士はここで一九四四年九月二十八日チヤーチルが下院で行つた演說の抜き書きを朗讀して、英國の「拒絶」の中味を暴露しようと試みた

(井上 勇)

資料

英國輸出貿易と勞働力

「ニューヨーク・タイムズ」紙
ロンドン特電　八月一日

△饑餓輸出

武器貸與による補給、海外資産の賣却、海外からの借入れ等は早晩打ち切りとなるであらうが、英國が戰時の非常措置として國力を維持して來たこれ等が終焉を告げるとき、英國は饑餓を覺悟しても、その國の生命を維持するためには、是が非でもその輸出額を戰前の水準にまで引戻さなければならない、しかるに英國はこの大變な仕事を、最惡の出發點から始めなければならないのだ

英國の輸出貿易額が增加しつつあることは事實である、しかし、戰前の水準に比較すれば、その額は僅かに四〇%程度に過ぎない、しかもその輸出の伸張を阻止する重大な隘路が存在するのだ、この隘路こそ戰爭の全期間を通じて、英國を惱ましたものであるが、この隘路とは人的資源の不足である

この勞働力の不足はたとへ今年の末になつてもあまり改善されないだらう、今英國今後の勞働力需給の大勢を觀望するに、軍需生産の縮少によつて民需産業に解放される工業勞働者の數は約百萬と推定される、これに加へて、本年末までに復員となる兵員の數は七十五萬に上らう、これにたいして、現在工業及び商業に從事してゐる者のうち現行法の下において自由に職場を離れ得る者は、全勞働人口の約七分の一にあたる三百萬、而してこのうち半數までが、家庭の事情、年齡、健康等の理由により平常時にはまづ勞働市場には出てこないとされる男女勞働者である

かくて本年中に軍需産業及び軍務から解放されて、民需産業に入つてくる勞働者の半分ないし三分の二までが、平常時では勞働に從事しない者達が勞働市場から離れ去ることによつて相殺されてしまふだらう

戰前、英國の輸出品の五分の二以上は綿織物、毛織物、鐵鋼製品並びに石炭だつた、しかるに、綿織物業、毛織物業はいふに及ばず、鐵鋼業さへもその從業員の多くを失つた、この結果、綿紡績業は戰前の輸出額に歸るためには約十萬の勞働者を、毛織物業も約十萬を、衣類製造業は數萬を必要としよう、一方これまた曾ての重要輸出産業だつた錫板工業のごとき典型的な民需産業も約四萬の勞働者を必要としてゐる、一方、平和産業に轉換ないし再轉換し得る軍需産業、たとへば自動車アルミニウム、工作機械、特殊鋼、電氣工業のごときは戰爭中に大擴張された結果、現在では戰前の一九三九年當時より遙かに多數の勞働者を抱へてゐるが、これ等工業は軍需生産の縮減によつて歐洲戰終了後一部の勞働者と施設とをはき出しつつある

機械製造業、なかんづく紡績用機械製造業、自動車工業等は相當な大規模をもつて民需用品の生産を開始した、しかし設備は入手できるにしても人手がない、たとへば綿紡績業は最近每週平均一千名の新しい勞働力を得てゐるが、これとほぼ同數の者が年齡、家庭の事情等によつて離業してゐる、現在中部地方の航空機工場、輕機械工場等には十五萬以上の元紡績工が働いてゐる、またバーミンガムやシエフイールド等の鐵工場の勞働者のうちには三萬五千の元錫板製造工がゐる、結局長い目で見るとき、輸出産業として最も有望なのは機械工業その他の高級な技術と熟練とを要する工業だらう、紡績業その他曾ての英國の主要輸出産業だつたものが、今後の英國の輸出貿易を背負つて立つやうなことは先づあり得まい、軌道とか毛織物とかでさへ、現在では經濟後進國でも容易に製造ができるやうになつたのであり、しかも戰爭中の輸入杜絶によつて經濟後進國は現にこれ等製品の生産を開始してゐるのだ

米の新型爆撃機

（リスボン十七日發）バーバンク（カリフオルニア州）來電＝ロツキード航空機會社は十三日次の通り發表した

米國海軍は現在對日戰に新型爆撃機を使用してゐる、これはPV2「ハープーン」（銛）と呼ばれPV1「ヴエンチユラ」に代るもので時速四百八十粁以上、航續距離三千二百粁、爆彈搭載量は二噸である

昭和二十年 八 月廿二日(水)
第 三 五 二 一 號
同盟通信 海外電報
(194)
(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可 編輯發行人 田中正太郎 東京都麹町區日比谷公園二番 社團法人 同盟通信社)

【目 次】
太原附近で渝延軍衝突か……二三二四
朱德、對蔣提議詳報……〃
何應欽、芷江へ……〃
ソ聯、希への干渉を阻止……〃
【支 那】
中共軍蕪湖を先制確保か……二三二五
中ソ新條約の意義……〃
渝延關係の前途を悲觀……〃
【東 亞】
泰國中立復歸宣言……二三二六
英、香港を放棄せず……〃
佛印の立場は微妙……〃
【國際機關】
第一回執行委員會開く……〃
國際航空機關理事長任命……〃
【米 洲】
眞珠灣事件の發表を要求……二三二七
アーノルド新兵器戰を論ず……〃
戰後の米國海軍……〃
米軍損害百七萬……〃
マツカーサー歸國か……二三二八
陸軍復員に大童……〃
戰後の空輸擴充を計畫……〃
汎米會議開催……〃
第三回米洲勞働會議……〃
戰後勞政破策を闡明……二三二九
クルーグ勞資協調を說く……〃
キヤンベル再轉換局へ……〃
CIO、ソ聯視察團を派遣……〃
【英 帝 國】
加、民間車の製造開始……〃
ソ聯と西歐の戰ひ……〃
【歐 洲】
佛の戰爭犯罪人詮議……二三三〇
スペイン新聞檢閱廢止か……〃
言論檢閱廢止を提案……〃
勃政界の危機……〃
自由選擧による政權を承認……〃
ソ聯の新五ケ年計畫……〃
戰爭犯罪委員會協議終る……二三三一
伯林市民に金銀提出を嚴命……〃
伯林で富籤發行……〃
【特 輯】
英國の外交政策……二三三二

世界の動き

「ニューヨーク・タイムズ」紙のハンソン・ボールドウインは太平洋戰爭を回顧して對日戰において米國勝利の基礎となつたものはその工業生産力だつた、米國の持つ軍事的潛勢力は日本のそれに比しあまりにも格段の相違があつたのであり、米國の物量が日本を壓倒したのである、日本軍がシヤベルで數週間もかかつてつくりあげる飛行場を、米國軍のブルドーザーは僅か數時間をもつてジヤングルのなかから立派な飛行場をつくりあげた、戰爭の末期において日本は太平洋戰爭が人間と機械との戰ひであり、日本の精神力が米國の物量に對抗してゐるのだと主張した、しかしかかる主張の前途には敗北のみが約束されてゐたのであると結論してゐる

機械と機械との戰ひである近代戰においても、人間の精神力がいかに大きな役割を演ずるかは典型的な近代戰であつた今次大戰すらもが數々の例證を餘りにも多く記錄してゐる、だが數多くのかかる例證にも拘らず戰局が常に壓倒的に優勢な物量を持つ側に有利に展開した大勢を左右するだけの力はなく、遂ひに日本は敗北してボールドウインをして前揭の如き結論を引き出させるに至つたのである、卽ち、今次大戰においては物量が常に主であり、精神力は飽くまでも從の立場におかれた

ボールドウインの指摘する如く米國軍が機械の力で瞬く間に飛行場を建設するのに日本軍がえつちらおつちら飛行場を手掘りにしてゐたのでは競爭にならない、近代科學の粹を集めたB29が燒夷彈の雨を降らすのに、バケツ・リレーの消火で間に合はないのは當然であつた、そして最後に精神日本の結論は特攻機となり、物質米國のそれは原子爆彈となつて現れた

將來の日本が眞に强い近代國家として發足するためには物質的裏付けなく徒らに精神力をのみ高唱する神がかり的論理を一擲しなければならない神風のみを期待する日本には永久に更生の機會は與へられないであらう

太原附近で渝延軍衝突か

（リスボン二十日發）ニューヨーク放送によれば重慶政府は二十日中國軍が事實上何らの抵抗もなく日本軍占領地域に進駐しつつあり、既に都市多數を占領した旨發表した、然し他方AP重慶電は二十日信賴すべき筋の消息として第二戰區總司令閻錫山麾下の中央軍が目下日本軍の占領する山西省首都太原附近において中共軍と衝突したと報じてゐる、各方面において渝延兩軍の城市先制確保の爭ひが展開する危險が感ぜられる

朱德、對蔣提議詳報

（リスボン二十日發）延安放送局は十八日第十八集團軍總指揮朱德が重慶軍事委員長蔣介石に對して時局收拾對策につき提議した旨報じたが、十九日重慶來電によれば朱德の提議は左記六項より成ると報ぜられる

一、日本軍の降伏受諾並びに降伏後の協定、議定書、條約に關しては渝延双方の商議並びに同意を要する

二、延安協力圈内に於ては日本軍の降伏は中共軍が衝に當る權利を有する

三、聯合軍の對日休戰商議には延安代表を派遣する、又戰後の日本本土統制に對しては中共軍に參加する

四、媾和會議並びに今後の聯合國會議には延安代表も參加する

五、中國における一黨專制を廢し、民主的協力政府を樹立するため、各黨を網羅する會議を召集する

六、蔣委員長は中國における内亂を避止するための措置を取る

何應欽、芷江へ

（リスボン二十日發）重慶來電＝中國陸空軍總司令官何應欽は二十日湖南省芷江に向つた、同地で日本軍代表と休戰條件につき折衝する筈

ソ聯、ギリシヤへの干渉を拒否

（リスボン二十日發）米英兩國政府はギリシヤの國會總選擧並びに王政に關する國民投票を實施するため、ソ佛兩國政府にオブザーヴアの派遣を要請してゐたが、フランスが受諾したに對しソ聯は外國の内政に對する不干渉を理由として拒絶したアテネ來電によればギリシヤ政府は二十日次の聲明を發表したといはれる

米英兩國政府はソ聯及びフランスに對して委員團の派遣を要請したが、フランスはこれを受諾したに對し、ソヴエト政府が外國の選擧に立合ふことに反對、オブザーヴアの派遣を拒絶したことはギリシヤ政府の遺憾とするところである政府はソ聯が後刻決定を變更してオブザーヴアを派遣することを切に希望するまたロンドン來電によれば英外務省は以上の問題に關し

米英兩國政府はギリシヤの總選擧並びに國民投票に立合ふことはギリシヤ國民の自由意思を何等妨げねものと認めた、よつてソ聯の不參加は遺憾とするが米英佛三國の立會の下に實施すると言明したといはれるが、英外交界はソ聯の不參加を重視して、新たな紛爭の發生を危惧してゐる樣子だ

キスリングの裁判第一日

（ストツクホルム二十日發）オスロ來電＝歐洲における第一級戰爭犯罪人といはれる元ノルウエー首相ヴイドクン・キスリングの裁判は二十日開廷したが、檢事ショジイトは元ドイツ宰相ゲーリング及び元ドイツ外相リツベントロツプの提出した證據に基きドイツ軍がノルウエーを侵略するやうキスリングがヒトラーを說得したと論じ、キスリングがヒトラー宛ての書翰において「獨諾兩國の併合こそ余が絕えず目的としてゐた處だ」と述べてゐる事實を指摘した、之に對しキスリングはさかんに自己の無罪を主張したが、檢事の提出した證據の中には元ドイツ軍最高司令官カイテル元帥の證言及びアルフレツト・ローゼンベルグの日記帳などが含まれてゐる

昭和二十年八月廿二日(水)
第三五二一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【支　那】

中共軍蕪湖を先制確保か

(リスボン十九日發)中共軍は重慶軍に先立ち揚子江流域の諸要衝を確保しようと虎視耽々としてゐると傳へられるが、十九日重慶ロイター電は中共軍の動向につき次の通り報じてゐる

通常消息通と見られる筋の情報によれば中央軍約二、三萬は南京突入に備へて先づ蕪湖に對する先制攻撃を準備中である、最も中共軍は武器も少く裝備貧弱だといはれ、重慶官邊も事態の發展につき過當に警戒するといふほどでもない

中ソ新條約の意義

(ストツクホルム十九日發)ソ聯及び中國間の友好同盟條約に關しては一般に延安政權に對する重慶政府の立場を強化したとの見解が多いやうであるが、ロンドン來電によれば日曜新聞「オブザーヴア」紙の外交記者は新條約の意義について次の通り述べてゐる

新友好同盟條約の性質及び範圍に關してはロンドン外交界において種々臆測が行はれ、玆數日非常な關心を呼んでゐる、新條約が重要意義を有するのは先づ同條約が華北及び西北の重要問題に觸れたとされるが、同方面は中ソ兩國の利害が錯綜してゐる點に留意すべきである、次に過般來中國では內亂の兆があり事態重大化してゐるが、新條約はこれに對しては相當な緩衝的役割を演じよう更になほ米國が重慶の政府を援助し、ソ聯が延安政府を支持してゐる結果、東亞における米ソ間政治的闘爭尖鋭化の危險があるが、新條約はこれに對しても重要な作用を加へるであらう」

一方ロイター外交記者も新條約が重慶政權の立場を有利にしたとの見地から大要次の通り述べてゐる

「中ソ條約は中ソ兩國間の懸案を凡て解決するものである、從つて中國共產黨はソ聯政府からは何らの好意又は支持をも期待することは出來ない、このことは中國共產黨が更に當分の間は實際上重慶政權に對して脅威となるべき挑戰を爲し得なくなることを意味する、北支における中共の施政は農民に對して幾多の利益を齎し彼等農民に多大の感銘を與へたことは事實であるが、上海又は南京の如き大商業都市に對しては殆ど利益を供與してゐない、加之中共の領袖が自らを九千萬民衆の代表なりと主張する點には多大の誇張が存する、最近數年間といふものはソ聯が中共に對して何らの物資援助を與へてゐるものと思はれる證左は全然なかつたにも拘はらず、中共はモスクワに指導を求めずとし、ソ聯紙上において重慶政權に對する非難を繰り返して來た、その結果延安政權支援の形式によつてソ聯が對支干渉を行ふだらうといふ危惧を惹起したのである、もし中共にして彼等が現在欲してゐる丈けの武器を日本軍から獲得するならば、彼等は尚重慶政權と存分に事を構へることが出來よう、然しこのことにして能はざる限り中共はソ聯の支援なくしてはこれ以上對渝抗爭を續けることは不可能で、米式裝備と空軍とを有する重慶政權は延安正權に對し壓倒的なる武力と機動力を保有するであらう、更に注意すべき點は支那における一般輿論が戰爭の繼續、就中內戰の續行に對しては強く反對してゐる點である、中國民衆は戰火とそれに伴ふ困難には倦み疲れてゐる中國民衆は內紛繼續の結果中國がその面子を失ふことを欲しない、加之蔣介石が毛澤東に對し卽時重慶に馳せ參じ、中國統一に協力されたいとの叮重なる招請を發したことは毛澤東のにべもなく拒絶するところとなつたが中國の民衆に多大の感銘を與へ蔣介石の地位を著しく強化した」

渝延關係の前途を悲觀

(ストツクホルム十九日發)ニユーヨーク來電＝「ヘラルド・トリビユーン」紙は渝延關係の前途を悲觀し、大要次の通り述べてゐる

中國における事態は日一日と混惑の度を加へ內亂の脅威が增大しつつある、中共は依然頑强に日本軍及び舊和平軍との直接折衝を試みてゐるが、中共の說得が成功すれば、現在所有するよりか遙かに優秀な武器を獲得することによりその軍力は相當增大しよう、他方重慶政府も中共とは一向に妥協しさうもない

【東　亞】

泰國中立復歸宣言

（リスボン十八日發）バンコツク來電＝八月十六日泰國攝政は戰爭終結に關して左の宣言を議會に發表したが泰國議會はこれを滿場一致可決した

泰國政府は從來中立政策を國是と爲して來たが佛曆二四八四年十二月八日日本が軍事行動を起すとともに右中立政策を固持し得ないため對米英宣戰布告を行つたが、今や日本は戰爭終止を決定した、依つて右宣言を無效として泰國も從來通り中立政策に復歸し、戰前の友好國と友好關係を復活する事を宣言する、而して泰國政府は日本により與へられた領土は英國に返還する用意を有する外戰爭遂行に關し發表された諸法令で友好國との條約に抵觸するものは之を廢棄する、最後に泰國民並びに在留外人は平靜を保持する事を希望する

英、香港を放棄せず

（リスボン十九日發）ロンドン來電＝英國外務當局は十九日次の通り言明した

一部報道は英軍及び支那軍が香港にそれぞれ一番乘りをしようと思つて同地に向つて「競走」してゐると報じてゐるが、英國政府は香港を占領するつもりであり、支那軍と「競爭」するやうなことはない

他方、桑港放送は支那が香港の返還を欲し、若し英國が香港の所有を主張しても他の國家の壓迫で英國が同地を支那に返還するやうになることを期待してゐるといはれる

佛印の立場微妙

（ストツクホルム十八日發）ロンドン來電＝英國王ジョージ六世は最近フランス臨時政府首席ド・ゴール宛書簡においてフランス帝國の再興を約したが「タイムズ」紙は十八日の紙上で佛印に對するフランスの再統治の微妙な點を次の通り論じてゐるフランスは今や賢明且忍耐强い政策を必要としてゐる、佛印との關係を更新せんとするに當りフランスは佛印が主權を喪失して以來佛印に幾多の變化が生じてゐることを發見するだらう

佛印の首相キムが逸早く國民に對して佛印の獨立を保持してフランス本國の支配を排除するよう要請したことは意味深長だ、此種の國家主義的動きは最近のレヴアントが實證した如く尊敬を拂はれねばならない、卽ちかかる動きは被監督者的立場におかれることに飽き飽きした國民が一般に目覺めようとしてゐる徵候であり、もし壓迫手段に訴へるならばこれら國民は容易に平和攪亂の中心分子となり得るものだ

【國際機關】

第一回執行委員會開く

（ストツクホルム十七日發）ロンドン來電＝聯合國準備委員會執行委員會は桑港會議の決議に基き桑港會議執行委員國たりし十四ケ國の代表をもつて十六日ロンドンに第一回會議を開催した、委員國は濠洲、ブラジル、カナダ、チリー、支那、チエコスロヴアキア、フランス、メキシコ、オランダ、イラン、ソヴエト聯邦、ユーゴスラヴイア、米國並びに英國で、米國代表は正代表エドワード・ステチニアスが到着するまで駐英大使ジョン・ワイナントが代理を勤めてゐる、開會に際し、議長英國代表國務相フイリツプ・ノエル＝ベーカーは次の通り演說した

平和維持のための國際機構々成は一刻の猶餘も許さない、われわれはこの世代において世界を安全ならしめるこの事業に失敗してはならないのだ、余は我々の仕事が成功することを確信してゐる

國際航空機關理事長任命

（リスボン十八日發）モントリオール來電＝モントリオールで開會中の國際民間航空機關中間理事會は十八日その理事長に米國代表のエドワード・ワーナーを選任した、更に事務總長にはフランス代表のアルベール・ロペールをまた三名の理事會次長にはそれぞれオランダ、支那、コロンビア代表が選任された、ワーナー事務總長は現在まで米國民間航空局次長だつた、因みに聯合諸國が開戰以來開催した國際會議で決定した國際機關のうちで最初にその事業を開始したのはこの國際航空機構である

【米國】

眞珠灣事件の發表を要求

(リスボン十七日發)ワシントン來電=開戰劈頭日本軍の眞珠灣攻撃の眞相は米國輿論の強い要求にも拘らず陸海軍當局によつて現在まで發表されずにゐるが、上院海軍委員長ウオルシユは十七日海軍長官フオレスタルに書翰を送り再び同事件の公表を要求した、書翰要旨次の通り

對日終了の今日眞珠灣事件の眞相を秘密にしておく理由はなくなつたのであり、海軍省は卽時同事件に關する調査文獻を一般に發表すべきである、議會方面でも必ず同事件に對する責任の所在を明かにせよとの主張が有力化しようが、海軍當局は議會再開と同時に海軍委員會に對して海軍當局が現在までに眞珠灣事件に關して調査した文書の全部を提出されたい

アーノルド新兵器戰を論ず

(リスボン十八日發)ワシントン來電=米國陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルドは十七日の新聞記者會見で今次大戰に使用された兵器は今後發明される新兵器の前にすべて舊式兵器となつて了ふだらうと論じ長時間に亘り將來の航空戰略論を行つた、アーノルドの談話要旨次の通り

「將來の爆撃機は操縱士その他搭乘員など一人も乘せずに作戰するやうになるだらう、作戰半徑は極めて大きく、噴射推進により邀撃等殆ど不可能な位の速度を出すにちがひない、この爆撃機は遠隔操縱で正確に操縱される、所定の目標に近づけば航空機は自働的に目標物に命中する

既に米國は航續距離においてB29を遙かに凌駕する航空機を有する、B29の實用作戰半徑は二千四百粁餘にすぎないが、新爆撃機の作戰半徑は實に九千粁を越えるのだ、決して遠くない將來において兵器類は恐るべき發達を示し、戰爭は永久に跡を絶つに至るかもしれない、之ら新兵器の性格はいかに有力な侵略國に對しても抑制的效果を發揮しよう、自分は過去に屬する戰爭を論じようとは思はない、今われわれは總ての注意を將來に向けなければならないのだ、特に述べておきたいのは原子爆彈の發明が長距離爆撃機と共に世界平和維持の戰略を一變するといふことだ、新しく出來た長距離機を利用すれば世界中原子爆彈の直接攻撃圈内に入らない場所は全くなくなるのである」

從つて米國は最も效果的でしかも最少の費用をもつて生産され海陸空に使用し得る防禦兵器をもたなければならない、更に米國はその防衛態勢を補足すべく適當な位置に基地をもたなければならない、たとへばミドウエー、ウエーキ、マーシヤル諸島、マリアナ諸島、トラツク島のごときだ、同時に東京も我々の海外基地の一つと考へられなければならない

戰後の米國海軍

(リスボン十七日發)ワシントン來電=米上院海軍委員長ウオルシユは十七日海軍長官フオレスタル及び下院海軍委員長ヴインソンとともに戰後の米國海軍兵力に關し協議した後次の通り言明した

戰爭期間中海軍は三百萬以上の兵力を保有してゐたが戰後においても少くとも五十萬は必要だ一方海軍省も同日次の通り發表した

米國海軍は戰後の海軍正規兵力を維持する上に三萬の將校を必要とするこのため海軍當局は旣に豫備將校に對し現役を志願するやう要請した

米軍損害百七萬

(リスボン十八日發)ワシントン來電=米國政府は今次大戰における米國陸海軍の損害は百七萬に達した旨十七日次の通り發表した

陸軍	戰死	一九九、一八三
	戰傷	五七〇、九九七
	捕虜	一一八、三〇二
	行方不明	三三、六五三
	計	九二二、一三五
海軍(海兵隊、海軍警備隊を含む)	戰死	五二、九六三
	戰傷	八〇、一七一
	捕虜	三、六九四
	行方不明	一〇、五五三
	計	一四七、三八一

戰死者總數は二十五萬二千百四十六名で、前週より二千五百三十四名の增加である、因に今回の損害發表中には過般比島方面で撃沈された重巡、「インデイアナポリス」乘組員一千百九十六名のほか太平洋各戰域における最近の陸海軍損害數千名は加算されてゐない

マツカーサー歸國か

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝下院陸軍委員長メイは十八日次の通り發表した

議會は近くマツカーサー將軍に對して歸國を要請し太平洋戰の報告の爲議會に臨むよう招請することとなるかも知れぬ、余はこの問題につきレイバーン下院議長と協議する豫定であり、この結果來る九月五日議會再開と同時にマツカーサー招請の決議案を上程することとならう、米國軍首腦のうち開戰以來まだ一度も米本土に歸つてゐないのはマツカーサー將軍のみであり、米國は彼に對して本國歸還の心からの招請を發すべきである

陸軍復員に大童

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝ソマヴエル陸軍補給本部長は十六日陸軍の復員計畫につき動員解除、輸送、物資購入關係擔當者を招致して協議したが、彼は協議後復員計畫の見透しにつき左の如く發表した

現在海外に派遣されてゐる陸軍の兵力は約五百萬である、一九四六年六月までにはこのうち四百五十萬が米國に歸還することとならう、一方本年末には每月五十萬の兵員が動員解除される豫定である、陸軍の軍需注文取消し額は三百五十億弗の巨額に達する、この結果陸軍の物資入手額は每月平均八〇％、物資購入額は八七％に減少しよう

軍需發注の取消しによつて軍需産業から吐き出される人員は二百五十萬乃至三百萬と推定される、また今後十二ケ月に一億四千五百萬噸の石炭が節約さるべく米國における本年の石炭不足額二千五百萬噸を補つた上民需方面に一億二千萬噸の石炭をふり向けることが出來よう

陸軍は餘剩物資處分機關を通じて數百品目にわたる物資を民間に拂下げる計畫である

戰後の空輸擴充を計畫

（リスボン十九日發）ニユーヨーク來電＝空輸協會は戰後における空輸大擴充計畫を發表したが、これにつき「ニユーヨーク・タイムズ」紙は次の如き論評を加へてゐる

「戰爭中航空機の安全性確保の方法はいちぢるしく發達したが、これは平時用に設計された航空機にも大々的にとり入れられることにならう、空輸協會の推定では戰後米國の旅客機數は九百七十五機、その坐席數は三萬六千百八十人分を豫定されてをり、これを參戰前の三百五十九機、六千二百五十人分に比べれば非常な輸送能力の擴充となるこの程度の旅客機をもつてすれば一九四六年から四七年にかけて年に六十億乃至八十億パセンヂヤー・マイルの輸送成績を上げることが出來よう、航程百二十五哩から二百五十五哩程度の短距離航路が計畫されてゐるが、これは前もつて何らの長い準備もせず簡單に「市電式」に運航する仕組である、このやうな短距離航空から高速度で飛ぶ大陸間空輸に至るまで種々目的の異るに從ひ、當然輸送機の型及び大きさも種々雜多なものとなるはずである」

汎米會議開催

（リスボン十九日發）リオ・デ・ジヤネイロ來電＝ブラジル外相ヴエロソは次の通り言明した

桑港會議の決定に基き次回の汎米會議は來る十月二十日からリオ・デ・ジヤネイロで開催されることとなつた、右會議では平和の維持及び米大陸の安全保障に關する諸問題につき協議される、而して中心議題は

一、地域的防衞に關する西半球諸國間の協定起草

一、メキシコ市で開催された前回の汎米會議において調印をみたチヤペルテペツク憲章の一部を公式化すること等である

第三回米洲勞働會議

（リスボン十四日發）メキシコ・シテイ來電＝中南米勞働聯盟當局は十三日次の通り發表した「第三回米洲勞働會議は來年早々、多分メキシコ・シテイにおいて開催されよう、聯盟は目下物價並びに賃金問題、中南米工業化の基礎、アメリカ・インデイアン勞働者の生活條件及び移民問題等を會議の議題とするやう考慮中である」會議は國際勞働局の後援で成立、前二回は夫々サンチアゴ及びハヴアナで開催された

昭和二十年 八月廿二日(水)
第三五二一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰後勞働政策を聞明

(リスボン十八日發)ワシントン來電=トルーマン大統領は十六日聲明を發し、戰時態勢から平和時に移行する過渡期における六項目からなる勞働政策を聞明した、その要旨左の通り

「再轉換の過渡期においては先づ民需品の生産及び勞働の提供が中斷されることなく繼續されなければならぬが、これがためには勞資が協力して勞働爭議の如きを最少限にとどめなければならない一方この過渡期においては急速に變化しつつある國家經濟に順應する經濟安定政策をも續行する必要がある、この目的を果すためには次の諸措置の實施を必要とする

一、勞働爭議によつて生産が中斷されるのを防ぐため余は近く勞資双方の代表を招致して勞資協定の締結に努力しよう

二、この協定が成立するまでの期間は從來通り戰時勞働局が勞働問題の衝にあたることとならう

三、經濟安定法は一九四六年六月三十日まで有效だが、それまでは勞働賃金の調整は同法の制約を受けなければならない

四、再轉換の過渡期において勞働資金に不均衡の生ずるのは不可避であるがこの調整には戰時勞働局が經濟安定局と協力して當る

五、戰時勞働局は前述の勞資會議が具體的な決定を下して新勞働機構が設置され次第解散する

六、勞働省はその機能を統一强化して勞働長官の決定する計畫に基いて活動する」

クルーグ勞資協調を說く

(リスボン十八日發)ワシントン來電=戰時生産局長官クルーグは十八日米國内の產業再轉換期に當り勞資和協の推進と罷業停止の戰時誓約繼續を力說要旨次の如く論じた

對日戰終了に伴ふ軍需契約の大規模な解除は、米國經濟生活の殆ど全分野に深甚な影響を及ぼすであらう、戰時下眞摯に國家へ奉仕した勞務者は平時產業において新たな職域を見つけねばならぬ狀態となつてをり、產業界の再轉換さへ早ければこれら勞務者の吸收も又迅速に行はれるであらう、余が戰時勞働局の機能を當分繼續させ、罷業停止に關する戰時誓約の續行を要請するのは、平時生產の再開を阻止するあらゆる隘路をとり除くために他ならない

キヤムベル、再轉換局へ

(リスボン十八日發)ワシントン來電=參謀總長マーシヤルは十八日陸軍兵器局長中將レヴイン・キヤムベルを大統領の許可を得て再轉換局へ轉補現長官スナイダーに協力させることとなつた旨發表した

CIO、ソ聯視察團を派遣

(リスボン十五日發)ワシントン來電=ワシーリー・クズネツオフを團長とするソ聯邦勞働組合代表團はCIOの招待により目下米國各地の工業地帶を視察中だが、ソ聯邦勞働組合は右招待の返禮としてCIO代表團を招待したので、CIO當局では極く近い內に代表團をソ聯に派遣する豫定である

【英 帝 國】

加、民間車の製造開始

(リスボン十八日發)オツタワ來電=カナダ軍需相ハウは十七日夜カナダにおける民需用自動車並びにトラツクの生產制限が撤廢された旨發表した

ソ聯と西歐の戰ひ

(リスボン十九日發)プレトリア來電=南阿聯邦政府の元國防相で「新秩序」黨の指導者たるオスワルド・ピローは十八日夜プレトリアで演說を行ひ次の通り述べた

西歐文明を保存するためには米英中心の西歐諸國とソ聯との戰爭がどうしても必要だ、しかるに英國に勞働黨內閣が現れたためかかる戰爭が起りさうもないのは非常に歎かはしい、かかる戰爭の場合南阿聯邦は中立ではあり得ず、英國と肩を並べてソ聯と戰はねばならぬだらう

佛の戰爭犯罪人詮議

（リスボン十九日發）パリ來電によれば元フランス首相ピエール・ラヴアルの裁判はパリ高等法院で十八日再開された、なほフランス政府は嚴重な戰爭犯罪人調査を續けてをり、調査官達は目下中立諸國を含む全歐洲で約一萬五千人の戰爭犯罪人を探索中といはれる、フランス海軍當局はこの一萬五千人に關する十分な記錄を有し、他の二萬五千人の戰爭犯罪人に關する不完全な資料を所有してをり、別に元ナチ親衞隊及び政治部隊からなる二千五百名が、ドイツのフランス占領地域で裁判のためフランスに送られるのを待つてゐる、更に目下パリで裁判を待つてゐるドイツ人戰爭犯罪人は約六百名に達するといはれる

スペイン新聞檢閲廢止か

（リスボン十八日發）マドリードからのロイター電報が信賴すべき筋の特報として傳へる處によればスペイン政府は近く國內新聞の檢閲を廢止するといはれる

言論檢閲廢止を提案

（リスボン十九日發）ヴイスバーデン來電によればアイゼンハワーは米國陸軍省に對し歐洲における一切の言論檢閲及び制限を對日戰終了の公報發表後直ちに廢止するやう進言したといはれる

勃政界の危機

（リスボン十九日發）ブルガリアでは總選擧の實施を主張するゲオルギエフ首相一派と、これが延期を主張する農民黨閣僚一派との間に猛烈な政治的鬪爭が展開され遂に農民黨右翼に屬する四閣僚の辭職を見たが米國務長官ジエームス・バーンズは十八日聲明を發し、ブルガリア現政府とその選擧對策を痛烈に非難したため、ブルガリア政界の危機は最高項に達した、右聲明はブルガリア現政府が同國內の一切の重要な民主々義分子を代表し自由にして拘束されざる選擧の準備を行つてゐない事實を指摘し、米國政府の不滿を露骨に表明してゐる、四閣僚辭職の際ゲオルギエフ首相は選擧を豫定通り八月二十七日に實施する旨聲明したが米國のかかる抗議が提出されたため、同首相が飽くまで既定方針を遂行するかどうかは非常な疑問となつてゐる、なほソフイア放送によれば、ゲオルギエフ政府は既に四閣僚の後任を任命したといはれる

自由選擧による政權を承認

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝國務省は十九日ブルガリア問題につき發表した

「米國政府はかねてより民主々義的輿論の重要な要素を悉く代表し、更に政治的意見の自由なる表現及び政治的權利の自由なる行使を保障する條件の下に自由且つ枷をはめられない選擧を用意するが如きブルガリア假政權を承認し、外交關係を樹立せんことを願つてゐる、米國政府が今迄に入手した情報による限り現ブルガリア假政權が民主々義的輿論の重要な要素を適當に代表してゐること或ひは現假政權が豫定の選擧を强制や威嚇のおそれなくすべての民主々義的要素をして效果的に參加せしめることを許し且つ保障するとの條件の下に行ふ用意をしてゐることを知るにはまだ不十分である

米國政府の意見によれば、來るべき選擧にすべての重要な民主々義的要素が效果的に參加することは米國が承認した民主々義的政權との平和條約締結を容易ならしめるために必要缺くべからざることである、全國民が强制されたり威嚇されたりすることなく自由に投票出來てこそ國民過半の意思の決定が可能になるのである」

ソ聯の新五ケ年計畫

（ストツクホルム十八日發）モスクワ來電によればソ聯邦人民委員會議及び黨中央委員會は國民經濟及び鐵道輸送の復興及び發展に關する新五ケ年計畫を準備するに決定したが、右計畫は明年より實施の豫定といはれる

昭和二十年八月廿二日(水)
第三五二一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰爭犯罪委員會協議終る

(ストツクホルム十九日發)ニユルンベルヒ來電=聯合國戰爭犯罪調査委員會米國代表ジヤクソン判事はソ英佛各國代表との間に戰爭犯罪人の審判に關し二日間に亘り會議を續けてゐたが、十八日協議を終つた、ソヴエト代表ニキチエンコ少將はクレムリン宮での會議に出席すべく直ちにモスクワに向つて出發した

伯林市民に金銀提出を嚴命

(ストツクホルム十七日發)ベルリン來電=ベルリン合同管理司令部は十七日ベルリン市民に對し十日以內に金銀その他の諸財寶を悉く提出するやう命令した、現在の司令官は米國陸軍少將フロイド・パークスである

伯林で富籤發行

(リスボン十六日發)聯合軍伯林合同管理司令部は十六日伯林市復興の目的をもつて富籤の發行を正式に許可する旨發表した、管理司令部の米英側代表は二千五百萬マルクの富籤發行により得た資金を市政當局に交付することとなつたが、すでにソ聯側は同額の富籤發行を許してゐる、なほ伯林市の石油消費の五割方增加もこれと同時に決定した

【科學情報】

爆撃機で傳染病豫防

(リスボン十八日發)デートン(オハイオ州)來電=米國航空技術補給本部は十七日夜次の通り發表した

イリノイ州ロツクフオードに發生せる小兒痲痺病と闘ふためB25一機は十九日上空より殺蟲劑DDT粉を撒布する筈だ、殺蟲劑撒布用の航空機は現在二機あるが、今一機はC47輸送機で、これはパナマにあり、既に同地で蚊退治により裝備試驗も終了してゐるB25の爆彈倉には五百五十ガロン入り藥品タンクが收められ、操縱席から辨と桿を動かして撒布口を開閉する、高度百五十呎、速度二百哩時程度で飛び、巾百五十碼以上の地域に一分間二百十五ガロンの割合で撒布する

纖維の電氣被覆

(リスボン十八日發)ニユーヨーク來電=ジエネラル・イレクトリツク會社は織物用纖維の電氣被覆法について次の通り發表した

新加工法においては靜電氣場を通過した纖維が帶電、直立したところを粘着性物質で被覆された裏布に垂直に投射するのだが、この方法による普通の製品よりも一層濃密な毳の柔毛被覆物を作ることも可能だ、新加工法による織物の纖維數は一平方吋三十萬本にも達し、その密度は通常の織物における纖維密度の十倍である、なほ標準的織物試驗機で耐久力を試驗したところ新加工法による製品は通常の織物の三倍の耐久力を示した

原子爆彈の公開を要求

(リスボン十八日發)米國が原子爆彈の秘密を獨占し特にソ聯にかくしてゐることは國外は勿論國內でも大いに物議の種となつてゐるが、「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙は十七日の紙上で原子爆彈の秘密をひろく公開して積極的な世界平和を建設せよと次の通り主張してゐる

「歐洲政治について米英ソ三國間に重大な意見の開きがあることは事實だ、また原子爆彈が政策の新たな武器として世界に導入されたことも事實である、併しながらこれを國際政局において大急ぎで單獨利用するにはあまりにも爆發を招き易い武器だ、理性ある人の等しく目的とするところは、原子爆彈を獨占的にひけらかして權力を行使することではなく、建設的政策と同樣破壞的な新兵器もまたひろく世界に內容を公開してあらたな國際社會を形成する一助とすることにしなければならない」

特輯

英國の外交政策

—チヤーチル演說を解剖す—

英國下院はアトレーを首班とする勞働黨內閣のもとに八月十五日開會された、政府は勅語の形式でイングランド銀行の公營、炭坑の國有その他勞働黨年來の主張を盛つた政綱を發表したが、チヤーチル前首相は今は在野保守黨の首領として內閣の政策を痛烈に攻擊した、右演說は米英ソ三國に關係の新展開を示唆する點で興味が深い

當局としてこの責任から解放されたためチヤーチルはソヴエト聯邦の支援する東歐洲各國の政治形態に對し、生涯を通じて曾て見なかつた痛烈な攻擊を加へたとロイター電報は報道してゐるが、斷片的な電報を綜合して先づソヴエト聯邦に關するチヤーチルの主張を揭げよう

△ポーランド問題

先づポーランドの西部國境線に反對して曰く「ポーランドの西部國境線は暫定的にドイツ領土內の可耕地四分の一を包含することに取極められたが、右國境線は歐洲の將來に對して決していい前兆ではないとの余の見解を玆に記錄に止めねばならない、ポーランドがカーゾン線以東においてソヴエト聯邦に割讓した領域の代りに、西方において十分な代償を受取ることが終始一貫した聯立內閣の希望であつたが、この點で必要乃至公正が要求するところを遙に越えたといふ過失が犯されしかもポーランド臨時政權は右交涉に熱心に參劃してゐる、ポーランド人が持つてゐない長所は少いが(喝采)彼等が避け得た間違ひもまた少い(哄笑)ドイツ人が新ポーランド領土から如何に追ひ出され逃げ出してゐるかの實狀について報道を受けて懸念なきを得ない、尨大な數のドイツ人の行衞がわからなくなつてゐるが果してどこへ行つたのだらうか、彼等の運命は如何、チエコスロヴアキア領土からズデーテン人やその他のドイツ人を追ひ出す場合にも、同樣の事情が形こそ變れ再現されるかも知れない、中歐洲と外界との間には大きな鐵の帳が下され、帳の背後では獨裁的共產主義勢力がテロ手段をもつて統治しようと力めてゐる、若し何れかの强國が獨斷的に政治的解決を指令しようとするならば、ソヴエト聯邦と同盟各國の間には何時紛爭が勃發するかも知れない、同時に余は米英兩國が差し當りソヴエト聯邦その他すべての國々に對し、原子爆彈の祕密をかくしておくことを要求する」

チヤーチル前首相がテヘラン會談以來の媚態外交を一擲し、卒然としてソヴエト聯邦攻擊の鋒鋩を露はにしたのは何故であらうか、東西の戰局が終りを告げて、最早クレムリン宮の協力を必要としなくなつたのも勿論その一因であらう、しかし學界と戰略との革命兒原子爆彈の戰慄が、國際政局における大きな切り札として登場した事實を看過してはならない、チヤーチルは更に語をついでいふ

△自由と公正

東南歐洲至る所共產黨が出來上り、政權を壟斷してゐるとはいはぬ、勿論戰禍の巷と化した之等の國々においては、今後數ケ月獨裁的政權が必要であり、さもなければ無政府狀態に陷らう自由主義的政權乃至米英兩國のやうな民主政治が卽時之等の國々に確立されるのを要求し期待するのは無理に過ぎない、しかしポーランド、チエコスロヴアキア乃至ユーゴスラヴイアにおいては、數百萬の家庭では何時嚴重に武裝した警官隊が突如玄關先きに立ち現れ、父や子を拉致し去るのではないかと戰々兢々たる有樣である、乞ふ、英國はその外交政策において不斷に自由とフエアプレーとの調べを奏でようではないか

ポツダム會談においてソヴエト聯邦は東亞の戰爭に對する參加を公約したのであらうか、それとも原子爆彈の威力に、バスに乘り遲れまいとして倉皇として帝國に宣戰を布告したのであらうか、

昭和二十年 八 月廿二日(水)
第 三 五 二 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ポツダム公報はその第十四項において、米英ソ三國代表が「軍事上利害の共通した諸問題について協議した」と簡單に述べてゐるに過ぎないが、チヤーチルは初めて這般の消息を明にして曰く

△原子爆彈とソ聯參戰

ポツダム會談において余はトルーマン大統領とともに日本軍に對する巨大な攻勢を企圖し、軍司令官に對して攻勢準備の命令を下した、しかるに原子爆彈とソヴエト政府の宣戰布告との結果右攻勢は不必要となつた、會談では余とトルーマン大統領とが恐ろしい原子爆彈の勢力を發動する作戰計畫を承認した、一部には原子爆彈を使用したのは怪しからぬとの議論も出てゐるが、余はかかる見解には同意しかねる、六年間に亘る總力戰の結果、萬一日獨兩國がこの新兵器を發見してゐれば、兩國は必ず右兵器を使用して一氣に聯合國を粉碎したに違ひないとの結論に到達した、然るにこの爆彈を使用せずに日本々土上陸の苛烈な戰ひと屠殺とに百萬の米國人と二十五萬の英國人を犧牲に供するも辭せないとの議論を聞くのは寔に意外千萬である、ポツダム會談では米英兩國が、今までと比較にならぬ位強力な爆藥を使用する計畫である旨スターリン元帥に傳へた

日本軍との戰爭が突然且つ速に終局を告げた原因は何よりもこの原子爆彈の出現に歸せられねばならないが、原子爆彈の祕密は國際社會の利益のために當分出來る限り他國に傳へてはならぬといふトルーマン大統領の見解に全幅贊成である、擅斷的な權力を揮はうといふ希望からではなく世界共同の安全のためにかく主張する、他國における研究と實驗とを阻害することは出來ず研究が至る所で進められるだらうが、理論を行動に轉化するに必要な尨大な工場を建設することは何處の國でも出來るといふ譯には行かない、この理由並びにその他の諸理由から、米國はこの瞬間世界の最高峰に立つてゐる、これ余の欣快とするところである、希くは米國人が全力を擧げてその責任を果さんことを、米國における一大進步に追ひつくには三、四年の日時が必要だと承知する、この三年間に國際關係を調整して、一國が低劣且つ時代遲れの野望乃至熱情的な見解の相違を理由に他國を攻擊することなく、國際機關が最高の權威を揮つて地には平和を、人々の間には正義を實現するやう取圖はねばならない、遍路の後今や世界史上の崇高な瞬間に到達したが、この崇高な機會を恥めぬやうすべての人々が努力せねばならず、一時間も無駄にせず一日たりとも失つてはならない

更に原子爆彈の使用によつてソヴエト政府の宣戰布告が促進されたといふのは、余の見るところでは間違ひだと思ふ、余がスターリン元帥と數次に亘つて會談を遂げたところでは、ドイツ軍が降伏した後三ケ月以內にソヴエト政府が日本に對して宣戰を布告するといふ諒解が相當以前から出來てゐた、何故三ケ月の期間を見たかといへば、赤軍がシベリア鐵道を通じ滿洲方面軍を增强し守勢軍から攻勢軍に轉化する爲である、ドイツ軍が五月八日に降伏し、ソヴエト政府が八月八日日本に對して宣戰を布告したのは單なる偶然の一致ではなく、スターリン元帥の軍隊が軍事上の公約を常に誠實に且つ日限通り嚴守する新な實例である」

チヤーチルは外相理事會がロンドンに本據を置くこと、英軍と赤軍とが近くイランから撤收することになつたのを喜ぶ旨述べた後

ポツダム會談の結果失望と不安とがなくなつたとか、最も重大な諸懸案が悉く良好な解決を得たとか稱して英國が自ら欺いてはならない

と釘を打つてゐる、所謂諸懸案のうちには東南歐洲におけるソヴエト政府の獨裁、ポーランドの西部國境線等が入る譯だが、チヤーチルは特に勞働黨の領袖ラスキー教授を引き合ひに出し、勞働黨內閣に食つてかかつてゐる

△ラスキー教授を彈劾

「余は本月出來るだけ論爭的話題を避け度いと思つてゐるが、玆に是非とも首相に答辨して貰はねばならぬ問題がある、それはラスキー君が英國の外交政策についていろいろ言明してゐるが、同君の權威(哄笑)は果して如何、また同君の言明によつて外相が拘束されるか否かの問題である、勿論ラスキー君が勞働黨執行委員會の委員長であることを承知してはゐるが、右機關は極めて有力で黨出身の閣僚をも訊問する權限を持つてゐると聞

いてゐる、想ふにラスキー君は非常な權力を持つてをり、且つ右權力を主張するのに熱心なことは明白である、しかし下院と國民とは果して何人が現内閣のスポークスマンなりや承知する權利を持つてゐると思ふ、ラスキー君は數日前パリにおいて英國のギリシヤ政策は徹底的に修正されねばならぬと述べてゐるが、眞意果して如何、ギリシヤ政策については國論が一致してゐたと思ふ、殊にサー・ウオールター・シトライン等勞働總合代表の報告以後然りである、ギリシヤ政策は要するにギリシヤ國民の充分自由且つ拘束されぬ意思によつてその將來を決定するにあり、且つ總選擧は實行出來る限り早く執行されねばならぬといふのである、既にギリシヤ政府は外國のオブザーヴアを招請し、果して總選擧が民意の自由正當な表現かどうかを全世界すべての人々に傳へることを要請してゐる、米英佛三國はオブザーヴア派遣の申入れを受諾した、ソヴエト政府を說得して、同樣受諾させることが出來なかつたのは遺憾である、然るに爾後何等か政策に變更があつたのだらうか、ラスキー君の言ふ所を見れば恰もギリシヤ人が自由に投票すれば、同君の思ふ通りになると言はぬばかりだ（議席からそれは正に君は選擧の際に言つた所だとの野次飛ぶ）否各國民が余の好む通りに投票する以外の權利はないなぞと余は未だ曾つて申したことはない、更にラスキー君はフランスに關しても、影響甚大な見解を表明してゐる、即ち來るべき總選擧でフランスが社會主義を支持すれば、英國政府は一九四〇年六月の提案を更新し英佛兩國が市民權を共通にする用意があると述べた、右提案以來玆に五年、情勢は著く變化した、從つて英佛兩國が市民權を共通にする單一國民になるとの考へについては、かかる提案を議會に出す前に、少くとも責任ある關係が極めて愼重に考慮を加へなければならない、況や外國においてかかる言明をなす場合はさらに然りである、かるが故に余は首相がラスキー君に對し、かかる聲明をする權限を與へたのか、外相が右聲明を裏書一閣議が同意したのか、敢て借問する、社會主義政權が出來るとの條件のもとに、フランス政府にかかる申入れをしたといふのであれば以上の諸點について首相が明確な答辯を與へて欲しい、要するに外交政策に關するかかる聲明は、下院に責任を負ふ國王の閣僚がなすべきで、然らずとすれば新内閣が必ず事論を釀すに違ひない、他國の内政を理解することは出來ない、自國の内政を理解することが既に困難である、然るにラスキー君は極めて自由に佛、西、米各國の事情に言及してゐる、ラスキー君はいふ、米國に對する英國政府の態度は好意的だが、ソヴエト聯邦に對するそれは深厚な兄弟愛だと、余はかく區別を付けることが余の期待し且つ英國にとつて絶對必要な好結果を齎すかどうか疑問なきを得ない、これ極めて重大な問題である、ラスキー君はスペインのフランコ將軍に對する干渉を考慮してゐるらしい、余が聯立内閣の同僚の回答を得る數ケ月前にフランコ將軍に與へた書翰が發表されることを希望する、然らば余乃至余の同僚がスペイン現政權を支持してゐるとか、味方してゐるとかいふ批評が餘りの中傷に過ぎぬことが何人にも明となるう、右翼たると左翼たるとを問はずあらゆる形式の專制政治に敵對することはわれらの誇とするところである、余がポツダムを立ち去るに先立ち、米英ソ三國は聯合國の世界機構から、フランコ將軍下のスペインを除外する旨の聲明方式を決定した、しかし力づくでスペイン内政に干渉したり、餘り多くもない人口のうち少くとも百萬乃至二百萬の人民を恐しい鬪爭のために喪失した國に再び内亂を惹起しようとするのは間違ひである」（長谷川　才次）

貿易業者の黒表

（リスボン十八日發）ニューヨーク來電＝米國政府は戰時中敵と通商した外國人貿易業者の黒表を作成してゐる、が現在までにこの黒表中にはラテン・アメリカ及び歐洲の一萬一千以上の商社が含まれてゐるといはれ、またこの黒表記載は今後も無期限に續けられるといはれる

昭和二十年 八 月十三日(木)
第 三 五 二 二 號

同盟通信 海外電報

(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可 編輯發行人 田中正太郎 東京都麹町區日比谷公園二番 財團法人 同盟通信社)

帝國政府がポツダム宣言を受諾してより、降伏とか、停戰とか休戰とか、色々の表現が用ひられて居り、その間戰爭法上の觀念に混濁を來してゐる節がないでもない、以下現實の事態に焦點を向けて一應の說明を加へる

(一) 降伏規約(capitulation)降參(surrender)の語は極めて廣義であり、休戰交涉までも含めて言はれてゐるが、これは國際法上の術語ではない、嚴密な意味における降伏とは、交戰國一方の軍隊または軍艦が、敵にたいする抵抗を停止して、自己の防壘地點、兵員、兵器または軍艦を敵の權內に移すことであり、兩軍指揮官において行はれ、多くは局地的である、日本軍代表と聯合軍代表の間に全般的な休戰交涉が行はれてゐる間戰域各地においてそれぞれ降伏規約が取極められることもあらう

(二) 停戰規約(suspension d'armes, Waffenruhe)交戰中兩軍の間に一時戰鬪を停止するもので、戰死者の埋沒、俘虜の交換等に必要な間兩軍指揮官の取極めにより行はれる、或ひは局部的であり或ひは全般的であり得るが、一般に停戰協定といふのは次に述べる休戰規約の誤解である

(三) 休戰規約(armistice, Waffenstillstand)交戰軍力の全部、あるひは戰局の全面に亘る敵對行爲の全的停止であるが、法的には飽くまで「停止」であつて「終熄」ではない、ハーグの陸戰の法規慣例に關する規則第三十七條以下は、前項の停戰と休戰とを區別せず何れも休戰と稱して期間の定めない時は交戰者は何時でも再び動作を開始し得るとし、又休戰規約の重大な違反ある場合規約を廢棄し、又緊急の場合戰鬪を再開すべきことを規定してゐる、然し通常休戰規約は戰爭の終焉を目的として行はれ、從つて媾和の前段階を爲すものである、全般的休戰は交戰國政府又は軍總指揮官だけが締結し得べく、特に交戰國政府の全權委任を受けた全權委員の締結する休戰條約は批准を俟つて初めて效力を發生する、現在言はれる休戰協定は、卽ちこの範疇に屬する



【目 次】

米、武器貸與制を廢止……二三三六
佛、降伏文書調印式に參加……〃
蘭代表決定……〃
ド・ゴール華府へ……〃
シリア內閣總辭職……〃
印度總督倫敦訪問……〃
【英 帝 國】
歐洲復興の困難を說く……二三三七
國內住宅難對策……〃
マレーのゴムを獲得か……〃
濠洲は主要太平洋國……二三三八
銀行許可制を實施……〃
【歐 洲】
猶太人のパレスチナ移住問題……〃
ソ聯代表決定……〃
軍民擧げて「航空日」開催……〃
國際憲章批准……〃
フランコ獨裁の維持に必死……二三三九
兩國物資交換取極め……〃
聯合國の對伊民需物資……〃
【米 國】
昨年度の稅收實績……〃
今秋中に肉類割當制撤廢……〃
大統領再轉換を指令……二三四〇
完全雇傭法案公聽會開始……〃
近く戰勝公債募集……〃
戰時生產局航空機部解消……〃
陸軍の復員情況……二三四一
油脂、錫罐等回收繼續……〃
パナマ大使任命……〃
米芬國交恢復……〃
空母ハンコック損傷……二三四二
戰後經濟の見透し……〃
戰時施設部解消……〃
ロケット研究を海軍に……〃
【特 輯】
ペタン公判(六)……二三四三
【資 料】
米大統領勞働政策聲明……二三四五
今次大戰における米國の犧牲……二三四六

米、武器貸與制を廢止

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝白堊館當局は二十一日以降諸外國に對する武器貸與援助をすべて廢止する旨發表した、右事項についての關係各國への通告はすでに二十日より送付され、二十一日までにはワシントン駐在各國代表の手に行き渡るはずであるが、武器貸與制の停止は米國よりの通告が受領された時から即時發效することとなつてゐる、右に關する白堊館當局の發表文內容左の通り

「米國內には武器貸與向物資にしてまだ海外に輸送されてゐないものが英貨換算約五億磅（米貨二十億弗）ほどであり、海外にストツクとなつてゐる武器貸與物資は二億五千萬磅（十億弗）乃至三億七千五百萬磅（十五億弗）に上つてゐる

大統領は外國經濟院總裁に對し直ちにすべての武器貸與活動を中止するに必要な措置を講ずるやう命令するとともに貸與援助を受けてゐた外國政府に對しこの旨通告した、また大統領は聯合國政府が貸與制が廢止されてもなほ物資の引取り方を希望しまたは貸與物資の引渡しが米國の利益たる場合を除き、すべての既存武器貸與を一切取消すべき旨命令した、更に外國經濟院總裁は現にストツク中のものもしくは引渡の中途にある貸與物資を聯合各國政府に取得せしむるか否かにつきこれら各國政府と協議すべき旨の命令を受けてゐる」

ワシントンにおける信ずべき筋の情報によると現に米國內にある二十億弗の貸與物資は外國政府が現金拂による引取りを希望するかぎり、これに供給し得ることとなつてゐるが、この支拂については輸出入銀行より短期クレヂツトが各國に提供されるものとみられてゐる、米國はここ六ケ月間以內に英佛支三國との間に金融協定を締結する豫定であるが、このクレヂツト供與は右協定に代るものではない、オランダは米國より受けた貸與供給よりもより多くの逆貸與を行つてゐるが、「米國の利益のため」に貸與を繼續する相手國の一つにあるものと觀測されてゐる、因に武器貸與制は一九四一年三月十一日以來實施されてゐた

佛、降伏文書調印式に參加

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝米國々務省は二十日次の通り發表した

米國政府はフランス、オランダ、濠洲、カナダ、ニユージーランドに對しても降伏文書調印式に參加するやう招請を發した、なほフランス政府は招請受諾の旨回答を發した

蘭代表決定

（リスボン二十日發）アネタ通信社の報道によれば休戰協定會議に出席するオランダ側の代表は蘭印軍司令官L・H・ヴアン・オイエン中將に決定中將は二十一日メルボルンを出發、マニラに向ふ豫定といはれる

ド・ゴール華府へ

（リスボン二十一日發）パリ來電＝フランス政府首席ド・ゴールは米國大統領トルーマンとの會談に出席するため二十日夜空路ワシントンに向つたド・ゴールはトルーマンとフランスの將來に關聯する多數の國際問題を協議し一週間以內にパリに歸還するものとみられてゐる

シリア內閣總辭職

（リスボン二十一日發）ダマスクス來電＝シリア首相ファレス・エルフーリは二十一日朝カワトリ大統領に閣員の辭表を取纏めて提出した、但し同內閣は新內閣の成立まで事務を執る筈である

印度總督倫敦訪問

（リスボン二十一日發）ニューデリー來電＝英勞働黨內閣の出現に伴ひ英國の對印政策に根本的變化が齎されるといふ見方が印度國內で支配的だが印度政廳は二十一日次の通り發表した

英國政府は印度總督ウエーヴエル元帥に對し英國政府と協議するため至急ロンドンを訪問するやう要請、總督はこれを受諾した

以上の發表によりウエーヴエル總督が本國から印度の地位に關する新たな提案を齎すことはほぼ確實とみられ、印度國內の獨立運動諸派は深甚な期待と關心をもつて成行を凝視してゐる

昭和二十年 八 月廿三日(木)
第 三 五 二 二 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英 帝 國】

歐洲復興の困難を說く

——英國下院の外交討議——

(ストツクホルム二十日發)外相サー・アーネスト・ベヴインは二十日下院における外交討議において歐洲の現狀を說き勞働黨內閣の外交方針を闡明した、同外相は先づ今回の世界戰爭の結果、米英ソ三國の關係が著しく强化されたことを强調した後、歐洲「解放」各國の情勢に言及して曰く

「今回解放された歐洲各國には、曾つて見なかつた位の最惡な事態が持上るに至つた、重大な困難は二つである、先づ第一に之等各國民に對しては解放以前占領軍の權威に反對するやう敎へ込み、抗戰が標語であつた、今や之等の各國が解放されたが、各國民が法律と秩序とを當然受け容れさせることは至難である、第二に解放以前においては占領軍の事業を阻害するため、各國民に對し出來るだけ生產を手控へることを要請したが、今卒然として勤勞を要求しても直ちに增產を期待することはむづかしい、從つて之等の國々において直ちに英國流の自由な總選擧を期待出來ぬが、英國政府としては以上困難な情勢のもとにおいても、之等の國々に如何なる樣式の全體主義をも容認しない決心である」

サー・アーネストは更に進んで、歐洲戰爭の終了後における人口の大量移動に言及し

「數百萬の人間が戰爭の過程において强制奴隸勞働として遠く家庭を離れたが、之等の人々は今や流民として、食糧を盜み殺人暴行を敢てし、反社會的性格のあらゆる行動に出てゐる、加ふるに、中部歐洲には數百萬のドイツ人が移動を續けてゐるので、以上數百萬に達する人口の定着には、管理委員會の智腦を傾け全力を盡さねばならない、モントゴメリー元帥からの十八日の報告によれば英軍の占領地帶から百十萬近くの人口が立ち退き內三十萬は西に赴き、六十萬以上のロシヤ人が東に輸送され、二十萬人のイギリス人は近く南に赴く豫定であるといふ、依然百廿五萬の人口が英軍占領地帶のキヤンプ內にあり、更に五十萬人が流浪してゐる」

と述べた

英國外相は轉じて歐洲各國との關係に言及したが、特にポーランドについては

余はポツダム會談において、スターリン元帥に對し、赤軍がポーランド領土から撤收するかと尋ねたところ、元帥は「ドイツ國內における赤軍に必要な通信聯絡のため所要の少數の兵力を除き、赤軍を撤收する」旨言明した

他にポーランド國內における祕密警察の問題があるが、この問題は今後の處理に俟たねばならない

と述べた

國內住宅難對策

(ストツクホルム二十日發)ロンドン來電=政府は目下重要國內問題たる住宅難の對策に腐心してゐるが、保健相アヌーリン・ベヴアンは十八日地方長官に通牒を發し、第一回建設豫定の永久的家屋は秋になる前に建築を開始するやうに命じた、バーミンカムでは旣に永久的家屋の建築が開始され、ブリストル、イーストボーン、ブライトン、カーデイフの市當局は建築業者と交涉を行つたり入札を行つたりしてゐる、ロンドン都廳は一ケ年內にロンドン地區全體に一萬六千五百の永久的家屋を建築する計畫で、ウエスト・ハムでは一ケ年內に一千戶を建築の豫定だ、マンチエスターでは七萬六千戶を必要としてゐるが一ケ年內に二千戶の煉瓦製家屋と三千戶の組立家屋を建てる豫定だ

マレーのゴムを獲得か

(リスボン二十日發)ロンドン來電=目下ロンドンに歸還中の東南アジア軍司令部主席參謀フイリツプ・ジョバートはロイター記者につぎの如く語つた

極く近い將來英國はマレーからのゴムを入手するやうになるであらう、情報によるとマレーのゴム園の一部は伐採されて食糧生產に轉換されてゐるが、全體としてみると大した損害は蒙つてゐない模樣だ

濠洲は主要太平洋國

（リスボン二十日發）メルボルン放送は日本降伏に伴ふ濠洲の地位につき、二十日次の通り報じてゐる

日本は濠洲が太平洋の主要國家であり、英聯邦の重要な一員であることを知らされねばならない、濠洲は日本々土、マライ、シンガポールの占領に寄與する決意である、濠洲占領軍は陸軍二個旅團、空軍三飛行中隊、海軍は巡洋艦、驅逐艦數隻よりなり、兵員は濠洲北方の諸島嶼で軍務に服してゐる者から選拔される筈である

銀行許可制を實施

（リスボン二十日發）キャンベラ來電＝濠洲首相チーフリーは二十日、政府の許可なくして民間銀行が營業することを禁止した聯邦銀行法を愈々二十一日より實施する旨發表した、現に營業中の民間銀行に對してはここ數日中に政府から許可が下りるはずだが、二十一日からはこの許可がない者は個人法人を問はず「銀行」の言葉を使用するのを禁止されるわけである

【歐　洲】

猶太人のパレスチナ移住問題

（リスボン二十日發）アレクサンドリア來電＝米國大統領トルーマンは最近聲明を發し、パレスチナにユダヤ人の安居の地を設ける案に對する贊成意見を表明したが、イラク首相ハムデイ・アルパチヤチは十九日、右聲明に關し次の通り言明したアラブ聯盟協議會はこの問題を討議するため出來るだけ早く會議を開催する、パレスチナはアラブ國家であり、いかなるシオニスト運動が行はれようとも永久にアラブ國家として殘らう、パレスチナ問題は中東において解決さるべきで米國その他いかなる國家も干渉する權限はないまたアラブ聯盟事務總長アザム・ベイは記者團會見で次の通り述べた

トルーマンの聲明はパレスチナにユダヤ人地區を建設する案については直接には何等言及してゐないが、パレスチナへのユダヤ人の移民が米英兩國及びアラブ諸國の間の完全な了解の下に行はれねばならぬ旨述べてゐる、しかしパレスチナには移民を受入れる餘地はないからユダヤ人の移民のために道を開かうとするのは無益だ

犧牲者六百萬

（リスボン二十日發）ロンドン來電＝世界猶太人會議は二十日ロンドンで開催、四日間に亘つて

一、歐洲猶太人の救濟
一、賠償問題
一、戰爭犯罪人の處罰
一、猶太人代表の平和會議出席

等の問題を協議するが、會議々長ステフン・ワイズ博士は二十日の開會演說中「歐洲でドイツ側により殺害されたユダヤ人は五百萬乃至六百萬に上る」と報告したといはれる

ソ聯代表決定

（ストツクホルム二十日發）モスクワ來電＝ソヴエト政府は日本降伏を處理するソ聯側代表としてヂエレヴヤンコ中將を任命した旨二十日發表したヂエレヴヤンコ中將は近くマニラのマツカーサー司令部に到着する筈である

軍民擧げて「航空日」開催

（リスボン二十日發）モスクワ來電＝ソ聯の「航空日」は十九日全國に亘り盛大に行はれモスクワでは赤軍航空部隊の街路行進や航空ページエントが展開された、一方民間飛行士三萬七千六百名はスターリンに署名入りの書簡を送り來るべき二三年間の民間航空の飛躍的發展を誓つた、大戰中ソ聯民間飛行機は四萬回出擊して遊擊隊の活動を援助したといはれる

國際憲章批准

（ストツクホルム二十日發）モスクワ來電＝ソヴエト聯邦最高會議幹部會は二十日國際憲章の批准を了した旨發表した

昭和二十年八月廿三日(木)
第三五二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

フランコ獨裁の維持に必死

(リスボン二十日發)歐洲に殘された唯一の獨裁國スペインのフランコ政權の運命は各方面の多大の關心を集めてゐるが、スペインのナチ勢力たるファランヘ黨と王政派との野合に失敗したフランコは保身の方途を求めて百方策動を續けてゐる樣子で、サン・セバスチヤン來電によれば、フランコは獨裁の危機を乘り切るためこのほど新憲法草案を完成、九月早々サン・セバスチヤンにおいて開催される新內閣の臨時閣議に提出する豫定といはれる、フランコの新憲法草案なるものの內容は全く窺ひ知り得ないが、消息筋の見解では一見民主々義的な外被の下にファランヘ獨裁を密輸入しようとするいかがはしいものといはれ、ロイター記者ジョン・キムチは舊態依然たるスペイン國內情勢を指摘して二十日次の通り報じてゐる

「スペイン國內情勢に關する種々の情報にも拘らず、ファランヘ勢力は一向に掃蕩された模樣がなく異樣に混亂した事態を現出してゐる樣だ、卽ちファランヘ勢力がスペイン政治の舞臺前面から退いたことは事實だが、舞臺裏で熾烈な活動を展開且つ閣內の樞要地位を依然抑へてをり、また新聞にたいするファランヘ黨の支配權は外面上は撤廢され、文部省の管轄下に移されたが、同じファランヘ黨官吏が新聞を抑へて、從來同樣の檢閱方針を維持してゐる、從つて國家機構に對するファランヘ勢力の支配は搖ぎなく、フランコ自身も隱退する氣持がさらさらないため、スペインの憲法改正が民主々義の方向を指してゐるとは全然認められない」

兩國物資交換取極め

(リスボン二十日發)プラーグ來電=オーストリアの米軍當局の取極めに基きオーストリアはチエコスロヴアキアから骸炭十萬噸を獲得これと交換にチエコスロヴアキアはオーストリアから鐵鑛三十五萬を獲得することになり、九月一日から實施される

聯合國の對伊民需物資

(リスボン二十日發)ロンドン來電=英國情報省は十九日次の通り發表した

一九四三年のバドリオ政權降伏當時から本年二月末までの期間に聯合國はイタリアに對し民需物資百四十萬九百六十六噸を送つた、右の內六十九萬一千七百十一噸は米國が負擔したがこの內六十四萬一千三百六十三噸は食糧品であつた

【米國】

昨年度の稅收實績

(リスボン廿日發)ワシントン來電=稅收局十九日の報告によれば、本年六月三十日に終る一九四五會計年度の聯邦政府稅收は四百三十八億三十八萬七千五百七十五弗と前年度に比し三十六億七千八百六十二萬七千三百四十三弗の增加となつた、所得稅收入は二百三十九億一千四百二萬八千七百五十五弗でこれまた前年度に比し三億六千八百萬弗方の增加であつた、酒稅、工業稅、小賣販賣稅雇傭稅、入場稅及び雜稅收入はすべて增加したが煙草稅、自動車稅、印紙稅などは減收となつた

今秋中に肉類割當制撤廢

(リスボン二十日發)ワシントン來電=農政長官クリントン・アンダーソンは秋になれば肉類配給割當制を撤廢出來るかも知れないと示唆、次の如く述べた

陸海軍人の肉類優先割當は九月迄には終り軍需注文削減が豫想されるが、これだけでは一般配給割當制がいつ中止されるか適確な期日推定は不可能である、しかし秋には家畜出廻り增大が期待されることとて、配給割當制の早期撤廢が保證出來るわけだ、かくて需給調整の尺度は最早不要になるが、その結果肉類價格が騰貴してはならない、なほ歐洲向救濟用肉類供給については何らかの金融取極めが行はれるものと思ふが、具體的の需要量は未だわからない

大統領再轉換を指令

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝對日戰の終了に伴ひ米國は今や全土をあげて戰時經濟から平時經濟への移行即ち再轉換工作の推進に大童だがトルーマン大統領は十八日大統領令をもつて再轉換工作の大綱を指示すると共に政府關係各機關に對して具體的な再轉換措置を指令した、大統領令の要旨次の通り

△再轉換六政綱

政府各機關は再轉換問題を處理するに當り次に揭げる各項をその指導原理とすべきである

一、民需物資の生產並びに勞務の提供に必要な物資を出來るだけ多く供給するやう支援を與ふ

二、私有物たると公共財產たるとを問はず軍需工場その他施設の轉換、利用に支援を與ふ

三、軍需勞働者並びに歸還將兵に新しい職場を確保するやう有效な援助をなす

四、インフレ乃至デフレを防止するため物價統制法、經濟安定法その他あらゆる法律を活用する

五、戰時から平時への秩序ある移行を實現するために必要と思惟した場合は物價、賃金、物資施設等に對する各種の統制措置に如何なる變更をも加ふ

六、經濟の安定を危殆ならしめることなく、物價賃金、生產その他に對する統制の撤廢また團體契約制度及び自由市場の回復に向ひ出來るだけ早く前進する

△各機關に對する指令

この指令の目的とするところは米國の戰時經濟を急速且つ秩序的に平和時經濟に移行せしめ、自由且つ獨立した民間企業を確立し、同時に完全雇傭と最大限の生產とを實現するにある、現在の米國經濟はいはば「戰爭經濟の最終的段階」にあるがこの段階において必要なことは物價及び生產費の全般的安定と購買力の維持とを確保するにありこれなくしては一般企業を戰時生產から平時生產に切換へ、また一般個人を戰時の職場から平時の職場へ轉換せしめることは出來まい、この全般的考慮の下に余は政府各機關に對して次の具體的指令を發する

戰時生產局＝原料及び施設の不十分な物資の生產には制限を加へること、手持物資に對する統制を强化し投機的な退藏を防止すること

物價管理局、經濟安定局、農務省、聯邦融資局＝法律その他によつて與へられたあらゆる權限を活用して物價の安定を維持し更に進んで物價の崩壞を阻止し、生產を阻害するあらゆる事情の除去に努めること

戰時勞働局＝勞働局は依然として勞働爭議を調停する權限あり、平和經濟への移行を妨げるごとき勞働爭議は戰爭中に軍需生產を妨害した勞働爭議と同一に見做し、かかる爭議に對しては政府が戰爭中軍需工場に發生した勞働爭議に對してとつたと同樣の斷乎たる態度をもつて臨むこと、勞働局はインフレを激發しない程度において賃金の引上げを認め得る

完全雇傭法案公聽會開始

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝上院銀行通貨委員會は再轉換法案中最重要法案の一たる完全雇傭法案の公聽會を豫定されてゐた十月九日より繰り上げ二十日より開催した

近く戰勝公債募集

（リスボン二十日發）＝ユーヨーク來電＝財務長官ヴインソンは可及的速かに戰勝公債募集を行ふ旨發表するとともに、賃金俸給貯蓄計畫遂行の見地からみて、とくに米國貯蓄公債の賣出繼續が必要だと述べた

戰時生產局航空機部解消

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝クルーグ戰時生產局長官は十八日同局の航空機部の解散を發表した、航空機部は一九四四年十一月に設置され主として戰時における民間航空の監理に當つてゐた機關だが戰時生產局內の各機關のうち最も短命に終つた部である、一部民間航空機生產に關する統制措置は既に早く去る五月十七日をもつて撤廢されたがその後も航空機生產に關する諸統制は相次で撤廢されつつあり、米國の航空事業は今や完全に戰時生產局の統制外におかれんとしてゐる

昭和二十年 八月廿三日(木)
第三五二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

陸軍の復員情況

(リスボン十八日發)對日戰の終了に伴ひ、十七日ワシントンから傳へられた米國陸軍の動員解除情況次の通り

△陸軍省は復員案並びに太平洋方面へ派遣される兵士の資格について次の通り發表した

今後十ケ月半の間に海外へ派遣されてゐた古參將兵四百萬が歸還する豫定で、復員點數の多い兵隊は本年末までに毎月五十萬の割合で召集を解除されよう

八十五點未滿の兵隊でも將來解除點數が引き下げられた場合召集解除の資格者となる可能性のある者は太平洋方面へ送られず、當局は凡ゆる機會を利用してかかる範疇に入る兵隊を太平洋勤務に當てられた部隊から取り除く意向である

△陸軍々醫總監少將ノーマン・カークは十七日ミシガン州バトル・クリークのパーシー・ジョーンズ一般病院の巡視を行ひ、次の通り語つた

太平洋方面における負傷兵は悉く三ケ月以內に米國へ送還されよう、われわれはこの仕事を歐洲でも果すことが出來たが、歐洲戰が終了したとき歐洲には二十萬以上の傷痍兵がゐたことを思へば、これは相當な仕事であつた

軍醫は依然として甚だしく不足してゐる、歐洲戰終了後國民は軍醫が一體何處へ行つたのかと不思議がつてゐたが、われわれは海の彼方に何れ程多數の患者がゐるかといふことを國民に告げるわけには行かなかつた、丁度只今除隊に關する仕事に當るべき軍醫が七百名不足してをり國內には看護を要する傷病兵が約三千名ゐる

△陸軍省は十七日左の通り發表した

當局は從來軍隊宿舍並びに陸軍再展開本部として使用されてゐたホテル百七軒を十一月十五日までに解放する、なほ釋放された米軍俘虜を含む數千の軍隊は十七日から十一月十五日までの間に目下再展開本部として使用されてゐる諸所のホテルへ申告するやう命令されてゐる

油脂、錫罐等回收繼續

(リスボン二十日發)ワシントン來電=戰時生産局は十五日各家庭に於ける油脂、錫罐及び屑紙の回收は當分繼續する旨發表した、錫は依然不足甚だしく油脂も石鹼製造のため不足勝ちなので回收を必要とされてゐる

パナマ大使任命

(リスボン十八日發)ワシントン來電=トルーマン大統領は十八日フランク・ハインズ代將をパナマ駐劄大使に任命した旨發表した、ハインズ代將は長く將兵局長官たり、先週その椅子をオマール・ブラドレー將軍に讓つたが一方現パナマ大使アヴラ・ウオレン氏はワシントンに歸還しロツクフエラー國務次官補の下に國務省米洲局長に就任する筈である

米芬國交恢復

(リスボン二十日發)ワシントン來電=バーンズ國務長官は二十日フインランド駐在米國代表を通じ、同國政府と外交關係を樹立する旨申入れたと發表した

米國政府はかねてフインランドの民主々義化を希望してゐたが、フインランド政府が今年三月の總選擧以後民意を反映し逐次民主々義の線に沿つた國內改造を斷行、現在ではフインランド政府は同國の民主的分子を盡く網羅してゐると認められる結果米國政府はここに外交關係向後の措置をとつたものである

空母ハンコツク損傷

(リスボン二十日發)ワシントン來電=海軍省は二十日次の通り發表した

「エセツクス級空母ハンコツクは去る四月七日九洲沖合で日本機の攻擊を受け、損傷を蒙つたが、五日以內に再び作戰に參加した、日本機の爆彈はハンコツクの飛行甲板前部を突き拔けて格納甲板に損傷を與へて、火災發生のため甲板にあつた飛行機十九機が燒出し、死者二十九名、負傷者七十六名、行衞不明三十五名を出した」

戰後經濟の見透し

（リスボン二十日發）ニユーヨーク來電＝戰後の生産並びに雇傭計畫樹立のため米國商工業關係者によつて一九四二年組織された經濟開發委員會は十九日、過去二ケ年に亘る調査の結果を發表した報告の要旨左の通り

米國の製造業者はここ一年のうちに民需商品の生産高を一九三九年の生産高より四一・六%方引上げ、三九年の價格標準にして八百億弗の生産高を擧げるやう準備してゐる

米國の商工業がその所有財産を軍需生産から平時生産に轉換せしめ、一時的な失業狀態を呈する生産の停滯を取戻すに隨つて、一年以内には事實上の完全就業狀態がみられよう、右は米國の主要工業二十部門についてその生産計畫を一年半に亘り調査した結果に基く推定である、將來必要とされる就業人口は五千四百萬名に上り、軍隊に入る者は三百五十萬名、「浮動勞働力」は二百五十萬名と推定されるが、この「浮動勞働力」は職場を離れようと思ふ者、新しい仕事を求め以前の職を棄てた者、乃至は何らかの理由で働く能力または意志がない者等を含み、實際に能力と意志とを持つてゐて、しかも失業する勞働者は僅か五十五萬二千名の程度に過ぎなからう

耐久物資の生産高は五〇・三%方增加、消費物資は三五・七%方增加すると豫想されるが、最も大巾な生産高增加を示すものは自動車工業の分野であらう

特に强調せねばならぬことは豫想通り民需生産が增加すれば、到底總てを賣り切ることは出來ないだらうといふことだ、從つて戰後の生産擴充計畫を立てることも勿論必要だが、卽刻交易並びに分配の擴張計畫を立てることが緊要である、そしてこの計畫は各團體、各雇傭主が皆徹底的に實行しなければならない

工業部門の就業勞働者數は一九三九年に比して約三百五十萬增加することが豫想されるが、これに伴つて商業部門は米國の分配系統全體に亘つて約五百萬の新就職者を容れるに違ひない、なほ戰後における米國の商工業は次の三時機に分ち得る

一、轉移または再轉換期＝目下進行中で、この間工業は生産施設を戰時生産から平時生産に再轉換する

二、中間期＝この期間、工業は戰爭中不足狀態乃至は入手不可能の狀態にあつた商品に對する積り積つた需要に追ひつかうと努める

三、最終期＝この期間において自立的な基礎への移行が行はれ、就業者數はその時の需要と收入とに從つて增減する

米國出炭高減少

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝燃料局長官ハロルド・イツキーズは十八日、左の通り言明した

七月二十九日から八月四日までの一週間における瀝青炭生産高は前週に比して約六十四萬五千噸の減少であつた、石炭減産の原因は多くの炭坑地區において肉類不足並びに勞働問題のため生活條件が不安定であつたことにある、八月四日までの瀝青炭年産額が減少したのも以上の理由による

戰時施設部解消

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝戰時生産局戰時施設部長は十七日同部が來る九月三十日までに閉鎖される旨發表した

戰時施設部は一九四三年二月二十三日戰時生産局内の獨立した一部門として設けられ、諸動力、水道、ガス、電信電話等の諸施設に對する戰時調整に當つてゐた

ロケツト研究を海軍に

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝海軍省は十九日ロケツトの研究を戰後も續けるため近くロケツト發達のための諸活動を悉く海軍當局の直接管理下に置く旨發表した、現在ロケツトの研究は、主としてカリフオルニア工業學院で行はれてゐる

昭和二十年八月廿三日(木)
第三五二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判(六)

△老將二人の袂別

チヤーチル演說の中にはかういふ文句がある、一九四〇年六月十五日、フランスは英國政府に對して休戰締結を許容されたいと要請せざるを得ない立場になつた旨通告して來た、その翌日英國政府はフランス艦隊がドイツの手の屆かないところに置かれさへすればフランスの要請に同意する旨を發した

このチヤーチルの言明は明らかにペタン、ウエイガンの主張を裏書きするものであり、當時なほフランス首相であつたレイノーがこの英國の回答を自ら接受したわけである、カンヂエの閣議の席上でもレイノーはチヤーチル、ハリフアツクスとの會見內容を他の閣僚に强ひて枉げて報告した疑ひを持たれてをり、休戰について英佛間に諒解の有無の問題では完全にペタン元帥の主張が勝利を占めたことになつた、この日の公判が閉ぢたのは午後五時四十五分、ペタンは疲勞の色を深く面に刻んで、度々、時計の上に眼差しを投げかけた、漸く閉廷して、ほつと一と息ついたペタンは、ウエイガンの方に向つて「わしと一緒に來い」と言葉をかけ、並んで法廷から出たが、廊下まで來るとウエイガンはいきなりその辯護士のため連れ去られてしまつた、元帥は自分の監房に導く廊下口で暫くあつけにとられたまま、ウエイガンの後姿を見送つてゐたが、そのまま默して一人の路を自分もまた歩み去つた

△公判第九日に入る

八月一日、ペタン公判は第九日に入り、ウエイガン將軍とレイノー元首相の對決が續行されたがこのレイノーは依然として鬪志を失はず、敢然として七十九歲になる老將軍に假借のない攻擊を加へたにたいして、明らかに病身であり、長いドイツでの監禁生活で枯瘦さらに衰弱を加へたウエイガンがひとたび口を開くと、レイノーの挑戰に對して一步も讓らぬ攻防の舌陣を布いたこと以外に外電は內容をつたへてゐない

ウエイガンにつづいては、ペタンがスペイ大使時代、その部下だつたデユ・シヤイレールが、內亂時代共和軍の義勇兵だつたフランス人が、フランコ政府に捕へられて監禁されてゐるのを釋放させるため、スペイン政府に交涉を始めようとしたのをペタンが阻止した旨を證言、その後で白蘭ブリツツの節の同方面軍指揮官ジョルジュ將軍の證言があつたが、これも內容は判らない

△リーの書翰提出さる

この日の壓卷は被告側から提出された元ヴイシー駐劄米大使目下米大統領の幕僚長ウイリアム・リー提督のペタン元帥宛の書翰であつた、この手紙はペタン元帥がリーに證言方を求めたに對して與へられた回答をなすもので、ワシントン六月二十二日の日付になつてをり、八月一日ペタンの手許に屆いたものである、內容は次の如きものであつた

「六月九日付の貴翰は、吾々双方の知己である人物の手によつて本日落掌した、余は貴翰により、歐洲情勢の發展の結果、貴下が如何に悲しむべき事態に身を置かるるに至つたかの事情を知ることが出來た、貴下は、余が大統領の幕僚長たる現在の身分によつて、貴下が目下繼續されてゐるフランスの國內的相剋に、如何なる程度においても介入することの不可能な立場にあることは諒解されるであらう、貴下は樞軸國に抵抗するため余が貴下に與へた勸告を受諾し能はなかつた時は常に、かかる積極的行動は貴國の國民の上に侵略者の壓制を更に加重するものであることを理由として擧示された、貴下の最大關心事は常にフランス國民の福祉とその保護とにあつた、余は貴下が、他の關心事を有されたとは信ずること不可能である、然し率直にいへば、余は、余が當時貴下に開陳した意見を繰返し、樞軸國の要求に對して如何なる讓步をも積極的に拒絕することは、假令一時フランス國民の苦惱を加增するとも長い目で見て結局フランスにとつて利益だつたといはざるを得ない

余は又、貴下がナチ侵略者を破摧するについて熱烈な希望をしばしば披瀝されたことを回想する一九四一年から四二年に至る余のヴイシー在住中

貴下は又屢々樞軸國の希望を排し、聯合國の目的に有利な行動を採られたことを附言したい」

この書翰が法廷の意外な驚きの内に朗讀された際、ラヴアルが遂にフランスに着いたことが報告されたので公判は一時中止して、檢事側と被告辯護士間にラヴアルを證人として喚問方について協議が行れることになり、この日はそのまま閉廷された、米軍の手によりフランス側に引渡されたラヴアルは直ちにパリに護送され、八月一日近郊フレーヌの監獄に夫妻ともに收容された

△ノエルの證言不判

八月二日、公判は第十日目に入り、先づ元ワルシャワ駐劄フランス大使で獨佛休戰協定會議のフランス側代表の一人レオン・ノエルが證言した、紺の背廣、そり立ての面、まだ五十七歳のノエルの美男振りは、いかめしい法廷には一寸異色だつたらしいが被告側の證人と出たノエルの證人は意外にペタンに不利で、被告辯護士をあわてさせた「ドイツ側の占領軍々費のフランス負擔額は極めて不當だつたに拘らず、ヴイシー政府は一言の抗議もせず、これを鵜呑みにした、フランス側の休戰代表はフランスにおけるドイツ占領軍の政治的責任についての取極め條項に強硬に反對したが、これもヴイシー政府の意向でドイツに讓歩した、休戰申込みからその實施に至る間、卽ち六月十九日から二十五日の間に、フランス側はドイツ軍に捕へられる惧れのあつた人間を國外に亡命させるに十分の時間があつたに拘らず、ペタンの政府は何らその措置を取らなかつた」

玆で裁判長は、ノエルに對して發言が政治演說や、軍事批評に及ばぬやう、專ら事實の證言に終始するやう注意を發し、一寸、ノエルを照れさせたが、彼は言葉をつづけ

「自分は休戰に至る經過は何も知らない、ローマから歸つたばかりに、單に署名させられただけである、余は休戰協定が單に軍事協定であつたがため一應は署名を遠慮しようと考へたくらゐだつた休戰協定には、自分の知つてゐる限りは祕密條項はなかつた、だから、余の見解では休戰協定の範圍外で、ドイツが獲得した凡ゆる權益は協定違反である、一九四〇年、ヒトラーはフランスの地中海及びアフリカ基地を要求して來たが閣議はこれを拒絕するに決した、余はこれを機會にヴイシー政府はドイツに對して再起抵抗の可能性があるのではないかと考へたが、結局、それは空な希望だつた、ダルラン提督はドイツがフランス海軍に手を付けることは絕對にないと余に語つたことを覺えてゐる」

と、その證言は依然として、ともすればペタンの不利な方へ走らうとした

檢事モルネーはノエルの證言にひどく愉快になつて、更にペタンに不利な發言を引出さうと馬力をかけ、これに對抗して辯護士側の應戰があり、法廷は思ひがけぬ活氣を呈したが、結局、別に特筆すべき新事實も出ず、ノエルの證言は終つた、裁判長はここで、當時フランス占領軍と共にベルリンにある參謀總長アルフオンス・ジユアンからの電報を披露して、同將軍が證人として出廷不可能となつた旨を傳へ、辯護士側はニユーヨークにあるといふ「アメリカ老兵委員會」代表を名乘る一米人から電報を讀上げた、かういふ內容だつた「パーシング將軍の下に、フランスで戰つた名譽を有する米國老兵は、爾來長らく貴下を軍人として、愛國者として讚美し來つたが、貴下の生涯にとつて最も重大なこの時期に際會して、ここに改めて、余等の貴下に對する愛情と信賴との念を披瀝する義務を痛感する、余等はこの前例のない裁判が偉大なるフランス國民の意志に基くものとは信じ得ない、余等は衷心、フランス國民の良心の光が、速かに本裁判を中絕せしめることを祈つて止まない」

（井上　勇）

新二元素發見

（リスボン十八日發）バークレー來電＝カリフオルニア大學における原子破壞の研究から全く新しい二元素の存在が明かにされた、大學當局の發表によれば新元素はネプタニウムとプラトニウムでいづれも原子破壞用サイクロトロンの使用により發見されたのであり、前者は二十五歳の青年科學者アーサー・C・ウオール、後者はエドウイン・H・マクミラン教授によつてそれぞれ發見された

昭和二十年八月廿三日(木)
第三五二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

米大統領勞働政策聲明

トルーマン大統領は十六日、戰時から平和時に移行する過渡期における米國の勞働政策を闡明した聲明を發表したが、左は右聲明の全文である

△米國の福祉を保障

米國の國家的福祉を保障するためには、再轉換の期間を通じて、民需物資の生産並びに勞務の提供が中斷されることなく行はれ、且つ勞働及び資本の協力によつて勞働罷業及び工場の閉鎖を最少限にとどめなければならぬ、われわれは國家經濟の平和時移行に惡影響を與へるごとき勞働爭議を平和的に解決し得る方法を立案しなければならない、戰爭中米國は、産業の平和を確保する上において、素晴しい記錄を殘した、今やわれわれは米國の前途にむかへる最轉換期においても、このよき記錄を維持するに必要な新しい措置を講じなければならない、米國はまたこの期間を通じて、經濟安定政策を續行する必要があるのであり、しかもこれに修正を加へて、現在起りつつある米國經濟の變化に適應せしめなければならない、これ等の目的を果すために

△勞働六政綱

(一)余は近く組織勞働者及び資本家代表による勞資會議を招集する計畫である、この會議においては、再轉換期において生産が勞働爭議によつて中斷されることを最少限にとどめる方法を勞資代表の協議によつて案出することとならう

戰時中における米國の勞資關係の基調は、開戰直後故ルーズヴエルト大統領が招集した勞資代表者會議の決定した協定におかれた、この協定によつて「戰爭中は勞働罷業も工場閉鎖も行はれない」との無罷業誓約がなされたが、この協定に基き戰時勞働局が設置され、未解決勞働爭議の平和的調停にあたることとなつた、一方議會は戰時勞働爭議法を制定して戰時勞働局の政策を裏書きし且つその權限を强化した、戰時勞働局は結局非常時における緊急機關である、これが機能はすべて前述した勞資の戰時協定にその基礎をおいた、即ち、この協定の結果勞資双方ともに、ごく僅かの例外は除き、戰時勞働局が戰爭努力に支障を與へると認めた勞働爭議においては、自發的に勞働局の下す決定を受諾した、同樣に、今やわれわれの直面することとなつた再轉換時代において、勞働爭議による生産の中斷を出來るだけ少くするために、勞資が新たなる協定を締結することは絶對に必要である

(二)勞資會議が終了し、この會議が新たにして有效な具體策を決定するまでの過渡期においては平時經濟への移行に具體的な支障を與へる恐れある勞働爭議を含め、團體契約制と和協とにより解決し得ない爭議は依然として戰時勞働局により取扱はれることとならう、この過渡期間、余は組織勞働者並びに資本家代表が從來通り罷業の誓約を遵守するやう希望し、この期間を通じて勞資双方が、過去におけると同樣、戰時勞働局の指令に自發的に從ふことを期待する

△賃金の引上げ

(三)經濟安定法は一九四六年六月三十日まで有效である、この法律が存續する期間は、物價に影響を與へるごとき賃金の調整は同法の規定する安定措置の統制に服さねばならぬ、しかしながら一度び軍需生産が終了すれば、勞働市場におけるせり合ひによつてインフレ的な賃金引上げ競爭の恐れは消滅するだらう、されば余は從來あらゆる賃金の引上げが戰時勞働局の承認を必要とした規定の撤廢を指令する、但し、この場合にも賃金引上げが全面的にも、或ひは部分的にも新たなる賃金引上げの基礎となるものでないとの條件が必要である

（四）戰時經濟から平時經濟に移行する過渡期において、賃金率の上に不公正、不均衡の生ずるのは不可避である、而してこの不均衡は平和經濟への圓滑な移行を妨げるだらう、されば戰時勞働局はその存續期間中かかる不公正、不均衡を調整する權限を有すべきである、よつて余は新たに大統領令をもつてさきに決定された賃金引上げの基準を維持せしめるとともに、勞働局に對し平時經濟への圓滑な移行を助けるために必要な賃金引上げを證認乃至指令する權限を與へることとした、しかしながら新大統領令が發布された曉においても物價に影響を與へる賃金の引上げは、たとへ勞働局によつて證認された乃至指令されたものであつても經濟安定局長官の證認がなければ發效しないとの規定は依然として有效に存續しよう

（五）戰時勞働局は勞資會議が終了し、勞働局の任務が整理され、また一九四二年十月二日成立の法律によつて規定された賃金安定の機能を發揮する措置が講ぜられ次第解消するであらう

（六）一方勞働省の强化並びに勞働省に當然歸屬すべき機能の統一は勞働長官の規定する法式に從つて推進されるであらう、平時經濟が復活し、現在の暫定的な戰時機關並びに緊急措置が終末を告げると共に、われわれは和協と自發的調定の眞に有效な制度によつて補足された團體契約制度が最善にして最も民主々義的な勞資關係維持の方法となることを期待すべきである

今次大戰における米國の犧牲

UP記者チヤイルズ・C・コールマンは八月十五日對日戰の終結と共に使用すべき記事として今次大戰で米國が拂つた犧牲について左の通り報じてゐる

米國は今次大戰で六十六萬以上の人命を喪ひ、三千五百億弗の國富を費した、第一次大戰における米國の死者一名に對して、今次大戰では實に五名を喪つた勘定だ、選拔徵兵局は今次大戰中召喚した約二千三百萬名のうちから千六百萬名を軍隊に送り込んだ、このほか丁年にも達しない內から應召した者、市民生活から直接軍隊の委囑に應じた者、或ひは陸軍婦人補助部隊員としてまた商船乘組員として軍務に服した者は數十萬の多きに達した、しかし戰爭の各期を通じて陸軍が保有した兵力は男女兵員合せて約千百五十萬名に達したのが最高であつた、米國は死傷者の約三分の一と出費の三分の一とを日本擊破のために犧牲とし、殘餘をナチ・ドイツの征服に向けた、殺戮は今や終らうとしてゐる、しかし負傷兵といふ犧牲は今後なほ一世代もの間續くのである、今次大戰の負傷者は六十五萬名以上に上つたが、この幾人かは二度と健康を取戻すことがないであらう

米國は自國が攻擊を受けるより遙か以前から今回の地球戰爭に財產を注ぎ込み初めてゐた、即ち一方では武器貸與その他の援助手段によつて侵略に抗戰しつつあつた民主々義を支援するとともに他方では殆ど完全とも言ふべき戰爭に對する米國の不用意を匡正し始めてゐたのである、戰爭支出が始つた會計年度の初頭、即ち一九四〇年七月一日から一九四五年八月八日までに流れ出た弗の洪水は實に二千九百九十四億八百萬弗に達した、今後米國民が再び平時豫算を考慮し得るやうになるまでには少くとも更に五百億弗を費さねばなるまい、この金額は火砲、航空機、艦船、戰車、銃砲彈等の生產及び訓練所、軍需工場、商船等の建造に、また數百萬の米國軍隊の輸送、維持に使用され、聯合國特にソ聯がヒトラーの攻擊を受けてからは全國の援助にも向けられた、以上の出費に比較して第一次大戰の費用は五百五十三億四千五百萬弗であつたが、この金額には不拂戰債は勿論戰後幾年間も續いた支出まで勘定に入つてゐるのである

陸軍は先づドイツを擊破するとの戰略の線に沿つて兵力の約八〇%を歐洲戰爭に投じ、一方海軍は兵員の約八〇%を太平洋の各戰域へ送つた、日本が降伏を申し入れたとき太平洋戰線への再展開を完了してゐた部隊は歐洲派遣軍と豫備軍との極く一部分にしか過ぎなかつた

昭和二十年 八 月廿四日(金)
第 三 五 二 三 號

同盟通信 海外電報

(196)

(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可 電報發行人 田中正太郎 東京都豊島區巢鴨五丁目北谷公園二番 社團法人 同盟通信社)

日本は無條件降伏の結果、ここに敵國の保障占領をうけることになり、事態は刻々として、敗北の冷い現實をば國民の眼の前に露呈し始めて來たこの現實を如何に耐へるべきかについては、國民の覺悟すべき刻下の急務として、あらゆる方法を盡くして國民の眼に耳に訴へられてゐる

しかしその根本は、われわれが如何にして敗れたか、如何なる程度にまで敗れたかを十分知悉することになくてはならない、それを知つて初めて冷嚴な現實に耐へる元氣が生み出されるべきである、國民の大部分はなほ、敗戰の眞相をば知らされてゐない、その無智の上に一人よがりの空論が生れ、國をあやまる危險すら豫測されるのである

日本軍はニューギニアに如何に戰ひ、いかに敗れたか、北ビルマ、インパールにどのやうな悲慘な戰ひがつづけられたか、帝國海軍は果して健在だつたのかどうか、わが航空兵力はどうなつてゐたか、いまやそれらは速かに國民の前に報告さるべき性質のものである、今や小出し發表の必要もなく、祕匿は却つて不利でさへある、眞實を聞いて失望の擧句再び起ち得ない國民であるならば何をかいはんやである、過去の悲慘はいま語る必要はない目前の悲慘がそれ以上であるといふことは理由にならない、われわれは目前の悲慘のよつて來つた經路を知りその原因を突止め、そこに深い反省を加へて、再起の糧をばその中から汲取らなくてはならぬ

目前の事態の處理と共に、既に早く永遠の日本の建設計畫をばこの瞬間から始めてゐなくてはならない、お前たちはかくして敗れたと、敵によつて教へられる前に、それをわれ等の指導者自らの口から聞きたい、言論に信なくしては政治への信は有り得ない、言論自由の鐵則が再び、新しい日本の首途に闡明された上は、爲政者より先づ、自由なる言論をもつて國民の前に信を問ふべきであらう



【目 次】

印度近く總選擧……二三四八
新西蘭戰時內閣解體……〃
各國大使館を復活……〃
ド・ゴール訪米の目的……〃
樺太交戰停止……〃
重慶軍太原入城……〃
歐洲派遣軍の一部を日本占領へ廻送……〃
將兵の就職が最大の仕事……〃
【米 國】
再轉換に矢繼早の措置……二三四九
海軍契約解除高……〃
行政機構改革案……〃
第九航空隊司令更迭……〃
議會失業對策乘出し……二三五〇
國務次官補後任……〃
太平洋で將兵を教育……〃
日本を野球に招請……〃
ド・ゴール訪米……〃
【英 帝 國】
藏相財政方針を闡明……二三五一
ウエーヴェル歸英を繞る觀測……〃
外相理事會延期か……〃
議會戰爭終結を祝賀……〃
勃政府に抗議……二三五二
東亞への兵力輸送繼續……〃
【歐 洲】
ドイツ機會を逸す……〃
フランコ政權の運命極まる……二三五三
キスリング裁判第二日……〃
【原子爆彈】
研究委員會を設置……〃
政府管理を要請……〃
「生產を禁止せよ」……〃
【東 亞】
アンラ活動開始……二三五四
在支佛軍佛印へ歸還……〃
支那軍佛印進入……〃
蔣重ねて延安を誘ふ……〃
マニラ生計費戰前の八倍……〃
泰の宣戰取消を承認……〃
日本で軍票を流通……〃
太平洋補給は依然重大……〃
【資 料】
南歐鳥瞰圖……二三五五

印度近く總選擧

（リスボン二十一日發）ニューデリー來電＝印度政廳は能ふ限り速かに中央地方における立法會議の總選擧を實施する旨二十一日發表した、印度は一九三五年以來總選擧を行つてゐない

新西蘭戰時內閣解體

（リスボン二十一日發）ウエリントン來電＝ニュージーランド首相ピーター・フレーザーは戰時內閣を解體する旨二十一日發表した、この結果特別戰時內閣の戰費相ハミルトン、軍事相ペリーの兩名は引退することとなつた

各國大使館を復活

（リスボン二十一日發）ベルリン來電＝四ケ國管理々事會は二十日第三次會議を開催、ベルリンに聯合國大使館を再開する件につき原則的に意見の一致をみた、大使館再開に關する細目は特別委員會に諮られるが、現在ドイツ政府は存在してゐないので各國大使館は聯合國管理々事會との交涉に當る機關として活動することになつてゐる

ド・ゴール訪米の目的

（チューリツヒ二十二日發）ド・ゴール訪米の目的については種々の觀測が行はれてゐるが、從來とかく思はしくなかつたド・ゴール個人と米國政界との間の關係をこの際調整して、トルーマン大統領から政治的經濟的援助をとりつけるのが主な使命らしい、但しロイター記者キングの觀測では米佛會談の主要目的は今回は

一、太平洋問題
一、ドイツ問題
一、賠償問題

に限定されるものと解され、太平洋問題は日本との休戰取極めへの參加以外佛印に對するフランスの主權を完全に回復し、フランス官吏及び軍隊を急速に佛印に派遣する件につき協議する樣子だ、ドイツ問題についてはフランスは米軍占領地域のドイツ石炭の利用を要求してをり、更に現在フランスの占領地域を代行占領してゐる米軍がフランス軍に同地域を引渡す時期も會談の對象となるものとみられる、賠償問題についてはフランスはソ聯についで戰火に荒されてゐるため、現物賠償のほか金の賠償についても大きな分前を要求する意向だから、トルーマン大統領とド・ゴールの會談は相當の困難に遭遇するものとみられてゐる

樺太交戰停止

（ストツクホルム二十一日發）モスクワ來電によれば樺太戰線における交戰は二十日正午をもつて停止されたといはれる

重慶軍太原入城

（リスボン二十二日發）重慶來電によれば軍當局は中國軍が山西省首都太原に入城した旨二十二日發表した、過日來同方面では渝延兩軍の間に太原の先制確保を目指して衝突を惹起したと傳へられてゐたが、右發表により勝利は中央軍に歸したものと見られる

歐洲派遣軍の一部を日本占領へ廻送

＝米國內に不滿＝

（リスボン二十一日發）米國放送によれば二十一日附「ワシントン・ポスト」紙は日本占領米軍に關し左の如き論說を掲げてゐる

歐洲へ派遣されてゐた米軍將兵の一部を、日本占領のため廻送することに對しては、不滿の聲が漸く昂まつてきたかの如くだ、吾人は太平洋へ廻される歐洲派遣將兵の不平不滿はこの際徹底的にその事情を調査し、適切な處置を採るべきだと考へる

將兵の就職が最大の仕事

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝新任將兵局長官オマール・ブラドレー大將は二十一日完全雇傭法案公聽會において次の通り述べた

歸還將兵最大の關心事は就職だ、自分の言葉を現在審議中の完全雇傭法案の肯定とも否定ともとつて貰つては困るが、とにかく歸還將兵の多くは出征當時の仕事では滿足しないに違ひない軍隊勤務中に覺えたことは生かしたいといふ望が窺はれる

【米國】

再轉換に矢繼早の措置

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝米國政府は平時經濟への急速切替に全力を注ぎ、ここ數日來矢繼早に各種の重要措置を發表してゐるが、二十日一日だけでも再轉換に關するつぎの如き工作、措置が行はれてゐる

一、トルーマン大統領は再轉換局長官スナイダー及び同局諮問委員と會見し、再轉換に當つての勞資協調の要をとくに力說した

一、俸給生活者に對し俸給引上げを認めることになり、政府は右承認の準備を進めてゐる、因に勞働者についてはすでに賃金引上げが許されてゐる

一、海軍及び海兵隊の九月中の召集豫定人員を二萬二千人から一萬三千人に縮小した

一、日本が降服した十五、十六の兩日職場にあつた軍需勞働者に對しては就業時間にさらに半分を加へ、これを基準に賃金を支拂ふ旨大統領より命令が出た

一、海事委員會は船舶百三十五隻及び艤裝資材の注文四億二千五百萬弗を取消した

一、白堊館當局は日本が降伏文書に署名する日をもつてVJデー(日本における勝利の日)となす旨發表した

一、上院銀行通貨委員會は二十一日より完全雇傭法案の公聽會を開始することになつた

一、政府の專門家は今は足りないかまたは全然ない物資が出廻るやうになるから、今年のクリスマス・シーズンは大變な景氣だらうと豫想してゐる

一、東部諸州では近くガソリンと燃料油の最高價格を小巾ながら引下げるはずである

一、物價管理局は二十日夜半をもつて農業用及び工業用車輛タイヤの割當制を撤廢する旨發表した、但し普通の乘用車及びトラックのタイヤは依然割當制が實施される

一、陸軍は九億ボード呎に上る木材注文を取消したが、これにより建築統制早急撤廢が期待されるに至つた

一、戰時生產局は軍需品を發註してゐる各機關に對し至急注文取消を行ふやう要請した、又同局は天然ガス使用に關する制限をすべて廢止した

一、アンダーソン農務長官は民需用牛乳供給の增加を約束し、牛乳、クリーム、バターなど酪農品に對する販賣割當制を停止する旨言明した

一、內河による石油及同製品の積出に對する制限もすべて撤廢された

一、各都市間バス運轉の制限は撤去されたが、國防運輸局によるとこれらが戰前の狀態に回復するのはまだかなりの時間がかからうといはれる

一、纖維工業は軍需注文取消の通知があり次第民需生產を開始するのを許可された

海軍契約解除高

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝海軍當局は二十一日、海軍の契約解除總額七十二億弗のうち十五億弗は兵器關係である旨言明した、なほ右以外の主な契約解除種目については當局は既に左の通り發表してゐる(單位百萬弗)

航空機關係　四、一八〇
艦船關係　一、二〇〇

行政機構改革案

(リスボン二十日發)ワシントン來電＝ハリー・バード民主黨上院議員は二十日戰爭中に異常に擴大された政府機關の縮少整理を主眼とする行政改革を主張次の通り聲明した

「現在聯邦政府に働く文官々吏は約三百萬の多きに達しこれ以外に尙凡そ五十萬の官吏が海外で働いてゐる、また聯邦政府には各省を始め其他一千百四十一の主要部局があり、これが機構の簡素化は刻下の喫緊事である

從つて大統領に對し、會計檢查院乃至半司法的機關等一定の例外を除くその他の政府機構を改革整理する全權限を附與することが望ましい、トルーマン大統領も既にかかる法律の制定を要請してゐるが議會は來月五日再開劈頭この行政改革案を第一の法案として審議を開始すべきである」

第九航空隊司令更迭

(リスボン二十一日發)ロンドン來電＝前米國陸軍第八航空隊司令少將ウイリアム・ケプナーは二十一日ドイツ基地の第九航空隊司令に任命されたこれまで第九航空隊司令たりし少將オツトー・ウエーラントは某要職に轉出した

議會失業對策乘出し

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝米國の戰後問題のうち最も惱みの種となつてゐるのは軍需産業の停止と共に一時に勞働市場に吐きだされる失業者の洪水だが、政府當局が既にこの失業對策に大童になつてゐるのに對して議會方面でも愈々この問題の處理に乘出さんとしてゐる、議會の再開は九月五日だが再開後眞先きに上程される重大法案は失業對策法案であり、既に議會の關係委員會は議會の再開を待たず失業對策諸法案の審議を開始した、即ち上院の銀行通貨委員會は二十一日から勞働者雇傭法案の審議を開く豫定であり、一方上院財政委員會も來る二十九日からトルーマン大統領の勸告に基き失業者に二十六週間にわたり一週二十五弗の手當を確保せんとする失業保險の擴大法案に對する公聽會を開始しよう

「ニューヨーク・タイムズ」紙によればこれ等の失業對策法案の他に再開議會には正に劃期的ともいふべき思ひきつた法案の提出が豫想されるといはれる、その法案は次の如き内容を持つだらうとされてゐる

一、勞働能力ある者に對して悉く就業の權利あることを認める法案

一、國庫支出による完全雇傭の實現

即ちこの全く新たなる制度の下においては大統領は失業對策のための從來の恒常的豫算支出の他に民間企業における失業を皆無ならしめるための特別聯邦豫算の支出を要求し得る、しかしてこの額は民間企業が要求する勞働力と完全雇傭狀態における勞働力との差額を補塡するに必要な費用であり、その額はけだし莫大なものになるだらう

國務次官補後任

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝米國大統領トルーマンは二十一日前國務次官補ジュリアス・ホームズの後任にフランク・マツカーシト大佐を任命した、同大佐は一九四四年一月以降陸軍參謀本部に勤務、その間マーシヤルに隨伴してロンドン、カサブランカ、アルジエー、カイロ、テヘラン、ヤルタ、ポツダムの殆ど凡ての重要な會談に列席してゐる

太平洋で將兵を教育

（リスボン二十日發）マニラ來電＝太平洋戰域陸軍部隊情報教育部長ダイク大佐は二十日次の通り發表した

本部隊はハワイ諸島からニューギニア、東京にまで分散する米國陸軍將兵に對し對日戰々勝日宣言後、大規模な專門學校乃至大學教育を施し將來の就職準備をさせることとなつた、これにはマツカーサー將軍麾下將兵の七〇％までが參加出來る豫定で、授業は軍務の一班として行はれる、但し入學は隨意制で、在學中でも豫定の期日が來れば除隊出來るが他方再展開の命令を受けてゐる者は期日到來と同時に學業を拋つてこれに服さなければならない

日本を野球に招請

（リスボン二十日發）ウイチタ（カンサス州）來電＝米國野球聯盟は過般ウイチタで理事會を開催明年九月二十日から二十七日に至る一週間ワシントン乃至ニューヨークで世界野球大會を開催する旨申合せ、十九ケ國に招請狀を發することとなつたが、同聯盟は今回更に日本を右大會に參加せしめることに決定した、右に關し同聯盟理事レイ・デユモントは二十日次の通り言明した

戰爭が終了した現在、國際間の親善を促進することが望ましく世界野球大會の如き機會に日本の參加を求めることは結構なことだ

ド・ゴール訪米

（リスボン二十一日發）パリ來電＝トルーマンを公式訪問のため外相ジョルジユ・ビドーを帶同してワシントンに向つたド・ゴールの一行は二十一日アゾレス諸島に到着した、一行は同地からバーミユダに飛び、ワシントンには二十二日午後九時到着、直ちに白堊館に向ふ豫定といはれる

昭和二十年八月廿四日(金)
第三五二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

藏相、財政方針を闡明

(ストツクホルム二十一日發)ロンドン來電=ドールトン藏相は二十一日下院において政府の財政政策について次の通り言明した

△英蘭銀行の公有=英蘭銀行の個人株主は十分な補償を受けて持株を返還することになるが、銀行に對する窮極の權力は議會に對して責任を負ふ政府の手中に收められる、よつて政府は議會を通じて、從來英蘭銀行に關係する人々の助言で行はれた謬つた決定によつて苦しめられた國民にたいして責任を負ふことになる、政府は銀行と大藏省官吏との間の日常の接觸には干渉しない積りだが、重要な政策の決定には政府が最後の決定權を持つことにならう

△企業問題=政府は英國工業家を奬勵して、從來外國から不必要に輸入されてゐた多くの品目を豐富に生産させる方針である、政府は戰時と同樣平時においても國家の利益を考慮して新投資を指導する、資金の供與については依然優先權を設定する、鑛山、鐵鋼業、綿業は整備を更新するために資金を必要としよう、以上の方針は恒常的に維持される

△海外投資=政府は從來同樣海外投資を統制し奬勵する積りだが、まづ對外支拂を清算しなければならぬから、海外投資は從來ほど多くなり得まい

△租稅=政府は今秋追加豫算を提出する、國民は減稅に不當の期待を寄せてはならない

ウエーヴエル歸英を繞る觀測

(ストツクホルム二十一日發)英國政府がウエーヴエル總督を招待したことは勞働黨內閣の印度政策における第一石として印度國內は勿論英國內でも深甚な關心の的となつてゐるが、ロイター政治記者フレーザー・ワイトンは二十一日以上に關し次のやうな見透しを行つてゐる

「印度問題について新たに協議するためウエーヴエル總督の訪問を要請することに決定をみたのは前週末のことで、以上は勞働黨內閣が事情の許す限り早急に印度問題と取組む意圖を明かにしたものとして英國政界の歡迎するところとなつてゐるウエーヴエルの使命は第一にシムラ會談決裂後の印度新情勢について本國政府と商議し、第二に日本降伏後の新事態に卽應して、印度政策を再檢討するにあると解されるが、勞働黨內閣は前聯立內閣と同樣印度政策に關しては小心翼々たるものがあり、このことは一般の期待を裏切つて印度省を自治領省に併合し得なかつたことでも明瞭だ、勿論ウエーヴエル總督と英國政府との間の協議が如何なる方向を採るかは輕々しく豫斷出來ないが、依然印度の地位が問題の中心となることは明瞭だいづれにしてもウエーヴエル總督はシムラ會談以來の行詰りを拱手放置しておける人物ではないから、最近總督が地方長官會議において決定した中央、地方の總選擧の急速な實施を土臺として、何等かの形で新たな發展がみられよう」

以上ワイトンの觀測を裏書する如く二十一日の下院において勞働黨議員ワイアツト少佐が

印度省の閉鎖はいつ頃かと質問したに對し、アトレー首相は

印度省の將來の問題は政府の印度政策の一部をなすものと見做されると曖昧極まる回答を與へたのみで、それ以上一切の言明を避けた

外相理事會延期か

(ストツクホルム二十一日發)ポツダム會談によつて決定をみた五國外相理事會は九月一日以前にロンドンで開催の豫定であつたが、ロイター外交記者の報道によれば日本降伏に伴ふ新事態のため若干延期の餘儀なきに至り、九月前半期に開催するに決定したと傳へられる、消息筋の觀測では第一回の外相理事會では極東政策が當然討議される豫定だが、依然イタリアとの媾和條約締結問題が主な檢討の對象となるものと解される

議會戰爭終結を祝賀

(リスボン二十一日發)ロンドン來電=英國王ジヨージ六世は二十一日英國議會において上下兩院議員から戰爭終結の祝賀を受けたのち演說を行ひ

破壞の時代は既に終了し、再建の時期が始つたが、この偉大にして困難な任務に對しわれわれは全力を捧げねばならないと述べた

英も勃政府に抗議

（ストツクホルム廿一日發）ロンドン來電＝米國政府は過般聲明を發し總選擧に對するブルガリア政府の態度に不滿を表明したが、英國政府も之にならつてブルガリア政府に覺書を送り「現政府の選擧對策は正當でなく、英國政府としてはかかる選擧の結果生れる政府をブルガリアの代表的政府と認めることが出來ない」旨通達した、之に關聯してロイター外交記者が報ずる處によれば英官邊筋では右覺書は次の諸事實を意味するものとみてゐる

一、英國政府はイタリアやフインランドの場合のやうにブルガリア政府との間に「事實上の外交關係」を再開する意圖はない

一、英國政府としてはかかる政府と和平條約を結ぶことは出來ない

一、英國政府は既にフインランドと「事實上の外交關係」を樹立するための措置を講じたが、かかる事實からみて英國が以前ドイツの東歐における衞星國であつた諸國に對する偏見によつて動かされてゐるのではないことを示してゐる、英國政府の今回の措置は「ブルガリアの選擧法及び政府の選擧對策が現政府に反對する政治活動を容易ならしめてゐない」といふ確信を動機としてゐる

東亞への兵力輸送繼續

（リスボン二十一日發）ロンドン來電＝英國首相アトレーは、目下ロンドンで開催中の「勝利博覽會」に臨み次のやうに述べた

英國は戰爭終結後も引續いて極東に軍隊を送り長期に亘り戰場にあつた將兵と交代させる筈だ更に我々は日本軍に占領されてゐた諸地域の完全な解放を計らねばならない

【歐　洲】

ドイツ機會を逸す

——米、獨兵器を研究——

（リスボン二十一日發）米國の航空兵器研究の中心はオハイオ州デイトンのライトフイールドにある陸軍航空技術補給本部だが、同所では最近ドイツの兵器を研究し二十日もVEデー直前ドイツの試驗飛行士が試驗飛行の時そのまま米軍占領地の飛行場へ着陸したため入手したといふメツサーシユミツト二六二A一型噴射推進式双發戰鬪機をライトフイールドで試驗したところ水平飛行速度約五三〇哩時だつたと發表してゐるが、その他歐洲に對しても多數專門家を派遣してドイツ航空兵器の研究につとめてゐる、派遣專門家の中ミネアポリス・ハニウエル・レギユレーター會社航空部技師長ウイリス・H・ジリー並びに電氣主任技師ヒユーバート・スパロウの二人は十八日ミネアポリスに歸つたが、UP記者との會見においてドイツの驚くべき研究並びに工業について次々次の通り語つたといはれる

「ドイツには奇拔な計畫が極めて多かつたから、少くともその若干はうまく當るにちがひないところだつた、新聞紙上に現れたところでは、その若干は文字通り幻想的な感じで、實際にそれが出來るのを見ない限り夢想としか思へない位だ、もう少し時間を與へてやつたら、この一見夢想的な將來兵器は最新式ロボツト爆彈「對空ロケツト彈」超新型噴射推進發動機等聯合軍に對しかなりの威力を發揮しただらう、ただドイツの技師たちに聞くと、ドイツは不幸にして殆ど絕えず致命的な瞬間に過誤を犯してゐたといふことだ

またドイツの技師は米國の兵器生產量に一驚してゐたが、メツサーシユミツト工場を見てその理由がわかつた、彼らは航空機の尾部を運んだり押へたりするのに五、六十人もかかり、それをボルトで締める、われわれが何でも起重機やジグでやるのとは大變なちがひだ、ドイツは昔から手工業で名高いが、產業の大部分にそれが反映してゐる仕事を細かく分けて多數の人間にやらせるのでなく、ドイツ人はどうも一人で一つのものを作り上げようとする傾向が强い」

フランコ政權の運命極まる

(ストツクホルム二十一日發)二十一日のモスクワ放送によれば、ソ聯外交評論家エルマショフ氏はスペインについて次のとほり論じてゐるといはれる

スペインに於るフアシスト政權の運命は極まつた、スペイン民衆はフランコ政權の打倒を決意した、彼等は自由に呼吸することを望み、今や自己の解放のために戰ふ準備を進めてゐる、スペインにフアシズムを存續せしめることは、世界が尨大な犧牲を拂つて確保した平和に對する直接且つ不斷の脅威を溫存せしめることを意味するものだ

キスリング裁判第二日

(ストツクホルム二十一日發)オスロ來電=元ノルウエー首相キスリングの裁判第二日——檢事はキスリングが一九四〇年ナチを說得してノルウエーを侵略せしめた叛逆的陰謀の首魁であると斷じ證據として法廷に提出されたローゼンベルグの日記帳の中に「キスリングはノルウエーの基地をドイツに提供し、ヒトラーを說得してノルウエーを侵略せしめた」と書いてある部分を讀み上げた、檢事は次いでドイツ海軍省內で發見された文書の中にキスリングがレーダー提督と交した會話の記錄があり、この會談の際キスリングが同提督にドイツ軍援助を申出たことが明白であると述べた、これに對しキスリングは以上の事實を否定し

余はドイツ軍が戰ふためにではなく聯合軍からノルウエーを保護するためにノルウエーに來ることを欲してゐた、余はナチとノルウエーの關係を「軟化」させることによつてノルウエーを救つた

と述べた

【原子爆彈】

研究委員會を設置

(ストツクホルム二十一日發)ロンドン來電=英國首相アトレーは二十一日下院において次の通り言明した

英國政府は原子爆彈の軍事目的並びに平時目的における改良發達に關する諮問委員會を設置した、委員長は戰爭の初期から英國の原子爆彈研究を指導したサー・ジョン・アンダーソンであり、委員の中には、外務次官アレクサンダー・カドガン、參謀總長サー・アラン・ブルツクが含まれてゐる

政府管理を要請

(リスボン二十日發)ワシントン來電=トルーマン大統領は來月議會に對し特別敎書を送り原子爆彈その他原子力を利用する一切の研究發明は政府によつて永久的に統制管理すべき旨要請することとなつた、右に關しトーマス上院陸軍委員長は二十日次の通り言明した

原子力に關する研究を政府が統制せんとする法案は目下陸軍省によつて準備されてをり、恐らくこれは議會が大統領敎書を接受した後上程される段取とならう、同法案は日本の降伏を急速に實現せしめたかの恐るべき破壞力を和戰兩方面に利用せんとするものであるが、たとへ法案が如何なる形式で成立しようとも次の事實は銘記されねばならない、卽ち原子力放出を可能ならしめる祕法は米國民の經費において發明されたものであり、從つてこれは全米國民の利益のため行使さるべきものだといふことだ、一方同委員會のマホニー議員は原子の分解が可能なすべての鑛物の生產に對しても政府が統制を加へるべき旨主張した

「生產を禁止せよ」

(リスボン二十日發)ワシントン來電=米國の有力宗敎家及び敎育家三十四名は原子爆彈のもたらす慘禍に鑑み二十日、トルーマン大統領に對し次の指令を發するやう要請した

一、原子爆彈の生產を禁止すること

一、原子爆彈のみならず集團破壞の技術を發展させた戰爭そのものを地上から追放するやう全世界の國家に要求すること

アンラ東亞で活動開始

（チユーリツヒ二十日發）ワシントン來電＝アンラ事務次長ヘンドリツクソンの言明によれば、戰爭以來初めて東亞向けの大規模な援助の準備が進められてをり、その結果支那は取敢へず先づ八十噸の物資の引渡しを受けるだらうといはれる、もつともこれはアンラの東亞諸國救濟計畫の一端にすぎず、本格的計畫は、次のごとき內容のものである

一、太平洋戰線にある尨大な食糧、醫療藥品、トラツクなど、軍需品ストツクをアンラがひきうける

一、支那、ビルマ、泰に直ちにアンラの專門家を派遣し、これら地方產物資にして、他の戰災國に供給し得るものの買上げかたにつき調査せしむる

一、可及的速かに支那を中心とする東亞各國に三百名以上のアンラの救濟問題專門家を派遣する

船腹の調達が可能となり次第直ちに食糧、藥品ばかりでなく復興用の工業製品、農產物その他物資を送ることが必要であらうとみられてゐる

在支佛軍佛印へ歸還

（リスボン二十一日發）パリ來電＝日本軍の佛印占領當時南支へ遁走したフランス軍部隊約六千は今回佛支兩國間の協定により佛印へ歸還することとなつた

支那軍佛印進入

（リスボン二十一日發）重慶來電によれば支那軍は二十日夜佛印北部に進入、ハノイ北方百哩のカオバンを占領し目下ハノイに向けて進軍中であるといはれる

蔣重ねて延安を誘ふ

（リスボン二十日發）重慶軍事委員長蔣介石は去る十五日の放送において中共政治局主任毛澤東に對し時局收拾商議のため重慶訪問を招請したが、二十日重慶UP電によれば毛澤東がこれを拒否したため蔣介石は同日重ねて招請を發した

マニラ生計費戰前の八倍

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝米國々務省十八日發表によればマニラの生計費は戰前の八倍に昂騰してゐるといはれる、これは主として食糧不足に基くもので、政府配給機關による比較的少量の食糧放出を除けば公定價格では絕對に食糧が手に入らない狀態である

泰の宣戰取消しを承認

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝米國々務長官バーンズは米國政府がタイ國の對米宣戰布告破棄を正式に承認した旨二十日發表した

日本で軍票を流通

（リスボン二十一日發）マニラ來電によれば北部日本の氣候に適する大量の防寒具及び米國占領軍の使用に當てられる總額一億弗の軍票が目下マニラに向つて輸送中といはれ、占領期間中日本政府發行の通貨と同時に聯合國軍票も並行して使用される模樣である

太平洋補給は依然重大

（リスボン二十日發）サンフランシスコ來電＝米國太平洋岸海軍司令官インガソル提督は十九日太平洋岸の海軍將兵、軍需勞働者に對して要旨左の聲明を發した

「對日戰は終了したが聯合軍の日本占領に伴ふ太平洋における補給は依然重大な問題であり、西海岸の海軍將兵及び軍需勞働者にとつては未だその努力を緩める時期は到來してゐない、日本々土占領の他にも米國軍は今次大戰でかち得た多くの基地に駐屯する必要あり、米國は太平洋に對して今後も夥しい補給を續けなければならない、さらに太平洋戰域に派遣された米國軍の大部分が歸還した後にも、我々の前には世界最大の海軍及び商船隊を維持するといふ事業があり、また一方では過剩軍需物資その他軍事施設を處分、撤回しなければならず將兵及び軍需勞働者の大量減員の如きはここ當分豫想されない」

昭和二十年八月廿四日(金)
第三五二三號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

資料

南歐鳥瞰圖

「タイム」誌七月十三日號

「タイム」社ロンドン支局長ウオルター・グレーブナーは先週西歐及び南歐一帶の旅行を終へて歸任した、彼は英國からフランス、ドイツを廻り、南へ下つて地中海へと素早い旅を續けたが、この間彼は各國の狀態を詳細な點まで正確に見極めることはしなかつた、彼が旅行中努力したことはポツダム會談で米英ソ三國の首班がたとへ各人各樣にせよせねばならぬこと、卽ち、歐洲とその打ちひしがれた心臟、ドイツを一個の政治的な全體として眺めるにあつた、グレーブナーはこの全體のうちで最も意味深長な消息を南の國から得たのである、以下グレーブナーの報告を傳へよう

△再展開反對論

余が報告せねばならぬ極めて重要な一つの事實は地中海方面にゐる米國並びに英國の主だつた外交家や政治顧問連中が殆ど皆聯合軍の歐洲撤退に猛烈に反對してゐるといふことだ、米國の當路者は本國政府に以上のやうな反對の意向を傳へてゐる、英國の外交官が同樣な報告を本國に送つてゐるか何うかは知らないが、アレグザンダー元帥はこの問題についてチヤーチルと協議し始めた

或る國に駐剳する米國大使は撤退問題を非常に重大視し、その結果大使館內で「再展開」といふ言葉を使ふことを嚴禁してしまつた、以上のやうな再展開反對は一部ソ聯に對する危惧の念に發してゐる、しかし米英外交筋の主だつた者で將來ソ聯との間に戰爭が起る可能性が多分にある等と考へてゐる者は極めて少い、彼等が再展開に反對するのは主として右翼乃至は左翼グループ、特にこれらグループが少數派に屬してゐる場合、これが革命を起しはせぬかと惧れるためである、難問題を孕んだ地點はギリシヤ、イタリア、フランス、ベルギー、ドイツ等至る所にある

再展開反對論はまた侵略に對する懸念にも基いてをり、例へばイタリア、ギリシヤ兩國に對するユーゴスラヴイア、ギリシヤに對するブルガリア、ユーゴスラヴイアに對するギリシヤ等々の侵略企圖が擧げられる

斯うした情勢であるから外交官は「勢力の均衡を保ち、凡ゆる方面での行過ぎを阻止し、西歐洲と地中海地方の一部とを米英兩國の勢力圈たらしめるためには軍隊を現在のまま駐屯させて置かねばならぬ」と考へるのだ、米國軍隊はやがてドイツ占領地區以外の總ての場所から撤退するのであるが、このことは西歐洲と地中海地方における安定維持の仕事が主として英國軍隊の責任になることを意味する、しかるに英國の恐るべき經濟狀態を考へるならば英國がこれ以上人的資源を割き得ないといふことは明かだ、チヤーチルは既に八週間も前からこの問題で頭を惱ましてゐた

△ユーゴとチトー政權

ユーゴスラヴイアにおけるチトー政府の形態と活動とは再展開反對論者に深甚な影響を與へた、余はユーゴスラヴイアに僅かの間しかゐなかつたので決定的な意見を吐くことは出來ないが、地中海方面にゐる米國人や英國人は一般に「チトーはユーゴスラヴイアにおける大多數の支持を受けてゐない、また彼の政府は過渡期に有り勝ちなことだと濟ましては置けぬやうな亂暴行爲に終始してゐる」と考へてゐる、ベルグラードにはモスクワやモスクワ風なやり方を想ひ出させる事柄が多いが、兩都市の相異點で著しく目立つのは、ベルグラードの街を歩くとチトーを痛烈にこき下す人間に出會ふことだ、例へば「チトーはユーゴスラヴイアのヒトラーだ」と余に語つた男もゐた、これに反しモスクワではスターリンのことをかれこれ言ふ人間は一人として見當らない

ユーゴスラヴイアの特別保安隊は對獨協力者の檢擧に忙しく、嫌疑者の訊問に躍起となつてゐる新聞は嚴重な監督下にあり、法廷はユーゴ國民自

身も認めてゐるが、改革を必要とする慘憺たる狀態だ、國事はチトーと彼の友人一派が無器用に遂行してをり、去る三月チトー等の遊擊隊內閣に加はつた外相スバシツチ其他の者は殆ど何らの實權を持つてゐない、ベルグラードでは遊擊隊員や赤軍兵士の暴狀、またこれに競々たる市民の生活についての話を幾らでも耳にする、勿論かうした話は疑ひもない事實を傳へる場合もあり、また眉唾ものも少くない、しかし何れにしてもベルグラードで英國人や米國人に話しかける者は不平を持つ人間で、現狀に滿足してゐる者はわざわざ外國人代表者の所へなど來はしないといふこと、また斯うした人間の中にはドイツ軍占領期間中の行狀に汚點のある者を屢々見受けるといふことは判然知つて置かねばならない、ユーゴスラヴイアの當局者も失敗があつたことを認めてゐる、しかし彼等は斯う主張するのである——

ユーゴスラヴイアを觀察する米英兩國民はユーゴスラヴイアが占領されてゐた時、國內にはドイツ軍に反抗した者と協力した者とがゐたといふ事實を十分考慮に入れようとしない、協力者の始末が終らない限り西歐諸國民が考へるやうな民主々義を樹立することは不可能だ

ベルグラードにゐる英國官憲は米國の當路者に比べるとチトー政權に對して寬大だ、英國の當路者チトー一派が計畫を遂行すべき頭腦も訓練もまた理解も持つてゐないと考へてゐるのだが、最後の判斷を下すことは差控へてゐる

ベルグラードにゐる外國人は總てソ聯がユーゴスラヴイアの內政若くは外交を指導してゐないと見る點で意見が一致してゐる、但しこのことはソ聯がチトーの行動に不贊成だといふ意味ではないチトーはソ聯の方式を熟知してゐて別に指導される必要がないのだ、今週米國の軍事使節團はユーゴ政府當局の要請により荷物を纏めて同國から立去つた、次いでチブス委員の一行が出發することになつてゐるが、その表面の理由は「ユーゴ國民は傳染病の危險が去つたと考へる」からである、一方同國で活躍を始めようとしてゐるのはアンラで、ソ聯人を長とする一百五十名の役員を揃へ、その大半は米國人だ、ユーゴスラヴイアは每月三十萬噸の物資の補給を望んでゐるが、現在の補給量は近く十七萬五千噸に增加される筈である

△風雲を孕むギリシヤ

ギリシヤではEAM＝ELAS叛亂について英國筋は「紛爭」と言ひ、米國筋は「革命」と稱しギリシヤ側は「暴動」と言つてゐる、イタリアでも然りであるがギリシヤにゐる米英人から余が受けた明確な印象は、革命の報道が全く面白くない仕事だつたらうといふことだ、報道員連中はグランド・ブルターニユ・ホテルに閉ぢ込められ、當局發表の速記を强ひられたが、彼等の殆ど全部は固いブロックを形成した、然してこのブロックは親EAM、反英國の結束に外ならなかつたのだ、現在のところアテネやサロニカでは萬事平穩のやうに見える、しかし右翼の暴狀を阻止しない限りしかも早急に阻止しない限り、ギリシヤの前途に橫はる危險は消滅しないと見る點では誰の意見も一致してゐる、ギリシヤにおける暴狀はユーゴスラヴイアで傳へられる暴狀とは些か趣を異にし、逮捕、拘禁、虐殺等が大規模に行はれてゐるのだ英國人は嘗て左翼の行動が活潑を極めたとき不安に驅られてその鎭壓に乘り出したが、今度は右翼への反動を見て落着いてゐられなくなつてゐる

現在ギリシヤで實力のある人間といへばキユリアコス・ヴアルヴアレツソスを擧げねばならぬ、背の高い、恰幅のよい、りゆうたる身なりの男でギリシヤ國立銀行の頭取だが、如何にも頭取らしい男である、イーデンもまたハロルド・マクミランもこの男こそギリシヤの經濟狀態を安定させる手腕を持つた人間だと言つてギリシヤ政府に推薦したが、事實ヴアルヴアレツソスは旣に目覺ましい業績を幾つか收めてゐる、彼がドラクマの平價を切下げ賃金を引上げたにも拘らず生活費は三〇%下落した、インフレを抑制しつつある因子の一つはアンラの活動で、以前米國の地區食糧管理官をしてゐた四十がらみの武骨なミネソタ生れのリユエル・マハン以下二百七十人の男女役員がギリシヤで働いてゐる

昭和二十年 八月廿四日(金)
第三五二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

首相は背の低いひが眼の提督、ペトロス・ヴルガリスだ、彼の政策は
一、「保障」の要求
二、アルバニア領となつてゐるエピルス地方に對するギリシヤ主權の主張
である、余が首相にギリシヤ在留の米國人及び英國人について感想を求めたところ、首相は
余は彼等が何時までもギリシヤに滯在することを希望する
と述べた
ギリシヤには一握りばかりの米國兵しか居ないが、英軍は數ケ師團も駐屯してゐる、特にアテネの下町では英國兵が絶對的に優勢だ、彼等は見たところ健康さうで、行狀も中々宜しい、アテネの町は淸潔で明るく、イタリアの町々やベルグラードに較べて陽氣だとさへいへよう、横道にあるカフェーはいづれも小さなアイスクリームの塊りに喜んで三十五仙を拂ひ、二十仙を出して雀の涙程のコーヒーを飮まうとする英國人やギリシヤ人で滿員だ

△イタリアの窮狀と共産主義

イタリアでは石炭や諸原料品、食糧等が恐しく不足してゐる、聯合各國はイタリアを援助するのに出來るだけのことをしてはゐるが、それでも十分ではなささうで、或る閣僚は
ここ二三ケ月中に事態は極めて重大化し、共産黨は革命の時機熟せりと斷定するやうになるかも知れぬ
と語つた
共産黨は着々勢力を增しつつあり、新黨員の大半はファシスト黨からの轉向者だ、英國はサヴオイ王家を押し立てるに懸命だと報ぜられてゐるが余は斯うした報告を裏書きするやうな證據を發見出來なかつた、余が最も權威ある當路者と長い議論を闘はせた末に到達した結論は「英國の政策はイタリア人民をして決定せしむるにある」といふことだ、右の結論を裏附けるものはイタリア外相の見解で、彼は
もし英國が君主制を押し立てる意向であつたら英國はイタリア國軍の再建に乘り出してゐたに違ひない
と述べてゐるが、英國はかかる擧に出なかつた、

△米國と積極政策

米英兩國は多分歐洲全體と言つてもよからうが歐洲の大部分の國々において民主々義が今後長く續くことを唯一の希望として固持してゐる、しかるにヒトラーやムツソリーニのファシズムは擊碎されたが、その廢墟には急速に左翼の獨裁政治が勃興しつつあるのだ、左翼の勃興にはこれこそ民衆と人民軍隊とによる民主々義的革命で、民衆に自由とより良き生活を約束するものだとの前觸れがあつたが、事實はこれに反した、しかし眞の認識を全然持たなくても現にユーゴスラヴイアのやうな諸國で行はれてゐる彈壓と制約とについて正確な敍述の筆を振へるわけだ、斯くていはゆる遊擊隊なるものは、ユーゴスラヴイアその他の諸國の場合のやうにナイフによつて飯を食はうとする輩に他ならない、余が歷史で知り或ひは今日の歐洲で見聞した革命家なる者は、ファシストは別として悉くこの武骨な型を持つてゐる、歐洲は確かに革命の最中にあるのだ、ところで米國は歐洲を成行きに委さうとするのだらうか、それとも米英兩國は歐洲のうちその手に殘された場所をエルベドナウ兩河の岸で死力をつくして守り拔かうとするのだらうか、歐洲の幾部分かをわれわれの手中に殘す爲には何もソ聯と喧嘩をせねばならぬことはない、しかし若しわれわれが歐洲の幾部分かを民主々義國家として置くことに興味を感じてゐるとすれば、それがわれわれの政策であるといふことを歐洲の人民にもまたソ聯にも明かにしてやるべきである
われわれは拱手してゐるばかりではこの夏から將來にかけて歐洲に民主々義を維持させては行けない、歐洲は餘りにも戰爭に痛めつけられ、疲弊し、餘りにも妥協的となり、道義的破產狀態を呈し且つ混沌たる有樣であるため最早自立する力もないのである、われわれは民主々義を元氣づけ保存しいはば彼等に力强い心棒を打ち込んでやらう

ねばならない、それともわれわれは匙を投げて、歐洲をチトー達の手に委ねようとしてゐるのだらうか

獨小國民の認識

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙フランクフルト特派員レヴィン八月十三日報道＝

ドイツ國内に設置された米國情報統制部に所屬する米國の分析學者達は、ナチズムがドイツ少年少女層に如何にたたき込まれてゐるかを調査するため、手始めとして最近ドイツ全國の中産階級から十四歳乃至十八歳の男子五十九名、女子七十六名をフリートベルクに集め各種の質問を試みたが十三日その結果を次の通り發表した

「彼等は質問者が米國人であることを十分意識してをり、從つてその解答も相當割引する必要があるにも拘らず、「世界歷史における最も偉大な人物は誰だと思ふか」との第一問の解答をみても、ドイツの子供達の間には如何にナチズムの根本精神が牢固として滲透してゐるかが明かとなつた

この質問に對し流石にヒトラーと答へる者はなかつたが、大多數はヒトラー並びにナチ黨員が歷史的英雄として敬慕したフレデリツク大王を第一に推し、それと僅かの差でビスマルクが第二位を占めた、中に極く少數ルーズヴエルト、スターリン、アイゼンハワー等を擧げた者があつた

注目すべきはキリスト乃至著名な作家、藝術家哲學者、科學者、發明家、實業家等を選んだ者が皆無だつたことで、この事實はドイツの子供達にとつては偉大といふことは權力以外の何ものでもないことを意味してゐる

第二問「イタリア人、米國人、ロシア人、英國人、ポーランド人乃至フランス人と比較してドイツ人を一段と優秀な國民と考へるか」に對しては特に女子がドイツ民族の卓越性を依然固く信じ込んでゐることが看取された、即ち例外なく彼女等はドイツ人は優秀だと斷言して憚らなかつた

次は「何處の國に住みたいか」との質問だつたが、男子の内二二%がドイツ以外の國を選んだに對し女子の内では僅か九%がかかる希望を述べたに過ぎなかつた

女子がヒトラー青少年團、ナチ黨指導者を崇拜してゐることは男子以上で、また今次戰爭がユダヤ人によつて開始されたといふことも男子以上に強く信じてゐた

△獨敗戰の因

ドイツ敗戰の原因に關しては、これを昨年のヒトラー暗殺計畫を繞るドイツ將校の裏切に歸してゐるのはむしろ女子の方で、男子は聯合軍の壓倒的兵力並びにナチ黨の腐敗を擧げてゐる、全體からみると、聯合軍の物量が物をいつたといふ考へ方が第一で次は聯合軍のドイツ都市爆擊が擧げられ、第三はドイツ政府の遣り口が拙劣だつたため世界各國民がドイツに背を向けたのだといふ見解だ、また多數の者がヒトラーは國民の裏切りに對し無能力で且つ戰局見透しにも遺憾の點があつたと敗戰の責をヒトラーに負はせてゐた、たつた一人だけドイツが敗れたのはいいことだと述べた者がゐた

最後に「民族」の定義を求められたが男子の三分の一及び女子の半數はヒトラー製の解答を下した、即ち「體面を維持する必要」とか「血液の純潔」とか乃至は「民族の卓越性」といふ言葉が羅列された

一方ナチズムの敎育を受けた者と受けない者とでは非常な差異があることが判明した、これは、ヒトラーの全統治期間を通じナチズムと全く交涉がなかつたといはれるハンブルク附近の一國民學校の女生徒二十三名を試驗した結果によるもので彼女達はナチズムを吹き込まれた子供達に比し物事を批判的に考へることが出來、且つ正鵠を得た判斷を下す能力があつた」

ベルリンの生徒出席數

（リスボン二十一日發）ベルリン來電によればベルリンのナチ色を拂拭した諸學校の生徒出席數は計一日約二十二萬五千に達し、平時の平均數の約半分に相當するといはれる

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社）

昭和二十年　八　月廿五日(土)
第　三　五　二　四　號

同盟通信　海外電報

(197)

中國は聯合國の勝利に便乘して、滿洲、臺灣、澎湖島を回復することとなつた、これはカイロ宣言で約束されたところであり、わが國はこのカイロ宣言條項を吸收したポツダム宣言を受諾したのである

中國の領土に關する屈辱的事態は、租界といひ租借地といひ、帝國が率先その解消を提唱した結果、逸早く中國に返還された、最後に殘つたフランスの廣州灣租借地についても、先に南京國民政府時代に皇軍はその行政權を中國側に讓渡し、この方式に於て中國は同地域における領土完整を回復した、而もその後重慶國民政府とド・ゴール政府の間に廣州灣租借地返還に關する協定が調印されたから何れの側からも最早接收はない

中國の舊領土として現在中國側から問題を提起されてゐるものは第一に香港及び九龍地域があり、第二に越南（佛印）の北疆地域がある、中國本土内で外國領土となつてゐるものに、ポルトガル領澳門があるが、これは今次大戰におけるポルトガルの中立地位に鑑み問題とならない

重慶政府は租界、租借地及び曾て日本に讓つた舊領土の回復より、出來るなら一擧に殘餘の地域をも取戻さうとの心算らしい、先般重慶政府の代言人は、香港を日本軍から接收する最適役の人は蔣介石軍事委員長であらうと述べ、英國言論界から手嚴しい反撥に遭つた、英國議會でも問題となり政府當局も東亞における英國の領土は、他人に一指だも觸れさせぬとの强硬態度を表明した、重慶代言人もやや周章の態で、國民政府としては何國の領土をも欲求する意思はないとの修正言明を行つたほどである

香港島は阿片戰爭の結果、一八四一年の條約で英國に割讓された、英國は更に香港の安全を保障するためと稱して、一八六〇年そのヒンターランド九龍を獲得した、しかもこれをもつて滿足せず一八九八年には九龍接壤地區を期限九十九年で租借した、これらの地域は大東亞戰爭では、中國の戰域に屬した、從つて香港の進駐には中國軍隊を參加させよとの聲もある、英國のことだから領土權は絶對讓らぬだらうが「立會進駐」くらゐなら或ひは容れるかも知れぬ

世界の動き

【目　次】

香港の主權は英にあり……二三六〇
降伏調印は三十一日……〃
佛も代表を派遣……〃
和蘭代表團マニラ着……〃
比島の軍政撤廢……〃
司法權の民政移讓を言明……〃
比島軍も占領に參加……二三六一
日本進駐準備進捗……〃

【歐　洲】
勃を繞つて米英ソ關係微妙……二三六二
勃選擧にデイミトロフ出馬……〃
ソ聯贅澤品を値下……〃
ドイツの食糧狀況……〃
婦女子八千を慘殺……〃
波、スエーデン通商條約……〃
西、英の不干涉政策に安堵……二三六三
イタリアへアンラ援助……〃

【英　帝　國】
カナダ軍事三省統一……〃
衣料切符有效期間延長……〃
南阿兵の暴動……〃
マツカーサーを濠洲へ招待……〃
マツカーサーに感謝狀……〃

【支　那】
渝延兩軍の都市攻略續く……二三六四
宋子文憲章に署名……〃
米、小麥を支那に輸送……〃

【西　亞　國】
イラン全土からの撤收を要求……〃
猶太人喪失財產八十億弗……〃

【米　國】
對日戰勝日は降伏調印の日……〃
第五軍復員殆ど完了……〃
キング强力海軍の必要を强調……二三六五
戰傷者空輸十萬人目……〃
商船隊現有勢力……〃
戰時統制を大量撤廢……〃
弗貨債減債基金の凍結解除か……〃
全米に失業の洪水……二三六六
戰後通商を協議……〃
國際航空機構米國代表……〃

【軍事情報】
B29無着陸飛行新記錄……〃
原子爆彈製造分遣隊……〃

【特　輯】
ペタン公判（七）……二三六七
【資　料】
戰爭と農業の發達……二三七〇

香港の主權は英にあり

——英下院質疑應答——

（リスボン二十三日發）ロンドン來電＝前首相チャーチルは二十三日下院討議時間において英國政府は日本の降伏を受入れると同時に香港における英國の行政權を回復するための措置をとりつつありや

と質問、首相アトレーは之に對し既に二十一日外相ベヴインが言明した通り、香港において英國軍司令官により日本の降伏を受入れるための措置がとられつつある旨言明した、チャーチルは更に從來幾多の場合、特に一九四三年カイロ會談において政府が極東における英國領の主權になんらの修正をも考慮してゐないことを明かにした事實を貴下は記憶せらるるやと質問したが、これに對しアトレーは次の通り答辯した

余はこれらの聲明を十分記憶し常に念頭においてゐる

この下院討論に先立ち、重慶政府は二十二日「支那軍は香港において日本の降伏を受入れる準備をしてゐる」旨聲明、之に對して英國外務當局は英國領の回復に支那軍の協力を得ることを喜ぶ旨言明したが、右言明において香港が英國の植民地であることを指摘してゐる、一方重慶においては、米國軍總司令官ウエデマイヤー將軍はこの香港問題についてつぎのとほり言明した

開戰以來香港は支那戰域に含まれてゐると考へられてゐた、從つて支那軍は同地で降伏を受領しようとするのは當然である、かうして日本軍が支那軍に降參したとしてもこれは必ずしも將來の同島の地位を侵すものではない

降伏調印は三十一日

（リスボン二十三日發）マニラ來電＝マツカーサーは二十三日「降伏文書の調印は八月三十一日東京地區において行ひ、場所は米戰艦ミズリー號上とすることにならう」と發表した

佛も代表を派遣

（リスボン二十二日發）パリ來電＝フランス政府は日本の降伏に關する細目を決するマニラの商議及び降伏文書調印に參加するやう米國政府より招請を受けこれを受理した旨發表した、フランス極東遠征軍司令少將ジヤツク・ルクレルクが代表としてマニラに赴いたといはれる

和蘭代表團マニラ着

（リスボン二十三日發）マニラ來電＝蘭領東印度軍司令官L・H・フアン・オイエン中將は二十二日、一隊のオランダ軍將兵を率ゐてマニラに到着した

マツカーサー司令部に協力して俘虜の歸還を斡旋するためであるが、フアン・オイエンは同時に日本の降伏調印式にもオランダ代表として出席する筈である

比島の軍政撤廢

（リスボン二十三日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部は二十二日次の通り發表した

マツカーサー司令部は九月一日を期して比島の民政に參劃することを停止する、その必要がなくなつたためである、比島全域は既に比島共和政府に引渡しを終了してをり、行政立法等各部門の機關は復活し圓滑な活動を行つてゐる

司法權の民政移讓を言明

（リスボン二十三日發）マニラ來電＝マツカーサー元帥は二十三日つぎの聲明を發表した

「去る十二月二十九日、敵に協力と援助を與へた比島市民を拘留せよと米國軍に命じたとき、余は戰鬪行爲が終了するとともに、これら犯人の支配權を民政當局に讓るべき旨言明した、從つてV・Jデーまたはそれから間もなくこの聲明に基いて司法權を軍當局から民政當局に移讓する旨の指令を發した、この措置は比島聯邦政府がこれら協力罪並びに叛逆罪の被告を公正に處置する準備を有するとの確信に基いてとられたのである、余は比島聯邦政府の基礎を成す民主々義的諸原則中、犯人の迅速なる處罰と無實の者の同じく迅速なる放免とを保障するであらうことを信じてゐる」

昭和二十年 八 月廿五日(土)
第 三 五 二 四 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

比島軍も占領に參加

(リスボン二十二日發)マニラ來電＝比島聯邦國防省當局は比島陸軍部隊が占領軍の一部として日本に進駐することとなつた旨二十二日發表した

日本進駐進捗

＝米國各紙の論調＝

(リスボン二十一日發)ニューヨーク來電＝日本の降伏乃至聯合軍の日本進駐に關する米國主要新聞の論調は次の通りである

△「ニューヨーク・タイムズ」紙二十一日

降伏の正式調印までに僅か十日間を餘すにすぎないといふ事態の急速な進行は、日本にとつて「困難な過渡期」が短時日の間に訪れることを意味する、日本の指導者及び日本國民に對して戰爭を離れた或る種の人間的接觸が玆に再開されねばならないのであるが、前線にあつては最後の瞬間まで降伏を肯んぜず果敢に反撃し、眞珠灣の奇襲から東京偵察機への最後の攻撃に至るまでその態度を改めなかつた日本軍にとつてはこの過渡期は困難なものであらう、更にながらく外界の事情から隔離され、今日になつて自らの損傷をばつきり知るに至つた日本國民にとつて事態は一層辛いものとして映るであらう、マッカーサーが日本占領に關聯して打つた最初の手は良好であつたが、最も難しい仕事は今後にある、マッカーサーは日本の陸海兩面の軍事的管理に當らねばならず、且つこの管理を嚴正に實施しなければならない、然しマッカーサーは日本國民の衣食住を確保するだけの日本の能力までも破碎するやうなことがあつてはならない、向ふ十日間内に世界は眞珠灣攻撃に對する最終回答を見るであらう、しかしその時において日本が中世日本たる事を止め眞の文明へ歩み出したと斷ずるには早すぎるのである、われらがわれらの敵を再教育する仕事は、日本においてはドイツの場合などより遙かに大きな問題を含んでゐる、征服され占領される日本は、あらゆる歷史を通じて、最も危險でうかつに手のつけられない「學校」なのである

△「ニューヨーク・サン」紙二十日社說

マニラにおける日本使節團及び各前線における諸部隊の動靜を見る時すべてが今や「順風」に乘つてゐることを示してゐる、各所において若干の敵對行動が發生するとはいへ、日本國民が眞に降伏しつつあることは明かである、一部になほ若干の動搖がつたへられてはゐるが、マニラからの報道は日本使節團の完全な協力ぶりをつたへてゐる、日本使節團の協力ぶりは餘りにも見事なものであつたので、會議に出席した米陸軍當局者は日本降伏に伴ひ發生した當初の紛糾が決して計畫的なものではなく、降伏といふ事態が日本當局には思ひも寄らぬものであつたための狼狽にすぎなかつたことを感じ取つたのである

△「カンザスシテイ・タイムズ」紙二十日社說

マツカーサーの占領軍最高司令官任命は寔に適役である、彼は日本人の性格を知悉して居り僞善的行爲によつて瞞着される惧れはない、日本處理に關する廣汎な原則はすでにカイロ及びポツダム兩宣言によつて樹立されて居り、その平和條件は來るべき年次を通じて正當に實施されなければならない、日本が目前の降伏において完璧であるに拘らず近き將來自發的に米國と協力し來ると斷定すべき些かの理由もない、逆に米國は日本處理と管理とを無效にする目的のあらゆるごまかしに對して準備して置かねばならない、だがこの點に關聯して國民としての米國が持つ最大のハンデイキヤツプは、われらが日本の風俗、習慣、心理に明るくないといふ事實である

△「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙二十日社說

日本指導者が降伏を促進した態度は他日を期しての賭博であるかも知れない、だが降伏そのものは恐らく當初危惧されたよりも容易に實現するであらう、更に又他日を期してゐるとしてもそれを實行させないためには世界の叡智と日本人の知性とが必要である、とはいへこの仕事には長期間を要すべく、現在最も重要なのはやはり降伏そのものである、しかも降伏は豫期以上迅速に進行しつつある

勃を繞つて米英ソ關係微妙

（リスボン二十二日發）米英兩國政府がブルガリアの總選擧實施に反對したことは、ゲオルギエフ政權の黑幕たるソ聯に對する間接の非難と抗議と解され、國際外交界の重大問題と化してゐるが、「ニユーヨーク・タイムズ」紙のイスタンブール特電はブルガリア問題が米英ソ三國關係にまで發展する必然的趨勢を示唆して二十一日次の通り報じてゐる

「ブルガリアは國際憲章の諸原則が實現されるか否かを決定する試驗臺と化すに至つた、米國政府が覺書を發して、ブルガリア政府が正當な民主々義的選擧によつて政權を掌握したのでない限り、認めることが出來ないと警告したことは、米國が聯合國のスローガンを單なる遺物と化さぬといふ固い決意を意味するものだ、現在のブルガリア政府はクーデターによつて權力を獲得したもので、非常措置としては一應認めることが出來るが、これをもつてブルガリアの民意を完全に代表したものと見做すことは絶對に不可能だ、特にゲオルギエフ政權の六閣僚が來るべき總選擧の投票手續に反對して連袂辭職したことは、ゲオルギエフ一派の獨裁的傾向を裏書するものと解されよう、ブルガリアは現在檢閱の厚い幕に蔽はれて、國內情勢の片鱗すら窺ふことが出來ぬ實狀だが、米國政府がブルガリアの總選擧に反對した瞬間を狙つて、ソヴエト政府がブルガリア政府を承認したことは米ソ兩國間に微妙な空氣が伏在することを明確に示すものだ、また米英兩國の抗議に對してゲオルギエフ首相は一步も讓らぬ强硬な態度を持してゐることも、彼の背後に强力な支持者が存在することを暗示してゐる」

勃選擧にデイミトロフ出馬

（ストツクホルム二十一日發）モスクワ來電＝タス通信の報道によれば元國際共產黨書記長デイミトロフは今回ソ聯の國籍を離脫してブルガリアの總選擧に出馬することになつた、同人は一九四二年ソ聯の國籍を取得するまへはブルガリア共產黨の領袖であつた

ソ聯贅澤品を値下

（ストツクホルム二十一日發）ソ聯は戰爭勃發以來衣類食糧中の贅澤品目に特別價格を附して消費規正を行つてゐたが、二十一日のモスクワ電報によれば、香水、帽子、靴、家具等の販賣價格を五十％から十五％まで大幅に引下げると同時にアルミニユーム製深鍋、バタ、パン、菓子及び砂糖の價格についても同樣の措置を講じたといはれる

ドイツの食糧狀況

（ストツクホルム廿一日發）フランクフルト・アム・マイン來電＝歐洲駐屯米軍農業部長ヘルマン大佐は今冬におけるドイツ食糧情勢の見透しについて次の通り言明した

燃料の不足、輸送力の缺乏、種子が著しく不足してゐること、勞働力の需給がうまく調節出來ぬことなど幾多の惡條件にも拘はらず、現在取入れを終つた作物の收獲量は次の收獲期までもちこたへるに十分なので、配給は貧弱だが飢死者が出るやうなことはあるまいと思ふ

婦女子八千を慘殺

（リスボン二十一日發）ワルシヤワ放送局は二十一日次の通り放送した

ドイツ側により機銃で慘殺されたポーランド人婦女子約八千名の死體を埋めた假墓地がクラカオ市近郊で發見された、これ等婦女子の慘殺を命令したのは前ドイツポーランド統監ハンス・フランクであり同人は近くクラカオの戰爭犯罪人法廷で取調べられる

波、スエーデン通商條約

（ストツクホルム二十二日發）スエーデン政府は二十一日ポーランドとの通商條約成立に關し次の通り發表した

貿易相ガンナー・ミルダルは二十一日ワルシヤワにおいてポーランド、スエーデン通商條約に調印した、本條約によりポーランドは石炭四百萬噸並びにコークス八十萬噸を一九四六年中にスエーデンに供給し、スエーデンはこれに對し鐵鑛、木材、パルプ、機械類、球軸受、鋼鐵等をポーランドに供給する、同時にポーランドの購入に對しスエーデンが一億クラウンのクレヂツトを設定する

昭和二十年 八 月廿五日(土)
第 三 五 二 四 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

西、英の不干渉政策に安堵

(リスボン二十一日發)英國外相ベヴインは二十日下院における演説でスペイン問題に言及「英國政府としてはスペインに干渉する意圖はない」旨聲明したが、ロイター特派員がサン・セバスチヤンから報ずるところによればスペイン官邊筋はこれまで英國の新「ボリシエヴイキ」内閣の干渉政策を豫想して苦慮してゐた折柄とて右聲明を暗夜に光明を認めた如き喜びをもつて迎へた、世界の新態勢に對する讓歩は不必要だと考へてゐるフランコ將軍の顧問達はこの聲明によつてフランコ政權の「延命」が認められたことと考へ「政策の徹底的變更は不必要だ」とフランコに進言するとみられる、他方有力な保守的政治家達はこれが世界の新態勢に順應する爲にフランコ政權に認められた最後の機會だと考へ事態をそれ等で樂觀してはゐない、しかし全體からみて、ベヴインの今日の演説はスペインの政府支持者、保守派、王政派に大きな安堵の感を與へたことが窺はれる

イタリアへアンラ援助

(リスボン二十一日發)ロンドン來電=第三次アンラ會議は目下ロンドンで開催中であるが、二十一日の會議において各國代表はイタリア並びにオーストリアに對し救濟物資を送る件を多數決で承認した、右に反對したのはユーゴスラヴイア代表のみで、その主張はイタリアを解放國として取扱ふことは不當であるといふのである

【英 帝 國】

カナダ軍事三省統一

(リスボン二十一日發)オツタワ來電=カナダ首相マツケンジー・キングは二十一日次の通り發表した

現國防相アンドリユー・マクノートンは米加合同防衞委員會のカナダ部長に就任のため辭任、海相アボツトが新たに陸海國防相に任命された國防省並びに陸海軍兩省の三省の統一が完成されるまでは、アボツトが國防相と陸海相を兼任する

衣料切符有效期間延長

(リスボン二十二日發)ロンドン來電=英國商相サー・スタフオード・クリツプスは來る九月一日交附される二十四枚の新衣料切符の有效期間を從前の六ケ月より八ケ月に延長する旨發表した、もつとも衣料配給の窮屈なのは新切符の有效期間だけでこの次の衣料切符では割當が大巾とはいへないまでもかなり增加するものと期待されてゐる

南阿兵の暴動

(リスボン二十一日發)カイロ來電=二十日夜カイロ近傍のヘルワンにある南阿聯邦軍の軍事輸送用兵營で暴動が起り、南阿兵が二つの映畫館とエヂプト人商店街を燒拂つた、原因は南阿聯邦政府が約束通りにこれらの兵の急速な本國歸還を實行しないからといはれ、兵隊達はスマツツ將軍が一週間以內に同兵營を訪問し問題を解決することを要求してゐる

マツカーサーを濠洲へ招待

(リスボン二十一日發)キヤンベラ來電=濠洲首相チーフリーは現在の任務完了次第マツカーサーを濠洲へ招待し、濠洲人民及び政府の謝意を表明する意向である旨發表した

マツカーサーに感謝狀

(リスボン二十二日發)キヤンベラ來電=濠洲首相チーフリーは、二十二日マツカーサー元帥に對し次の書翰をおくりその功績に感謝した

濠洲國民は貴下のこの方面においてその卓越せる指導により濠洲に與へられたる計り難い貢獻に對して感謝する、然して余はここにわれわれの最も欲する時にわれわれを援助し、太平洋戰域における聯合國の完全なる成功を可能ならしめるために、濠洲軍との協力において、かくも偉大なる役割を果した米軍部隊の多數將兵の功績と犧牲に對し心から敬意を表するものである

【支　那】

渝延兩軍の都市攻略續く

（リスボン二十一日發）日本軍に代つて中國各地區の要衝を確保しようとの渝延兩軍の先制攻略は引續き各地に展開され、重慶來電によれば中央軍は中共軍の攻撃を排して山西首都太原を占領した外湖南方面にも續々進軍してゐる樣子である、特に重慶最高軍當局が二十一日發表したところによれば湖宗南軍は民軍の協力を得て鄭州西方十哩の滎陽（隴海線）及び鄭州南方約十五哩の長葛（平漢線）を含む五都市を占領した、これに對して延安放送局は中共單の揚子江流域進出を報じ、南京東北方六十哩の要地揚中を占領したとし、南京より上流六十五哩の燕湖では目下激戰中と稱してゐる、この外新四軍は江南、江北各地區にも進出し浙江省杭州附近並びに安徽省東北地點を確保した外津浦線の徐州浦口間二百哩の區間に亘り新作戰を展開中と發表してゐる

宋子文憲章に署名

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝國民政府行政院長宋子文は二十一日國務省を訪問、聯合國憲章に正式に署名した、宋は桑港會議で支那代表として憲章に署名する筈であつたが、署名前にモスクワ會談のため米國を去つたので、署名が遲れたのである

米、小麥を支那に輸送

（リスボン二十二日發）ニューヨーク來電＝「ウオールストリート・ジヤーナル」紙の報道によれば、米國商品金融會社は本年度收獲の小麥中二千五百萬ブツシエルを買付けたが、その大部分は支那に振向けられる豫定である

【西　亞】

イラン全土からの撤收を要求

（リスボン二十三日發）ニューヨーク來電＝訪米中のテヘラン大學法科敎授モスタファ・メスバーフ・ゼダーフ博士はベヴイン英外相が「ポツダム會談ではテヘランからの軍隊撤收だけが決定された」と言明した事實を採り上げて二十一日米英ソ三國を次の通り非難した

「對日戰が續行されてゐる間は米英ソ三國はイラン領土に軍隊を駐屯させておく一應の口實があるだらうが、戰爭が終つた今日條約の規定を遵守して至急イラン全土から軍隊を撤收すべきだ、特に前回のイラン國會選擧に際し米英ソ三國軍當局が干涉した忌はしい記憶に鑑みても、近く實施される國會選擧までには、外國軍隊は完全に撤收すべきである」

猶太人喪失財産八十億弗

（リスボン二十一日發）ロンドン來電＝目下ロンドンで開催中の世界猶太人會議の法律事務局長F・ビーネンフエルドはドイツ政府の壓政下において歐洲の猶太人が喪失した財産は八十億弗に上る旨言明した

【米　國】

對日戰勝日は降伏調印の日

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝大統領新聞祕書チヤールス・ロスは二十日次の通り發表した

對日戰々勝日は日本の降伏條件調印の日をもつて宣言される、トルーマン大統領は同日ラジオを通じ簡單な挨拶を述べることとなつてゐる、但し政府はこの日を公式の休日とはしない

第五軍復員殆ど完了

（リスボン二十一日發）ローマ來電＝第五軍司令部は二十一日次の通り發表した

米第五軍司令部は十月始めか、若し船腹が許せば九月半ばに米國に歸還することとならう、ドイツの占領に當るため殘留する二ケ師團を除き第五軍の復員は十二月までに完了する豫定だ、なほ七月末までに地中海戰域から米國に歸還した航空隊員を含む米軍將兵は八萬六千六百二十七名である

昭和二十年八月廿五日(土)
第三五二四號
日米通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

キング、強力海軍の必要を強調

(リスボン二十二日發)ワシントン來電＝聯合艦隊司令長官兼海軍作戰部長アーネスト・キング元帥は二十一日夜NBC放送の海軍時間にマイクを通じて海軍の男女要員に呼びかけ、米國民が國民としていかに利他的であらうとも、國家の安全を他國民の善意に委ねることは斷じて不可なりと論じた、演說の骨子次の通り

われわれはわが防衛に致命的なすべての地域並びに海上の支配權を保持しなければならない、戰後海軍の使命は世界平和を維持し、わが國の安全と福祉と威望を保ち、米國の平和政策をして權威あらしめることである、男女將兵諸君！余は諸子が從來に變らぬ能率的な忠誠と無私をもつて遂行するだらうことを知るものである

戰傷者空輸十萬人目

(リスボン二十一日發)グアム島來電＝米國陸軍空輸部隊は二十一日同部隊として十萬人目の戰傷者を空輸した、患者はグアム島、レイテ島、伊江島、沖繩島等を轉戰、最後の十日間の作戰において兩脚に重傷を負つた陸軍少尉フレウド・モナハンである

商船隊現有勢力

(リスボン二十二日發)ニューヨーク來電＝全米海運聯合會々長アルモン・E・ロスの發表によれば、米商船隊現有勢力は五千五百隻、五千五百萬噸で世界總噸數の約六二%にあたる、因みに開戰當時の勢力は一千百隻、一千二百萬噸で世界總噸數の約一六%であつた

戰時統制を大量撤廢

(リスボン二十日發)ワシントン來電＝平和の克復と共に米國は頻りに國內體制の平和時への切替へを行つてゐるが、戰時生產局は二十日一擧に二百十件に及ぶ戰時統制の撤廢を斷行した、これによつて戰時中製造の一切禁止されてゐた數百品目にわたる民需品の製造が許されることとなつたがその主なものはラジオ、冷藏庫、トラック、ストーヴ、洗濯機械、金屬製家具、扇風器、自動自轉車、電池、寫眞フイルム等である、この結果現在なほ殘つてゐる戰時統制は百二十五件のみとなつたが、このうち自動車に對する生產制限も近く撤廢される筈である、一方海軍省も二十日總額二十六億弗に上る兵器注文のうちから十五億弗を取消すことになつた旨發表した

(リスボン十九日發)ワシントン來電＝國防運輸局は十八日自動車の速力を時速三十五哩とする戰時制限を撤廢した

(リスボン二十二日發)ワシントン來電＝戰時生產局は戰時中實施してゐたナイロンの生產制限を撤廢した、なほ同局では婦人用靴下製造のためのナイロン原料增配についても考慮中である

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝戰時生產局は二十二日繊維品配給統制法規を緩和すると共に製造業者に對し平時需要向け全能力生產を許可した、これと共に生糸統制も撤廢されたが米商品金融會社の生糸手持在荷は僅か三千俵にすぎず、旁々生糸輸入最高價格が極めて低いため輸入增大の見込薄で、絹生產の可能性は見透しがつかない狀態である

製鋼作業率大削減

(リスボン二十二日發)ピツツバーク來電＝米國製鋼界では今週より全能力の四三%操業に着手した、右は前週の作業率に比し四二%方の大巾操短であり、一九三八年十二月半ば以來の最低數字にあたる

弗貨債減債基金の凍結解除か

(リスボン二十二日發)「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙歐洲大陸版は戰後における弗貨債の利拂問題について左の如きニューヨーク電を揭げてゐる

米英兩國において凍結されてゐる資金の中には特に弗貨債の利拂に充當するための貨金が含まれてゐる、この種弗貨債は世界各國の金融機關乃至個人によつて廣汎に保有されてゐるが、ニューヨーク財界ではこの種減債基金の凍結を解除し、弗貨債の利拂を再開すべき時期が到來したとの意見が强くなつて來た

全米に失業の洪水

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝戰後において米國が最も恐れてゐた問題、卽ち失業者の大洪水が愈々現實の問題として全米を襲ひはじめた卽ちUP通信社の調査によれば對日戰が終了してからいまだ一週間も出ないうちに軍需契約の解除によつて工場から放出され職を失つた者の數は少くとも百二十七萬九千の多きに達すると推定される、最も深刻な失業に見舞はれてゐるのは軍需産業の中心地だつた中西部地方でありキヤンサス・シテイ、セントルイス、シカゴ、デトロイト、クリーヴランドその他同地方の諸都市において過去一週間に新たに失業者となつた者は五十六萬に上り、また南西部諸州でも七萬一千五百の新失業者を出したと推測される

今や全米を通じて軍需生産の削減、操業休止、失業補償、平和産業への就職運動等々の殆ど同じ風景が展開され、軍需生産の停止が本格的となると共に失業者となつて放出される者の數も急速度に增加しつつあり、失業者數は實に每時間數千といふ數をもつて累增してゐる有樣だ、全米の聯邦及び州の勞働關係機關は今や全力をあげてその對策に大童だが、一方議會においても上院銀行通貨委員會はトルーマン大統領の勸告に基き二十一日から完全雇傭法案の審議を開始することとなつた

戰後通商を協議

（リスボン二十一日發）ロンドン來電＝下院戰後經濟政策委員會の七名からなる代表團が二十日ロンドンに到着した、同代表團は戰後通商問題について英國政府と協議し、且つ戰後の歐洲經濟情勢を調査する豫定といはれる

國際航空機構米國代表

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝國務省は二十二日國際航空機構の米國代表に關し次の通り發表した暫定的國際民間航空の準備理事會における米國代表としてジエラルド・B・グロフイーを任命する、前米國代表エドワード・ウオーナーが同理事會次長に選任された缺を補ふためである

【軍事情報】

B29無着陸飛行新記錄

（リスボン二十一日發）グアム島來電＝INS通信二十一日の報道によれば對日戰終了直前トーマス・ベツク中尉の操縱するB29「シテイ・オブ・メイウツド」號はグアム島北海道間往復七千四百四十粁を二十時間五十八分で翔破、B29による無着陸最高記錄を樹立したといはれる

從來の長距離飛行記錄は戰略航空隊參謀長カーチス・ルメー少將がホノルルからワシントンへ飛んだ時の二十時間十五分だつた

原子爆彈製造分遣隊

（リスボン二十二日發）ニユー・メキシコ州ロス・アラモス來電＝原子爆彈研究所長オツペンハイコー博士は二十一日左の通り述べた

千四百名から成る米國陸軍の特別分遣隊は原子爆彈の生產に重要な役割を演じた、隊員の大半は科學者や技術家だが、有力な新兵器の生產に當り科學上及び技術上の困難極まる仕事を果したのである、研究所の責任者一同はかかる將兵諸君の援助がなければ、われわれの仕事も到底完成されなかつただらうと考へてゐる、原子爆彈完成の名譽の大半は彼らのものだ

右特別分遣隊編成の經緯についてサンタ・フエ市の米國技術局は左の通り發表してゐる

最初に爆彈製造隊員となつた五名は元來研究所の雇員で、一九四四年の初め頃軍隊に召集された、しかし彼等は研究所の仕事に通じてゐたため徵集後また研究所に歸され、間もなく陸軍の特業訓練計畫に基いて大學高學年の教育を受けてゐた三十五名の兵士もこれに加はつた、陸軍當局は民間勤務者の確保がうまく行かなかつたところ是非とも原子爆彈を聯合軍のものとするため、米國軍隊の卒伍の中から化學者、物理學者、數學者、電氣學者等々を撰び出したのである

昭和二十年 八月廿五日(土)
第三五二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判(七)

△ペタンの老友立つ

ノエルにつづいては、ペタンの長い間の盟友である七十四歳の老將軍ベルナール・セリニが證言した

「自分はペタンを五十年來知つてゐる、ペタンが國家覆滅の陰謀を企てたなどとは笑ひ話にもならない、ペタンはドイツが北アフリカを押へるのを防止した、アフリカを防衛したことは勝利への跳躍臺を用意したものだ、ペタンはフランスと聯合國との勝利を導いた殊勳者の一人といふべきである、一九四二年、自分はペタンを說いて北アフリカに逃れさせやうとした、その時、ペタンは自分はフランス國民に、フランス本國の再建から始めることを約束した、今更フランス國民を見棄てて國外に亡命は出來ないと回答した、ペタンは自分はヒトラーから難題を吹きかけられる度毎に、フランスから逃出すといつてヒトラーを脅してゐるが、ヒトラーは、逃出すならそれもよい、フランスにはガウライターを置くまでだとヒトラーはいつてゐると語つたことがある、ペタンは口癖のやうに、自分には選擇はない、どうしたらフランス國民を救ふことが出來るかといふことだけが念頭にあるのみだといつてゐた、一九四〇年一月、自分はペタンとパリで晝食を共にしたが、その時ペタンはスペインがフランスの背後から匕首をつきつける危險が十分にあるといふことについて話した、一九四〇年六月十一日、自分はペタンとまた會つたが、その時自分は休戰を求めるときが來たのではないかとペタンに訊ねたところ、彼は自分の說に贊成して、レイノーもその考へで下準備をしてゐると語つた、それが自分が休戰について耳にした最初であつた、北アフリカの問題ではペタンは始終ドイツをブラツフしてゐた、ドイツはアフリカの食糧石油武器等の引渡しを要求したが、彼がそれ等のものを積んで出ると共に悉く、前もつて英國海軍省に通告することを怠らなかつた、ペタンは光榮の冠の代りに荊の冠を自ら選んだのである

△ペタンは政治の素人

セリニの證言が終つて、次にはドイツ占領當時のパリ市會議長シヤルル・トロシユが呼出された彼は、ペタンは本當の意味ではヴイシー政府を支配してはゐなかつた、元帥は自分の部下の大臣たちが何をしてゐるか實際は知つてゐなかつた、ペタンは一時政府を北アフリカに移すことに同意したが、自身は本國に殘つてドイツの捕虜となる覺悟でゐた、ペタンはいはば政治には全くの素人で誰も彼もが元帥の名を使ひ、その背後で勝手なことをしたのである——と證言したのち、ペタンはアルザス・ロレーヌをフランスから奪ふことはないといふヒトラーの言葉を信用して裏切られたのだ、ダカールのフランス兵解放を命じたのも、周圍の人間の勸告に基いてのことにすぎない、ヒトラーとモントワールで會見したのは、ラヴアルがペタンがこの面會を拒絶すれば、ドイツはフランスの捕虜を一人も返さないだらうといつて脅したからである、ペタンがラヴアルと握手したのはドイツ側をだます一つの手にすぎなかつた、ラヴアルはドイツの最後の勝利を希望してやまなかつた人物である、余はペタンの陰謀計畫などは全然信じ得ない、——これがトロシユの結論である

この日に豫定された證言は以上で濟んだが、陪審官側が裁判長に對して正式に、ラヴアルの喚問をば要求する手續きを取つたため、公判は再び混亂に陷つた、公判は休憩のまま、この問題の解決を計ることになり、約一時間の論爭の後、裁判長はいよいよ八月三日、公判第十一日の劈頭ラヴアルを證人として喚問するに決した旨を公判廷に宣言して今日の公判を閉ぢた

△ラヴアル喚問に疑義

陪審官側の主張では、各證人の發言によつて判斷するにラヴアルの喚問は「不可缺」であるとい

ふのに對して、辯護士側では、既に自身起訴されてゐる人間の證言を聞くことは非合法であるといふにある、然し、結局この被告側の異議申立では容れられなかつたわけだ、モンヂボー裁判長は、この決定をするに當り「余はラヴアルとペタンとの對決は、双方の責任の限界を明白にし得る點で悦ばしいと思ふ」旨を付加へた、檢事側もラヴアル喚問には大して乘氣でなくモルネー檢事は「自分個人としては、ラヴアルの證言から多くは期待してゐない」といひ、高等法院豫審判事でペタンの豫審に當つたピエール・ベティユも亦、新聞記者に對して「起訴を受けてゐる人間を豫審も經ずして、證人に引出すことはフランスの法律では違法である」と述べてゐる、ラヴアルの證人喚問が決定すると共に、辯護士側は、その非合法性を楯に公判全部の遣り直しを要求するだらうといはれてゐたが、その事はなくて裁判は進行した、しかしそれは後の話である、ラヴアル喚問がパリで採めてゐる間、當の本人はフレーヌの監房で、徒らに永い夏の日を懊惱し續けてゐた、「フランスで最も憎まれてゐる人間」といふ肩書を持つ彼にはまだ辯護士も決まつてゐなかつた、銀行會社の顧問辯護士としてはフランスの一流中の一流であるが、自らを自らで辯護する以外に今は致し方もなく、從つて監房を訪れる見舞の客もない憐れさである、高等法院はラヴアルの證人喚問を決定すると同時にピエール・ベティユを同人の豫審判事に任命し、同人は直ちにフレーヌに赴いて豫備審問を行ふと共に、ラヴアルが逃避行の間中虎の子にして持ち歩いたスーツケースに全部封印を行つたこの時ラヴアル泣く——とは外電の報ずるところである、ラヴアル夫人も同じくフレーヌの監獄の獨房に收容されてゐるがこれも何れ起訴をうけるだらうと見られてゐる

フランスの言論界はこの日一齊にラヴアルに毒舌を浴せてゐるが、參考のために摘記しよう

抗戰派機關紙「フラン・チラール」紙、「ラヴアルとペタンとは「罪の双生子」である、一方なくして、片方の罪は犯し得なかつた、彼等は手に手をとつて不名譽への路を進んだものである」

自由主義系統「ロー・ロール」紙、「英國の總選擧の最初の犧牲者はチヤーチルではなくてラヴアルである」

共產系「フロン・ナショナール」紙「ペタンが存在なかつたならば、ラヴアルの野心は果して成功したであらうか、白ネクタイの男（ラヴアルの白ネクタイは有名なものである）の責任は如何であらうとも、彼のために叛逆の路を拓いたのはペタンである」

△英外務省白書を發表

ラヴアルを憎惡してゐるのはフランス國民のみではない、八月一日夜英國外務省は白書を發表して、一九四〇年の秋、ラヴアルはドイツ政府と通謀して、ヴイシー政府と英國とを戰爭に引込む陰謀を企てたことの證據を提出した、白書によれば當時マドリード駐劄英大使サミユエル・ホアは、當時の外相ハリフアツクス卿に電報を送り、ラヴアルがフランス海軍及び一部陸軍を使用して、英國が認めてド・ゴール治下にあると宣言したフランス植民地の奪還を計りつつある旨を報じたことがあつた、ホアは有情報をばマドリードのフランス大使から得たものであるが、ラヴアルは右計畫が實現して英佛海軍が衝突すれば英海軍の侵略行爲を理由にヴイシー政府をして對英宣戰を行はしめる豫定だつた——と白書はいふのである、この白書が如何なる意圖のもとに、ペタン公判の續行中に發表されたかは、推定すればいくらでも假說は成立つであらうが、結果的にはペタンに有利でラヴアルに不利なものであることは疑へない、よくよく憎まれた男はラヴアルである

△ラヴアル愈々登場

かくてラヴアルは、愈々、ペタン公判に登場することになつた、八月三日公判は第十一日目に

昭和二十年八月廿五日(土)
第三五二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

入つたわけである、フレーヌの獨房でひと夜さを泣いた、この日の彼には最早、どこにも女々しさは止めぬ憑悍の氣を眉宇にきざんで、往年の闘將振りをこの一戰に發揮しつくさうといふ決意のほどが十分にうかがはれる、ペタンのうつろうだつた眼が一瞬生氣を帶びて、生きてゐたラヴアルの姿にそそがれたが、ラヴアルは、これに會釋すら與へず眞つ直ぐに證言臺に進んだ、首には、まさかと思はれた白ネクタイが依然として結ばれてゐた、「ペタンについた惡靈」と呼ばれたただけの格式は十分以上に備へた面構へである、證言の事實の順序は不同であるが彼の發言の要旨は次の通りだ

諸君は余が一人で休戰を强行したやうにいふが余はここに最も明確な言葉で斷言する、一九四〇年夏ヴイシー國民議會の祕密會議に席を連ねた上下兩議員七百有餘名の內、間接的にも直接的にも休戰協定に反對した議員が果して一人でもあつたか、誰一人なかつたのである、余は今日この證言臺に立つて余に與へられた仇名ペタンについた惡靈の傳說をばどこまでも爆碎するつもりであり、諸君は、ペタン元帥の經驗淺い閣僚たちが犯した行爲の故をもつてペタンを難ずることは不當である、例へばヴイシー政府が採つたフリー・メーソン强壓政策は行過ぎであつたかも知れない、然し、それはドイツによつて强要されたものである、特に猶太人に對する苛酷な措置は全くドイツ側の强要に基いたものである、余はファシストでもなく、ナチでもない、諸君は笑ふかも知れないが、余は共和主義者である

玉蜀黍粉の榮養增加

AP科學記者
ハワード・ブレークスリー

南カロライナ州のクレムソン專門學校ではヴイタミンや鑛物を玉蜀黍粉中に混じて極めて廉價に南カロライナ州の住民に供給する方法を研究しつつある、人體に特に必要なヴイタミン類及び二種の絕對必要な鑛物は、大量的に卸値段で買へば一人一年分が二四・一仙になる、この大量仕入れのヴイタミン類並びに鑛物は相當純粹で、成人一人一年分の必要量も茶匙一杯にすぎない

ヴイタミン類とは玉蜀黍紅斑(イタリー癩病)の特效劑たるピアチン、B1並びにB2(リボフラヴイン)である、その他に一年茶匙半杯の鐵とカリ劑として茶碗二杯の石灰石があれば十分だ、

南部の主食でありながら榮養價の極めて低いものとされてゐる玉蜀黍の粉及び挽割は、以上五種類の榮養物を加へることによつて、最上の穀粉に劣らぬ食料となるのである、榮養物添加は製粉工場で粉なり挽割なりに粉狀のヴイタミン類及び鑛物を混ぜることによつて行はれる、このやり方が極めて簡單なことを思ふと、今まで長い間これに手を染めなかつたのが不思議なくらゐだ、しかし方法を發見するまでには隨分時間がかかつてゐるのだ

研究並びに事業遂行に必要な機械の製作は南カロライナ實驗所長E・J・リーズ博士指導の下にクレムソンで行はれた、南カロライナ州會も法律の制定によつてこれに協力した、財政的援助を與へたのはニューヨーク研究協會のウイリアム・ウオーターマン基金で、玉蜀黍榮養添加計畫の提案者はヴイタミンB1の合成を完成したベル電話會社研究所の化學者R・R・ウイリアムズ博士だ

玉蜀黍榮養添加計畫に先立つて、鐵、B1、リボフラヴイン・ピアチン等によるメリケン粉の榮養添加も行はれてゐる、この榮養添加に關する法律は南カロライナを先頭に十六州が制定した、だがリーズ博士はメリケン粉の榮養添加だけでは玉蜀黍を主食とする南部にとつて十分でないことに氣がついた、そして南部全州から玉蜀黍食料の見本を集めてみたところ、鑛物及びヴイタミンの不足のために食料品としては最も榮養價の低い部類に屬することが判明したのである

南カロライナ、北カロライナ、ミシシッピ、ジヨージア、アラバマの諸州は挽割の營養添加を義務として規定する法律を制定したが製粉工場は戰時の需要に應ずるために營養添加の實施を待たなければならなかつた、一方クレムソン專門學校工學部は南部一萬五千の製粉工場のために自働式榮養添加機を發明したが、これはバケツ位の大きさで至極簡單なものだ、添加機は既に第一回分六十五臺が發送され、一臺十八弗で賣られてゐる



戰爭と農業の發達

戰後の農業を出來るだけ利益多く且つ快適ならしめるごとき設備を熱望する米國の農民たちは戰時における研究上、生産上の諸業績が平時にも適用される可能性の大なることを期待してゐる、農事專門家は戰爭に役立つた幾多の機械類、化學製品を農業に應用すれば土壤の變質その他の惡條件を克服し産物の品質を改良し、時間と精力を節約する上に資する所大なりとしてをり、たとへば農業雜誌「カントリー・ジエントルマン」は八月號の紙上で次の通り論じてゐる

△新農具の出現

「戰闘用機械類をいかに平時における農民の要求に應ぜしめるかは一に農民の工夫に俟たねばならないが、この中には各種土工機、凡ゆる地形を突破出來る車輛、大型爆彈の昇降に使用される自動貨車、移動機械工場その他多種多様の機械器具が含まれる、たとへば他の車輛では行かれない所へ平氣で進んで行くゴム製無限軌道の「ウイーゼル」車など猛烈なぬかるみ、積雪、沼澤に對する農民の惱みをたちどころに解決するだらう、機械修理車の如きも何れは牧畜業者や農場經營者を相手にするやうになるかもしれない、この修理車には電氣作業、一般修理、工作等の設備があり、鑽孔器旋盤、鎔接器などはガソリン發動機の動力を利用する

重量の大きなものを持ち上げることは農場における一問題だが、これには大型爆彈の取扱ひに使用される起重機附自動貨車が大いに有效だらう、この鐵索なら石柱その他大慨の重いものは持ち上げることが出來るからだ、また小型ブルドーザー其他の土工機類にも期して待つべきものがある

以上に限らず機械類を實地に農場で使用する場合はすべて一應の試驗が必要で、中には全然使用不可能なものや修正を加へなければならないものもある筈だ、おなじみのジープを民需用に改裝した型は既に某自動車會社によつて製作され目下數ケ所の農業專門學校及び篤農家により試驗されてゐる、民需用ジープに豫定されてゐる野良仕事の種類は實に多く既に研究濟み乃至試驗濟みのものも相當あるが、なほ引續き實驗の結果が發表されよう、ジープの野良仕事の中には打穀、麥の俵詰め、穀類、乾草、家畜類等の運搬から播種や耕作に至るまで凡ゆる作業が含まれてゐる

戰爭の要求がもたらした通信部門における急速な進歩は農業方面にも甚大な影響を及ぼすにちがひない、基地と前線部隊との間の通信に使用された陸軍の携帶無線通信器「ウオーキー・トーキー」は早くも農民の夢となつてをり、廣大な牧場や麥畑などでトラクターとか刈取結束機と主要農舍との間の連絡を保つて貴重な時間と勞力を節約する手段になるだらうと期待されてゐる」

△DDT粉の威力

一方戰爭中高度の發達を遂げた各種藥品類も農業方面に大きな前途を豫想され、既に同誌の五月號は例の殺蟲劑DDT粉について次の通り論じてゐる

將兵を傳染病から護り戰時流行病を防遏する戰ひにおいて化學者達は病源體を媒介する昆蟲についてひたむきな研究を續け、平和時ならば十年から二十年は十分かかる成果を二ケ年で擧げたが、今やこれが穀物の損失防止、家畜類の健康增進、農產物增收の上に寄與する可能性は計り知れぬものがある、少量の殺蟲劑は既に試驗用として拂ひ下げ、試驗の結果は大成功だつたため少量ながらDDT粉を近く一般用並びに農業用に配給するといふ先週の政府發表は農民を大いに喜ばした、中西部カンサス州ではDDT粉が家畜の蠅や虱の驅除に素晴らしい成績を收めたことの報告があり、一農夫の如き蠅を退治した後は牛乳の出方が一五%も增加したと述べてゐる

このやうに農業家は戰爭の必要から發明、製作された幾多の軍需物資から戰後の農業に革命をもたらす如き斬新な農事作業が生れることを期待してゐるのである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八　月廿七日(月)
第　三　五　二　六　號

同盟通信　海外電報

(198)

武力戰の終了は外交戰の開始を意味する、米英ソ三國の權謀外交は今や「手袋をぬぎ棄てて」歐亞兩大陸に亘つて露骨に展開されてゐるではないか先づ香港を繞る英華兩國の抗爭だ、勿論英國政府の强腰に重慶政權は泣き寢入りの他はなからうが重慶の背後には米國政府が控へてゐて爾く簡單に片付きさうもない、アトレー首相が英國下院ではつきり香港接收の意圖を表明してゐるのに對し、バーンズ國務長官は香港の歸屬を外相理事會に上程しようとしてゐる、佛印に關しても北部地區の軍政は重慶政權が擔當し、南部地區は東南アジア軍司令部が引受けるといふ發表に對しド・ゴールは早速反對を表明してゐるし歐洲ではバルカン半島がソヴエト聯邦と米英兩國との抗爭の舞臺と化した、ルーマニア國王ミハイ一世は農民黨のマヌーや自由黨のブラチアヌ等舊派の政黨人と結托して、クレムリンの傀儡政權をひつくりかへす「宮廷革命」を企圖してゐるし、ブルガリア總選擧についてはポツダム宣言の趣旨に反して米英兩國の新聞人は入國を許されないとロイター特派員エリザベス・パーカーが泣き言を並べてゐる、そこへ貸與協定取止めに關するトルーマン大統領の爆彈聲明だ、アトレー首相は二十四日英國下院において、事前何等の相談も討議もなかつたと述べ、野黨の首領チヤーチルは、「事態は極めて重大で懸念に堪えない、米國政府がこんなに亂暴且つ手荒な遣り方に出るとは信じられない」と、外交的には最大級の修辭を弄してホワイト・ハウスの牽制に躍起だ、英國政府としては得意の使節團をワシントンに派遣して窮狀を訴へることになるだらうが、クローリー外國經濟院長の言明に徵すれば、泣訴の餘地は殆どなささうだ、貸與協定は戰爭終了までの取極めだ、東亞戰爭が濟んだのだから協定を打切るのは當然ではないか、突然打切られて困るといつても、罪は米國政府になく、東亞戰爭が突然終つた點にあると、顧みて他をいつてゐるのだから取りつく島もあるまい



【目　次】

英首相、武器貸與廢止を攻撃……二三六二
クローリー反駁……〃
周恩來重慶へ……〃
【終戰處理】
聯合國代表者……二三七三
マニラ會議雜觀……〃
米國民の對日意向……〃
バーンズ、終戰後の諸事項を發表……二三七四
日本降伏と今後の動向……〃
日本在外資産の處分……二三七五
情報宣傳部門の接收管理……〃
【英　帝　國】
倫敦各紙ボース氏逝去を大々的に報道……〃
下院國際憲章を可決……〃
國內檢閲を解除……〃
リンゼイ死去……〃
【歐　洲】
ルーマニア問題で三國會議か……二三七六
英、三國政府を非難……〃
バルカンの政情不穩……〃
西亡命政府首相任命……〃
國際會議を招集……〃
【米　國】
印緬支餘剩資産處理委員……〃
貸與制廢止は對英壓迫に非ず……二三七七
工場建築及び生産統制緩和……〃
報道入手權の檢討……〃
ド・ゴール華府着……〃
米國管理の太平洋基地……二三七八
太平洋基地領有を勸告……〃
陸軍航空隊復員計畫……〃
軍人、勞働者の復員數……〃
俘虜の使役を停止せん……〃
トルーマン比島問題を討議……二三七九
米軍損害百七萬……〃
【西　亞】
レバノン新內閣……〃
ウクライナ憲章批准……〃
【資　料】
ポツダム會談以前……二三八〇

佛印の軍管理分擔を聲明

（リスボン二十四日發）ロイター通信ロンドン電によれば、東南アジア軍司令官マウントバツテンは二十四日佛印の軍管理に關して聲明を發し、北半は中國軍により、南半は東南アジア軍司令部において各々責任を分擔する旨發表したといはれる

英首相、武器貸與廢止を攻撃

（リスボン二十四日發）ロンドン來電＝武器貸與制廢止に對する英國側の反響如何は頗る注目されるところであつたが、果してアトレー首相は二十四日の下院で要旨次の如き演説を行ひ、米國政府今回の措置に對する不滿の意を露骨に示した

武器貸與制の廢止によつて英國は極めて容易ならぬ金融情勢に追ひ込まれるに至つた、余は武器貸與制の廢止が關係國政府との協議及び事前の打合せなくして行はれることのないやうかねてより希望してゐた、勿論武器貸與援助が日本敗北以後長期間に亘つて續くものとは考へてゐなかつたが、このやうなことになるとも思つてゐなかつた、英國の海外における支出は日本敗北の直前において年額約八十億弗に及んでゐたがこの內には食糧その他軍需品ならざる供給をかなり含んでゐるのであつて、之らについては今や英國は現金拂を迫られるに至つたのである一方野黨たる保守黨々首チヤーチルもアトレーの意見を全幅的に支持しつぎの通り演説した

アトレー首相が只今行つた極めて重大にして內容穩かならざる聲明を聞いて、われわれもまた心中暗澹たるものがある、余はアトレー首相の意見に贊成であつて、この問題に關するとりとめもない論議は國家の利益に害があることを認めるとともに下院保守黨議員を代表して、この問題については今後論議を差控へることを約すものである、米國の態度に關する論評はこの際下院は勿論出來得れば議會外においても差控へて然るべきだと思ふ、余には今回の措置が米國の最後的措置で折衝の餘地のないものだとは考へられない、またかうして余がいつたやうに、世界史上かつてない氣前の良い方策であつた武器貸與政策を實行してきたかくのごとき偉大な國家が、米國の軍備が完成するまで城砦を守り拔いた忠實なる聯合國に害を與へるやうな亂暴にして苛酷な措置をとるとは余は信ずることが出來ない

クローリー反駁

（リスボン二十四日發）ワシントン來電＝トルーマン大統領の武器貸與停止通告に對し、アトレー英首相は二十四日の下院で極めて激越なる口調をもつて米國政府の態度を非難したが、これに對しクローリー外國經濟院長は直ちにアトレー首相の主張を反駁次ぎの通り言明した

「英國の責任ある當局は武器貸與が對日戰終了とともに停止さるべく、英國の戰後再建及び再轉換に利用することは出來ないことを明確に認識してゐた筈である、故ルーズヴエルト大統領は勿論、トルーマン大統領並びに余自らも今までに再三再四武器貸與は戰後の再建には利用し得ないことをはつきりと言明しておいた、武器貸與法の規定により或ひはまた議會に對して與へた約束の下においても余として自由な行動をとることは出來ないが若し米國政府が議會及び國民に對して與へた約束を破るやうなことがあれば、米國が今後聯合諸國に對して與へんとする凡ゆる經濟援助の機能は根本から破壞される危機が發生しよう、余は去る七月十七、十八の兩日に亘つて開催された上院銀行通貨委員會で、極めて明瞭に

武器貸與は米國防衞のため、更に終極の勝利を確保すべき戰爭遂行のためにのみ利用されるだらう

と言明してゐる、問題は武器貸與が突然終つたといふことでなく對日戰が突如として終熄したといふ點にある」

周恩來重慶へ

（リスボン二十三日發）重慶軍事委員長蔣介石は中共中央政治局主席毛澤東に對し、渝延關係調整のため代表を重慶に派遣するやう慫慂してゐたが二十三日延安放送局の發表によれば、延安政權はこれを受諾、中央政治局副主席周恩來を派遣して中國統一問題につき蔣介石と商議させることになつた、周恩來は從來屢々重慶を訪問して國民政府當局と接衝した經驗を有するが、中共は特に次の二點を固執してゐるため、周・蔣會談が如何なる妥協を見せるか重大關心をもつて見られてゐる

一、中共軍の接敵地區においては中共軍自ら日本軍との接收工作に當る

一、全國各政黨を網羅する統一協力政府を樹立

昭和二十年 八 月廿七日(月)
第 三 五 二 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【終戰處理】

聯合國代表者

(リスボン二十三日發)降伏條件の正式調印は三十一日東京灣内の米戰艦ミズリー號上で行はれる豫定だが、マニラ來電によれば聯合國の代表調印者顔觸れは次の通りといはれる

△米國 元帥チエスター・ニミツツ
△英國 大將サー・ブルース・フレーザー
△ソ聯 中將クズマ・ニコライヴイツチ・ヂエレヴヤンコ
△支那 徐永昌
△濠洲 大將サー・トマス・ブレーミー
△蘭印 中將T・H・ヴアン・オーエン
△フランス 大將ジヤツク・ルクレルク

なほカナダ及びニユージランド代表は未定である

マニラ會談雜觀

(リスボン二十一日發)マニラ時間十九日午後九時より六時間、二十日午前九時半より三時間半の二回にわたつて開かれたマニラ豫備會議の經過につき桑港放送はその狀況を次の如くつたへてゐるマニラ到着後二十四時間を經過しない内に日本使節團は二十日早くも第二回會議を終了した、會議場たる市公會堂は嚴重警戒され新聞記者團は一切會議場への入室を禁止されたが新聞寫眞班員のみは撮影の許可を得て入室した、第二回會議終了後最初の公報が發表されたが、單に「占領軍の日本入國を促進するための情報提供を日本側に要求した」とあるのみであつた、マツカーサーは兩次の會議のいづれにも出席せず會議はマツカーサーの幕僚長リチヤード・スザーランド司令の下に進められ嚴格な公式協議に終始したといはれる

一方ロイター通信マニラ電は會議の模樣を次の通り報じてゐる

豫備會議における米國代表團は特に歩み寄るほどの態度もみせず、また逆に敬遠の態度でもなく極めて嚴正な軍事會議を進行させた、日本代表團の多くは英語を使用し、また書類に目を通す毎に眼鏡を使ふものもあつた、會議は最初全體で進められたが後刻陸海空各代表者間にそれぞれ分科會が開かれた、米國占領軍の上陸受け入れに關する指示を與へられた際の日本代表團はきはめて泰然自若たるものであつた、また聯合國代表者連は日本代表が軍事的性質の質問に對し眞摯且つ十分の用意をもつて回答したことに感銘を受けた

米國民の對日意向

—米紙論調—

(リスボン二十二日發)日本の降伏に關して米國各紙は連日社説で米國民の對日意向を端的に表現してゐるが二十二日の主な社説は次の通り

△「カンサスシテイ・スター」紙

日本々土は聯合軍の侵攻を受けてをらず日本軍も完全に敗北してゐない時に日本の降伏となつたが、この事態に對處するためには我々は日本人と日本軍に彼等が完全に敗北してゐると言ふ事實を十分確認せしめねばならぬ、日本との和平交渉に當り聯合軍側の態度が手緩いとの批評が米國の一部で行はれてゐる、これ等の人々の言説は我々が日本々土を保障占領して軍事力を破摧して政治的改革を行つたとしても軍部が漸次勢力を獲得するだらうと言ふにある、なるほどこの危懼は當然だ、しかし、われわれは日本の元首を通じて和平交渉を行つたことにより尨大な犧牲を拂はずにすんだ、われわれにして十分な決意と協力一致があれば今後の日本支配に成功するだらう、米國輿論は大體において今日まで米國政府が日本に對して取つて來た方針を諒としてゐるといへよう、米國民と米國政府はポツダム宣言の各條項を嚴重に日本に對して課すといふ重大な責任を持つてゐる

△「ミルウオーキー・ジヤーナル」紙

重光外相は日本が完全に敗北し日本國民はこの現實を重視しなければならぬと聲明したが、これは日本としては近頃にない言明だ、重光外相はさらに日本國民にして秩序維持に失敗するなら聯合軍は强硬な措置に出るだらうと警告してゐるが、これは特に賢明な表現である、一部の過激分子が紛爭を起すやうなことがあれば米軍は直ちにこれに對する適宜の處置をとるだらう

バーンズ、終戰後の諸事項を發表

（リスボン二十三日發）ワシントン來電＝國務長官バーンズは二十二日の新聞記者團會見において日本の降伏及び占領に關する諸事項につき次の如く發表した

一、國務省は陸海軍兩省と協力し日本降伏及び占領に關する事項の打合せを遂げたが、右打合せに當つた國務陸海軍三省の次官補は、いづれもマッカーサーが對日事態處理を「整然且つ事務的に」遂行したことに深い感銘を受けた

一、外國經濟院及び財務省の兩代表は日本降伏計畫には參加してゐないがこれは日本の降伏條件に參加せしむべき理由が今のところないからである、但し通貨の問題が生じて來れば、當然財務省及び外國經濟院と協議することにならう

一、空挺部隊により日本軍の手にあつた俘虜と會見することができたが、その結果は彼らの健康狀態が豫想外に良好であつたことに大いに滿足した

日本降伏と今後の動向

――米評論家の見解――

（リスボン二十二日發）日本の降伏及び今後の動向は米國言論界の最大關心事であり、連日活潑な論議が續いてゐる模樣で、米國放送は二十二日にも著名の評論家兩名の見解をつたへてゐる

△その第一はラジオ時事問題解說者として名聲のあるレイモンド・グラム・スウイングで、彼は二十日夜ABC放送局を通じ要旨次の如き見解を發表した

「日本の降伏は基本的にドイツの降伏とは異なつたものである、ドイツは戰爭の終結に際し政府といふものを保持してゐなかつた、かくの如く敗戰國が完全に政府を喪失して大戰爭を終つたといふ事例は恐く史上空前であらうと思ふ、今日ドイツが有する唯一の「政府」は聯合國にこれを仰ぐほかなく、ドイツ人みづから政府を構成する許可が與へられるまではこの狀態が續くであらう、しかし日本は全體としては今後も占領されることになつてをらず、これはドイツと比較して眞に大きな差異である、日本には政府喪失といふ事態がないばかりか、强大且つ活潑な政府を有してゐる、聯合國はこの政府に對して命令を發することは出來ても聯合國みづから日本を支配することはないであらう、既存の政府に命令することはみづから直接支配の政府たることと一見相違がないやうであるが、日本の重臣乃至側近者にはよく判つてゐる通り、眞の差異がそこに存在する、やがて聯合國の日本に課した條件は履行され、聯合國軍隊は日本から撤退し重臣乃至側近者はもはや何らの妨害なく現政府を維持するつもりであらう、かくの如くして彼らは日本における最高指導者の地位を溫存すべく、然る後再び「大」日本の建設に着手し得る機會を狙ふのである」

△第二は著名の時事問題評論家アーネスト・リンドレーが二十二日附の「ワシントン・ポスト」紙に寄せた論說である、その要旨は次の通り

「日本が軍の降伏を實行した態度は「十分の誠意」が認められると「消息通」は信じてゐる、しかし日本軍の最後の一人が武裝を解くまでは、更に戰鬪の生ずる可能性を見逃すわけにゆかない、一部は降伏の命令に服しないであらうし、かなり大きな範圍の抗命乃至裏切りが起る可能性をも勘定に入れなければならない、米國軍隊が完全に武裝し海空軍の掩護の下に日本に上陸するのはそのためである、現在日本よりの放送中にはその口調においてなほ頑迷なものが散見されるが、しかも全體としての傾向はあらゆる熱意をもつてポツダム條件を國民の心の枠内へ入れようとする試みの中に現れてゐる、われらはやがて日本に眞の轉換期が訪れることを衷心から希望するが、同時に眞の轉換期が到來するに先立ち、恰かも轉換が眞實のものであり且つ安定したものであるかの如く思ひ込まされる危險も存在する、現在の日本政府はワシントンでは「降伏」政府と認められてをり、日本軍を降伏の大命に適合させるための政府と考へられてゐる、われらが日本へ進駐した後には現政府は自由民主々義の新政府と交替すべきものであらう、これはわれわれがごまかしの保障に氣を許さない限り、まづ歡迎さるべき事態といつてよいであらう」

昭和二十年 八 月廿七日(月)
第 三 五 二 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

日本在外資産の處分

(チューリツヒ二十二日發)UP通信ロンドン來電=ロンドン消息通筋では聯合國側の日本在外資産に對する處分方針につき次の如き觀測を下してゐる

日本の再軍備を可能にするあらゆる條件をなくすため、その一つの手段として聯合國は特別の機關を設け海外にある日本の資産を探索し沒收するにつとめるであらう、日本が海外に保有してゐる資産はドイツのそれにくらべてずつと少なからうが、それでも中立國や中南米諸國にある資産は相當の額にのぼるものとみられてゐる聯合國が日本の降伏條件に基いて海外にある資産に對し自由な處分權をもつてゐることは疑ひない、マツカーサーはおそらく間接に、日本の經濟金融統制を有效に行ふことが出來るであらう

情報宣傳部門の接收管理

(リスボン二十三日發)「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙マニラ特派員ステイールは聯合國の日本占領に伴ふ處置について左の如き觀測を下してゐる

日本內政問題に對する聯合國の干涉は、主としてポツダム宣言で規定されまたは示唆された事項に限定されるべく、ある種部門を除いてはドイツにおける如き徹底的乃至過激な措置には出ないであらう、聯合國が第一に着手すると豫想されるのは情報及び宣傳の全經路にわたる接收と管理であり、また教育における全體主義一本の軌道を失はしめるにあるだらう、要するに日本人の考へ方に徹底した淸掃を加へようとしてゐるわけだ

【英 帝 國】

倫敦各紙ボース氏逝去を大々的に報道

(リスボン二十三日發)ロンドン來電=スバス・チヤンドラ・ボース氏の飛行機事故による逝去は二十三日附ロンドンタ刊各紙早版にいづれも第一面のトツプ記事として大々的に報道された、殊に「イヴニング・スタンダード」紙はボース氏の黑枠附寫眞を揭載、「イヴニング・スター」紙はボース氏の數奇を極めた經歷について述べ、氏の關係した主要事件を列擧してゐる、一般にボース氏逝去の報はロンドン在住印度人間には驚愕と若干の疑惑をもつて迎へられてをり、嘗てボース氏の祕書をしてゐたビユリン・シールの如きはロイター記者に

丁度二年前ボース氏逝去の報がつたはつたことがあつたが、後でそれは虛報と判明した、今回もはつきりした情報を得るまでは信じ兼ねる次第だ

と語つたといはれる

下院國際憲章を可決

(ストツクホルム二十三日發)ロンドン來電=英國下院は二十三日夜投票を用ひずして聯合國憲章を可決した、上院は旣に憲章を可決してゐる

國內檢閱を解除

(ストツクホルム二十二日發)ロンドン來電=英國情報相エドワード・ウイリアムズは二十二日下院において英本國における國內檢閱制度を完全に廢止した旨言明した

リンゼイ死去

(ストツクホルム二十三日發)ロンドン來電=一九三〇年から三九年までワシントンに英國大使として駐在してゐたサー・ロナルド・リンゼイは二十一日ロンドンにおいて死去した、享年六十八、リンゼイは米國に赴任するまで、外務次官の職に在り一九二六年から二八年まではドイツ大使としてベルリンに赴いてゐた

濠洲俘虜及び抑留者に救恤品

(リスボン二十二日發)シドニー來電=食糧及び衣料二百噸を積載した濠洲船がこのほどシドニーを出帆したが、右は日本占領地にある濠洲人俘虜及び抑留民に供給されるはずで、到着地はいまだ發表されてゐない

【歐　洲】

ルーマニア問題で三國會議か

（リスボン二十三日發）ルーマニアのミハイ一世は米英ソ三國首腦に書翰を送りルーマニア現政府に對する不滿を訴へたが、ワシントン來電によれば米國政府は英ソ兩國政府に對し、三國代表が會同して三國が等しく容認しうるルーマニア新政府の組織を考慮することを提案した

英、三國政府を非難

（ストツクホルム二十三日發）ロンドン來電＝英國外相アーネスト・ベヴインは下院の演説においてブルガリア、ハンガリー、ルーマニアの三國政府が非民主々義的政府であると非難した、特にブルガリア政府に關しては米國々務長官バーンズが過般の聲明において用ひたのと殆ど同じ文句を以て同政府を非難した

バルカンの政情不穩

（チユーリツヒ廿三日發）ブカレスト來電によればルーマニア國王ミハイ一世は米英ソ三國首腦に書翰を送り、グローザを首班とするルーマニア現政府に對する不滿を訴へたが、ミハイ一世は政府反對黨たる農民黨領袖マニユー及び自由黨一部の領袖たるブラチアヌーの支援下に「宮廷革命」を起さうとしてゐる模樣だ、グローザ內閣がソ聯の信賴と支持を得てゐるのに對し、マニユー及びブラチアヌーは親米英的人物である點が注目されるまた英國外相ベヴインは二十日下院でグローザ內閣を痛烈に非難した演説を行つたが、その直後にミハイ一世が今回の擧に出たのであり、ルーマニア政府の親米英派が之を機會に活動を活潑化するとみられる、他方二十三日附の「イズヴェスチヤ」紙は「ルーマニアの民主々義的政治は過去一ケ年間に非常な成功を收めた」と述べ、マニユー一派を非難してゐる、他方ブルガリアでは選擧は豫定通り二十六日施行されるが、米英兩國政府が右選擧を非民主々義的選擧だと猛烈に攻擊してゐるに對し、「プラウダ」紙は選擧は眞に自由且つ民主主義的だと斷じてゐる、また、「プラウダ」紙がギリシヤの情勢について「ギリシヤではファシストのテロが盛に行はれてゐる」と報じてゐるのに對し、アテネからのロイター電報は「EAMの中央委員會はロンドンに代表を送りEAMがギリシヤの現在の國內情勢を是認してゐることを英國政府に通達するに決した」と全然反對の報道を行つてをり、バルカン諸國の親ソ的政黨と親米英紙の鬪爭は愈々活潑化せんとしてゐる

西亡命政府首相任命

（リスボン二十三日發）メキシコ・シテイ來電＝メキシコにある亡命スペイン共和國政府大統領デイエゴ・マルチネス・バリオは元スペイン首相ホセ・ジラルを亡命政府首相に指命、組閣を命じた

ブレーメン港開く

（ストツクホルム二十二日發）ロンドン來電＝歐洲方面米國海軍司令官ケント・デユウイツト大將は二十二日、ブレーメン港が歐洲における米國占領軍の二番目の補給基地として二、三週間以內に再開される旨言明した、ブレーメン港が今迄使用出來なかつたのはドイツ北岸に多數の機雷が敷設され、その排除に暇どつたためである

國際會議を招集

（リスボン二十三日發）パリ來電＝フランス外務省は二十二日次の通り發表した

タンジールの國際的地位の復活及び、フランス並びにスペイン領モロツコの地位を規定した一九〇六年のアルヘシラス協定を再檢討するために今後六ケ月以內に國際會議を招集することにつき米英佛ソの四國間に今回意見の一致が見られるに至つた、右に關する四ケ國會議は友好的雰圍氣の中に行はれた

【米　國】

印緬支余剩資產處理委員

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝陸海軍資產整理委員長ドナルド・コナリー少將は二十二日、ニューヨーク市ビユーラー・アンド・フイツプ株式會社副社長兼取締役ウオールター・シユライターを印緬支方面餘剩資產處理委員として派遣する旨發表した、シユライターを團長とする先遣委員團は今月末ニユー・デリーに向つて出發する豫定である

昭和二十年八月廿七日(月)
第三五二六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

貸與制廢止は對英壓迫に非ず

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=米國では今回の武器貸與制の廢止が特に英國勞働黨内閣への壓迫を狙つた措置だとの噂が流布されてゐるが、トルーマン大統領はこれを否定して二十三日夜つぎの如く語つた

武器貸與制の廢止が英國政府に對し特に打擊を與へようとして斷行されたといふやうな事實はない、元來武器貸與制なるものは戰爭遂行のための手段であつて、戰爭が終り次第これを撤廢することは米國政府においても屢々言明してきたところである、余も副大統領當時貸與制は對日戰終了とともに可及的速かに中止する旨言明した覺えがある

工場建築及び生産統制緩和

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=戰時生産局は二十一日一部工場建築の許可制を撤廢したが、右措置の適用を受ける建築とは左の如き業種のものである

鑛山、木材、研究所、食糧加工、紡績工場、印刷所

さらに同局は來る九月末から、從前の戰時優先制を廢止し、これに代へるに再轉換期のための新しい生産統制計畫をもつてする旨發表した、右に關する戰時生産局發表左の通り

「日本に對する勝利の結果軍需は著しく減少し、生産全般にわたる戰時優先制は最早適切でなくなり、これを繼續すれば急速な再轉換の進行を阻害することが豫想されるに至つた、かくて今後はつぎの如き新計畫を實施する方針である

一、本年九月末以降の引渡とする資材買付註文に對する優先順位Aの適用を纖維品を除きすべて廢止する

二、戰時生産局の戰時生産統制計畫の主體をなした統制資材計畫を、九月三十日以後撤廢する

一、本年第四四半期以降分の鋼鐵、銅、アルミの割當をすべて即時取消す

一、新に一部民需品の生産について優先順位Cを設定し、これによつて再轉換期における隘路を打開する

二、中小企業の利益に考慮を拂ふ方針は依然繼續する

一、在荷制限措置は繼續し、資材退藏防止のため必要とあらばこれをさらに强化する」

報道入手權の檢討

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=大統領トルーマンは廿二日AP通信社副支配人ポール・ミラーを白堊館で引見したが、會談中各紙代表記者は出生地や國籍に關係なく總てワシントンにおいては等しく報道を入手する機會を持つ旨きだ、同じ原則が全世界に適應されて他國においても米國の記者が同樣の恩典に浴すればいいと思ふ

と述べた、會談後ミラーは「自分としてはこれに對して何の異論も持たない」と言明した

戰勝公債は百十億弗

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=財務長官フレツド・M・ヴインソンは二十三日夜、來る十月二十九日より總額百十億弗の戰勝公債募集を開始する豫定なる旨發表した、個人消化目標額は四十億弗、殘餘は銀行以外の法人に振向けられるはずである

ド・ゴール華府着

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=フランス政府主席ド・ゴールはトルーマン大統領を公式訪問のため二十二日午後八時ワシントンの飛行場に到着、バーンズ國務長官、駐米大使アンリ・ボネーその他が出迎へた、ド・ゴールは飛行場から米國民に對する放送演說を行つて戰爭終結に對する米國民の寄與を稱讚した後直ちに白堊館に赴きトルーマン大統領の歡迎を受けた、米國滯在は三日間の豫定だが隨員の中には外相ビドー、幕僚長アルフオンズ・ジユアンが含まれてゐる

米國管理の太平洋基地

（ストツクホルム二十三日發）「タイム」誌八月二十日號は今後米國が太平洋において管理する基地を豫想し次の通り報じてゐる

「トルーマン大統領は嘗てベルリンで行つた演説の中で

米國はこの戰爭によつて一片の領土も得ようとは思はない

と述べ、多數の人々を驚かせたが、大統領は先週國民に向つて述べた演説により、上記の言葉が米國の利益と世界平和を完全に擁護する爲に必要な軍事基地を除外してゐることを明かにした、卽ち大統領は

米國は軍事專門家が必要不可缺と認めた軍事基地を所有しよう

と言明した、大統領は太平洋のどの地點が米國にとつて必要な基地であるかを明かにはしなかつたが、戰後米國が太平洋で必要とする地域の靑寫眞は旣に出來上つてゐる

米國は恐く、戰前自國が管理してゐたパナマ運河地帶、ハワイ諸島、アリユーシヤンの三つとマリアナ諸島及び中部比島基地（恐くレイテ灣基地）を含む五つの大基地の管理を主張し、更に太平洋を十字形に橫切つてゐる第二次的重要性を有する基地を要求しよう、この中には米軍が血をもつて贖つた沖繩、硫黃島、エニウエトク、クエゼリン、パラオ及び米軍が旣に占領してゐるサモア群島東部、ミツドウエー及びトラツク、マヌスの兩島が含まれよう」

太平洋基地領有を勸告

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝下院海軍分科委員會は二十日、現在米軍基地たる太平洋諸島嶼は米國がすべて占有すべき「完全な資格」を有する旨を主張した、理由として次の諸點を擧げてゐる

一、これら島嶼の占有に米國は幾多の人命と巨額の費用を投じた

一、現住民は明かに米國の支配を欲してゐる

一、米國以外の諸國は地理的に「遠過ぎる」か乃至はこれら諸基地を維持すべき必要條件を持たない

陸軍航空隊復員計畫

（リスボン二十三日發）ワシントン來電＝陸軍省二十二日夜の發表によれば、陸軍航空隊の復員數は明年末までに百四十萬人以上に上る見込で、最高の復員率は月當り十五萬人を豫定されてゐる、復員終了後の陸軍航空隊兵力は九十萬人となるはずである

軍人、勞働者の復員數

（リスボン二十三日發）ワシントン來電＝戰時動員局は軍人及び軍需勞働者の復員計畫の細目につき二十三日左の通り言明した

今後二ケ月後に軍需生產から解除される勞働者數は概算百五十五萬、本年中に復員を豫定される兵員は男子は九十萬、女子十萬以上と推定される

士官學校長更送

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝陸軍省は二十一日次の通り發表した

ウエスト・ポイントの陸軍士官學校長フランシス・ウイルビー少將は今回ヴアージニア州フオート・ベルヴオワールの工兵隊において重要任務につき、後任には前第百一空挺師團長マツクスウエル・テイラー少將が九月一日附をもて任命された

俘虜の使役を停止せん

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝戰時人的資源委員長マクナツトは二十日次の通り發表した

現在約六萬四千人の俘虜が食品加工工場、鑄物工場、森林伐採等の勞務に服してゐるが、戰時人的資源委員會はこれら農業以外の勞務に從事してゐる俘虜は米國の歸還將兵が職場に復歸し次第、使役することを停止する豫定である、更に陸軍省は現在各地にある俘虜收容所を漸次閉鎖する準備を進めてゐる

つた、つづいてワシントンで開かれた會談もこのケベツク會談の一部となつてゐる、ルーズヴエルトは議會に對し、米英兩國軍首腦及び參謀は日獨兩國に對し同程度の、若くは更に重大な打擊を與へるべく明確且つ精密な計畫――例へば歐洲大陸その他における新上陸に關する時日地點等の決定を行つた

旨報告した、これ等の計畫が如何なる手段により何處で實施されたかは後の記錄の示すところだがその間には他の重要協議が續けられた

△安全保障案

その一つは一九四三年十月、米英ソ三國外相相集つたモスクワ會議で、ここで戰後の集團安全保障案が生れ、若干の歐洲問題が初めて論ぜられ、ナチ黨領袖に對しては、戰爭犯罪人は處罰さるべき旨の嚴重な警告が發せられたのである、この會談の結果、重慶を加へて發表された四國宣言は戰後の國際協力の重大性、及び大小すべて平和愛好國による國際機構設置の必要を明かにしてゐる、この四國宣言が先驅となつて更に引續き恒久的聯合國設立のためダンバートン・オークス、ヤルタ兩會談、サンフランシスコにおける聯合國々際機構會議が開催された、桑港會議に參集した聯合國五十ケ國代表は國際憲章――國際安全保障機構憲法――に調印した、かくて「戰爭終了前に戰後の安全保障に關する具體的措置」を講ずることを念願しつつ、實現を見ずして逝つた故ルーズヴエルト大統領の希望はここに達成されたのである

カイロ、テヘラン兩會談では協同作戰の緊密化が計られた、ルーズヴエルト、チヤーチル、蔣介石の三者は一九四三年十一月會談した結果、對日作戰のため協同軍事計畫が成立した旨言明、更に世界大戰の東亞戰線における究極の目的は日本の無條件降伏なる旨宣言した、最近に至りポツダム會談半ばに、チヤーチル、トルーマンは蔣介石を加へて日本の無條件降伏要求とは如何なる意味のものであるかにつき共同宣言を發表した

カイロ會談後間もなくルーズヴエルト、チヤーチル、スターリン三頭はテヘランで最初の三頭會談を行つた、ここで彼等はドイツの徹底破摧のための最高の計畫即ち「東西南三面からする」作戰の地域及び時機を決定した、之は聯合軍のノルマンデー上陸、これに呼應する赤軍の東部戰線攻勢續いて兩軍によるドイツ本土攻擊から六ケ月を經て開花したものである

一九四四年八月米英ソ支四國代表はモスクワ宣言の實行を期してダンバートン・オークスに會し國際機構案のための憲章を起草した

ルーズヴエルト、チヤーチルは九月再びケベツクで會談、對日戰のため大量の兵力配置を立案した、續いて十月チヤーチル、スターリンはモスクワで協議した

△戰後問題

一九四四年二月、ルーズヴエルト、チヤーチル スターリンの第二回三頭會談はヤルタで行はれ、國際機構會議のための時機および場所が協議された、ドイツに最後の攻擊を加へるための協同作戰を協議したのみならず、彼等は降伏後のドイツの協同處理並びに管理、解放諸國における自由選擧の大綱についても意見一致し、更にポーランド、ユーゴスラヴイア問題解決のためにも協議を凝らした、ヤルタ會談の決定事項のあるものは現在既に實現を見、その他はポツダム會談で議題に上つてゐる、去る四月ルーズヴエルト大統領が逝き、數週間の後にドイツが降伏したため、その後の會談の樣相は變つたが、各國首腦の個人的會談によつて重要課題の解決に資する事實には變りない、ルーズヴエルトに代つてトルーマン大統領がポツダムに現はれ、先週はまたクレメレト・アトレーがウインストン・チヤーチルと交替した、ポツダム會談の議題は歐洲に關する限り政治經濟上の懸案のみに止つた模樣である、之等諸會談の主要意義はその結果の如何にかかつてゐる、從來の會談で決定された軍事上の諸決定は直ちにあますところなく戰場で實を結んだ、政治的難問題の解決は常に容易とは言ひ難く今もつて機能のみの段階に止つてゐるものもあるが、審議の結果生じた協力によつて解決し得ない問題など存在しないことが明かにされてゐる、之等の結果は現在までに全世界の知る前例であり、ポツダムの決定事項をも更に深く意味づけることとならう

除隊兵から醫師を養成

——ワシントン來電——

戰時人的資源委員長ポール・マクナツトは二十日戰後の米國が深刻な醫師及び齒科醫の不足狀態を吸しさうな形勢に鑑み、今秋から授業を開始する醫學校、齒科醫學校並びに同豫備學校の學生として召集解除兵の中から卽刻一萬二千名を入學せしめる旨發表した、右に關するマクナツトの說明要旨次の通り

當局の調査によれば醫學校が選拔徵兵法の實施を見る前の狀態で學生を收容し、卒業生を送り出してもなほ戰後には數千名の醫師が不足し、齒科醫の不足はさらに深刻だらうと見られる、戰爭の急務に追はれて生じた醫師並びに齒科醫の缺員を補ふやう急速に效果的な措置が講じられない限り米國民は絕對的な保健手段さへないといふことにならう

若干の醫學校では九月をもつて始まる第一學年に學生が殆ど集まらないことすら豫想される有樣であるが、戰後人的資源委員會は陸海軍當局歸還將兵援助局並びに醫師會、齒科醫會等の協力の下に醫科並びに同豫科學生八千名、齒科並びに同豫科學生四千名を目標として解除豫定の兵士に兩業務の有望性を力說勸奬する筈である

現在開業醫の約四〇%が入隊中だが、市民のために醫師及び齒科醫を供給することが大問題であるのみならず、傷痍軍人を看護し、平時軍隊の軍醫となるべき醫師を養成することも重大な問題だ

戰爭の結果必要となれる醫師の數は戰前利用出來たよりも遙か多數に上らう、現在の推定で平時陸軍に約一萬名、平時海軍に約五千名の軍醫が必要とされるほか歸還將兵援助局でも約一萬五千名の醫師が必要だと言つてゐる、さらに歐洲及び支那で廣範な地域に亙つて病院その他の醫療施設が破壞された結果、これら諸國から應援派遣方を求めて來てゐる醫師の數もどの位に上るか分らない一方米國軍隊に所屬して戰死又は戰傷した多數の醫師の補充を行はねばならず、戰爭中國內に留まつてゐた醫師は過勞の結果高度の死亡率を示してをり、これらも正確な計算は出來ないとはいへ醫師不足の原因に數へられるのである

現在までに入手した情報によれば約三萬五千名の醫師を增加する必要があると見られるが、關係當局の調査は右の需要を滿し得る人員がその半數にも及ばないだらうといふことを示してゐる

同樣な事情は齒科醫の方面でも認められるが、醫師の場合と相違してゐるのは、新しく齒科醫となる者の數が旣に戰前から急速に減少しつつあつたといふことだ、一九一〇年から一九四〇年までの間に米國人口が四二%も增加したのに對し齒科醫學校卒業生は二三%方減少してゐる、米國の齒科醫師界で老年醫が多數を占めてゐることは一九四〇年に米國で開業してゐた齒科醫中二五%が一九一〇年以前の卒業者だつたといふ事實で明かだ卽ち開戰當時旣に米國の齒科醫は數的にいつて國民の健康保持に手が足りないといふ狀態にあつたにも拘らず、軍隊からの要求のために市民の利用し得る齒科醫の數はさらに約三分の一減少してゐたのである

印度の「ベヴイン」少年

（リスボン十五日發）ロンドン來電＝前勞働相サー・アーネスト・ベヴインの立案で工業の勉强をするため英國に送られたいはゆる印度の「ベヴイン少年」とよばれる第十二回印度工業訓練生は、八ケ月の修業期間を終へ、近く歸國することとなつた

訓練生は總數七十三名で、訓練の中心地ハートフオードシヤーのレツチワースで基礎訓練を受け更に英本國各地の有名な工場に送られた、各工場主もこれら訓練生には生產技術習得に十二分の便宜を與へたといふ、その上「ベヴイン」少年達は勞働組合制といふものについての知識をも得て歸國する

なほ少年達は十六日勞働省で、印度駐在高等辨務官サー・サミユエル・ランダナンの出席の下にサー・アーネスト・ベヴインの後繼者である勞働相ジョージ・アイザツクスから修業證書の小冊子並びに特別徽章を手渡される豫定である

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年八月廿八日（火）　第三五六七號

同盟通信 海外電報 (19 9)

編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

日本が欲した新秩序大東亞共榮圏の設立は、敗戰と共に水泡に歸したが、その理念の根本義をなした廣域經濟圏乃至は政治圏は、舊秩序の發展といふ形で實現したやうだ、舊國際聯盟の民族自決は既に試驗濟の落第で大國の指導統制の下に、小國はよらば大木の下といふ諺を欲すると欲せざるとに拘らず强行せしめられることになつた、これを大東亞について見れば三大勢力圏に三分されてたがひに抗爭を餘儀なくされる立場になつてしまつた、北方はソ聯、中央は米國、南方は英國、そして今後、東亞の唯一の安定勢力であるべき中國は、いまの實力を以つてしては三大勢力圏の好箇の角逐場たるのほかはない狀勢にある、東亞の民は、その唯一の安定實力だつた日本を失つて、當分は、または心掛け次第によつては永遠に西歐の從屬者たるの地位に甘んじなくてはならない、この大東亞の分裂と隷屬とが如何なる原因によつて招來されたかは、從來の指導者だつた日本が先づ反省すべく、將來の中心勢力たるべき中國の先づ三思すべき事柄である、日本と中國とが先づ新らしい歷史の轉換期に際して舊來の對立意識を捨て、虛心をもつて大東亞の解放のため高き理想を掲げ、日本が達成し得べくして得なかつたこの大目的をなし遂げなくてはならぬ、その意味において二十五日の蔣介石の聲明は十分に好意が持てる、米英ソと雖も、特に米ソ兩國は、東亞民族の有する獨立自守の理想について何等反對すべき理由を有せず吾等は何等惧れることなく人類の高き理想をそのままに昂然とかかげて帝國主義的な壓迫、搾取政策に抗するに何のやましいところもない、武器を投じた日本は、いまこそ何等の成心なく、理想主義の大佩をかかげて、尚米英の有する帝國主義的諸傾向に抗爭を開始すべきである

【目　次】

日本進入の艦艇……二三八四
濠洲艦隊も東京灣へ……〃
ソ支條約を批准……〃
香港の日本軍英國に降伏……〃
米軍朝鮮にも上陸……〃
占領軍に交驩禁止令……〃
日本記者團の要請に回答……〃

【終戰處理】

調印は九月二日……二三八五
日本新聞記者十四名を許可……〃
新聞記者二百名待機……〃
東京灣入港の艦艇百餘隻……〃
ソ聯代表團マニラ着……〃

【支　那】

香港に兵を駐めず……二三八六
外蒙の獨立を承認……〃
新民施政策を表明……〃
中ソ友好同盟條約を承認……〃

【米　國】

米國海軍の將來……二三八七
一週四十時間制に復歸……〃
バーンズ等渡英……〃

【歐　洲】

英、勃總選擧に反對……二三八八
ソ聯紙勃羅兩國を辯護……〃
急進社會黨首はエリオ……〃
オランダ肉割當半減……〃
維納市民に食糧供給……〃
オリンピック開催は一九四八年……〃

【英　帝　國】

香港問題で意見對立……二三八九
飽迄香港維持を主張……〃
百萬召集解除……〃
濠外相本國を痛罵……〃

【資　料】

現段階の植民地問題……二三九〇
パレスチナを國際化せよ……二三九四

日本進入の艦艇

（リスボン二十五日發）グアム島來電＝ニミツツ司令部は二十六日公報をもつて次の通り發表した米國太平洋艦隊の有力部隊は日本進駐のため日本水域に近接した、東京地區水域に入る豫定の海軍部隊は旗艦ミズリーに坐乘せる第三艦隊司令長官ハルゼー提督の指揮を受ける、右部隊並びにそれを直接援護する部隊には次の諸艦艇が含まれる

△戰艦

アイダホ、ミシシツピイ、ニユー・メキシコ ウエスト・ヴアージニア、コロラド、ミズリー、アイオワ、サウス・ダコタ、ウイスコンシン、アラバマ、インデイアナ、サウス・カロライナ

△航空母艦

イントレピド、アンテイタム、ベニントン、タイコンデロガ、ヨークタウン、シヤングリラ、ボイム・リシヤール、レキシントン、ハンコツク、ランドルフ、ワスプ、キヤボツト、カウペンス、インデイペンデンス、ベロー・ウツド、モンテリー、バターン

△護送空母

ギルバート・アイランヅ、マキン・アイランド、テスチ・ベイ、ロイ、ムンダ、ホーランデイア

△巡洋艦　二十隻

△驅逐艦、輸送船　多數

濠洲艦隊も東京灣へ

（リスボン二十五日發）キヤンベラ來電＝濠洲國防相ジョン・ビーズレーは二十五日次の通り述べた

聯合軍總司令官マツカーサーとの取極めによつて濠洲艦隊は休戰協定調印式の行はれる三十一日に東京灣に入ることとなつた、艦艇は巡洋艦シユロツプシヤイアー、ホーバート、驅逐艦ウオアラムンガ、バタアンである、濠洲政府はこの歴史的機會に出席する艦隊に必要な便宜を與へてくれたマツカーサーに對して感謝の意を表明する、調印式當日濠洲陸軍並びに航空部隊は日本に進駐しないが、後になつて日本々土占領軍と合流する筈だ

ソ支條約を批准

（リスボン廿六日發）重慶からのUP電報によれば重慶政府立法院は二十四日ソ支友好同盟條約を批准したといはれる

香港日本軍英國に降伏

（リスボン廿六日發）マニラ來電＝マツカーサー司令部は二十六日次の通り發表した

香港の日本軍は英國代表ハーコート提督との直接とりきめに基き、來る八月三十一日以後同提督に降伏すべき旨の命令を接受した

米軍朝鮮にも上陸

（リスボン二十六日發）コロンビア放送局特派員ジヨーン・アダムスのマニラ放送によれば、マツカーサーは米國軍を朝鮮に上陸せしめる豫定なる旨言明した

占領軍に交驩禁止令

（リスボン二十五日發）ロンドン來電＝ロイター通信聯合軍從軍記者デイヴイツド・ブラウンは次の通り報じてゐる

歐洲占領地域で既に一般に知れ亘つてゐる交驩禁止令は日本々土においてはさらに峻嚴に實施される筈で、日本々土占領軍には既にこの旨の命令が發せられてをり、占領軍將兵は極めて事務的に行動するやう命ぜられてゐる

日本記者團の要請に回答

（リスボン二十六日發）マニラ來電＝聯合軍の上陸及び降伏調印式に對し日本新聞記者團、寫眞班員、ニユース映畫班員の參加要請に答へて、二十五日マツカーサーは次の通り言明した

聯合軍の上陸乃至降伏調印式に關して蒐集せられたる資料は、日本語を使用し且つ日本々土においてのみ發表するとの條件の下に日本側の要請に許可を與へる、いかなる國語にせよ報道に關聯して短波による對外放送の行はれざることを望む

昭和二十年 八 月廿八日(火)
第 三 五 二 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【終戰處理】

調印は九日二日

(リスボン二十五日發)ロンドン來電=ロイター通信マニラ特派員は二十五日次の様に報じてゐる「日本々土沿岸では目下猛烈な颱風が起つてゐるため聯合軍の日本々土上陸は公式に來る二十八日まで延期された、二十八日には聯合軍の先鋒部隊が初めて日本の土地に上陸する譯だ、マッカーサーは三十日に主力を率ゐて上陸することになつた聯合軍の上陸が二日延期となつた結果東京灣上の米國戰艦ミズリーでの停戰協定調印式は九月二日に行はれることとなつた、マニラに占領軍を揚陸することになつてゐる米第五艦隊司令官レイモンド・スプルアンスは聯合軍の日本々土の上陸に當つて紛爭が起る樣なことはあるまいが、萬一の場合を慮つて十分の準備を整へてゐると語つてをり日本側もマッカーサーの要求に十分應じてゐる樣子だ」

一方聯合軍に從軍中のロイター通信特派員デヴイツド・ブラウンは次の樣に傳へてゐる

「占領軍を乘せた艦船は日本々土南方の颱風の吹きすさぶ海上を圓を描いて航行中で、上陸部隊は萬一に備へて戰鬪態勢にある、運送船も戰鬪部隊と食糧品で充滿してゐる、戰鬪部隊には海兵隊が多數加はつてをり小銃、機銃、その他の火砲を裝備してゐる、船團は完全な燈火管制の下に行動してゐる」

日本新聞記者十四名を許可

(リスボン二十五日發)マニラ來電=マッカーサーは二十五日ラジオを通じ聯合軍の日本上陸に立會ひ得る日本の新聞記者に關し次の通り發表した

米國軍の日本々土進駐に關し現場に立會ふ日本の新聞記者、寫眞班員、ニュース映畫班員の數は厚木、橫須賀、鹿屋を含んで十名に指定する

一方米國軍艦ミズリー號の艦上における降伏協定調印式には新聞記者二名、寫眞班員一名、ニュース映畫班員一名合計四名の立會を許可する

新聞記者二百名待機

(リスボン二十五日發)太平洋米國軍前線基地からの報道によれば、日本占領の聯合軍と共に日本々土に乘込むべくすくなくとも二百名の各國新聞記者が待機してゐるといはれる、これらは新聞通信社の代表は勿論雜誌、寫眞あるひはラジオ放送會議等の代表をも含み、その大部分は米國の記者團だが、支那、英國、カナダ、濠洲、ニユージーランド、比島等の報道代表をも含んでゐる、彼等は目下沖繩の基地或ひは米國第三艦隊に配屬されてをり、聯合軍進駐部隊と共に眞先に日本々土に乘り込む筈である

東京灣入港の艦艇百餘隻

(リスボン二十五日發)ロイター記者ボーキンスは英戰艦デューク・オヴ・ヨーク艦上から二十五日次の通り報じてゐる

「現在百隻以上の聯合軍各種艦艇が東京灣に入港するため待機してをり、全艦隊を通じて各戰鬪部署に洩れなく兵員が配置されてゐる、聯合軍の艦船は日本の水先案內船の出迎へを受けて日本々土水域に導かれるが、聯合軍の艦隊は如何なる不慮の事態にも卽應出來るやう完全に準備を整へてをり、尨大な艦上機群は碇泊地全域の上に掩護の手を擴げると同時に近接の日本飛行場に警戒の眼を光らせる、上陸部隊は約一週間訓練を受けてゐるが、これは如何なる沿岸勤務をも直ちに行ふことが出來るためだ、東京に入城する太平洋英海軍司令官フレーザー提督と行を共にする最初の自治領代表はニユージーランド空軍司令のイシット中將の豫定である」

支那軍南京入城

(リスボン二十五日發)重慶來電=支那軍司令部は二十五日夜次の通り發表した

國民政府軍は二十五日揚子江を渡河して、南京に入城した、日本軍の正式降伏協定は南京で調印されることとならう

ソ聯代表團マニラ着

(リスボン二十五日發)マニラ來電=クジマ・ニコラーエヴイツチ・ヂエレヴヤンコ中將を首班とするソ聯代表團一行十六名は三十五日朝空路マニラに到着、ヂエレヴヤンコ中將はマッカーサー元帥と會見打合せを行つた

中國、香港に兵を駐めず

（リスボン二十五日發）重慶來電＝中國政府は香港を回復する意圖を藏して種々工作を進めてゐたが、蔣介石は二十五日香港に對して中國軍を派遣しない旨聲明した、右は香港に對する回復要求を放棄したものと解され、英國政界によつて多大の好感をもつて迎へられてゐる

外蒙の獨立を承認

（リスボン二十五日發）重慶來電＝蔣介石は中國の獨立達成に關する政策に關し二十五日長文の聲明を發表して、次の通り述べた

「中國の最重要目標とするものは

一、中國東北方地方（滿洲）の主權を回復すること

一、臺灣及び澎湖列島を回復すること

一、朝鮮の獨立を確立すること

の三事である、以上が達成されない限り、中國の獨立を云々することは無益だ、また中國の主な任務の一は外蒙古及びチベットの民族問題を解決することである、中國は外蒙古を植民地と見做しはしないし、外蒙民衆を壓迫しようとも思はない、外蒙古民族の自由を求める心情を無視することは中國革命の精神に反するばかりでなく、民族間の軋轢を激化せしめ、中國の再建計畫を阻害する、從つて中國は外蒙古の獨立を認めねばならない、國民黨大會はチベットに最高度の自治を許與することに決定した、余は中國とビルマ、泰國との間に緊密な友好關係を樹立することを切に希望する」

以上の聲明は蔣介石がカイロ宣言の實現を中國獨立の嚴重要契機と見做してゐることを示すものだが、特に外蒙古の獨立を認めたことはソ支關係の大轉換を示唆するものと解される、中國は從來一九二五年の北京條約を楯にとつて外蒙古に對する主權を要求してゐたが、今回外蒙古の獨立を認める態度を採るに至つたのは、恐らくモスクワ會談の結果に基くものと解される

新民族政策を表明

（リスボン二十五日發）國民政府主席兼軍事委員長として中國の獨裁官たる地位にある蔣介石が二十五日長文の聲明において外蒙、滿洲、西藏、朝鮮、佛印等に關し、今次の方針を闡明したことは中國の新民族政策、ひいては中國周邊の國家構成に對する殆ど決定的意圖を表明したものとして頗る重視されてゐる、以下重慶電に基き蔣委員長の言明內容を綜合すれば次の通りである

一、外蒙古に對しては中國は當時主權を主張し機會ある毎にソ聯と摩擦を惹起して來たが、蔣介石もつひに過去四十年餘の既成事實を承認し外蒙民族の獨立を認める意向を明かにした、右は他面に於てソ聯に對する重大な政治的讓歩とみられる

一、朝鮮の獨立、臺灣及び澎湖島の回復並に滿洲の領土的回復はカイロ宣言の實施で表面的には新味はないが、ソ聯はカイロ宣言の當事者ではなく僅かにカイロ宣言の右關係事項を吸收したポツダム宣言に參加したに止まり、從つてソ聯の濠洲に對する態度は幾分不明とされて來た關係上蔣介石の言明は中國の外蒙に關する讓歩により滿洲に對する主權を確保する事になつたことを暗示するものだ、このことは亦スターリン議長、宋子文行政院長のモスクワ會談の一項目だつたとも思はれる

一、蔣介石はビルマ、泰及び佛印に對して獨立達成のため友好的援助を與ふべき旨述べた、右は東亞における戰爭の道程における各民族獨立の要望に對して初めて中國の立場より應へたもので劃期的な聲明と見られる、現に中國軍は佛印及びビルマにも進駐してをり、その發言權は必ずしも輕視を許さない

一、西藏に對する高度自治の許可を約束したことは純國內問題ではあるが永らくの懸案に解決の曙光を認めさせるものでこれ又好感を與へよう

中ソ友好同盟條約を承認

（リスボン二十四日發）重慶來電＝最高國防會議及び國民黨中央執行委員會は二十四日聯席會議を以て中國及びソ聯間の友好同盟條約を承認し、直ちに批准のため立法院に廻附した、條約內容は中ソ兩國の批准後發表される筈

昭和二十年 八月廿八日(火)
第三五二七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

米國海軍の將來

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=海軍長官フオレスタルは二十四日夜NBCのラヂオ・インターヴユーで、米國海軍の將來に關し左の通り語つた

「戰鬪用艦艇一千二百隻、航空機二萬九千機といふ米國海軍の現有勢力は將來艦艇約四百隻、航空機八千機に節減され、殘餘を緊急の場合に備へ、豫備艦隊として保有されることとならう、海軍は米國の軍事的使命即ち

一、國防

二、聯合國憲章に規定された「國際平和の維持並びに回復に必要とされる如き空軍、海軍乃至陸軍兵力の動員」

三、チヤペルテペツク條約に基く西半球の侵略防止

の三項目の遂行を輔佐しなければならない

西太西洋と太平洋全域は米國の安全保障に重大な意義を持ち米國はこの兩洋において嶄然たる海軍の優位を保持する必要がある、この意味で余は「制海權維持のため米國は太平洋に海軍基地を確保すべし」といふ下院海軍委員會の勸告に同意する、なほ原子爆彈が發明された結果、戰爭に原子エネルギーが使用されるやうになれば、海軍力も海上支配の力を喪失することとなりはせぬかといふ質問も出てゐるが、必要とあればいかなる武器を使用してでも海上支配を遂行するといふのが海軍の使命であり米國を偉大ならしめる鍵なのだ、米國はその現有する世界最強の艦隊を今後も保有することにより孜々として撓まぬ研究、計畫實行により將來の海上の支配權を維持することが出來る、米國は軍事上の諸研究に於て常に世界の先頭を切らねばならない、他の自己中心病的國家が祕密兵器を完成して米國を自己の恩惠に依存せしめうると考へる如き事態は斷じて許し得ない、軍事研究計畫は文字通り米國により生存のための代價となるかも知れないのだ」

一週四十時間制に復歸

(リスボン二十四日發)ワシントン來電=トルーマン大統領は二十三日の新聞記者團會見で次の通り發表した

余は政府各省、各機關に對して指令を發し、來る九月九日から戰時中停止されてゐた一週四十時間勤務制度を復活するやう命じた、これにより政府各機關では原則的に一週五日制の實施が可能となるわけである、然しこの勤務制によつて事務に重大な澁滯を來す場合は當分現在通りの勤務時間制を續けるが、かかる場合各機關の責任者は豫算局長に對して一週四十時間以上の勤務制を續行することが絕對に必要である理由を申告する必要がある

トルーマンは更にその他の內治外交問題にも觸れたが重要な言明次の通り

一、イツキーズ內務長官は辭職することなく彼の希望する限りその職に留まることとならう、彼は近く米英石油條約締結交涉のためロンドンに赴く筈である

一、歸還將兵が出征前の原職に復歸し得る權利は現在の歸還將兵法で充分保障されてゐると思ふ然しこの保障が不十分と思はれる場合は同法の修正も可能である

一、余はド・ゴールとの間に米佛兩國の關係ある諸問題を協議した、余はバーンズ國務長官に指令してビドー伊外相と具體的問題の折衝を行はせることとした

一、眞珠灣事件に對する責任の所在を明かにする問題に關しては余は陸海軍兩長官から同事件の調査方針に關して近く勸告を受けることとなつてゐる

一、最近の宋子文との會談に關してはこれがソ聯英國とも關係する問題なので、會談の內容を發表することは出來ない、一方近くロンドンで五國外相理事會が開かれるが、この會議では泰國印度支那問題が協議されることとたい

バーンズ等渡英

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=國務省は前國務長官ステチニアスが聯合國々際機構米國代表として近くロンドンで開催される中間委員會に出席のため二十日クキン・メリー號で米國を出發する旨發表した、國務省は同時に國務長官バーンズが九月一日からロンドンで開催される五ケ國外相會議に出席のため近く米國を出發する旨發表した

英、勃總選擧に反對

（リスボン二十四日發）ゲオルギエフを首班とするブルガリア内閣は米英兩國政府の反對を押し切り、愈々來る二十六日總選擧を强行する方針の如く、ソフイア放送局は二十四日夜投票手續の細目を發表、選擧當日には一切の政治的集會を禁止する旨を述べ「投票を阻害する者は嚴罰に處する」旨布告した、二十五日夜半までに聯合國管理委員會が正式に反對を表明しない限り、總選擧は豫定通り執行される段取と傳へられるが、ロンドンからのUP電報によれば、英國外務省當局は二十四日重ねてブルガリア政府に警告し

ブルガリア政府が種々の措置を講じてゐるので總選擧の結果は既に明かだ、同政府がかかる政策を强行する限り、米英兩國政府が同國との國交を回復することは愈々困難とならうと述べたと傳へられる

總選擧を前に米英兩國の各新聞通信社の特派員は、イスタンブール駐劄ブルガリア總領事館に對し入國査證を要請してゐるが、ロイター特派員エリザベス・パーカーは二十四日

米英兩國の新聞人は一人として、ソフイアに入ることを許されず、總選擧の實施を觀察報道することは出來さうもないと匙を投げ或は總選擧の直前入國を許可されるかも知れないがそれではポツダム宣言の精神に添はないとロイター特派員は附言してゐる

ソ聯紙勃羅政府を辯護

（ストツクホルム二十三日發）モスクワ來電＝米英兩國政府が來るべきブルガリアの總選擧に正式代表を送つて干渉した上、英國の如きは選擧法が非民主々義だから選擧の結果を否認することになるだらうなどと述べてゐるのに對し、ソヴエト政府機關「イズヴエスチヤ」紙は二十三日の紙上でブルガリアの選擧法はブルガリアとしては從來になく民主々義的なものだと論じ、聯合國内に非難の多いルーマニア政府についても「民主々義的であり國民を代表せる政府」だと辯護してゐる、「イズヴエスチヤ」紙は二十二日も米英ソ三國がギリシヤの總選擧に立會人を送ることを國内問題への「不當なる干渉」と稱し大國が被解放諸國の主權に干渉することを喜ばないソヴエト政府の立場を明かにしてゐる

急進社會黨首はエリオ

（リスボン二十四日發）パリ來電＝フランス急進社會黨大會は二十三日發聲投票により元首相エドウアール・エリオを黨首に選擧した、エリオは黨政治局長をも兼任の筈である

オランダ肉割當半減

（リスボン二十四日發）ハーグ來電＝オランダ農相マンスホルトは國内における肉類の割當を九月二日以降從來の半分に切下げる旨發表した

維納市民に食糧供給

（リスボン二十四日發）ウイーン來電＝オーストリア駐屯米軍司令部は米英佛ソ四國ウイーン占領軍當局が來る九月一日よりウイーン市民に對し食糧供給を開始するに決した旨發表した

オリンピックは一九四八年

（リスボン二十四日發）ロンドン來電＝國際オリンピック執行委員會を構成するスエーデン、米國及び英國三代表は前週來ロンドンにおいて協議中であつたが、次回のオリンピック大會は一九四八年に開催するに決定した、會場は各國よりの郵便による投票で決定する筈であるが執行委員會が協議終了後發表した聲明書は次の如く述べてゐる

大會開催地たることを希望し、委員會に招待狀を送つて來たのは、ローザンヌ、ロンドン、ロス・アンゼルス、ミネアポリス、ボルチモアの五都市で、他の數都市からも非公式の招待を受けてゐる、冬季競技の開催地としてはサン・モリツツから招待があつた

一方大會參加の招請狀は國内にオリンピック委員會を有するすべての國に對して行はれる、なほ明年九月ローザンヌに國際オリンピック委員會を開催、競技規程その他について詳細協議する筈

昭和二十年八月廿八日(火)
第三五二七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

香港問題で意見對立

(リスボン二十四日發)ロンドン來電=香港の今後における所屬問題を繞り、米英兩國間の意見の對立が早くも表面化してゐるが、ロイター通信外交記者シルヴェイン・マンジョットは右問題について次の通り述べてゐる

英國下院でベヴイン外相が行つた香港所屬に關する聲明と、ワシントンで國務長官バーンズが行つた言明とにより米英兩國間には香港問題に就き意見の相違があることが確實となつた、この問題は近く開催される五ケ國外相會議で愼重協議される筈だ、極東における戰爭が突然に終熄した結果としてこの方面の各戰域において聯合國が取るべき諸方策については未だ關係國間に何等の調整も行はれてゐない

香港維持を主張

(リスボン二十四日發)十九日の英國下院において外相ベヴインは香港を英國が保有する旨を表明したが、マンチエスター來電によれば「マンチエスター・ガーデイアン」紙は二十四日の社說で右問題を取りあげて次のやうに述べてゐる

ベヴイン外相の下院聲明に對して米國輿論は相當困惑してゐる樣子だ、米國は香港を將來の基地として保有したいと思つてゐるらしい、しかし英國にして國力と勢力の重要領土或ひは基地を放棄するが如きことがあれば、それは極めて愚かな行爲であるといはねばならぬ、今日まで我々が保有してゐたものはその儘保有しなければならぬ、我々は將來極東における我々の領土に歸らねばならぬ、我々が香港やシンガポールの如き基地を引き續いて保有することは、米國がサイパンや沖繩を要求し、ソ聯が旅順を要求することより自然である、しかし將來はこれ等の地は聯合國の基地となることが望ましい

百萬召集解除

(リスボン二十四日發)ロンドン來電=政府は二十三日下院において次の通り聲明した

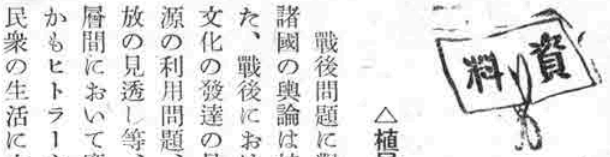
今年末までに召集解除となる兵員は百萬以上に達する、一方來るべき二ケ月間に軍需産業から解放される要員は約百十五萬に上る見込である

濠外相本國を痛罵

(リスボン二十四日發)シドニー來電=濠洲外相ハーバート・エヴアツトは二十四日聲明を發表、對日和平交涉における英國の濠洲に對する態度を攻擊して次の通り述べた

「英本國は今回の和平交涉において、濠洲に對し均等な立場を否定する態度に出てゐる、これは濠洲の利益ばかりでなく、英聯邦全部の問題として採り上げられなければならない、對日戰が終つた今日英本國は依然として濠洲を從屬的に扱ひ、休戰交涉においても濠洲と全然協議しないか或ひは協議する場合も單に形式的な措置しか取らないのは遺憾千萬である、例へば濠洲は日本との休戰交涉においてトーマス・ブレーミー將軍をして濠洲の直接代表たらしめんとしたのに英本國はこれに反對、ブレーミーを英本國代表に從ふ單なる附屬代表にせんとした、ブレーミーが濠洲の正式代表に決定したのは濠洲政府が英本國の主張を不滿とし、この問題を直接マツカーサー司令部に持ち込み、米國政府の斡旋があつた結果である

英本國はまたポツダム宣言を濠洲に何等相談することなく決定した、われわれはこの宣言を國際放送を通じて初めて承知したやうな次第だつた、しかるに英本國は重慶とは勿論のこと、ソ聯とさへ聯絡をとる勞を敢てしてゐる、さらに五ケ國外相會議に關しても濠洲は不當の待遇を受けてゐる卽ち支那は歐洲においては交戰國でなかつたにも拘らず、この外相會議に參加してゐるのに、日本に對しての主要交戰國の一國であつた濠洲はこれから除外されてゐる、かかる事態に對して濠洲が不滿の意を表明するのは當然であり、ニユージーランドも濠洲と同じ見解をとつてゐる、數ケ月前英本國政府は濠洲に對して歐洲並びに太平洋の問題に關し、濠洲に從屬的でなく主要な地位を與へる旨最も嚴肅な誓約を與へたが、この保障が與へられたすぐ後で例のポツダム宣言が發表された、かかる事態は直ちに全面的な再檢討が必要であり來るべき和平交涉においては、濠洲は今次大戰において敵を擊破する上に重大な役割を演じた當然の權利として主要な立場が與へられることを要求する」



現段階の植民地問題

イエー・ジューコフ

「戰爭と勞働階級」誌
五月十五日號

△植民地問題の再登場

戰後問題に對する關心の增大に伴ひ、民主々義諸國の輿論は植民地問題に多くの關心を割き始めた、戰後における植民地領有の運命、政治、經濟文化の發達の見透し、植民地諸國における自然資源の利用問題、植民地統治問題、最後に植民地解放の見透し等、之ら一切の問題は諸外國の各社會層間において廣汎な論議の對象となつてゐる、しかもヒトラー主義崩壞の切迫は一聯の國際法規を民衆の生活に大きな影響を與へる意味で重要な意義を帶びる具體的な現實の現象として、新たな角度から評價しようと試みる民主々義輿論の傾向を大いに助長してゐるのだ

戰後問題を檢討する際植民地問題が特別な關心をひくのは、次の二つの理由による、第一に一聯の大小諸國並びに民衆の植民地的狀態は常に國際紛糾と葛藤を孕んでゐるからだ、この意味で複雜な植民地問題を解決するか乃至は一部分にせよ調整することは、多くの外國評論家にとつて恒久の平和を保障する根本條件の一と目されてゐる、第二に今次大戰において多くの植民地國家では經濟並びに政治の領域において大きな變革が發生したそのため一般に戰爭終結後植民地の地位は著しい變化を蒙ると見做されてゐる

植民地及び從屬國民衆の壓倒的多數はヒトラー主義と戰ふ民主々義諸國との固い結束を表明してゐる、民主々義陣營に屈する本國に對する戰ひに於て植民地大衆の支持をかち得ようと努めた日獨兩國機關の策動を破摧した植民地諸國民衆は、侵略者達の僞りの甘言に耳をかさなかつた、彼等は自己の狀態の複雜なのにも拘らず、自由を愛する諸國のブロックの參加者と考へてゐる、彼等の考へではファシスト植民地開拓者の勝利ではなく、ファシズムの完全な瓦解こそ彼等の獨立を達成する時期を近付けることが出來るといふのだ、極めて狂暴な植民地抑壓をも含めてあらゆる抑壓を一身に具へた怪物的組織たるファシズムは、植民地及び從屬國民衆の間に深刻な憎惡を喚び起してゐる、從つてこれら民衆がファシスト侵略勢力に對する共同の鬪爭においてある程度の寄與を行つたし、また行ひ續けるであらうことは當然である

△植民地帝國の破産

多くの植民地帝國では戰爭の間に工業が擴充され勞働者前衞の幹部が增加し國民經濟の若干部門における生產高の增加がみられた、同時に客觀的な物の見方をする評論家の見解によれば、植民地制度は總體として今次大戰間に大きな缺陷を暴露したのである、侵略者と戰ふために植民地の尨大な人的物的資源を利用する課題は、植民地の現狀の本質そのものから發生した障壁につき當らざるを得なかつた、戰爭は多くの點で植民地と本國との間の連繫の眞の性格を露呈せしめたのである

以上の情勢は一部外國新聞における現代植民地制度批判の發足點としての役割を果してゐる、たとへば米誌「フオーチユン」は一九四四年十月號で戰爭の經驗を總決算して次の通り述べてゐる

今次戰爭における植民地帝國の破産が實證するやうに、植民地帝國は植民地を保護し得る狀態になく、植民地民衆も亦侵略から自らを保護し得ない

植民地帝國は「破産」したと稱する米誌の斷乎たる主張は多少大袈裟だと思はれるが、民衆の植民地的地位は決して外敵に對する安全保障を强化しないといふ論旨は、議論の餘地のない明白な事實だ

從つて植民地並びに從屬國の地位に根本的變革が齎されるのは必然であり不可避だといふ觀念が聯合國のかなり保守的な政治層の意識にさへ滲透してゐることは別して不思議ではない

戰後の見透しを論議する際、一九四一年八月十四日に成立した大西洋憲章の精神に基いて植民地問題を再檢討しなければならぬと主張する聲が屢〻聞かれる、併しながら大西洋憲章そのものは植民地問題について何等かの明確な規定を含んでゐない、憲章のなかに含まれてゐる一般原則は普遍

的な性質のものだ、それはある程度植民地並びに從屬國に適用出來るが、諸原則の一般的性格は多種多樣の解釋が可能だ、事實大西洋憲章の諸原則は各國の代表によつてそれぞれ別樣に理解されてゐるのだ

△印度への關心

たとへば米英オランダ三國政界は同じ大西洋憲章の諸原則に立脚して、植民地問題をそれぞれ別樣に設定してゐる事實を明かにし得る、米國はなによりもまづ米國資本を拘束なく投下し、米國商品の自由な市場となり得るやう植民地の地位を變更することを希望してゐる

米國外交協會の會報「フオーリン・ポリシー・レポート」は植民地問題に對する米國の態度を次の通り規定してゐる

米國は植民地アジアを含めて諸外國における通商と投資の獨占體制を打破することに深甚な關心を寄せてゐる

最近米國政界並びに實業界が植民地諸國の運命特に戰後の印度の將來に對して增大する關心を示してゐる理由は、將に以上に述べた點にある、また印度の一部は逆に植民地における英國の經濟獨占を覆へさうとする米國資本の傾向を利用して利益を得ることに希望を置いてゐる、最近印度問題の解決に參加しようとする米國の意向は特に强まつてゐるが、これは對日戰に印度の資源を出來るだけ利用しようといふ態度を反映したものだ、英國の政治家が聯合國の共同の戰爭努力のために印度の富源を利用することを妨害してゐる事實につき一聯の米國政界の代表が非難してゐるのは周知の事實だが米國の商工業代表もまた戰後に米國と印度との間の通商を增大する方策を頻りに指摘してゐる、このことは英國の反感をかひ、ニユー・デリーで發行されてゐる「アムリータ・バザール・パトリーカ」紙の報道によれば、米國派遣印度通商使節團長マヘンドラは召喚されたといふことだが、ワシントン情報によれば召喚した理由は印度總督がマヘンドラの戰後米印通商擴大計畫を忌避したためといはれてゐる

英國では印度が戰爭中、卽ち一九三九年以來本國に對する負債の大部分を償却したばかりでなく英國政府が尨大な戰費を費消した結果、英國に對して五億磅の債權國となつてゐる事實が指摘されてゐるが、併しながら以上の事實は英國の完全な政治經濟上の支配下にある植民地國としての印度の地歩を變化せしめるものではない

曩に引用した「フオーリン・ポリシー・レポート」はこの點につき次の通り述べてゐる

戰前と同樣戰後においても印度が全世界の植民地のうちでも最も收入の多い國である事實には何等の變りもないと斷言出來る

△英國の反擊

英國の植民地制度に對する米國の批評は屢々英國の反擊に遭遇してゐる、たとへば昨年初めの米國誌「ニユー・リパブリツク」に英國の自由主義評論家U・ハクスレーの論說が揭載されたが、彼は英國の植民地制度が最惡の例をなすものでないと强調し、英國の植民地ばかりでなく、フランス、オランダ、ベルギー、ポルトガル、イタリア、スペインその他の植民地が存在してゐる事實を指摘してゐる、更にハクスレーは、「英帝國主義の批評」が常に「經濟的社會的發展」は政治的獨立以上に大きな意義を有する場合があるといふ事實を失念してゐると主張してゐる、彼は實例として黑人共和國リベリアを擧げて次の通り述べてゐる

この國は「自由」だが、この自由とは要するに黑人の一般大衆が能なしの墮落した一握りの解放された奴隷によつて支配され、支配者の背後に白人の大企業が控えてゐるといふことだ

他方米國の輿論も太平洋において日本に對する戰爭を遂行する米國が植民地諸帝國によつて、一時日本軍によつて占領されてゐる植民地領土をもとの持主に回復してやるために呼び寄せられた勢力と見做されてゐる事實に屢々不滿を表明してをり米國の評論家ハリスは「ニユー・リパブリツク」誌に揭載された「英國とその植民地」と題する論說において次の通り論じてゐる

日本人が帝國主義の最惡の形に代り得るものであることを實證した事實は原住民をして白人支

配者の許に復歸せしめずに、寧ろ獨立運動へとかりたててゐる

△多樣な植民地改革案

以上の事態から脫する方法として、敵國に占領された植民地國家が猶餘なく獨立を宣言するか乃至は最終の解放を達成する準備として、專門家達の妥當な機關をして植民地を國際管理間に置く案が提唱されたが、この見解は英國、オランダ、フランスその他の植民地帝國の支持を得るに至らなかつた、それにも拘らず戰後植民地において重大な改革を行ふ必要、特に總體として、植民地問題を根本的に再檢討する必要は、英國をも含めて民主々義諸國の輿論の等しく認めるところとなつてゐる

植民地に對する單一の國際統治機構を設置する案に對抗して、英國では本國と植民地との間の關係をある程度調整する地域的國際監察機構の設置案が提唱された、この機構は關係植民地帝國、原住民及び獨立國家中よりの第三國によつて構成され植民地における地方自治を强化させるため經濟社會政策の一般方針を討究し、更にあらゆる種類の調査その他を行ふといふことになつてゐる

植民地管理を目的とする國際地域委員會制度は英國の自由主義層によつて特に熱心に支持されてゐるが、彼等はこの見解を目して植民地問題を繞る米英兩國間の疎隔を克服する手段としてゐるやうだ、以上の見解の積極的實例としては所謂カリブ委員會の活動が擧げられよう、この委員會はカリブ海水域にある領土における米英兩國の利害關係を調整する目的で設置されたものだ

英國の自由主義新聞「マンチエスター・ガーデイアン」紙は地域委員會案の性格を次の通り規定してゐる

これら委員會は所與の地區に植民地領土を有する國ばかりでなく、同地區に大きな戰略的經濟的利害關係を有する國もまた含まれよう

同紙によれば地域委員會の任務は英帝國を米國から隔ててゐる「心理的障壁を除去」するにあるといふことだ

△米英の意見對立

米國の一部は地域委員會設置案を支持してゐるが、但し地域委員會の活動方針と機能を別樣に理解してゐる傾きがある、米國の見解では地域委員會に米國その他の國家が參加することは、英國、フランス、オランダ、ベルギー等の植民地帝國に含まれる民衆の運命につき道義的責任を分擔することを意味するばかりでなく、植民地統治への事實上の參加を意味するものでなければならぬといふのだ、しかるに英國の植民地問題に關する權威ヘイリー卿の著書「植民地民衆の將來」でも明かなやうに、英國側の考へる地域委員會は政治的權能を持つものでなく、その役割は相互諮問と專門家の意見利用といふ方途を通じて一般政策を「調整」するになければならぬといふのである

ヘイリー卿は植民地領土の直接統治を目的とする一切の國際機關創設案に眞向から反對し、英國植民地發展の理想的方途は國際管理の樹立でもなければ植民地に對する獨立の許容でもなく、漸次自治領に改造して行くことの一途あるのみと主張してゐるのだ

英國友愛協會によつて採釋される方針は、英植民地にとつて理想となるものでなければならず、英國民の一家族の仲間入が出來るやうな發達段階に達することが出來るやう刺激するやうな性質のものでなければならない

英植民相スタンレーは本年一月初め米國外交協會において行つた演說で、以上の觀念を發展させた、スタンレーは地域委員會設置案を支持して「英國は植民地統治の責任を單獨で負ふことが出來るのだから、他國と責任を分擔するやうなことは絕對に出來ない」と主張した、彼は英國の植民地政策を規定して、植民地の一層完全な自治を實現するにあると述べた、但しこれが英帝國內でのみであることは言ふ迄もない

英植民相の演說は米國內で多大の反響を捲き起した、典型的なものは「ワシントン・ポスト」紙の論說記者リンドレーの見解だ、彼は太平洋地帶における植民地問題に米國が特別の關心を寄せてゐる所以を次の通り論じてゐる

多くの植民地が舊來の所有國に返還されるやうな場合が起らうとも、米國が以上の領土の統治問題解決に際し米國の發言を容れるやう要求するであらうことは自明だ

△植民地政策の「雪辱」

最近ホツト・スプリングスで開催された太平洋關係調査會の例會で、特に太平洋地帶の地域委員會設置計畫が起草されたが、同計畫の起草者はこの問題に關する米英兩者の見解をある程度宥和させようと努めたやうだ、同計畫は植民地帝國から植民地統治に關する具體的措置を實施する責任を剝奪せずに、しかも地域委員會に廣般な權限を附與しようといふので、部分的には地域理事會に、「所與の地域にある植民地帝國に對してその支配下にある地域に自治制度を發達させるための一般的政治基礎を與へる」と同時に「所與の地域の任意の植民地國に對して植民地民衆の福祉向上を目的とする經濟、社會政策を實施する一般的基礎を與へる」權限を附與することを主眼としてゐる

米國の極東問題專門家オーエン・ラチモアは最近發表した「アジア問題の解決」と題する著書において、米國に對して他國の植民地政策から完全に絶緣して、米國の極東軍を戰前の植民地制度の復興のために利用させてはならぬと執拗に主張してゐる、彼はまた民衆の同權といふ原則を無視する植民地政策を固持する「資本主義的民主々義」國（と彼は米英兩國を指して言つてゐる）の勢力をアジアに維持しようと試ることが無駄な所以を指摘してゐる

かうした批評の聲を考慮してのことであらうか英國はその植民地政策を「雪辱」するために一布石が置かれた、この點で極めて意味愼重なのは、本年二月政府の「植民地發達及び安寧に關する」法案を繞つて行はれた英國下院の討論である、英國植民相スタンレーは以上の法案が「植民地民衆の購買力を增大せしめ新市場を開拓するためにその生活水準を向上せしめる」ことを主眼としたもので、その結果「英國も自然利益を享受することにならう」と稱してゐる

スタンレーは追加豫算の支出項目を列擧した後植民地軍隊の復員兵士の定着と職業確保を將來保障してやる必要を說き、原住民の技術向上の任務と並行して、植民地に飛行場を建設し、航空連絡を發展させる必要を力說した

△植民地解放を阻む力

無所屬の議員ブラウンは下院において、以上の法案は英國を植民地問題の解決に近付かせ得るものとは考へられないと言明した、彼はこの問題に對する一般的態度を再檢討する必要を强調し、英國が植民地民衆のために植民地民衆以上によく行動出來るといふ理由で、「地球の四分の一を英帝國の禁獵區として維持して行つてよいか」どうか疑問を表明してゐる

他方保守黨議員ウインタートンは法案を大いに評價して「英帝國をして多年の間沈滯と立遲れの狀態にあるを餘儀なくさせた英國政策の聲望に對する辱ずべき汚點をそそぐ達眼の政策である」と讃辭を呈してゐる

討議を終へるに當つて植民相は法案は植民地問題の解決を意圖したものでたく、解決への小さな一步前進に過ぎぬ所以を强調した

英國は植民地を「改革」する必要を原則的には認めてゐるが、結果は屢々植民地問題に關する明確に遲れた見解の再檢討とはあまりにもかけ離れた計畫や案の出現といふ事態を齎してゐる、たとへば一九四四年八月の英誌「ネーションリー・レヴイユー」に各種の植民地發展計畫を叙述したR・ストークスの論說が揭載されてゐるが、そのうち所謂「建設的な植民地發展計畫」と稱するものは極めて反動的な見解の典型的な實例として玆に紹介する價値がある、この「建設的な計畫」は英領アフリカの住民に近代的な教養を與へることに反對してゐるが、理由は「ある種の宗教的な基礎なしに近代的な教養を與へることは利益よりも寧ろ害惡を齎す」といふのだ

カトリツク教會の指導層もまた植民地民衆に對する以上の態度を奬勵してゐる、たとへばカトリツク教の「國際平和協會」の代表カロルは一九三八年秋に法王が指摘した眞の植民地政策の最初の

任務は遲れた種類を教化することである」といふ言葉を根據にして植民地問題を取り扱つてゐる

かくの如く未開の從屬國民衆に對する種族的な傲慢で植民地帝國的な態度は依然として支配的であり、植民地問題に關する多くの主張や提案もまたかかる精神によつて貫かれ、一聯の國の植民地的地位をかかる方式で「再檢討」するやう世界の輿論を誘導しようとする試みが一再ならず行はれてゐるが、この場合植民地の地位の變更は唯に形式的なものであり、政治經濟關係の本質には全然觸れてゐない、このことは植民地における自國の地歩を維持し、現在植民地制度を不動の固きにおくことを望む強烈な諸力の勢力の程度を實證するものといへる

併しながら、かかる諸力が植民地抑壓の一掃か乃至は緩和を目指す積極的な動きによつて頑強な抵抗を受けてゐることは疑問の餘地がない、同時に數億の民衆に對する植民地的奴隷化體制は社會進歩の極めて危險な障害であり、全世界の反動的傾向の支柱となるは明白である、この障害を除去することは廣大な植民地諸國並びに民衆の經濟的政治的文化的發展を保障する必須の條件である

パレスナチを國際化せよ

米國外交政策協會

外交問題に關する米國の私設研究啓發機關である「外交政策協會」は十五日パレスチナの問題に關するグラント・S・マクルランの報告を發表したが、同報告はパレスチナの國際化を提唱して次のやうに述べてゐる

「中東における列國の相抵觸する利害關係の廣汎な解決策の一環をなすものとしてパレスチナは國際化しなければならない、今次大戰の結果米國もまた中東問題に直接的な利害を有するに至つたのだが、中東における列強の利害關係について如何なる決定が行はれるにしる、パレスチナを如何に處理すべきかを考慮に容れざるを得ず、この故にパレスチナ問題はいはば世界的規模の問題であつて米國もまたより廣い政策上の視野に立つてこの問題を考慮しなければならない

パレスチナを繞る紛爭の廣汎な解決のためには全中東地域の大巾な經濟的發展と歩調を合せてパレスチナの事實上の國際化を必要とするのだが、この廣汎圖に亘る仕事が終らないうちに、パレスチナ地方にはユダヤ人とアラビア人の政治的野心によつて戰前に見られたよりも遙かに激烈な暴動が勃發する可能性がある、聯合諸國はやがて中東問題が彼等の協力の次の試金石となることを覺るであらう

ソ聯は米國と同樣中東に對して次第に關心を深めてゐるが、この事實はアラブ諸國にとつてオツトマン帝國からの分離以來最も意味深い新發展の一つをなす、ソ聯は過去においてユダヤ人の故國としてのパレスチナに對しさしたる關心を示さなかつたが、今やその外郭防衛圈の安全を欲してその政策を變更するかも知れない

もし米國がパレスチナ問題自體に積極的役割を演じようと決意するならば、その政策を構想するに當つて第一に考慮すべきことは米國の安全であつて、米國がパレスチナ問題に深入りすればする程、これが米國の全中東政策中の一部を占めるに過ぎないことが明かとならう、米國がその進路を決するに當つて先づ手始めに比較考慮すべき決定的重要要素として中東地域の有する戰略的意義とその擁する資源並びに國際關係とがあるが米國はここで他の列強特に英國との關係をしつかりしたものにしておかねばならない

米英兩國は近い將來、この地域の全域に亘り、石油利權、海空軍基地、通商問題等に關して積極的且つ共通の理解に達しなければならないが、戰爭の體驗が示すやうにこのことは決して容易ではない、既に米國の貿易業者は、久しきに亘つて英國が商權を握り且つ磅貨の勢力範圍であつた地域にあつて種々の困難に遭遇してをり、米英兩國民が貿易上の機會を摑まふと狙つてゐる地域では何處でもこの兩國の協力を殆くするやうな危險がつきまとふてゐることを示してゐる

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可）　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　八　月廿九日(水)
第　三　五　二　八　號

同盟通信　海外電報　(200)

新世界大戰の結末は急速度に東亞の事態を一變しつつある、中ソ友好同盟條約は國際史的にはポツダム宣言の續篇であり、アジア史的には支那大陸における日ソの地位交替を意味する、以下新條約の主要內容を檢討しよう

（一）外蒙古の獨立　ソ聯が一九二四年五月三十一日の中ソ懸案解決協定第五條で、外蒙古は中國の構成部分であることを承認し、且つ外蒙古における中國の主權を尊重する旨約してより國民政府は問題ある毎に同條を援用して、外蒙古に對する中國の主權を主張して來た、日本もまた一九四一年四月三十日の日ソ中立條約附屬聲明書で蒙古人民共和國の領土保全及び不可侵を尊重する旨約したほどで、外蒙古の獨立は旣成事實ではあるが、中國がこれを承認したのには何等かの代償がなくてはならぬ

（二）中國の內政不干涉　ソ聯の誇示する對外國策から考へて內政不干涉は自明の理であるが、東に外蒙古あり、西にポーランドあり、嘗てのフインランドに對する高壓政策とまでは行かなくても、干涉によらぬ干涉といふこともあらう中國は外蒙古を手放した、代償として、新疆省や延安勢力圈へソヴエト路線が開設せられる可能性を封じた、內蒙古が直接外蒙古に聯結せられる心配もなくなつたらう

（三）滿洲の新事態　滿洲國は解消して、中國の主權、中國の領土的行政的完整が回復される、然し同時に舊帝政ロシア時代にもまして、ソ聯は滿洲に進出する、同鐵道に對する中ソ共管、旅順港及び大連港に對する優越地位の確保等

（四）日本を目標の同盟　中ソ同盟の對象は日本である、ソ聯は一九三六年三月十二日、外蒙人民共和國との相互援助議定書で、對日軍事同盟を結んだが、滿洲國の解消でその意義はなくなり、これに代り新に强大な同盟關係を結成した帝政時代の同盟政策（Bündnispolik）再現を思はせる

目次

日本進駐順序……二三九六
中ソ新條約の意義……〃
米、中ソ條約を歡迎……〃
米大使延安訪問……〃

【中國】
中ソ新條約內容發表……二三九七
毛澤東重慶へ……〃
蔣、佛印の獨立を支持……〃
聯合國憲章批准書に署名……〃
外地接收委員を任命……〃

【米國】
米佛協力の共同聲明……二三九八
食糧の增產を要請……〃
五年間に人口八百萬增加……〃
經濟正義を强調……二三九九
外交政策の混迷……〃
亞藏相更迭……二四〇〇

【終戰處理】
英艦隊昭南へ……〃
捕虜はマニラへ……〃
保證占領軍と米紙の論調……〃
前ウエーク島司令救出……二四〇一
占領軍上陸後の處理……〃

【貸與問題】
廢止後の措置に期待……〃

【歐洲】
勃選擧遂に延期……二四〇二
希、ユーゴ國交回復……〃
佛印軍管理聲明に衝動……〃

【特輯】
ペタン公判（八）……二四〇三

上陸米軍は五十萬

（リスボン二十七日發至急報）沖繩米軍基地發のロイター電報によれば、日本占領に參加する米軍兵力は少くとも五十萬に達すべく、上陸完了までには五ケ月程度を要するであらうといはれる

社告　今回米國戰時情報局から同局の電信同報によるニューズ使用頒布權を、同盟に賦與する旨通告して參りましたから、今後同局からのニュースは直接發信地を明示致します

日本進駐順序

（リスボン二十七日發）サンフランシスコ來電＝AP通信は二十七日から九月三日に至る期間の聯合軍日本々土進駐の順序を次のやうに傳へてゐる

二十七日　米國第三艦隊先遣隊相模灣入港
二十八日　米國第三艦隊先遣隊東京灣入港、先遣海軍部隊厚木飛行場着
三十日　海兵隊及び海軍部隊一萬名横須賀軍港の占領開始、聯合軍總司令官占領空輸部隊第一波と共に厚木飛行場到着
九月一日　米國第八軍司令官中將ロバート・アイチエルバーガー東京、横濱兩地區占領軍の揚陸開始
九月二日　東京灣上の米國戰艦ミズリーで正式降伏條件調印式行はる
九月三日　先遣空輸部隊鹿屋飛行場着

中ソ新條約の意義

（リスボン二十六日發）重慶電の報ずる中ソ友好同盟條約の內容により、今後の中ソ關係並びに同盟の對象が明確となつたが、諸情報を統合して同條約の意義を闡明すれば次の通りである

ソ聯は少くとも條約上重慶政府一本建の態度を明かにし、渝延紛爭に介入したことを示唆してゐる、「シカゴ・サン」紙もこの點を强調し、中國の事態が安定することは結局ソ聯の利益であり、從つてソ聯は新條約により對華內政不干涉の態度を明かにすると共に渝延兩政權に對しては米英兩國と力を合はせて進歩的協力政府の樹立されるやう工作するであらうと述べてゐる

中共最高責任者が最近重慶政府に對する態度を緩和し、中央政治局主席毛澤東、同副主席周恩來が蔣軍事委員長の招請に應じて重慶訪問を決したのも以上と一脈相通ずるとみられる

一、ソ聯は中國の內政不干涉により新疆、延安に關與せぬこととしたが、その代償として外蒙古の獨立を承認させることに成功し、又滿洲において全鐵道幹線に對する共同管理權を獲得し、又旅順、大連の兩港に於て第三國に比し優越地位を確保した、特に滿洲における右特殊地位の確保はソ聯の東西兩洋聯絡路獲得の夢を實現したもので、「シカゴ・サン」紙も新條約におけるソ聯の基本目標の一つが玆に在つたことを指摘してゐる

一、中ソ同盟の對象が日本であることが明かにされた、ソ聯は既に外蒙古との所謂紳士協定により相互援助關係を締結してゐるが、滿洲國の解消に鑑みて最早その意義は薄く、新條約は事實上これに代つて更にソ聯の同盟圈を强化したものである、旅順港に對する中ソ兩軍の排他的利用體制も右同盟と一連の關係があるといへよう

對日同盟の期限並びに在滿鐵道共管期限が何れも三十年である點も留意さるべきである

米、中ソ條約を歡迎

（リスボン二十七日發）ワシントン來電＝バーンズ國務長官は二十七日記者團との會見において中ソ條約に關し次の通り言明した

中國々民政府とソヴエト政府との間に成立した新條約と附屬諸協定は中ソ關係の重要な一歩前進をなすものだ、米國政府はモスクワにおける交渉中逐一通告を受けてゐた、米國は新條約の成立を和戰兩面における聯合國の特質的行爲たる結束と相互援助の典型的實例として歡迎する

米大使延安設問

（リスボン二十七日發）重慶來電＝重慶駐劄米國大使パトリック・ハーレー少將は二十七日延安に向つて重慶を出發した、大使は中國共產黨政治局主席毛澤東その他を伴ひ二十八日重慶に歸還する豫定である、中ソ友好條約の成立を契機として渝延關係は急速に解決への動きを示すに至つたが、米國政府が中國政府の民主々義化を目標に渝延兩者の合作のため終始工作を進めてきたことは以上の報道によつても明瞭だ、卽ちハーレー少將はルーズヴエルト大統領の特使として一年前重慶を訪問、爾來國民政府と共產黨の合作による聯立政府の樹立と中國軍の統合に向つて積極的に工作を進め、昨年には延安を訪問して毛澤東主席その他の共產黨領袖と情勢を檢討したが、蔣介石政府との意見對立は遂に解消をみるに至らなかつた、その後ハーレー大使は二度モスクワを訪問、スターリン、宋子文會談の基礎工事を進めたもので、今回の中ソ友好關係の確立についても大きな寄與を行つたことは否定出來ない

昭和二十年八月廿九日(水)
第三五二八號
日盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【中　國】

中ソ新條約内容發表

(リスボン二十六日發)重慶來電＝國民政府は去る十四日、モスクワにおいて調印された中ソ友好同盟條約の内容を二十六日夜發表した、骨子次の通りである＝

一、ソ聯は國民政府に對し軍事的供與並びに精神的支援を與へる

一、今後三十年間、日本より攻撃を受けた場合中ソ兩國は相互的に援助する

一、ソ聯は中國の内部的事態に干渉せず、滿洲における中國の全的主權、その領土的並びに行政的完整を尊重する、新疆省の内部問題にも干渉せぬ

一、ソ聯は三週間以内に滿洲より撤兵を開始し、三ケ月以内にこれを完了する、中國はソ聯軍司令部に聯絡員並びに軍事使節を派遣する

一、東支鐵道及び滿鐵の幹線は一鐵道とみなし、中ソ兩國の共同管理下におく、右目的の爲長春(新京)に本部をおく鐵路管理局を設置する管理局は中國の主權下に立ち且つ管理局督辯は中國人とする、中國は鐵道の保護につき責に任ずる、三十年後同鐵道は無償で中國に還附される

一、大連は自由港とし通商のため解放する、港灣管理局長はソ聯人とし、副管理局長は中國人とする、港灣施設の一部はソ聯に無償貸與する

一、旅順港の使用は中ソ兩國の軍用及び商業用艦船に限定する、中國は同港の民政に當り、ソ聯はその防備につき責に任じ、陸海空軍を維持する權利を有する

一、中國は外蒙古が人民投票により獨立を要望した場合はその獨立を承認する、その場合ソ聯もまた外蒙古の獨立を尊重する

毛澤東重慶へ

(リスボン二十六日發)重慶來電＝中國共産黨の指導者毛澤東は中華民國主席蔣介石の招請に應じ重慶で會談することを承諾した、一九二七年以來兩者の會見はこれが最初だ、毛澤東が御輿を上げるまで蔣介石は二週間足らずの間に三回に亘り招請を發してゐる、重慶到着の日は發表されてゐないが、餘り遠いことではないとみられる、毛澤東はこれに關し次の通り語つたといはれる

自分は平和問題並びに中國復興の問題について論ずるため、重慶に行きたいと思つてゐる、共産軍司令官周恩來も出かける筈だ

蔣、佛印の獨立を支持

(リスボン二十五日發)重慶來電＝蔣介石は二十五日ビルマ、泰、佛印の獨立を達成するため友好的援助を與へるべきであると聲明した、佛印が北半を中國軍、南半を東南アジア軍によつて占領されることとなつたことはフランス假政府に多大の反響を捲き起してゐるが、更に蔣介石が佛印の獨立を支持する旨聲明したことは微妙な空氣を醸成してゐる

勞働大會の支那代表

(リスボン二十六日發)重慶來電によれば來る九月二十五日パリで開催豫定の世界勞働組合大會に出席する支那側代表は支那勞働組合議長朱學範その他合計四名で九月五日頃、印度經由パリに向つて出發する豫定といはれる

聯合國憲章批准書に署名

(リスボン二十四日發)重慶來電＝國民政府主席蔣介石は二十四日聯合國憲章批准書に署名した

在支米軍に交驩禁止令

(リスボン二十五日發)重慶からのUP電報によれば在支米軍司令官ウェデマイアーは支那にある米軍に對し「敵」と交驩を禁止する旨の命令を發したといはれる

外地接收委員を任命

(リスボン二十五日發)重慶放送によれば、中國陸空軍總司令何應欽は二十三日華南各地臺灣等接收委員を次の通り任命した

香港、廣東、九龍半島、海南島＝張發奎
臺灣＝陳　儀

又軍事委員長蔣介石は軍事委員會政治局主任張治中を滿洲接收委員に任命した

米佛協力の共同聲明

（リスボン二十五日發）ワシントン來電＝米國大統領トルーマン及びフランス政府主席ド・ゴールは兩者の會談に關し二十五日共同聲明を發表、兩國の戰後世界再建に關する目的には基本的調和があることを強調し、且つ兩國が現在より一層緊密なる協力關係をつくりあげる用意ある旨を明かにした

食糧の增産を要請

（リスボン二十四日發）ワシントン來電＝農務長官アンダーソンは二十三日夜全國民に對しラジオ演説を行ひ、今後なほ主要食糧に對して割當を續行する旨言明すると同時に、食糧不足に惱む諸外國に對しては依然援助を繼續する旨闡明、更に農民に對し一段の努力を要請した、演説要旨次の通り

「武器貸與法は今回廢止と決定したが、將來のため平和の基礎が確立されねばならぬ世界諸地域の絶望を克服するため最も必要とされる食糧を輸出する何等かの方途が講ぜられることとならう、農民が現在生産しつつある食糧はたとへ一粒の穀物といへども大切であり、この食糧は國內のみならず諸外國においても非常に必要とされてゐるのだ一般市民の食糧は軍需向の削減により從前よりは豐富とならうが、米國は今後長期間に亘り依然大陸軍を養はねばならず、且つ海軍の食糧需要高も今年中は現在と殆ど變りないといふことを忘れてはならない、米軍が世界第一位の給與を受けてゐたことは誇りとすべきだが、彼等が最後の勝利を得た現在、この水準を引下げるやうなことはすべきでない、現在世界各地には飢に惱む多數民衆が米國の援助を渴望してをり、たとへ軍需用が減少するとも一部はこれら難民に振り向けられねばならず全部を民需用に廻すやうなことは出來ない、戰爭中米國は勝利に不可缺な食糧の補給不足などによつて前線將兵の作戰遂行を危殆に瀕せしむるが如きを潔しとしなかつたが、平和が到來し平時の諸問題が最も重大となつた現在、戰爭の背後に殘された飢餓には終止符を打つべきであり、食糧補給を怠るやうなことは斷じてなし得ぬところだ

勿論これら救濟用の食糧が悉く米國から出る譯ではない、しかし米國及びカナダは現在これを供出し得る立場にある世界の二大地域なのだ

食肉割當制を撤廢する時期を豫言するのは時期尙早だ、これは今秋の市場における家畜出廻り高明年度の民需用及び救濟用に必要な貯藏量等を睨み合はせてからでなければ駄目だ、砂糖の割當制はもう一ケ年は必要だらう

農民は戰時の生産量を持續することが望ましい卽ち今年度の計畫を達成すべきは勿論だが、歐洲において來年の收穫期までは生産狀態の改善が期待出來ない現狀に徵し米國農民は來年は一段の增産を要求されることとならう

とまれ食糧は現在未來を通じ、よき世界を建設するための最大の力の一たるを失はず、今後數ケ月間食糧情勢が幾分緩和されようとも、これが生産、貯藏の努力を怠るべきでなく、人類にかくも大きな慘害と犧牲を要求して漸く贏ち得たる平和を更に强固ならしむるためにこの食糧の活用においても最善の努力を忘れてはなるまい」

五年間に人口八百萬增加

（リスボン二十四日發）ワシントン來電＝國勢調査局は二十三日次の通り發表した

過去五ケ年間に米國の人口は八百萬以上增加し現在總人口は一億三千九百六十八萬二千となつた、戰爭期間中の人口の動きをみるに本年七月一日を最終日とする過去三ケ年半における死亡は戰死者を除き五百十三萬七千だつたが、出生はこれの二倍、卽ち一千五十六萬九千といふ數字を示した、他方生産部門における弗の量は一九三九年以降五ケ年間に約三倍の急增を示し、一九四四年には一千五百億弗以上に達した、また小賣取引高は一九三九年の四百三十億弗から約七百億弗と增加し、卸賣取引高は一九三九年の殆ど二倍約一千億弗に達した

昭和二十年八月廿九日(水)
第三五二八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

經濟正義を強調

(リスボン二十六日發)ワシントン來電＝米棉輸出業者協會前會長ベン・ウイリアムスは二十五日聲明を發し、敗戰國を含む世界各國すべてに對して經濟的正義を實現するやう要求、つぎの通り述べた

「關稅、カルテルその他類似の貿易障壁を撤廢し各國いづれに對しても差別を加へず、各國が賣りかつ買はなければならない物資を公正な條件で交易出來るやうな公平な機會を與へることは戰爭の原因を芟除するものである、人類の文化を害した個人すべてに對し適當な刑罰を加へるといふ政治的正義なるものと經濟的正義の間に多くの混亂した取扱ひがみられるのは遺憾である、誤れる政治指導の犧牲となつた數千萬の人々に憲政的政權の確立、生命、自由及び幸福希求の保證に關する眞の機會が與へられるのでなければ將來の紛爭の種は疑ひもなく絶えることはないのだ、米國今日の經濟力は理性的に用ひさへすれば、暴君を育むやうな經濟の發展を阻止するに十分である、大西洋憲章は世界經濟の混亂をもつて世界政治の破局の根本的原因なりとしてゐた、もしこれに關する大西洋憲章の約束が現實に實現されるならばすべての國の人民はこの原子世紀において惡夢に惱まされることなく夜を過すことが出來るやうになるであらう」

外交政策の混迷

＝戰爭成果失はれんとす＝

(リスボン二十六日發)四日附「シカゴ・デーリー・ニューズ」紙は「米國勝利の成果失はれんとす」と題するヂョーヂ・ウエラーの論說を揭載してゐる、要旨次の通り

「マニラに在つて觀察するに米國の政策は、戰後の保障に關聯してフイリツピン防衛線か支那大陸防衛線か、二つの保障線のいづれにつくかを決定し得ず、二線の間を動搖してゐるやうに思ふ、この二線は戰後の保障のため米國が確保すべき據點の最前線を意味しそれぞれ支持者がある、勿論このほかにもハワイ群島線を支持する向もあるが眞珠灣の慘害以來もはや時代後れである

米國の政策が今に至つてなほ決定をみない理由は米國外交政策當局者の不決斷にあるやうだ、彼らは四年間の戰爭を通じてビルマ、支那大陸及び二個の太平洋戰線をいづれも合一するに至つたに拘はらず、これを戰後も繼承すべきであるか、それとも放棄して戰前の島嶼中心の太平洋防衛計畫へ戻るべきであるかを容易に決定できない樣子である

マツカーサーは英軍及び濠洲軍に對し、西南太平洋卽ちフイリツピン南方海域の完全な席捲を認め支那軍は國民軍も共產軍もともに支那大陸沿岸へ向つて進行し、カイロ宣言によつて滿洲全體が支那に與へられることになつてゐるものの、ソ聯軍はいち早く滿洲の三重要都市を占領するに至つた、かかる聯合諸國の動向をよそに、米國のみが日本占領といふ目標に向つてゐる有樣だ、しかもその日本は米國の海空軍が本州を孤立化して以來戰略上の重要性を喪つてしまつた地域なのである從つて日本のみを指向した米國の行動は、いかなる國がまたいかなる國々が黃海及び勃海を支配すべきかといふ問題の焦點を自發的に回避する政策とでもいふほかはあるまい、だが黃海といひ、勃海といひ、その支配は恰かも歐洲における地中海の如く東亞の勢力關係を規定するものである

もし米國が支那大陸線を確保するに決すれば、この地域に據點を設け將來の國際駈引乃至國際協調に積極的な立場を得るであらう、もしまた米國がフイリピン線にとどまることになれば、現在とり戻すことは出來てもすでに失ひかけてゐる勢力を、本當に失つてしまふか、若しくは自發的に放棄することとならう、支那大陸防衛線卽ちアジア防衛線を米國が受け容れることは、米國がアジアへ至る恒久的な飛び石を設けることとなり、その先端において諸國との勢力關係を積極的に決定し得る立場を得ることになる、これに反しフイリピン防衛線の場合は米國の政治的影響力は事實上アジア大陸から閉め出され中部太平洋の支配のみに決定される結果となる、フイリピン防衛線の確保を主張するものは、日本及び朝鮮に力を集中すればアジアの政治勢力は十分に維持し得ると述べてゐる、彼らは政治、經濟、軍事の三角度から米國の權益を確保することなどは全く考へず、ソ聯と支那に滿洲と內蒙を委ね、英佛兩國に東南アジアを經營させやうとしてゐるわけだ

亞藏相更迭

（リスボン二十五日發）ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン藏相セフエリノ・アロンソ・イリゴエンは最近辭職した、原因は同國の立憲政治への復歸が迅速に行はれないこと及び軍事豫算問題で軍の一部と同人が衝突したためといはれる

（リスボン二十五日發）ブエノスアイレス來電＝元アルゼンチン下院議員アマンド・アンテイレは先に辭職した藏相イリゴエンの後をおそひ、二十三日藏相に就任した

【終戰處理】

英艦隊昭南へ

（リスボン二十六日發）ニユー・デリー來電によれば英國東印度洋艦隊の一部は既にシンガポールに向けてマラツカ海峽を南下し、他の艦艇も移動命令を待つてゐるといはれる

捕虜はマニラへ

（リスボン二十五日發）マニラ來電＝日本に抑留中の聯合國捕虜並びに一般市民は約三萬二千名と推定されるが、これ等抑留者は釋放後急速にマニラに送られ、各種機關の救濟を受けることになつてをり、目下萬全の準備が進捗中である

保證占領軍と米紙の論調

（リスボン二十三日發）米國放送によれば二十二日附「ヘラルド・トリビユーン」紙は聯合國の日本保證占領に關し要旨次の如き社說を揭げてゐる

保證占領軍は强大な兵力と完全な裝備とを以て日本へ上陸するであらう、聯合軍側は流血を伴ふ「事件」の發生も決して度外視してはゐないが、同時に日本當局者が平和的進行に眞摯な努力を傾けてゐないと見るべき理由もないやうだ、米空挺部隊による俘虜收容地域への降下を中止せよとの日本の要請や、右空挺隊員の取扱ひぶりを見る時日本の指導當局がこれ以上の流血を防止しようと誠意をもつて努力してゐることはよくわかる、しかしこの努力の成否如何は今後の問題である、日本はその近代史を通じて軍による支配を受けてゐたが、ポツダム條件の受諾によつて軍支配を破壞するのみならず軍そのものを廢棄することとなつた、もはや戰爭は確實に終了したのであり、責任ある日本人はその事實を受け容れてゐる、だが米國は不意の出來事に對して準備して置かねばならない、われわれが日本人の「感受性」に氣を使はねばならぬ時期はもはや過ぎたのであり、もし日本人が秩序維持の能力を自ら疑ふやうな場合にはわれらが日本人に代つて秩序を維持しなければならない、それが日本占領の意味せんとする最初の教訓である、しかもさらに社會的解體と再組織の問題が日本人を待ち受けてゐる、この點について現下最も希望を持たせる出來事はいかに日本の國內情勢が動いてゐるか、又いかに多くの新たな胎動が起りつつあるかである、日本主要新聞の論調はいづれもこれを裏書してゐる、果してそのいふところが本當であるかどうかはわれわれには未だ判明してゐないのだが、すでに敗戰といふ大なる衝動によつて新しい且つ創造的な勢力が日本社會の埒內に自由行動を開始したことを暗示してゐるもしもわれわれが賢明であればいかなる困難があつても彼らの發展に干涉を加へることはないであらう

前ウエーク島司令救出

（リスボン二十五日發）ワシントン來電＝米國海軍省は日本軍がウエーク島を占領した當時、同島の海軍及びマリン部隊指揮官であつたウインフイルド・カニンガム海軍中佐が米軍救出部隊により北京近傍で救出されたと發表した

ウエインライトも救出

（リスボン二十五日發）重慶來電＝ウエデマイヤー司令部は二十四日次の通り發表した

比島コレヒドールの防衞を指揮し、その後日本軍の捕虜となつた米陸軍中將ジョナサン・ウエインライトは八月十六日奉天の西北百六十粁にある捕虜收容所附近に降下した救出部隊により救ひ出された

昭和二十年八月廿九日(水)
三五二八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

占領軍上陸後の處置

(リスボン二十六日發)米國ラジオ時事問題解説者レイモンド・グラム・スウイングは去る二十三日の週間展望において日本占領軍上陸と上陸後の諸處置に關し解説放送を試みた、要旨は次の通り

一、占領に關し日本側から全面的な協力を受けるとしても占領軍はいかなる情勢にも對處し得るだけの準備を整へなければならない、從つて純軍事目的以外の器材及び物資は到底聯合國側から大量に入手することはできないであらう

一、日本の保有船舶は戰前の約六分の一に減少してをり從つて入手し得る限りの全船舶は當分の間米陸軍の使用に供せられる筈で、民需使用乃至非緊急事業用には貨物船は殆んど廻さないであらう

一、日本の港灣施設はきはめて貧弱で、適當な上陸地帶を再建するまでは通例の上陸行動は困難であらう、この點では日本側から防禦計畫の詳細地圖その他の援助を仰ぐことが出來よう

一、上陸後注意さるべきは飛行場の問題で、大半は破壞されてをり、殘つたものも大輸送機の發着に使用できるやう改良しなければならない

一、鐵道を動かすまでには多大の時間がかかるであらう、殘存せる鐵道機能を働かせることも、必要資材の陸揚げ後でなければ間に合はぬであらう

一、日本の多くの道路は米陸軍の重量器材を運搬するには不十分でこれも再建が必要であり、又新たに狹い道路の擴張も陸軍は計畫してゐる

一、現在入手し得る一切の情報は日本がこれら占領軍の必要とする資材に不足してゐることを示し特に木材の不足が甚だしく、ために大量の輸入が必要である

一、米軍工兵隊は移動式製材工場施設を持つて上陸する豫定だが、これで木材不足を全面的に解決することは出來ず、少くとも今年の秋は相當部分の占領軍は臨時の幕舍で暮すほかないであらう

一、更にこれら營舍の位置も必ずしも便利ではなく、米を作る田が近くを圍繞してゐるわけであるが、すでに耕作中の田を減少するやうなことは望ましくない

【貸與問題】

廢止後の處置に期待

(リスボン二十五日發)ロンドン來電=アトレー首相演説の後を受けて二十五日朝の英各紙はいづれも大々的に武器貸與廢止につき論評を加へてゐるが、主要各紙の論調左の通り

△勞働黨機關紙「デーリー・ヘラルド」
近く新たに米英兩國間に會談が開始されるはずだが、これが失敗に歸せば英國は大變な打擊を受けることとなり、その結果有力な輸出振興策及び弗領域以外の土地よりの輸入促進など强硬な對抗手段を講ずるの止むなきに至るであらうまたこれは米國の雇傭問題に惡影響を與へるものと豫想される

△保守黨系「デーリー・メール」紙
米國民は今まで首尾一貫して寬大であり人道的だつた、したがつて彼等を早まつて非難するやうなことをせず、その前に來るべきワシントン會談で米國側よりどの樣な提案があるかを一應見極める必要がある

△「タイムズ」紙
今回の突然の措置は平時への再調整を主として目的としたものだが、といつて事態の重大性を否定するわけには行かない
なほ歸英中のケーンズ鄕及び駐米大使ハリファックス等米英經濟交涉における英側代表連は二十五日急遽ワシントンに向け出發した

(リスボン二十六日發)ニューヨーク來電=二十四日の米國各紙は武器貸與制中止に關する論評を一齊に揭げてゐるが、これらを綜合するにいづれも今回の措置をもつて來るべきものが來ただけだとなし、貸與制度は戰爭遂行の手段であつて米國の國防のためにのみ用ひらるべきものだと主張するものが多い、しかし貸與制停止が各國に與へる影響の大なることは認め、平和時の基礎に立ちこれに代るべき機構を造り出すのを提案してゐる

【歐　洲】

勃選擧遂に延期

（ストツクホルム二十五日發）ソフイア來電＝ブルガリアの聯合國管理委員會は突如ゲオルギエフ政府に對し同委員會は選擧問題に對する米英兩國政府の主張を支持する旨の通告を發した爲ゲオルギエフ政府も遂に屈し、二十六日施行豫定の總選擧を延期するに決した、英官邊筋では右決定に非常に滿足な意を示してゐるが、特にソ聯代表が支配的役割を果してゐる同管理委員會が米英兩國の主張を支持するに至つたことを重視してゐる、ゲオルギエフ政府としてはソ聯の精神的支持を期待し、管理委員會内のソ聯代表と米英代表を互ひに爭はせようと企圖してゐたので、最後の土壇場ですつかりあてが外れた模樣だ

他方、懸案となつてゐた米人記者の入國問題も解決した樣子で、米國々務省は米國人新聞記者がブルガリア、ポーランド兩國への入國を許可されることになつた旨二十四日發表した、また、ユーゴスラヴイアでは外人記者の報道檢閲を廢止するに決した旨同國政府から發表され、バルカン諸國を蔽つてゐた不明朗な空氣は次第に取拂はれつつある模樣だ

希、ユーゴ國交回復

（ストツクホルム二十六日發）ベルリン放送によればこれまで國境問題で紛爭中であつたギリシヤユーゴースラヴイアの兩國は和議成立し外交關係を再開するに決したといはれる

佛印軍管理聲明に衝動

（ストツクホルム二十五日發）ロンドン來電＝佛印を南北に兩斷して中國軍及び東南アジア軍司令部において軍管理を分擔するとの聲明はフランス官邊に相當な衝動を與へてゐる樣子である、既に中國軍は佛印北境よりハノイに向け進駐したと報ぜられ、又他方では越南帝國の飽くまで獨立完遂の聲明も傳へられて、佛印の將來は逆睹し難いものがあるが、フランス政府としては、大東亞戰爭の終了とともに當然佛印に對する自國の地位は舊に復するものとしてゐたため、以上の事態は樂觀を許さぬとの印象を生ずるに至つた模樣である、ロイター外交記者マンジョツトも二十四日この空氣を傳へ次の通り報じてゐる

「フランス當局の言分によれば、佛印における日本軍の武裝解除乃至その處置に當るため聯合軍の相當兵力を派遣するとの決定は必要でもあり、又フランスとして受諾出來ることだが、佛印に對する行政責任は全くフランスの國内事項で既にこのためには適當な計畫も樹立されてゐるのである、從つて佛印の軍管理責任分擔に關する聲明にはロンドンのフランス官邊も意外の態だ、その言によれば、佛印の行政にはフランス官憲も地方人行政吏も多數控へてただ釋放の日を俟つてゐるばかりであり、且つ新佛印總督チエレー・ダルジヤンリウ提督も赴任の途にあり、東京における休戰協定調印のフランス代表ジヤツク・ルクレルク將軍も佛印駐屯軍司令官になる筈である」

伯林市立銀行にクレヂツト

（チユーリツヒ二十五日發）ベルリン來電＝英國政府は今回ベルリン市立銀行に對し六億二千五百萬英磅のクレヂツトを與へた、ベルリンの市當局は聯合國側よりの食糧供給に對する代金支出及びベルリン市復興のため相當多額の支拂を行はなければならないが、これに對し市中の經濟金融活動が麻痺してゐるので收入はほとんどない、赤軍はベルリンの市中銀行をすべて解散せしめ市立銀行のみを殘して、その資金を市政に用ひた、英國から與へられた信用のうちには一般的支拂手段として流通すべき若干額の紙幣が含まれてをり、これは新たに設置されるべきドイツの新中央政府によりその合法性を保證される筈である、市立銀行はベルリン市の福祉に寄與する商社に對しては貸出を行つてゐる、獨紙「デア・モルゲン」によると全ドイツの銀行券流通高は十二億五千萬英磅と推定されてゐる

昭和二十年八月廿九日(水)
第三五二八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ペタン公判(八)

△ラヴアルの證言つづく(一)

ラヴアルの共和主義者たる自己證明はつづく

現在この法廷に立つてゐる證人と上院との關係(ラヴアルは上院議員だつた)は特に愉快なものではなかつたことは事實である、余はフランスの新聞はあまりにも自由であり、あまりにも金權によつて影響されてゐると考へてゐた、これは大改革を行ふ必要があると考へたが、余が共和主義者だつたことには變りはない

世間では自分がパリ伯(コント・ド・パリはフランス僭王ブールボン家の正嫡)に會つたのは共和制轉覆陰謀のためだと稱してゐるが右はペタン元帥の要求に基いたもので、パリ伯がフランス入國を法律で禁じられてゐることは、ペタン元帥にかねて注意を喚起しておいた、然るにも拘らず入國して來たので自分が會ひに行つたわけである

ここでモンヂボー裁判長は「餘談はよろしい、モントワール會見の事情を述べよ」とラヴアルに注意を發した、ラヴアルは稍々周章てて答へる

余はペタン元帥にモントワールに出掛けるやう求めたことはない、只、自分としてはリツベントロツプに會ふ必要があつたのである、自分は當時のドイツ大使アベツツの車に便乘することになつたが、どこでリツベントロツプに會へるのか車はどこへ行くのか全く知らず、モントワール到着の間際になつてわれわれが會はうとしてゐるのがヒトラーだといふ事を知らされたのである、そこで自分は直ぐにヴイシーに連絡を取つて、出直すことになり、モントワールの四者會談が行はれたものである

モンヂボーはここで「ペタンは果して自分の自由意思でモントワールに出かけたものかどうか」と質問し、ラヴアルは

自分は暴力を用ひて元帥を連出したわけでなくペタン元帥が行き度くなかつたとしても、さうはいはなかつた

と答へた、ラヴアルのモントワール物語はなほつづく

モントワールでは決定的なことは何等協定せず、何もせず、何も決定しなかつた、…ヒトラーはその時、復讐平和は欲しないと自分に告げた、ペタン元帥は後になつて自分に「今度の會見の公表文では獨佛協力の原則だけをいつておくことにしたい、どういふ風に協力するかといふ具體的なことは一つも決定してゐないからだ」と語つたのを覺えてゐる、モントワール會談は要するに何等の實際的結果をば生まなかつたといつてよい

ラヴアルの證言つづく(二)

今回の戰爭でフランスに罪ありとすれば、オーストリアをドイツに取らせることを看過したことである、自分はミユンヘン協定には反對だつたフランスはダンチツヒ回廊で初めて參戰したがそれでは手遲れだつたのだ

裁判長はここでラヴアルに一九四〇年十二月十三日彼がペタンによつて捕縛された時の事情を述べるやう注文した

その話は自分よりもよく知つてゐる人間がゐる筈である、ピエール・エチエンヌ・フランダンが當の本人である、自分がゐなくなつた後も對獨協力は續けられたではないか、自分は辭職を迫られて部屋に荷物の整理に入つた、大臣を辭めたり、また大臣になつたりすることは自分では、よくよく慣れたことなので荷物の片付けといつても簡單である、そこで氣輕に部屋に入つたところをいきなり捕へられたばかりだ

裁判長「證人が再びヴイシー政府に復歸した事情はどうか」

ラヴアル「自分はある日ゲーリングに會つたところ、ゲーリングは過激な言葉でもつてフランスの態度を非難した、それで後になつてペタン元帥にあつた節、ゲーリングの言葉を一應元帥に話した、ところが、その翌日ダルランがシヤテルドン(ヴイシー近在のラヴアルの山莊)を訪ねて來て再入閣のことを要求したわけである、ゲーリングとはケードルセーの外務省で會つたのであるが、その時彼はフランスがドイツに對して敵意を有し

てゐることをいろいろ事實を擧げて指摘し、ヒトラーはフランスがそのやうな態度なちばドイツとしても相應な覺悟があるといつてゐると告げた、またゲーリングは、ヒトラーは味方としても信賴できるが、敵としても、その言葉通りを實行する人間だといつた」

裁判長「證人はドイツの勝利を希望すると實際にいつたかどうか」

ラヴアル「それはいひもしたし、書きもした、自分としてはドイツ側の信用を得る必要があつたからである、自分はどうかして、ドイツのフランスに對する要求條件を緩和させたいと希望してゐたからである」

裁判長「證人はペタン元帥に向つて、われわれはこれでやつとフランス共和國を轉覆することができたと話したことがあるかどうか」

ラヴアル「そんなこともあつたと思ふ、がそれは一時の冗談だつた」

この時滿場は總立ちとなり、怒罵の聲が全法廷を蔽ひつくしたが、陪審官から、當時のヴイシー政府內務長官ド・ラ・ポムレイの喚問が要求され同人から當時の事情を聽取することになつた

ポムレイ「國民議會が終つて、ペタン元帥に全權を委任する憲法條令に元帥が署名する際、自分も立會つた、ラヴアルもその席にゐた」

そこでポムレイはラヴアルの方に身體を振向けて彼の顏を屹と指さして叫んだ

ラヴアル君、君はその時、これでやつと共和制の厄拂ひが出來たと云つたのだ

ここでまた滿場は一齊に沸上つたが、ラヴアルは煙草のやにに茶色に染められた齒と、手入れもせぬこれまた葉卷で褐色にいぶされた口髯をもぐもぐさせながら

自分には覺えがないが、冗談にはいつたかも知れない、共和主義者の自分が、共和制を轉覆しようなどと考へる等がないと力なく云譯けした

△ラヴアルの證言つづく（三）

ラヴアルのこの日の證言のうちで最も注目を惹いたのは一九三六年のラヴアル內閣の當時、ムツソリーニと祕密軍事同盟を結び、ドイツの侵略に備へたといふ事實の曝露だつた、そして、英國はこれを十分知つてゐたと稱して、ラヴアルが同年當時の英國皇太子だつた今のウインザー公と會つて英獨間の國交調整を企てた經緯を明るみに出したと外國電報は傳へてゐるが、その詳細の說明がないので、この日の證言も最も興味の深い點について吾々は何等いま知るすべを持つてゐないのは殘念である、また他の場所でラヴアルは

余は戰爭を憎惡する、唾棄する、フランスは戰爭にたとへ勝つた場合でも結局は常に敗けてしまふのだ

と絕叫したといはれる

公判第十一日目はかくて終り、ラヴアルの證言は八月四日に續行されることになつた

△ラヴアル機才の閃き

この夜、ラヴアルはフレーヌの獨房へはかへされず、高等法院內の女囚監房で一夜を明かすことになつた、遠いところを行つたり來たりさせるまでもないといふわけだ、この日のラヴアルの證言を通じての特徵は、どこまでも彼がペタン元帥と同じ路を歩いたものであることを印象づけようとしたことで、ペタンの罪と己れの罪との間に區別を困難ならしめ、ペタンと共に死ぬものなら死に助かるものなら助からうといふ作戰に出たことだつた、彼は證言中一言半句もペタン攻擊を行はず常に元帥を擁護する立場をとつて、それによつて自らを擁護しようとした、傍聽の記者團の印象によれば、ラヴアルの言論は正に法廷をリードするの概があり、流石フランス政界のダーク・ホースとして、百戰練磨の古强者たるの面目を十分に發揮したものだつた、特に裁判長のするどい質問を切り返して、續々と意表外の新事實をぶちまけては相手を面喰はせ、法律の條文の引用に當つても判事を後へに瞠若たらしめる强記ぶりを示した、戰前フランスで最も高給とりの辯護士だといはれたその縱橫の機才は、今日の公判で遺憾なく示されたといつてよい——とは、これも一記者の感慨である

（井上　勇）

資料

米國の船腹不足

「ウオールストリート・ジヤーナル」紙
六月二十二日

△輸送の危機

昨年十二月西部戰線におけるルントシュテツト攻勢の結果、米國があらゆる船腹を動員して歐洲に軍需品を急送して以來、米國は再び最も深刻な船腹不足に直面するに至つた、大西洋を東へ歐洲に向つての軍需品輸送は一段落となつたかも知れないが、これは太平洋戰域への軍需品輸送の激増で相殺され、これに加へて石炭、穀類その他物資の夥しい額を歐洲に輸送しなければならないので七、八兩月の海上輸送は極度の逼迫を告げることが豫想される、一方、歐洲から太平洋戰域への直接の輸送のためにも大體三百五十萬ないし四百五十萬重量噸の船腹が必要と見られ、これは今後數ケ月間米國の海運關係當局がかき集め得る船腹量八千萬噸の約五%にあたる

アントワープ、ロンドン、マルセーユ等から軍需品その他資材を積みこんで太平洋戰域に向ふ船舶はその一往復に四ケ月の長時日を必要とするがしかもこれ等の船は復航には殆ど空船となる無駄を餘儀なくされてゐる、また米國西海岸から太平洋前線への軍需品輸送の増加によつて二百萬噸の船腹が必要とされるに至つたが、この場合にも一往復に三ケ月を要する上、東亞地域から米國向けの物資が殆どないため、これまた復航は空船となり船腹の無駄を强ひられてゐる

△貨物船の改造

軍需品輸送船腹の不足は更に今一つの原因によつてますます深刻なものとなつてゐる、それは從來貨物の輸送專用となつてゐた戰時標準型船ヴイクトリイ船やリバテイ船が兵員輸送船に改造されつつあることで、既にヴイクトリイ船百隻は兵員輸送船に改造されつつあり、またリバテイ船二百隻に對しても兵員輸送能力を増大する爲の改造工事が行はれてゐる、戰時海運局の推定によれば、この改造計畫によつてヴイクトリイ船の約半分、リバテイ船の四分の一乃至三分の一が貨物輸送から引揚げられることとならう、之は噸數にすれば百萬噸ないしそれ以上に上る

現在歐洲にたいしては一門の大砲も一臺の戰車も送りだされてゐないことは事實である、しかしその他の軍需品、たとへば軍隊用食糧、衣類、消費資材等の輸送高は依然として大量に達してゐる歐洲戰終了前、米國から歐洲に向ふ軍需品輸送船は毎月平均三百隻以上だつた、これは現在では半分以下に減つてゐる、とはいふものの、軍需品輸送以外に新たに歐洲向けの民需品輸送といふ負擔が加はつたのである、しかもこの民需輸送は戰時海運局の言葉を借りれば「恐るべく激増した」のである、歐洲向け民需品の主なものはアンラの救濟物資及び歐洲各國政府の輸入にかかる物資だがその量は本年第三四半期において一月平均二百隻分に達すると推定される、第一四半期の七十隻、第二四半期の百隻と對照し、歐洲向け民需品輸送が非常な勢で増加してゐることが明らかである、本年第三四半期において、歐洲に向ふ貨物船のうち六〇ないし六五%は歐洲各國政府の購入にかかる物資を、その殘りの船がアンラの救濟物資を輸送することとならう

△石炭の補給

歐洲における石炭不足は容易ならぬものであるが、米國自身も石炭不足に惱んでゐるため、今から八月末日までの三ケ月間に米國から歐洲に供給される石炭は大體百二十萬噸程度にとどまるべく現在の計畫によればその積出量は六月五十萬噸、七月四十萬噸、八月三十萬噸となつてゐる、九月以降の石炭積出額は急速に減少すべく、これは主として米國自身の燃料不足のためであり、燃料長官イツキーズも米國が歐洲に石炭を供給するのは暑い間に限られ、それ以後は輸出しない方針であることを明らかにしてゐる、一方歐洲においても秋頃になれば石炭礦業が一層恢復すべく、また輸送、配給機構も現在よりははるかに圓滑となるだらう

歐洲にたいする穀類の輸出は、夏の間特に大量に上らう、これは中西部の穀倉地帶から穀物を積みだすに便利なセント・ローレンス河が凍結する以前に、できるだけ多くの貯藏をしておかうといふ計畫の結果であるか、十一月末には同河を經て大陸内部の港に至る航路は不通となるべく、穀類の輸出は他の經路を經なければなるまい

前述の通り復航に空船が多いため、米國は輸入物資の輸送に事缺くやうなことはない、米國の輸入物資のうち船腹不足のため海外の港灣におかれてゐるものは南米産の珈琲だけだが、これは南米と米國東海岸間航路の復航には礦石その他米國向貨物があり、これによつて地中海やフイリツピン航路に比し復航船腹の餘裕が少ないためである、戰時海運局は當然のことながら、珈琲の輸送には優先權を認めてゐない

△聯合國海運プール

聯合國の海運プールに加入してゐる國は十五ケ國である、このプールの支配する船舶は全部で四千五百萬重量噸だが、戰時海運局はこのうちの半分以上を支配してゐる、參加國は米國、英國、オランダ、ベルギー、フランス、ギリシヤ、ポーランド、ノルウエー、スエーデン、南阿聯邦、カナダ、印度、ニユージーランド、ブラジルである、スエーデンは日本とは中立國だが、最近このプールに參加した、ソ聯は海運プールの前身たる米英合同海運委員會にも參加してゐなかつたが、この聯合國海運プールにも依然として參加してゐないワシントンとロンドンとにはそれぞれ海運プールの支部があるが、この兩支部は聯合參謀本部の決定する軍事輸送に最優先權を與へてゐる、第二の優先權は米國では外國經濟院、戰時生産局、戰時食糧局等の政府機關及び英ソ兩國のこれに該當する政府諸機關に與へられてゐる、第三の優先權が認められてゐるのはフランス、ベルギーその他諸國の民需品輸送であり、最後は米國の輸入民需品輸送だが、これは船腹に餘裕のある限りにおいて認められる程度に過ぎない

以上が米國の、廣くは聯合國の海運輸送難の現狀である、しかし輸送難の原因は船腹不足以外にもある、たとへば埠頭設備不足などがこれだ、歐洲諸國の港灣は荷卸し設備の不足に惱んでゐるかと思ふと、アントワープ港は積卸した穀物類の荷捌きができずに困つてゐる、一方、米國の穀物輸出港には能率的な解が不足してゐるが、その原因は勞力不足或ひは勞働爭議である、これらが船腹不足と相俟つて由々しい輸送難を招來してゐるのである

歐洲派遣米軍兵士の教育計畫

ロイター通信八月十六日

米國陸軍省は陸軍教育計畫に基き歐洲派遣軍百萬餘がやがて現地において就學することになるだらうと發表、計畫内容を左の通り說明した

「この教育計畫は教職員數においても學課目においても從來單一の教育機關としては未だなかつた程の多數を準備してゐる、元來米陸軍の教育計畫は極東及び歐洲兩戰線にわたるもので、極東派遣軍及び歐洲占領軍所屬の米軍兵員に教育の機會を與へるが目的である、歐洲地區における一例はリヴアプール附近に開校豫定のもので、これは舊米軍航空隊補給本部を利用した工藝學校であり、同本部の有する技術教育上便利な精密技術裝置をそのまま利用する、この學校のみならず他の施設においても教員は軍民双方から採用される筈である特に歐洲戰線ではすでに以前から「師範大學」が設けられてをり教員たるべき者を養成してゐる、この大學では入隊前に教師だつた者が教職員の中核をなしてゐる、かくて歐洲區域では年内に部隊學校の數が二千餘に上る豫定で、その運營は所屬部隊内で行はれる、兵士は希望の課目を撰擇し又その基礎知識に從ふ課目をえらぶこととならう

この計畫によつて、何十萬の米軍兵士が本國歸還後中斷された正規教育課程に直ちに戻る準備を完成すると共に、一般陸軍兵士の教養は入隊後ひとしく向上する結果となると信ずる」

昭和二十年 八 月三十日(木)
第 三 五 二 九 號

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社）

同盟通信 海外電報

戰爭犯罪人といふ觀念は恐らく前大戰の後、カイゼル・ウイルヘルム二世の處分案から始つた考へだが、今回の戰爭では、戰勝國たると戰敗國たるとを問はず、恰も當然の法律理念の如くに受け容れられてゐるかに見える、しかし罪刑法定主義は近世法治國の第一義諦である、戰爭犯罪人の觀念は明かに罪刑法定主義の原則を無視した封建的な擅斷主義の再現ではなからうか、勝てば官軍といふが、戰爭の歸趨によつて戰爭犯罪人がきまるのも、理論上からは到底首肯出來ない、ドイツ政府は前大戰に敗れ、ヴェルサイユ條約で戰爭の責任が自國にあることを承認した、しかし停戰後僅かに四年にしてドイツ外務省は Die Grosse Politik der europaeischen Kabinette と題する尨大な外交文書を發表し、所謂戰爭責任論を掲げて舊聯合國の輿論に訴へた、ヒトラー總統が政權を掌握した後、眞先きに抹殺したのはヴェルサイユ條約の戰爭責任に關する條項である、勿論敗戰國が降伏條件を受諾した以上、忠實に條件を履行しなければならぬことはいふまでもないが、敗戰の事實によつて自國の戰爭理念を弊履の如く棄て去つて、小心翼々鞠躬如として違はざらんことを力めるのは大國民の襟度でもなければ外國人の尊敬を得る所以でもない、臺灣、朝鮮、樺太を失つた帝國は同時に帝國主義の殘滓を悉く清算した、醇乎として醇なる民族國家であるこの國土に立ち、戰爭において實現し得なかつた大東亞建設の理念を全世界に向つて堂々と闡明するならば、公正な各國の輿論を傾聽させるに足らう、今において必要なことは正しい理念を具體的に提唱することである、たとへば食糧問題に關しても、單に前路の多難を說くばかりでなく、臺灣、朝鮮を失つた結果、日本國民が攝取出來る食糧は毎日何カロリーになるかを科學的に檢討し、この具體的數字を示して聯合國最高司令官の考慮を要請するならば、恐らくマツカーサー將軍も勝者の襟度を示すに違ひないとの際卑屈と退嬰とは禁物である

世界の焦点

【目　次】

滿洲國皇帝抑留……二三〇八
中國代表南京へ……〃
南樺太占領完了……〃
米四艦隊巡察……〃
日本側軍使ミズリー艦上で交涉……〃
ラングーンで地域的協定に調印……〃
南方地域の引渡し範圍決定……〃
【終戰處理】
米軍厚木着……二三〇九
第八軍東京地區へ進駐……〃
マツカーサー沖繩へ……〃
日本沿岸沈沒船舶引揚げ……〃
米潛艦十二隻行動中……〃
【米　國】
ケーンズ華府へ……〃
國務次官補更迭……〃
陸軍兵器部次長任命……〃
陸軍兵力增强を主張……二三一〇
「空軍力による勝利」……〃
鐵道委員會設置……〃
【國際機關】
外相理事會は十日頃……二三一一
準備實行委員會開催……〃
アンラ、朝鮮、臺灣を救濟……〃
【歐　洲】
勃波國交再開……〃
「プラウダ」紙中ソ條約を歡迎……〃
ソ聯、獨占領地で農業改革實施……二三一二
抑へ切れぬ難民の流入……〃
佛再建に獨軍俘虜百萬使役……〃
トスカニーニ歸國せん……〃
【英　帝　國】
南阿聯邦獨自海軍を創設……二三一三
ウエーヴエル印度省訪問……〃
印度の行詰り打開は可能か……〃
戰時統制續行法案……〃
【中　國】
宋子文英國訪問……二三一四
在支米軍司令部上海へ……〃
支那問題干涉必至……〃
【東　亞】
ビルマの米作狀況……〃
【科學情報】
原子爆彈投下機の特別裝置……二三一五
ウラニウム原礦カノタイト……〃
敵性科學情報を公開……〃
【特　輯】
ペタン公判（九）……二三一六

滿洲國皇帝抑留

（ストツクホルム廿八日發）二十二日のハバロフスク放送によればソヴエト極東司令官ワシレスキー元帥は
赤軍は滿洲國皇帝を抑留し、現在安全な場所に保護してゐる、日本軍の降伏は關東軍司令官の命令の如く滿足すべき進行を示してゐると言明した

中國代表南京へ

（リスボン二十八日發）重慶來電＝中國政府並びに軍首腦部一行百六十名は南京市の正式接收のため二十六日重慶發空路南京に向つた

南樺太占領完了

（リスボン二十八日發）モスクワ來電＝ソ聯情報局は二十八日、ソ聯軍が樺太南半を完全占領した旨發表した

米四艦隊巡察

（リスボン二十八日發）グアム島來電＝ニミツツ司令部は二十八日次の通り發表した
米國の四有力艦隊、卽ち第三、第五、第七、及び北太平洋機動部隊は占領軍を援護するため日本及び占領地域の海域を巡察する

日本側軍使ミズリー艦上で交渉

（マニラ二十七日發）ハルゼー麾下米第三艦隊に從軍中の米國特派員は二十七日次のやうに傳へてゐる
「戰艦ミズリーを先頭とするハルゼー麾下の米第三艦隊は二十七日午前十時三十分相模灣に入つた入灣二時間後に日本側の軍使一行がミズリーに乘船して來た、之は三十日海兵隊と海軍部隊が橫須賀軍港に上陸することについての指令を受けるためであつた、日本側軍使一行は將校二名、水先案內人十三名であつたが、ハルゼーは直接一行とは言葉を交さず、乘艦に當つて一行は身體檢査を受け、軍刀は會議中佩用を禁止された、軍使一行は驅逐艦で第三艦隊の碇泊地點に至り、ここから米國驅逐艦に移乘してミズリーに向つたものである一行を迎へたのはハルゼーの參謀長少將ロバート・カーネーで橫須賀軍港占領に關する細目の指令を提示した、橫須賀を占領するのは第三十一機動部隊であるがこれが直接指揮官は海軍少將オスカー・バツジヤーである」

ラングーンで地域的協定に調印

（リスボン二十八日發）カンデイ來電＝東南アジア聯合軍司令部は二十八日次の通り發表した
「東南アジア軍からの聯合國代表と日本南方軍からの媾和使節との最終協議は、八月二十八日午前零時五十五分ラングーンの政廳內において行はれ、兩戰域軍司令官を代表してそれぞれの參謀長が地域的取極めに關する文書に署名を了した、協定の骨子は次の通り
一、日本軍は聯合軍が卽時捕虜及び抑留民の救濟を行ひ得るやう豫備的措置を講ずること
一、遲滯なく東京における全面的降伏の條件を實施し得るやう豫備的措置を講ずること
一、東南アジア聯合軍司令官マウントバツテン大將に對する日本南方派遣軍の降伏は後日シンガポールにおいて行はれる」

南方地域の引渡し範圍決定

（リスボン二十八日發）マニラ來電＝太平洋戰域聯合軍最高司令官マツカーサー元帥は日本に對しマウントバツテン大將に降伏すべき日本軍占領地域を二十八日指定した、內容は次の通り
一、アンダマン、ニコバル、ビルマ、泰、北緯十六度より南方の佛印、マライ、スマトラ、ジヤバ、小スンダ列島（バリ、リンボク、チモールを含む）ブールー、セラム、アンボン、カイ、アルー、タニンバル、アラフラ海の諸島嶼、セレベス、ハルマヘラ、蘭領ニユーギニアの日本軍上級司令官及び陸海空三軍並びに補助部隊の全員は東南アジア聯合軍最高司令官に降伏すべきこと
一、ボルネオ、英領ニユーギニア、ビスマルク群島、ソロモン群島の日本軍上級司令官及び陸海空三軍並びに補助部隊の全員は濠洲軍最高司令官に對して降伏すべきこと

昭和二十年 八月三十日(木)
第三五二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【終戰處理】

米軍厚木着

(マニラ二十八日發)米國占領軍先遣部隊は東京時間二十八日午前九時厚木飛行場に到着した、同飛行場に着陸したのはC54輸送機三機を含む輸送機十機である、着陸部隊は百五十名で技術關係兵員であり、日本々土占領後續部隊の上陸準備を行ふが、最初の任務は米軍の信號並びに上陸施設の整備にある

第八軍東京地區へ進駐か

(リスボン二十七日發)NBC放送によれば、比島戰に參加した米國第八軍が東京地區の聯合軍の最初の進駐部隊の主力を構成するだらうといはれる、第八軍が東京及び横濱地區に進駐するのは九月一日である

マッカーサー沖繩へ

(マニラ二十七日發)聯合軍最高司令官マッカーサーは二十六日次の通り發表した
余は三十日空挺部隊の厚木飛行場進駐を指揮するに先立ち、二十六日夜若しくは二十七日早朝空路沖繩に向ふ、なほ米第八軍司令官中將ロバート・アイチエルバーガーは余に隨行し、第八軍の一部は九月一日橫濱に上陸する豫定である

日本沿岸沈沒船舶引揚げ

(リスボン二十七日發)ワシントン來電=INS通信社ジョン・ブースは次の通り報じてゐる
「南は九州から北は北海道に至る日本々土港灣に沈沒してゐる多數の船舶を引揚げるため米國海軍省の有名た技術者ウイリアム・サリヴアンが近く日本に赴くことになつてゐる、サリヴアンはイタリア、フランス、比島等の敵側の港灣の淸掃で一躍著名となつた男で日本降伏前にはマニラ灣で六百隻の大小船舶を引揚げたが、この內の多くは米國の艦上機及び陸軍航空隊により擊沈されたものであつた、この引揚作業に從事した將兵は六百名以上だつた、過去三ケ年間に米國海軍が引揚げた船舶は北阿、歐洲並びに太平洋で數百萬弗に上つてゐる、サリヴアンは今回日本々土沿岸で米國海軍並びに航空部隊により擊沈された多數の海軍艦艇商船及び小型船舶を引揚げると言ふ最大の事業を開始しようとしてゐる、米國海軍の沈沒船引揚げ部隊は日本人の協力の下に港灣を淸掃して米國補給船海軍艦艇の航行を安全ならしめると共に日本沿岸航路の回復を急ぐことになつてゐる」

米潛艦十二隻行動中

(ワシントン二十七日發)米國海軍省は二十七日の發表において、米國潛水艦十二隻がハルゼー大將麾下の第三艦隊と共に日本々土沿岸で行動してゐる旨言明した

【米 國】

ケーンズ華府へ

(リスボン二十七日發)ロンドン來電=ケーンズ鄕は武器貸與制の中止により生じた諸問題につき米國政府との間に至急協議を遂げるため二十七日ロンドンを出發ワシントンに向つた、ハリファツクス駐米大使も今週末空路歸任の豫定である

國務次官補更迭

(リスボン二十六日發)ワシントン來電=大統領祕書チヤールス・ロスは二十五日、大統領が國務次官補ロツクフエラーの辭職を受諾し、その後任としてアルゼンチン駐劄大使ブレイドンを任命した旨發表した

陸軍兵器部次長任命

(リスボン二十六日發)ワシントン來電=陸軍省は二十五日次の通り發表した
歐洲戰域米國軍兵器係長ヘンリー・ベントン・セイラー少將は陸軍兵器部次長に任命された、兵器部長中將キヤンベルが產業再轉換計畫の遂行に當つてゐる間はセイラーが兵器部長の事務を取扱ふ

陸軍兵力增强を主張

（リスボン二十七日發）ロイター放送ワシントン情報によれば、トルーマン大統領は二十七日上下兩院陸軍委員長に宛てた書翰において陸軍召集緩和の機運に反對意向を表明次の如く述べた

「太平洋方面における情勢はなほ危險な幾多の要素に圍繞されてをり、一方歐洲は戰禍に續いて食糧、燃料、衣料不足の窮迫した冬を迎へようとしてゐる、これら地域のいづれにおいても米占領軍の安全を計らねばならない、近來一般國民乃至議會の要望に直面して軍隊召集の緩和又は停止に向はんとする機運を生じてゐるが、歐洲及び日本占領の重責を歷戰の兵士に負はすべきではないと確信する、明年七月までには現在の志願兵及び徵兵制度により八十萬の兵力を召集することはできるがこの程度ではなほ不足であらう、アイゼンハワー並びにマツカーサー兩將軍の推定したところだけでも米本國その他地域の補助兵力を別としてなほ百二十萬を必要とする狀態である」

空軍力による勝利

＝第二十航空隊を禮讃＝

（リスボン二十四日發）八月二十日附「ニューヨーク・タイムズ」紙は「空軍力による勝利」と題する社說において第二十航空隊の功績を禮讃、次の通り論じてゐる

「日本の降伏は豫想されたごとく現代戰における空軍力の主導的役割を最も印象的に實證するものだ、この事實は必ずしも海軍艦艇、海兵隊、歩兵乃至陸軍機甲部隊等の必要且つ偉大なりし業績の價値を減ずるものではない、各部隊、特に海蜂部隊及び沿岸警備隊を含む全兵科は全米國民に心高鳴る矜持を齎す上に各自の役割を果した、その一つが缺けても眞珠灣以後に始つた團體活動の壯觀なる勝利の構圖には狂ひが生じてゐたにちがひない、しかしながら攻撃の先鋒たりしのみならず最後の一擊をも加へたのは空軍力だつた

歐洲においても米軍航空隊並びに英空軍による長期間の根氣よい戰略爆撃が敵の無力化を齎し燃料、補給物資、軍需工場、更にはすべての輸送機關や軍隊移動手段を空から破壞してゐなかつたとしたら、地上を歩一歩前進する聯合軍部隊はナチドイツに對する勝利のために一層高價な代償を支拂はなければならなかつただらう、事實空からの準備作戰や同時作戰がなかつたとしたら歐洲要塞への侵攻は不可能だつたかも知れない、だがこの場合においては土地を奪取確保するといふ古風な戰爭が最後には行はれた、勿論太平洋においても特にガダルカナル、タラワ、サイパン、比島、硫黄島、沖繩等の諸島嶼では陸軍及び海兵隊の徒歩部隊が素晴しい働きを示した、だが日本軍をして屈服せしめたのは翼の部隊だつた

ギルバート諸島に最初の勇敢なる報復の打擊を與へた翼、勝ち誇る日本艦隊にミドウエーで最初の大敗北を喫せしめた翼、空母甲板から飛び立つ海の翼、アリューシアンからニューギニアに至る地域に辛うじて獲得した諸基地、支那基地、マリアナ基地等から飛び或ひはヒマラヤを越えて飛ぶ陸の翼、ハルゼー麾下第三艦隊から出擊する戰鬪機や爆擊機、海軍の長距離哨戒機、海兵隊の急降下爆擊機に地上攻擊機、陸軍の中爆、重爆、超重爆擊機、さうしたものが日章旗を血に染めた兵器であり、最後にB29が廣島及び長崎に對し原子爆彈を投じた時に全體的な崩壞が訪れたのである、この勝利の翼を飛ばせた勇敢なる人々に對して我々は負債を支拂ふだけの手段を持たない、ただわが空軍兵力を維持する慧智によつてのみ、われわれはキング、タワーズ、マツケーン等の諸提督、スパーツ、ドウリツトル、イーカー等の諸將軍、そして誰よりもわが世界的空軍指導者たちにいかなる裝備を與へ之をいかに驅使するかを熟知してゐたヘンリー・アーノルド元帥の先見と勇氣とにいささか答へることができるのではあるまいか」

鐵道委員會設置

（リスボン二十四日發）ワシントン來電＝陸軍省は二十四日次の通り發表した

米英軍並びにフランス鐵道協會の三者間に、フランスにおける鐵道の軍管理を廢止して聯合國六人委員會を設置しこれをもつてフランス全土の鐵道を管理せしめる協定が今回成立し、二十四日署名を了した

昭和二十年 八月三十日(木)
第三五二九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【國際機關】

外相理事會は十日頃

(ストツクホルム二十七日發)ロンドンからのロイター電報は、米英ソ支佛の五ケ國外相理事會が九月十日頃ロンドンで開催され、右會合の席上日獨その他の國における占領軍の駐屯に對する各國の責任の範圍が議題の一つとして討議されようと觀測してゐる

準備・實行委員會開催

(ストツクホルム二十七日發)ロンドン來電=聯合國々際機構の準備委員會實行委員會は二十七日ロンドン駐劄中國大使顧維鈞の司會の下に會議を開催、桑港會議の實行委員會を構成してゐた十四國代表が參加した、會議は新國際機構の大會召集の準備を進めると同時に國際機構の各種任務を取扱ふ特別委員會の設置につき討議を進め、次の七事項を取扱ふ分科委員會の設置を決定した

一、總會
二、經濟社會問題理事會
三、國際裁判所並びに司法問題
四、書記局その他役員關係
五、特定諸機關連絡
六、國際聯盟廢止
七、總務

その他の三分科委員會、卽ち安全保障理事會、信託制度、財政處理に關するものは當分の間設置されぬことに決定をみた、以上の分科委員會がそれぞれ任務を完了し次第、實行委員會は聯合國全代表の參加する準備委員會を召集、總會其他の初會議の期日と場所とを決定する事になる豫定である

アンラ、朝鮮、臺灣を救濟

(ストツクホルム二十五日發)ロンドン來電=目下ロンドンで開催中のアンラ第三次理事會はアンラの救濟を朝鮮及び臺灣に及ぼすことを全會一致承認した、米國務次官補クレイトンは朝鮮、臺灣イタリア及びオーストリアを救濟するアンラの事業は五億五千萬弗を要するだらうと述べ、更にアンラの事業は歐洲では一九四六年末までに、また太平洋及び東亞ではそれより數ケ月後に完了する豫定だと述べた、またAP電報が米高官の漏らした情報として傳へる處によれば、米英ソ三國はソ聯に對するアンラの救濟額について意見の一致を見たといはれる、またアンラ代表會議はフランス及びカナダをアンラ中央委員會委員に加へることを可決した

日獨をオリンピツクに招待せず

(ストツクホルム二十七日發)ロンドン來電=國際オリンピツク委員會が次のオリンピツク大會に日獨兩國を參加させる旨決定したといふ噂が流布されてゐるが、委員長ブランデイジは二十七日以上の噂を否定して次の通り言明した

余は一九四八年のオリンピツク競技に日獨兩國を參加させるやう提案したこともなければ、委員會の誰一人としてかかることを聲明した事實もない

【歐洲】

勃波國交再開

(ストツクホルム二十六日發)モスクワ來電=ポーランド、ブルガリア兩國政府は二十五日ワルシヤワ及びソフイアにおいて同時に公報を發表、兩國の外交關係を再開するに決した旨を明かにした近く相互に外交官を派遣するはずである

「プラウダ」紙中ソ條約を歡迎

(ストツクホルム二十七日發)モスクワ來電=「プラウダ」紙は二十七日の社說において中ソ友好同盟條約について次の通り論じてゐる

中ソ條約の目的はソ聯、中國兩國間の友好關係を更に强化し、兩國の協力を推進せしめるにある、ソヴエト民衆は新條約の成立を歡迎する、なぜならば中ソ兩國は單に地理的に境を接するばかりでなく、極めて重大な利害關係において結ばれてゐるからだ、條約により旅順港は重要なソ聯の海軍基地と化したが、長春鐵道の新管理は純然たる商業行爲と見做さるべきである、以上の中ソ兩國間の取極めは全てクリミヤ會談の決定に順つたものだ

ソ聯、獨占領地で農業改革實施

（チューリツヒ二十六日發）「バーズラー・ナハリヒテン」紙ストツクホルム電によれば赤軍の直接占領下にあるドイツでは大規模な農業改革が計畫されてゐる模様で、ベルリン各紙はこれに著しい關心を寄せてゐる、その第一の措置として赤軍當局の承認した四政黨の代表者より成るブランデンブルグ假政府は大私有地をすべて分配し、農民及び農業勞働者のため多數の小規模農地を創設する旨發表した、前記四政黨は新に成立した勞働組合とともにこの計畫を支持してをり、ブランデンブルグのみならず東部及び南部ドイツ全域にわたりこの計畫を推進することを希望してゐる、もつともポーランドへの併合が決定した東部ドイツから數百萬に上るドイツ人避難民が入つてくるので、ソ聯占領地の農業改革が新事態に對しどの程度の效果を發揮するか疑はしいとされてゐる、なほベルリンからの情報では、これらの避難民の多くは職場や住宅があるかどうかも判らないのに中部ドイツに續々送られてゐるとのことである

抑へ切れぬ難民の流入

—ベルリンに見る悲慘な教訓—

（ストツクホルム二十六日發）遠く敗戰の祖國を思ふ記者の目に耳に絕えず入るドイツ占領地の情勢はことごとに日本の國民や東京の明日の姿を聯想させて胸を痛く搖ぶる、聯合軍占領下にあるベルリンが平穩に暮してゐるときけば安心し、混亂に陷つたといへばまた東京が案ぜられる、今空襲の被害輕からぬ東京に除隊兵や疎開者が殺到して不必要な混亂を招いてゐることはないだらうか、二十六日ベルリンから當地に達したAP電報は避難民の無統制から生じたベルリンの窮境を次の通り報じてゐる

「ベルリン市民は今重大な危機に直面してゐる、原因は他でもない、東部からベルリンへ大量的に流れ込んで半身不隨の鐵道に溢れ、スープ給與所の前を埋め盡す難民の群がこれだ、英國軍當局はこの數を一日一萬八千名と見てゐるが、主としてダンチツヒ、東プロイセン、シレジア方面からの難民で、その外にチエコスロヴアキア地方から來るものもあるのだ、大概は列車だが、トラツクでくるものも、船でくるものも、歩いてくるものもある、それが皆空腹でがつかつしてゐるのだ、ベルリン管理當局はドイツ人入都者の滯留を禁止した、配給切符の新規發行は停止され、聯合軍巡察隊の目をかすめて、無理に潛り込んでも食糧の配給は受けられない、それまでにしても鐵道輸送が混亂に陷つてゐる結果、米國軍當局が現在までにベルリンで配給した食糧は、規定量の七十二%に過ぎないのだ、從つて現在米國軍管理區内のベルリン市民は、健康維持に必要とされる一日の最低榮養量千四百カロリーはおろか、やつと千百カロリーを攝取してゐるといふ有樣である」

佛再建に獨軍俘虜百萬使役

（リスボン二十六日發）ワシントンからのAP電報によればド・ゴールに隨行して目下ワシントンを訪問中のフランス官吏は次の通り語つた

フランスは戰禍を蒙つた地域の再建のため百萬のドイツ軍俘虜を二ヶ年使用したいと欲してゐる、歐洲戰の開始された當時フランスの人口は四千百五十萬であつたが、戰爭が終つた時には戰死及び出產率の低下のため人口は約百五十萬だけ減少した

またAP通信によればド・ゴールは米國政府に對し

フランス再建のためには七百億勞働時間を要し換言すれば二百萬の勞働者を每日八時間つづ四ケ年間働かせねばならない

旨說明したといはれ、恐らくこの問題は聯合國賠償委員會で討議されるものとみられる

葡、軍事檢閱廢止

（リスボン二十六日發）ポルトガル陸軍省は今後郵便、電信、電話の軍事檢閱を廢止する旨二十四日發表した

トスカニーニ歸國せん

（リスボン二十六日發）ローマ來電によればイタリア著名のオーケストラ指揮者アルツーロ・トスカニーニは、永らくの米國滯在を打切り、明年二月歸國の上ラ・スカラのオペラ開場に當り指揮をとることとなつたとつたへられる

昭和二十年八月三十日(木)
第三五二九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【英帝國】

南阿聯邦獨自海軍を創設

(リスボン二十七日發)ダーバン來電=南阿聯邦首相ヤン・スマツツは二十五日、南阿海員協會の會合に臨み、海軍力に關する南阿聯邦の態度を次の通り闡明した

南阿聯邦は自國を防衛するために將來獨自の海軍力を保有することにならう、聯邦が今日まで全面的に英國海軍に依存して來たことは不當であつた、南阿聯邦の戰略的地位は地理的に見て極めて重要であり、今後は海洋における自國の立場を眞劍に考へねばならぬ、海軍力以外に南阿は大商船隊をも創設する必要がある

ウエーヴエル印度省訪問

(ストツクホルム二十七日發)ロンドン來電=英國政府の招請に應じてロンドンを訪問したウエーヴエル印度總督は二十七日朝印度省を訪れ、直ちにローレンス印度相と重要會談に入つた、總督は同日夜首相官邸においてアトレー首相と晩餐を共にする豫定だが、會談の內容については未だ何等の發表もない

印度の行詰り打開は可能か

(ストツクホルム二十七日發)印度總督が勞働黨政府と協議するため英國に到着したことは、印度問題の行詰り打開への積極的な動きとして印度國內は勿論英國政界も深甚な關心を示してをり、二十七日の英國各紙はいづれも一面トツプに大見出しで總督の來着を報じてゐるが、勞働黨政府の印度政策が雲を摑むやうな形なので、論評はどれも控へ目で強く主張したものは全然見當らない、その意味で代表的なのは「ヨークシヤー・ポスト」紙ロンドン特電の論調で、印度問題を處理するためにはまづ印度國內諸派の統一を實現する必要があると論じて、印度行詰りの打開が不可能なことを間接に示唆してゐる、同紙強調の要旨次の通り

「印度總督と勞働黨政府との會談は印度問題の全領域に亙るものと解されるが、いづれにしても會談が開催されることは多くの理由から望ましいことであつた、特に日本の降伏に伴つて印度にも新たな事態が發生し、印度は尨大な軍事作戰のための主要基地としての役割を突如喪つてしまつたのである、その結果經濟その他の關係で大きな問題が發生するが、特に印度の大再建計畫は急速に推進されねばならない、政治問題については英國の印度政策に轉換が齎されるかどうかを重視するのは極めて自然だが、初めから以上の轉換を豫定してかかると大變なことになる惧れがある、シムラ會談以來英印關係は多少明朗化してゐるやうだが會談は回印兩教徒間の宿命的對立が原因で決裂したことをこの際銘記しなければならない、今回の總督の英國訪問により印度の地位について何等かの發展を期待することは勝手だが、アトレー內閣の對印計畫は印度の各主要政黨が同意しない限り成功は覺束ないといふことをまづ考慮してかからねばなるまい」

叛逆の罪は不問

(リスボン二十七日發)ニユー・デリー來電=印度政廳はチヤンドラ・ボース氏の率ゐた印度國民軍に參加した將兵の處理について二十七日次の通り發表した

「印度軍の一兵卒にして上からの壓迫によるか乃至は謬り導かれて敵の結成した軍隊に參加した者は、殆ど全部の國の場合死刑に處されてきたが、印度政廳は寬仁慈悲をもつて遇することに決定した、但し以上の兵士をそのまま軍隊に留めて置くことは不可能だから四十二日分の日給のみを與へて除隊せしめる、但し意識的に日獨兩國に加擔した若干の指導者は軍法會議に付せられる」

戰時統制續行法案

(ストツクホルム二十五日發)ロンドン來電=勞働黨內閣は多數の戰時統制を今後少くとも五ケ年間續ける權限を政府に與へることを規定した法案を下院に提出した、右法案は政府にあらゆる種類の商品及び勞務の價格を統制する權限その他の戰時統制權を與へるが、これは物資の適正配給商工業の平時態勢への切換へに役立つと共に戰爭の結果苦境に陷つてゐる自治領及び諸外國へ重要物資を供給する上に役立つとみられる

【中　國】

宋子文英國訪問

（ストツクホルム二十七日發）ロンドン來電によれば、英國政府は宋子文行政院長に對しワシントンからの歸途ロンドンを訪問するやう招請したといはれるが時日はまだ決定してゐない

在支米軍司令部上海へ

（リスボン二十七日發）重慶來電によれば在支米軍司令部は近く重慶から上海に移動することに決定したといはれる

ソ聯工鑛業使節團重慶着

（リスボン二十七日發）重慶來電＝ソ聯工鑛業專門家使節團一行は二十七日重慶に到着した、近く經濟部及び戰時生產局當局と兩國間の經濟協力に關し協議する豫定である

支那問題干渉必至

—米紙成行を注視—

（リスボン二十七日發）日本占領と日本今後の動向は依然米國言論界の中心問題であるが、同時に支那大陸の將來の發展も遽かに注目の一焦點となつて來た、卽ち米國の重慶向け放送は米國の有力地方新聞の社說を廣汎に引用してをり、就中二十六日の放送における「ナツシユヴイル・テネツシアン」紙二十五日の社說は支那問題への米國の重大關心とその方向とをよく示唆したものといへよう、要旨次の通り

「日本の崩壞は世界から戰爭を追拂つたかの如くであるが、實際にはなほひとつの戰爭問題を殘した、それは支那の內亂であり、又內亂に對する米英ソ三國の「政治的」干渉の可能性である、平和を求め平和を促しつつ世界は今平和一本の道へ向つて歩み始めてをり、ソ聯が日本に宣戰したのももつぱらこの基礎においてであつた、しかも支那大陸では內亂の可能性は尙殘つてをり、年中行事化し人道主義の母胎に膿みと爛れとをもたらさうとする情勢であつて、ここに內亂一掃の必要は大なるものがあり、又その機會をこの際つかむことは十分に可能である、一國の內亂が武器をとつての抗爭にまで發展すれば必然國境を越えて他國を紛爭へ引き入れることは夥しい先例の教へるところである、日本との戰爭が公式に終結した曉には時を移さず重慶支那と北部支那とを提携させる條件を設定する果敢な手段を講じなければならない但し米英ソ三國の內英國は例外である、英國は香港の主權回復を主張することによつて、やがて重慶支那と共產軍支那とも對立狀態に陷るべく、從つて支那大陸の和平工作は米國とソ聯とによつて主導されなければならない、支那の內紛解決を米ソ兩國が援助することは蔣介石の歡迎する所とはなるまいが、あらゆる方法で援助する必要はたしかにあると考へる、しかもこの必要たるや强烈なものであり、そのため支那の內亂そのものをわれらの干渉へ結局は持つて來ることになるであらう平和の世界機構に警察官たらんとする者が、支那內亂に拱手傍觀をつづけるわけにはゆかないからである、蔣介石支那は新世界機構の一員であり安全保障理事會の常任理事國でもある、その規定に基けば支那が他國の援助を仰がない限り、內亂はどこまでも繼續するやうな狀態となるわけだ、支那がその矛盾の上に立つとすれば、極東平和の重要な擁護者たらんとする支那は到底その責任を果すことはできない」

【東　亞】

ビルマの米作狀況

（リスボン二十七日發）ロイター通信記者はラングーンにおいてビルマの米穀生產につきつぎの通り報じてゐる

「印度各紙はしきりにビルマ米の印度への輸入がここ數ケ月中に實現するものと觀測してゐるが、これは全然嘘とまでは行かなくとも單なる推測にすぎない、印度諸港で船舶や艀板がビルマ軍の荷卸しをするやうになるまでには、まだかなりの時日を要するものとみなくてはなるまい、ビルマは平時において有力な米穀輸出國で現在でも同國內では遠隔の地を除き食糧不足の兆はみられない、もつともビルマの天候は不安定で家畜及び農具が不足してゐるから、山地及び平原地方いづれもこれにより惡影響を受けてゐる、また最大の米作地たるトングー及びペグー兩地方では最近の日本軍反攻により穫入れが阻害された」

昭和二十年 八 月三十日(木)
第 三 五 二 九 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【科學情報】

ウラニウム管理を要求

(リスボン二十七日發)ニューヨーク來電=カナダ聯邦協力黨領袖コールドウエルは二十一日夜ニューヨークで開かれた州自由黨大會において左の通り述べた

カナダのウラニウム礦は世界平和のために使用されるべきだ、カナダは國内のウラニウム礦が正當且つ永續的な根據を持つ國際的平和促進のために使用されるやう主張せねばならない「ウラニウム帝國主義」が齎らすものは世界の奴隷かさもなくば世界の絶滅である

原子爆彈投下機の特別裝置

(リスボン二十七日發)コールドウエル(ニユージヤージー州)來電=カーチスライト航空機會社は二十五日次の通り發表した

日本に原子爆彈の第一彈を投下せるB29には不可逆節プロペラが設置されてゐた、これは補助ブレイキの役をなし、原子爆彈投下前に不時着を餘儀なくされた場合に急速に停止するためである、プロペラは翼の角度を完全に逆にする上驅動弓向も逆になつてブレイキの働きをする、又これは自動的發動機、同時間調停裝置となつてゐるので乘員はわざわざ各々の發動機速度をたえず調整してゐる必要もない譯である

ウラニウム原礦カーノタイト

(リスボン二十七日發)タクソン(アリゾナ州)來電アリゾナ大學の地質學教授バート・バトラー博士は二十四日次の通り發表した

ウラニウムを包含する礦石の一つとして知られるカーノタイト礦は現在アリゾナ州北東部に埋藏されてゐる、これはラヂウムを採取するため今世紀の初期に採掘されたが、ベルギー領コンゴーでラヂウム礦が發見された結果アリゾナのラヂウム工業は成り立たなくなつた、アリゾナでは後に至り同じ場所からヴアンデユウム礦が採掘されたが、現在では再び原子爆彈の必要物資ウラニウムの原料としてカーノタイトが採取されてゐるのである

英の新型位置測定器

(ストツクホルム二十六日發)ロンドン來電=英國海軍省は英海軍の使用してゐる新型位置測定器の詳細を發表したが、これは重量三十封度の無電を利用した位置測定器で、航海士は海圖を調べ二つのダイヤルをまはすだけで船の位置を決定することが出來る、聯合軍の北佛上陸に際し南イングランドの各地から機雷原を避けつつノルマンデー海岸に向つて多數の船がこの新型位置測定器を使用したが、船員の言によれば、この器械は他のいかなる器械の五倍も正確に位置を測定したといはれる

敵性科學情報を公開

(リスボン二十七日發)ワシントン來電によればトルーマン大統領は二十七日行政命令を以て米國政府が日獨兩國で入手した科學及び工業上の情報を出來るだけ早く一般に公開することを要求したこの情報中には政府機關がこれまでに若しくは今後において敵國乃至解放地域で入手する科學、工業、工藝上の發明方法、新工夫、改良方法などに關する敵性の一切の情報を含んでゐる、勿論かかる情報の公開は米國の國防上の必要を妨げざる範圍で行はれるのであるが、新法令によりドイツが大西洋を横斷して米國に投下しようと企圖した原子爆彈に關するドイツの實驗の詳細が公開されるであらうといはれる

獨人技師團米國へ

(ストツクホルム二十七日發)フランクフルト來電=歐洲派遣米國軍司令部當局は二十三日左の通り發表した

ドイツ科學者および技術家の一團は彼等がドイツ降伏當時まで行つてゐた軍事上の實驗並びに研究を繼續するため米國へ送られることとなつた、但し彼等は謂はば「雇員」であり、從つて米國における諸企畫の何れの部門にも參與することなく、仕事が完成し次第ドイツへ送り返される筈だ

特輯

ペタン公判（九）

△ラヴアルの證言つづく（四）

シテのプラタナスの上には四日も眞夏の午後の太陽が白く風に輝いて、パリとしては珍らしい暑い日が續いた、法廷ではラヴアルの熱辯にも拘らず居眠りをするものが漸く多い、六十二歳の老政客ラヴアルの聲は時に激し、時に澱んで、法廷の熱氣を掻立てて行く、白いネクタイはやや汚れを見せ、灰色の背廣も大分疲れが出て來た

「諸君は自分が數千人のフランスの同胞をヒトラーの强制收容所に送り込んだといふが、それは實に止むを得ざるに出たことである、ドイツとの協力はフランスに强制されたものであり、これまた回避不可能な事だつたのである、三十萬人のフランス勞働者をドイツに供給した代償としては十萬人のフランス戰爭捕虜が本國に歸つて來てゐるのである、政府を有しなかつたベルギーが國內勞働者の約八割をドイツに送らねばならなかつた事實と比較する時、フランスがヴイシー政府を有したことの意義が明らかになるであらう」

ペタン元帥は安樂椅子に何時もの通り身體を沈めた儘、時折りいぶかしげな眼差しをラヴアルに投げかけてはまた再び沈默の行にかへつて行つた

裁判長「證人はドイツの勝利を望むといふ放送演說をしたやうだね」

ラヴアル「あの演說は草稿をペタン元帥に前以つて見せたところ、只一句修正しただけでよろしいといふ事になり、その儘を讀上げたにすぎぬ」

裁判長「證人はペタン元帥が、聯合軍のディエツプ攻擊の後、ヒトラーに送つたといふ電報を知つてゐるか」

ラヴアル「全然知らない、自分としてはドイツとの軍事協力は如何なる形においても絕對反對であつた」

辯護士「この電報の問題は既に判つてゐる通りペタンの署名のない僞せものである、何ものかによつてヴイシーからパリにテレプリンターで送信されたもので電文の末尾にペタン署名の文字はあるが、それのみを以つてペタンの署名を得たといふ證據にはならない」

裁判長「署名の有無が問題ではなく、ヴイシーから送られたといふ點が問題なのである、當時この電報を取扱つた技士の口供書がここにあるが、（と口供書を讀上げ）これによると技士は外務省の官房事務總長からこの電文を受取つたことになつてをり、證人が知らぬといふのはどうも解しかねる」

△ラヴアルの證言つづく（五）

ディエツプ怪電事件はこれで打止めとなり、問題は北阿に再轉した

「北アフリカに侵略するものがあれば、それがドイツであらうと聯合國であらうと擊退せよといふ命令を出したのはダルランである、一九四二年いよいよ聯合國軍が北阿に上陸したとき、これに抵抗せよとラジオ放送したのはドイツの强要に基くもので、ペタン元帥も自分も、それに服從する以外に途がなかつた、それがドイツ軍の北阿進擊を阻止する唯一の途でもあつた、しかし現實には、このフランス解放の先驅部隊が如何に優勢な兵力だつたかを知つたとき現地のフランスの諸將軍は殆んど抵抗することなく、アメリカ軍と協力するに決したのである、（皮肉な爆笑起る）アメリカ軍が北阿に進駐したときも、ドイツは軍事同盟の締結を要求して來たが、自分はこれを拒絕した、尙、當時ドイツはフランス艦隊をば奇襲的に接收する案をすすめてゐたが、吾々が若しドイツと眞に協力關係にあつたとすれば、ドイツは艦隊の不意打ち押收を企てる代りに、話し合ひで接收する方法を採つたであらう、これによつて見るもヴイシー政府がドイツと決して協力關係になかつたことが判る筈だ、ペタン元帥は決して自由ではなかつた、北阿軍への抵抗命令にしてもドイツ側がペタン元帥に强要して發出させたものである、フランス艦隊をドイツに引渡さない事についてはペタン元帥も余も萬全をつくしたものである、そしてフランス艦隊は引渡さないで濟んだではないか」

裁判長「證人は何故にユダヤ人をドイツに引渡すことに同意したか」

昭和二十年八月三十日(木)
第三五二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ラヴアル「これもドイツ側の要求に基くものである、しかし、自分は司法官よりなる委員會を設けて彼等がフランス國籍を維持し得るやうに處置した」

公判がここまで來たとき、ペタンの辯護士は元帥の疲勞が加つたので一時休憩したいと申出で、これが聽許された

△レイノー等を救つた彼

公判再開の後ラヴアルは、アルジエでヴイシー政府の元内相ピエール・ピユシウが死刑になつて直後ドイツはその報復手段としてレイノー、ブルームの兩元首相、及びマンデル元内相をば銃殺する旨をヴイシー政府に通告して來たからラヴアルの斡旋でドイツ側が助命に同意したといふ驚くべき證言をして人々を唖然たらしめた

裁判長「そのマンデルをフオンテンブローの森で暗殺させたのはヴイシー政府の指金によるといはれてゐるがどうか」

ラヴアル「マンデルが殺されたことは自分としては哀心遺憾に堪へない、自分は暗殺をば政治の方策とする考へ方に同意することはできぬ、マンデルの暗殺が判明した後、自分は當時の行刑局長バイエがマンデルを義勇軍の者共に引渡したことについて責任を問ひこれを處罰した、自分はかかる無責任な暴行が頻發する毎に心痛に堪へなかつたが、當時の悲劇的な情勢の下では政府は必ずしも十分な權威をば隅々にまで徹底させることは不可能であつた、余としては政治家の暗殺を企てるがやうな非合法團體の存在にはどこまでも反對であつた」

裁判長「では何故マンデル暗殺犯人を捕縛しなかつたのか」

ラヴアル「自分は司法大臣に事件の調査方を命じたが、それが完了しない内にヴイシー政府は崩壞したのである」

裁判長「マンデル暗殺の張本人であるミリシアの首領ジヨセフ・ダルナンに手をつけなかつたのはどうしたのか」

ラヴアル「ダルナンをフランス警察の最高指揮官としたのもドイツ側の強要に基くものである、自分は反對したが遂に容れられなかつた、その頃自分は全く辭職しようかとまで煩悶したが、結局辭めなかつたのは、一人の自己は犧牲にしても、フランス國民の利益を計るべきだとの結論に達したからである、自分が若し居なかつたならば、ドイツの占領期間のフランス國民の悲慘は、更に悲劇的なものだつたに相違ないと思ふ、自分が在職中、ドイツ側に收容されたフランス人の數は大激減してゐるのがその一つの證據である、就任前の二萬五千名は五千名にまで低下したのだ」

△ペタン居眠りを始む

ラヴアルの證言中、ペタン元帥は何時の間にか暑熱に疲れて居眠りを始めてゐた、檢事モルネーはこの時ペタンがラヴアルに與へた書翰を讀上げたが、その中には「無秩序、無政府狀態よりも、二人か三人の目ぼしい者を死刑にする方が好ましい」といふ文句があつた

陪審官「證人は何故ヴイシーに監禁してゐた抗戰團體の者共を逃亡に際して釋放せず、これ等の人間がドイツ側の手に落ちるやうなことをしたかまた何故に抗戰團體の人間を拷問したか」

ラヴアル「あの騷ぎの際、自分には何から何まで自分で處置する暇はなかつた、拷問した事實などは自分は知らない」

陪審官「證人は何故フランスに止らずドイツ軍と共に國外に逃亡したのか」

ラヴアル「ドイツ側ではあらゆる困難を排してもベルフオールにフランス政府を樹立する決意であつた、フエルナン・ド・ブリノン（パリ駐劄ヴイシー代表）は强硬にヴイシー立退きを主張した自分は心ならずも、これに從つたのである、當時自分はヴイシーにゐたスイス公使に向つて萬一自分がドイツに亡命するやうなことがあるとしてもそれは自分の本意ではないと語つたことがある」

この時、いつの間にか眼を覺ましてゐたペタンは「自分はド・ブリノンの意見に悉く反對だつた」と言葉をはさんだ

ラヴアル「ジグマリンゲンに着いてからも、ドイツ側は自分が宮殿（ホオフエンツオルレルン家の古城）に出ることは絶對に許さなかつた」

ペタン「ラヴアルは危くシレジアの收容所へ連れて行かれるところだつたのを自分が助けてやつたことがある」

（井上　勇）

太陽砲

「タイム」誌七月九日號

處はパリの聯合軍報道本部、時は夏、雨が降つてゐる、ともすればこくりとやりさうな報道員を前にしてジョン・ケツク中佐が話しを始めた、中佐は元はピツツバーグの技師で今はドイツ軍の武器に關する聯合軍技術情報部の主任だ、中佐は「この話は聞く人に華やかなりし一八九〇年代に住む思ひをさせるだらう」と前置きしてドイツの科學者が「Vデー」で仕事を中絶されるやうになつた時まで如何にしてゐたか、またドイツ人が既に何を爲遂げたかといふことについて物靜かな口振りで話を進めたが、その本當とも思へぬ物語りは全く驚くべきものであつた、中佐は語る

ドイツの新案でわれわれが發見したものを擧げれば、第一にV二號ロケツト彈がある、これは潛水艦が水面下三百呎に潛つたままで發射することが出來る、次には口徑三十二吋の列車砲がある、これはセヴアストポル攻撃戰に使用されたが、現在までに造り出された火砲としては最大で、重量八噸といふ巨彈を發射する、第三は對空ロケツト彈で、十哩の上空において目標物から十碼のところで爆發させることが出來る、序でながら聯合國の專門家はやがてロケツト彈が他の對空兵器を悉く驅逐してしまふだらうと考へてゐる、第四は赤外線望遠鏡だ、これを照準に使へば狙撃兵は夜間でも目標物を見ることが出來るわけである、五番目には殆ど完成の域に達した最大射程千二百乃至千八百哩のロケツト彈がある、ドイツの科學者の言によれば、彼等はドイツから米國にまでも到達するやうなロケツト彈を造らうと思つてゐたさうで、二、三年後には郵便ロケツトや旅客ロケツトが四十分間で大西洋を横斷することにならうといはれる、聯合軍當局は戰爭中スパイの手を通じドイツの科學上の活動について報告を受けてゐたが實際に當つて見るとやはり意想外なものがあつたわれわれの訊問に對してドイツの科學者達は腹藏なく答へ、大抵の者はヒトラーが敗れたのはこけ威しの武器を製作することに要らぬ努力を傾注し過ぎたためだと考へてゐる、技術情報部の部員は皆確かりした技師であるが、部員達もまた余もドイツ人の試みは假令太陽砲の如き實驗でさへも決して一笑に附されるべきではないと考へてゐる、われわれはドイツ科學者の實際的、技術的な心構へと空想的な考へを嫌ふ態度に心から感心した、千二百名のドイツ科學者のうちには研究を續けるために米國か、英國へ行きたいと申し出てゐる者もある

平靜な上海市內

ロイター通信上海特派員は上海の狀況につき二十五日次の通り報じてゐる

「戰爭中上海地區の抑留民收容所に入れられてゐた聯合國人約六千五百名は解放されたが、彼等の大部分は長い抑留生活にも拘らず健康狀態は非常に良好だ、彼等は住宅と食事の問題ですぐ收容所から出る譯には行かないが、每日數時間外出することを許されてゐる、海軍少佐シューメイカーを隊長とする米國の使節團が到着、日本及びスイスの出先官憲と相談して被抑留民の釋放を早めるための努力をしてゐる、戰前四百萬の支那人々口を擁してゐた上海の街は殆んど戰爭の慘禍を蒙らずに殘つて居り、恐らく遠からぬ將來に昔の殷賑を取り戻すだらう、街には聯合諸國の國旗が賑はしく飾られて居り喧しい爆竹の音が聞える

新任の上海副市長は重慶から既に到着した、在支米國司令官で蔣介石の幕僚長たるウエデマイアー中將が間もなく本部を重慶から上海に移すといふ報道があるが、これが實現すれば同人と共に若干の米國軍隊も上海にくるだらう、しかし之が實現せねば占領軍として上海に入るのは重慶政府の軍隊だけだらう、日本の武裝した兵隊がまだ市內要地の警備についてゐるが、治安維持の主役を勤めてゐるのは支那側警察である、用心のために午後八時から夜間外出禁止令が布かれてゐる、揚子江上の日本船舶及び船渠施設は戰爭中しばしば聯合國空軍の攻撃をうけたが、上海の街自體は殆ど何等の損害も受けて居らず、米英商社の大部分は支那側が完全に行政權を握つたらすぐにでも營業を再開しようとしてゐる」

昭和二十年八月卅一日(金)
第三五三〇號
同盟通信 海外電報
(202)
〔大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社〕

【目　次】

獨戰爭犯罪人氏名表を發表……二三二〇
眞珠灣事件公報……〃
【中　國】
ソ聯、渝延紛爭に介入せず……二三二一
對米二十億弗の借款交渉……〃
駐重慶ソ聯大使歸任……〃
パーシヴアル重慶着……〃
毛澤東重慶到着……〃
アンラ中國救濟計畫を發表……〃
【米　國】
中ソ條約米の反響……二三二二
血液供給を要請……〃
陸軍毎月五萬召集……〃
太平洋の全域を支配……〃
國防費百億弗維持を主張……〃
海軍除隊制度改正……二三二三
海軍女子將兵を復員……〃
第五航空隊員復員……〃
日本復興の鍵は西歐文明の攝取……〃
ヘルフリツチ昇進……〃
日米無線電信開通……〃
ソ支佛白蘭に借款供與……二三二四
諸會社財産の接收解除……〃
軍需勞務者二百萬失業……〃
【終戰處理】
米先發艦隊東京灣へ……〃
ハルゼー上陸軍に布告……〃
東南アジア軍司令部警告……〃
ウエインライトを招待……〃
【西　亞】
シリア新內閣成立……〃
【歐　洲】
目前の問題は自治の許容……二三二五
主要戰爭犯罪人の名前を發表……〃
マルク軍票發行を制限か……〃
希臘で大赦令……〃
ソ聯駐羅公使を昇格……〃
洪牙利の國內事情……〃
【英　國】
武器貸與廢止と英國の立場……二三二六
チヤーチル大陸訪問……〃
あの日のトルーマン……二三二七
【特　輯】
大砲よりバターへ……二三二八

米英ソ佛四ケ國政府は二十九日夫々の首都で一齊にドイツの戰爭犯罪人名簿第一回分二十四名の名前を發表した、オスローではキスリングの裁判が續けられてをり、フランスはペタン元帥に死刑を宣告し、殘て終身禁錮に處した、戰爭責任と戰爭犯罪とは概念的に差異があるやうであるが、聯合國が今回、戰爭犯罪者として發表したものによつて見るに、戰爭責任と戰爭犯罪の區別をつけずこれを一括して、國際法規を蹂躙した狹義の所謂戰爭犯罪者も、戰爭を惹起するに關與した所謂戰爭責任者も共に起訴處斷しようとしてゐるものの如くである、キスリング、ペタンの場合は叛逆罪が問題にされ、國內法規に問はれたもので、その罪狀の性質は一層明白であるが、ドイツ側の戰爭犯罪者の場合は、例へば强制收容所における大量虐殺の如き犯罪の事實の明白なものもあるが、多くは罪狀は極めて明瞭を缺くものがある、ナチの黨が今回の戰爭の挑發者であるといふ理論からすればゲーリング、ヘスの如きが戰爭犯罪に問はれるのは止むを得ないであらうが、シヤハトやクルツプに至ると、ナチに協力したといふ意味で戰爭犯罪者に指定されたのであらう、そのやうな意味に戰爭犯罪を定義すると、ドイツ國民の殆ど全部は犯罪者になるであらう、しかり、ドイツ國民全部が戰爭犯罪者であり、聯合國は、別個の方法においてドイツ國民を懲罰しつつあるといふのが聯合國側の回答であらうが、勝者の法律が、敗者を支配するのが現實であつてみれば、理窟は要するに屁理窟にすぎない、今回の起訴名簿の中にはドイツ軍の首腦部で、ナチ黨員でないものも含んでゐるがこれはシヤハト、クルツプが起訴されたと同じ意味であらう、何れにしても人間が人間を裁く事態はキリストならずとも大して愉快なことではない聯合國側のいふが如く「迅速且つ公正に」かかる惡夢の霧消を望み度いのは、敢へて敗けた者のみの心情ではないであらう

獨戰爭犯罪人氏名表を發表

（ストツホルム二十九日發）ロンドン來電＝近くニユールンベルグにおいて開廷される第一回國際軍法會議で裁かれるドイツ主要戰爭犯罪人の氏名が二十九日發表された、右はルドルフ・ヘスを含めて目下聯合軍の拘禁下にあるナチ首腦二十四名で、發表はワシントン、ロンドン、パリ、モスクワの四首都で同時に行はれた發表の內容次の通り

「米、英、ソ、佛四國間に一九四五年八月八日成立した取極めに基き設置された主要戰爭犯罪人審問告訴に當る法務官長委員會は國際法會議に於て裁かれる戰爭犯罪人の第一次氏名表を作製した、ドイツ戰爭犯罪人の氏名次の通り

一、ヘルマン・ゲーリング元帥（元空軍總司令）
二、ルドルフ・ヘス（元ナチ黨副總理）
三、ヨアヒム・フオン・リツベントロツプ（元外相）
四、ローベルト・ライ博士（ナチ勞働戰線指導者）
五、アルフレツド・ローゼンベルグ（ナチ黨哲學指導者、前東邦相、ナチ黨外交政策部長）
六、ハンス・フランク（元ポーランド總督）
七、エルンスト・カルテンブルンナー（ナチ親衛隊首腦、保安警察隊長官）
八、ウイルヘルム・フリツク（元ベーメン・メーレン保護領總監、元內相）
九、ユリウス・シユライヒアー（猶太人迫害者、元フランコニア黨支部長）
十、ウイルヘルム・カイテル元帥（ドイツ軍幕僚長）
十一、ワルター・フンク（經濟相、ドイツ國立銀行總裁）
十二、ヒヤマール・シヤハト（元ドイツ國立銀行總裁、元經濟相）
十三、グスタフ・クルツプ・フオン・ボーレン・ウント・ハルバツハ（クルツプ軍需會社々長）
十四、エリツヒ・レーダー元帥（元ドイツ海軍總司令）
十五、カール・デーニツツ元帥（ドイツ海軍總司令、自稱ドイツ總統）
十六、バルドウール・フオン・シーラツハ（元ナチ青年團指導者、ウイーン總督）
十七、フリツツ・ザウチル（チユーリンゲン支部長、强制勞働指導者）
十八、アルベルト・シユペーア（軍需相）
十九、マルチン・ボルマン（總統官房長）
二十、フランツ・フオン・パーペン（前トルコ駐劄大使）
二十一、アルフレツド・ヨードル元帥（最後のドイツ陸軍總司令官）
二十二、コンスタンチン・フオン・ノイラート男（元外相、元ベーメン・メーレン保護領總監）
二十三、ハンス・フリツチエ（宣傳省放送部長）
二十四、アルツール・ザイス・インクワルト（前オランダ總督）

以上の氏名表に含まれぬ他の戰爭犯罪人も逐次審問を受ける

眞珠灣事件公報

（ワシントン二十九日發）トルーマン大統領は二十九日眞珠灣事件に對する陸海軍の報告書全文を發表し、同時にスチムソン陸軍長官の聲明を發表した、ロイター通信ワシントン特派員は右に關し左の通り報道してゐる

「トルーマンは五萬語に上る尨大な眞珠灣事件報告書を發表した、憶へば眞珠灣事件は日本の奇襲成功であり、米國開戰の動機でもあれば米艦隊の一時的戰力喪失でもあつたが、同時に樞軸の兩端を遂に崩壞せしめるに至る端緒ともなつたものである、報告書によれば事件調査の陸軍委員會は多數の陸軍幹部を問責してゐるがその最高は參謀總長ジョージ・マーシヤルである、マーシヤルの責任は情勢の緊迫をハワイの軍司令官へ通達しなかつた點で追及されてゐるが、陸軍長官の聲明ではマーシヤルに對するかかる非難は不當であるとしてゐる、トルーマンも公報發表後の新聞記者團會見でこの點につき左の通り述べた

自分としてもマーシヤルの責任問題については陸軍長官の見解に滿腔の贊意を表したい、米陸軍首腦部の練達した手腕と仕事に對する熱意及び能率は十二分に信用してゐる

トルーマン公報は一九四一年十二月七日の事件を發生せしめるに至つた軍事的、外交的背景について詳細記述してゐるが、陸軍當局者と同樣、海軍作戰部長スタークをも問責してゐる、但し調査に當つた陸軍委員會は事件に關聯して採るべき處置については何ら特別の勸告は行つてゐない」

昭和二十年八月卅一日(金)
第三五三〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【中　國】

ソ聯、渝延紛爭に介入せず

(リスボン二十七日發)中ソ友好同盟條約において ソ聯は中國の內部問題に干與せぬ旨約束したが右は當面の問題として渝延紛爭に介入せぬことを意味するものの如く、ソ聯は右代償として滿洲における優越地位を獲得したと報ぜられる、目下モスクワ會談の當事者で重慶行政院長宋子文はワシントンに在り、漸次この方面の眞相が露呈されつつある模樣だが、「ニューヨーク・タイムズ」紙は右につき、ワシントン二十六日發ゼームス・レストン特派員の報道をかかげてゐる、要旨次の通り

「曾て重慶駐剳米國大使パトリツク・ハーレーがモスクワを訪問した際渝延問題を提起したのに對し、モロトフ外務人民委員は右は中國の內政問題であるとの見解を表明したが、確な筋からの情報によれば、今次宋子文のモスクワ訪問中においてもモロトフより同樣の見解が表明され、ソ聯は渝延紛爭は中國の國內問題として一切干涉せぬ旨言明したことが判明した、且つモロトフはソ聯政府は中共をして一種の勞農團體と目す旨答へた由である、ソ聯當局のかかる言明が基礎となつて重慶政府は旅順大連兩港及び全滿鐵道に關する利權をソ聯に讓つたのであると見られる、ソ聯の右確言がなかつたならば中ソ條約は現在のやうな姿では締結されなかつたらうといはれる

ソ聯政府は中共問題を重慶政府が決定すべきだと公然聲明する意思があるかどうかは尙問題だが少くともソ聯は重慶政府に對して中共との諒解に達せよと主張してはゐない、この點米國々務省がここ數ケ月來渝延の諒解を慫慂してゐるのとは異るところだ」

對米二十億弗の借款交涉

(リスボン二十七日發)重慶行政院長宋子文は目下ワシントンにあつて對米二十億弗復興借款の交涉に當つてゐるものの如く、「ニューヨーク・タイムズ」紙二十六日ワシントン特電は次の通り報じてゐる

宋子文はある種對華經濟援助の確言を得たので近くワシントンを出發、カナダ經由歸國の途につく筈である、尤も氏は中國の復興費に充てるため二十億弗の借款を求めたが、これに對しては何等確約を得てゐない

駐重慶ソ聯大使歸任

(リスボン二十七日發)重慶來電＝中國駐剳ソヴエト大使アポロン・ペトロフは二十四日モスクワから重慶へ歸任した

バーシヴアル重慶着

(リスボン二十八日發)重慶からのロイター電報によれば滿洲の日本軍俘虜收容所から釋放された七名の英國將官が二十八日重慶に到着したが、この中には元シンガポール英軍司令官アーサー・パーシヴアル中將、シンガポール總督サー・シエルトン・トーマス、元香港總督サー・マーク・ヤング、元北ボルネオ總督スミスが含まれてゐる

毛澤東重慶到着

(リスボン二十八日發)重慶來電＝中共中央政治局主席毛澤東は副主席周恩來を帶同、二十八日午後宮路重慶に到着した、一行は重慶駐剳米國大使パトリツク・ハーレーの官邸に落ちついたが、來渝の目的につき毛澤東は次の通り語つた

蔣委員長の招請に應じ中國の國家的統一及び再建等重要問題を討議するためやつて來た

アンラ、中國救濟計畫を發表

(ワシントン二十八日發)アンラ事務總長代理ロイ・ヘンドリツクソンは二十七日中國救濟計畫について次の通り發表した

太平洋戰の終結に伴ひアンラは中國を救濟するため至急濠洲及びニュージーランドから物資を手に入れてゐる、最初に濠洲から難民救濟用の物資が中國に屆けられるはずだが、播種用種子その他農業器具も出來るだけ早く送る手筈である

【米　國】

中國の主權は尊重
—中ソ條約米の反響—

（リスボン二十八日發）中ソ友好同盟條約に對する二十八日の米各紙反響次の通り

△「ニューヨーク・タイムズ」紙＝ソ聯が旅順大連兩港を使用するのには別段異議はないが、中國側と交渉して米國軍艦もまた旅順港を使用出來るやうにしたいものだ、然し何れにしても政治上並びに交通上の中心に對する中國の主權は尊重されるであらうし、そのためには米國も一役買つてもよからう

△「サンフランシスコ・クロニクル」紙＝中共の蔣介石打倒軍事はもう加勢を得る望はなくなつた

△「ワシントン・ポスト」紙＝新條約中の主要項目はソ聯が延安より手を引くことにしたことである、（内政不干渉條約を指す）毛澤東が重慶訪問に決したのもこの結果だらう、最も毛澤東の態度一つで最早中國に内亂の可能性がなくなつたといふのではない

陸軍毎月五萬召集

（リスボン二十七日發）ワシントン來電＝陸軍省は日本占領が平和的に進行すると否とに拘はらず今後一ケ月當り五萬人を召集する必要がある旨發表した、陸軍省の説明によれば志願兵の數によつて右召集量は減少することになる筈である

血液供給を要請

（リスボン二十八日發）グアム島の海軍血液分配本部は米本國において今後も血液の提供が續けられるやう要請、次の通り述べた

米國軍隊は昨年十五萬七千パイントの完全血液を供給されたが、近く日本の俘虜收容所から釋放される貧血症の米軍兵士に與へるためばかりでなく、負傷兵治療の最終段階を續けるためにも更に多量の血液を送つてもらはねばならない米國民は陸海軍並びに海兵隊兵士のため過去九箇月間に十六萬五千パイントの血液を提供したこのうち約八萬六千パイントは比島作戰間に、一萬六千パイントは硫黄島において、四萬六千パイントは沖繩で使用され、米國艦隊は戰爭の最終局面において九千パイントを使用した

太平洋の全域を支配

（ワシントン二十八日發）米聯合艦隊副司令長官リチヤード・エドワーズ大將は去る二十五日のラジオ放送において戰後の海軍政策に關し左の如き見解を發表した

米國の安全保障のためには西部大西洋及び全太平洋を米海軍の支配下に置くことが肝要である又太平洋全域を支配するためには從來日本をして太平洋を支配させる基となつた諸島嶼を米國の統治へ移さねばならない

國防費百億弗維持を主張

（ワシントン二十八日發）軍事評論家アーネスト・リンドレイは二十七日附「ワシントン・ポスト」紙上で戰後における米國の軍備に關し次の通り論じてゐる

「戰後軍事計畫において科學的研究が大きな位置を占めねばならぬことは勿論だが、原子爆彈が出現したからといつて他の一切の軍備が忽ち無價値になつてしまつたなどと考へることは危險であらう、米國現在の原子爆彈獨占は一時的の現象に過ぎず、從つて米國が陸海軍及び大航空兵力を有せずとも安全だと考へることは出來ない、戰後の計畫を立てるに當つては各武裝兵力とも「新たに大戰が勃發した場合、米國は第一の攻擊目標となりさうだ」との假定を基礎としてゐるが、これは假定として合理的であるのみならず賴るべき唯一の確實なる假定でもあるのだ、かく假定する以上は金城鐵壁の備を固め、即時反擊に出る構へを持たなければならない、今後十年乃至十五年の間に築き得る最も堅固な國防態勢は一體どれ程の費用を要するか評價出來ない因子が極めて多い關係上その推定は至難だが、戰後三年間の國防費は少くとも年百億弗乃至百二十億弗に上るであらう、この金額は戰前の平時支出に比べれば確かに巨額だがしかし陸海空米國の優位を保つことの代價とすれば極めて安いものだといはなければなるまい」

昭和二十年八月廿一日（火）　戰時

昭和二十年八月卅一日(金)
第三五三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

海軍除隊制度改正

(ワシントン二十八日發)ジエームズ・フオレスタル海軍長官は二十七日海軍の除隊計畫に關し次の通り發表した

海軍では今後一年間に將兵二百八十三萬九千人を除隊し保有兵力を將校五萬、下士官兵五十萬に減じたいと思つてゐる、現在の兵力は三百三十八萬九千人だ、これに關聯して點數除隊制度も海外勤務を採入するやう修正するがこの改正は大體二ケ月以內に實施されよう、現在の點數制は年齡、勤務期間並びに扶養家族を計算の項目としてゐるが訓練中のものを除き海軍徵兵の九三%までが海外勤務の經歷を有する、尙過去三年間に亘り軍事局長の職にあつたランドールジーカヴズ中將にかはり今日ルイス・デイスフイールド少將がその後に就任した、事務の引繼ぎは九月十五日の豫定である

海軍女子將兵を復員

(リスボン二十八日發)ワシントン來電=海軍省二十四日の發表によれば海軍は約二百名の女子將校と五千二百名の女子兵員を除隊せしめることとなつたといはれる

第五航空隊員復員

(リスボン二十八日發)沖繩來電=戰爭終結に伴ひ沖繩の米第五航空隊員六千名は近く復員するがこのうちの一千五百名は最初の復員兵として二十六日沖繩を出發米國に向つた

日本復興の鍵は西歐文明の攝取

(ニユーヨーク二十八日發)「ニユーヨーク・タイムズ紙」は二十七日の社說において過去における日本の西歐文化吸收の歷史を回顧して、降伏後の日本の運命は西歐の道義的精神的價値を正しく攝取するかどうかに懸つてゐると結論してゐる、要旨次の通り

「聯合軍の日本占領の時が切迫するにつれて、我々は九十年前にペリー提督と麾下の米國艦隊が同じ地點に到着した當時を回顧せざるを得ない、當時日本人は鬪爭心に燃え、日本の大衆は外夷を憎惡するやう教へ込まれてゐたが、それにも拘らず彼等は彼等の子孫よりも遙かによく世界諸强間の紐帶と均衡の趨勢を理解してゐた、彼等は門戶を開いた、その結果平和と商業は大いに榮え、彼等が敵と看做してゐた米國は反つて日本に利益を齎したのであつた、日本人は黑船を目睹し、大砲を目擊し、近代的な兵士を觀察した結果、彼等の軍事訓練と裝備が數世紀の立遲れを示してゐることを把握した、日本人は西歐の物質文化全體を熱心に學び吸收に努め、未曾有の野心的な軍事計畫即ち全世界の征服を企圖したのである、ここに至つて日本人が完全に無視し公然と反撥したのは西歐の道義的精神的價値であつた、從つてドイツが權力の正義と戰爭の正義を主張したとき、日本は率先して將來の趨勢をドイツの主張に見出し、ドイツと共に破局的運命に向つて乘り出したのである

いまや米國軍は再び日本の門を叩いてゐるが、ここで日本は敗北の結果西歐文明をより深く理解する必要を學んだか、あるひは再び世界制覇の野望を再現するために最新のトリツクを行つたのかといふ問題が必然的に生起する、併しながら日本人が西歐の物質的價値のみならず道義的精神的價値を評價するすべを學んだかどうかによつて、日本人の將來の運命が決せられるばかりでなく、聯合國の勝利が結實するかどうかも決せられよう」

ヘルフリツチは昇進

(リスボン二十七日發)メルボルン來電=極東方面オランダ軍總司令官海軍中將ヘルフリツチは東京灣上で行はれる停戰會議に出席の爲目下その途上にあるが、同人は二十七日海軍大將に昇進すると同時に全オランダ海軍の總司令官に任命された

日米無線電信開通

(ニユーヨーク二十七日發)マツケイ電信會社は二十七日次の通り發表した

東京、米國間の直通無線電信は眞珠灣以來初めて二十七日開通する、東京側は占領軍が管理するが、通信はしばらくの間捕虜の通信、軍、政府及び新聞通信に限定される

ソ支佛白蘭に借款供與

（ワシントン二十九日發）外國經濟院長レオ・クローリーは二十七日ソ聯、支那、フランスその他に對するクレヂツト供與の事實を明かにし、つぎの如く言明した

「從來武器貸與制の下に行はれてきた米國よりの物資供給を繼續するため、米國政府は諸外國に對するクレヂツト供與を計畫してゐたが、今回ソ聯支那、フランス、ベルギー、オランダの各國から右クレヂツト供與を受けたい旨の通告に接した

佛白蘭三國は當初の武器貸與協定においてすでに貸與制終結の際クレヂツトによる支拂制に移行すべき旨約してゐたが、最近に至り改めて正式にこれを再確認した、VJデー當日をもつて貸與制は正式に廢止されることになつたが、廢止當時の米國内にある貸與物資にして積出中又は契約濟のものの額は四十五億弗と推定され、その内半分は英國向に豫定されたものである、英國は未だ正式に態度を表明してゐないが、ハリファックス大使はすでにこの問題を協議するため歸任の途中にある、米國は武器貸與制に參加した國にして三十年賦、二%八分三利付の支拂に同意するものに對しては物資供給を繼續する旨提案した、また關係諸外國政府に對し至急如何なる貸與契約を取消すべきやにつき米國側に通知するやう要請してある」

諸會社財産の接收解除

（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝トルーマン大統領は現在聯邦政府により運營されてゐる民間諸會社の接收財産を可及的速かに返却すべき旨命令したが、これにより接收解除となるものはモントゴメリー通信販賣社所有工場を初め二百以上の鑛山、工場その他財産である

軍需勞務者二百萬失業

（ワシントン二十八日發）聯邦雇傭局長官ロバート・グツドウインは對日戰終了以來約二百萬の軍需勞務者が失業した旨發表した

【終戰處理】

米先發艦隊東京灣へ

（リスボン二十八日發）マニラからの報道によれば、マツカーサー元帥はマニラを出發沖繩に向つたといはれるが、相模灣にある米第三艦隊から二十七日夜マニラに到着した報告によれば、巡洋艦サンデイエゴ、驅逐艦及び海兵隊水兵三千名をのせた輸送船一隻を含む九隻の先發隊は相模灣を出て東京灣に入りつつあるといはれる

ハルゼー上陸軍に布告

（リスボン二十八日發）米國第三艦隊に從軍中の米國一特派員は次の通り傳へてゐる

ハルゼー大將は二十八日米艦艇の相模灣進航に際し第三艦隊全員に對して「諸君の日本人に對する凡ゆる行動は常に實力と上品さによつて支配されねばならぬ」旨の布告を發した

東南アジア軍司令部警告

（リスボン二十八日發）ニユー・デリー來電＝東南アジア聯合軍司令部は二十八日ニユー・デリー放送を通じて日本軍に對し

「聯合軍の指令に服從しない者は日本に對する叛逆者として取扱ふ」旨警告を發した

ウエインライトを招待

（マニラ二十八日發）マツカーサー元帥は二十九日過般米軍救出部隊の手で救出されたウエインライト中將に對しミズリー艦上における降伏條件調印式に出席するやう招待した

【西　亞】

シリア新内閣成立

（リスボン二十八日發）ダマスカス來電＝フアレス・エルフーリを首相とするシリヤ内閣は去る二十一日總辭職したが、二十七日、エルフーリが新内閣を再組織した、エルフーリは全政黨の代表をあつめて聯立内閣をつくらうとしたが失敗したので自由黨員のみからなる新内閣を組織したといはれる

昭和二十年八月卅一日(金)
第三五三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

目前の問題は自治の許容

(リスボン二十八日發)フランクフルト來電＝米軍政府は二十七日から三日間に亘り、フランクフルト・アム・マインにおいて軍政會議を開催することとなつたが、第一日は主としてナチズムの最後の痕跡を一掃し、民主々義の基礎の上にドイツを再建する方策につき討論が行はれた、會議は最初非公開で行はれたが、新聞記者團の抗議を浴びて、第二日以後は公開されることとなつた

米軍政長官代理ルシアス・クレー中將の演說內容次の通り

賠償計畫が實行に移され、ドイツ國民が自己の財產が持ち出されるのを目擊するやうになれば我々の困難は倍加しよう、ナチ黨員の經驗を尊重して要職に留めておくことは絕對に許されない、我々の目的を實現するためにはドイツの生活水準の低下は避け難い、併しながら我々はドイツ國民の絕滅を目的とするのではないから、將來に希望を持てるやう經濟的に餘裕を持たせる必要がある、我々の目前の問題は地方のドイツ自治政府を樹立するにある、このことはドイツ人自身に漸次權限を附與し、出版、ラジオ、勞働組合、政治活動の自由を保障してやることになつて出來るだけ早く實現しなければならぬ

主要戰爭犯罪人の名前を發表

(ストツクホルム二十八日發)ロンドン來電＝聯合國戰爭犯罪委員會は歐洲戰の主要戰爭犯罪人に對する告發狀を起草したが、ニユールンベルクの裁判にかけられる豫定の二十五名のナチ指導者の名前を今後數日內に發表するとみられる

マルク軍需發行を制限か

(リスボン二十八日發)ベルリン來電＝ドイツ占領四ケ國軍當局は近くベルリンにおいてマルク軍票發行限度設定につき協議を行ふこととなつた、今までは四ケ國間にこの問題について何等の取極めもなく、ただ英國側よりインフレを防止するため軍票發行を極力抑制してをり、また實際の發行高も少いとの發表があつただけである、ソ聯側の軍票發行高についても正確なことはわからないがUP通信によると赤軍將兵の俸給支拂を通じてかなりの量が放出されてゐる模樣で、英軍占領地區におけるソ聯發行マルク軍票の流通が最近目立つて多くなつてきてゐるといはれる

希臘で大赦令

(リスボン二十八日發)アテネ來電によれば、ギリシヤ政府は政治犯人及び國內戰の俘虜に對する大赦令を發布したといはれる

ソ聯駐羅公使を昇格

(ストツクホルム二十八日發)ソヴエト政府はルーマニア駐劄ソ聯公使カフタラーゼを大使に昇格せしめた旨二十八日發表した、之に對しルーマニア政府も駐ソ公使イオルグ・イオルダナウを大使に昇格せしめた、ミハイ一世の聲明を契機にルーマニア政界の內紛が國際問題化せんとしてゐる現在、ソ聯の今回の措置は注目される

洪牙利の國內事情

(ストツクホルム二十八日發)ブダペスト來電＝ハンガリー首相ペラ・ミクロシユは今回初めて同國に入國を許可された英國新聞記者の代表たる「ニユース・クロニクル」紙特派員を引見し、同國內の狀況につき次の通り述べてゐる

ハンガリー政府は約十週間後に總選擧を實施する豫定だ、ハンガリーは目下經濟的に非常に困つてゐる、工場の建物及び機械は戰爭と掠奪のため非常な損害を蒙り、生產力は昨年度の二一%に減じ、また勞働者數は三〇%に過ぎない、輸送力は殆ど全くなくなつてしまひ、戰前あつた車輛は五%しか殘つてゐない、農業も大きな痛手を蒙り、家畜數は戰前の二五%に減じ、農業用機械は一つもない有樣だ、鑛山の大部分もドイツ軍に破壞された、ブダペスト再建のための重要資材は手に入らぬ現狀だから同市の再建事業には數ケ年を要しよう

武器貸與廢止の英國の立場

（リスボン二十七日發）周知の如く英國は經濟的地位の犧牲において軍事的勝利を贏ち得た、戰爭遂行の過程において英國が失つた在外資産は二十億磅、新たに發生した磅資金債務は三十億磅、その他に半恒久的な國際收支の不足狀態が生じてゐる、しかも國内において蒙つた戰爭による經濟的打撃も少なからざるものがある、このやうな狀態にある英國に突然發表された米國の武器貸與廢止が與へた打撃はきはめて大きなものがあつた、英國としては食糧その他差當り絶對必要な復興物資をばどうしても外國とくに米國より仰がなくてはならず、しかも右輸入に必要な外貨は前記のやうな國際經濟關係の悪化から不足勝ちである、英國政府も國民も戰爭が終れば當然貸與制は廢止されるものと豫期してはゐたが、米國側も英國の立場を知悉してゐるわけだから食糧等必須物資については巧くやれば貸與制の繼續さもなくとも何等かの便法が講ぜられるだらうとの氣持だつた、しかるに米國側今回の發表では引渡未濟物資に對する救濟措置は認められてはゐるものの、豫想以上に現金及びクレヂツト決濟の原則を固執してゐる、英國側が憂鬱なショツクを受けたのも無理からぬところであつた、これがアトレー首相をして異例の米國攻撃的な言辭を弄させる原因となつたのである、一部では貸與廢止措置が英國勞働黨内閣への壓迫を意味するものだとも噂してゐる

△ブレトン・ウツヅ精神と矛盾

それはともかくとして英政府が事態を重大視してゐるのは事實で、外務、商務、食糧各省間に協議が續けられてをり、ロイター通信が傳へるところによれば當局は大體つぎの如き對抗策をとる肚だといはれる

一、これにより當然豫想される對外債務の增加を最少限に止めるため全力を盡す

一、輸出振興策を積極的に推進する

一、今後米國よりの輸入を極力差控へこれを磅貨及び英國よりの輸出による決濟に同意する他の諸地域に振替へる

輸出振興は勞働黨保守黨を問はず英國戰後の一大國策であつたが、今後はますますこれが重要であるとともに進んで輸出入全體の規定が必要となつてきたわけで、アトレー首相初め多數閣僚は輸出入局とでも稱すべき貿易統制機關設置に傾いてゐる模樣だ、ブレトン・ウツヅ通貨案では貿易統制の撤廢と磅領域内優先制の緩和が必要となつてゐるのだが、武器貸與廢止をみて今日英國としてはブレトン・ウツヅ案の精神を無視しても生存維持の必要上逆にこれらを强化して行かなければならないとの氣持が强い

△隱忍自重の英

武器貸與停止に伴ふ輸出振興の急務化に鑑み、磅貨の價値切下げが問題化してゐる、他方國際收支の悪化見越とともに現實に磅爲替相場の實勢低落も危惧され、これらの原因からロンドン株式市場における金坑株その他への乘替へが活潑化し、ロンドン爲替、ニユーヨーク爲替にも若干の影響があらはれた、しかし目下の情勢では磅貨の價値切下げは實現せずとの見方が有力なやうである

米國は武器貸與廢止後の便法としてクレヂツトの供與を考へてゐるが、英國財界側はこれをもつて米國の經濟勢力伸長を意味するものとなし必ずしも歡迎してゐない

いづれにせよ武器貸與廢止の英國經濟に與へた影響は大きくその成行如何は英國にとり生死の問題となるかもしれない

一般市民も貸與制廢止による打撃を正確に把握出來ないまでも、今後耐乏生活はさらに强化されたとへば食糧割當あるひは衣料切符の削減といふことになるかもしれないと覺悟してゐる、最も英國はケーンズ卿以下のワシントン當局との再交涉に望みをかけ、行過ぎた米國攻撃は抑へる方針である

チヤーチル大陸訪問

（ストツクホルム二十八日發）ロンドンからのUP電報によれば前英國首相チヤーチルは近い内に令孃をつれて歐洲大陸に渡り少くとも數ケ月滯在するといはれるが、大陸旅行の目的は恐らく休養のためとみられる

昭和二十年八月卅一日(金)
第三五三〇號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

あの日のトルーマン

＝東亞戰終結第一報＝

(ストツクホルム二十七日發)米週刊誌「タイム」の八月十日號は東亞戰の終結に至る經緯について次の通り述べてゐる

△トルーマン大統領は時の壓倒的な仕事と歩調を合せねばならなかつた、大統領は前週世界に新たな力(原子爆彈)を放出し太平洋戰における新たな同盟國の參加(ソ聯の參戰)を迎へると、あとは自分のやつたことが效果を發揮するのを待つばかりであつた、八月十日の朝彼はいつもの時間に起きて、白堊館の二階にある部屋を一歩出ようとした途端、陸軍省の使ひが一片の紙を持つて、息を切らせて走つてきた、大統領はその紙片を受け取つた、日本の戰爭終結に關する豫備的な申入れだ、眞珠灣攻撃後三年八ケ月三日、七萬五千の米國兵の生命を犧牲に供した後、日本はつひに敗れたのだ、トルーマンは大統領となつて僅か四ケ月間だが、歴史的大變動からスリルを感ずることが出來たばかりか、大變動に身を以つて加はることが出來たのである

△大統領は直ちに四名の男を呼びつけた、大統領最高軍事顧問のリーイ提督、バーンズ國務長官、スチムソン陸軍長官、フオレスタル海軍長官だ、大統領は火急の用だと特に斷わつた、バーンズ長官はともすれば微笑に崩れる顔を火熱らせて廊下を小走りに大統領の室に入つて行つた、半時間後にフオレスタル長官は張り切つた聲で、「新聞記者諸君、三十分以内に重大發表があるからね」と言明した、が、三十分間が一時間たつても重大な發表はなかつた、大統領はいろんな東亞通や日本通の意見を叩いた、日本の豫備的の申入れを受諾すべきかどうかが問題だつた、トルーマン大統領の肚では一切の留保條件を拔きにした日本の無條件降伏があるだけだつた、その間ワシントンの大統領の側近や全世界の聯合國内では、火花を散らす激論で沸き返つた、甲論乙駁、いつ果てるとない水掛け論だ、トルーマン大統領にとつて特に重要なことは唯だ一つ、アジアと太平洋の全域に散らばつてゐる日本軍を如何にして效果的に降伏させるかの問題だ、それには日本の豫備的申入を受諾する以外に途はない、かくて米國の公式態度は決定した

△歴史の車輪の最新の動きはポツダム會談から始まつた、大統領は初參の三頭會談に赴く途上、同行の者に自分の唯一の目的は戰爭を急速に終結させ得る最善の時に、ソ聯をして太平洋戰に參加させることだと打明けたといふ、勿論スターリン議長はクリミヤ會談でも、そして恐らくはテヘラン會談でも或る種の約束をしたであらう、スターリン議長はすくなくとも二名の米國外交官、即ちハル前國務長官と前モスクワ駐劄米國大使ウイリアム・スタンドレー提督に、ソ聯は對日戰に參加すると約束した、特にスタンドレー提督にはドイツの降伏後九十日以内に砲門を開くといつたし、クリミヤ會談でもスターリン議長は同じ言葉を繰返した、議長の言葉を耳にした者は彼が必ず約束を守ると確信した、にも拘らずトルーマン大統領はポツダム會談で飽く迄もソ聯の參戰を要求する固い決意を抱いてゐたのだ、その結果確聞するにトルーマン大統領は「ソ聯が八月十五日に參戰すると誓約した」と言明したといふことだ

△そのとき突如出現したのが恐るべき原子爆彈だソ聯が參戰したのは原子爆彈のためだらうか、それは判らない、いづれにしてもトルーマン大統領が本國に歸還する途上、原子が日本の上空と同時に全世界の上で炸裂した、そして八月八日午後三時、即ちポツダム會談で約束された參戰期日にさき立つこと七日、ドイツの降伏後恰度九十日目にトルーマン大統領は五十名の記者團に向つて滿面に笑を浮べ、うれしさうに煙草を喫しながら、ソ聯の參戰を發表した

△他方記者團がカレリア地方から産する白樺の羽目板に蔽はれた室に歩み入つたとき、モロトフ外務人民委員は火のついた煙草を手にしてさも苛立たし氣に宣戰布告文を讀み上げたといふことだ、モロトフ氏は朗讀を終へると、恥しさうににやりと笑つて、記者團の顔を覗いた、恰かも「といふ譯ですよ」とでも言ふやうにだ、記者團は異口同音に叫んだ、「有難う、モロトフさん、どうも有難う」

特輯

大砲よりバターへ

―米國再轉換展望―

對日戰終結とともに米國政府は産業の急速再轉換工作に着手したが、豫てより永らく計畫されてゐたところだけに出足は豫想よりもかなり早く、矢繼早に各種の重要措置をてきぱきと講じてゐる開戰當初における平和産業の戰爭態勢への早急切替へ、其後戰局の推移に卽應して機を逸せず斷行した生産計畫の改變に示された機動性を再び驅使して「大砲よりバターへ」の線を驀進しようといふのである、戰爭中抑壓されてきた民需物資の急速增産を圖ることばかりでなく、軍需生産の激減に伴ふ失業者續出を防止して所謂完全雇傭を實現し經濟界の繁榮を維持するためにも、再轉換を出來るだけ短期間に達成する必要に迫られてゐる、しかもこれが遲速如何は米國の解放諸國への經濟援助および海外貿易市場への進出に決定的影響を與へるものとしても注目されるが、以下戰爭終結前後よりの再轉換工作の推移をみてみよう

△「兵器廠米國」の終止符

VEデー直後戰時生産局長官ジュリアス・クルーグは軍需生産削減率を本年第三・四半期一二%第四・四半期二〇%、明年上半期三〇%と發表、昨年來の懸案たる再轉換の基礎工作に乘出したが生産態勢の對日戰への全面的切替へ段階における生産混滯のため、民需部門に振向けられた勞働力および資材は軍需生産引下げの割合には增加しなかつた、しかし日本のポツダム宣言受諾は「聯合國兵器廠」としての米國の役割に終止符をうち、軍需註文は續々しかも徹底的に削減されて行つた

まづ海軍省は八月初の建艦計畫十二億弗切詰めに引續き十四日約六十億弗の軍需契約を解除、さらに二十日十五億弗の追加取消を發表した、一方陸軍省では十五日軍需品需要を年額にして二百三十五億弗方削減、すなはち月額にして從來の二十四億弗より僅か四億三千五百萬弗に引下げた、陸海軍とも兵器その他軍事資材は大部分の品種にわたり生産中止となり、生産が繼續されるのは主として研究用でしかも數量は限られる、たとへば陸軍では統空機需要は僅か六%にまた大砲、戰車および彈藥は二%に縮少され、タイヤの買上げは中止となつた、また陸軍省の一億四千五百萬噸に上る石炭契約取消は民需工業復活を促進するものとみられる、一方海事委員會は船舶百三十五隻および艤裝資材の註文四億二千五百萬弗を取消濟みである

△經濟統制の緩和

かかる相次ぐ軍需註文削減と並行して政府は連日のごとく民需工業にたいする各種統制を緩和乃至撤廢してゐる、殊に二十日のごときは一擧に二百十件に及ぶ戰時統制の撤廢を斷行、これによつて戰時中製造の一切禁止されてゐた數百品目にわたる民需品の製造が許可されることになつたが、主なるものはラジオ、冷藏庫、トラツク、ストーヴ、洗濯機械、金屬製家具、扇風器、電池、乘用車、寫眞フイルム等である、この結果なほ殘つてゐる戰時統制は百二十五件のみとなつた、RCA會社ではここ六十日以內に同社工場でラジオ・セツトの生産を本格的に開始し、テレヴイジョン受信器も一、二ケ月中に市販可能といつてゐる、さらに二十二日にはナイロン生産制限撤廢が發表された

これら各種民需品の製造に必要なる原料消費制限をも次々と改正、すでに銅、鋼鐵、アルミニユームの三基礎金屬に關する統制を著しく緩和、依然戰時生産局の嚴重統制下に置かれるものはゴム錫、纖維品、木材だけとなつた、さらに二十一日には戰時生産統制計畫の一環をなした統制資材計畫を九月三十日以降撤廢する旨發表した、この結果軍需部門への戰時資材優先制がなくなり、本年第四・四半期以降分の銅、鋼鐵、アルミニユームの割當をすべて卽時取消した、之に代ふるに今度は一部民需品の生産に對する資材の優先順位を設定するやうな新生産統制計畫を實施、之によつて

昭和二十年八月廿一日(金)
第三五三〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

再轉換期における隘路を打開しようとしてゐる、また在荷制限措置を繼續し、資材偏在に基く民需品增產阻害を防止するため必要とあらばさらにこれを强化するともいつてゐる

戰時生產局はまた民需品生產に必要な工場施設の建設にたいしては優先的取扱を含む各種援助を與へる旨發表するとともに、二十一日には一部工場建築の許可制を撤廢したが、二十三日にはジョセフ・キーナンを建築問題特別顧問に任命、建築資材增產に專念せしめることに決定してゐる

△再轉換の焦點

かくて產業各方面ともあわただしい再轉換調を呈してゐるが、米國の製造業者はここ一年のうちに民需品の生產高を一九三九年に比し四一・六%引上げ、三九年の價格を標準にして八百億弗の生產をあげるやう準備してゐると傳へられる、その內譯は耐久材五〇・三%增、消費財三六・七%增となつてゐるが、最も大巾な生產增大を示すものは自動車工業であらう、實にデトロイトこそは再轉換の焦點をなすものだ、殊に鋼鐵消費制限緩和は生產上の資材難を除去し、またガソリン割當制撤廢およびタイヤ割當制緩和は生產を刺戟してゐる、新型乘用車はここ數週間中にいよいよ製作開始の豫定といはれるが、自動車工業首腦部の話では米國の自動車工業は今後三ケ月も經てば切替を終つて完全操業に入り得るとのことだ

本年下半期の乘用車生產割當はさる六月末二十四萬臺と決定、一九四六年の生產高は二百萬臺と豫想されたが、戰爭終結に伴ひ情勢は一變、生產割當制は撤廢となつた、デトロイト自動車工業界では今後七ケ月間の乘用車生產高を百十五萬臺と見積つてをり、戰前の年產四百萬臺の水準に回復するのは明年中頃だと觀測してゐるといふ、なほ新型自動車の輸出見本はすでに英國向にニューヨークに到着濟みであり、對外輸出振興に力を入れてゐる

一方重工業方面では農業機械、機關車その他鐵道車輛などを送り出すべく手筈を整へてゐる、かくて今後一ケ年間における自動車工業を除く他の輸送具工業では一九三九年に比べ價格にして七四・三%の增產を目論み、煙草工業は同じく六九・四%、化學藥品五八・二%、電機五六・二%の增加が見込まれてゐる、戰時生產局は他方纖維製品の平時生產への復活を積極的に指導してゐるが、二十二日には纖維品配給統制法規を緩和するとともに製造業者にたいし平時需要向け全能力生產を許可した、また國防運輸局による民需物資輸送制限援助も再轉換促進に役立つことは明かである

△復員計畫と完全雇傭

勞働力部門においては早くも十五日をもつて一切統制が撤廢され、各方面にわたつて勞働者の職場移動の自由が認められるとともに企業家も當局の許可を受けることなく雇傭數を增減し得ることとなつた、この措置は軍需產業および軍隊よりの人的資源解放と相俟つて雇傭關係の正常化を促進しつつある、戰時動員再轉換局八月二十三日發表によれば、今後二ケ月間に軍需生產から解放される勞働者概數は百五十萬人とみられる、戰爭終結當時における海外派遣陸軍兵力は約五百萬で一九四六年六月までにはこのうち四百五十萬が米國に歸還する豫定である、一方復員數は從來の月十七萬より年末には五十萬の割合になる筈であるといふ、一方海軍は今後一ケ年間に百五十萬乃至二百五十萬の復員を行ふと漏らしてゐる、かくて本年中に復員を豫定される兵員は男子九十萬、女子十萬以上と推定される

大統領トルーマンは再轉換六政策中において軍需勞働者並びに歸還將兵に新しい職場を確保するやう有効な援助をなすことを約束してをり、また戰時人的資源委員會地方支部は再雇傭を促進するため各地域別に失業勞働者ならびに歸還將兵の數を調査してゐる、しかしそれにも拘らず再轉換途上アメリカが當然直面せねばならない第一の困難は過渡期における摩擦的失業である、戰時動員再轉換局長官スナイダーは「現在百十萬の失業者は三ケ月後には五百萬乃至それ以上となるべく、明春には多分八百萬に增加しよう」と豫想してゐる

スナイダーはこの對策として失業保障制度の擴張その他の勞働立法が必要であるといつてゐるがルーズヴエルト政權以來特權的經濟勢力となつたとさへいはれる米國勞働階級の壓力は今後米國産業再轉換政策において相當の力とならう、すでにさる一月、就業狀態が一定限度以下になつたら政府が公共事業に乘り出して就業の最低限度を維持することを規定した完全雇傭法案が提案されたがこれは上院でお預けになつた、この法案は再び上院銀行委員會で審議中である、また戰時動員再轉換局で一千五百萬戸住宅建設十ケ年計畫を立案中といはれるのも、住宅不足緩和といふ目的以外には失業防止を狙つてゐるわけである、CIO會長フイリツプ・ミユレーは完全雇傭法案の卽時議會通過の必要を强調、もし議會が遲滯なく可決しないやうなことがあれば米國は經濟的「眞珠灣」に直面せざるを得ないと指摘してゐる

完全雇傭を實現するためには國家生産が少くとも一九二九年または一九三九年の水準に比べ三分二多くなくてはならず、一九三九年に比し一千五百人分だけ餘計の就職口を確保する必要があるといはれる、かかる失業對策としても再轉換早急促進による民需工業の振興が緊急の問題となつてゐるわけだ

したがつて平和産業への移行を妨げるごとき勞働爭議も防止する必要がある大統領は「かかる爭議にたいしては政府が戰爭中軍需工場に發生した爭議にたいしてとつたと同樣の斷乎たる態度をもつて臨む」と警告を發するとともに、勞働者にたいし勞働爭議自肅態度を續けるやう要求してゐる

△企業家の自立主義

戰爭態勢への切替工作にみられたごとく平和態勢への産業再轉換には莫大な經費を必要とするはいふまでもない、政府は右資金調達を援助する目的をもつて、超過利潤稅中戰後拂戻分（五十億弗以上に達す）の拂戻時期を早めることおよび超過利潤稅の免稅點を從來の一萬弗から二萬五千弗に引上げることの二項目を規定した再轉換法を制定した、また中小企業の再轉換には特に援助を與へることが要望され、中小軍需工場會社會長マウリー・メーヴアリツクは中小企業への政府余剩財産の公正な割當およびこれが買入れに要する資金の融通を圓滑化する必要を强調、同社では數千の中小企業にこの種金融を與へ得るといつてゐる

しかしここに注目されるのは米國産業界が政府に賴つて再轉換しようする他力主義を脫却、前記の五十億弗拂戻計畫などを寧ろ白眼視する傾きがあり、彼らとしては再轉換には獨自の工作をもつて臨み、ただその補助手段として政府の援助を受け容れる方針であると解される、無論政府干涉をいかなる場合にも避けようとする反ニユー・デイール意識でもあれば營利主義の窮極の現はれでもあらうが、一應はその旺盛な企業精神を看取することが出來る、開戰以來嚴重苛烈な統制の下に置かれながらも、軍需生産の急速增强に努め無得の機動力を發揮してきた原動力のひとつは實にこの企業精神にあつたことを想起させられる

今ひとつの原動力は政府が「生産さへすれば代金は十分支拂つて利潤を保證してやらう」と製造業者に語つた一言にある、この約束はあまり利きすぎて漸次軍需會社の暴利が問題となるやうになり、遂に昨年頃から軍需契約再協議を斷行せざるを得なくなつたのは周知の通りだ、何れにせよ製造業者が再轉換費を自辨し得るとしても、一旦再轉換した後生産を進めるだけの利潤の見込がついてゐるかどうかは最も重要な問題だ

最初物價管理局では民需品價格を大體一九四二年またはそれよりやや上の水準に定める方針といはれ、これにたいしては全米産業審議會が中心となつて反對してゐた、價格統制の緩和はインフレを促進しないか、さうかといつて嚴重な統制はインフレ阻止に必要な民需物資增産を阻害しないかを愼重檢討してゐたが、遂に統制緩和による增産に主力を置くこととなつた、二十四日には鋼鐵、アルミニユームおよびマグネシユームの最高價格を中止したが、これによつて價格統制を解除されたものは二百五十件に上り、さらに百五十件の撤廢をも豫定してゐるといふ、再轉換の花形自動車工業にたいしては新型自動車の最高價格を一九四二年に比し一四・四%高に決定された

（角田　常春）